NTT DoCoMo

FOMA® SH851i DOLCE

USER GUIDE

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「DOLCE（FOMA SH851i）」を
お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、このUSER GUIDE（取扱説明書）および電池パックなどの機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA SH851iは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 電池パックをセットし、充電しましょう（☞P.45、P.46）
2. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう（☞P.51、P.52、P.54）
3. 本体のボタンなどの役割を確認しましょう（☞P.28）
4. 画面に表示されるアイコンなどの意味を確認しましょう（☞P.32）
5. メニューの操作方法を確認しましょう（☞P.35）
6. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう（☞P.55）

- この『FOMA SH851i USER GUIDE』の本文中においては、「FOMA SH851i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中では miniSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードについて☞P.349
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかたについて

本書では、FOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

本書の引きかたについて

本書では、次のような検索方法で、お客様の用途に応じて、機能やサービスの説明ページを探すことができます。

次ページで説明しています。

索引から ☞P.556

FOMA端末のディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能名・サービス名がわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から ☞P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから ☞表紙

表紙のインデックスを使用して、本書をめくりながら探します。

目次から ☞P.6

機能ごとに分類された目次から探します。

特徴から ☞P.8

新機能や便利な機能など、FOMA端末の特徴的な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

詳細メニュー一覧から ☞P.506

FOMA端末の詳細メニューに表示されるメニューを一覧表でまとめています。

クイックマニュアルから ☞P.566

基本的な機能について簡潔に説明しています。外出の際に切り離してお持ちいただけます。

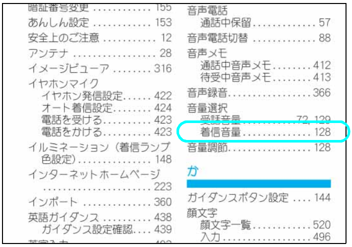
着信音量の引きかたを例として説明します。（本文中のページとは内容が異なります。）

索引から

☞P.556

FOMA端末のディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能の名称やサービスの名称がわかっている場合はここから探します。



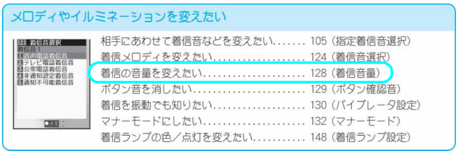


P.128
「着信音量」
の説明ページへ

かんたん検索から

☞P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。


メロディやイルミネーションを変えたい

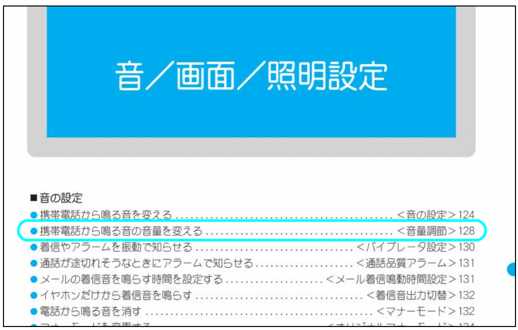
P.128
「着信音量」
の説明ページへ

表紙インデックスから

☞表紙

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。

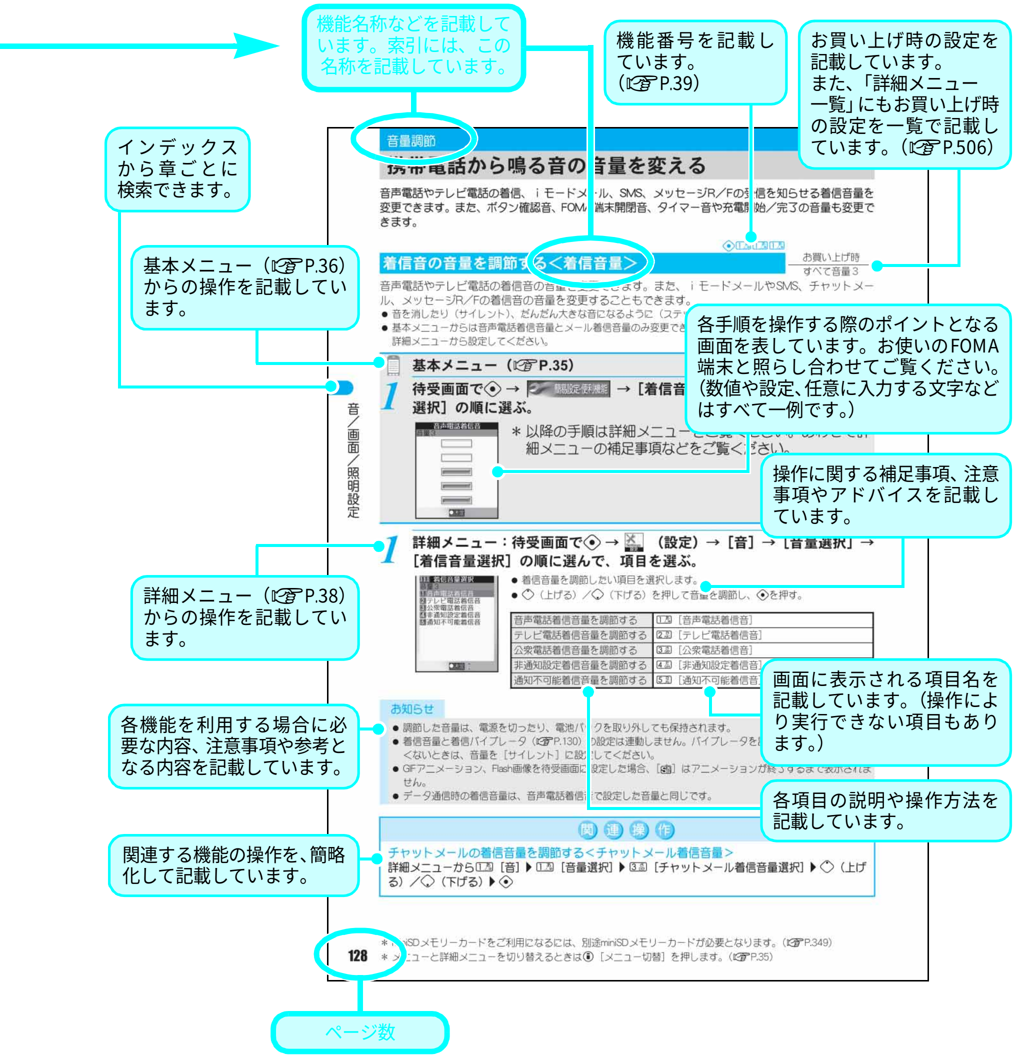



音／画面／照明設定

■音の設定

P.128「着信音量」の説明ページへ

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）



※本文中のページとは内容が異なります。

お知らせ

- 本書でのボタンの表記方法については、P.31を参照してください。
- お買い上げ時の設定については、P.506～P.514の「詳細メニュー一覧」を参照してください。
- 本書ではminiSDメモリーカードを、「miniSDメモリーカード」または「miniSD」と記載しています。

ディスプレイの表示について

- 本書では、お買い上げ時の状態をもとに説明しています。お買い上げ後の設定変更などによっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。
- Flash画像やアニメーション効果を持つアイコンなどが表示されている場合には、ディスプレイの表示が本書の表記とは異なる場合があります。

かんたん検索

知りたい機能から操作方法を調べたいときにご活用ください。

画面表示を変えたい／知りたい



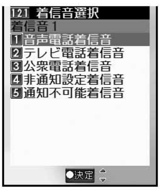
通話に便利な機能を知りたい



出られない電話にこうしたい



メロディやイルミネーションを変えたい

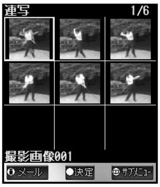


＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

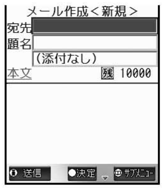
安心して電話を使いたい



カメラを使いこなしたい



メールを使いこなしたい



こんなこともできます



よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとしてまとめています。（☞P.566）

目次

DOLCE（FOMA SH851i）の特徴

FOMAとは、第３世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモードだからスゴイ！

ｉモードはｉモード端末のディスプレイを利用して、ｉモードメニューサイト（番組）やｉモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

ｉモード（月額使用料：有料）

１画面最大100Kバイトの表示に対応。コンテンツのもつ豊富な情報をより正確に再現できるようになりました。☞P.208

ｉショット対応 ☞P.260

ｉモーションメール

内蔵カメラで撮影した動画や、サイトやインターネットから取得したｉモーションをｉモードメールに添付して送れます。☞P.278

大容量Flash対応

大容量Flashに対応。よりリッチな表現が楽しめるようになりました。Flash画像を待受画面に設定することもできます。☞P.217

ｉモードメール

最大500Kバイトの静止画／動画を添付できます。
☞P.257

ｉモーション対応

サイトやインターネットから映像や音楽を取得して楽しむことができます。保存したｉモーションを「着モーション」として着信音や着信画像に設定することもできます。☞P.251

チャットメール対応 ☞P.299

フェイスtoフェイスコミュニケーション

テレビ電話

離れている相手と顔を見ながら会話をすることができます。相手の声をスピーカから聞こえるようにしたり、メインカメラに切り替えて周囲の風景を相手に見せることもできます。また通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。☞P.84

あんしん設定

各種ロック機能やセキュリティの設定で、FOMA端末を安心してお使いいただけます。

- 各種ロック機能 ☞P.159
- シークレットモード ☞P.167
- PIMロック ☞P.163
- 発着信履歴表示 ☞P.166

豊富なネットワークサービス

- デュアルネットワークサービス（月額使用料：有料）☞P.437
- 留守番電話サービス（月額使用料：有料）☞P.428
- キャッチホン（月額使用料：有料）☞P.431
- SMS（ショートメッセージ）☞P.306
- 転送でんわサービス ☞P.433

有効画素数126万画素カメラと高精細ディスプレイ

有効画素数126万画素CCDのカメラ搭載

（記録画素数：123万画素（メインカメラ）、10万画素（サブカメラ））
デジタルカメラで静止画や動画の撮影・再生を行うことができます。連写やフレーム付撮影も可能です。また、有効画素数126万画素のCCD、11万画素のCMOSサブカメラにより、自分撮りやテレビ電話を利用することもできます。☞P.176

2.4型QVGA高精細大画面液晶

豊かな表現力で、撮影した静止画、動画や文字を表示します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

多彩な機能

大きく見やすい基本メニュー

大きい文字表示で電話機能、メール機能、ｉモード、カメラ機能の基本的な操作や、簡単な設定を行うことができます。☞P.36

視野切替機能

画面が見える範囲（視野角）を狭くして、隣の人から見えにくくします。☞P.150

文字やバーコードの読み取りが可能

紙などに印刷されたURL、メールアドレス、電話番号、バーコード（JANコード、QRコード）などをカメラで読み取ることができます。読み取った文字を電話帳に登録したり、読み取った画像やメロディを再生できます。☞P.200、P.203

マルチアクセス

音声電話と一部のパケット通信（ｉモードメールの受信およびパソコンをつないだデータ通信）の複数の通信を同時にご利用いただけます。☞P.380、P.529

メロディ（64和音：PCM音源）

ダウンロードしたメロディや、声（効果音）なども着信音としてご利用いただけます。☞P.124

光るワンタッチキー

よく使う電話番号やメールアドレス、サイトやインターネットホームページのURL、各種機能（ボイスレコーダー、スケジュール、電卓、マネーカルク、ブックリーダー）を登録しておくと、待受中に簡単に呼び出して操作できます。☞P.406

アシスタントビュー

音声電話中や機能の操作中に別の機能を起動して、データを確認したりコピーできます。音声電話中に予定や電話帳を確認したり、メール作成時に電話帳のメールアドレスや電話番号を利用するときなどに便利です。☞P.382、P.529

ブックリーダー

小説や図鑑、英和辞書などの電子ブック／辞書を購入してminiSDメモリーカードに保存すると、FOMA端末で電子ブックを読んだり、単語を調べたりすることができます。☞P.369

サポートブック

FOMA端末上の簡単な操作ガイドです。FOMA端末の操作方法がわからないときに利用できます。☞P.40、P.372

パソコンとの連携

miniSDメモリーカード対応

コンパクトなminiSDメモリーカードに対応。FOMA端末とminiSDメモリーカードとの間で、データのやりとりをしたり、パソコンとの連携が可能です。miniSDメモリーカードへの直接保存による長時間の動画撮影&再生にも対応しています。外部機器で作成した動画や音楽データをminiSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生することができます。（一部条件下では再生できない場合があります。）☞P.186、P.349、P.533

DOLCE（FOMA SH851i）を使いこなす！

ここでは、FOMA SH851iの機能を紹介します。

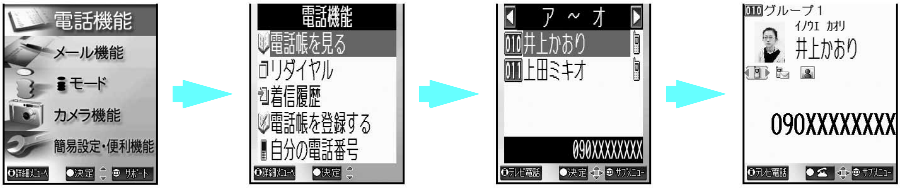
基本メニュー

☞P.35

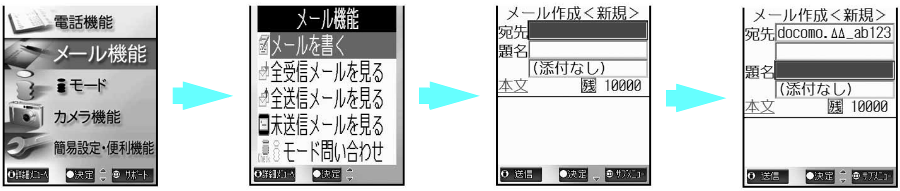
よく使う機能にすばやくアクセス

大きな文字の見やすい基本メニューから基本的な操作や、簡単な設定などを行うことができます。

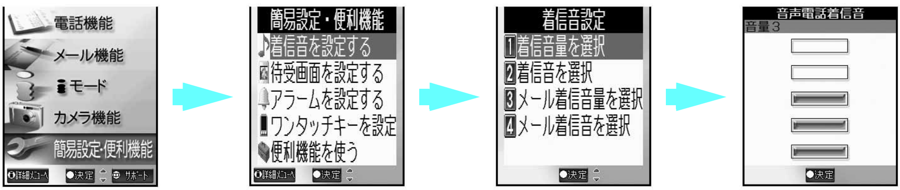
電話



メール



設定

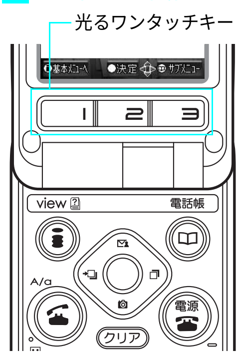


※ 途中の画面は省略しています。

光るワンタッチキー

☞P.406

登録した機能をスマートに操作

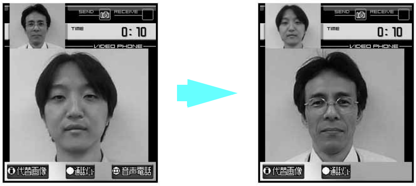


ワンタッチキーを押すだけで、登録した相手に簡単に電話をかけたりメールを作成することができます。また、登録した相手から電話がかかってきたときや未読メールがあるときに、ワンタッチキーが光ってお知らせします。
サイトやインターネットホームページのURLや、ボイスレコーダー・スケジュール・電卓・マネーカルク・ブックリーダーの機能を登録しておくこともでき、ワンタッチで簡単に呼び出すことができます。

テレビ電話 ☞P.84

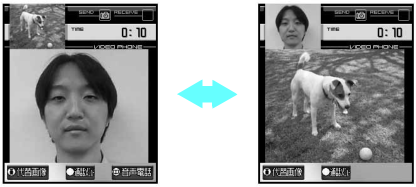
サブカメラ使用でフェイスtoフェイスコミュニケーション

お互いの顔を見ながら会話できます。



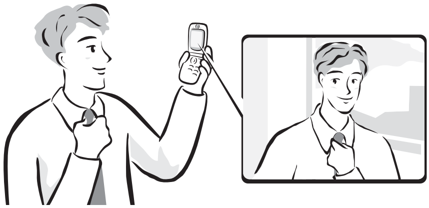
メインカメラ使用でライブ中継

メインカメラとマイクを使うと、周囲の映像＋音声をリアルタイムで相手の方にお届けできます。



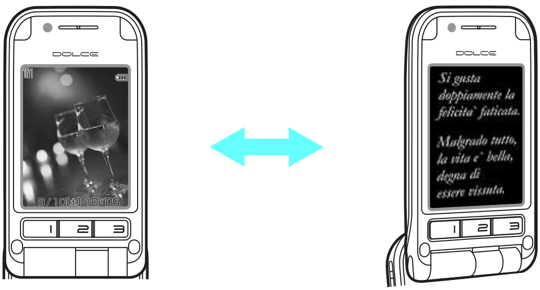
バニティミラー

テレビ電話で会話を始める前に、自分側の映像がご自分のFOMA端末に表示されます。身だしなみを整えるのに利用できます。
バニティミラー機能はテレビ電話発信時にご利用いただけます。



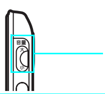
視野切替 ☞P.150

利用シーンに応じて視野角を切り替え、大切なプライバシーを保護します。



音量ボタン ☞P.72

サイド面にある音量ボタンで、会話を中断することなく音量を切り替えることができます。



省電力設定／ユーザ設定 ☞P.140

節約モードに設定したり、ユーザ設定でディスプレイの表示を設定すると、バッテリーの消費を抑え、使用時間をより長くできます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示内容の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末・電池パック・アダプタ（充電器含む）・FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指示

指定品以外のものを使用した場合、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

- 電池パック SH04
- 卓上ホルダ SH05
- FOMA ACアダプタ01
- FOMA DCアダプタ01

※その他、互換性のある商品については、ドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

濡らさないでください。

水ぬれ禁止

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

分解、改造をしないでください。
また、ハンダ付けしないでください。

分解禁止

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

禁止

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

⚠警告

ガソリンスタンドなど、引火、爆発のおそれがある場所では、使用しないでください。

禁止

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

禁止

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、ただちに次の作業を行ってください。

指示

1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

禁止

ショートによる火災や故障の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）やFOMAカードを入れないでください。

禁止

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

⚠注意

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。 指示 誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。	**湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。** 禁止 故障の原因となります。
子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示とおりに使用しているかをご注意ください。 指示 けがなどの原因となります。	**ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。** 禁止 落下して、けがや故障の原因となります。

充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、ｉモードの繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。

指示

温度の高い部分に直接長時間触れると、お客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。
FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

⚠警告

自動車などを運転中に使用しないでください。

禁止

2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、ドライブモードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

水滴がついたまま、卓上ホルダ、ACアダプタ、DCアダプタに接続しないでください。

水ぬれ禁止

火災、感電、故障などの原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

指示

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能（自動電源ON）が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については、各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられる場合があります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

指示

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

禁止

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となるおそれがあります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

禁止

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

指示

心臓に影響を与える可能性があります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

禁止

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

自動車などの運転者に向けて、ピクチャーライトを点灯発光させないでください。

禁止

目がくらんで運転できなくなり、事故の原因となります。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

指示

落雷、感電の原因となります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

指示

難聴になる可能性があります。

⚠注意

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

指示　安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

禁止　キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

禁止　本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

FOMA端末を閉じるときは、ストラップやカードなどを挟まないでください。

禁止　ディスプレイなどを破損する原因となります。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

指示　下記の箇所に金属（クロムメッキ）を使用しています。
決定ボタン、接写レバー、外部接続端子、充電端子、メインカメラ周りの飾り部分、マルチガイドボタンの周り部分、FOMA端末周囲の飾り部分、miniSDメモリーカードスロットカバーの内部に金属（クロムメッキ）を使用しています。

内蔵カメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。

禁止　レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。

背面に付着物がないことを確かめてからご使用ください。

指示　背面に搭載されているスピーカ部の磁石に画鋲やピンなどの金属が付着した場合、思わぬけがの原因となります。

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

禁止　火災、感電、故障の原因となります。

FOMA端末のminiSDメモリーカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

禁止　火災、感電、故障の原因となります。

ピクチャーライトをカメラ撮影以外の用途に使用しないでください。

禁止　カメラが終了するとピクチャーライトは消灯します。急に暗くなり、事故の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

水、雨水、海水、ペットの尿などで濡れた電池パックを充電したり、使用したりしないでください。

水ぬれ禁止　電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火の中に投下しないでください。

禁止　電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

禁止　電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

指示　失明などの原因となります。

電池パックをFOMA端末や電池パック充電器に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

禁止　電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

禁止　電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠警告

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

指示　電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。

指示　皮膚に傷害を起こす原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

指示　漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

禁止　発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

アダプタ（充電器含む）の取り扱いについて

⚠警告

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

禁止

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。

禁止

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

アダプタ（充電器含む）を水、雨水、海水、ペットの尿などで濡れやすい場所で絶対に使用しないでください。

水ぬれ禁止

発熱、発火などの事故や故障（充電不良など）の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダ、電池パック充電器は、風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。

禁止

感電の原因となります。

タコ足配線はしないでください。

禁止

火災、感電、故障の原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

禁止

アダプタ（充電器含む）の破損などによるけが、感電、発熱の原因となります。

発火事故防止のため、引火性ガスが発生する場所では、絶対に充電しないでください。

禁止

爆発や火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードを熱器具に近づけないでください。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードの被覆がとけて、火災、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。

禁止

落雷、感電の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

禁止

感電、発熱、火災の原因となります。

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指示

誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指定の電源、電圧で使用してください。

指示

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ01を使用してください。
ACアダプタ：AC100V（国内の家庭用交流100Vコンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

プラグについたほこりは、拭き取ってください。

指示

火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

感電、火災、故障の原因となります。

⚠警告

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

感電、発煙、火災の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

禁止

火災の原因となります。

自動車のシガーライタソケットの中が灰などで汚れていると接触不良によりプラグ部分が熱くなることがあります。お使いになる前に必ずきれいにしてください。

指示

感電、ショート、火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

指示

感電、ショート、火災の原因となります。

電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。

禁止

破損し、感電や故障の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。

禁止

タコ足配線などで定格を超えると、発熱、火災の原因となります。

⚠注意

アダプタ（充電器含む）は温度５℃～35℃の範囲でご使用ください。

指示

この温度範囲以外では、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火する原因となります。また、性能や寿命を低下させる原因となります。

お手入れの際は、プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。

電源プラグを抜く

感電の原因となります。

コンセントやシガーライタソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、アダプタ（充電器含む）のコードや電源プラグが熱いときは使用を中止してください。

指示

そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）コードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。

指示

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。

水ぬれ禁止

電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。

禁止

感電、火災の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

指示　電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

指示　電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

指示
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、FOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内ではFOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

指示　電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

FOMAカード（IC部分）を取り外す際にご注意ください。

指示　手や指を傷つける可能性があります。

取り扱い上の注意について

共通のお願い

- 水をかけないでください。FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。お取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。（特に、電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。）
- トラックや車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。
- 汚れやすいところに置かないでください。
- FOMA端末の背面（スピーカ部）および受話口に磁気を発生する部品を使用していますので、キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 充電端子はときどき乾いた綿棒で清掃してください。
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- FOMA端末は周囲温度（5℃～35℃）の範囲でご使用ください。
- エアコンの吹出し口の近くに置かないでください。急激な湿度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。
  多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。また、液晶画面やボタンに砂ホコリなどが付着していますと、液晶画面に傷が付くことがありますので定期的に清掃を行ってください。
- 電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

FOMA端末についてのお願い

- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。故障の原因となります。
- ストラップなどを挟んだままFOMA端末を折りたたまないでください。故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。FOMA端末は周囲温度（5℃～35℃）、湿度（45%～85%）の範囲でご使用ください。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 連続通話や連続カメラ撮影により温かくなることがありますが、異常ではありません。
- miniSDメモリーカードスロットカバーを開いたままで使用、放置すると、衝撃により破損する場合があります。miniSDメモリーカードを取り付けたり、取り外したあとは、必ずminiSDメモリーカードスロットカバーを閉じてください。
- カメラを直射日光に向けて放置しないでください。素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- ディスプレイ面やダイヤルボタンのある面に厚みのあるシールなどを貼らないでください。故障の原因となります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 電池パックの寿命の目安は約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。
- 電池パックの端子を金属などでショートさせると大電流が流れて発熱することがありますので、取り扱いにはご注意ください。
- はじめてお使いのときや長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末またはアダプタ（充電器含む）から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。
- 電池パックは、電池残量なしの状態で保管・放置をしないでください。長時間放置される場合はFOMA端末から外し、乾燥した冷暗所に保存してください。また、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが若干膨れる場合がありますが問題ありません。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 電池パックを充電するときは、必ず専用のアダプタ（充電器含む）を使用してください。専用以外のアダプタ（充電器含む）を使うと、事故の原因となります。また、アダプタ（充電器含む）を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが異常ではありません。そのままご使用ください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - ■ 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■ 一般の電話機やテレビ・ラジオの近く
- DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。故障の原因となります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

FOMAカードについてのお願い

- 極端な高温・低温は避けてください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- 取り付け取り外しには、ご注意ください。
  FOMAカードの取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 他のＩＣカードリーダライタなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。故障の原因となります。

人工皮革についてのお願い

取り扱い上の注意事項

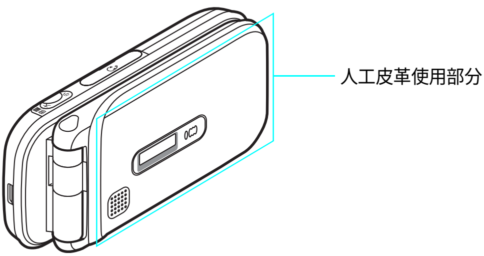
- 表面が柔らかいため、鋭利な金属や木片などで傷を付けますと傷が残ります。ナイフなどの傷を付けやすいものや、キリや目打ちなどの先の鋭いもので傷を付けないでください。
- 爪や金属の断面で擦るようなことはしないでください。表面が破れてしまう場合があります。
- シンナーなど揮発性の高いものや、接着剤など表面を侵すものの塗布はおやめください。
- 温度の高いものを押し当てますと痕が残りますので、ご注意ください。
- 口紅やペンキなどの色の濃いものを付着させると着色してしまいますので、付着させないようにご注意ください。
- ミカン果汁など柑橘類の果汁により表面が侵食されることがありますので、付着させないようにご注意ください。
- 人工皮革の取り扱いにつきましては、優しくお取り扱いいただくようお願いいたします。

保管方法

- 高温多湿での保管は避けてください。
- 直射日光の当たる場所での保管は避けてください。
- 長期保存の場合は、箱に入れるなど光が当たることを避けてください。また温度が20°C前後の場所に保管してください。

手入れ方法

- 汚れた場合は、柔らかい布で拭いてください。
- 皮革用のクリームなどを使用すると、変色する恐れがあります。使用しないでください。



知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

商標について

- 「FOMA」、「mova」、「ｉメロディ」、「mopera」、「mopera U」、「ｉアプリサーチ」、「ｉエリア」、「FirstPass」、「デコメール」、「着モーション」、「ｉショット」、「マルチアクセス」、「ｉモーションメール」、「ｉアプリ」、「ｉモーション」、「ｉモード」、「ｉアニメ」、「ショートメール」、「WORLD WING」、「ドライブモード」、「DoPa」、「WORLD CALL」、「デュアルネットワーク」、「ビジュアルネット」、「Vライブ」、「クイックキャスト」、「セキュリティスキャン」、「musea」、「sigmarion」、「ｅビリング」、「メッセージF」、「トクだねニュース便」、「My DoCoMo」、「マルチナンバー」、「mova」ロゴ、「i-mode」ロゴ、「i-motion」ロゴ、「FOMA」ロゴ、「WORLD CALL」ロゴ、「FirstPass」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- NetFront及びNetFrontは、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
（Windowsの正式名称は、Microsoft Windows operating systemです。）
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- AVE-TCPは、株式会社ACCESSの日本国およびその他の国における登録商標または商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国内外における商標または登録商標です。
- miniSD™マークは、SDアソシエーションの商標です。
- Powered by JBlend™ © 1997-2005 Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよび®は、シャープ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、インターネット機能としてNetFront v3.2 for FOMAを搭載しています。
  NetFront v3.2は、株式会社ACCESSの製品です。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、簡易ウィンドウマネージャ機能ソフトウェアとして、株式会社ACCESSのWAVEを搭載しています。

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
  - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。
  - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを複号すること。
  - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。

  その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
  - タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
  - 永久記録および／または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。

  追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記の１件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations ;

4,901,307	5,490,165	5,056,109	5,504,773	5,101,501	5,506,865
5,109,390	5,511,073	5,228,054	5,535,239	5,267,261	5,544,196
5,267,262	5,568,483	5,337,338	5,600,754	5,414,796	5,657,420
5,416,797	5,659,569	5,710,784	5,778,338		

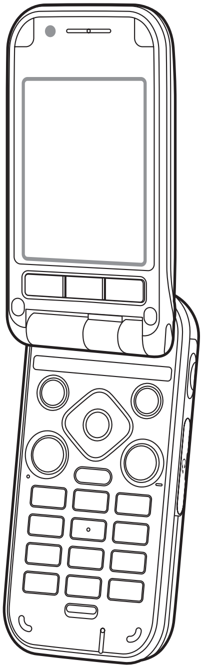
- 本製品のインターネット通信機能は、株式会社ACCESSのAVE-TCPを搭載しています。

- 本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash™テクノロジーを搭載しています。

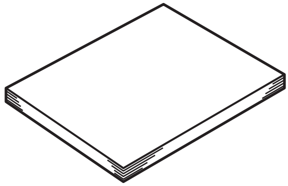
- 「CP8 PATENT」

本体付属品および主なオプション品について

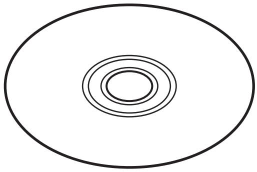
本体付属品



FOMA SH851i本体
（保証書・リアカバー SH05含む）

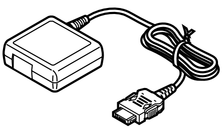


FOMA SH851i
USER GUIDE（本書）
※P.566にクイックマニュアル
を記載しております。

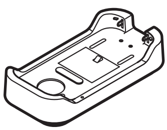


FOMA SH851i用
CD-ROM

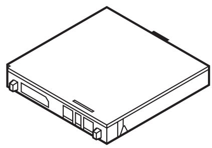
主なオプション品



FOMA ACアダプタ01
（保証書・取扱説明書付き）



卓上ホルダ SH05
（取扱説明書付き）

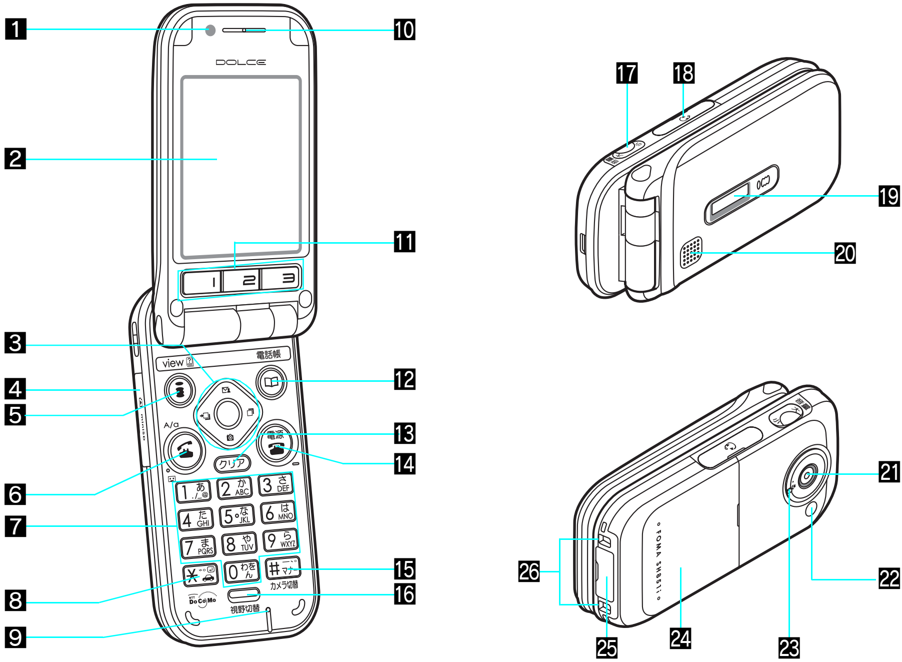


電池パック SH04
（取扱説明書付き）

※ その他のオプション品については、P.531を参照してください。

ご使用前の確認

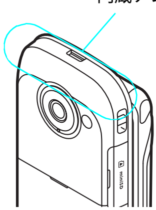
各部の名称と機能



※ 表面のデザインが異なる場合があります。

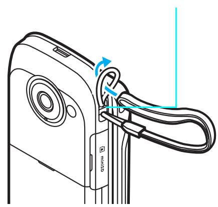
内蔵アンテナ部分について

- FOMA端末のアンテナは本体に内蔵されています。
- 内蔵アンテナ部分は、手で触れたり覆わないようにしてお使いください。
- 内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。通話品質が悪くなります。



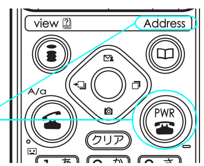
市販のストラップを取り付けるとき

- FOMA端末を閉じた状態で、ストラップをストラップ取付口に通し、反対側を輪になっているところへ通します。



オレンジ、ホワイト、ライトブルーのFOMA端末をお買い上げになった方へ

- 本FOMA端末は、端末の色によってボタン名表記が異なります。
  本書はブラックのFOMA端末を基準に表記していますので、オレンジ、ホワイト、ライトブルーのFOMA端末については右図を参照してください。



＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.349)
＊ メニューを切り替えるときは🅘［🅘基本メニューへ］または［🅘詳細メニューへ］を押します。(☞P.35)

1 サブカメラ
テレビ電話時（☞P.84）に自分側の映像を相手に送信したり、ご自分を撮影（☞P.176）するときに使用します。

2 ディスプレイ（☞P.32）

3 マルチガイドボタン（4方向ボタン&決定ボタン）（☞P.31）
機能メニュー、リダイヤル、着信履歴、メール機能、カメラ機能を表示・選択するときや操作を実行・決定するときに押します。

4 miniSDメモリーカードスロットカバー
この中にminiSDメモリーカードを挿入するスロットがあります。（☞P.350）
ご利用時は必ずカバーを閉じてお使いください。

5 iモード／操作ガイダンス用ボタン／アシスタントビューボタン
- テレビ電話をかけたり受けたりするときに押します。（☞P.85、P.89）
- iモードを利用するときに押します。（☞P.208）
- 画面左下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します。（☞P.31）
- 音声電話の通話中や操作中に1秒以上押すと、アシスタントビューを起動し、電話帳やメールなどほかの機能のデータを確認できます。（☞P.382）
- 待受画面で1秒以上押すと、サポートブック（内蔵）が表示されます。（☞P.40）

6 開始／ハンズフリーボタン
- 音声電話をかけるときや受けるときに押します。
- 音声電話の通話中に1秒以上押すとハンズフリーに切り替わります。（☞P.57）
- テレビ電話の通話中に押すとハンズフリーに切り替わります。（☞P.87）

7 ダイヤル／文字入力ボタン
- 電話番号を入力するときに押します。（☞P.56）
- 文字を入力するときに押します。（☞P.488）
- 1を1秒以上押すと、メモ再生・録音ができます。（☞P.80、P.413）
- 数字を先に押して機能を呼び出すことができます（クイック）。（☞P.133、P.385、P.387、P.394、P.414）

8 ✱／改行／ドライブモードボタン
- [✱] や、[゛] （濁点）、[゜] （半濁点）を入力したり改行するときに押します。（☞P.489）
- 1秒以上押すと、ドライブモードを設定／解除します。（☞P.74）

9 送話口
ご自分の声をここから伝えます。

10 受話口
- 相手の声がここから聞こえます。
- 待受中に伝言メモ／音声メモの録音内容がここから聞こえます。

11 光るワンタッチキー／着信ランプ
1 2 3
- ワンタッチキーに登録したり、登録した機能を実行するときに押します。（☞P.406）
- 登録している相手から着信があった場合や未読メールがあると点滅します。

12 電話帳ボタン／操作ガイダンス用ボタン
- 電話帳を利用するときに押します。（☞P.99）
- 1秒以上押すと、電話帳登録画面が表示されます。（☞P.100）
- 画面右下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します。（☞P.31）

13 クリア クリア
- 入力した電話番号や文字などを削除するときに使います。（☞P.492）
- 前のメニューやページに戻るときに押します。
- 待受画面にGIFアニメーション、Flash画像を設定しているときに押すと、再生／一時停止できます。iモーションを設定しているときに押すと、再生／停止できます。

14 電源／終了／応答保留ボタン
- 電源を入れる／切るときに2秒以上押します。（☞P.51）
- 通話やiモードを終了するとき、着信時の応答を保留するときに押します。（☞P.72）

15 #／マナーモード／カメラ切替ボタン
- [#] や [ー] （長音）、[、] （読点）、[。] （句点）、[!] （感嘆符）、[?] （疑問符）、[・] （中点）を入力するときに押します。
- 1秒以上押すと、マナーモードを設定／解除します。（☞P.133）
- 撮影時はメインカメラとサブカメラを切り替えます。（☞P.190）

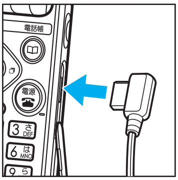
16 視野切替ボタン
- 視野切替の設定／解除します。（☞P.150）
- 1秒以上押すと、視野切替設定画面が表示されます。（☞P.151）

ご使用前の確認

次ページへ続く

⑰ 音量ボタン大Ⓐ／音量ボタン小Ⓥ
- 待受画面や通話中に押すと、音量を調節できます。（☞P.129、P.72）
- 「ブラウザ」「メール」「ブックリーダー」を表示中に押すと、ページスクロールができます。
- 待受画面にｉモーションを設定しているときに押すと、再生中の音声の有無を切り替えます。Ⓐを押すと音声あり、Ⓥを押すと音声なしとなります。（☞P.135）
- FOMA端末を閉じた状態で押すと、サブディスプレイの表示を切り替えます。（☞P.34）
- FOMA端末を閉じた状態で1秒以上押すと、ピクチャーライトが点灯／消灯します。点灯中に押すと、ライトの色が「白、赤、緑、青、黄色、紫、水色」の順に切り替わります。約30秒たつか、FOMA端末を開くと消灯します。
- FOMA端末を閉じた状態で着信すると、サブディスプレイに電話番号や名前などが表示されます。末尾に［▶］が表示されているときに音量ボタンを押すと、続きの文字が表示されます。
- FOMA端末を閉じた状態で着信中に1秒以上押すと、マナーモードを設定／解除します。

⑱ イヤホンマイク端子
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続します。（☞P.422）
イヤホンジャック変換アダプタP001（別売）を使用すると、従来のスイッチ付イヤホンマイク（別売）なども利用できます。



⑲ サブディスプレイ（☞P.32）

⑳ スピーカ
- 着信音などが鳴ります。
- 音声電話／テレビ電話のハンズフリー通話時に相手の声を聞くことができます。

㉑ メインカメラ
周囲を撮影したり、テレビ電話時に周囲の映像を相手に送信したりするときに使います。

㉒ ピクチャーライト／着信／充電ランプ
- 暗い場所での撮影を補助するライトです。（☞P.190）
- 電話がかかってくると点滅します。
- 充電中は点灯します。
- FOMA端末を開いているとき、省電力設定のユーザ設定の画面表示時間設定で［ランプ表示あり］に設定すると黄色で点滅します。（☞P.141）

㉓ 接写レバー
カメラ撮影の接写モードと通常モードを切り替えます。（☞P.188）

㉔ リアカバー（☞P.45）

㉕ 外部接続端子
ACアダプタ／DCアダプタ（☞P.48）、FOMA USB接続ケーブル（別売）など外部機器を接続するための端子です。

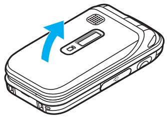
㉖ 充電端子
卓上ホルダで充電するための端子です。（☞P.49）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

FOMA端末の開きかた

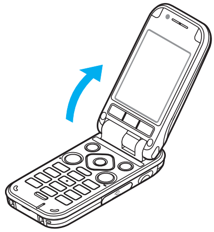
FOMA端末は以下の図のように開きます。
- 携帯するときは、操作１の図のようにFOMA端末を閉じておくことをおすすめします。

1

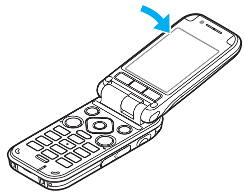


両手で持って軽く開く。

2



3



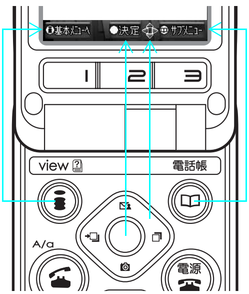
ディスプレイを最後まで開く。

お知らせ

- イヤホンマイク端子、miniSDメモリーカードスロットカバーおよび外部接続端子のゴムカバーは、無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。

マルチガイドボタンなどの操作方法と操作ガイダンス

メニューの選択や決定には、マルチガイドボタン（４方向ボタン＆決定ボタン）を使います。
４方向ボタンでカーソルを移動させ、決定ボタンで決定します。また、サブメニュー表示には電話帳ボタン（右ガイダンスボタン）、操作の完了などにはｉモードボタン（左ガイダンスボタン）を使います。これらのボタンは、場面によって割り当てられている機能が異なるため、その場面で割り当てられている機能を、操作ガイダンスとして画面下部に表示しています。



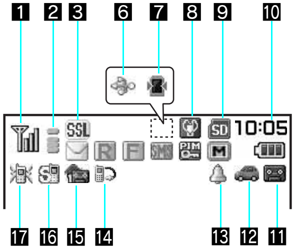
ボタン	説　明
	画面左下に表示されている機能を実行します。（ガイダンスボタン）
	画面中央下に表示されている機能を実行します。（ガイダンスボタン）待受画面で１秒以上押すと、サイドボタン（音量ボタン）のボタン操作無効を設定／解除します。
	画面右下に表示されている機能を実行します。（ガイダンスボタン）
	カーソルを上に移動します。待受画面で押すとメールメニューが表示されます。（☞P.262）１秒以上押すと、メール作成<新規>画面が表示されます。（☞P.263）
	カーソルを下に移動します。待受画面で押すとカメラモードになります。（☞P.181）１秒以上押すと、データBOXのマイピクチャ画面が表示されます。（☞P.316）
	カーソルを左に移動します。また、前の画面に戻ります。待受画面で押すと着信履歴が表示されます。
	カーソルを右に移動します。また、次の画面に進みます。待受画面で押すとリダイヤルが表示されます。

- 本書で、、と表記しているときは、４方向ボタンの対応する部分を押します。

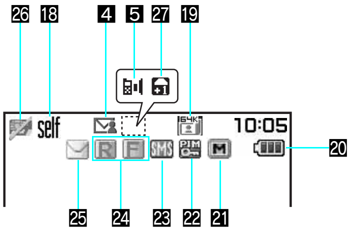
ディスプレイの見かた

電源を入れたときや機能の設定中などに、現在の状態を確認できます。
何かのボタンを押すと、一定時間ディスプレイの照明が点灯します。お買い上げ時は、[15秒] に設定されています。(☞P.140)

ディスプレイ上部に表示されるマーク



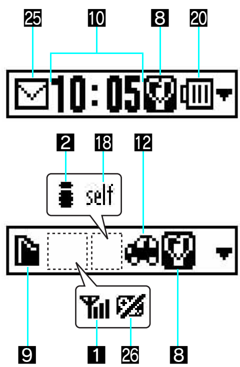
ディスプレイ上部に表示されるマーク



ディスプレイ下部に表示されるマーク



サブディスプレイに表示されるマーク



1 電波状態表示（☞P.56）
電波の強さの目安を表示します。

2 ｉモード表示（☞P.212）
ｉモードの状態を表示します。

3 SSL表示（☞P.214）
SSLに対応しているサイトやインターネットホームページを表示中に表示します。

4 アシスタントビュー表示（☞P.382）
アシスタントビューを起動してデータを確認しているときに起動元アプリケーション種別を表示します。

- ：ToDoリスト
- ：電話帳
- ：テキストメモ
- ：スケジュール
- ：メール
- ：通話中
- ：ｉモード中

5 外部機器通信中表示
外部機器を接続しての通信中に表示します。

- (緑色)：外部機器を接続し、パケット通信中
- (赤色)：外部機器を接続し、パケットデータ送受信中
- ：外部機器を接続し、64Kデータ通信中

6 外部機器接続表示（☞P.446）
パソコンなどの外部機器を接続しているときに表示します。

- ：外部機器を接続中
- (緑色)：車載ハンズフリー中（☞P.66）

7 視野切替表示（☞P.150）
視野切替が［ON］のときに表示します。

8 マナーモード表示（☞P.133）
マナーモード設定中に表示します。

9 miniSDメモリーカード表示（☞P.349）
miniSDメモリーカードを装着しているときに表示します。

- (グレー)：miniSDメモリーカードを挿入中
- (ピンク)：miniSDメモリーカード内のデータを参照中
- (点滅)：miniSDメモリーカードにアクセス中

10 時計表示（☞P.52）
設定されている時刻を表示します。

11 伝言メモ表示（☞P.77）
音声電話伝言メモまたはテレビ電話伝言メモを設定しているときに表示します。伝言メモが録音されているときは、両方の件数を合わせ、［1～4］と表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは［基本メニューへ］または［詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

⑫ ドライブモード表示（☞P.74）
ドライブモードを設定しているときに表示します。

⑬ アラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラーム表示（☞P.385、P.398、P.391）
その日にスケジュールアラーム、ToDoアラームまたはアラームが設定されているときに表示します。

⑭ イヤホンマイク接続表示（☞P.424）
オート着信設定中に、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときに表示します。

⑮ 留守番電話新メッセージあり
（☞P.430）
留守番電話の録音件数（1～9件）を表示します。
録音件数が10件以上のときはが表示されます。

⑯ サイレント表示（☞P.128）
音声電話着信音量を［サイレント］に設定しているときに表示します。

⑰ バイブレータ表示（☞P.130）
バイブレータを設定しているときに表示します。

⑱ セルフモード表示self（☞P.163）
セルフモードを設定し、電話の発信、着信、ｉモードメール／SMSの送受信、ｉモードの機能を使えないようにしたときに表示します。

⑲ 音声／テレビ電話中表示
（☞P.56、P.57、P.84）
音声電話中やテレビ電話の通話の状態を表示します。
- ：テレビ電話（32K）中
- ：テレビ電話（64K）中
- ：音声電話中
- （赤色）：ハンズフリー（テレビ電話32K）中
- （赤色）：ハンズフリー（テレビ電話64K）中
- （赤色）：ハンズフリー（音声電話）中

⑳ 電池残量／充電中表示
電池パックの状態を表示します。
／（☞P.50）

㉑ メモリ警告表示（☞P.366）
メモリの状態を表示します。
- （黄色）：メモリの空き容量が800Kバイト未満になったときに表示されます。
- （赤色）：メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示されます。

㉒ 制限表示（☞P.167、P.159）
各種制限の設定状態を表示します。
- ：シークレットモード
- ：シークレットデータ編集中
- ：ダイヤル発信制限中
- ：オールロック中
- ：PIMロック中
- ：ダイヤル発信制限とPIMロックを設定中
- ：サイドボタン操作無効設定中

㉓ SMS受信表示（☞P.309）
SMSの受信状態を表示します。
- （赤色）：SMSを受信したときに表示されます。
- （黒色）：FOMA端末（本体）のSMSがいっぱいのときに表示されます。
- （青色）：FOMAカードのSMSがいっぱいのときに表示されます。
- （黄色）：FOMA端末（本体）とFOMAカードのSMSがいっぱいのときに表示されます。

㉔ メッセージRアイコン、メッセージFアイコン表示RF（☞P.240）
メッセージR／F受信状態、センターのメッセージR／F保管状態を表示します。ただし、センター保管中でも表示されないことがあります。

㉕ ｉモードメール受信表示
（☞P.270）
ｉモードメールの受信状態、センターのｉモードメールの保管状態を表示します。ただし、センター保管中でも表示されないことがあります。また、受信メールを保存するメモリの状態を表示します。

㉖ FOMAカードエラー表示
FOMAカードのエラーを表示します。
- ：FOMAカードが挿入されていないとき、またはFOMAカードに異常があるときに表示されます。
- ：FOMAカード以外のカードを挿入したときに表示されます。

㉗ テレビ電話中明るさ表示
テレビ電話中のカメラの明るさを表示します。

−2	−1	+1	+2

明るさが±0のときは表示されません。

㉘ 操作ガイダンス
、、などのボタン操作で利用できる機能を表示します。

㉙ 画面ナビゲーション
マルチガイドボタンで切り替えられる画面の方向などを表示します。
- サイトの作りかたによっては、この限りではありません。

その他のマークについて

次の機能をご利用時に表示されるマークについては、各機能のページを参照してください。

- 着信履歴（☞P.70）
- カメラモード（☞P.179～P.181）
- メール（☞P.281～P.285）
- SMS（☞P.281～P.285）
- 電話帳（☞P.101）
- メッセージR／F（☞P.240～P.245）
- データBOXのマイピクチャ（☞P.318～P.319）

お知らせ

- FOMA端末上では、miniSDメモリーカードは［miniSD］または［SD］と表示されます。（☞P.349）
- 本書内で記載しているディスプレイの表示は、一部変形・省略しているものもあります。
- 本FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

ディスプレイの表示を切り替える

カレンダー表示を設定しているときに待受画面で[電源]を押すと、待受画面表示とカレンダー表示が切り替わります。（カレンダー表示設定☞P.136）



待受画面表示



カレンダー表示の例
（2ヶ月表示）

- ［2ヶ月］に設定すると、今月と次月のカレンダーが表示されます。［6ヶ月］に設定すると、今月を含む2ヶ月単位で、奇数月を先頭に、6ヶ月分のカレンダーを表示します。[大]／[小]を押すと、前後の月のカレンダーを表示します。6ヶ月表示の場合は、前後2ヶ月分のカレンダーが表示されます。
- 待受画面にGIFアニメーションやFlash画像、iモーションを設定しているとき、カレンダーに切り替えると、待受画面の画像が停止します。
- ［1ヶ月（大）］を設定しているときは、スケジュールが設定されている日付の右側にアイコン表示されます。

サブディスプレイの表示を切り替える

FOMA端末を閉じた状態で[大]／[小]を押すと、サブディスプレイの表示が、次の順番で切り替わります。



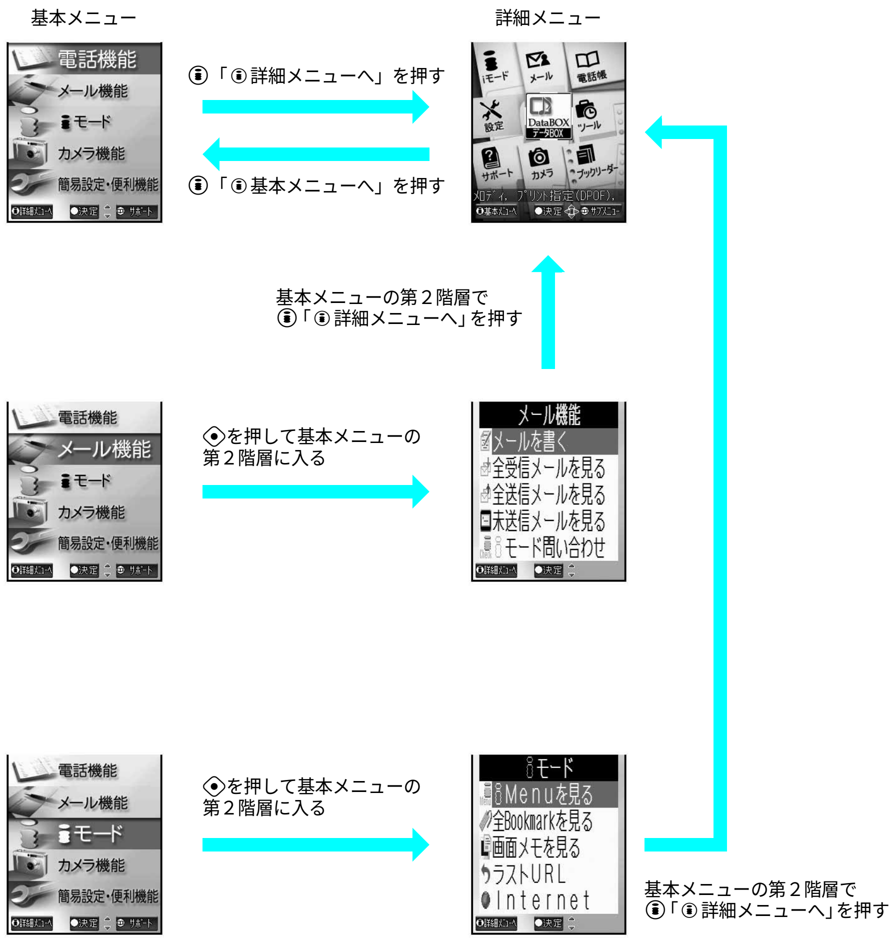
- 「状態表示」、「日付＋時刻」を表示した場合は、約10秒後に「状態表示＋時刻」表示に戻ります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは[i]［[i]基本メニューへ］または［[i]詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

メニューの選択方法

機能の設定や登録は、メニューを表示させてから行います。

● メニューを表示させるには、待受画面で◈を押します。
● メニューには、わかりやすい大きな文字表示からよく使う機能をすぐに選択できる「基本メニュー」（☞P.36）と、本FOMA端末の全機能を利用できる「詳細メニュー」（☞P.38）が用意されています。「基本メニュー」と「詳細メニュー」は、いつでも切り替えることができます。
  ■ 基本メニューの第1階層、第2階層で操作ガイダンスのⓘ「ⓘ詳細メニューへ」を押すと、詳細メニューの第1階層に切り替わります。
  ■ 詳細メニューの第1階層で操作ガイダンスⓘ「ⓘ基本メニューへ」を押すと、基本メニューの第1階層に切り替わります。
  ■ 機能を選び直すには、クリアを押してください。
  ■ 待受画面で◈を押したときは、最後に表示したメニューと同じメニューが表示されます。



● ダイヤル／文字入力ボタンで機能番号を入力して機能を呼び出すこともできます。（☞P.39）
● 操作ガイダンスに表示されるサブメニューから機能を呼び出すこともできます。（☞P.40）

基本メニューから機能を選択する＜基本メニュー＞

本FOMA端末では、大きな文字の見やすい基本メニューから基本的な操作や、簡単な設定などを行うことができます。

メニュー	機　能		表示される画面	ページ
電話機能	電話帳を見る		電話帳検索画面	P.114
	リダイヤル		１件表示画面	P.59
	着信履歴		１件表示画面	P.70
	電話帳を登録する		電話帳入力画面	P.102
	自分の電話番号		電話番号表示画面	P.54
メール機能	メールを書く		メール作成画面	P.263
	全受信メールを見る		受信BOX	P.280
	全送信メールを見る		送信BOX	
	未送信メールを見る		未送信BOX	
	ｉモード問い合わせ		ｉモード問い合わせ画面	P.242
ｉモード	ｉMenuを見る		ｉMenu	P.212
	全Bookmarkを見る		Bookmark一覧画面	P.226
	画面メモを見る		画面メモ一覧画面	P.229
	ラストURL		ラストURL画面	P.215
	Internet		URL入力画面	P.223
カメラ機能	写真を撮る		静止画撮影画面	P.181
	写真を見る		データBOXのマイピクチャのフォルダ一覧（本体）	P.316
	映像を撮る		動画撮影画面	P.181
	映像を見る		データBOXのｉモーションのフォルダ一覧（本体）	P.333
	バーコードリーダー		バーコードリーダー画面	P.200
簡易設定・便利機能	着信音を設定する	着信音量を選択	音声電話着信音音量設定画面	P.128
		着信音を選択	音声電話着信音設定画面	P.124
		メール着信音量を選択	メール着信音音量設定画面	P.129
		メール着信音を選択	メール着信音設定画面	P.125
	待受画面を設定する		待受画面設定画面	P.135
	アラームを設定する		アラーム登録画面	P.385
	ワンタッチキーを設定		ワンタッチキー設定画面	P.407
	便利機能を使う	ボイスレコーダー	ボイスレコーダー画面	P.367
		スケジュール	カレンダー画面	P.394
		電卓	電卓画面	P.413
		マネーカルク	マネーカルク画面	P.415
		ブックリーダー	ブックリーダー一覧画面	P.369

お買い上げ時は、待受画面で◉を押すと、基本メニューが表示されます。◇で機能を選んで◉を押します。

- 機能を選び直すには、クリアを押してください。
- 基本メニューの第１階層、第２階層で操作ガイダンスのⓘ「ⓘ詳細メニューへ」を押すと、詳細メニューの第１階層に切り替わります。
- 待受画面で◉を押したときは、最後に表示したメニューと同じメニューが表示されます。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

操作例

電話をかける（［フリガナ検索］を選ぶ場合）



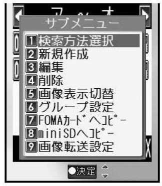
［電話機能］



［電話帳を見る］



［電話帳一覧画面］



［検索方法選択］



［フリガナ検索］



［内容表示画面］

電話帳 ☞P.99

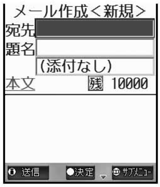
メールを書く



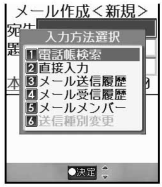
［メール機能］



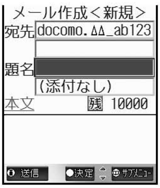
［メールを書く］



（メール作成画面）



［入力方法］を選んで宛先を入力する



題名や本文を入力して送信する

メール ☞P.255

お知らせ

- 電話帳は大きな文字のリストで表示されます。
- データBOXの画像一覧画面の表示を変更することはできますが、再び基本メニューから操作すると、画像は9分割の一覧画面で表示されます。
- カメラ撮影時の操作については、P.183以降を参照してください。

詳細メニューから機能を選択する

９つのアイコンに分類されたメニューから機能の利用や設定を行うことができます。
（設定メニューについては、P.506〜P.514を参照してください。）

- アイコンを選ぶと、操作ガイダンスの上に機能内容がスクロールして表示されます。
- アイコンは変更できます。（アイコン設定☞P.146）

アイコン	メニュー	機　能
	iモード	1 iMenu
		2 メッセージ
		3 Bookmark
		4 iモード問い合わせ
		5 画面メモ
		6 ラストURL
		7 URL履歴
		8 Internet
		9 iモード設定
	メール	1 受信BOX
		2 送信BOX
		3 未送信BOX
		4 新規メール作成
		5 新規SMS作成
		6 チャットメール
		7 iモード問い合わせ
		8 SMS問い合わせ
		9 メール選択受信
		0 メール設定
	電話帳	電話帳検索
	設定	1 音
		2 表示
		3 一般設定
		4 サービス
		5 通話・通信機能設定
		6 セキュリティ
		0 電話番号表示
		＊ 初期設定
		＃ 設定リセット

アイコン	メニュー	機　能
	データBOX	1 マイピクチャ
		2 iモーション
		3 メロディ
		4 プリント指定（DPOF）
		＊ セキュリティ設定
	ツール	1 ボイスレコーダー
		2 スケジュール
		3 ToDoリスト
		4 アラーム
		5 タイマー
		6 テキストメモ
		7 電卓
		8 マネーカルク
		9 miniSD管理
		0 バーコードリーダー
		＊ 文字読み取り
	サポート	サポートブック
	カメラ	1 静止画撮影
		2 動画撮影
		3 文字読み取り
		4 バーコードリーダー
	ブックリーダー	ブック／辞書

待受画面で⊙を押し、◇で目的のメニューやアイコンを選んで⊙を押します。さらに◇で機能を選んで⊙を押します。

- 機能を選び直すには、クリアを押してください。
- 詳細メニューの第１階層で操作ガイダンスi「i基本メニューへ」を押すと、基本メニューの第１階層に切り替わります。
- 待受画面で⊙を押したときは、最後に表示したメニューと同じメニューが表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはi［i基本メニューへ］または［i詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

■ 操作例



（待受画面）

→ ◉ →



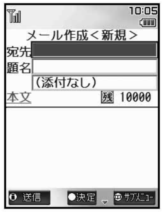
（詳細メニュー）

→ ◉◉ →



［メール］
を選んだ場合

→ ◉◉ →



［新規メール作成］
を選んだ場合

機能番号を入力して機能を呼び出す

待受画面で◉を押したときに詳細メニューが表示される場合、機能番号を入力してすばやく目的の機能を呼び出すことができます。
本書では、機能番号の入力で呼び出せる機能については、見出しの右側に機能番号を記載しています。
機能番号の最初の番号は、各種設定が１～６、データBOXが７、ツールが８、ブックリーダーが９となっています。
また、◉→０で電話番号表示、◉→＊で日時設定、◉→#で設定リセットを呼び出すこともできます。
各機能の機能番号（ボタン操作）については、P.506～P.514を参照してください。ここでは機能番号［1211］の［音声電話着信音］を例に説明します。

例：◉[1][2][1][1]と記載されている場合

1 待受画面で◉を押す。

- 基本メニューが表示された場合は、ⓘ［ⓘ詳細メニューへ］を押して詳細メニューに切り替えてください。

2 [1]→[2]→[1]→[1]を押す。

お知らせ

- 待受画面で◉を押して基本メニューが表示された場合は、機能番号を入力して呼び出すことができません。

通話メニューを利用する

通話中に◉を押すと、通話中でも利用できる下記の機能が表示されます。

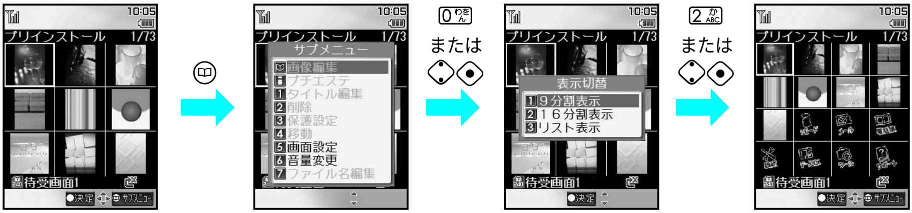
- 通話中保留（☞P.57）
- 通話中音声メモ（☞P.412）
- 日時設定（☞P.52）
- 電話番号表示（☞P.54）

操作終了後、[クリア]を数回押すと、通話画面に戻ります。

サブメニューから機能を選択する

操作ガイダンス［サブﾒﾆｭｰ］が表示されているときは、ⓜを押すと、その画面で使用できる機能（サブメニュー）が表示されます。
本書では、サブメニューを選択する操作は機能番号で入力する方法で説明しています。
ただし、機能番号のないサブメニューもあります。そのときは、◇で機能を選んで◉を押してください。

例：画像一覧画面の見かたを［16分割表示］に切り替えた場合



（サブメニュー画面）
選択できない項目は
グレーになっています。

［表示切替］
を選んだ場合

［16分割表示］
を選んだ場合

● 機能を選び直すときは、クリアを押してサブメニュー画面に戻ります。

サポートブック

便利に使うためのサポート情報を表示する

ブックリーダー機能を利用した、FOMA端末上の簡単な操作ガイドです。FOMA端末の操作方法がわからないときに利用してください。（☞P.369）
アシスタントビュー機能を使ってメールの作成中などの操作中にⓘを１秒以上押して、サポートブック（内蔵）を呼び出すこともできます。（☞P.382）

- すばやく使いこなすためのコツや、知っておくと便利な機能が会話形式で表示されます。
- 基本メニューや詳細メニューから呼び出すと、サポートブックの先頭ページが表示されます。アシスタントビューから呼び出すと、起動元の機能に対応したページまたは先頭ページが表示されます。（☞P.382）
- サポートブックで調べた機能を直接起動することもできます。起動できる機能は、テレビ電話設定（☞P.95）、メイン画面設定（☞P.135）、画面カスタマイズ設定（☞P.143）、省電力設定（☞P.140）、セキュリティ（☞P.159）です。

例：自分のアドレスを確認するには

基本メニュー（☞**P.35**）

1 待受画面で◉→ⓜ［サポート］を押す。

- 待受画面でⓘを１秒以上押しても同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Support（サポート）を選ぶ。

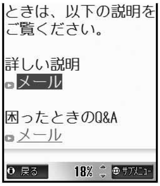


- 待受画面でⓘを１秒以上押す。

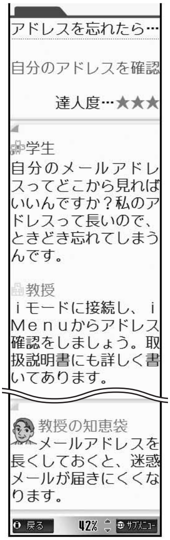
＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

2 ［▶メール機能］を選ぶ。

3 ［詳しい説明］の［▶メール］を選ぶ。



4 ［▶自分のアドレスを確認］を選ぶ。



- ［自分のアドレスを確認］というタイトルの下に、会話形式の具体例と［教授の知恵袋］（アドバイス）が表示されます。
- 取扱説明書は索引などから簡単に検索することができます。メールアドレス確認については、本書のP.411を参照してください。

関連操作

サポートブックから機能を起動する

サポートブックの内容表示画面で起動項目を選択▶◉▶［はい］▶◉

お知らせ

- アシスタントビューからサポートブックを呼び出したときは、起動できません。

FOMAカードを使う

FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードには、電話帳のデータやSMSを保存することもできます。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。

- FOMAカードを取り付けないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、iモード、iモードメールやSMSの送受信、メッセージR／F受信、データ通信などの通信機能を利用できません。
- FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書を参照してください。
- FOMAカードの取り付け、取り外しをする際には、ICに不用意に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

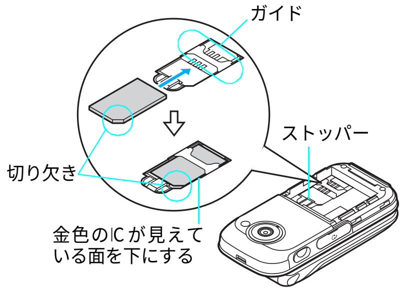
FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

※ P.51「電源を切る」の操作1を参照して電源を切り、電池パックを外してからFOMAカードの取り付けや取り外しを行ってください。

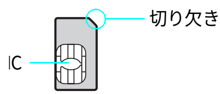
※ 本体を折りたたんだ状態で、手で持ったまま、FOMAカードの取り付けや取り外しを行ってください。

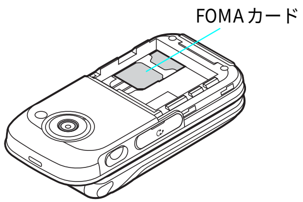
取り付けかた

FOMAカードを取り付けるときは、FOMA端末を閉じてください。



1 **FOMA**カードの**IC**面を下に向けて、左図のようにガイドに差し込む。





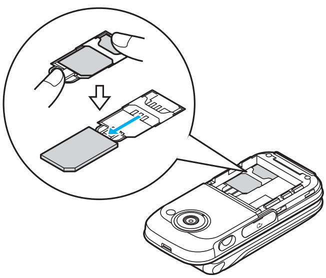
正しくセットされた状態

2 左図の位置で**FOMA**カードをゆっくりスライドさせ、ストッパーがカチッと音がするまで押し込む。

- 奥まで差し込むと、FOMAカードが中で固定されます。
- 必ず固定したことを確認してからご利用ください。

取り外しかた

FOMAカードを取り外すときは、FOMA端末を閉じてください。



1 左図の位置でストッパーを上から押しながらもう片方の手の指で**FOMA**カードをスライドさせる。

2 **FOMA**カードが少し出てきたら、まっすぐゆっくりと引き抜く。

- 取り外す際はFOMAカードが落ちないようにご注意ください。

お知らせ

- 無理に取り付けようとしたり、取り外そうとすると FOMAカードが破損するおそれがありますので、ご注意ください。
- 取り外したFOMAカードは、なくさないようにご注意ください。
- FOMAカードのIC部分が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがありますので、ご注意ください。汚れたときは、乾いた布などで拭いてください。

FOMAカードの暗証番号について

- FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという２つの暗証番号を設定できます。どちらもご契約時は［0000］に設定されていますが、変更可能です。
- PIN１コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA端末の電源を入れるたびに入力させることができる４～８桁の暗証番号です。PIN1コードを入力することにより、発信や各種通信が可能となります。
- PIN２コードは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する４～８桁の暗証番号です。ユーザ証明書操作時（FirstPassを利用するためのユーザ証明書の発行）や、FirstPass対応サイトに接続するとき、積算料金リセットを行うときなどに入力します。（☞P.246）

※ PIN1コード、PIN2コードについては、P.156「PINコードを設定する」を参照してください。

お知らせ

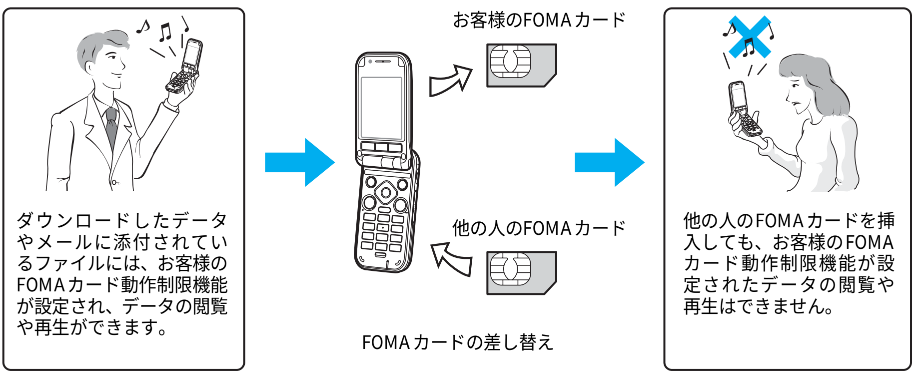
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。なお、PIN1コード、PIN2コードを変更されていない場合は、［0000］です。

FOMAカード動作制限機能について＜FOMAカード動作制限機能＞

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にFOMAカードを挿入した状態で、次のいずれかの方法でデータやファイルを取得すると、取得したデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
  - ■ サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどのファイルをダウンロードしたとき
  - ■ サイトやインターネットホームページを画面メモとして保存したとき（ただし、画像の含まれない画面メモは除く）
  - ■ ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、表示／再生／ｉモードメールへの添付、miniSDメモリーカードへのコピーなどを実行できます。
- データ、ファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを、別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作が実行できなくなります。

※ 以降、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。



お知らせ

- 他の人のFOMAカードに差し替えたときに、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを待受画面や着信音選択などに設定できません。
- FOMAカードを他の人のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能がはたらき、サイトなどからダウンロードしたデータやファイルを待受画面や着信音選択などに設定してあった場合、お買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、設定した状態に戻ります。

<例：FOMAカード動作制限機能が設定された［メロディ A］を着信音に設定したとき>

お客様のFOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えたときに着信音選択で表示される設定内容はお買い上げ時に設定されていた着信音になります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、［メロディ A］の着信音に戻ります。

- データの送受信機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影した静止画／連続画像／動画には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを移動したり削除することはできます。

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、「FOMAカード（緑色）」とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

機　能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色）	ページ
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P.108
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	P.246
WORLD WINGの利用	利用不可	利用可	下記
サービスダイヤル	利用不可	利用可	取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」および「故障お問い合わせ先」

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

WORLD WINGはお申し込み手続きなしでご利用いただけます。

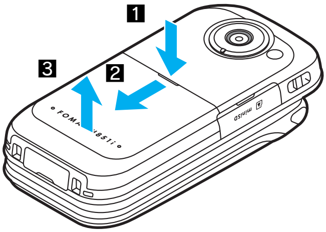
※ 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをご契約いただいていないお客様は、WORLD WINGをご利用される場合、別途お申し込み手続きが必要となります。

※ 一部ご利用になれない料金プランがあります。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

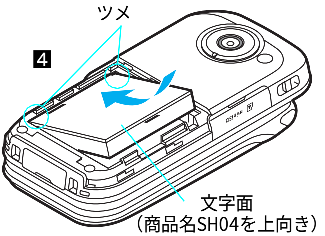
電池パックは、FOMA端末専用の電池パック SH04をご利用ください。
また、取り付け／取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。

電池パックの取り付けかた



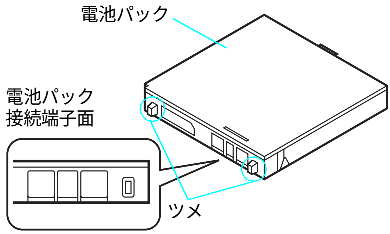
1 リアカバーを矢印の方向（❶）に軽く押しながら約2 **mm** スライド（❷）させる。

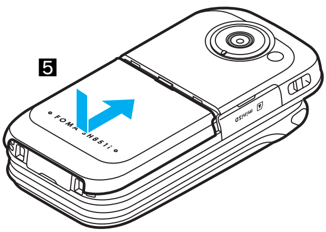
2 矢印の方向（❸）にリアカバーを持ち上げ、取り外す。



3 電池パックを取り付ける。（❹）

- 電池パックには取り付け用のツメがついています。電池パックの商品名（SH04）を上に向けて取り付けてください。





4 リアカバーを取り付ける。（❺）

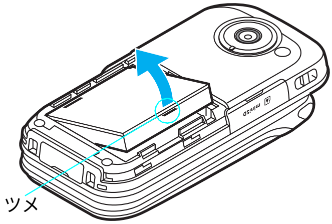
- 本体とリアカバーを図の位置に合わせて、リアカバーを押しながらスライドさせます。

お知らせ

- 無理に取り付けたり、取り外したりすると、FOMA端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が破損することがあります。
- 詳しくは、電池パック SH04の取扱説明書をご覧ください。
- リアカバーはしっかりと閉めてください。不十分だと、リアカバーが外れ、振動で電池パックが外に飛び出すおそれがあります。
- 電池パック接続端子面やFOMA端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因ともなりますので、汚れたときは乾いた布、綿棒などで拭いてください。

電池パックの取り外しかた

必ず電源を切ってから行ってください。



1 P.45の操作1～2の手順でリアカバーを取り外す。

2 電池パックを取り外す。

- 電池パックには取り外し用のツメがついています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指などをかけて上方向に取り外してください。

お知らせ

- 電池パックを取り外すと、次の登録・設定内容が変化します。

取り外すと、すぐにお買い上げ時の状態に戻る、または消えるもの
■編集中データ

取り外したままにしておくか、電池残量のない状態で放置すると、お買い上げ時の状態に戻る、または消えるもの
■日時設定 ■接続先編集の内容 ■待受画面に表示されたメッセージ（留守番電話）

- はじめてお使いになるときや電池パックを交換したときは、必ず充電してください。お買い上げの際には、電池パックは完全に充電された状態ではありません。
- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion

携帯電話を充電する

充電時のご注意

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）で充電してからご使用ください。

充電時間の目安とランプ表示について

FOMA端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間の目安は次のとおりです。

充電器名	充電時間
FOMA ACアダプタ01	約120分
FOMA DCアダプタ01	約120分

- 充電開始でサブディスプレイのバックライトの照明が点灯します。
- 充電中はピクチャーライト／充電ランプが赤色で点灯し、充電が完了すると消えます。
- ピクチャーライト／充電ランプが赤色で点滅したときは、電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。また、電池パックが寿命のときも赤色で点滅します。
- FOMA端末の電源を入れておいても充電できます。（充電中は、ディスプレイの［➡□］が点滅します。）充電が完了すると、ピクチャーライト／充電ランプが消灯し、ディスプレイの［➡□］が［▮▮▮］に変わります。

十分に充電したときの利用可能時間（目安）

条　件	電池パック SH04
連続待受時間	約410時間（静止時）／約340時間（移動時）
連続通話（通信）時間	約130分（音声電話）／約80分（テレビ電話）

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態で使用できる時間の目安であり、連続待受時間は、FOMA端末を折りたたんで、電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池の充電状態、待受画面や省電力モードなどの機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないまたは弱い場所）などにより、通話・待受時間は半分程度になる場合があります。ｉモード通信を行うと、通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信を行わなくても画像を撮影したり、編集したり、ｉモードメール作成を行うと、通話（通信）・待受時間は、短くなります。
- 実際のご利用時間は、待受と通話の組み合わせとなり、通話時間が長くなると待受時間が短くなります。

電池パックの寿命は

- １回の使用時間が使用開始時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください。
- 電池パックの寿命の目安は約１年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。

充電時のご注意

- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、FOMA端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。
  このような場合、ACアダプタやDCアダプタは再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタからFOMA端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、電池警告音が鳴る、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、ピクチャーライト／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 警告音が鳴ったあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 電池切れの表示がされ、警告音が鳴ってから60秒以内に充電を始めると、通常の状態に復帰します。
- 充電中にピクチャーライト／充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電をくり返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめいたします。
- 電池パック単体での充電はできません。

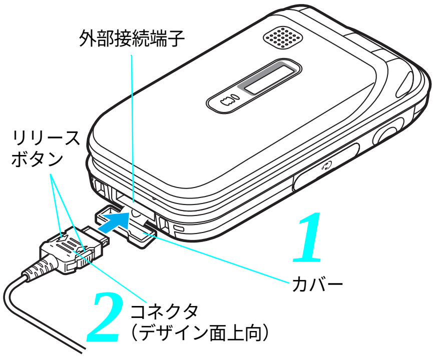
お知らせ

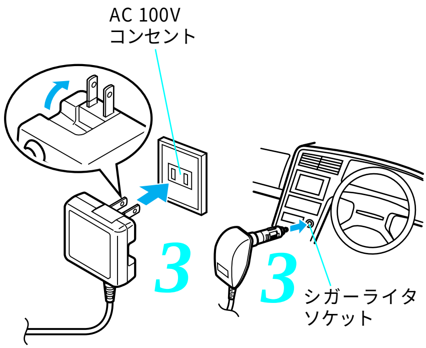
- 充電開始音が鳴らないとき（充電開始音量を［サイレント］に設定、またはマナーモード、ドライブモードに設定している場合や、電源を切っている場合を除く）や、ピクチャーライト／充電ランプが点灯しないときは、FOMA端末が卓上ホルダに正しく置かれていない場合がありますので、正しく置き直してください。

ACアダプタ／DCアダプタを使って充電する

[必ずFOMA ACアダプタ01（別売）／FOMA DCアダプタ01（別売）の取扱説明書を参照してください]

● FOMA端末を開いた状態でも充電できます。



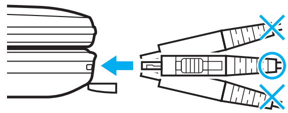


ACアダプタの場合　　DCアダプタの場合

1 外部接続端子のカバーを開く。

2 **AC**アダプタまたは**DC**アダプタの向き（裏表）をよく確かめ、外部接続端子に水平に差し込む。

● コネクタの向きを確かめ、FOMA端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

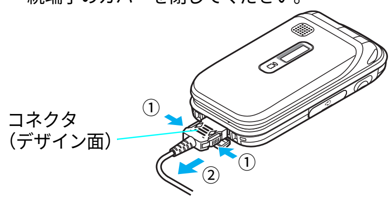


3 **AC**アダプタの場合、プラグを起こし、**AC100V**コンセントに差し込む。**DC**アダプタの場合は、プラグを車のシガーライタソケットに差し込む。

● 充電開始音が鳴り、ピクチャーライト／着信／充電ランプが赤色で点灯します。

4 充電完了音が鳴り、ピクチャーライト／充電ランプが消灯すると、充電が完了する。

● コネクタを取り外す場合は、必ずコネクタ両側にあるリリースボタンを押した状態（①）で、コネクタを水平に引き抜いてください（②）。無理に引っ張ると故障の原因となります。外部接続端子のカバーを閉じてください。



● 長時間使用しないときは、アダプタをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。

お知らせ

● ACアダプタなどのコネクタは、正しい向き（裏表）や角度で、無理な力がかからないように、ゆっくり確実に接続してください。無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子が破損する場合がありますので、ご注意ください。

● イヤホンマイク端子および外部接続端子のゴムカバーは、無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。

● 充電時FOMA端末の周りに物などを置かないでください。FOMA端末に傷を付けるおそれがあります。

お知らせ

- 電池残量なしで電池を充電する際、充電開始時にピクチャーライト／充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は始まっています。

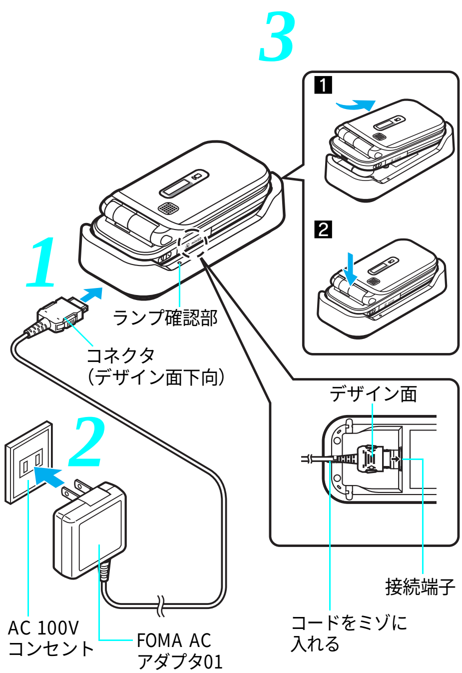
DCアダプタのとき

- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタはマイナスアース車専用です。（DC12V・24V両用）
- DCアダプタの電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しない場合もあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
- FOMA端末の電源を入れても、イグニッションをOFFにしたり、DCアダプタをシガーライタソケットから抜いたりすると、電源が切れますので注意してください。通話および待受状態を継続したい場合は、FOMA端末に差しているコネクタを先に抜いてください。
- ガラス管ヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。

卓上ホルダを使って充電する

[必ずFOMA ACアダプタ01（別売）、卓上ホルダ SH05（別売）の取扱説明書を参照してください]

- FOMA端末を開いた状態でも充電できます。



1 ACアダプタのコネクタのデザイン面を下に向け、卓上ホルダの接続端子に差し込む。

- コネクタが卓上ホルダに水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 卓上ホルダの接続端子は裏側にあります。

2 ACアダプタのプラグを起こし、AC100Vコンセントに差し込む。

3 FOMA端末を卓上ホルダに置く。

- 左図1のようにFOMA端末を置いたあと、2の矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し下げてください。
- 充電開始音が鳴り、ランプ確認部が赤色で点灯します。

4 充電完了音が鳴り、ランプ確認部が消灯すると、充電が完了する。

- 卓上ホルダを押さえながら、FOMA端末を持ち上げます。
- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

お知らせ

- 電池残量なしで電池を充電する際、充電開始時にピクチャーライト／着信／充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は始まっています。
- FOMA端末を卓上ホルダに置くとき、ストラップを挟まないようにご注意ください。

電池残量の確認のしかた

電池残量の目安は、ディスプレイで確認できます。



- ：電池残量が十分残っています
- ：電池残量が少なくなっています
- ：電池残量がほとんどありません
- ：電池残量がありません（しばらくすると電源が切れます）
- ：電池パック充電中です

● サブディスプレイでも電池残量を確認できます。

電池残量を音と表示で確認する

1 詳細メニュー：待受画面で → （設定）→［一般設定］→［電池残量確認］の順に選ぶ。

● 電池残量のグラフィックが表示されます。（残量に応じた音も鳴ります。）
● 電池残量確認音は、ボタン確認音で設定した音量で鳴ります。（☞P.129）
● 約３秒間経過するかを押すと、一般設定メニュー画面に戻ります。

グラフィック			
音	ピーピーピー	ピーピー	ピー
状態	十分残っています	少なくなっています	ほとんどありません

電池が切れたら

ディスプレイに右の画面が表示され、警告音が「ピピピ…」と鳴り、約60秒後に電源が切れます。



● 音声電話やテレビ電話の通話中は、警告音が「ピピピ…」と鳴り、約20秒後に通話が切れると同時に右の画面が表示され、約60秒後に電源が切れます。
● を押すと、通話中の場合は電話が切れます。電源を切って充電してください。

お知らせ

● マナーモード（☞P.132）やドライブモード（☞P.74）を設定しているときは、警告音は鳴りません。

電源を入れる／切る

電源を入れる

電源を入れるとディスプレイのバックライトが点灯し、電話をかけたり、受けたりできる状態（待受状態）になります。

● 電源を入れる前にFOMAカードが正しく取り付けられていることをご確認ください。（☞P.42）

1 （電源）を２秒以上押す。



● ウェイクアップ画面が表示され、初期設定の画面が表示されます。続けて、初期設定の操作（☞P.52）を行ってください。
● 初期設定が完了していないときは、電源を入れるたびに設定画面が表示されます。
● 初期設定が完了しているときは、電源を入れると、右のような画面が表示されます。この画面を「待受画面」といいます。
● ［PIN1コードを入力してください］と表示されたときは、PIN1コード（☞P.156）を入力します。



お知らせ

● FOMAカードが挿入されていない場合［FOMAカード（UIM）を挿入してください］と表示されFOMAカードエラーが表示されます。（☞P.33）

電源を切る

1 （電源）を２秒以上押す。

● 電源が切れます。
● 電源が切れるまで時間がかかることがあります。（電源が切れるまでディスプレイに終了画面が表示されます。）

お知らせ

● 外部機器との接続は、通信が終了していることを確認したうえで、FOMA端末の電源を切ってから行ってください。

初期設定を行う

はじめてFOMA端末に電源を入れると自動的に初期設定画面が表示され、次の項目を設定できます。（初期設定が完了しているときは、待受画面が表示されます。）

設定項目	内　容	ページ
日時設定	FOMA端末の日付と時刻を合わせます。	P.52
端末暗証番号変更	FOMA端末の各機能を利用するときに必要な端末暗証番号を登録します。	P.155
ボタン確認音設定	ボタンを押したときに音を鳴らすかどうかを設定します。	P.129
ソフトウェア更新確認	ソフトウェア更新操作を起動するかどうかを設定します。	P.544

● 設定されていない項目があるときは、FOMA端末の電源を入れるたびに、設定画面が表示されます。

1 詳細メニュー：待受画面で → （設定）→［初期設定］の順に選んで、日付・時刻を設定する。



● 24時間制で入力します。また、月日・時刻が1桁（1～9）のときは、01～09のように前に「0」を付けます。

2 端末暗証番号（4～8桁の数字）を登録する。（☞P.155）

● お買い上げ時は、［0000］に設定されています。

3 ボタン確認音を設定する。

ボタン確認音を鳴らす	1［ON］
ボタン確認音を鳴らさない	2［OFF］

● ソフトウェア更新確認画面が表示されます。

4 ［はい］を選ぶ。

● ソフトウェア更新が起動し、ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックします。（☞P.543）

お知らせ

● 日時は、2000年1月1日 00:00から2099年12月31日 23:59まで設定できます。

初期設定を中止するとき

● 設定中にを押します。日時設定は中止しても必ず設定されます。

日時設定

日付・時刻を合わせる

FOMA端末の日付と時刻を設定します。通話中に設定することもできます。

1 詳細メニュー：待受画面で → （設定）→［一般設定］→［日時設定］の順に選ぶ。



● 通話中に設定するときは、→3［日時設定］を押します。

＊メニューを切り替えるときは［基本メニューへ］または［詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

2 年月日・時刻を入力し、◉を押す。

- 日付・時刻が設定されます。
- 〔電源〕を押すと待受画面に戻ります。
- 24時間制で入力します。また、月日・時刻が１桁（１～９）のときは、01～09のように前に「０」を付けます。
- 入力を間違えたときは、◇でカーソルを移動して、入力し直してください。

お知らせ

- 時刻は24時間制で表示されます。
- 設定した日付・時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、約２週間以上電池パックを外すか、電池残量のない状態で放置するとリセットされることがあります。そのときは、充電してから再び設定し直してください。
- 日付・時刻を正しく設定しないと、リダイヤル、着信履歴、音声電話伝言メモ、テレビ電話伝言メモ、カメラ画像のタイトル・撮影日時などで日時が正しく記録されません。また、自動電源ON／OFF、アラーム、スケジュール、SSL通信（認証）など、時計を利用する機能が正しくご利用になれません。
- 日付・時刻を設定し直すと、マナー解除（☞P.133）の設定は無効となります。
- 料金上限通知設定（☞P.419）が［有効］に設定されている場合は、日時設定の際に端末暗証番号の入力が必要です。
- 料金上限通知設定のリセット通知を設定中に日時設定を翌月以降に変更した場合、待受画面に［リセット時刻経過］と表示されます。

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

お買い上げ時
通知しない

音声電話やテレビ電話をかけるときに、相手の電話機（ディスプレイ）にご自分の電話番号（発信者番号）を表示させることができます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知するかしないかの設定については、十分にご注意ください。

お客様の電話番号を通知するかどうかを設定する方法は、次のとおりです。

	設定方法	番号を通知する	番号を通知しない
あらかじめ設定しておく方法	詳細メニューから🔧（設定）→［サービス］→［発信者番号通知］→［発番号通知設定］の順に選び、ネットワーク暗証番号（４桁の数字）を入力する。（☞P.436）	［はい］に設定する	［いいえ］に設定する
電話をかけるときに指定する方法	電話番号の前に「186」／「184」を付ける	「186」を付ける	「184」を付ける
	電話番号を入力して、サブメニューから選ぶ（☞P.60）	〔メニュー〕→〔3〕［番号通知］を押す	〔メニュー〕→〔2〕［番号非通知］を押す

- 発信者番号通知の設定内容より、電話をかけるときの指定が優先されます。電話をかけるときに何も指定しないと、発信者番号通知の設定内容に従います。

お知らせ

- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたときは、発信者番号通知を設定してから、おかけ直しください。
- 発信者番号通知機能は、相手の電話機が発信者番号表示可能な場合のみ、利用できます。

自分の電話番号を確認する

ご自分の電話番号（自局番号）を確認できます。

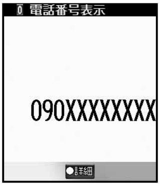
基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉ → [電話機能] → ［自分の電話番号］の順に選ぶ。

● 待受画面で、◉→0を押しても表示されます。

＊あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → [Settings 設定]（設定）→［電話番号表示］の順に選ぶ。



● お客様の電話番号が表示されます。
● 待受画面で、◉→0を押しても表示されます。
● 通話中は、◉→0［電話番号表示］を押します。
● 電話帳のPIMロック中は、［端末暗証番号は？］と表示されます。端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押します。
● 電話番号以外の所有者情報を確認するには、◉［詳細］を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押します。（☞P.411）
● 所有者情報の登録・変更については、P.410を参照してください。

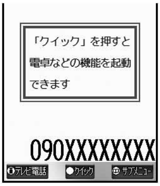
＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

電話のかけかた／受けかた

電話をかける

電池残量および受信レベルが十分であることを確認してください。

1 待受画面で電話番号を市外局番からダイヤルする。



● 同一市内でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
● 電話番号は80桁まで入力できます。13桁を超えると2行で表示されます。26桁を超えた場合、最後から26桁が2行表示されます。

携帯電話にかける	電話番号11桁（090-XXXX-XXXX、080-XXXX-XXXX）を入力
PHSにかける	電話番号11桁（070-XXXX-XXXX）を入力
国際電話をかける（[+] 入力）	[0]（1秒以上）→電話番号の入力 ● 先頭に［+］が入力された場合、［+］以降の電話番号への発信・通話動作を行います。
ダイヤルを間違えたとき	[クリア]（最後の1桁が消えます。） ● すべての桁を消すときは[クリア]を1秒以上押します。（待受画面に戻ります。） ● [発信]を押してからダイヤルしたときは、[クリア]を押しても消えません。[終話]を押してください。（待受画面に戻ります。）

2 [発信]を押す。



電話帳に名前と静止画を登録している場合

● 携帯電話は一般の電話と違い、「ルルル……」という呼出音の前に「プップップッ」という発信音が入ります。
● 音声電話中は［[音声電話中アイコン]］が表示されます。
● 電話帳に登録しているときは、電話番号と名前が表示されます。また、画像を設定しているときは、画像も併せて表示されます。
● 基本メニューに設定しているときは名前が大きい文字で表示されます。
● 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。[終話] を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。
● 通話中に「ピピピ…」と聞こえたときは、電池残量がなくなりかけています。約20秒後に電話が切れます。通話を終えて電話を切り、充電してください。
● 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたときは、通話先の方が番号通知をお願いする旨のサービスを［開始］に設定しています。発信者番号を通知してかけ直してください。（☞P.53、P.60）

3 通話が終わったら[終話]を押す。

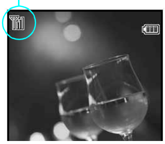
● 通話中にアシスタントビューを起動（☞P.382）しているときは、[終話]を押すとアシスタントビューが終了し、もう一度[終話]を押すと電話が切れます。

■ 受信レベルの確認のしかた

電波の強さ（受信レベル）の目安が表示されます。

電波が強い ⟷ 電波が弱い

[アンテナ3本] [アンテナ2本] [アンテナ1本] [圏外]



● ［圏外］が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。表示が消えるところまで移動してください。
● 電波が強く［[アンテナ3本]］が表示されていて、移動せずに通話しているときでも、通話が切れることがあります。
● ［self］が表示されているときは、セルフモード（☞P.163）中です。セルフモード中は、電話の発着信、ｉモードメールやSMSの送受信、メッセージR／Fの受信、ｉモード機能は利用できません。

お知らせ

● 操作1と2の手順を逆にしても電話をかけることができます。この場合、ダイヤルしてから約5秒間何も操作しないと発信します。電話番号を間違えたときは、[終話]を押していったん終了してからかけ直してください。
● クローズ動作設定（☞P.69）が［終話］に設定されているときは、通話中にFOMA端末を閉じると電話が切れます。

お知らせ

- プッシュホン信号を利用してメッセージを送る（☞P.61）ときは、80桁以上入力できます。（最初に入力した順に消去されます。）
- 通話中は通話時間が表示されますが、通話時間の表示は目安です。
  通話時間は最長９時間59分59秒まで表示され、これを超えると０分00秒に戻ります。
- 連続通話するとFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- FOMAカードを挿入していないときは電話をかけることができません。
- 電話をかけるときは、内蔵アンテナ部分を覆わないようにしてご利用ください。

関連操作

光るワンタッチキーで電話をかける

待受画面で電話番号を登録した～▶［音声電話］または待受画面で押した～または

ハンズフリーで話す<ハンズフリー>

音声電話通話中に（１秒以上）

- 受話音量を調節するとき：／
- 解除するとき：（１秒以上）

通話中に保留する<通話中保留>

1 音声電話通話中に▶［通話中保留］

2 保留中の電話に出るときは［解除］

お知らせ

光るワンタッチキーについて

- ～に電話番号を登録する方法については、P.406を参照してください。

ハンズフリーについて

- ハンズフリー中は［］が表示されます。
- 送話口から20～40cm程度が最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
- 屋外や騒音が大きい場所でハンズフリー通話を行う場合は、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク（☞P.422）をご利用ください。
- 着信中は操作できません。
- 受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。その場合は、右側面のを押して音量を下げてください。
- 通話を終了すると、ハンズフリーは解除されます。

通話中保留について

- 保留中は通話中保留音（☞P.74）がスピーカから流れます。
- マナーモード設定中、こちら側に通話中保留音は流れません。
- 相手には通話中保留音（☞P.74）が流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。
- クローズ動作設定（☞P.69）が［保留］に設定されているときは、通話中に FOMA端末を閉じると保留状態になります。
- 保留中にFOMA端末を閉じても、保留状態は続きます。

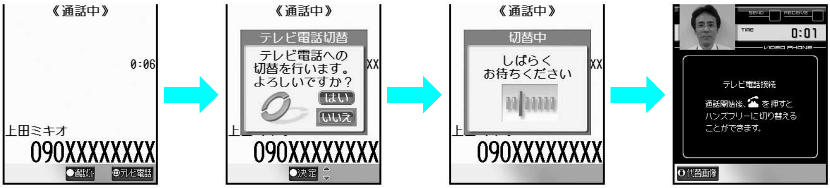
音声通話からテレビ電話へ切り替える

自分から電話をかけたときに、音声電話⇔テレビ電話を切り替えできます。

- 相手がFOMA端末の切替機能通知設定（☞P.97）を［開始］に設定している必要があります。
- 電話を受けたときは切り替えることができません。相手から切り替えてもらってください。
- 相手側が切り替え可能な端末の場合、画面右下の操作ガイダンスに［テレビ電話］が表示され、音声電話中にテレビ電話へ切り替えることができます。（音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種にてご利用いただけます。）

1 音声電話の通話中に㋺［テレビ電話］を押し、［はい］を選ぶ。

- 切り替え中は、［しばらくお待ちください］と表示され、音声ガイダンスが流れます。
- テレビ電話に切り替わり、自分側のカメラ映像が送信されます。
- ［いいえ］を選ぶと、音声通話中の画面に戻ります。
- 音声電話⇔テレビ電話の切り替えは、通話中何度でも可能です。切り替えるたびに、通話時間表示が０秒から開始されます。
- 相手が映像を表示しないように選択した場合、相手側のカメラ映像は表示されません。



お知らせ

- 通話中でも、通話メニューやアシスタントビューから他の画面を表示したときや保留中などには、テレビ電話に切り替えできません。
- 切り替えには、約５秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- ［切替中］が表示されている間は、料金は課金されません。
- パケット通信中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手がパケット通信中の場合は、［切替できません］と表示され、音声電話からテレビ電話に切り替わらず、音声通話を継続します。
- 電波状況によっては、音声電話からテレビ電話に切り替わらず、接続が切れる場合があります。
- ハンズフリー通話中にテレビ電話に切り替えた場合、切り替えたあともハンズフリー通話が継続されます。
- 切り替え中に、ハンズフリーに変更することはできません。テレビ電話に切り替わったあと、ハンズフリーに設定してください。（☞P.87）
- テレビ電話から音声電話への切り替え方法については、P.88を参照してください。
- キャッチホンでの通話中に、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。
- 発信時自画像送信（☞P.93）を［OFF］に設定しているとき、自分から音声電話をかけ、テレビ電話に切り替えた場合、設定されている画像が相手に送信されます。

前にかけた相手にかけ直す

以前にかけた電話番号（リダイヤル）は、最後にかけたものから最大30件までFOMA端末に記憶されます。これらの電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。

- 記憶できる件数を超えたときは、古い電話番号から順に削除されます。
- 同じ電話番号に複数回かけたときは、最新の１件だけが記憶されます。
- 「184」や「186」を付けて電話をかけたときは、別のリダイヤルとして記憶されます。

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［電話機能］→［リダイヤル］の順に選ぶ。



リダイヤル詳細画面

- 待受画面で◇（□）を押しても同じ操作が行えます。
- リダイヤル詳細画面が表示され、最新のリダイヤルの電話番号と日時が表示されます。
- 電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、メモリ番号の若い方の名前が表示されます。
- 別のリダイヤルを表示するときは、◇を押します。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◇を押す。



リダイヤル一覧画面

- リダイヤル一覧画面が表示されます。
- リダイヤル一覧画面で電話番号を選んで◉を押すと、リダイヤル詳細画面が表示されます。
- リダイヤル一覧画面で◇を押すと着信履歴一覧画面に切り替えできます。

リダイヤルの種類

📹：テレビ電話
🌐：国際電話
表示なし：音声電話

2 電話番号を選んで電話をかける。

音声電話をかける	ⓒまたは◉［音声電話］
テレビ電話をかける	ⓘ［テレビ電話］

- 表示されている電話番号に発信します。

お知らせ

- リダイヤルの種類は、通話中に音声電話⇔テレビ電話を切り替えても、最初の発信時の種類が表示されます。
- 発着信履歴表示（☞P.166）のリダイヤル表示が［OFF］に設定されているときも履歴は記憶されていますが、リダイヤルは表示されません。
- FOMA端末の日時を正しく設定していないと、リダイヤルの日時が正しく記憶されません。

サブメニューでできること

- リダイヤル一覧画面や詳細画面で㊂を押すと、サブメニュー画面が表示され、次ページの表の操作を選択できます。

次ページへ続く

お知らせ

リダイヤルのサブメニュー

リダイヤル一覧画面でのメニュー項目	リダイヤル詳細画面でのメニュー項目	はたらき
1 電話帳登録	1 電話帳登録	電話番号を電話帳に登録する。
2 削除	2 1件削除	記憶している電話番号を削除する。
—	3 番号非通知	発信する際の番号を非通知に設定する。
—	4 番号通知	発信する際の番号を通知に設定する。
—	5 プレフィックス選択	プレフィックス設定で登録した番号を付加する。(☞P.62)
—	6 付加番号削除	付加した番号を削除する。
—	7 国際電話発信	国際電話設定で登録した国際電話番号を付加する。(☞P.63)
—	8 マルチナンバー選択	マルチナンバー(☞P.441)利用時に選択する。
—	9 通信速度設定	テレビ電話発信時、64Kと32Kの通信速度を切り替える。(☞P.97)
0 メール作成	0 メール作成	メールを作成する。電話帳にメールアドレスが登録されていない場合は、発信した電話番号が宛先に入力される。
✱ スケジュール作成	✱ スケジュール作成	電話番号とリダイヤル日時をスケジュールに登録する。

関連操作

リダイヤルを削除する<削除>

1 リダイヤル一覧画面(☞P.59)で電話番号▶ⓜ▶2[削除]▶1[1件削除]
- すべてのリダイヤルを削除するとき:リダイヤル一覧画面(☞P.59)で電話番号▶ⓜ▶2[削除]▶2[全件削除]
- リダイヤル詳細画面(☞P.59)から削除するとき:ⓜ▶2[1件削除]

2 [はい]▶◉

お知らせ

リダイヤル削除について
- 電源を切ってもリダイヤルは削除されません。他の人に見られたくないときは、リダイヤルを削除してください。
- 次の操作を行うと、リダイヤルはすべて削除されます。
  ■ ダイヤル発信制限(☞P.165) ■ 電話帳のPIMロック(☞P.163) ■ ユーザデータ削除(☞P.425)

番号通知/非通知

1回の通話ごとに発信者番号を通知/非通知にする

ご自分の電話番号を相手に「通知する」または「通知しない」を、そのつど選んで発信できます。

発信者番号を通知しないとき

相手先電話番号を入力してⓜ→2[番号非通知]を選んで、◉[音声電話]またはⓘ[テレビ電話]を押す。

発信者番号を通知するとき

相手先電話番号を入力してⓜ→3[番号通知]を選んで、◉[音声電話]またはⓘ[テレビ電話]を押す。

お知らせ

- 電話帳やリダイヤル、着信履歴の詳細画面で、サブメニューを表示して、番号非通知/番号通知を選び電話をかけることもできます。
- 「186」を入力してから相手先番号を入力してⓜ→2[番号非通知]を押した場合、発番号は通知されません。
- 相手番号を入力し、プレフィックス選択から[186]を付けた場合は発番号は通知されます。
- 「184」を入力してから相手先番号を入力してⓜ→3[番号通知]を押した場合、発番号は通知されます。

 ＊メニューを切り替えるときはⓘ[ⓘ基本メニューへ]または[ⓘ詳細メニューへ]を押します。(☞P.35)

お知らせ

● 相手番号を入力し、プレフィックス選択から［184］を付けた場合は発番号は通知されません。

電話がかかってきたときは

● 相手が「発信者番号通知／非通知」で電話をかけてきた場合については、P.67「電話を受ける」を参照してください。

関連操作

「186」を付けてダイヤルする（発信者番号を通知する）

1 8 6 ▶電話番号▶ ［音声電話］／ ［テレビ電話］

「184」を付けてダイヤルする（発信者番号を通知しない）

1 8 4 ▶電話番号▶ ［音声電話］／ ［テレビ電話］

お知らせ

通話ごとの発信者番号通知について

● ネットワークサービスの発信者番号通知設定にかかわらず有効です。

ポーズダイヤル

プッシュホン信号を手早く送り出す

ポケットベル※の電話番号と送信するメッセージ（番号）や、チケットの予約や銀行の残高照会サービスの電話番号と送信するメッセージ（番号）などの組み合わせを電話帳に登録しておくと、簡単な操作で送信できます。

電話帳にプッシュホン信号を登録する

1 電話帳に電話番号を入力（**P.102**）し、を押して送信する番号を入力する。

● を押すとポーズ［P］が入力されます。

● 番号を入力してから、を押し、さらに番号を追加できます。

2 を押し、電話帳の他の項目を入力する。

● 詳しくは、P.103〜P.104を参照してください。

プッシュホン信号を利用してメッセージを送る

1 プッシュホン信号を登録した電話帳から電話をかける。

● 詳しくは、P.114〜P.118を参照してください。

● 電話がつながると、登録した［P］以降の番号が表示されます。

2 タイミングを合わせて ［**PB**送信］を押す。

● ［P］以降の番号がプッシュホン信号で送信されます。

● ［P］で区切った複数の番号を登録しているときは、 ［PB送信］を押すたびに送信されます。

● 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

※2001年1月から、ドコモのポケットベルは、「クイックキャスト」に名称が変わりました。

通話中にダイヤルボタンで送信する

通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュホン信号を１つずつ送信できます。

1 電話をかけ、つながったら送信する番号のダイヤルボタンを押す。

● 押したボタンの番号が、プッシュホン信号として送信されます。

WORLD CALL

国際電話を利用する

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLは、ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時に併せて「WORLD　CALL」もご契約いただいています。（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます。）

［通話方法］

009130 ➡ 010 ➡ 国番号 ➡ 市外局番 ➡ 相手先電話番号 ➡ ⓒ

※ 上記の操作方法を、FOMA端末の電話帳に登録できます。
※ 市外局番が「０」で始まる場合には、「０」を除いてダイヤルしてください。
（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は、「０」が必要です。）

● 通話先は世界約220の国と地域です。
● 申し込み手数料・月額使用料は無料です。
●「WORLD CALL」の料金は毎月の携帯電話の通話料金と合わせてご請求いたします。
● WORLD CALLをご利用された場合は、直前の通話時間の概算がFOMA端末の画面で確認できます。（☞P.418）
● 電話帳、着信履歴、リダイヤルを利用するときは､「009130010」を自動的に付加して電話をかけることができます。
● 一部ご利用できない料金プランがあります。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法のあとにテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
● 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
● 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

［国際電話ダイヤル手順の変更について］

携帯電話などの移動体通信は､「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが､「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

※ WORLD CALLについては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接、お問い合わせください。

簡単な方法で国際電話をかける<プレフィックス選択>

お買い上げ時
World call［009130-010］

国番号､市外局番､相手先電話番号のみを入力して､国際電話をかけることができます。

1 待受画面で、国番号、市外局番、相手先電話番号を入力し、Ⓜ→4［プレフィックス選択］を選ぶ。

● プレフィックス選択画面が表示されます。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

2 [1] [009130-010] を選んで、[発信]を押す。

- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、あらかじめプレフィックス設定で登録したうえで選択します。
- 入力した電話番号に発信します。

■ プレフィックス設定をする

[●][5][9]

国際電話用の付加番号を最大５件まで登録できます。電話帳、着信履歴、リダイヤル、光るワンタッチキーからの発信時に付加されます。

1 詳細メニュー：待受画面で[●] → [Settings 設定]（設定）→［通話・通信機能設定］→［プレフィックス設定］の順に選んで、新規に登録する［-------------------］を選ぶ。



すでに登録されている番号を変更する	番号→[●]→[1]［変更］
すでに登録されている番号を削除する	番号→[●]→[2]［削除］→［はい］→[●]

2 付加番号を入力して[●]を押す。

- [0]を１秒以上押すと［+］を入力できます。
- 最大16桁まで入力できます。
- ダイヤル発信制限（☞P.165）中、番号の登録、変更、削除はできません。

お知らせ

- 設定リセット（☞P.424）を行うと、付加番号は［009130-010］のみになります。

関連操作

電話帳や着信履歴、リダイヤル、光るワンタッチキーから発信する

電話帳、着信履歴、リダイヤルの詳細画面、光るワンタッチキーからの発信画面で[MENU]▶［プレフィックス選択］▶[●]▶付加番号▶[●]▶[発信]

[●][5][*][2]

WORLD CALL以外の番号を設定する＜国際電話設定＞

お買い上げ時
World call [009130-010]

WORLD CALL以外の国際電話番号の名称と番号を最大３件まで登録できます。

1 詳細メニュー：待受画面で[●] → [Settings 設定]（設定）→［通話・通信機能設定］→［国際ダイヤル設定］→［国際電話設定］の順に選んで、新規に登録する［-------------------］を選ぶ。



すでに登録されている番号を変更する	番号→[●]→[1]［変更］
すでに登録されている番号を削除する	番号→[●]→[2]［削除］→［はい］→[●]
登録した番号を自動付加対象に設定する	番号→[●]→[3]［自動付加／解除］ ● 名称の右に［🌐］が表示されます。 ● 自動付加を解除するときは、再び同様の操作を行います。

次ページへ続く ▶▶

2 名称を入力して◉を押す。

- 最大半角14文字まで入力できます。

3 付加番号を入力して◉を押す。

- 0を1秒以上押すと［+］を入力できます。
- 最大16桁まで入力できます。
- ダイヤル発信制限（☞P.165）中、番号の登録や変更、削除はできません。

お知らせ

- 設定リセット（☞P.424）を行うと、付加番号は［009130-010］のみになります。

国際電話番号を付けて国際電話をかける<国際電話発信>

1 待受画面で国番号、市外局番、相手先電話番号を入力し、📖→6［国際電話発信］を選ぶ。

- 国際電話発信画面が表示されます。

2 付加番号を選んで📞を押す。

- 付加した番号を削除するときは、📖→5［付加番号削除］を押します。

◉5※1

国際電話番号を自動的に付加する<自動付加設定>

お買い上げ時
自動付加

国際電話設定で自動付加対象に設定した番号を、国際電話発信時に自動的に付加するかどうかを設定します。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→Settings 設定（設定）→［通話・通信機能設定］→［国際ダイヤル設定］→［自動付加設定］の順に選んで、1［自動付加］を選ぶ。

- 自動付加が設定されます。

自動付加を設定すると

先頭に［+］を入力してダイヤルすると、国際電話番号を自動付加して発信します。

- 0を1秒以上押すと［+］を入力できます。

1 待受画面で［+］、国番号、市外局番、相手先電話番号を入力し、📞を押す。

2 ［はい］を選ぶ。

- 国際電話を発信します。

＊メニューを切り替えるときは🅘［🅘基本メニューへ］または［🅘詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

サブアドレス設定 ◈[5][0]

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時
ON

サブアドレスを指定して電話をかけられるように設定します。サブアドレスを使用すると、ISDN端末に電話をかけるときに、特定の端末を呼び出すことができます。

- サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。Vライブでコンテンツを選択するときにも利用します。

1 詳細メニュー：待受画面で◈→ Settings 設定 （設定）→［通話・通信機能設定］→［サブアドレス設定］の順に選んで、[1]［**ON**］を選ぶ。

- サブアドレスが指定可能になります。

サブアドレスを指定して電話をかける

- 電話番号とサブアドレスは相手にお問い合わせください。

1 待受画面で電話番号、[※]、サブアドレスの順にダイヤルし、[発信]を押す。

- Vライブのコンテンツに接続するときは、待受画面で電話番号、[※]、サブアドレスの順にダイヤルし、[i]を押します。

お知らせ

- 電話番号の先頭に「※」、「184」、「186」を入力したり、プレフィックス設定で付加された番号のあとに「※」を入力すると、「※」以降は電話番号とみなされます。

再接続機能 ◈[5][2][1]

途切れた通話を自動的に再接続する

お買い上げ時
アラームあり（高音）

トンネルやビルの陰などでは一時的に電波の状態が悪くなり、通話が途切れることがありますが、電波状態がよくなった場合にすぐに自動的に再接続して、通話を継続できるようにします。再接続時はアラーム音でお知らせします。

- アラーム音は、［高音］［低音］［アラームなし］から選ぶことができます。
- 再接続機能はテレビ電話中も有効です。

1 詳細メニュー：待受画面で◈→ Settings 設定 （設定）→［通話・通信機能設定］→［通話中アラーム設定］→［再接続機能］の順に選んで、アラーム音を選ぶ。

高音にする	[1]［アラームあり（高音）］
低音にする	[2]［アラームあり（低音）］
アラーム音を鳴らさない	[3]［アラームなし］

お知らせ

- 電波の状態により再接続可能な時間は異なります。目安は約10秒間です。
- 再接続されるまでの間（最長10秒間）、相手は無音状態になります。また、この間も通話料金がかかります。

ノイズキャンセラ

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時
ON

通話中に周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にします。
- ノイズキャンセラはテレビ電話中もはたらきます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［通話・通信機能設定］→［ノイズキャンセラ］の順に選んで、1［ON］を選ぶ。

- ノイズキャンセラが設定されます。

お知らせ

- 通常は、［ON］でのご使用をおすすめします。
- ノイズキャンセラでは、通話を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や、話しかたにより、音声の聞こえかたが変わることがあります。

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

お知らせ

- 着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らすように設定している場合は、FOMA端末でマナーモード中や着信音量を［サイレント］に設定していても、電話の着信時にハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- ドライブモード設定中の着信動作は、ドライブモードの設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、ハンズフリー対応機器からの通信速度設定に従います。設定していない場合は、64Kでテレビ電話を発信します。
- ハンズフリー対応機器からテレビ電話をかけたり受けたりする場合、相手には代替画像が送信されます。
- ハンズフリー対応機器に接続中にFOMA端末から音を鳴らすように設定している場合、通話中にFOMA端末を閉じたときはクローズ動作設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らすように設定している場合は、クローズ動作設定にかかわらずFOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、ハンズフリー対応機器と接続中でも伝言メモの設定に従います。
- ハンズフリー対応機器の特性や仕様によっては、FOMA端末の一部の通話操作ができないことがあります。

 ＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

電話を受ける

音声電話の着信は、着信音、ピクチャーライト／着信ランプ、バイブレータなどで確認できます。

1 音声電話がかかってくると、着信音が鳴り、ピクチャーライト／着信ランプが点滅する。



電話帳に名前と静止画を登録している場合

- 光るワンタッチキーに登録した相手から電話がかかってきた場合、対応するボタンが点滅します。点滅しているボタンを押して電話に出ることができます。
- 発信者番号が通知されたときは、電話番号が表示されます。電話帳に相手の名前と電話番号が登録されているときは、名前も併せて表示されます。
- 基本メニューに設定しているときは名前が大きい文字で表示されます。
- 電話帳にピクチャーコール（静止画または動画／ｉモーション）が設定されているときは（☞P.105）、名前や電話番号に加えて、設定された画像が表示されます。ただし、発信者番号が通知されないときは、表示されません。
- 発信者番号が通知されないときは、非通知の理由により、次のメッセージが表示されます。

  ［非通知設定］：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
  ［公衆電話］　：公衆電話などから発信した場合
  ［通知不可能］：海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合（ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります）
- FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイの表示で確認できます。（表示できる文字数は、全角５文字までです。６文字以上の場合は、大／小を押すとスクロール表示できます。）
- 着信音を止めたいときは、着信中に#を押すか、を１秒以上押します。（クイックサイレント）

2 を押す。

- 相手と通話できます。
- 着信中にを押すと、着信メニューが表示されます。1［着信拒否］、2［伝言メモ録音］、3［着信転送］、4［留守転送］を選択できます。
- エニーキーアンサーが［ON］に設定されている場合、0～9、＊、、、クリア、を押しても電話を受けることができます。（☞P.69）

3 通話が終わったらを押す。

お知らせ

- ビル電話などダイヤル市外通話のできない電話機から、FOMA端末へ電話をかけることはできません。
- 電話帳に登録されていない相手や電話番号を通知してこない相手から着信があったときに、設定した秒数後に着信音が鳴るようにできる呼出動作開始時間設定（☞P.172）や、電話帳に登録されていない相手からの電話をつながらないように設定できる電話帳登録外着信拒否（☞P.173）を設定することもできます。
- 特定の電話帳をリストに登録して、着信拒否／着信許可を設定することもできます。（☞P.167～P.171）
- 着信通知機能（☞P.430）を利用すると、FOMA端末の電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内になったときに着信があったことを知らせるSMSを受信します。その場合は、電話帳に登録されている相手からの着信であっても、本文には名前ではなく、電話番号が表示されます。

次ページへ続く

お知らせ

通話中に「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえたとき

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンのいずれかをご契約いただき、サービスを［開始］に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、以下の動作が可能です。
  - ■ 留守番電話サービス ....着信中に◎→4［留守転送］を押して留守番電話サービスセンターへ転送できます。（☞P.428）
  - ■ 転送でんわサービス ....着信中に◎→3［着信転送］を押して登録転送先へ転送できます。（☞P.433）
  - ■ キャッチホン..............通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。（☞P.431）

着信中のボタン操作

スタイル	応答保留（☞P.72）	クイック サイレント	着信拒否／伝言メモ録音／着信転送／留守転送	マナーモード設定（☞P.133）
開いているとき	電源	#または ◎（1秒以上）	◎	#（1秒以上）
閉じているとき	ー	ー	ー	大／小（1秒以上）

- 音声電話の通話中にテレビ電話がかかってきた場合、［テレビ電話着信を受けますか？（既存の音声通話は切断されます）］と表示されます。［はい］を選んでⓘを押すとテレビ電話に出ることができます。

編集中に電話がかかってきたとき

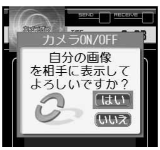
- 電話帳や送信メッセージなどの編集中に、電話の着信があると、編集はいったん中断されます。このとき、編集中のデータは自動保存され、通話が終わったあと、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。ただし、変換途中で確定前の文字については、正しく保存されていない場合がありますので、ご注意ください。
- 編集画面に戻ったときに電源を押すと、［編集中の内容が失われます　終了しますか？］と表示されます。［はい］を選んで◎を押すと、待受画面に戻り、編集中のデータは削除されます。

音声電話からテレビ電話に切り替えて電話を受ける

相手（発信側）の操作で音声電話⇔テレビ電話を切り替えます。

- 自分（着信側）から切り替えることはできません。（音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種にてご利用いただけます。）
- ご自分のFOMA端末の切替機能通知設定（☞P.97）を［開始］に設定しておく必要があります。

1 音声電話の通話中に相手がテレビ電話に切り替える。



- 切り替え中は、音声ガイダンスが流れます。
- 音声ガイダンスが流れたあと、［自分の画像を相手に表示してよろしいですか？］と表示されます。
- テレビ電話中に相手が音声電話に切り替えたときは、音声ガイダンスが流れたあと音声電話に切り替わります。

2 ［はい］を選ぶ。

- 自分側のカメラ映像が送信されます。
- ［いいえ］を選ぶと、自分側のカメラ映像は送信されません。相手側の画面には、［カメラオフ］と表示されます。

 ＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- 切り替えには、約５秒かかります。切り替え中は、右の画面が表示されます。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- パケット通信中の場合は、切り替えできません。
- 電波状況によっては、音声電話からテレビ電話に切り替わらず、接続が切れる場合があります。



- テレビ電話から音声電話へ切り替えて電話を受ける方法については、P.92を参照してください。

エニーキーアンサー　⊙５６

ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時
ON

０、＊、１～９のボタンを押しても、電話を受けることができるように設定します。

- ダイヤルボタン以外に、⊙、⊡、◈、クリアでも電話を受けることができます。
- テレビ電話を⊙や⊙以外のボタンで受けることはできません。
- 光るワンタッチキー（☞P.406）に登録した相手からの電話またはテレビ電話は、エニーキーアンサーが OFF でも、点滅しているワンタッチキーを押して受けることができます。

1 詳細メニュー：待受画面で⊙→Settings 設定（設定）→［通話・通信機能設定］→［エニーキーアンサー］の順に選んで、１［ON］を選ぶ。

- エニーキーアンサーが設定されます。

クローズ動作設定　⊙５５

FOMA端末を折りたたんで通話を終了／保留する

お買い上げ時
終話

通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定できます。
［保留］（保留音を流す）、［終話］（通話を終了する）、［ミュート］（保留音を流さずに通話を保留する）のいずれかを選択できます。

- サブディスプレイには、音声電話の場合は［ミュート中］または［保留中］、テレビ電話の場合は［テレビ電話ミュート中］または［テレビ電話保留中］と表示されます。

1 詳細メニュー：待受画面で⊙→Settings 設定（設定）→［通話・通信機能設定］→［クローズ動作設定］の順に選んで、クローズ動作を選ぶ。

閉じたときに保留する	１［保留］
閉じたときに通話を終了する	２［終話］
閉じたときにミュートする	３［ミュート］

- クローズ動作が設定されます。

お知らせ

- ［保留］に設定しているときは、保留音が流れます。保留音は変更できます。（☞P.74）テレビ電話の場合、相手には保留画像設定（☞P.94）で設定した画像が送信されます。
- ［ミュート］に設定しているときは、保留音（☞P.74）は鳴りません。テレビ電話の場合、相手には代替画像設定（☞P.93）で設定した画像が送信されます。
- サブディスプレイには、音声電話の場合は［ミュート中］または［保留中］、テレビ電話の場合は［テレビ電話ミュート中］または［テレビ電話保留中］と表示されます。（表示できる文字数は、全角５文字までです。６文字以上の場合は、音量ボタン（サイドボタン）を押すとスクロール表示できます。）
- 再び通話するときは、FOMA端末を開きます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときは、［保留］、［ミュート］、［終話］の設定にかかわらず、FOMA端末を閉じても通話が継続されます。
  - ■ テレビ電話の場合、相手には代替画像設定（☞P.93）で設定した画像が送信されます。そのあと、FOMA端末を開くとカメラ画像が相手側に送信されます。（☞P.92）
- FOMA端末を閉じた状態でイヤホンマイクを抜くと、［ミュート］、［終話］に設定中はミュート状態になり、［保留］に設定中は保留状態になります。再びイヤホンマイクを接続するか、FOMA端末を開くと、通話できます。

着信履歴を利用する

かかってきた電話の履歴（着信履歴）は、最後にかかってきたものから最大30件までFOMA端末に記憶されます。これらの電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。
● 記憶できる件数を超えたときは、古い電話番号から順に削除されます。

着信履歴で電話をかける

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［電話機能］→［着信履歴］の順に選ぶ。



着信履歴詳細画面

● 待受画面で◇（着信履歴キー）を押しても同じ操作が行えます。
● 着信履歴詳細画面が表示され、最新の着信履歴の電話番号と日時が表示されます。
● 電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、メモリ番号の若い方の名前が表示されます。
● 別の着信履歴を表示するときは、◇を押します。
● 待受画面に［着信あり］が表示されているとき（不在着信）は、◉を押すと最新の着信履歴詳細画面が表示されます。（☞P.76）

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◇を押す。



着信履歴一覧画面

● 待受画面で◇を押すと着信履歴一覧画面が表示されます。
● 待受画面に［着信あり］が表示されているとき（不在着信）は、◉を押すと最新の着信履歴一覧画面が表示されます。
● 着信履歴一覧画面で電話番号を選んで◉を押すと、着信履歴詳細画面が表示されます。
● 着信履歴一覧画面で◇を押すとリダイヤル一覧画面に切り替えできます。

履歴の種類

♪：電話に出たものや、応答保留したもの
📼：伝言メモで用件録音されたもの
☎：電話に応答しなかったもの、転送先や留守番電話サービスセンターに転送したもの、電話帳指定着信拒否（☞P.169）、電話帳指定着信許可（☞P.167）、電話帳登録外着信拒否（☞P.173）、非通知理由別着信拒否（☞P.171）、ドライブモード（☞P.74）の設定により着信が拒否されたもの

電話の種類

📹：テレビ電話	64K：64Kデータ通信
🌐：国際電話	表示なし：音声電話

2 電話番号を選んで電話をかける。

音声電話をかける	☎または◉［音声電話］
テレビ電話をかける	ⓘ［テレビ電話］

● 表示されている電話番号に発信します。

お知らせ

● 着信履歴の電話の種類は、通話中に音声電話⇔テレビ電話を切り替えても、最初の応答時の種類が表示されます。
● 電話帳のPIMロック（☞P.163）、ユーザデータ削除（☞P.425）、ダイヤル発信制限（☞P.165）を行うと、それまでのリダイヤルと着信履歴、メール送受信履歴は削除されます。ただし、操作後の発信や着信でリダイヤルや着信履歴が新たに記憶された場合、それを利用して電話をかけることができます。なお、ダイヤル発信制限（☞P.165）中は、着信履歴から電話をかけることができません。
● 電話帳のPIMロック中は、電話番号のみ表示されます。PIMロックを解除すると、電話帳に登録されている名前が表示されます。

 ＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- 呼出動作開始時間設定（☞P.172）が［ON］で、不在着信履歴表示が［OFF］に設定されているときに電話がかかってきた場合、呼出動作開始時間内に電話が切断されたり、電波の状況が悪いために切断されると、着信履歴には表示されません。ただし、着信履歴一覧画面でⓜ→# ［全表示］を押して全表示を行うと、このような場合の着信履歴も表示されます。
- 電話に出られなかった場合、着信履歴詳細画面でⓜを押し、［呼出時間表示］を選んで⦿を押すと、かかってきた電話の呼出時間を表示できます。呼出時間は電話帳指定着信拒否、電話帳指定着信許可、電話帳登録外着信拒否、非通知理由別着信拒否、ドライブモードの設定により着信が拒否された場合は［0:00］と表示されます。
なお、［♪］が表示されているもの（かかってきた電話に出たものや、応答保留中に切断されたり切断したもの）については呼出時間が表示されません。
- ダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号とは異なる番号が表示される場合があります。
- 着信履歴表示（☞P.166）が［OFF］に設定されているとき、着信履歴は表示されません。
- 着信履歴一覧画面でⓘ［メール受信履歴］を押すと、メール受信履歴一覧画面が表示されます。
画面の見かた、メール受信履歴の利用のしかたについては、P.290を参照してください。
- FOMA端末の日時を正しく設定していないと、着信履歴の日時が正しく記憶されません。

サブメニューでできること

- 着信履歴の一覧画面や詳細画面でⓜを押すと、サブメニュー画面が表示され、次の操作を選択できます。

着信履歴のサブメニュー

着信履歴一覧画面でのメニュー項目	着信履歴詳細画面でのメニュー項目	はたらき
1 電話帳登録	1 電話帳登録	電話番号を電話帳に登録する。
2 削除	2 1件削除	記憶している電話番号を削除する。
—	3 番号非通知	発信する際の番号を非通知に設定する。
—	4 番号通知	発信する際の番号を通知に設定する。
—	5 プレフィックス選択	プレフィックス設定で登録した番号を付加する。（☞P.62）
—	6 付加番号削除	付加した番号を削除する。
—	7 国際電話発信	国際電話設定で登録した国際電話番号を付加する。（☞P.63）
—	8 マルチナンバー選択	マルチナンバー（☞P.441）利用時に選択する。
—	9 通信速度設定	テレビ電話発信時、64Kと32Kの通信速度を切り替える。（☞P.97）
0 メール作成	0 メール作成	メールを作成する。電話帳にメールアドレスが登録されていない場合は、着信した電話番号が宛先に入力される。
* スケジュール作成	* スケジュール作成	電話番号と着信日時をスケジュールに登録する。
# 全表示／限定表示	# 全表示／限定表示	呼出動作開始時間設定が［ON］に設定され、着信履歴表示が［OFF］のときに、呼出動作開始時間内に切れた電話があった場合、着信履歴をすべて表示するか、限定して表示するかを切り替える。（該当する着信履歴がない場合はグレーで表示されます。）
—	■呼出時間表示	不在のときの呼出時間を表示する。

関連操作

着信履歴を削除する<削除>

1 着信履歴一覧画面（☞P.70）で電話番号▶ⓜ▶2［削除］▶1［1件削除］
- すべての着信履歴を削除するとき：着信履歴一覧画面（☞P.70）で電話番号▶ⓜ▶2［削除］▶2［全件削除］
- 着信履歴詳細画面（☞P.70）から削除するとき：ⓜ▶2［1件削除］

2 ［はい］▶⦿

関連操作

お知らせ

着信履歴の削除について

- 電源を切っても着信履歴は削除されません。他の人に見られたくないときは、着信履歴を削除してください。
- 次の操作を行うと、着信履歴はすべて削除されます。
  - ■ ダイヤル発信制限（☞P.165） ■ 電話帳のPIMロック（☞P.163） ■ ユーザデータ削除（☞P.425）

受話音量

通話中に相手の声の音量を調節する

お買い上げ時
音量3

通話中に受話音量を５段階で調節できます。

- 着信中は調節できません。
- 待受中の受話音量調節については、P.129を参照してください。

1 通話中に右側面の(大)または(小)を押す。



受話音量調節画面

2 (大)（上げる）／(小)（下げる）を押して音量を調節する。

- 約２秒後、または◉、(クリア)を押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 通話中や待受中に調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

かかってきた電話にすぐに出られないときは、保留にできます。

- 応答保留中も、相手に通話料金がかかります。

1 着信音が鳴っている間に(電源)を押す。



- 「ピーピッ」と鳴って、応答保留状態になります。マナーモード設定中は、「ピーピッ」という音は鳴りません。
- かけてきた相手には、応答保留音（☞P.73）が流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。
- 応答保留中に電話を切るときは、(電源)を押します。（着信履歴に記憶されます。）
- 応答保留中に相手が電話を切ったときも着信履歴に記憶されます。

2 電話に出るときは(通話)を押す。

 ＊メニューを切り替えるときは(i)［(i)基本メニューへ］または［(i)詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- 応答保留中にFOMA端末を閉じても応答保留状態は続きます。このとき、サブディスプレイに［応答保留中］が表示されます。（クローズ動作設定（☞P.69）とは連動していません。）

応答保留音　◉181

応答保留音を設定する

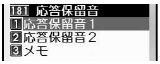
お買い上げ時
応答保留音1

応答保留中に相手へ流れるガイダンスを設定します。[応答保留音1]（日本語）と［応答保留音2］（英語）、または録音した音声メモを選択できます。

応答保留音1…　［ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。］

応答保留音2…　［I can't take your call now. Please hold the line for a moment or call me back later, thank you.］

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［音］→［保留・応答保留音］→［応答保留音］の順に選んで、応答保留音を選ぶ。



日本語のガイダンスを設定する	1［応答保留音1］
英語のガイダンスを設定する	2［応答保留音2］
録音した音声メモを設定する	3［メモ］→2［再生］→メモ→◉［決定］※
音声メモを録音してから設定する	3［メモ］→1［録音］→録音→◉［停止］→2［再生］→メモ→◉［決定］
音声メモにセキュリティを設定する	3［メモ］→＊（1秒以上）→端末暗証番号（4～8桁の数字）入力→◉→1［ON］ ● セキュリティを解除するとき：2［OFF］

※ 音声メモを録音している場合

- ［応答保留音1］または［応答保留音2］を選んで◉［再生］を押すと、応答保留音が再生されます。もう一度◉［停止］を押すと再生が停止され、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 録音した音声メモを応答保留音に設定している場合、設定した音声メモを削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

保留音　◎1 8 2

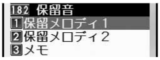
通話保留音を設定する

お買い上げ時
保留メロディ１

通話を保留にしたときに相手へ流す保留音として、[保留メロディ１]、[保留メロディ２]、または録音した音声メモを選択できます。

● 通話中の保留音は受話音量と同じ音量で流れます。

1 詳細メニュー：待受画面で◎→ Settings 設定（設定）→［音］→［保留・応答保留音］→［保留音］の順に選んで、保留音を選ぶ。



保留メロディ１にする	1［保留メロディ１］
保留メロディ２にする	2［保留メロディ２］
録音した音声メモを設定する	3［メモ］→2［再生］→メモ→◉［決定］※
音声メモを録音してから設定する	3［メモ］→1［録音］→録音→◎［停止］→2［再生］→メモ→◉［決定］
音声メモにセキュリティを設定する	3［メモ］→✉（１秒以上）→端末暗証番号（４～８桁の数字）入力→◎→1［ON］ ● セキュリティを解除するとき：2［OFF］

※ 音声メモを録音している場合

● ［保留メロディ１］または［保留メロディ２］を選んで◉［再生］を押すと、保留音が再生されます。もう一度◉［停止］を押すと再生が停止され、元の画面に戻ります。

お知らせ

● 録音した音声メモを保留音に設定している場合、設定した音声メモを削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

ドライブモード

運転中に電話を受けないようにする

ドライブモード（運転中ガイダンス機能）は、運転中の安全性を重視した自動応答サービスです。ドライブモードに設定すると、音声電話がかかってきたときは、相手の方に運転中のため電話に出られない旨のガイダンスを流し、通話を終了します。テレビ電話がかかってきたときは、相手の方に［ドライブモード中です］と表示し通話を終了します。

● ドライブモードの設定／解除を行うことができるのは、待受中のみです。圏外時でも設定／解除できます。
● ドライブモード設定中も、通常どおり電話をかけることができます。
● 詳しい操作については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 待受画面で✉を１秒以上押す。

● ［設定しました］と表示され、ドライブモードが設定されます。（［🚗］表示）

＊ メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

ドライブモードを解除する

1 ドライブモードが設定されているとき、待受画面でを1秒以上押す。
- ［解除しました］と表示され、ドライブモードが解除されます。

■ ドライブモードを設定すると

お客様のFOMA端末に音声電話やテレビ電話がかかってきても、着信音は鳴りません。ディスプレイには［着信あり］と表示され、着信履歴に記憶されます。（☞P.70）

音声電話をかけてきた相手の方：運転中の旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

テレビ電話をかけてきた相手の方：［ドライブモード中です］と表示され、通話を終了します。

- 電源が入っていない場合や電波が届かないところにいる場合は、運転中の旨のガイダンスは流れず、圏外時と同じガイダンスが流れます。
- ｉモードメール、SMSやメッセージR／Fは、着信バイブレータを設定しても振動しません。また、着信音も鳴りませんが自動的に受信し着信のマークが表示されます。
- データ通信を着信したときも着信バイブレータ・着信音・着信ランプは動作しません。

■ ドライブモード設定中に下記のサービスを設定した場合

サービス名		音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス		着信音は鳴らず、運転中のため留守番電話サービスに接続する旨のガイダンスが流れ、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。着信履歴には記憶されます。※1	留守番電話サービスセンターに接続されずに、通話を終了します。
転送でんわサービス		接続されず、運転中のため転送する旨のガイダンスが流れ、指定した転送先に転送されます。着信履歴には記憶されます。※2	接続されず、すぐに転送されます。ただし、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話（☞P.84）以外の場合は、転送されずに、通話を終了します。着信履歴には記憶されます。
キャッチホン		着信音は鳴らず、運転中の旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴には記憶されます。	着信音は鳴らず、［ドライブモード中です］と表示され、通話を終了します。着信履歴には記憶されます。
迷惑電話ストップサービス（拒否登録した電話番号から着信した場合）		接続されず、着信拒否のガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴にも記憶されません。	接続されず、［接続できませんでした］と表示され、通話を終了します。着信履歴にも記憶されません。
番号通知お願いサービス	電話番号非通知設定の場合	接続されず、番号通知のお願いガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴にも記憶されません。	接続されず、［接続できませんでした］と表示され、通話を終了します。着信履歴にも記憶されません。
	電話番号非通知以外の場合	着信音は鳴らず、運転中の旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴には記憶されます。	着信音は鳴らず、［ドライブモード中です］と表示され、通話を終了します。着信履歴には記憶されます。

※1 留守番電話サービスの呼出時間を［0秒］に設定している場合は、ガイダンスは流れず、すぐに留守番電話サービスセンターに接続されます。着信履歴にも記憶されません。

※2 転送でんわサービスの呼出時間を［0秒］に設定している場合は、ガイダンスは流れず、すぐに転送されます。着信履歴にも記憶されません。

次ページへ続く

お知らせ

- 本機能は、データ通信中はご利用になれません。
- 留守番電話サービスについてはP.428、転送でんわサービスについてはP.433、キャッチホンについてはP.431、番号通知お願いサービスについてはP.436、迷惑電話ストップサービスについてはP.435を参照してください。
- ドライブモード設定中でも、遠隔オールロックの操作ができます。このときは、ドライブモードのガイダンスが流れたら電話を切ってください。ただし、着信回数に達してオールロックが設定されるときは、ドライブモードのガイダンスは流れず、オールロック設定の通知音「ピーピー」が流れます。
- GIFアニメーション、Flash画像を待受画面に設定した場合、[ ] はアニメーションが終了するまで表示されません。
- ドライブモードは、マナーモードよりも優先されます。
- ドライブモード設定中にアラーム時刻になったときは、アラーム音は鳴りません。ピクチャーライト、バイブレータも動作しません。

不在着信

不在着信を確認する

かかってきた電話に出られなかったとき、待受画面には［着信あり］と着信件数が表示されます。（不在着信表示）

- 不在着信を確認するか、クリアを１秒以上押すと、［着信あり］の表示が消えます。
- FOMA端末を閉じているときは、大／小を１秒以上押すと［着信あり］の表示が消えます。



1 待受画面に［着信あり］が表示されているときに、◉を押す。

- 不在着信の着信履歴詳細画面が表示されます。
- 詳細メニューを表示するように設定しているときは、着信履歴一覧画面が表示されます。
- 不在着信には［☎］が表示されます。
- ◇（ ）を押しても、着信履歴を確認できます。（☞P.70）
- 着信履歴と同様の操作で、電話をかけたり、他の着信履歴を確認できます。

お知らせ

- ダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号とは異なる番号が表示される場合があります。
- オールロック（☞P.160）中は、確認できません。

 ＊メニューを切り替えるときは ［ 基本メニューへ］または［ 詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときにFOMA端末が応答して伝言を預かることができます。音声電話がかかってきた場合は、応答文を流して相手の用件を録音します。テレビ電話がかかってきた場合は、応答画像で応対して相手の画像と音声を録画します。

- 伝言メモはFOMA端末の電源が切れていたり、電波の届かない場所にいるときには使用できません。ネットワークサービスの留守番電話サービスを併せてご利用になると便利です。
- 音声伝言メモは3件（1件あたり約15秒）まで録音できます。通話中音声メモや待受中音声メモを録音したときは、それらの件数も含めて3件です。
- テレビ電話伝言メモは最大2件（1件あたり約15秒）まで録画できます。
- 待受画面に表示される伝言メモの件数は、音声伝言メモとテレビ電話伝言メモの合計です。

◉ 5 4 1

伝言メモを設定する<伝言メモ設定>

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings設定（設定）→［通話・通信機能設定］→［伝言メモ設定］→［伝言メモ設定］の順に選んで、1［ON］を選ぶ。

伝言メモ表示



- 伝言メモが設定されます。
  ◎を押すと待受画面に戻ります。（［伝言メモ］表示）
- 伝言があると、［1件］（1件の場合）［2件］（2件の場合）…のように件数を表すマークが表示されます。5件目が録音されると、［伝言メモ］は自動的に消えます。
- ［音声伝言メモがすでに3件録音されています］と表示されたときは、音声伝言メモ3件、テレビ電話伝言メモ2件未満、録音済みです。
- ［テレビ電話伝言メモがすでに2件録画されています］と表示されたときは、音声伝言メモ3件未満、テレビ電話伝言メモ2件録音済みです。
- ［これ以上録音できません］と表示されたときは、音声伝言メモ3件、テレビ電話伝言メモ2件録音済みです。不要な伝言メモを削除してからやり直してください。（☞P.80）

お知らせ

- 留守番電話サービスを利用すると、1件あたり3分間、20件まで録音できます。（☞P.428）
- 通話中音声メモ、待受中音声メモについては、P.412を参照してください。
- GIFアニメーション、Flash画像を待受画面に設定した場合、［伝言メモ］はアニメーションが終了するまで表示されません。
- 伝言メモを設定していない場合でも、音声電話がかかってきたときに◉→2［伝言メモ録音］を押すと、その着信に限り用件を録音できます。（クイック伝言メモ）（☞P.80）

伝言メモを解除する

◉ 5 4 1

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings設定（設定）→［通話・通信機能設定］→［伝言メモ設定］→［伝言メモ設定］の順に選んで、2［OFF］を選ぶ。

- 伝言メモが解除されます。◎を押すと待受画面に戻り［伝言メモ］が消えます。
- マナーモード設定時の伝言メモの設定／解除は、マナーモード設定（☞P.133）で行ってください。

伝言メモを設定したときは

1 電話がかかってくると、伝言応答時間（☞**P.79**）のあとに伝言メモが応答する。



音声電話
伝言メモ応答中



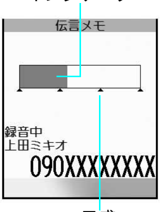
テレビ電話
伝言メモ応答中

- サブディスプレイには、伝言メモ応答中である旨のメッセージが表示されます。
- 音声電話をかけてきた相手には、応答文が流れます。
- テレビ電話がかかってきたときは、［伝言メモ準備中　お待ち下さい］と表示されたあと、テレビ電話伝言メモ用の応答画像が表示されます。
- テレビ電話をかけてきた相手には、伝言メモメッセージが流れ、応答画像が送信されます。

音声伝言メモ応答中に電話に出る		☎
テレビ電話伝言メモ応答中にテレビ電話に出る	自分側のカメラ映像を送信する	Ⓘ［テレビ電話］
	代替画像を送信する	☎ ● 代替画像設定（☞P.93）で設定した画像が送信されます。

2 相手の用件を録音または録画する。

インジケータ



目盛



- サブディスプレイには、伝言メモ録音中である旨のメッセージが表示されます。
- インジケータおよび目盛は目安です。
- 用件の録音が終わると、待受状態になります。
- 音声伝言メモのときは、録音中は相手の声が受話口から聞こえます。（マナーモード設定時は、受話口から相手の声は聞こえません。）録音を開始するときに、相手に「ピー」と発信音が流れます。
- テレビ電話伝言メモのときは、録画中は画面に相手の画像は表示されませんが、実際は相手の画像も録画しています。

音声伝言メモ録音中に電話に出る		☎
テレビ電話伝言メモ録画中にテレビ電話に出る	自分側のカメラ映像を送信する	Ⓘ［テレビ電話］
	代替画像を送信する	☎ ● 代替画像設定（☞P.93）で設定した画像が送信されます。

- 電話に出るまでの間に録音または録画された内容は記憶されます。

お知らせ

- 音声伝言メモが３件、テレビ電話伝言メモが２件になると［📼］が消え、それ以降、音声電話やテレビ電話がかかってきても伝言メモで応答しません。
  伝言メモが設定されている場合は、不要な用件を削除すると、伝言メモが再び有効になります。
- 伝言メモ・テレビ電話伝言メモが３秒以下の場合、録音されないことがあります。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって録音内容が消失する場合があります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、音声伝言メモ、テレビ電話伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。
- 電波の状態により録音内容が途切れたりすることがあります。
- テレビ電話伝言メモの応答画像を設定できます。（☞P.91）

お知らせ

- テレビ電話伝言メモの応答中、相手には、本FOMA端末で設定した応答画像に［伝言メモ］という文字が重なって表示されます。
- 伝言メモの用件は電源を切っても消えません。
- 伝言メモ録音・録画中は第三者から電話がかかってきても受けることができません。第三者には話中音が流れます。
- 留守番電話サービス（☞P.428）を設定しているときは、音声伝言メモが３件録音されても留守番電話サービスセンターで用件をお預かりします。
- 伝言メモを設定していなくても、着信中のボタン操作で伝言メモを設定し、用件を録音・録画できます。（☞P.80、P.91）
- 圏外通知や番号変更案内、留守番電話開始などのガイダンスは録音できません。
- ドライブモード（☞P.74）を設定しているときは、伝言メモは動作しません。
- 待受画面に［伝言メモ○件］が表示されているときに◎→2［再生］を押すと、伝言メモ再生画面が表示されます。

関連操作

応答メッセージが始まるまでの時間を設定する<伝言応答時間>

詳細メニューから5［通話・通信機能設定］▶4［伝言メモ設定］▶2［伝言応答時間］▶応答時間（３桁：000～120秒）を入力▶◎

- 着信音を鳴らさずに、伝言メモが応答するようにするとき：応答時間に［000秒］を入力

応答メッセージを設定する<応答メッセージ>

1 詳細メニューから5［通話・通信機能設定］▶4［伝言メモ設定］▶3［応答メッセージ］

2 メッセージの種類▶◎

- オリジナルの応答メッセージを設定するとき（音声メモを録音している場合）：3［オリジナル］▶2［再生］▶メモ▶i［決定］
- オリジナルの応答メッセージを録音するとき：3［オリジナル］▶1［録音］▶録音▶◎［停止］▶2［再生］▶メモ▶i［決定］
- セキュリティを設定するとき：3［オリジナル］▶*（１秒以上）▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◎▶1［ON］
- 応答メッセージを再生するとき：i［再生］
- 応答メッセージを停止するとき：i［停止］

お知らせ

伝言応答時間について

- 伝言応答時間は、音声伝言メモとテレビ電話伝言メモに共通の設定です。
- お買い上げ時は、［８秒］に設定されています。
- オート着信の設定と同じ時間には設定できません。（☞P.424）
- 留守番電話サービス（☞P.428）や転送でんわサービス（☞P.433）を伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。
  伝言メモを優先させるためには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも伝言メモの呼出時間を短く設定してください。

応答メッセージについて

- お買い上げ時は、応答メッセージは［応答メッセージ１］、テレビ電話時応答画像は［伝言メモ画像］に設定されています。
- オリジナルの応答メッセージは「伝言メモ・通話中音声メモを削除する」（☞P.81）で削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音する

音声電話がかかってきたときに伝言メモを設定していない場合も、その着信に限り用件を録音できます。

1 音声電話着信中に◉→2［伝言メモ録音］を選ぶ。



- 応答文が流れたあと、録音が始まります。
- テレビ電話着信中に伝言メモを録画する方法については、P.91を参照してください。
- ［音声メモがすでに３件録音されています］と表示されたときは、音声伝言メモ３件、テレビ電話伝言メモ２件未満録音済みです。不要な伝言メモを削除してからやり直してください。（☞P.81）
- ［これ以上録音できません］と表示されたときは、音声伝言メモ３件、テレビ電話伝言メモ２件録音済みです。不要な伝言メモを削除してからやり直してください。（☞P.81）

お知らせ

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって録音内容が消失する場合があります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

伝言メモ・音声メモ再生／削除

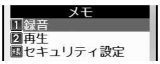
伝言メモ・音声メモを再生／削除する

伝言メモの用件、通話中音声メモや待受中音声メモの内容を再生したり、削除できます。

伝言メモ・音声メモを再生する

再生時の音量は、受話音量調節（☞P.72）の設定に従います。

1 待受画面で1を１秒以上押し、2［再生］を選ぶ。





伝言メモの
メモリスト画面

［伝言メモ○件］と表示されているとき
- 待受画面で◉を押します。
- 未再生のメモには、［📼］が表示されます。

着信種別

📞　：通話中音声メモ
📼　：伝言メモ
🎤　：待受中音声メモ

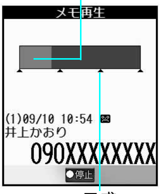
電話種別

📹　：テレビ電話
表示なし：音声電話

＊メニューを切り替えるときは📱［📱基本メニューへ］または［📱詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

2 メモを選んで◉［再生］を押す。

インジケータ



目盛

音声電話
伝言メモの場合

- メモが再生されます。
- インジケータおよび目盛は目安です。
- 非通知着信および待受中音声メモの場合、電話番号や名前は表示されません。

再生を途中で止める	◉［停止］
再生中のメモを最初から聞く	◉［停止］→◉［再生］
再生中に他のメモを聞く	◉［停止］→メモ→◉［再生］

お知らせ

- 音声メモの録音については、P.412を参照してください。

伝言メモ・音声メモの再生／削除について

- 伝言メモ・音声メモの再生中に電話がかかってくると、再生は自動的に止まります。
- 伝言メモ・音声メモの再生中にアラームの指定時刻になると、再生は自動的に止まり、アラームが動作します。
- テレビ電話伝言メモの再生時にマナーモード設定されている場合は、確認画面が表示されます。再生するときは、［はい］を選択します。
- FOMA端末の日時を正しく設定していないときは、伝言メモ・音声メモの録音日時が正しく表示されません。
- 着信履歴表示（☞P.166）を［OFF］に設定しているときは、メモリスト画面は表示されず、伝言メモ・音声メモは再生／削除できません。

伝言メモ・音声メモのPIMロック中の場合（☞P.163）

- 操作1で1を1秒以上押すと、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力すると、PIMロックは一時解除され、操作できるようになります。
- 操作を終了して待受画面に戻ると再びロックされます。

伝言メモ・通話中音声メモを削除する

1 メモリスト画面（☞**P.80**）でメモを選び、削除方法を選ぶ。

メモを1件削除する	m→1［1件削除］→［はい］→◉
すべてのメモを削除する	m→2［全件削除］→［はい］→◉

- メモが削除されます。

関連操作

伝言メモ・音声メモをPIMロックする<セキュリティ設定>

待受画面で1（1秒以上）▶ （1秒以上）▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶1［ON］

►MEMO◄

テレビ電話のかけかた／受けかた

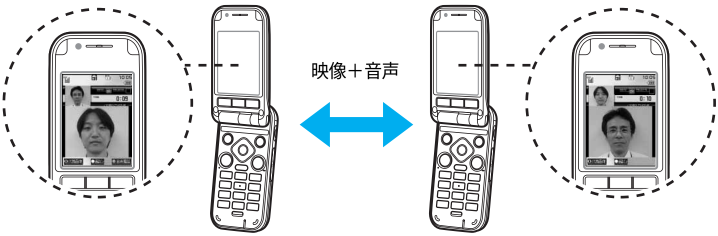
テレビ電話について

画面に映ったお互いの映像を見ながら通話できます。

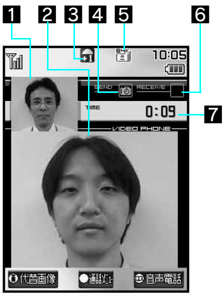
- テレビ電話は64K（kbps）または32K（kbps）で通信できます。
- 64Kまたは32Kのどちらの通信速度でも、接続したときのデジタル通信料は同じです。
- 自画像の代わりに代替画像を送受信して通話する場合も、デジタル通信料がかかりますので、ご注意ください。
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用できます。（☞P.62）
- テレビ電話通信機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。
- ドコモのテレビ電話は、「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

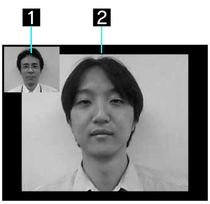
※1 3GPP（3rd Generation Partnership Project）：第３世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2 3G-324M：第３世代携帯テレビ電話の国際規格です。



テレビ電話中の画面の見かた





画面サイズ：
フルスクリーン※

1. 子画面：自分側のカメラ映像（お買い上げ時）
2. 親画面：相手側のカメラ映像（お買い上げ時）
3. カメラの明るさ：　−2　−1　+1　+2
（明るさ［±0］のときはマークが表示されません。）
4. 送信画像マーク
送信している画像の種類や状態を表示します。
:カメラ映像送信中
:代替画像送信中
:データBOXのマイピクチャの画像を送信中
:カメラ映像の一時停止中
5. テレビ電話中表示
テレビ電話の通信速度やハンズフリーの状態を表示します。
:テレビ電話通信中（64K）
:テレビ電話通信中（32K）
:ハンズフリー中（64K）
:ハンズフリー中（32K）
6. 受信画像マーク
:相手側の画像を撮影、保存するときに表示します。
7. 通信時間：通信時間を最長９時間59分59秒まで表示します。９時間59分59秒を超えると、０秒に戻ってカウントします。

※ フルスクリーン表示にする場合は、FOMA端末を横向きにしてご使用ください。

- 画面はイメージで、実際に同じ画面は表示されません。

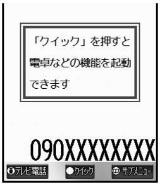
＊メニューを切り替えるときは［基本メニューへ］または［詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

テレビ電話をかける

電池残量および受信レベルが十分であることを確認してください。

- 自分側のカメラ映像の代わりに、代替画像を相手に送信することもできます。
- テレビ電話をかけるときは、お互いの映像を見ながら通話できるように、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク（☞P.422）を利用するか、ハンズフリー（☞P.87）を利用してください。

1 待受画面で電話番号を市外局番からダイヤルする。



- 同一市内でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 電話番号は80桁まで入力できます。13桁を超えると2行で表示されます。26桁を超えた場合、最後から26桁が2行表示されます。

携帯電話にかける	電話番号11桁（090-XXXX-XXXX、080-XXXX-XXXX）を入力
PHSにかける	電話番号11桁（070-XXXX-XXXX）を入力
国際電話をかける（[+] 入力）	0（1秒以上）→電話番号の入力 ● 先頭に［+］が入力された場合、［+］以降の電話番号への発信・通話動作を行います。
ダイヤルを間違えたとき	クリア（最後の1桁が消えます。） ● すべての桁を消すときはクリアを1秒以上押します。（待受画面に戻ります。） ● ☎を押してからダイヤルしたときは、クリアを押しても消えません。電源を押してください。（待受画面に戻ります。）

2 ◉［テレビ電話］を押す。

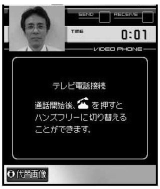


- 電話帳に名前を登録しているときは、電話番号と名前が表示されます。

バニティミラー機能

- 自分側のカメラ映像が表示され、電話に出る前にご自分の映像を確認できます。身だしなみを整えるのに利用できます。
- 発信時自画像送信を［OFF］に設定して発信した場合、代替画像設定（☞P.93）で設定した画像が表示されます。

3 相手が電話に出たら通話する。





- 相手が電話に出ると、［テレビ電話接続　通話開始後、☎ を押すとハンズフリーに切り替えることができます］が表示されます。この時点からデジタル通信料がかかります。
- 相手側の映像が親画面に表示され、自分側のカメラ映像は子画面に表示されます。

ハンズフリーで話す（☞P.87）	☎
通話中に代替画像を送信する	◉［代替画像］
プッシュホン信号を送信する <DTMF送信モード>	送信する番号を入力
自分の電話番号を表示する	◈［通話メニュー］→0［電話番号表示］

4 通話が終わったら電源を押す。

次ページへ続く

関連操作

光るワンタッチキーでテレビ電話をかける

待受画面で電話番号が登録されている[キー]〜[キー]▶[i]［テレビ電話］

お知らせ

光るワンタッチキーについて

● [キー]〜[キー]に電話番号を登録する方法については、P.406を参照してください。

お知らせ

● FOMA端末から緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけることはできません。
● テレビ電話に対応していない端末にテレビ電話をかけた場合は接続できません。音声自動再発信が［ON］に設定されている場合は、自動的に音声電話で発信し直します。（☞P.97）その場合、通信料金は音声通話料となります。なお、ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M（☞P.84）に対応していないISDNのテレビ電話など（2005年7月現在）や間違い電話をかけたときなどは、このような動作にならないことがあります。また、通信料金が発生する場合もありますので、ご注意ください。
● 相手がテレビ電話に対応した FOMA端末の場合は、64Kでかけることをおすすめします。ネットワーク状況によって64Kが利用できないPHSなどの機器と接続する場合は、32Kに設定してください。64Kでテレビ電話をかけても、相手が32Kエリアなどの通信環境の場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。リダイヤル時は最後に発信した方法で発信します。（☞P.97）

ダイヤル入力時の設定速度	音声自動再発信	発信順序
64K	ON	64K発信→32K発信→音声発信
	OFF	64K発信→32K発信
32K	ON	32K発信→音声発信
	OFF	32K発信

● 自分側のカメラ映像を送信する場合、光量が少ない場所では映像に白い線などのノイズが増えます。また、太陽やランプなどの強い光源がじかに入る場所では、映像が暗くなったり、乱れることがあります。適切な場所でテレビ電話をご利用ください。
● キャッチホンに加入している場合はテレビ電話中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、着信履歴に記憶され、待受画面に［着信あり］と表示されます。
● テレビ電話中、ｉモードメールやメッセージR／Fは受信されず、ｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに保管されたｉモードメールやメッセージR／Fは、テレビ電話終了後、ｉモード問い合わせを行うと受信できます。
● テレビ電話中、SMSは自動的に受信します。
● 音声や映像の送受信に失敗した場合、自動的に復旧しません。もう一度テレビ電話をかけ直してください。
● テレビ電話の通信が開始されると、音声自動再発信は行いません。
● テレビ電話は［テレビ電話通話時間］としてカウントされます。（☞P.418）
● テレビ電話中に音声電話をかけたり、ｉモードを利用することはできません。
● テレビ電話中に電池が切れると、警告音が鳴り、約20秒後に通話が切れ、約60秒後に電源が切れます。
● 代替画像を表示してテレビ電話で通話しているときも、デジタル通信料がかかります。

＊メニューを切り替えるときは[i]［[i]基本メニューへ］または［[i]詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

テレビ電話がつながらなかったとき

- テレビ電話がつながらなかったときは、接続できなかった理由をメッセージで表示します。なお、相手の電話機の種類やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とは異なることがあります。

メッセージ	理　由
番号をご確認の上、おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合に表示されます。
お話中です	相手が通話中に表示されます。
転送致しますのでお待ち下さい	相手が転送設定している場合に表示されます。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいるか、または電源を入れていません。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます。（Vライブやビジュアルネットなどへの発信時）
音声電話でおかけ直しください	相手が留守番電話サービスに設定しているか、転送先がテレビ電話非対応の場合に表示されます。
接続できませんでした	上記以外の場合に表示されます。
ドライブモード中です	相手がドライブモードを設定しています。

ハンズフリーで話す＜ハンズフリー＞

テレビ電話の通話中に相手の声をスピーカから流して、映像を見ながら通話できます。

- 他の人の迷惑にならないような場所でご利用ください。

1 テレビ電話の通話中に を押す。



- ハンズフリーのマークが表示されます。
  ：ハンズフリー中（64K）
  ：ハンズフリー中（32K）
- もう一度 を押すと、ハンズフリーが解除されます。
- マナーモードを設定しているときは、［マナーモード中です　ハンズフリーにしますか？］と表示されます。［はい］を選んで を押します。

お知らせ

- 送話口から20～40cm程度が最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
- 屋外や騒音が大きい場所でハンズフリー通話を行う場合は、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク（☞P.422）をご利用ください。
- ハンズフリー通話中、音が割れて聞きとりにくいときは、受話音量を下げてください。

テレビ電話の通話中に保留にする＜通話中保留＞

テレビ電話の通話中に、通話を保留にします。

1 テレビ電話の通話中に → ［通話中保留］を選ぶ。



- 保留状態になり、保留用の代替画像が表示されます。（☞P.94）
- かけてきた相手には保留音（☞P.73）が流れ、保留中の代替画像が送信されます。

2 電話に出られるようになったら、◉［テレビ電話］を押す。

- 相手と通話できます。相手には、自分側のカメラ映像が送信されます。
- 代替画像を送信して通話するときは、⊜を押します。

お知らせ

- 送信する代替画像は、保留画像設定（☞P.94）で設定できます。
- 保留中、相手には、本FOMA端末で設定した代替画像に［保留］という文字が重なって表示されます。
- 保留音の設定については、P.74を参照してください。

テレビ電話の通話中に相手の声の音量を調節する<受話音量>

お買い上げ時
音量3

テレビ電話の通話中に相手の声の大きさを５段階で調節できます。
- 着信中は調節できません。

1 テレビ電話の通話中に右側面の㊀または㊁を押す。

- 受話音量調節画面が表示されます。

2 ㊀（上げる）／㊁（下げる）を押して音量を調節する。

- 約２秒後、または◈、クリアを押すと、元の画面に戻ります。

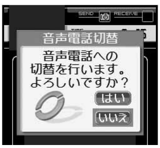
お知らせ

- 受話音量を上げて通話すると、周囲の状況により雑音が発生することがあります。適切な音量でご使用ください。

テレビ電話から音声通話へ切り替える

自分から電話をかけたときに、テレビ電話⇔音声電話を切り替えできます。
- 相手がFOMA端末の切替機能通知設定（☞P.97）を［開始］に設定している必要があります。
- 電話を受けたときは切り替えることができません。相手から切り替えてもらってください。
- 相手側が切り替え可能な端末の場合、画面右下の操作ガイダンスに［音声電話］が表示され、テレビ電話中に音声電話に切り替えることができます。（音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種にてご利用いただけます。）

1 テレビ電話の通話中に㊞［音声電話］を押す。



2 ［はい］を選ぶ。

- 切り替え中は、［しばらくお待ちください］と表示され、音声ガイダンスが流れます。
- ［いいえ］を選ぶと、テレビ電話の画面に戻ります。
- テレビ電話⇔音声電話の切り替えは、通話中何度でも可能です。切り替えるたびに、通話時間表示が０秒から開始されます。

お知らせ

- 通話中でも、通話メニューから他の画面を表示したときや、保留中などには音声電話には切り替えできません。
- 切り替えには、約５秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 電波状況によっては、テレビ電話から音声電話に切り替わらず、接続が切れる場合があります。
- ［切替中］が表示されている間は、料金は課金されません。
- ハンズフリー通話中に音声電話に切り替えた場合、切り替えたあともハンズフリー通話が継続されます。
- 切り替え中に、ハンズフリーを解除することはできません。
- 32Kでのテレビ電話中は、音声電話に切り替えることはできません。

＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- 音声電話からテレビ電話への切り替え方法については、P.58を参照してください。

テレビ電話を受ける

- テレビ電話に出ると、ディスプレイに相手側のカメラ映像と自分側のカメラ映像が表示されます。
- 自分側のカメラ映像の代わりに代替画像を相手に送信して、電話を受けることもできます。
- テレビ電話を受けるときは、お互いの映像を見ながら通話できるように、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク（☞P.422）を利用するか、ハンズフリー（☞P.87）を利用してください。

1 テレビ電話がかかってくると、着信音が鳴り、ピクチャーライト／着信ランプが点滅する。



- 電話帳に相手の名前を登録しているときは、名前が表示されます。なお、相手から発信者番号が通知されないときは名前や電話番号は表示されません。
- FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイの表示で確認できます。（表示できる文字数は、全角５文字までです。６文字以上の場合は、大／小を押すとスクロール表示できます。）

2 ⓘ［テレビ電話］を押す。



- 相手側のカメラ映像が親画面に表示され、自分側のカメラ映像は子画面に表示されます。
- 代替画像を送信して電話を受けるときは、着信中にⓒを押します。
- ハンズフリーで話すときは、通話中にⓒを押します。（☞P.87）

3 通話が終わったら電源を押す。

お知らせ

- 送信する代替画像は、代替画像設定（☞P.93）で設定できます。
- 音声通話中にテレビ電話がかかってきた場合、キャッチホン（ネットワークサービス）のお申し込みにかかわらず、テレビ電話を受けることができます。テレビ電話を選択した場合は、通話中の音声電話は切断されます。
- 留守番電話サービスを［開始］に設定しているときに901iSシリーズまたはSH851iからテレビ電話がかかってきた場合、設定した呼出時間が経過すると、相手には［音声電話でおかけ直しください］と表示され、電話が切れます。901iSシリーズまたはSH851i以前のテレビ電話対応機種からテレビ電話がかかってきた場合は、［接続できませんでした］と表示され、電話が切れます。設定した呼出時間内に応答すると、そのまま通話できます。
- 着信側で転送でんわサービスを［開始］に設定しても、転送先が3G-324M（☞P.84）に準拠したテレビ電話対応機でないと、テレビ電話は転送されません。転送先をあらかじめご確認のうえ、転送設定してください。
- ドライブモード設定中にテレビ電話がかかってきたときは、着信音が鳴らず、ピクチャーライト／着信ランプも点滅しません。着信履歴に記憶され、待受画面に［着信あり］と表示されます。
- 相手側から映像が送信されてこないときには、黒い画面が表示されます。
- 迷惑電話ストップサービスで拒否登録した電話番号からテレビ電話着信があった場合、着信拒否ガイダンスは流れずに、切断されます。（☞P.435）

お知らせ

着信中のボタン操作

スタイル	自画像で応答	代替画像で応答	応答保留（☞P.72）	クイックサイレント	着信拒否／テレビ電話伝言メモ／着信転送	マナーモード設定（☞P.133）
開いているとき	ⓘ または □～□（点滅中）	☎	☎	# または ◈（1秒以上）	◈［着信メニュー］	#（1秒以上）
閉じているとき	－	－	－	－	－	大／小（1秒以上）

● テレビ電話の場合、エニーキーアンサー（☞P.69）を［ON］に設定していても、上記以外のボタン操作は無効です。

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を利用するとき

● 平型スイッチ付イヤホンマイク接続中にテレビ電話がかかってきた場合、イヤホンのスイッチを２秒以上押すと、代替画像でテレビ電話を受けることができます。テレビ電話中に代替画像とカメラ映像を切り替えることもできます。（☞P.423）
● オート着信設定（☞P.424）を［ON］に設定すると、平型スイッチ付イヤホンマイク接続中にテレビ電話がかかってきた場合、指定した着信時間後に代替画像を送信して応答します。テレビ電話中に代替画像とカメラ映像を切り替えることもできます。（☞P.423）

すぐに電話に出られないときに保留にする＜応答保留＞

テレビ電話がかかってきたとき、すぐに出られないときは保留にできます。
● 応答保留中でも、相手にデジタル通信料がかかります。

1 着信音が鳴っているときに☎を押す。



● 「ピーピッ」と鳴って、応答保留状態になります。マナーモード設定中は、「ピーピッ」という音は鳴りません。
● ［テレビ電話接続］と表示され、応答保留用の代替画像が表示されます。（☞P.94）
● かけてきた相手には、電話はつながった状態のまま、応答保留音（☞P.73）が流れ、代替画像が送信されます。
● 応答保留中に電話を切るときは、☎を押します。（着信履歴に記憶されます。）
● 応答保留中に相手が電話を切ったときは、電話が切れます。（着信履歴に記憶されます。）

2 電話に出られるようになったら、ⓘ［テレビ電話］を押す。

● 相手と通話できます。相手に、自分側のカメラ映像が送信されます。
● 代替画像を送信して通話するときは、☎を押します。

お知らせ

● 送信する代替画像は、応答保留画像設定（☞P.94）で設定できます。
● 応答保留中、相手には、本FOMA端末で設定した応答保留画像に［応答保留］という文字が重なって表示されます。
● 応答保留音の設定については、P.73を参照してください。

着信中のテレビ電話に出られないときに用件を録画する<テレビ電話伝言メモ>

テレビ電話がかかってきたときに、伝言メモを設定していない場合も、その着信に限り用件を録画できます。

- ２件（１件あたり約15秒）まで録画できます。
- 伝言メモの設定については、P.77を参照してください。

1 テレビ電話の着信中に◉→2［テレビ電話伝言メモ］を選ぶ。



- ［伝言メモ準備中　お待ち下さい］と表示されたあと、テレビ電話伝言メモ用の応答画像が表示されます。
- 送信する代替画像は、テレビ電話時応答画像で設定できます。
- テレビ電話伝言メモがすでに２件録画されているときは、［テレビ電話伝言メモがすでに２件録画されています］または［これ以上録画できません］（音声伝言メモも３件登録されているとき）と表示され、動作しません。
- かけてきた相手には伝言メモメッセージ（☞P.77）が流れ、テレビ電話伝言メモ用の応答画像が送信されます。

2 用件を録画する。

- 録画中、相手の画像は表示されませんが、実際は相手の画像も録画されます。
- 用件の録画が終わると、待受画面に戻ります。
- テレビ電話伝言メモ録画中に電話に出る場合、自分側のカメラ映像を送信して通話するときは◉［テレビ電話］、代替画像を送信して通話するときは◉を押します。光るワンタッチキーに登録した相手の場合、対応する□～□が点滅します。点滅しているボタンを押すと自画像を送信して通話できます。

お知らせ

- テレビ電話伝言メモの再生と削除については、P.80を参照してください。
- 伝言メモ設定（☞P.77）またはマナーモード設定（☞P.133）により伝言メモを設定しているときは、伝言メモが自動的に応答します。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって録画内容が消失する場合があります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。
- テレビ電話伝言メモの応答中、相手には、本FOMA端末で設定した応答画像に［伝言メモ］という文字が重なって表示されます。

関連操作

テレビ電話伝言メモの静止画を設定する<テレビ電話時応答画像>

詳細メニューから5［通話・通信機能設定］▶4［伝言メモ設定］▶4［テレビ電話時応答画像］▶フォルダ▶◉▶静止画▶◉［決定］

- 静止画を確認するとき：静止画▶◉［確認］

お知らせ

テレビ電話時応答画像について

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF：176×144」（横×縦）サイズの静止画を利用できます。（GIFアニメーションは利用できません。）
- FOMA端末以外への出力が禁止されている静止画は利用できません。
- お買い上げ時は、［伝言メモ画像］に設定されています。

テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける

相手（発信側）の操作でテレビ電話⇔音声電話を切り替えます。
- 自分（着信側）から切り替えることはできません。
- ご自分のFOMA端末の切替機能通知設定（☞P.97）を［開始］に設定しておく必要があります。

1 テレビ電話の通話中に相手が音声電話に切り替える。



- 切り替え中は、［しばらくお待ちください］と表示され、音声ガイダンスが流れます。

お知らせ

- 切り替えには、約５秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 電波状況によっては、テレビ電話から音声電話に切り替わらず、接続が切れる場合があります。
- 音声電話からテレビ電話へ切り替えて電話を受ける方法については、P.68を参照してください。

相手側に送信する映像について設定する

送信する画像を通話中に切り替える<送信画像切替>

自分側のカメラ映像の代わりに、あらかじめ設定した代替画像を送信できます。

1 テレビ電話中にⓘ［代替画像］を押す。



- 設定されている代替画像が送信されます。

自分側のカメラ映像に戻す	ⓘ［自画像］または、◉→2［送信画像切替］→1［自画像］

関連操作

自画像のズームアップ／ズームダウンを行う<ズームアップ／ズームダウン>
1 テレビ電話の通話中に◇または◇
2 ◇（ズームアップ）または◇（ズームダウン）

メインカメラとサブカメラを切り替える<カメラ切替>
テレビ電話の通話中に◉▶#［カメラ切替］
- サブカメラに切り替えるとき：もう一度◉▶#［カメラ切替］

データBOXの静止画を送信する<ファイル再生>
テレビ電話の通話中に◉▶3［ファイル再生］▶フォルダ▶◉▶静止画▶ⓘ［決定］
- 自分側のカメラ映像に戻すとき：ⓘ［自画像］または◉▶2［送信画像切替］▶1［自画像］

明るさを調整する<明るさ調整>
テレビ電話の通話中に◇（明るくする）または◇（暗くする）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

関連操作

お知らせ

ズームアップ／ズームダウンについて

- 最大11段階（メインカメラ）、２段階（サブカメラ）のズームを設定できます。
- 代替画像を送信しているときは、画像をズームできません。
- 画面サイズをフルスクリーン（サブカメラ）にしているときは、ズームできません。
- 相手の映像はズームできません。
- カメラを切り替えたり、テレビ電話を終了するとズームは解除されます。

カメラ切替について

- テレビ電話を終了すると、サブカメラに戻ります。
- メインカメラを使用中にメインカメラの周辺の温度が高くなったり、または電池残量が［ ］以下になった場合、［ただいまメインカメラを利用できません］と表示され、代替画像に切り替わります。メインカメラに切り替えできません。
- DTMF送信モード（☞P.85）を［OFF］に設定しているときは、#を押して切り替えます。

ファイル再生について

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF：176×144」（横×縦）のサイズの静止画を利用できます。（GIFアニメーションは利用できません。）
- FOMA端末以外への出力が禁止されている静止画は利用できません。ただし、FOMA端末で撮影した画像はファイル制限設定に関係なく利用できます。（静止画メモで撮影した画像は利用できません。）
- miniSDメモリーカード内の静止画は直接利用できません。あらかじめFOMA端末（本体）マイピクチャの［カメラ撮影］、または［ｉモード・その他］フォルダにコピーしてご利用ください。
- マルチメディアのPIMロック中はファイルが表示されません。端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力すると、PIMロックが一時解除され、ファイルが表示されます。

明るさ調整について

- ディスプレイ上部に［-2］［-1］［+1］［+2］が表示されます。明るさが［±０］のときは表示されません。
- テレビ電話を終了すると、明るさは元に戻ります。

◉5 3 2 2

発信時の画像を設定する＜発信時自画像送信＞

お買い上げ時
ON

発信時、相手に自分側のカメラ映像を送信するか、代替画像を送信するかを設定します。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［通話・通信機能設定］→［テレビ電話設定］→［送信画像設定］→［発信時自画像送信］の順に選んで、発信時の画像を設定する。

自分側のカメラ映像を送信する	1［ON］
自分側のカメラ映像を送信しない	2［OFF］ ● 代替画像設定で設定した画像を送信します。

◉5 3 2 1

代替画像を設定する＜代替画像設定＞

お買い上げ時
通話中画像１

テレビ電話中の代替画像に、静止画を設定できます。

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF：176×144」（横×縦）サイズの静止画を利用できます。（GIFアニメーションは利用できません。）
- FOMA端末以外への出力が禁止されている静止画は利用できません。ただし、FOMA端末で撮影した画像はファイル制限設定に関係なく利用できます。（静止画メモで撮影した画像は利用できません。）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［通話・通信機能設定］→［テレビ電話設定］→［送信画像設定］→［代替画像設定］の順に選ぶ。

- データBOXのマイピクチャ画面が表示されます。

次ページへ続く

2 フォルダを選んで、静止画にカーソルを合わせて● ［決定］を押す。

お知らせ

- テレビ電話中に●［代替画像］を押すと、設定した代替画像が送信されます。
- 代替画像を送信中、相手には本FOMA端末で設定した静止画に［カメラオフ］という文字が重なって表示されます。

関連操作

応答保留や通話保留の画像を変更する＜応答保留画像設定／保留画像設定＞

1 詳細メニューから5［通話・通信機能設定］▶3［テレビ電話設定］▶2［送信画像設定］
2 応答保留画像設定するときは3［応答保留画像設定］
- 保留時の代替画像を設定するとき：4［保留画像設定］

3 フォルダ▶◈▶画像▶●

お知らせ

- お買い上げ時は、それぞれ［応答保留画像］［保留画像］が設定されています。
- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF：176×144」（横×縦）サイズの静止画を利用できます。（GIFアニメーションは利用できません。）
- FOMA端末以外への出力が禁止されている静止画は利用できません。

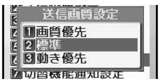
◈536

送信画質を設定する＜送信画質設定＞

お買い上げ時
標準

テレビ電話中に送信する画像の画質を設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◈→（設定）→［通話・通信機能設定］→［テレビ電話設定］→［送信画質設定］の順に選んで、画質を選ぶ。



- テレビ電話で自画像／代替画像（静止画）を送信中に設定するときは、◈→5［テレビ電話設定］→4［送信画質設定］の順に選びます。

［画質優先］	1	撮影対象の形や色などを中心に伝えたいとき
［標準］	2	画質の美しさと動きのバランスをとるとき
［動き優先］	3	撮影対象の動きを中心に伝えたいとき

お知らせ

- テレビ電話中の送信画質設定は一時的なものです。テレビ電話を終了すると、詳細メニューから設定した画質に戻ります。
- テレビ電話中の送信側と受信側の画質設定は異なります。

 ＊メニューを切り替えるときは●［●基本メニューへ］または［●詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

テレビ電話中の映像を設定する

テレビ電話の通話中にディスプレイの画像表示を変更できます。

● 設定できる項目は次のとおりです。操作方法については、P.92、P.96を参照してください。

項　目	設定内容	お買い上げ時の設定
明るさ調整	カメラ映像の明るさを５段階で調整できます。	±０
画面サイズ設定	親画面のサイズを拡大できます。	拡大表示
テレビ電話画面設定	相手側の映像と自分側の映像の表示方法を変更できます。	相手大・自分小
子画面表示位置	子画面の表示位置を設定できます。	左上
テレビ電話中照明設定	テレビ電話中のディスプレイの照明時間を設定できます。	常にON
自画像設定	自分側の映像を、正像、鏡像、または一時停止に設定できます。	鏡像

画面サイズ設定



拡大表示



等倍表示



フルスクリーン表示※

※ フルスクリーン表示にする場合は、FOMA端末を横向きにしてご使用ください。

テレビ電話画面設定

● 次の４種類から選ぶことができます。

項　目	設定内容
相手大・自分小	相手側の映像を大きく、自分側の映像を小さく表示します。
相手のみ	相手側の映像のみを表示します。
自分大・相手小	自分側の映像を大きく、相手側の映像を小さく表示します。
自分のみ	自分側の映像のみを表示します。



相手大・自分小



相手のみ



自分大・相手小



自分のみ

子画面表示位置



左上



右下

次ページへ続く

関連操作

画面サイズを設定する＜画面サイズ設定＞

1 テレビ電話の通話中に◉▶5［テレビ電話設定］▶1［画面サイズ設定］
- 詳細メニューから5［通話・通信機能設定］▶3［テレビ電話設定］▶3［画面サイズ設定］

2 等倍表示するときは2［等倍表示］
- フルスクリーン表示するとき：3［フルスクリーン表示］（詳細メニューから操作する場合は3［フルスクリーン］）
- 拡大表示に戻すとき：1［拡大表示］

相手画像と自画像の表示方法を設定する＜テレビ電話画面設定＞

1 テレビ電話の通話中に◉▶5［テレビ電話設定］▶2［テレビ電話画面設定］
- 詳細メニューから5［通話・通信機能設定］▶3［テレビ電話設定］▶4［テレビ電話画面設定］

2 表示方法▶◉

子画面の表示位置を設定する＜子画面表示位置＞

1 テレビ電話の通話中に◉▶5［テレビ電話設定］▶3［子画面表示設定］
- 詳細メニューから5［通話・通信機能設定］▶3［テレビ電話設定］▶5［子画面表示位置］

2 位置▶◉

照明を設定する＜テレビ電話中照明設定＞

1 テレビ電話の通話中に◉▶5［テレビ電話設定］▶5［テレビ電話中照明］
- 詳細メニューから2［表示］▶6［省電力設定］▶3［ユーザ設定］▶1［照明時間設定］▶3［テレビ電話時］（☞P.140）

2 ［常にON］にするときは2［常にON］
- 通常時と同じにするとき：1［通常時と同じ］

自分側の画像を静止画にして送信する＜一時停止＞

テレビ電話の通話中に◉▶6［自画像設定］▶1［一時停止］
- 元に戻すとき：◉［終了］

自分側の画像を正像にする＜正像・鏡像切替＞

1 テレビ電話の通話中に◉▶6［自画像設定］▶2［正像・鏡像切替］

2 ［正像］にするときは1［正像］
- 鏡像にするとき：2［鏡像］

お知らせ

- 上記関連操作は自画像／代替画像（静止画）を送信中の動作です。

画面サイズ設定について
- 子画面のサイズは変わりません。
- ［拡大表示］は［等倍表示］に対して、縦・横とも約1.3倍に拡大されます。
- 画面サイズ設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。

テレビ電話画面設定について
- テレビ電話画面設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。

子画面表示位置について
- 子画面を［右下］に設定すると、通話時間や送信、受信画像アイコンは左下に表示されます。
- 子画面表示位置は、テレビ電話を終了しても保持されます。

テレビ電話中照明設定について
- ［通常時と同じ］に設定すると、照明時間設定（☞P.140）で設定した点灯時間になります。
- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。
- テレビ電話中照明設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。

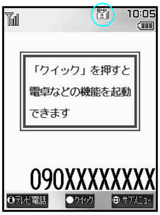
自画像設定（一時停止、正像・鏡像切替）について
- 設定にかかわらず相手側には常に正像が表示されます。
- カメラ映像が停止した状態の静止画を送信することもできます。
- ［正像］は見たとおりの向きに、［鏡像］は左右逆向きに表示されます。
- 代替画像を送信しているときは、自画像設定できません。
- 一時停止中、相手には、本FOMA端末の映像に［停止中］という文字が重なって表示されます。
- テレビ電話を終了すると、自画像設定は元に戻ります。

テレビ電話の設定を変更する

通信速度を切り替える<通信速度設定>

お買い上げ時
64K

1 電話番号を入力して⊕→8［通信速度設定］を選んで、通信速度を選ぶ。



● ［64K］または［32K］が表示されます。

64K	1［64K］
32K	2［32K］

● 電話帳内容表示画面やリダイヤル詳細画面、着信履歴詳細画面から発信するときは、⊕→9［通信速度設定］を押します。

お知らせ

● 64K／32Kの通信速度変更は、その発信に限り有効です。

◉531

音声電話で自動的にかけ直す<音声自動再発信>

お買い上げ時
OFF

相手の端末がテレビ電話通信不可の場合に、自動的に音声電話でかけ直すかどうかを設定します。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［通話・通信機能設定］→［テレビ電話設定］→［音声自動再発信］の順に選んで、1［**ON**］を選ぶ。

● 音声自動再発信が設定されます。

お知らせ

● 音声電話で再発信した場合の通話料金は、テレビ電話通話料ではなく、音声通話料になります。
● テレビ電話通信が開始された場合、音声自動再発信は行いません。
● ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M（☞P.84）に対応していないISDNのテレビ電話など（2005年7月現在）や間違い電話をかけたときなどは、音声自動再発信を行わないことがあります。また、通信料金が発生することもありますので、ご注意ください。

切替機能通知設定 ◉537

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

お買い上げ時
切替機能通知開始

相手に自分のFOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能かどうかを通知する設定です。

● 切替機能通知設定を［停止］に設定すると、相手から切り替えることはできません。
● 音声通話中およびテレビ電話中に切替機能通知設定を変更することはできません。
● 圏外時に切替機能通知設定を変更することはできません。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［通話・通信機能設定］→［テレビ電話設定］→［切替機能通知設定］の順に選んで、切替機能通知を開始・停止する。

切替機能通知を開始する	1［切替機能通知開始］→［はい］→◉
切替機能通知を停止する	2［切替機能通知停止］→［はい］→◉
切替機能通知設定を確認する	3［切替機能通知設定確認］ ● 現在の設定内容が表示されます。

相手の画像を静止画として保存する

テレビ電話中に、相手の画像を静止画撮影できます。
● 撮影できるサイズは「QCIF：176×144」(横×縦) です。

1 テレビ電話中に◉→4［静止画メモ］を選んで、◉［📷］を押す。

● 静止画撮影中、相手には、本FOMA端末の映像に［撮影中］という文字が重なって表示されます。
● シャッター音は鳴りません。
● 静止画が撮影され、［保存中］が表示されます。
● 撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの［カメラ撮影］フォルダに保存されます。
● 撮影した静止画はFOMA端末以外へ出力できません。

お知らせ

● 画像などを保存中にテレビ電話の着信を受けた場合、相手の画像を撮影し、保存することはできません。「ファイル操作中です　実行できません」と表示されます。相手側には、「撮影中」と表示される場合があります。

 ＊ メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。(☞P.35)

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳の両方を使用できます。FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳では登録できる項目や件数などが異なります。

FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳の違い

FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳のそれぞれに、名前、電話番号、メールアドレスなどを登録できます。

- FOMAカードは、複数のFOMA端末でお使いいただけます。複数のFOMA端末で電話帳を共用したい場合は、FOMAカード電話帳に登録しておくと便利です。

	FOMA端末（本体）電話帳	FOMAカード電話帳
件数	750件	ドコモのFOMAカード：50件
名前の登録文字数	最大全角16文字（半角32文字）	半角英数のみ　：最大21文字 全角／半角混在、 半角カナのみ　：最大10文字
フリガナ	半角カナ（最大32文字）	全角カナ（最大12文字）
グループの設定	20グループ	11グループ
アイコン	電話番号：７種類 メールアドレス：４種類	ー
メモリ番号の設定	000〜749	ー
電話番号	１つの電話帳に３件（電話帳全体で登録可能な電話番号は2250件まで）	１つの電話帳に１件
メールアドレス	１つの電話帳に３件（電話帳全体で登録可能なメールアドレスは2250件まで）	１つの電話帳に１件
郵便番号	１つの電話帳に１件	ー
住所	１つの電話帳に１件	ー
誕生日	１つの電話帳に１件	ー
メモ	１つの電話帳に１件	ー
指定着信音選択	１つの電話帳に１件	ー
指定メール着信音選択	１つの電話帳に１件	ー
指定着信ランプ設定	１つの電話帳に１件	ー
指定メール着信ランプ設定	１つの電話帳に１件	ー
画像（ピクチャーコール設定）	１つの電話帳に１件	ー

ー：登録不可

電話帳登録

FOMA端末（本体）電話帳に登録する

よくおかけになる電話番号を、名前やメールアドレスなどと併せて電話帳に登録すると、簡単な操作で電話をかけたり、ｉモードメールやSMSを送信したりできます。

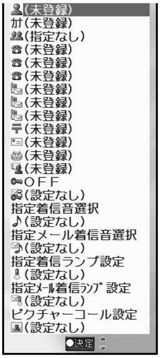
- FOMA端末（本体）電話帳には、000〜749番の750件まで登録できます。
- １件のFOMA端末（本体）電話帳には、３件の電話番号と３件のメールアドレスを登録できます。
- 基本メニューからの登録と詳細メニューからの登録では、登録できる項目や件数などが異なります。
- カメラで撮影した静止画や動画／ｉモーションなどを、電話帳に登録できます。画像を登録した相手から電話がかかってきたときは、名前や電話番号と登録した画像が表示されます。
- 文字の入力方法については、P.488を参照してください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは㊙［㊙基本メニューへ］または［㊙詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

登録できる内容



基本メニュー



詳細メニュー

アイコン	項　目	内　容	ページ
	名前	名前を入力します。最大全角16文字（半角32文字）まで入力できます。	P.102
	フリガナ	フリガナが自動的に入力されます。修正することもできます。最大半角カナ32文字まで入力できます。	P.102
	グループ※1	グループに分けて登録できます。0～19のグループがあり、グループ名を変更することもできます。	P.104
	電話番号※2	3件の電話番号を登録できます。それぞれの電話番号を7つのアイコンで分類することもできます。最大26桁まで入力できます。	P.103
	メールアドレス※2	3件のメールアドレスを登録できます。それぞれのメールアドレスを4つのアイコンで分類することもできます。最大半角50文字まで入力できます。	P.103
	郵便番号※1	郵便番号を登録できます。	P.104
	住所※1	住所を登録できます。最大全角50文字（半角100文字）まで入力できます。	P.104
	誕生日※1	誕生日を登録できます。1900年1月1日～2099年12月31日まで入力できます。	P.105
	メモ※1	メモを登録できます。最大全角100文字（半角200文字）まで入力できます。	P.105
	シークレット登録※1	電話帳を表示しないようにできます。電話帳を他人に見られたくない場合に設定します。	P.105 P.120
	シークレットコード※1	相手から指定されたシークレットコードを入力します。メールを送信するときに使います。	P.105
	指定着信音選択※1	電話がかかってきたときに、専用の着信音や着モーションで相手を識別できます。	P.105
	指定メール着信音選択※1	メールを受信したときに、専用のメール着信音で相手を識別できます。	P.105
	指定着信ランプ設定※1	電話がかかってきたときに、専用のランプ色で相手を識別できます。	P.105
	指定メール着信ランプ設定※1	メールを受信したときに、専用のランプ色で相手を識別できます。	P.105
	ピクチャーコール設定※1	電話をかけたり、電話がかかってきたときに、画像で相手を識別できます。また、電話帳リストに専用の画像が表示されます。カメラで撮影した静止画や動画／iモーションを1件登録できます。	P.105

※1 詳細メニューから登録します。
※2 電話番号やメールアドレスを2件以上登録するときは、詳細メニューから登録します。

お知らせ

- ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へコピーする際は、仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ピクチャーコール設定でiモーションを設定している場合、発信時には発着信画面設定（☞P.137）で設定した画像が表示されます。
- ピクチャーコールを設定していても、テレビ電話発信時はバニティミラー機能（☞P.85）が優先されます。

電話帳に登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカード（☞P.349）やデータリンクソフト（☞P.532）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、電話帳に登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

基本的な登録のしかた

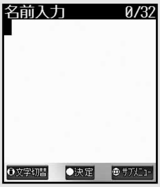
電話帳に相手の名前、電話番号、メールアドレスを登録します。

基本メニューに設定しているとき

- 基本メニューから登録できる内容は次のとおりです。
  ■ 名前　■ フリガナ　■ 電話番号：１件　■ メールアドレス：１件
- 登録後の電話帳を基本メニューの［電話帳を見る］で表示させたり、サブメニューから電話帳のすべての項目を編集（☞P.119）することもできます。
- 基本メニューからは、FOMAカードへの新規登録はできません。

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［電話機能］→［電話帳を登録する］の順に選ぶ。



- 待受画面で㊞を１秒以上押しても同じ操作が行えます。

2 名前を入力して◉を押し、フリガナを確認して◉を押す。

- 名前には記号や絵文字も入力できます。
- フリガナは自動的に入力されます。フリガナが違っているときは、正しいフリガナに修正してください。
- 名前の入力後に修正した場合、フリガナには自動で反映されません。（ただし、フリガナに何も入力されていないときは反映されます。）
- 名前に記号や絵文字を入力したときや、ワンタッチ変換で入力したとき、フリガナは自動的に入力されません。
- 電話番号入力画面が表示されます。

3 電話番号を入力して◉を押す。



- １件の電話帳に複数の電話番号を登録するときは、詳細メニューから登録してください。
- 登録先が一般電話の場合でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号は26桁まで入力できます。
- 電話番号には、「＊」や「#」も入力できますが、正しく発信できない場合があります。
- 「184」や「186」を付けて電話帳に登録すると、電話番号をｉモードメールやSMS送信時の宛先に選択した場合、正しく送信できません。

国際電話をかける（[+]入力）	0（１秒以上）→電話番号の入力
ポーズ［P］を入力する	◇
入力をやり直す	クリア（最後の１桁またはカーソル位置の文字が消えます。） ● クリアを１秒以上押すと、電話番号がすべて消えます。正しい番号を入力してください。

4 ［✉］を選んで、メールアドレスを入力して◉を押す。

- １件の電話帳に複数のメールアドレスを登録するときは、詳細メニューから登録してください。
- 半角の英字、数字、一部の記号を最大半角50文字まで入力できます。
- メールアドレスに、絵文字は入力できません。

[@]や[.]（ピリオド）を入力する	1（数回）
インターネットに関連した定型文を入力する	㊞→5［定型文挿入］→5［インターネット］→定型文→◉→◉ ● メールアドレスの一部を簡単に入力できます。（☞P.494）

＊メニューを切り替えるときは㊞［㊞基本メニューへ］または［㊞詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

5 ［完了］を押す。

- 電話帳に登録されます。
- メモリ番号は、［010］～［749］の空いているメモリ番号の中で、最も小さい番号に登録されます。空いていないときは、［000］～［009］の中で最も小さい番号に登録されます。
- 電話種別アイコンは［☎］、メールアドレス種別アイコンは［ ］が自動的に登録されます。

■ 詳細メニューに設定しているとき

1 詳細メニュー：待受画面で → Phonebook 電話帳（電話帳）→ → 2 ［新規作成］→ 1 ［本体新規］の順に選ぶ。

- 待受画面で を１秒以上押し、1 ［本体新規］を選んでも同じ操作が行えます。
- 名前入力画面が表示されます。
- 待受画面で → → 2 ［新規作成］→ 1 ［本体新規］の順に選んでも表示できます。

2 名前を入力して を押す。



FOMA端末
（本体）電話帳
入力画面

- フリガナが違っているときは、［ｶﾅ］を選んで を押し、正しいフリガナに修正します。

3 ［☎］を選んで、電話番号を入力して を押す。



4 電話種別アイコンを選ぶ。



☎	1 ［一般電話］		5 ［会社］
	2 ［携帯電話］		6 ［自宅FAX］
	3 ［テレビ電話］		7 ［会社FAX］
	4 ［自宅］		

- 電話番号を複数登録するときは、操作３～４をくり返します。

5 ［ ］を選んで、メールアドレスを入力して を押す。



電話帳

6 メールアドレス種別アイコンを選ぶ。



	1 ［携帯アドレス］		3 ［会社アドレス］
	2 ［自宅アドレス］		4 ［メールアドレス］

- メールアドレスを複数登録するときは、操作５～６をくり返します。

7 ［完了］を押し、メモリ番号（３桁：**000～749**）を入力する。

- メモリ番号を入力せずにを押すと、［010］～［749］の空いているメモリ番号の中で、最も小さい番号に登録されます。空いていないときは、［000］～［009］の中で最も小さい番号に登録されます。

お知らせ

- シークレット登録（☞P.120）を［ON］に設定しているときは、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定しないと電話帳を上書登録できません。
- すでにFOMA端末（本体）電話帳に750件登録されているときに、電話番号またはメールアドレスを登録しようとした場合、メモリ番号を指定すると、すでに登録されている電話帳に上書登録されます。（FOMAカード電話帳の場合には上書登録されません。）
- ｉモード端末のメールアドレスを登録するときは、メールアドレスの@以降のドメイン名（「@docomo.ne.jp」）は省略できますが、「@docomo.ne.jp」を省略して登録すると、電話帳に相手の名前を登録していても受信メールに名前は表示されません。

操作ガイダンスに［完了］が表示されないとき

- 名前を入力してください。

メモリ番号について

- メモリ番号［000］～［099］に登録した相手には、ツータッチダイヤルで電話をかけることができます。（☞P.121）

メモリ番号にはこんな指定方法もあります

- 百の位の数字を１桁入力してを押します。
  空いているメモリ番号（1の場合、［100］～［199］）の中で、最も小さい番号に登録されます。
- 百の位と十の位の２桁を入力してを押します。
  空いているメモリ番号（12の場合、［120］～［129］）の中で、最も小さい番号に登録されます。

編集中にｉモードメールやSMS、メッセージR／Fを受信すると

- 受信結果は表示されず、編集を続けることができます。

FOMAカードへのコピーについて

- FOMA端末（本体）に登録した電話帳をFOMAカードにコピーしたり（☞P.109）、FOMAカードに登録した電話帳をFOMA端末（本体）にコピー（☞P.110）できます。

miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末（本体）に登録した電話帳をminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞P.353）、miniSDメモリーカード内の電話帳を表示（☞P.356）できます。
- miniSDメモリーカード内の電話帳をFOMA端末（本体）にコピー（☞P.357）できます。
- 電話帳をminiSDメモリーカードに全件コピーした場合は、50音順になります。ただし、メモリ番号検索の場合はメモリ番号順になります。１件コピーした場合は、コピーした日付の古い順になります。

記号や絵文字の使用について

- FOMA端末（本体）電話帳の［名前］［メモ］［住所］には、記号や絵文字も入力できますが、データ通信などでパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

関連操作

グループを設定する<グループ選択>
電話帳入力画面（☞P.103）で［］▶▶グループ▶

郵便番号を登録する
電話帳入力画面（☞P.103）で［〒］▶▶郵便番号を入力▶

住所を登録する
電話帳入力画面（☞P.103）で［］▶▶住所を入力▶

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは［基本メニューへ］または［詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

関連操作

誕生日を登録する

電話帳入力画面（☞P.103）で［ ］▶◉▶誕生日を入力▶◉

メモを登録する

電話帳入力画面（☞P.103）で［ ］▶◉▶メモを入力▶◉

シークレット登録する＜シークレット登録＞

電話帳入力画面（☞P.103）で［ ］▶◉▶[1]［ON］

メールアドレスにシークレットコードを設定する＜シークレットコード＞

1 電話帳入力画面（☞P.103）で［ ］▶◉▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉
2 [1]［コード設定］
- 設定済みのシークレットコードを確認するとき：[2]［コード参照］
- シークレットコードを解除するとき：[3]［設定解除］

3 ｉモードメールアドレス▶◉▶シークレットコード（４桁）を入力▶［はい］▶◉

着信音や着モーションを設定する＜指定着信音選択／指定メール着信音選択＞

1 電話帳入力画面（☞P.103）で［指定着信音選択 ♪］▶◉
- 指定メール着信音を設定するとき：［指定メール着信音選択 ］▶◉

2 [1]［通常着信音］
- 着モーションを設定するとき：[2]［ｉモーション］
- 設定を解除するとき：[3]［設定なし］

3 フォルダ▶◉▶着信音▶[i]［決定］

着信ランプの色を設定する＜指定着信ランプ設定／指定メール着信ランプ設定＞

1 電話帳入力画面（☞P.103）で［指定着信ランプ設定 ］▶◉
- 指定メール着信ランプを設定するとき：［指定メール着信ランプ設定 ］▶◉

2 着信ランプの色▶◉
- 設定を解除するとき：[0]［設定なし］

画像を設定する＜ピクチャーコール設定＞

1 電話帳入力画面（☞P.103）で［ピクチャーコール設定 ］▶◉
2 [1]［マイピクチャ］
- 動画／ｉモーションを設定するとき：[2]［ｉモーション］
- カメラで静止画を撮影するとき：[3]［静止画撮影］▶撮影
- 画像の設定を解除するとき：[4]［設定なし］

3 フォルダ▶◉▶画像▶[i]［決定］

次ページへ続く

関連操作

お知らせ

指定着信音選択／指定メール着信音選択について

- データBOXのメロディから着信音、ｉモーションから着モーションを選択できます。
- 複数の着信音が設定されているとき、着信音やメール着信音は次の優先順位で鳴ります。

	優先順位（高→低）
着信音	電話帳指定着信音→グループ指定着信音→通常の着信音
メール着信音	電話帳指定メール着信音→グループ指定メール着信音→通常のメール着信音

- 映像のみ、またはテロップを付けた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、着モーションに設定できません。
- 映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを着モーションに設定した場合、自動的にピクチャーコールに設定されます。
- 着信音設定が［不可］の動画／ｉモーションは着モーションに設定できません。（☞P.363）
- miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーした動画／ｉモーションは、着モーションに設定できません。撮影した動画を着モーションに設定する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。
- 発信者番号を通知しない電話がかかってきたときは、着信音選択（☞P.124）の非通知設定着信音で設定した着信音が鳴ります。設定していないときは、通常の着信音が鳴ります。
- シークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。指定着信音選択／指定メール着信音選択の設定を有効にするには、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定してください。
- 電話帳のPIMロック中に、電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。
- 指定メール着信音を利用するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- メール着信音に映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを着モーションとして設定した場合、待受画面以外でメールを受信したとき音声のみしか再生されない場合があります。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着モーションとして設定した場合、着信画面は電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定の優先順位で表示されます。いずれも設定していない場合は、［電話着信１］の画像が表示されます。

指定着信ランプ設定／指定メール着信ランプ設定について

- 複数の着信ランプが設定されているとき、着信ランプやメール受信ランプの色は次の優先順位で点灯します。

	優先順位（高→低）
着信ランプ	電話帳指定着信ランプ→グループ指定着信ランプ→通常の着信ランプ
メール受信ランプ	電話帳指定メール着信ランプ→グループ指定メール着信ランプ→通常のメール受信ランプ

- 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、通常の着信ランプの色で点滅します。
- ［ランダム］では、相手の発信者番号と日付に応じてランダムに点灯します。［レインボー］では、各色がグラデーション状に発光します。［ミックス］では、各色が連続発光します。［サイクロン］では、色の切り替えがだんだん速くなりながら発光します。
- メール着信ランプに［ランダム］は設定できません。
- シークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信ランプの色で点滅します。指定着信ランプ設定／指定メール着信ランプ設定を有効にするには、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定してください。
- 電話帳のPIMロック中に、電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信ランプの色で点滅します。
- 指定メール着信ランプを利用するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。

シークレット登録について

- シークレット登録については、P.120を参照してください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは㊞［㊞基本メニューへ］または［㊞詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

関連操作

お知らせ

シークレットコードについて

- シークレットコードは、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合のみ有効です。シークレットコードについては、P.258を参照してください。
- シークレットコードに［0000］は設定できません。
- シークレットコードは、電話帳データ１件につき、メールアドレス１～３のうち１つのメールアドレスに対してのみ設定できます。
- メールアドレスにシークレットコードを設定しても、メール作成画面（☞P.263）の宛先欄にシークレットコードは表示されません。
- ご自分のシークレットコードの登録については、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- メールアドレスにシークレットコードを含めて、「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」の形式で電話帳に登録している場合は、メール送信できないことがあります。メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードを登録してください。

ピクチャーコール設定について

- 画像は次の優先順位で表示されます。

	優先順位（高→低）
画像	電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定

- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、またはテロップを付けた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。
- ピクチャーコールに設定した静止画のデータサイズによっては、画像展開に時間がかかることがあります。
- ピクチャーコールに動画／ｉモーションを設定したときは、電話帳リスト画面に画像を表示した場合、最初の１コマ目が表示されます。
- ピクチャーコール設定（☞P.138）が［OFF］のときは、着信時に画像が表示されません。
- ピクチャーコールを設定した相手から、キャッチホンで着信した場合、設定した画像は表示されません。
- miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーした動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。撮影した動画をピクチャーコールに設定する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。
- ピクチャーコールに設定できない静止画や動画／ｉモーションには、斜線が表示されて選択できません。リスト表示のときはグレーで表示されます。
- ピクチャーコールに設定した画像をデータBOXから削除するときは、［1件削除］を選択します。削除の確認画面で［はい］を選択すると削除されます。
- カメラ撮影後のプレビュー画面で、(m)→1［画面設定］→2［電話帳］を押すと、撮影した画像をピクチャーコールに設定できます。
- 指定着信音に映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを設定している場合、ピクチャーコールに静止画を設定すると、指定着信音の設定は解除されます。また、ピクチャーコールに映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを設定すると、指定着信音の設定にも反映されます。

FOMAカード電話帳に登録する

FOMAカード内の電話帳にも登録できます。FOMA端末（本体）電話帳と登録できる項目が一部異なります。

- FOMAカード電話帳には、最大50件まで登録できます。
- １件の電話帳に１件の電話番号と１件のメールアドレスを登録できます。
- FOMAカード電話帳に登録するときは、詳細メニューから行います。

登録できる内容

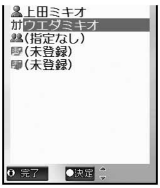
アイコン	項　目	内　容
	名前	名前を入力します。最大全角10文字（半角21文字）まで入力できます。ただし、全角／半角が混在している場合や半角カタカナのみの場合は最大10文字までです。
ｶﾅ	フリガナ	フリガナが自動的に入力されます。修正することもできます。全角カナのみで最大12文字、半角英数のみで最大25文字まで入力できます。全角／半角が混在している場合は最大12文字まで入力できます。半角で12文字以上入力してから全角カナを入力した場合、全角カナ以降に入力した文字は登録されません。
	グループ	グループに分けて登録できます。00～10のグループがあり、グループ名を変更することもできます。
	電話番号	電話番号を１件登録できます。最大26桁まで入力できます。
	メールアドレス	メールアドレスを１件登録できます。最大半角50文字まで入力できます。

基本的な登録のしかた

1 詳細メニュー：待受画面で → （電話帳）→ → 2 ［新規作成］→ 2 ［FOMAカード（UIM）新規］の順に選ぶ。

- 待受画面で を１秒以上押し、2 ［FOMAカード（UIM）新規］を選んでも同じ操作が行えます。
- 名前入力画面が表示されます。
- 待受画面で を１秒以上押したときに名前入力画面が表示された場合は、待受画面で → ［詳細メニューへ］を押して、詳細メニューに切り替えてから操作をやり直してください。
- 待受画面で → → 2 ［新規作成］→ 2 ［FOMAカード（UIM）新規］の順に選んでも表示できます。

2 名前を入力して を押す。



- 記号や絵文字も入力できます。
- ［ｶﾅ］の行に入力した名前のフリガナが自動的に入力されます。フリガナが違っているときは、［ｶﾅ］を選んで を押し、正しいフリガナに修正してください。
- 名前の入力後に修正した場合、フリガナには自動で反映されません。
- 名前に記号や絵文字を入力したときや、ワンタッチ変換で入力したとき、フリガナは自動的に入力されません。

3 ［ ］を選んで、設定するグループを選ぶ。

4 ［ ］を選んで、電話番号を入力して を押す。

- FOMAカード（緑色）をご使用のときは26桁、FOMAカード（青色）をご使用のときは20桁まで入力できます。
- 電話番号を間違えたときは、クリア を押すと、最後の１桁またはカーソル位置の文字が消えます。また、クリア を１秒以上押すと、電話番号がすべて消えます。正しい番号を入力してください。

電話帳

＊メニューを切り替えるときは ［ 基本メニューへ］または［ 詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

5 [✉] を選んで、メールアドレスを入力して◉を押す。

● 半角の英字、数字、一部の記号を最大半角50文字まで入力できます。
● メールアドレスには、絵文字は入力できません。

[@] や [.] (ピリオド) を入力する	1 (数回)
インターネットに関連した定型文を入力する	ⓜ→5 [定型文挿入] →5 [インターネット] →定型文→◉→◉ ● メールアドレスの一部を簡単に入力できます。(☞P.494)

6 ⓘ [完了] を押す。

お知らせ

FOMA端末(本体)へのコピーについて

● FOMAカードに登録した電話帳をFOMA端末(本体)にコピー(☞P.110)すると、フリガナは半角カナで登録されます。

FOMA端末(本体)電話帳をFOMAカード内の電話帳にコピーする

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で、電話帳のデータをコピーできます。

● データのコピー中は、音声電話やテレビ電話の発信、メールの送信、i モード接続はできません。また、アシスタントビュー機能を使って他の機能を起動することもできません。音声電話やテレビ電話の着信、メールの受信を行うことはできます。

基本メニュー(☞P.35)

1 待受画面で◉→ 電話機能 →[電話帳を見る]の順に選ぶ。

● 待受画面でⓜを押しても同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー:待受画面で◉→ Phonebook 電話帳 (電話帳)を選ぶ。

● 待受画面でⓜを押しても同じ操作が行えます。

2 名前にカーソルを合わせてⓜ→7 [**FOMA**カードへコピー] を選ぶ。

3 コピー方法を選ぶ。

1件コピーする	1 [1件コピー] → [はい] →◉
選択コピーする	2 [選択コピー] →名前⇔◉(くり返し可)→ⓘ [完了] → [はい] →◉ ● 最大50件まで選択できます。
電話帳の内容を確認してコピーする	操作1で名前を選んで◉→ⓜ→※ [FOMAカードへコピー] → [はい] →◉

● 電話帳がコピーされます。

お知らせ

● FOMAカードが挿入されていない場合は、この機能を利用できません。
● FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号/メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末(本体)に登録された2件目以降の電話番号/メールアドレスはFOMAカードにコピーできません。また、使える文字や文字数も異なるため、コピーできないことがあります。コピーできないデータがあるときは、[一部コピーできないデータがあります　コピーしますか?] と表示されます。[はい] を選択すると、1件目の電話番号/メールアドレスがコピーされます。
● シークレット登録した電話帳は、シークレットモード(☞P.167)を [ON] に設定しないとコピーできません。

次ページへ続く

お知らせ

- FOMA端末（本体）に登録した電話帳をFOMAカードにコピーすると、各項目は次のように登録されます。
  - ■ 名前は全角10文字（半角21文字）を超えた文字は破棄されます。
  - ■ フリガナは全角カナ文字で登録され、12文字を超えた文字は破棄されます。さらに、FOMAカードにコピーした電話帳をFOMA端末（本体）にコピーすると、フリガナは半角カナで登録されます。
  - ■ FOMA端末（本体）電話帳のグループ名と同じグループ名が FOMAカード電話帳にあるときは、そのまま登録されます。同じグループ名がないときは［(指定なし)］となります。なお、全角記号と半角記号は別の文字として扱われます。
- FOMA端末（本体）と FOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、一部の利用できない文字がスペースに変換される場合があります。
- 電話帳データをコピーしても転送元のデータは残ります。
- データのコピー中に転送先の最大登録（保存）件数を超えたときは、［メモリがいっぱいです　これ以上登録できません］と表示されます。すでに登録（保存）されているデータの中で、不要なものを削除したあと、コピーされなかったデータのコピーをやり直してください。

FOMAカード内の電話帳をFOMA端末（本体）電話帳にコピーする

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉ →［電話機能］→［電話帳を見る］の順に選ぶ。

- 待受画面でⓜを押しても同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → Phonebook 電話帳（電話帳）を選ぶ。

- 待受画面でⓜを押しても同じ操作が行えます。

2 名前にカーソルを合わせてⓜ→7［本体へコピー］を選ぶ。

3 コピー方法を選ぶ。

1件コピーする	1［1件コピー］→［はい］→◉
選択コピーする	2［選択コピー］→名前⇔◉（くり返し可）→ⓘ［完了］→［はい］→◉ ● 最大50件まで選択できます。
電話帳の内容を確認してコピーする	操作1で名前を選んで◉→ⓜ→※［本体へコピー］→［はい］→◉

- 電話帳がコピーされます。

お知らせ

- FOMAカードに登録した電話帳をFOMA端末（本体）にコピーすると、各項目は次のように登録されます。
  - ■ フリガナは半角カナで登録されます。
  - ■ FOMAカード電話帳の電話番号、メールアドレスは、FOMA端末（本体）電話帳のそれぞれ1件目に保存されます。
  - ■ FOMAカード電話帳のグループ名と同じグループ名が FOMA端末（本体）電話帳にあるときは、そのまま登録されます。同じグループ名がないときは、［(指定なし)］となります。
  - ■ メモリ番号は［010］～［749］→［000］～［009］の順で、使用していないメモリ番号が割り当てられます。
- 他のFOMA端末で登録したFOMAカードのデータを本FOMA端末にコピーする場合、半角英数記号以外のラテン文字、ギリシャ文字、一部の記号または区点コード一覧にない全角文字はスペースで表示されます。

 ＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

リダイヤルや着信履歴などから登録する

リダイヤルや着信履歴、カメラのバーコードリーダーや文字読み取り、メールなどからも電話帳に登録できます。

例：着信履歴から登録する場合

基本メニュー（☞P.35）

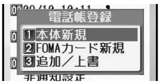
1 待受画面で◈→［電話機能］→［着信履歴］の順に選ぶ。

● 待受画面で◇（⇒□）を押しても同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◇（⇒□）を押す。

2 電話番号にカーソルを合わせて ⓜ→1［電話帳登録］を選ぶ。



3 登録方法を選ぶ。

FOMA端末（本体）電話帳に登録する	1［本体新規］
FOMAカード電話帳に登録する	2［FOMAカード新規］
追加／上書登録する	3［追加／上書］

● 電話帳入力画面に、選択した電話番号が入力されています。電話帳登録の操作を続けます。（☞P.102）

グループ設定

グループを設定する

電話帳にグループを設定して、グループごとの名前、着信音や着信ランプ、電話がかかってきたときの画像を設定することができます。

● FOMAカード電話帳の場合、グループ名編集のみ設定できます。指定着信音選択／指定メール着信音選択、指定着信ランプ設定／指定メール着信ランプ設定、ピクチャーコール設定は行えません。

グループ名を変更する<グループ名編集>

お買い上げ時
下記参照

グループ名を変更できます。

● ［00（指定なし）］は変更できません。

お買い上げ時設定（FOMA端末（本体）電話帳：［00（指定なし）］、［01グループ1］～［19グループ１９］
FOMAカード電話帳：［00（指定なし）］、［01グループ1］～［10グループ１０］）

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◈→［電話機能］→［電話帳を見る］の順に選ぶ。

● 待受画面でⓜを押しても同じ操作が行えます。

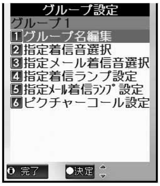
＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

電話帳

次ページへ続く

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Phonebook 電話帳（電話帳）を選ぶ。

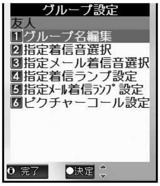
2 📖→6［グループ設定］を選んで、グループを選ぶ。



グループ設定画面

- グループ検索のときは、待受画面で📖を押し、グループ→📖→3［グループ設定］を押します。

3 1［グループ名編集］を選んで、グループ名を入力／修正して◉を押す。



- グループ名の入力文字数は次のとおりです。
  - ■ FOMA端末（本体）電話帳：最大全角10文字（半角20文字）
  - ■ FOMAカード電話帳：最大全角10文字（半角21文字）
    ただし、全角／半角が混在している場合や半角カタカナのみの場合は、最大10文字までです。
- お買い上げ時のグループ名に戻すときは、クリアを1秒以上押して◉を押します。

4 ⓘ［完了］を押す。

関連操作

グループごとの着信音や着モーションを設定する<指定着信音選択／指定メール着信音選択>

1 グループ設定画面で2［指定着信音選択］
- グループ指定メール着信音を設定するとき：3［指定メール着信音選択］

2 1［通常着信音］
- 着モーションを設定するとき：2［ｉモーション］
- 設定を解除するとき：3［(設定なし)］

3 フォルダ▶◉▶着信音▶ⓘ［決定］▶ⓘ［完了］

グループごとの着信ランプの色を設定する<指定着信ランプ設定／指定メール着信ランプ設定>

1 グループ設定画面で4［指定着信ランプ設定］
- グループ指定メール着信ランプの色を設定するとき：5［指定メール着信ランプ設定］

2 着信ランプの色
- 色を選ぶたびに、ピクチャーライト／着信ランプの色が変わり、一定時間が経過すると消灯します。

3 ◉▶ⓘ［完了］

グループごとの画像を設定する<ピクチャーコール設定>

1 グループ設定画面で6［ピクチャーコール設定］

2 1［マイピクチャ］
- 動画／ｉモーションを設定するとき：2［ｉモーション］
- カメラで静止画を撮影するとき：3［静止画撮影］▶撮影
- 画像の設定を解除するとき：4［(設定なし)］

3 フォルダ▶◉▶画像▶ⓘ［決定］▶ⓘ［完了］

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

関連操作

お知らせ

指定着信音選択／指定メール着信音選択について

- 着信音、メール着信音の優先順位については、P.106を参照してください。
- FOMAカード電話帳には設定できません。
- 映像のみ、またはテロップを付けた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、着モーションに設定できません。
- 着信音設定が［不可］の動画／ｉモーションは着モーションに設定できません。（☞P.363）
- miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーした動画／ｉモーションは、着モーションに設定できません。撮影した動画を着モーションに設定する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。
- 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。
- グループ内のシークレット登録（☞P.120）した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。グループ指定着信音選択／グループ指定メール着信音選択の設定を有効にするには、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定してください。
- グループメール着信音を設定するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- 映像と音声を含む動画／ｉモーションを着モーションとして設定した場合は、グループのピクチャーコール設定もそのｉモーションが自動的に設定されます。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着モーションとして設定した場合、着信画面は電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定の優先順位で表示されます。いずれも設定していない場合は、［電話着信１］の画像が表示されます。

指定着信ランプ設定／指定メール着信ランプ設定について

- 着信ランプ、メール着信ランプの優先順位については、P.106を参照してください。
- FOMAカード電話帳には設定できません。
- 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、通常の着信ランプの色で点滅します。
- グループ内のシークレット登録（☞P.120）した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信ランプの色で点滅します。グループ指定着信ランプ／グループ指定メール着信ランプの設定を有効にするには、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定してください。
- グループ指定メール着信ランプを利用するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- 指定メール着信ランプに［ランダム］は設定できません。

ピクチャーコール設定について

- グループピクチャーコールを設定すると、グループ選択画面に［🖼］が表示されます。
- 画像の優先順位については、P.107を参照してください。
- ピクチャーコールを設定した相手から、キャッチホンで着信した場合、設定した画像は表示されません。
- FOMAカード電話帳には設定できません。
- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、またはテロップを付けた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。
- miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーした動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。撮影した動画をピクチャーコールに設定する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。
- 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、通常の電話着信画面が表示されます。
- グループ内のシークレット登録（☞P.120）した相手から電話がかかってくると、通常の電話着信画面が表示されます。グループピクチャーコールの設定を有効にするには、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定してください。
- 設定できない画像には、斜線が表示されて選択できません。リスト表示のときはグレーで表示されます。

電話帳から電話をかける

登録した電話帳を呼び出して電話をかけたり、メールを送信できます。また、シークレット登録した電話帳は、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定すると検索することができます。
- 電話帳のPIMロック中は、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力すると電話帳から電話をかけることができます。

電話帳の検索方法を選択する<検索方法選択>

電話帳の検索のしかたには、フリガナ検索、グループ検索、メモリ番号検索があります。
- FOMAカード電話帳にはメモリ番号がないため、メモリ番号では検索できません。
- 次に電話帳を表示したときに、前回選択した検索方法で表示されます。

基本メニュー（☞**P.35**）

1 待受画面で◉ →［電話機能］→［電話帳を見る］の順に選んで、📖 →1［検索方法選択］を選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → Phonebook 電話帳（電話帳）を選ぶ。

2 検索方法を選ぶ。
- 選んだ検索方法で、電話帳が表示されます。
- 待受画面で📖→📖→1［検索方法選択］を順に選んでも表示できます。

［フリガナ検索］	1	FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳の両方がフリガナ順に表示されます。
［グループ検索］	2	FOMA端末（本体）電話帳のあとにFOMAカード電話帳が表示されます。
［メモリ番号検索］	3	FOMA端末（本体）電話帳のみが表示されます。FOMAカード電話帳にはメモリ番号がないため、表示されません。

関連操作

音声電話中に電話帳を表示する
音声電話中に㊉（1秒以上）▶📖（電話帳）▶◉
- または音声電話中に◇

miniSDメモリーカード内の電話帳を表示する<miniSDデータ参照>
待受画面で📖▶📖▶#［miniSDデータ参照］

電話帳をPIMロックする<セキュリティ設定>
待受画面で📖▶📖▶＊（1秒以上）▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶1［ON］

お知らせ

miniSDデータ参照について
- miniSDメモリーカード内の電話帳データの検索方法は、選択できません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊メニューを切り替えるときは㊉［㊉基本メニューへ］または［㊉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

名前で検索する＜フリガナ検索＞

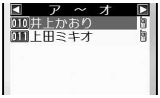
基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉ → [電話機能] → ［電話帳を見る］の順に選ぶ。

● 待受画面で㊂を押しても同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → [Phonebook 電話帳]（電話帳）を選ぶ。



電話帳リスト画面
（ア～オ行）

● 待受画面で㊂を押しても同じ操作が行えます。

● フリガナ検索の電話帳リスト画面が表示されます。

● フリガナ検索の電話帳リスト画面が表示されないときは、㊂→[1] ［検索方法選択］→[1] ［フリガナ検索］を押します。

前のページ／次のページを表示する	◇
１件ずつ選択する	◇
フリガナを入力（スピーディーサーチ）する	フリガナを１文字ずつ入力するたびに、入力した文字以降で最も近いフリガナの電話帳が順次表示されます。

2 名前を選ぶ。



電話帳
内容表示画面

● ◇で各アイコンを選んで◉を押すと、次の動作を行います。

☎ 📱 ...	登録している電話番号に発信します。
✉ ...	登録しているメールアドレス宛のメール作成画面が表示されます。
住所アイコン	登録している住所を確認できます。
メモアイコン	登録しているメモの内容を確認できます。
♪	設定している着信音または着モーションを再生します。
ランプアイコン	設定している着信ランプが点滅します。
画像アイコン	設定している静止画、動画／ｉモーションを表示します。

3 電話をかける。

音声電話をかける	㊒または◇［☎］
テレビ電話をかける	㊀［テレビ電話］

● 表示されている電話番号に発信します。

お知らせ

● フリガナ検索は次の順番で表示されます。
カタカナ（50音→濁点・半濁点）→英字→数字→スペース→記号→フリガナなし
（フリガナの１文字目にスペースが入力されている場合は、数字のあと、記号より前に表示されます。）

グループで検索する＜グループ検索＞

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉ → [電話機能] → ［電話帳を見る］の順に選ぶ。

- 待受画面で㊞を押しても同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → [Phonebook 電話帳]（電話帳）を選ぶ。



グループ選択画面

- 待受画面で㊞を押しても同じ操作が行えます。
- グループ選択画面が表示されます。
- グループ選択画面が表示されないときは、㊞→1［検索方法選択］→2［グループ検索］を押します。

2 グループを選ぶ。



電話帳リスト画面（グループ1）

- 指定したグループ内の電話帳リスト画面が表示されます。
- フリガナ順（カタカナ（50音→濁点・半濁点）→英字→数字→スペース→記号→フリガナなし）に表示されます。
- グループ設定していない電話帳は［指定なし］にグループ分けされています。

前のグループ／次のグループを表示する	◈
1件ずつ選択する	◈
フリガナを1文字ずつ入力（スピーディーサーチ）する	フリガナを1文字ずつ入力するたびに、現在のグループ内で最も近いフリガナの電話帳が順次表示されます。

3 名前を選ぶ。

- 電話帳内容表示画面が表示されます。
- 各アイコンを選択したときの動作については、P.115「名前で検索する」の操作2を参照してください。

4 電話をかける。

音声電話をかける	ⓐまたは◈［☎］
テレビ電話をかける	ⓘ［テレビ電話］

- 表示されている電話番号に発信します。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

メモリ番号で検索する<メモリ番号検索>

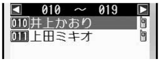
基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［電話機能］→［電話帳を見る］の順に選ぶ。

- 待受画面で㊞を押しても同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Phonebook 電話帳］（電話帳）を選ぶ。



FOMA端末（本体）電話帳リスト画面（メモリ番号010～019）

- 待受画面で㊞を押しても同じ操作が行えます。
- メモリ番号検索の電話帳リスト画面が表示されます。
- メモリ番号検索の電話帳リスト画面が表示されないときは、㊞→1［検索方法選択］→3［メモリ番号検索］を押します。

前のページ／次のページを表示する	◈ ● 表示されている電話帳の前後10番台の先頭から表示されます。
1件ずつ選択する	◈
メモリ番号を入力（スピーディーサーチ）する	● メモリ番号を1桁ずつ入力するたびに、該当する電話帳が順次表示されます。メモリ番号は必ず3桁で入力してください。たとえば、「085」を入力すると次のようになります。 ■ 1桁目「0」を入力：メモリ番号［000］～［009］の電話帳が表示されます。 ■ 2桁目「8」を入力：メモリ番号［080］～［089］の電話帳が表示されます。 ■ 3桁目「5」を入力：メモリ番号［085］の電話帳が選択されます。 ● 入力したメモリ番号が登録されていない場合は、入力したメモリ番号より大きくて一番近いメモリ番号の電話帳が表示されます。ただし、入力したメモリ番号より大きいメモリ番号の電話帳が登録されていない場合は、メモリ番号「000」から順次検索し、最も小さいメモリ番号の電話帳を表示します。

2 メモリ番号を選ぶ。

- 電話帳内容表示画面が表示されます。
- 各アイコンを選択したときの動作については、P.115「名前で検索する」の操作2を参照してください。

3 電話をかける。

音声電話をかける	☎または◉［☎］
テレビ電話をかける	ⓘ［テレビ電話］

- 表示されている電話番号に発信します。

電話帳

次ページへ続く▶▶

関連操作

発信方法を選択して電話をかける

1 電話帳リスト画面で名前▶◉

2 テレビ電話をかけるときは📹［テレビ電話］

- 音声電話をかけるとき：📞または◉
- 国際電話をかけるとき：Ⓜ▶7［国際電話発信］▶国際電話番号▶◉▶📞または◉
- プレフィックス番号を付けるとき：Ⓜ▶6［プレフィックス選択］▶プレフィックス番号▶◉▶📞または◉
- 発信者番号非通知でかけるとき：Ⓜ▶4［番号非通知］▶📞または◉
- 発信者番号通知でかけるとき：Ⓜ▶5［番号通知］▶📞または◉

通信速度を指定してテレビ電話をかける<通信速度設定>

1 電話帳リスト画面で名前▶◉

2 Ⓜ▶9［通信速度設定］

3 1［64K］または2［32K］▶📹［テレビ電話］

お知らせ

通信速度設定について

- お買い上げ時は、［64K］に設定されています。
- テレビ電話を終了すると、通信速度設定は元に戻ります。
- 相手がテレビ電話に対応したFOMA端末の場合は、64Kでかけることをおすすめします。ネットワーク状況によって64Kが利用できないPHSなどの機器と接続する場合は、32Kに設定してください。
64Kでテレビ電話をかけても、相手が32Kエリアなどの通信環境の場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。

電話帳リスト画面の表示を変更する<画像表示切替>

電話帳のピクチャーコールに設定した画像を、電話帳リスト画面に表示できます。

1 電話帳リスト画面でⓂ→5［画像表示切替］を選ぶ。



- miniSDメモリーカード内のデータを表示している場合は、表示切り替えできません。
- グループ検索のときは、グループ選択画面でグループを選んでⓂ→5［画像表示切替］を押します。
- 電話帳内容表示画面の表示を切り替えるときは、電話帳内容表示画面でⓂ→0［画像表示切替］を押します。

お知らせ

- マルチメディアのPIMロック中は画像が表示されません。
- 電話帳リスト画面に静止画を表示しているときは、一番先頭の電話番号やメールアドレスのみを表示、選択できます。登録されている他の電話番号やメールアドレスを選択するときは、電話帳内容表示画面から選択してください。
- グループ設定のピクチャーコールを設定した場合、設定した画像が、グループ内のメンバー全員の画像として表示されます。ただし、個人ごとに設定した画像があるときは、その画像が表示されます。
- FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能（☞P.43）がはたらきます。サイトなどからダウンロードした画像をピクチャーコール（☞P.105）に設定してあった場合、代替画像が表示されます。元のFOMAカードを挿入し直すと、設定した状態に戻ります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは📹［📹基本メニューへ］または［📹詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

静止画をminiSDメモリーカードに転送しないように設定する<画像転送設定>

電話帳をminiSDメモリーカードにコピーするときに、ピクチャーコールに設定した画像を転送しないように設定できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.349）

- 画像転送設定を［する］に設定している場合、miniSDメモリーカードに電話帳をコピーするときに時間がかかることがあります。
- 画像転送設定を［する］に設定しても、ファイル制限（FOMA端末外への出力制限）のある画像は転送されません。
- お買い上げ時は、［する］に設定されています。

1 電話帳リスト画面でⓜ→9［画像転送設定］を選ぶ。

2 2［しない］を選ぶ。
- 画像を転送しないように設定されます。
- FOMAカード内の電話帳を選択している場合、［画像転送設定］は表示されません。

電話帳編集

電話帳を修正する

電話帳に登録・設定した内容を、項目ごとに編集できます。
- オールロック、ダイヤル発信制限を設定しているときは、編集できません。
- 遠隔オールロックの許可番号として登録した電話帳、指定着信許可／指定着信拒否に設定されている電話帳は編集できません。

1 電話帳リスト画面で名前にカーソルを合わせてⓜ→3［編集］を選ぶ。



FOMA端末（本体）
電話帳入力画面

- 電話帳内容表示画面から編集するときは、ⓜ→1［編集］を押します。

2 項目を選んで、編集する。
- 編集方法は、新規登録時と同様です。
- 名前を修正してもフリガナは自動で反映されません。
- 複数の電話番号を登録している場合、１件目の電話番号を削除したときは［(未登録)］となりますが、他の電話番号は変更されません。

3 ⓘ［完了］を押し、登録する。

FOMA端末（本体）電話帳のとき	上書登録する	◉→［はい］→◉
	別のメモリ番号に登録する	メモリ番号を入力 ● クリアを１秒以上押し、メモリ番号を消去して◉を押すと、空いているメモリ番号に登録できます。（☞P.104）
FOMAカード電話帳のとき		［はい］→◉

電話帳

関連操作

登録内容をコピーする＜項目コピー＞
電話帳リスト画面で名前▶ⓞ▶項目▶ⓜ▶3［項目コピー］

お知らせ

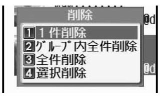
登録内容のコピーについて
- コピーできる項目は、FOMA端末（本体）電話帳内の、［名前］［電話番号1～3］［メールアドレス1～3］［メモ］［住所］とFOMAカード電話帳内の、［名前］［電話番号］［メールアドレス］です。
- 電話帳からコピーした内容の貼り付け方法については、P.498の「文字を貼り付ける」を参照してください。

電話帳削除

電話帳を削除する

電話帳に登録されているデータを削除します。
- オールロック、ダイヤル発信制限を設定しているときは、削除できません。
- 遠隔オールロックの許可番号として登録した電話帳、指定着信許可／指定着信拒否に設定されている電話帳は削除できません。（グループ内全件削除、全件削除では削除できます。）

1 電話帳リスト画面で名前にカーソルを合わせてⓜ→4［削除］を選ぶ。



2 削除方法を選ぶ。

電話帳データを1件削除する	1［1件削除］→［はい］→ⓞ
選んだグループ内のすべての電話帳データを削除する	2［グループ内全件削除］→グループ→ⓞ→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→ⓞ→［はい］→ⓞ
FOMA端末（本体）電話帳のすべての電話帳データを削除する	3［全件削除］→1［本体電話帳］→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→ⓞ→［はい］→ⓞ
FOMAカード電話帳のすべての電話帳データを削除する	3［全件削除］→2［FOMAカード電話帳］→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→ⓞ→［はい］→ⓞ
複数の電話帳データをまとめて削除する	4［選択削除］→名前⇔ⓞ（くり返し可）→ⓘ［完了］→［はい］→ⓞ ● 最大50件まで選択できます。

- 電話帳データが削除されます。

関連操作

電話帳内容表示画面から削除する＜1件削除＞
電話帳内容表示画面でⓜ▶2［1件削除］▶［はい］▶ⓞ

シークレット登録

知られたくない電話帳を守る

電話帳をシークレット登録すると、そのデータはFOMA端末のシークレットモードを［ON］に設定しない限り呼び出せなくなり、他の人に見られるのを防げます。
- FOMAカード電話帳には、シークレット登録することができません。

 ＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

電話帳にシークレット登録する＜シークレット登録＞

1 電話帳入力画面（☞**P.103**）で、［シークレット］を選んで、1［**ON**］を選ぶ。

2 ●［完了］を押し、登録する。

新規に登録する（☞P.104）	メモリ番号を入力
上書登録する	●→［はい］→●

お知らせ

- メモリ番号［000］～［099］に登録した電話帳をシークレット登録した場合、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定しないとツータッチダイヤルで電話をかけることはできません。
- シークレット登録した電話帳のメールアドレスも、シークレットモードを［ON］に設定しないと呼び出せません。

シークレットデータを呼び出すとき

- シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定した状態で、通常の電話帳と同様の操作で呼び出します。（電話帳リスト画面でシークレットデータを選ぶと、［SECRET］が点滅します。）
- 呼び出したあとは、発信や編集など、通常の電話帳と同様の操作ができます。

リダイヤル、着信履歴、メール送受信履歴、スケジュールでの表示について

- シークレット登録した電話帳の電話番号やメールアドレスの場合、名前は表示されず、電話番号やメールアドレスが表示されます。名前を表示させるには、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定してください。
- シークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。指定着信音選択／指定メール着信音選択の設定やグループ指定着信音選択／グループ指定メール着信音選択の設定を有効にするには、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定してください。
- シークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信ランプの色で点滅します。指定着信ランプ設定／指定メール着信ランプ設定やグループ指定着信ランプ／グループ指定メール着信ランプの設定を有効にするには、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定してください。

ツータッチダイヤル

少ないボタン操作で電話をかける

FOMA端末（本体）電話帳のメモリ番号000～099に登録した相手には、簡単な操作で電話をかけることができます。

- 電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、１件目に登録されている電話番号に発信します。

1 待受画面で、メモリ番号の下１桁または下２桁の数字を押す。



- メモリ番号000～009：下１桁の数字に対応する0～9を押します。
- メモリ番号010～099：下２桁の数字に対応する10～99を押します。

2 電話をかける。

音声電話をかける	📞
テレビ電話をかける	●［テレビ電話］

- 指定したメモリ番号の電話帳に登録されている電話番号に発信します。

お知らせ

- 電話帳のPIMロック中は、ツータッチダイヤルで電話をかけることはできません。（☞P.163）
- メモリ番号000～099に電話帳をシークレット登録した場合、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定しないとツータッチダイヤルで電話をかけることはできません。

▶MEMO◀

音／画面／照明設定

■音の設定

■画面／照明の設定

携帯電話から鳴る音を変える

電話着信を知らせる着信音や着モーションを変更することができます。内蔵メロディ、miniSDメモリーカードから読み込んだメロディ、ｉモードメールで受信したメロディやｉモードでダウンロードしたメロディから選択できます。ｉモードメールやSMS、チャットメール、メッセージR／Fの受信を知らせる着信音を変更することもできます。

● ｉモードで取得したｉモーション、FOMA端末で記録した映像や音声を設定することもできます。

◉121

着信音や着モーションを変更する<着信音選択>

お買い上げ時
下記参照

お買い上げ時設定（音声電話着信音：着信音1　テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音：音声電話着信音に従う　メール着信音：着信音2　チャットメール着信音：着信音2　メッセージR／F着信音、SMS着信音：メール着信音に従う）

● 基本メニューからは音声電話着信音とメール着信音のみ変更できます。その他の着信音を変更したい場合は、詳細メニューから設定してください。

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［簡易設定・便利機能］→［着信音を設定する］→［着信音を選択］の順に選ぶ。



2 着信音を選ぶ。

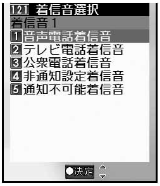
メロディを設定する	1［メロディ］→フォルダ→◉→着信音→◉［決定］ ● 着信音を確認するときは、着信音を選んで◉［確認］を押します。停止するときは◉［停止］を押します。マナーモードを設定しているときは、確認画面が表示されます。［はい］を選んで◉を押します。
ｉモーションを設定する	2［ｉモーション］→フォルダ→◉→着モーション→◉［決定］ ● 映像のみ、またはテロップを付けた動画／ｉモーションや再生制限のある動画／ｉモーションは、設定できません。 ● 着信音設定が［不可］のｉモーションは設定できません。（☞P.363） ● miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーしたｉモーションは設定できません。撮影した動画を着モーションに使用する場合は、FOMA端末（本体）に保存してください。 ● 着信音にｉモーションを設定する方法については、P.250を参照してください。
着信音を鳴らさない	3［着信音なし］

● 着信音が設定されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

＊ メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → （設定）→［音］→［音選択］→［着信音選択］の順に選んで、項目を選ぶ。



音声電話着信音を変更する	1［音声電話着信音］
テレビ電話着信音を変更する	2［テレビ電話着信音］
公衆電話着信音を変更する	3［公衆電話着信音］
非通知設定着信音を変更する	4［非通知設定着信音］
通知不可能着信音を変更する	5［通知不可能着信音］

2 着信音を選ぶ。

メロディを設定する	P.124「待受画面で◉ →［簡易設定・便利機能］→［着信音を設定する］→［着信音を選択］の順に選ぶ。」と同様に設定します。
ｉモーションを設定する	
着信音を鳴らさない	
テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音を音声電話着信音と同じ音にする	4［音声電話着信音に従う］

● 着信音が設定されます。

お知らせ

● 着信音を変更した場合、着信画面も変更されることがあります。（☞P.250）
● ドライブモード設定中に電話がかかってきたとき、着信音は鳴りません。
● 操作2で着信音を確認すると、音量選択で設定した音量で再生されますが、再生中に◎→1［音量変更］で調節することもできます。なお、音量設定が［サイレント］、［ステップトーン］のときは［音量1］で再生されます。
● 複数の着信音が設定されているとき、着信音は次の優先順位で鳴ります。

	優先順位（高→低）
着信音	電話帳指定着信音→グループ指定着信音→テレビ電話着信音→通常の着信音

● 発信者番号が通知されないテレビ電話着信は、［テレビ電話着信音］が優先されます。
● データ着信時の着信音は、音声電話着信音で設定した音と同じです。着信画面はデータ通信専用のアニメーションと同じです。動画／ｉモーションが設定されているときは［着信音1］となります。
● FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能（☞P.43）がはたらき、お買い上げ時の着信音になります。元のFOMAカードを挿入し直すと、設定した着信音に戻ります。
● マルチメディアの PIM ロック（☞P.163）中は、メロディまたは動画／ ｉモーション利用時に端末暗証番号（4～8桁の数字）の入力が必要です。

関連操作

ｉモードメール、チャットメールの着信音を変更する<メール着信音選択／チャットメール着信音選択>

1 ｉモードメールのとき：基本メニューから［簡易設定・便利機能］▶［着信音を設定する］▶4［メール着信音を選択］
● 詳細メニューから1［音］▶2［音選択］▶2［メール着信音選択］▶1［メール着信音］
● チャットメールのとき：詳細メニューから1［音］▶2［音選択］▶3［チャットメール着信音選択］

2 1［メロディ］
● 動画／ｉモーションを設定するとき：2［ｉモーション］
● 着信音を鳴らさないとき：3［着信音なし］

3 フォルダ▶◉▶着信音▶◉［決定］

関 連 操 作

SMS、メッセージR／Fの着信音を変更する<メール着信音選択>

1 SMSのとき：詳細メニューから1［音］▶2［音選択］▶2［メール着信音選択］▶4［SMS着信音］

- メッセージRのとき：詳細メニューから1［音］▶2［音選択］▶2［メール着信音選択］▶2［メッセージR着信音］
- メッセージFのとき：詳細メニューから1［音］▶2［音選択］▶2［メール着信音選択］▶3［メッセージF着信音］

2 1［メロディ］

- 動画／ｉモーションを設定するとき：2［ｉモーション］
- 着信音を鳴らさないとき：3［着信音なし］
- メール着信音に従うとき：4［メール着信音に従う］

3 フォルダ▶◈▶着信音▶ⓘ［決定］

お買い上げ時に内蔵されているメロディ

曲　名	作曲者名	曲　名	作曲者名
Light Heart	―	Sunset	―
RIDE ON	―	Night	―
Siesta	―	Stardust	―
Memories	―	OP（標準音）	―
風の吹く島	―	OP（ロボット）	―
愛のあいさつ	―	OP（HipHop）	―
The Valley	―	OP（Rock Ice）	―
ジュピター	GUSTAV HOLST	OP（OPEN）	―
王家の末裔	―	CL（標準音）	―
Beat On Motion	―	CL（ロボット）	―
着信音1	―	CL（HipHop）	―
着信音2	―	CL（Rock Ice）	―
Sunrise	―	CL（CLOSE）	―
Coffee Break	―	標準音	―
Noon	―	時間です	―
Business	―	It's time	―
Twilight	―		

お知らせ

- 指定着信音を設定すると、電話帳に登録した電話番号から電話がかかってきたときに、設定した指定着信音が鳴ります。また、指定メール着信音を設定すると、電話帳に登録したメールアドレスからのメールを受信したときに、設定した指定着信音が鳴ります。

登録したｉメロディは、パソコンをお持ちの場合は、miniSDメモリーカード（☞P.349）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。（ファイル制限ありのメロディは転送できません。）

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- メロディごとのアイコンについては、P.347「■メロディマークの見かた」を参照してください。

お買い上げ時に内蔵されているｉモーション

お買い上げ時には「The Art of AYA」が内蔵されています。

お知らせ

- お買い上げ時に内蔵されているｉモーションは、データ一括削除（ユーザデータ削除）の操作（☞P.425）を行うと削除されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

FOMA端末の開閉音やシャッター音、タイマーの音を変更する＜オープン音／クローズ音／シャッター音／タイマー音＞

お買い上げ時
下記参照

FOMA端末を開閉したときの音（オープン音、クローズ音）やシャッター音、タイマー音の音色を変更できます。

- ｉモーションを待受画面に設定しているとき、オープン音は鳴りません。
- データBOXのメロディから選択できます。

お買い上げ時設定（オープン音：OP（標準音）　クローズ音：CL（標準音）　シャッター音：標準音　タイマー音：標準音　鳴動時間（オープン音／クローズ音のとき）：３秒　鳴動時間（タイマー音のとき）：15秒）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings 設定（設定）→［音］→［音選択］→［各種設定音選択］の順に選んで、項目を選ぶ。

オープン音を変更する	1あ［オープン音］
クローズ音を変更する	2か［クローズ音］
シャッター音を変更する	3さ［シャッター音］
タイマー音を変更する	4た［タイマー音］

2 音色を選ぶ。

標準音にする	1あ［標準音］
メロディを設定する	2か［メロディ］→フォルダ→◉→メロディ→ⓘ［決定］ ● 着信音を確認するときは、着信音を選んで◉［確認］を押します。停止するときはⓘ［停止］を押します。マナーモードを設定しているときは、確認画面が表示されます。［はい］を選んで◉を押します。
音を鳴らさない	3さ［OFF］

- 鳴動時間の設定画面が表示されたときは、音を鳴らす時間（00～99秒）を入力します。
- 音色が設定されます。

お知らせ

- 動画／ｉモーションは、オープン音、クローズ音、シャッター音、タイマー音に設定できません。
- シャッター音の設定については、P.196を参照してください。
- 操作２でメロディを確認すると、各音量選択で設定した音量で再生されますが、再生中にⓜ→1あ［音量変更］で調節することもできます。なお、音量設定が［サイレント］のときは［音量１］で再生されます。
- オープン音、クローズ音の音色に、標準音または［プリインストール］フォルダ内の効果音のメロディを選んだ場合、鳴動時間は設定できません。

携帯電話から鳴る音の音量を変える

音声電話やテレビ電話の着信、ｉモードメール、SMS、メッセージR／Fの受信を知らせる着信音量を変更できます。また、ボタン確認音、FOMA端末開閉音、タイマー音や充電開始／完了の音量も変更できます。

◉111

着信音の音量を調節する＜着信音量＞

お買い上げ時
すべて音量3

音声電話やテレビ電話の着信音の音量を変更できます。また、ｉモードメールやSMS、チャットメール、メッセージR／Fの着信音の音量を変更することもできます。

- 音を消したり（サイレント）、だんだん大きな音になるように（ステップトーン）設定することもできます。
- 基本メニューからは音声電話着信音量とメール着信音量のみ変更できます。その他の着信音を変更したい場合は、詳細メニューから設定してください。

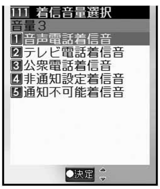
基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［簡易設定·便利機能］→［着信音を設定する］→［着信音量を選択］の順に選ぶ。



＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Settings 設定］（設定）→［音］→［音量選択］→［着信音量選択］の順に選んで、項目を選ぶ。



音声電話着信音量を調節する	1［音声電話着信音］
テレビ電話着信音量を調節する	2［テレビ電話着信音］
公衆電話着信音量を調節する	3［公衆電話着信音］
非通知設定着信音量を調節する	4［非通知設定着信音］
通知不可能着信音量を調節する	5［通知不可能着信音］

2 ◯（上げる）／◯（下げる）を押して音量を調節し、◉を押す。

- ［音量1］が最小で、［音量5］が最大の音量です。
- ［ステップトーン］に設定するときは、［音量5］のときに◯を押します。設定すると、［音量1］～［音量4］の順で3秒ごとに音量が上がり、以降は［音量5］で鳴ります。
  着モーションを設定しているときもステップトーンで再生されます。
- ［サイレント］に設定するときは、［音量1］のときに◯を押します。設定すると、着信音が鳴りません。
  （音声電話着信音を［サイレント］に設定したときは、待受画面に［S］が表示されます。）

お知らせ

- 調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。
- 着信音量と着信バイブレータ（☞P.130）の設定は連動しません。バイブレータを設定中に着信音を鳴らしたくないときは、音量を［サイレント］に設定してください。
- GIFアニメーション、Flash画像を待受画面に設定した場合、［S］はアニメーションが終了するまで表示されません。
- データ通信時の着信音量は、音声電話着信音で設定した音量と同じです。

＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

関連操作

ｉモードメール、メッセージR／F、SMSの着信音量を調節する＜メール着信音量＞

1 ｉモードメールのとき：基本メニューから［簡易設定・便利機能］▶［着信音を設定する］▶3［メール着信音量を選択］

- 詳細メニューから1［音］▶1［音量選択］▶2［メール着信音量選択］▶1［メール着信音］
- メッセージRのとき：詳細メニューから1［音］▶1［音量選択］▶2［メール着信音量選択］▶2［メッセージR着信音］
- メッセージFのとき：詳細メニューから1［音］▶1［音量選択］▶2［メール着信音量選択］▶3［メッセージF着信音］
- SMSのとき：詳細メニューから1［音］▶1［音量選択］▶2［メール着信音量選択］▶4［SMS着信音］

2 ◯（上げる）／◯（下げる）▶◉

チャットメールの着信音量を調節する＜チャットメール着信音量＞

詳細メニューから1［音］▶1［音量選択］▶3［チャットメール着信音量選択］▶◯（上げる）／◯（下げる）▶◉

受話音量を調節する＜受話音量＞

お買い上げ時
音量3

受話音量を5段階で調節できます。

1 待受画面で右側面の大または小を押す。

- 受話音量調節画面が表示されます。
- 音量は、それまでの設定に＋1または－1されます。
- ｉモーション再生中はクリアまたは電源を押してｉモーションを停止させてから音量を調節してください。
- カレンダーを表示しているときは、電源を押してカレンダーを消してから音量を調節してください。

2 大（上げる）／小（下げる）を押して音量を調節する。

- 約2秒後、または◉、クリアを押すと、待受画面に戻ります。

◉1141

ボタン確認音の音量を調節する＜ボタン確認音＞

お買い上げ時
音量3

FOMA端末のボタンを押したときの音（ボタン確認音）の音量を調節します。また、FOMA端末を開閉したときの音（オープン音、クローズ音）、タイマー音、充電開始／完了音の音量を調節することもできます。

- ［サイレント］に設定すると、電池残量確認音やボタン確認音、オープン音、クローズ音、タイマー音、充電開始／完了音、エラー音も鳴りません。
- 通話中に音量ボタン大／小を押したときは音量1で鳴ります。
- マナーモード設定中は、この機能の設定にかかわらず、音は鳴りません。
- オリジナルマナーモードでは、ボタン確認音の［ON］／［OFF］を設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→Settings 設定（設定）→［音］→［音量選択］→［各種設定音量選択］→［ボタン確認音］の順に選ぶ。

- ボタン確認音調節画面が表示されます。

2 ◯（上げる）／◯（下げる）を押して音量を調節し、◉を押す。

次ページへ続く

関連操作

開閉音の音量を調節する<オープン音／クローズ音>

1 オープン音のとき：詳細メニューから1［音］▶1［音量選択］▶4［各種設定音量選択］▶2［オープン音］

- クローズ音の音量を調節するとき：詳細メニューから1［音］▶1［音量選択］▶4［各種設定音量選択］▶3［クローズ音］

2 ◇（上げる）／◇（下げる）▶◉

充電開始音／完了音の音量を調節する<充電開始音／充電完了音>

1 充電開始音のとき：詳細メニューから1［音］▶1［音量選択］▶4［各種設定音量選択］▶4［充電開始音］

- 充電完了時の音量を調節するとき：詳細メニューから1［音］▶1［音量選択］▶4［各種設定音量選択］▶5［充電完了音］

2 ◇（上げる）／◇（下げる）▶◉

タイマー音の音量を調節する<タイマー音>

詳細メニューから1［音］▶1［音量選択］▶4［各種設定音量選択］▶6［タイマー音］▶◇（上げる）／◇（下げる）▶◉

バイブレータ設定　◉13

着信やアラームを振動で知らせる

お買い上げ時
着信バイブレータ：OFF
メール着信バイブレータ：OFF

バイブレータを設定すると、電話着信やメール受信、アラームを、振動やメロディとの連動でお知らせできます。

- アラーム動作時のバイブレータは、ここで設定した着信バイブレータの設定に従います。
- バイブレータと音量の設定は連動していません。着信音やアラーム音を鳴らしたくないときは、音量を［サイレント］に設定してください。バイブレータ設定中でも音量は別途設定できます。（☞P.128、P.387）
- メロディに設定されているバイブレータを利用することもできます。（メロディ連動）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［音］→［バイブレータ設定］の順に選んで、項目を選ぶ。

着信バイブレータを設定する	1［着信バイブレータ］
メールの着信バイブレータを設定する	2［メール着信バイブレータ］

2 バイブレータの種類を選ぶ。

1［OFF］	バイブレータは動作しません。
2［パターン1］	約0.8秒振動→約0.8秒停止のくり返し
3［パターン2］	約0.3秒振動→約0.3秒停止→約0.3秒振動→約1秒停止のくり返し
4［パターン3］	連続振動
5［メロディ連動］	● バイブレータが動作するように作成されているメロディを着信音に設定しているとき、メロディと連動させる（メロディ連動）こともできます。 ● バイブレータが動作するように作成されていないメロディを着信音に設定すると、［パターン1］で振動します。

- バイブレータが設定され、FOMA端末が振動します。待受画面には［ ］が表示されます。ただし、メールのバイブレータのみを設定したときは表示されません。
- ◇でパターン1～3を選ぶと、バイブレータの振動を確認することができます。（ピクチャーライト／着信ランプも点滅します。）

お知らせ

- バイブレータを設定した場合、机の上などにFOMA端末を置いておくと、着信があったとき落下するおそれがありますので、ご注意ください。
- バイブレータを設定しても、Flash画像（☞P.236）からのバイブレータ動作には反映されません。

　＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- マナーモード中は、バイブレータ設定を［OFF］に設定していても、バイブレータは［パターン1］で振動します。
- GIFアニメーション、Flash画像を待受画面に設定した場合、［ ］はアニメーションが終了するまで表示されません。
- メロディ連動に設定しても、主旋律と連動しないものもあります。

通話品質アラーム

5 2 2

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

お買い上げ時
アラームあり（高音）

電波状態が悪いなど通話が途中で切れそうなとき、直前にアラーム音でお知らせします。

- 通話品質アラームは音声電話のみに対応しています。
- アラーム音は、［アラームあり（高音）］［アラームあり（低音）］［アラームなし］から選ぶことができます。

1 詳細メニュー：待受画面で → （設定）→［通話・通信機能設定］→［通話中アラーム設定］→［通話品質アラーム］の順に選んで、アラーム音を選ぶ。

アラーム音（高音）	1［アラームあり（高音）］
アラーム音（低音）	2［アラームあり（低音）］
アラーム音を鳴らさない	3［アラームなし］

- 通話品質アラームが設定されます。

お知らせ

- 急に通話品質が悪くなったときは、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうこともあります。
- テレビ電話中は通話品質アラームが鳴りません。

メール着信鳴動時間設定

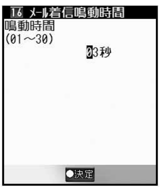
1 6

メールの着信音を鳴らす時間を設定する

お買い上げ時
3秒

メール着信音を鳴らす時間を、1～30秒の間で設定したり、鳴らさないように設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で → （設定）→［音］→［メール着信鳴動時間設定］の順に選んで、1［**ON**］を選ぶ。



- 鳴動時間入力画面が表示されます。

2 着信音を鳴らす時間（2桁：**01～30**秒）を入力して を押す。

- メール着信鳴動時間が設定されます。

お知らせ

- 通話中、iモーション／メロディ再生中などにメールを受信した場合、メール着信音は鳴りません。

イヤホンだけから着信音を鳴らす

お買い上げ時
イヤホン＋スピーカ

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続したとき、FOMA端末のスピーカから着信音を出さず、イヤホンだけから聞こえるように設定できます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどが接続されていないときは、［イヤホンのみ］に設定していても、スピーカから着信音が鳴ります。

1 詳細メニュー：待受画面で◈→（設定）→［音］→［着信音出力切替］の順に選んで、着信音の出力方法を選ぶ。

イヤホンだけから着信音を鳴らす	1［イヤホンのみ］
イヤホンとスピーカから着信音を鳴らす	2［イヤホン＋スピーカ］

お知らせ

- イヤホンマイクからの着信音量は着信音量選択（☞P.128）で設定されている音量で聞こえます。着信音量を［サイレント］に設定している場合、着信音はイヤホンから聞こえません。
- イヤホンマイクのコードを FOMA端末に巻きつけないでください。内蔵アンテナが正しく働かないことがあります。
- イヤホンマイクのプラグは確実に差し込んでください。差し込みが不完全で途中で止まっていると、音が途切れたり、雑音や大きな音がすることがあります。
- 次の場合は故障ではありません。
  - ■ 通話中にイヤホンマイクのプラグの差し込みが不完全で、音が途切れたり雑音がすることがある。
  - ■ 電源を入れた瞬間に、「パチッ」という音がする。

マナーモード

電話から鳴る音を消す

お買い上げ時
通常マナーモード

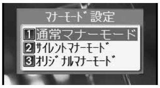
公共の場所などで電話の音を周囲に出したくないときは、マナーモードを利用しましょう。FOMA端末から音を出さないように、簡単に切り替えることができます。
- マナーモードは、通常マナーモード、サイレントマナーモード、オリジナルマナーモードの３種類から選択できます。マナーモードの種類によって、各機能のON／OFFが以下の表のように異なります。

機　能	通常マナーモード	サイレントマナーモード	オリジナルマナーモード※
伝言メモ	ON	OFF	ON
着信音	OFF	OFF	OFF
メール着信音	OFF	OFF	OFF
着信バイブレータ	ON	OFF	ON
ボタン確認音	OFF	OFF	OFF
マイク感度アップ	ON	ON	ON
低電圧アラーム	OFF	OFF	OFF

※ オリジナルマナーモードの設定は変更できます。（☞P.134）
- マナーモード設定中も、カメラのシャッター音、動画の撮影開始音／停止音は鳴ります。
- マナーモードには視野切替を連動させることができます。（☞P.151）

マナーモードを設定する

1 待受中に#を1秒以上押す。



- 通話中や着信中にマナーモードを設定するときは、通話中、着信中に#を1秒以上押します。前回と同じマナーモードが設定されます。
- 着信中にFOMA端末を閉じているときは、大／小を1秒以上押すと、前回と同じマナーモードが設定されます。
- 着信中に操作したときは、着信音が止まり、マナーモードが設定されます。この設定は以降も有効です。電話に出られなかったときは、相手の用件が録音されます。ただし、すでに3件の伝言メモ／音声メモ、2件のテレビ電話伝言メモが録音されている場合、伝言メモは設定されません。Ⓢを押すと電話に出ることができます。
- 詳細メニューから（設定）→1［音］→4［マナーモード設定］の順に選んで、マナーモードの種類を変更することもできます。
  マナーモード中に操作した場合は、設定中のマナーモードの種類が変更されます。マナーモード解除中に操作した場合は、次回マナーモードを設定するときに反映されます。

2 マナーモードの種類を選ぶ。



- ［設定しました］と表示され、マナーモードが設定されます。（［ ］表示）
- 操作1のあと、約2秒間何も操作しないでそのままにしておくと、選択中のマナーモードで設定されます。

マナーモード設定時の待受中や着信中は（通常マナーモード）

- 次の音は鳴りません。
  ボタン確認音、エラー音「ピッピッピッ」、警告音、メロディ再生音（確認画面を表示）、オープン音、クローズ音、充電開始／完了音、電池残量確認音、応答保留音、通話中保留音、バーコード認識音、料金上限通知アラーム音など
- 次の音はバイブレータによるお知らせに変わります。
  各種着信音、アラーム音、タイマー音など
- 伝言メモが自動的に設定されます。また、メニュー操作による伝言メモの設定／解除（☞P.77）はできません。

マナーモードを解除する

1 待受中、通話中、着信中に#を1秒以上押す。

- ［解除しました］と表示され、マナーモードが解除されます。
- 着信中にFOMA端末を閉じているときは、大／小を1秒以上押します。

お知らせ

マイク感度アップについて

- 通話中にマナーモードを設定すると、マイクの感度が高くなり、小さな声で通話できます。ただし、ハンズフリーでの通話中は、マナーモードを設定していてもマイク感度は変わりません。

関連操作

指定した時刻にマナーモードを自動的に解除する<マナー解除>
待受画面で解除時刻（4桁：24時間制）を入力▶#（1秒以上）または◉［クイック］▶5［マナー解除］

マナーモードを設定していないときに着信音を止める<クイックサイレント>
着信中に#または◉（1秒以上）

関連操作

お知らせ

マナー解除について

- 解除時刻は、設定した時刻から24時間以内です。
- 解除時刻に待受画面以外の画面を表示していたり、電源が入っていない場合は、待受画面に戻ったときにマナーモードが解除されます。
- 解除時刻を変更するときは、同様の操作をくり返します。

クイックサイレントについて

- クイックサイレントは、その着信に限り、着信音を止めることができます。

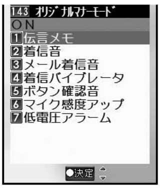
オリジナルマナーモード　◉1 4 3

マナーモードを変更する

お買い上げ時
下記参照

オリジナルマナーモード選択時に設定される各機能の［ON］／［OFF］を変更できます。
お買い上げ時設定（伝言メモ：ON　着信音：OFF　メール着信音：OFF　着信バイブレータ：ON
ボタン確認音：OFF　マイク感度アップ：ON　低電圧アラーム：OFF）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［音］→［マナーモード設定］→［オリジナルマナーモード］の順に選ぶ。



2 機能と1［ON］／2［OFF］を選ぶ。

伝言メモを設定する	1［伝言メモ］→1［ON］／2［OFF］
着信音を設定する	2［着信音］→1［ON］／2［OFF］
メール着信音を設定する	3［メール着信音］→1［ON］／2［OFF］
着信バイブレータを設定する	4［着信バイブレータ］→1［ON］／2［OFF］
ボタン確認音を設定する	5［ボタン確認音］→1［ON］／2［OFF］
マイク感度アップを設定する	6［マイク感度アップ］→1［ON］／2［OFF］
低電圧アラームを設定する	7［低電圧アラーム］→1［ON］／2［OFF］

- オリジナルマナーモードの設定が変更されます。

お知らせ

- オリジナルマナーモードの着信音を［ON］に設定していても、音声電話着信音を［サイレント］に設定していると（☞P.128）、着信音は鳴りません。
- オリジナルマナーモードの伝言メモを［OFF］に設定していても、伝言メモ（☞P.77）を［ON］に設定していると、伝言メモが動作します。
- 低電圧アラームを［ON］に設定したあと、電池残量が少なくなると、警告音が「ピピピ…」と鳴ります。
- マナーモード設定中でも、オリジナルマナーモードの設定内容を変更できます。
- 外部機器接続中に外部機器から音を鳴らすように設定したときは、マナーモードを設定していても外部機器から音が鳴ります。

マイク感度アップを設定すると

- マナーモード設定時の通話中はマイクの感度が高くなり、小さな声で通話できるようになります。ただし、ハンズフリーでの通話中は、マイク感度アップを設定していてもマイク感度は変わりません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

メインディスプレイの待受画面の表示を変える

画像を表示する

◉2 1 1

お買い上げ時
待受画面1

あらかじめ登録されている静止画やカメラで撮影した静止画、動画、サイトやインターネットホームページでダウンロードした静止画やFlash画像、iモーション、iモードメールで受信した画像など、データBOXに保存されている画像を、メインディスプレイの待受画面に表示できます。

- データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像、iモーション内の動画/iモーションを利用できます。
- 「待受：240×320」以外の静止画は、サイズを変更できます。(☞P.325)
- 音声のみの動画/iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション)、再生制限のある動画/iモーションは待受画面に設定できません。ASFファイルも設定できません。

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［簡易設定・便利機能］→［待受画面を設定する］の順に選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Settings 設定］（設定）→［表示］→［メイン画面設定］→［待受画面設定］の順に選ぶ。

- 待受画面設定画面が表示されます。

2 画像を選ぶ。

静止画を設定する	1［マイピクチャ］→フォルダ→◉→静止画→◉［決定］→［はい］→◉ ● 静止画を確認するときは、静止画を選んで◉［確認］を押します。戻るときは、クリアを押します。
動画/iモーションを設定する	2［iモーション］→フォルダ→◉→動画/iモーション→◉［決定］→［はい］→◉ ● 動画/iモーションを確認するときは、動画/iモーションを選んで◉［確認］を押します。戻るときは、◉［停止］を押します。 ● 再生を一時停止するときは◉［一時停止］を押します。続きを再生するときは、◉［再生］を押します。 ●「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」（横×縦）サイズの動画/iモーションの場合は、［等倍］または［拡大］を選択し、待受画面に表示されるサイズを選択します。（sQCIFサイズ、QCIFサイズ以外は［等倍］または［拡大］を選択できません。） ● 動画/iモーションの音量は、オープン音の音量に従います。（1回再生すると停止します。）待受画面でiモーションを再生中に大/小を押すと、音声の有無を切り替えることができます。大を押すと音声あり、小を押すと音声なしとなります。

- 待受画面に設定されます。

お知らせ

- 音声のあるFlash画像を待受画面に設定しても、音は鳴りません。
- miniSDメモリーカード内のiモーションは直接、待受画面に設定できません。FOMA端末にコピーしてから設定してください。
- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- Flash画像やGIFアニメーション、動画/iモーションは最初の一コマ目が待受画面として表示されます。Flash画像やGIFアニメーションの場合、再生終了後は停止したコマが待受画面として表示されます。また、再生中にクリアを押すと、Flash画像やGIFアニメーションの場合は一時停止、動画/iモーションの場合は停止（先頭に戻る）します。再度クリアを押すと、再生が再開されます。
- 画像を待受画面に設定した場合、元の画像を削除しても、待受画面の設定を変更するまで画面は保持されます。ただし、iモーションを設定している場合は、お買い上げ時の画像に戻ります。

音/画面/照明設定

次ページへ続く

お知らせ

- Flash画像やGIFアニメーションを待受画面に設定している場合、省電力モードから復帰したときは最初の一コマ目が待受画面として表示されます。（☞P.140）
- ｉモーション待受画面からWeb To機能（☞P.235）は利用できません。
- 設定したGIFアニメーションは、コマ落ちなど、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- GIFアニメーション、Flash画像を待受画面に設定した場合、次のマークはアニメーションが終了するまで表示されません。（クリアを押すとアニメーションが停止し、マークが表示されます。）
  - ■ バイブレータ表示（☞P.130）
  - ■ 留守番電話新メッセージあり（☞P.430）
  - ■ スケジュール／アラーム表示（☞P.394）
  - ■ オート着信（イヤホン装着時）（☞P.424）
  - ■ 伝言メモ表示（☞P.77）
  - ■ サイレント表示（☞P.128）
  - ■ ドライブモード表示（☞P.74）
- FOMAカードを別の FOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能（☞P.43）がはたらき、サイトなどからダウンロードした画像を待受画面に設定してあった場合、待受画面の設定がお買い上げ時の画像に戻ります。元のFOMAカードを挿入し直すと、設定した状態に戻ります。
- miniSDメモリーカード内の画像を設定した場合、設定値表示欄にタイトル名は表示されません。

◉2 1 3

カレンダーを表示する＜カレンダー表示設定＞

お買い上げ時
OFF

ディスプレイの待受画像に重ねて、今月または、今月と次月の２ヶ月分、６ヶ月分のカレンダーを表示できます。
曜日／日付色はスケジュールの曜日色設定で設定した色で表示されます。休日設定日、祝日（☞P.400）は赤色で表示されます。

- お買い上げ時は、カレンダーには「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年法律第59号）」に基づいた祝日が15件登録されています。（2005年７月現在）
- 待受画面にGIFアニメーションやFlash画像およびｉモーションを設定しているとき、カレンダーに切り替えると、待受画面の画像が停止します。
- 英語表示に設定したときは、カレンダー表示も英語表示になります。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［表示］→［メイン画面設定］→［カレンダー表示設定］の順に選んで、表示方法を選ぶ。

1ヶ月（大）表示	1［1ヶ月（大）］ ● スケジュールが設定されている日付にアイコンが表示されます。 ● スケジュールが設定されている日付にアンダーラインが表示されます。
1ヶ月表示	2［1ヶ月］→1［左上］／2［右上］／3［左下］／4［右下］ ● スケジュールが設定されている日付にアンダーラインが表示されます。
2ヶ月表示	3［2ヶ月］ ● 今月と次月のカレンダーが表示されます。 ● スケジュールが設定されている日付にアンダーラインが表示されます。
6ヶ月表示	4［6ヶ月］ ● 今月を含む２ヶ月単位で、奇数月を先頭に、６ヶ月分のカレンダーが表示されます。
OFF	5［OFF］ ● カレンダーを表示しません。



１ヶ月（大）表示



１ヶ月［左上］表示



２ヶ月表示



６ヶ月表示

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

● 大／小を押すと、前後の月のカレンダーが表示されます。［6ヶ月］の場合は、前後2ヶ月分のカレンダーが表示されます。
● カレンダー表示を設定しているときに、待受画面で◎を押すと、待受画面表示とカレンダー表示が切り替わります。

時計を表示する<時計表示設定>

◎212

お買い上げ時
ON

待受画像に重ねて、日時を表示できます。
● 時計表示を［ON］に設定すると、待受画面上部の時刻は表示されません。（待受画面以外では表示されます。）
● 英語表示に設定したときは、日時も英語表記となります。

1 詳細メニュー：待受画面で◎→（設定）→［表示］→［メイン画面設定］→［時計表示設定］の順に選んで、1［ON］を選ぶ。

● 時計表示が設定されます。

発着信画面設定

発着信時の画像を変更する

◎245

お買い上げ時
発信画面：電話発信1 着信画面：電話着信1

電話をかけるときや、電話がかかってきたときに表示される画像を変更できます。
● データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像を利用できます。着信画面にはｉモーションも表示できます。（音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を除く。）
● 横240×縦168ドットより大きいサイズの画像は、縮小して表示されます。

1 詳細メニュー：待受画面で◎→（設定）→［表示］→［画面カスタマイズ設定］→［発着信画面設定］の順に選ぶ。

2 項目を選び、画像を選ぶ。

音声電話発信画面を設定する	1［音声電話発信画面］→フォルダ→◎→画像→◉［決定］
音声電話着信画面を設定する	2［音声電話着信画面］→1［マイピクチャ］／2［ｉモーション］→フォルダ→◎→画像→◉［決定］
テレビ電話着信画面を設定する	3［テレビ電話着信画面］→1［マイピクチャ］／2［ｉモーション］→フォルダ→◎→画像→◉［決定］
公衆電話着信画面を設定する	4［公衆電話着信画面］→1［マイピクチャ］／2［ｉモーション］→フォルダ→◎→画像→◉［決定］
非通知設定着信画面を設定する	5［非通知設定着信画面］→1［マイピクチャ］／2［ｉモーション］→フォルダ→◎→画像→◉［決定］
通知不可能着信画面を設定する	6［通知不可能着信画面］→1［マイピクチャ］／2［ｉモーション］→フォルダ→◎→画像→◉［決定］

● 発着信時の画面が設定されます。
● 画像を確認するときは、画像を選んで◎［確認］を押します。クリアを押すと元の画面に戻ります。あらかじめ登録されているGIFアニメーションの場合、◎［確認］を押すと再生され、約10〜30秒経過すると、自動的に停止します。
● 動画／ｉモーションの場合、再生を一時停止するときは◎［一時停止］を押します。続きを再生するときは◎［再生］を押します。元の画面に戻るときは、◉［停止］を押します。
● 着信画面にｉモーションを設定する場合については、P.250を参照してください。

お知らせ

● 着信画面を変更した場合、着信音も変更されることがあります。（☞P.250）
● 発信画面・着信画面に設定した元の画像を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
● 発信画面・着信画面に設定できない画像は表示されません。
● 発信者番号が通知されないテレビ電話着信は、［テレビ電話着信画面］が優先されます。

お知らせ

- miniSDメモリーカード内の画像は、発信画面・着信画面には設定できません。FOMA端末にコピーしてから設定してください。
- ピクチャーコール設定を［ON］に設定している場合は、ピクチャーコール設定が優先されます。

メール送受信画面設定　◉2 4 6

メール送受信時の画像を変更する

お買い上げ時
メール送信画面：メール送信1
メール受信画面：メール受信1

メール送信時、メール受信時の画像を変更できます。

- データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを表示できます。（Flash画像・動画／ｉモーションは表示できません。）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［表示］→［画面カスタマイズ設定］→［メール送受信画面設定］の順に選ぶ。

2 項目を選び、画像を選ぶ。

メール送信画面を設定する	1［メール送信画面設定］→フォルダ→◉→画像→◉［決定］
メール受信画面を設定する	2［メール受信画面設定］→フォルダ→◉→画像→◉［決定］

- 設定できない画像は表示されません。
- メール送受信時の画面が設定されます。
- 画像を確認するときは、画像を選んで◉［確認］を押します。クリアを押すと元の画面に戻ります。あらかじめ登録されているGIFアニメーションの場合、◉［確認］を押すと再生され、約10～30秒経過すると、自動的に停止します。

お知らせ

- メール送信画面・メール受信画面に設定した元の画像を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
- miniSDメモリーカード内の静止画は、メール送信画面・メール受信画面には設定できません。FOMA端末にコピーしてから設定してください。

ピクチャーコール設定　◉2 4 1

電話帳に登録した画像を着信時に表示するかどうかを設定する

お買い上げ時
ON

ピクチャーコール設定（☞P.105）されている電話番号からの着信があったとき、ピクチャーコールの画像を表示するかどうかを設定できます。

- 相手の発信者番号が通知されない場合や、電話帳にピクチャーコール（画像）を設定していないときは、ピクチャーコール設定を［ON］に設定してもピクチャーコールの画像は表示されません。（☞P.105）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［表示］→［画面カスタマイズ設定］→［ピクチャーコール設定］の順に選んで、1［**ON**］を選ぶ。

- ピクチャーコールの画像が表示されるように設定されます。

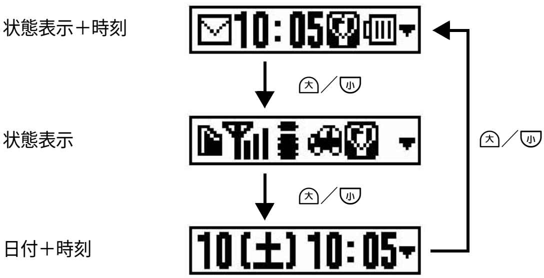
＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

サブディスプレイを設定する

サブディスプレイの表示を変える＜サブ画面表示切替＞

お買い上げ時
状態表示＋時刻

FOMA端末を閉じた状態で(大)／(小)を押すと、サブディスプレイの表示が、次の順番で切り替わります。



●「状態表示」、「日付＋時刻」を表示した場合は、約10秒後に「状態表示＋時刻」表示に戻ります。

(◈ 2 2 1)

着信時に相手の名前などを表示する＜相手表示設定＞

お買い上げ時
ON

電話がかかってきたとき相手の電話番号や名前をサブディスプレイに表示できます。
● 電話帳のPIMロック中は、相手の名前は表示されません。

1 詳細メニュー：待受画面で◈→(設定)→［表示］→［サブ画面設定］→［相手表示設定］の順に選んで、(1)［**ON**］を選ぶ。

(◈ 2 2 2)

サブディスプレイの濃淡を調節する＜コントラスト調節＞

お買い上げ時
濃度３

サブディスプレイの濃淡を５段階で調整することができます。

1 詳細メニュー：待受画面で◈→(設定)→［表示］→［サブ画面設定］→［コントラスト調節］の順に選ぶ。



● 現在の濃度が表示されます。

2 ◇（濃くする）／◇（薄くする）を押して調節し、◈を押す。
● FOMA端末を閉じると、設定した濃度で表示されます。

省電力設定 ◈26

バッテリーを節約する

お買い上げ時
通常モード

ディスプレイの表示時間などを調整してバッテリーの消耗を抑えることができます。
- 省電力設定は、通常モード、節約モード、ユーザ設定モードの３種類から選択できます。

省電力設定の種類によって、表示時間などが以下の表のように異なります。

	通常モード	節約モード	ユーザ設定モード
照明時間設定	約15秒	約５秒	約15秒
画面表示時間設定	約２分	約30秒	約２分
スクリーンセーバー	OFF	OFF	OFF
明るさ調整	12	1	12

1 詳細メニュー：待受画面で◈→Settings（設定）→［表示］→［省電力設定］の順に選んで、省電力設定の種類を選ぶ。

通常モードにする	1［通常モード］
節約モードにする	2［節約モード］
ユーザ設定モードにする	3［ユーザ設定］ ● ユーザ設定モードの設定は変更できます。

- 省電力設定が設定されます。

ユーザ設定

オリジナルの省電力モードを設定する

省電力設定の［ユーザ設定］には、照明時間設定、画面表示時間設定、スクリーンセーバー、明るさ調整をそれぞれ設定できます。
- ユーザ設定モードで設定した照明時間設定、画面表示時間設定、スクリーンセーバー、明るさ調整は、［省電力設定］の種類を［通常モード］もしくは［節約モード］に設定すると、無効になります。

◈2631

ディスプレイとボタンの照明を設定する<照明時間設定>

お買い上げ時
下記参照

ディスプレイとボタンのバックライトの照明が点灯している時間を、以下の場合についてそれぞれ設定できます。設定した時間を過ぎると、微灯になります。

通常時	電源を入れたとき、ボタンを押したとき、FOMA端末を開閉したとき、電話がかかってきたときなどに照明が点灯する時間を、１～99秒の間で設定できます。
充電時	ACアダプタ、DCアダプタを接続しているときに照明が点灯する時間を［通常時と同じ］または［常にON］に設定できます。
テレビ電話時	テレビ電話の通話中に照明が点灯する時間を［通常時と同じ］または［常にON］に設定できます。
ｉモード時	ｉモード中に照明が点灯する時間を［通常時と同じ］または［常にON］に設定できます。

お買い上げ時設定（通常時：15秒　充電時、ｉモード時：通常時と同じ　テレビ電話時：常にON）

1 詳細メニュー：待受画面で◈→Settings（設定）→［表示］→［省電力設定］→［ユーザ設定］→［照明時間設定］の順に選ぶ。



＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

2 項目を選び、照明時間を設定する。

通常時の照明を設定する	1［通常時］→点灯時間（01～99秒）を入力→●
充電時の照明を設定する	2［充電時］→1［通常時と同じ］／2［常にON］
テレビ電話時の照明を設定する	3［テレビ電話時］→1［通常時と同じ］／2［常にON］
ｉモード時の照明を設定する	4［ｉモード時］→1［通常時と同じ］／2［常にON］

● 照明の点灯時間が設定されます。

お知らせ

● 点灯時間（秒数）は［通常時］のみに設定できます。
● 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。
● 通常時の照明点灯時間や、充電時、ｉモード時の照明時間設定を［常に ON］に設定しても、画面表示時間設定で設定した時間が経過すると、ディスプレイの表示はOFFになります。スクリーンセーバー（☞P.142）を設定しているときは、スクリーンセーバーが動作します。
● 画面表示時間設定と同じ秒数を設定すると、画面表示時間設定が優先されます。
● Flash画像や動画の再生中は、再生中照明設定に従います。（☞P.335）
● イメージビューア（☞P.316）、ビデオプレーヤ（☞P.333）で再生中照明設定を［照明設定に従う］に設定した場合、照明時間設定の［通常時］の設定が反映されます。
● スライドショーやカメラモードでは、ここでの設定にかかわらず、常に点灯します。
● 複数の照明時間が設定されているときは、次の優先順位で点灯します。ただし、テレビ電話時またはｉモード時の照明時間設定を［常にON］に設定すると、充電しながらテレビ電話やｉモードを利用する場合、充電時の設定にかかわらず、［常にON］になります。

	優先順位（高→低）
照明時間	充電時→テレビ電話時／ｉモード時→通常時

●2636

画面表示時間を設定する＜画面表示時間設定＞

お買い上げ時
表示時間：２分
ランプ表示：なし

一定時間FOMA端末を使用しなかったときに、ディスプレイの表示を消してバッテリーの消費を抑えます。

● FOMA端末を開いているときに、ピクチャーライトを点滅（黄色）させて、省電力モードになっていることをお知らせすることもできます。

1 詳細メニュー：待受画面で●→（設定）→［表示］→［省電力設定］→［ユーザ設定］→［画面表示時間設定］の順に選んで、省電力モードになるまでの時間を選ぶ。

30秒	1［30秒］	５分	5［５分］
１分	2［１分］	10分	6［10分］
２分	3［２分］	15分	7［15分］
３分	4［３分］	20分	8［20分］

● ランプ表示設定画面が表示されます。

2 ピクチャーライトを点滅させるかどうかを選ぶ。

ピクチャーライトを点滅させる	1［ランプ表示あり］
ピクチャーライトを点滅させない	2［ランプ表示なし］

● 画面表示時間が設定されます。

お知らせ

● 省電力モードでFOMA端末を開いているときにピクチャーライトを点滅させると、連続待受時間が短くなります。
● 省電力モードになっているときに、いずれかのボタンを押すとディスプレイ表示が点灯します。スクリーンセーバー設定中に着信、メール受信があったときは、スクリーンセーバーの設定に従います。
● FOMA端末を閉じているときは、［ランプ表示あり］に設定していても、ピクチャーライトは点滅しません。

次ページへ続く

お知らせ

- 音声電話中・テレビ電話中・ｉモード通信中・メール通信中・カメラの起動中・ｉモーション再生中・スライドショー再生中・外部機器とのデータ転送中は、画面表示時間設定で設定した時間が経過しても省電力モードになりません。

◉2 6 3 3

スクリーンセーバーを設定する＜スクリーンセーバー＞

お買い上げ時
OFF

画面表示時間設定で設定した時間が経過したときに、ディスプレイを暗くして日時だけを表示します。
- 電話がかかってきたり、メールを受信したときにも、スクリーンセーバーを解除しないで、ディスプレイに［着信中］、［メール受信中］と表示させることができます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［表示］→［省電力設定］→［ユーザ設定］→［スクリーンセーバー］の順に選んで、スクリーンセーバーの設定を選ぶ。

スクリーンセーバーを設定する	1［ON（通常）］
着信時やメール受信時にスクリーンセーバーを解除せずに［着信中］［メール受信中］と表示させる	2［ON（プライバシー）］ ● データ通信の着信は表示されません。
スクリーンセーバーを設定しない	3［OFF］

お知らせ

- スクリーンセーバーが約2時間経過したり、電池残量が少なくなると、画面がOFFになります。（スクリーンセーバー設定は［ON］のままです。）充電中は画面がOFFになりません。
  - ■ 着信や操作などのあとには、スクリーンセーバーが表示されますが、約2時間経過したり、電池残量が少なくなると、画面がOFFになります。［ON（プライバシー）］を選択したときは、着信やメールを受信すると、［着信あり］や［メールあり］を表示して、約2時間経過したり、電池残量が少なくなると、画面がOFFになります。
- スクリーンセーバーを表示させると、連続待受時間が短くなります。

◉2 6 3 4

ディスプレイの濃淡を調整する＜明るさ調整＞

お買い上げ時
明るさ12

ディスプレイ照明の明るさを16段階に調整できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［表示］→［省電力設定］→［ユーザ設定］→［明るさ調整］の順に選ぶ。



- 現在の明るさが表示されます。

2 ◇（明るくする）／◇（暗くする）を押して調節し、◉を押す。

お知らせ

- 明るくすると、連続待受時間が短くなります。

 ＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

ディスプレイをアレンジする

◉ 2 4 4

メニュー画面の背景を変更する＜背景パターン設定＞

お買い上げ時
背景パターン1

メニュー画面の背景パターン（画面の端に表示される画像）をお好みで変更できます。

- 横240×縦320ドットのJPEG画像、GIF画像を利用できます。（Flash画像、GIFアニメーションは利用できません。）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings 設定（設定）→［表示］→［画面カスタマイズ設定］→［背景パターン設定］の順に選ぶ。

- データBOXのマイピクチャ画面が表示されます。

2 フォルダを選んで、静止画にカーソルを合わせて◉［決定］を押す。

- 設定できない静止画は表示されません。
- 背景パターンが設定されます。
- 静止画を確認するときは、静止画を選んで◉［確認］を押します。クリアを押すと元の画面に戻ります。

お知らせ

- データBOXのマイピクチャの静止画を背景パターンに設定した場合、元の静止画を削除しても、背景パターンの設定を変更するまで画面は保持されます。
- 詳細メニューの背景（☞P.147）を設定することができます。

◉ 2 4 2

ポップアップウィンドウの色や枠を変更する＜ポップアップウィンドウ設定＞

お買い上げ時
ポップアップ1

サブメニューなどのポップアップウィンドウの背景色や、枠の形状を変更できます。

- データBOXのマイピクチャの横201×縦62ドットのGIF画像を利用できます。（Flash画像、GIFアニメーション、JPEG画像は利用できません。）
- カメラで撮影した画像は利用できません。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings 設定（設定）→［表示］→［画面カスタマイズ設定］→［ポップアップウィンドウ設定］の順に選ぶ。

- データBOXのマイピクチャ画面が表示されます。

2 フォルダを選んで、静止画にカーソルを合わせて◉［決定］を押す。

- 設定できない静止画は表示されません。
- ポップアップウィンドウが設定されます。
- 静止画を確認するときは、静止画を選んで◉［確認］を押します。クリアを押すと元の画面に戻ります。

お知らせ

- データBOXのマイピクチャの静止画をポップアップウィンドウに設定した場合、元の静止画を削除しても、ポップアップウィンドウの設定を変更するまで画面は保持されます。

◈2 4 3

お知らせウィンドウの色や枠を変更する<お知らせウィンドウ設定>

お買い上げ時
お知らせ１

確認メッセージやエラーメッセージを表示するお知らせウィンドウの背景色や、枠の形状を変更できます。

- データBOXのマイピクチャの横201×縦182ドットのGIF画像を利用できます。（Flash画像、GIFアニメーション、JPEG画像は利用できません。）
- カメラで撮影した画像は利用できません。

1 詳細メニュー：待受画面で◈→ Settings 設定（設定）→［表示］→［画面カスタマイズ設定］→［お知らせウィンドウ設定］の順に選ぶ。

- データBOXのマイピクチャ画面が表示されます。

2 フォルダを選んで、静止画にカーソルを合わせて◉［決定］を押す。

- 設定できない静止画は表示されません。
- お知らせウィンドウが設定されます。
- お知らせウィンドウに設定すると、画像内の４つの絵が４コマのアニメーションで表示されます。
- 静止画を確認するときは、静止画を選んで◈［確認］を押します。クリアを押すと元の画面に戻ります。

お知らせ

- データBOXのマイピクチャの静止画をお知らせウィンドウに設定した場合、元の静止画を削除しても、お知らせウィンドウの設定を変更するまで画面は保持されます。

◈2 4 8

ガイダンスボタンに背景を設定する<ガイダンスボタン設定>

お買い上げ時
下記参照

３つのガイダンスボタン（☞P.31）それぞれに、背景画像を設定できます。

- ガイダンスボタン（中央）には、横46×縦24ドットのGIF画像を使用できます。ガイダンスボタン（左右）には、横66×縦24ドットのGIF画像を使用できます。（JPEG画像、Flash画像、GIFアニメーションは利用できません。）
- カメラで撮影した画像は利用できません。

お買い上げ時設定（左ボタン：操作ガイド左１　中央ボタン：操作ガイド中央１　右ボタン：操作ガイド右１）

1 詳細メニュー：待受画面で◈→ Settings 設定（設定）→［表示］→［画面カスタマイズ設定］→［ガイダンスボタン設定］の順に選んで、ガイダンスボタンを選ぶ。

左ボタン	1［左ボタン］	右ボタン	3［右ボタン］
中央ボタン	2［中央ボタン］		

- データBOXのマイピクチャ画面が表示されます。

2 フォルダを選んで、静止画にカーソルを合わせて◉［決定］を押す。

- ガイダンスボタンに設定できない静止画は表示されません。
- ガイダンスボタンの背景が設定されます。
- 静止画を確認するときは、静止画を選んで◈［確認］を押します。クリアを押すと元の画面に戻ります。

お知らせ

- データBOXのマイピクチャの静止画をガイダンスボタンの背景に設定した場合、元の静止画を削除しても、ガイダンスボタンの設定を変更するまで画面は保持されます。

＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

◉ 2 4 7

タイトル行やステータス行の配色を変更する<タイトル＆ステータス色設定>

お買い上げ時
パターン１

メニュー画面のタイトル行やステータス行の、文字と背景の配色を変えることができます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings 設定（設定）→［表示］→［画面カスタマイズ設定］→［タイトル＆ステータス色設定］の順に選んで、パターンを選ぶ。

パターン１	1［パターン１］	パターン５	5［パターン５］
パターン２	2［パターン２］	パターン６	6［パターン６］
パターン３	3［パターン３］	パターン７	7［パターン７］
パターン４	4［パターン４］	パターン８	8［パターン８］

- パターンを選ぶたびに、タイトル行とステータス行の色が変わります。
- パターンが設定されます。

プリインストールテーマ

詳細メニューのデザインを変更する

詳細メニューのアイコンや順番、背景画像、アイコン名の有無を設定できます。

詳細メニューのデザインを変える<プリインストールテーマ>

お買い上げ時
ステーショナリ

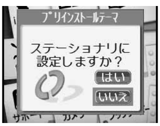
詳細メニューに設定されているアイコンの位置や画像を、統一されたイメージに変更できます。

- お買い上げ時、［ステーショナリ］、［リファイン］の２件のテーマが登録されています。
- お買い上げ時に登録されているテーマを利用すると、次の設定が変更されます。
  アイコン設定、背景設定、ポップアップウィンドウ設定、お知らせウィンドウ設定、背景パターン設定、ガイダンスボタン設定、タイトル＆ステータス色設定、アクションフォーカス

1 詳細メニューで📖→6［プリインストールテーマ］を選ぶ。

- プリインストールテーマ画面が表示されます。

2 テーマを選んで、［はい］を選ぶ。



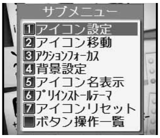
- ［画像展開中］と表示されます。画像展開に時間がかかることがあります。
- テーマが設定されます。

詳細メニューのアイコンを設定する<アイコン設定>

詳細メニューのアイコンを変更できます。

- 横76×縦76ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。サイトやインターネットホームページでダウンロードした画像も利用できます。
- １つのアイコンに対して非選択時用、選択時用の２枚の画像を設定できます。
- GIFアニメーションの場合は最大３シーンが切り替わります。選択時用の画像は設定できません。

1 詳細メニューでアイコンを選んでⓂ→1［アイコン設定］を選ぶ。



2 フォルダを選んで、非選択時用の静止画にカーソルを合わせて⊙［決定］を押す。

- メニューアイコンに設定できない画像は表示されません。
- アイコン設定確認画面が表示されます。
- GIFアニメーションを選択したときは、詳細メニュー画面に戻ります。
- 静止画を確認するときは、静止画を選んで◈［確認］を押します。クリアを押すと元の画面に戻ります。

3 選択時用の静止画を選ぶ。

選択時用の静止画を別に設定する	［はい］→◈→フォルダ→◈→静止画→⊙［決定］
非選択時用と同じ静止画を設定する	［いいえ］→◈

お知らせ

- データBOXのマイピクチャの画像をメニューアイコンに設定した場合、元の画像を削除しても、メニューアイコンの設定を変更するまで画面は保持されます。

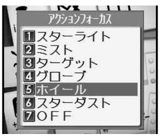
詳細メニューのアイコンにアクションフォーカスを設定する<アクションフォーカス>

お買い上げ時
ホイール

詳細メニューのアイコンにアクションフォーカスを設定できます。

- アクションフォーカスを設定すると、詳細メニューで選択したアイコンのみアクションが実行されます。
- GIFアニメーションが設定されている場合は、最後に表示される画像にアクションフォーカスを設定します。

1 詳細メニューでⓂ→3［アクションフォーカス］を選んで、アクションフォーカスの種類を選ぶ。



1［スターライト］	楕円が回転します。
2［ミスト］	光がフラッシュします。
3［ターゲット］	四角の枠が次々に現れ、消えていきます。
4［グローブ］	円が速度を変えながら回転します。
5［ホイール］	四角の角が回転します。
6［スターダスト］	光がきらきら輝き続けます。
7［OFF］	設定しません。

- アクションフォーカスが設定されます。

＊メニューを切り替えるときは⊙［⊙基本メニューへ］または［⊙詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

詳細メニューの背景を設定する＜背景設定＞

お買い上げ時
メニュー背景1

詳細メニューの背景画像を設定できます。

- JPEG画像やGIF画像を利用できます。（Flash画像、GIFアニメーションは利用できません。）サイトやインターネットホームページでダウンロードした画像も利用できます。

1 詳細メニューで(m)→4［背景設定］を選ぶ。

- データBOXのマイピクチャ画面が表示されます。

2 フォルダを選んで、静止画にカーソルを合わせて(i)［決定］を押す。

- 背景画像に設定できない静止画は表示されません。
- 背景画像が設定されます。
- 静止画を確認するときは、静止画を選んで(●)［確認］を押します。(クリア)を押すと元の画面に戻ります。

お知らせ

- データBOXのマイピクチャの静止画を背景画像に設定した場合、元の静止画を削除しても、背景画像の設定を変更するまで画面は保持されます。

アイコン名を表示するかどうかを設定する＜アイコン名表示＞

お買い上げ時
OFF

詳細メニューのアイコンの下にタイトルを表示するかどうかを設定できます。

1 詳細メニューで(m)→5［アイコン名表示］を選んで、1［ON］を選ぶ。

- アイコン名を表示するように設定されます。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているアイコン画像の場合、画像の中にアイコン名が入っているため、アイコン名表示を［ON］に設定すると、文字が二重に表示されます。

詳細メニューのアイコンを移動する＜アイコン移動＞

詳細メニューのアイコンの位置を入れ替えることができます。

1 詳細メニューでアイコンにカーソルを合わせて(m)→2［アイコン移動］を選ぶ。



2 移動先の位置にカーソルを合わせて(●)を押す。

詳細メニューをお買い上げ時の状態に戻す<アイコンリセット>

詳細メニューのアイコン設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

- アイコンリセットを行うと、次の設定がリセットされます。
  アイコン移動、アイコン設定、アクションフォーカス、背景設定、アイコン名表示

1 詳細メニューで[MENU]→7［アイコンリセット］を選んで、［はい］を選ぶ。

- アイコン設定がリセットされます。

待受画面のボタン操作を確認する<ボタン操作一覧>

待受画面でのボタン操作を一覧で表示できます。

1 詳細メニューで[MENU]→［ボタン操作一覧］を選ぶ。

操　作	ボタン	ページ
メニュー表示	[●]	P.38
サイドボタン操作無効	[●]（1秒以上）	P.165
視野切替設定	[サイドボタン]（1秒以上）	P.151
待受ｉモーション再生／停止	[CLR]	P.135
メッセージ消去	[CLR]（1秒以上）	P.76
メール作成	[↑]（1秒以上）	P.263
マイピクチャ起動	[↓]（1秒以上）	P.316
電話帳作成	[MENU]（1秒以上）	P.102
サポートブック（内蔵）	[i]（1秒以上）	P.372
メモ録音・再生	1（1秒以上）	P.80 P.413
サブ液晶表示切替	FOMA端末を閉じた状態で[大]／[小]	P.139
ピクチャーライト点灯	FOMA端末を閉じた状態で[大]／[小]（1秒以上）	P.190

着信ランプ設定

イルミネーションの色を設定する

着信ランプの色を設定する<着信ランプ色設定>

[●]25

お買い上げ時
下記参照

音声電話やテレビ電話の着信やメール受信があったときのランプ（メインカメラ側にあるピクチャーライト／着信ランプ）の色を設定します。また、着信ランプが動作するように設定されているメロディを着信音に設定しているときは、メロディと連動させる（メロディ連動）こともできます。

お買い上げ時設定（音声電話着信ランプ、テレビ電話着信ランプ：グリーン　メール受信ランプ：ブルー　着信ランプ動作設定：メロディ非連動　メール受信ランプ動作設定：メロディ非連動）

1 詳細メニュー：待受画面で[●]→（設定）→［表示］→［着信ランプ設定］の順に選んで、項目を選ぶ。

音声電話着信時のランプの色を設定する	1［着信ランプ色設定］→1［音声電話］
テレビ電話着信時のランプの色を設定する	1［着信ランプ色設定］→2［テレビ電話］
メール受信時のランプの色を設定する	2［メール受信ランプ色設定］

＊メニューを切り替えるときは[i]［[i]基本メニューへ］または［[i]詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

2 着信ランプの色を選ぶ。

● 色を選ぶたびに、ピクチャーライト／着信ランプの色が変わります。

レインボー	赤、紫、青、水色、緑、黄のグラデーションで点灯します。
ミックス	赤、黄、緑、水色、青、紫が順不同で点滅します。
サイクロン	赤、黄、緑、水色、青、紫が順不同で点滅します。色の切り替えはだんだん速くなります。
ランダム	自局の電話番号・相手の発信者番号と日付によって、異なる色のグラデーションで点灯します。発信者番号が通知されないときは、赤のグラデーションで点灯します。 ● メール受信ランプに、［ランダム］は設定できません。
ホワイト	白で点滅します。
レッド	赤で点滅します。
グリーン	緑で点滅します。
ブルー	青で点滅します。
イエロー	黄で点滅します。
パープル	紫で点滅します。
ライトブルー	水色で点滅します。

お知らせ

● データ通信時の着信ランプは、音声電話着信ランプで設定したランプ色と同じです。
● 複数の着信ランプが設定されているとき、着信ランプやメール受信ランプは次の優先順位で点灯します。

	優先順位（高→低）
着信ランプ	電話帳指定着信ランプ→グループ指定着信ランプ→通常の着信ランプ
メール受信ランプ	電話帳指定メール着信ランプ→グループ指定メール着信ランプ→通常のメール受信ランプ

関連操作

着信ランプをメロディに連動させる<着信ランプ動作設定>

1 着信ランプのとき：詳細メニューから2［表示］▶5［着信ランプ設定］▶3［着信ランプ動作設定］

● メール受信ランプのとき：詳細メニューから2［表示］▶5［着信ランプ設定］▶4［メール受信ランプ動作設定］

2 1［メロディ連動］

● メロディ非連動に設定するとき：2［メロディ非連動］

お知らせ

メロディ連動について

● 着信ランプが動作するように設定されていないメロディを着信音にすると、ランプはメロディと連動しません。

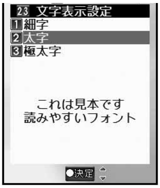
文字表示設定 ◎23

文字の表示（太さ）を変更する

お買い上げ時
太字

ディスプレイに表示される文字の太さを変更できます。
● 設定できる文字の種類は３種類です。

1 詳細メニュー：待受画面で◎→ Settings（設定）→［表示］→［文字表示設定］の順に選んで、文字の太さを選ぶ。



細字	1［細字］
太字	2［太字］
極太字	3［極太字］

● 文字を選ぶと、見本が表示されます。
● 文字の太さが変更されます。

Bilingual ◎3＊

画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時
日本語

ディスプレイに表示される各機能名やメッセージ、およびメニュー項目名などを日本語表示／英語表示に切り替えます。

1 詳細メニュー：待受画面で◎→ Settings（設定）→［一般設定］→［**Bilingual**］の順に選んで、表示方法を選ぶ。

日本語表示	1［日本語］
英語表示	2［English］

● 表示される言語が切り替わります。

お知らせ

● 挿入したFOMAカードの設定によって、Bilingualの設定が切り替わることがあります。

視野切替設定

画面表示を認識できる角度を変更する

ディスプレイを隣の人から見えにくくする<視野切替>

視野切替画面を表示させることにより、画面が見える範囲（視野角）を狭くして隣の人から見えにくくします。

1 待受中や操作中に▭を押す。

● 視野切替が［ON］に設定され、待受画面に［▣］が表示されます。
● ［OFF］に設定するときは、もう一度▭を押します。

お知らせ

● オールロック中（☞P.160）およびユーザデータ削除（☞P.425）中は視野切替できません。
● マナーモード連動設定が［OFF］の場合、電源を切っても設定は保持されます。
● マナーモード連動設定が［ON］のとき、マナーモード中に電源を切った場合は、電源を入れたときに視野切替が［ON］になります。マナーモード解除中に電源を切った場合は、電源を入れたときに視野切替が［OFF］になります。

 ＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- 画面表示時間設定により、ディスプレイ表示が消えている間およびスクリーンセーバーの起動中は視野切替は［OFF］になります。
- 視野切替を［ON］にすると、正面から見たときでも両目の視差により、視野切替画面が見えることがあります。

⊙271

マナーモードに連動して視野切替をする＜マナーモード連動設定＞

お買い上げ時
ON

マナーモードを設定したときに、自動的に視野切替が［ON］に切り替わるように設定します。

1 詳細メニュー：待受画面で⊙→ Settings 設定（設定）→［表示］→［視野切替設定］の順に選ぶ。

- 待受画面でを1秒以上押しても同じ操作が行えます。

2 1［マナーモード連動設定］を選んで、1［**ON**］を選ぶ。

お知らせ

- マナーモード中でも、視野切替の［ON］／［OFF］を設定できます。

⊙272

視野切替画面を変更する＜視野切替画面設定＞

お買い上げ時
パターンA

視野切替画面のパターンを変更できます。

1 詳細メニュー：待受画面で⊙→ Settings 設定（設定）→［表示］→［視野切替設定］の順に選ぶ。

- 待受画面でを1秒以上押しても同じ操作が行えます。

2 2［視野切替画面設定］を選んで、パターンを選ぶ。

［パターンA］	1	文字パターンが表示されます。
［パターンB］	2	幾何学模様のパターンが表示されます。
［パターンC］	3	黒いフィルタをかけたような画面が表示されます。
［連続パターン切替］	4	幾何学模様のパターンが一定時間で切り替わって表示されます。

- 視野切替を［ON］にすると、選択したパターンが画面に表示されます。
- 隣の人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。

▶MEMO◀

あんしん設定

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号やｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けてFOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号（各種機能用の暗証番号）

端末暗証番号は、お買い上げ時は［0000］に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（☞P.155）

- 以下の機能を利用するときには、端末暗証番号の入力が必要となります。

暗証番号の入力が必要な機能

電話帳に登録しているｉモードのシークレットコードの設定／確認／解除	P.105
端末暗証番号の変更	P.155
PIN1コードの入力設定	P.156
PINコードの変更	P.157
オールロックの設定	P.160
オールロックの解除	P.160
遠隔オールロックの設定／解除	P.161
PIMロックの設定／解除	P.163
PIMロック中の起動（一時解除）	P.164
ダイヤル発信制限の設定／解除	P.165
着信履歴、リダイヤルの表示の設定／解除	P.166
メール送受信履歴表示の設定／解除	P.166
シークレットモードの設定／解除	P.167
電話帳指定着信許可の登録／設定／解除	P.167
電話帳指定着信拒否の登録／設定／解除	P.169
非通知理由別着信拒否／許可の設定	P.171
電話帳登録外着信拒否／許可の設定	P.173
ｉモード接続先登録／リセット	P.237
ｉモード設定リセット	P.239
証明書発行接続先の変更	P.249

フォルダごと削除	メール	P.287
	miniSDメモリーカード	P.359
	データBOX	P.362

メール設定リセット	P.299
FOMA端末（本体）からminiSDメモリーカードへの全件コピー	P.353
miniSDメモリーカードへのバックアップ	P.354
miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）へのバックアップデータの読み込み	P.355
miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）への全件コピー	P.357
miniSDメモリーカードフォーマット	P.358
データBOXのフォルダセキュリティ設定／解除	P.362
設定状況確認	P.380
所有者情報の詳細表示・編集	P.410
料金上限通知設定	P.419
設定リセット	P.424
ユーザデータ削除	P.425
シークレットデータ一括削除	P.426
積算通話時間リセット	P.419
追加サービス全件削除	P.442
変換学習クリア	P.500
ソフトウェアの更新	P.543
データBOXのフォルダ内全データ移動	P.364

全データ削除	電話帳	P.120	ブックマーク	P.227	テキストメモ	P.422
	メッセージR／F	P.245	メール	P.288	画面メモ	P.231
	データBOX	P.362、P.364	miniSDメモリーカードのバックアップデータ	P.355	miniSDメモリーカード	P.358
	ToDoリスト	P.393	ブックリーダー	P.376		
	マネーカルク	P.417	スケジュール	P.405		

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

ネットワーク暗証番号

ドコモｅサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字４桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「My DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、ｉモードからは、ドコモｅサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My DoCoMo」、「ドコモｅサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという２つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は［0000］に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（☞P.157）
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する４～８桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する４～８桁の暗証番号です。
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には４桁の「ｉモードパスワード」が必要になります。
（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります。）
ｉモードパスワードは、ご契約時は［0000］に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
ｉモードから変更される場合は、「ｉMenu」→「8オプション設定」→「2ｉモードパスワード変更」から変更ができます。

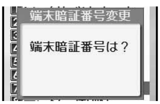
端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時
0000

お客様自身の端末暗証番号（４～８桁の数字）に変更してください。
- 端末暗証番号は、ネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードとは異なります。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［セキュリティ］→［端末暗証番号変更］の順に選んで、現在の端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。



- 入力した端末暗証番号は、［＊］で表示されます。

2 新しい端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。
- 入力した端末暗証番号は、［＊］で表示されます。

3 もう一度、新しい端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。
- 入力した端末暗証番号は、［＊］で表示されます。
- 端末暗証番号が変更されます。

PINコードを設定する

お買い上げ時
PIN1コード：0000 PIN2コード：0000

FOMAカードのPIN1コード、PIN2コードを変更できます。

- PIN1コードは、FOMAカードを不正に使用されないための、4～8桁の暗証番号です。
- PIN2コードは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する4～8桁の暗証番号です。ユーザ証明書操作時（FirstPassを利用するためのユーザ証明書の発行）や、FirstPass対応サイトに接続するとき（☞P.246）に入力します。
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになるときは、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。PIN1コード、PIN2コードを変更されていない場合は、［0000］です。
- PIN1コード、PIN2コードは、FOMAカードに登録されます。

◉ 6 2

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定する＜PIN1コード入力設定＞

お買い上げ時
OFF

FOMA端末を不正に使用されないために、電源を入れたときにPIN1コードを入力しないと使えないように設定します。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［セキュリティ］→［FOMAカード（UIM）設定］の順に選んで、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押す。



FOMAカード設定画面

- 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。

2 1［PIN1コード入力設定］を選んで、1［ON］／2［OFF］を選ぶ。



設定する	1［ON］→PIN1コード（4～8桁の数字）を入力→◉
解除する	2［OFF］→PIN1コード（4～8桁の数字）を入力→◉

- PIN1コードは3回まで入力できます。PIN1コード入力画面には［残存入力回数］が表示されます。
- 入力したPIN1コードは、［✱］で表示されます。

お知らせ

- PIN1コード入力画面で入力を3回間違えると、PIN1コードがロックされます。PINロックを解除してください。PINロック解除時に、新しいPIN1コードを入力する必要があります。（☞P.158）

電源を入れたときにPIN1コードを入力する

PIN1コード入力設定を［ON］に設定すると、電源を入れたときに、PIN1コードの入力画面が表示されます。

- PIN1コードを入力しないとFOMA端末を操作できません。FOMA端末が無断で使用されるのを防ぐことができます。

1 （電源）を2秒以上押して電源を入れ、PIN1コード（4～8桁の数字）を入力して◉を押す。

- PIN1コードは3回まで入力できます。PIN1コード入力画面には［残存入力回数］が表示されます。
- 入力したPIN1コードは、［✱］で表示されます。
- PIN1コードを正しく入力すると、待受画面が表示されます。

あんしん設定

 ＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- PIN1 コード入力画面で入力を３回間違えると、PIN1 コードがロックされます。PIN ロックを解除してください。PINロック解除時に、新しいPIN1コードを入力する必要があります。(☞P.158)

MENU 6 2

PIN1コード／PIN2コードを変更する ＜PIN1コード変更／PIN2コード変更＞

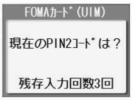
お買い上げ時
PIN1コード：0000 PIN2コード：0000

PIN1コード／PIN2コードを変更できます。

1 詳細メニュー：待受画面で● → (設定) → [セキュリティ] → [FOMAカード(UIM)設定] の順に選んで、端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力して●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、[＊] で表示されます。
- FOMAカード(UIM)設定画面が表示されます。
- PIN1コード入力設定が [OFF] に設定されている場合、PIN1コードは変更できません。

2 変更するPINコードを選び、現在のPINコード(４～８桁の数字)を入力して●を押す。



PIN1コードを変更する	2 [PIN1コード変更]
PIN2コードを変更する	3 [PIN2コード変更]

- PIN コードは３回まで入力できます。PIN コード入力画面には [残存入力回数] が表示されます。
- 入力したPINコードは、[＊] で表示されます。

3 新しいPINコード(４～８桁の数字)を入力して●を押す。

- 入力したPINコードは、[＊] で表示されます。

4 もう一度、新しいPINコード(４～８桁の数字)を入力して●を押す。

- 入力したPINコードは、[＊] で表示されます。
- [変更しました] と表示されます。

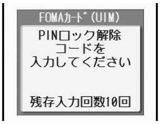
お知らせ

- PIN1コード／PIN2コード入力画面で、PIN1コード／PIN2コードの入力を３回間違えると、PIN1コード／PIN2コードがロックされます。PINロックを解除してください。PINロック解除時に、新しいPIN1コード／PIN2コードを入力する必要があります。(☞P.158)

PINロックを解除する

PIN1コード／PIN2コードの入力が必要な画面で、PIN1コード／PIN2コードを３回間違って入力すると、PIN1コード／PIN2コードがロックされます。そのときは、PIN1コード／PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード／PIN2コードを設定する必要があります。

PIN1／PIN2がロックされた画面



● ［残存入力回数10回］と表示されます。
● PINロック解除コードは10回まで入力できます。

PIN1ロックを解除するとき

1 **PIN**ロック中に**PIN**ロック解除コード入力画面で、**PIN**ロック解除コード（８桁の数字）を入力して◉を押す。

● 入力したPINロック解除コードは、［✱］で表示されます。

2 新しい**PIN1**コード（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。

● 入力したPIN1コードは、［✱］で表示されます。

3 もう一度、新しい**PIN1**コード（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。

● 入力したPIN1コードは、［✱］で表示されます。
● ［変更しました］と表示されます。

お知らせ

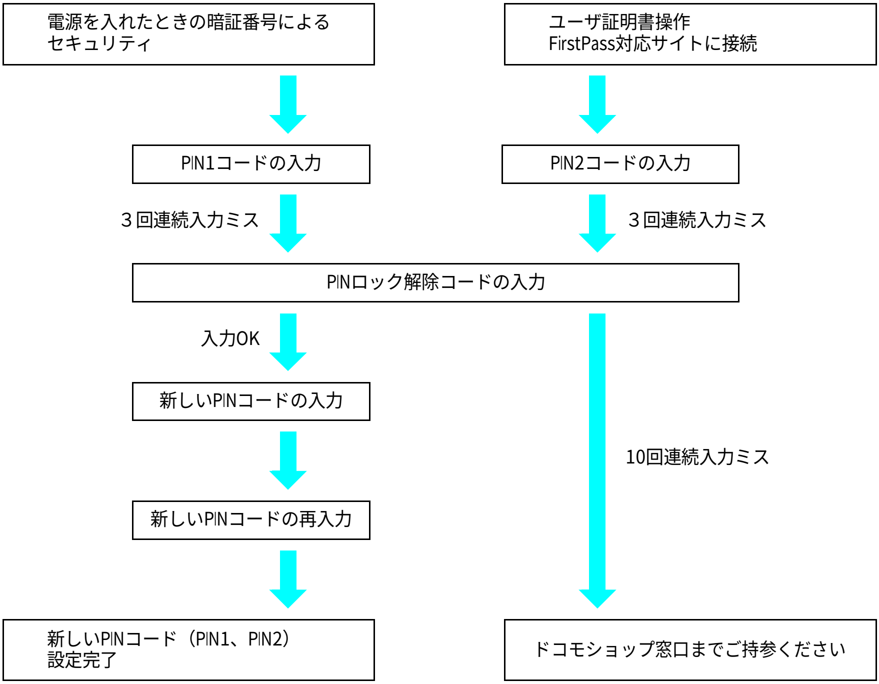
● PIN2コードのロックを解除するときも、同様の操作で解除します。
● PIN2コードの３回連続入力ミスによってFOMA端末がロックされた場合でも、電話の発着信、メールの送受信などの通信は可能ですが、PIN1コードの３回連続入力ミスによってFOMA端末がロックされた場合には、通信が必要な機能の操作はできなくなります。

■ PIN1コード、PIN2コードおよびPINロック解除コードの操作について

FOMAカードのPIN1コード、PIN2コードは、ご契約時には［0000］に設定されていますが、別の番号に変更できます。なお、新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。また、PIN1コード、PIN2コードの入力を３回連続して間違えると自動的にロックされますので、設定した番号は控えを取るなどしてお忘れにならないよう、ご注意ください。

● PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための８桁の番号です。PINロック解除コードを入力することによりロック状態を解除できます。なお、お客様ご自身では変更することができません。
● PIN ロック解除コードの入力を、10 回連続して間違えると FOMAカードが完全にロックされます。PIN ロック解除コードは控えを取るなどしてお忘れにならないよう、ご注意ください。

※ PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。



各種ロック機能について

電話帳の呼び出し、登録、削除やダイヤルボタンでの発信などの機能を制限できます。

- ロックの設定／解除には、端末暗証番号が必要です。
- 設定できる項目は次のとおりです。

ロック機能	動作・制限内容	ページ
オールロック	電源のON／OFF以外の操作ができないようにして、FOMA端末の無断使用を防ぎます。	P.160
遠隔オールロック	遠隔操作でオールロックを設定できます。	P.161
セルフモード※	音声電話やテレビ電話の発着信、ｉモードメールやSMSの送受信、メッセージR／Fの受信、ｉモードの機能を使えないように設定します。電話がかかってきた場合、相手には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。	P.163
PIMロック	電話帳、スケジュール、メール、ｉモード、音声／テレビ電話伝言メモ・音声メモ、マルチメディア、マネーカルク、テキストメモ、ToDoリストの表示や編集・操作ができないようにして、個人情報の閲覧や書き換えを防止します。項目ごとに設定が可能です。マルチメディアをロックするとカメラ機能もロックされます。	P.163
ダイヤル発信制限	ダイヤル入力による発信や電話帳の編集ができないようにします。電話帳かリダイヤル、光るワンタッチキーを使った発信だけが可能です。	P.165
サイドボタン操作無効※	FOMA端末を閉じているときに音量ボタンを操作できないようにして、誤作動を防ぎます。	P.165

※ セルフモード設定、サイドボタン操作無効設定については、端末暗証番号の入力は不要です。

他の人が使用できないようにする

お買い上げ時
解除

電源ON／OFF以外の操作ができないようにします。

● 他の電話機や公衆電話などからの遠隔操作で、オールロックを設定することもできます。（遠隔オールロック：☞P.161）

オールロックを設定する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［セキュリティ］→［ロック設定］の順に選んで、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。



ロック設定画面

● 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。

2 1［オールロック］を選んで、［はい］を選ぶ。



● オールロックが設定されます。待受画面に［オールロック］と表示されます。（［ALL］表示）

オールロックを解除する

1 オールロック中に、待受画面で端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。

● 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。

● 待受画面の［オールロック］の文字と［ALL］が消え、オールロックが解除されます。

お知らせ

● オールロック中は待受画面設定にかかわらず、［待受画面１］の画像が表示されます。

● オールロック中に着信した場合、相手にはオールロック中のガイダンスは流れず、話中音が流れます。オールロックを解除すると［着信あり］が表示されます。

● オールロック中は音声電話やテレビ電話をかけることも受けることもできません。ただし、緊急通報番号（110番、119番、118番）には発信できます。発信する場合は、端末暗証番号入力画面で電話番号を入力して☎を押します。電話番号は［✱✱✱］で表示されます。

● オールロック中は、設定した時刻になってもアラーム音は鳴りません。また、ディスプレイにも表示されません。

● オールロック中も、ｉモードメール／SMSやメッセージR／Fの自動受信ができますが、画面には表示されません。オールロック解除後に、ｉモードメール／SMSやメッセージR／Fのアイコンが表示されます。

● オールロックは電源を切っても解除されません。

● オールロックの解除に５回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。再び電源を入れて、正しい端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力してください。

 ＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

遠隔操作でオールロックを設定する＜遠隔オールロック＞

お買い上げ時
下記参照

あらかじめ登録した他の電話機や公衆電話から、一定時間内に一定回数（たとえば「５分以内に３回」など）本FOMA端末に電話をかけ、不在着信を記憶させることで、本FOMA端末のオールロックを設定できます。

● 遠隔オールロックは、あらかじめ登録・設定した次の項目にすべて該当する着信があった場合にのみ設定されます。

お買い上げ時設定（設定：OFF（解除） 着信回数：５回 指定時間：３分）

項　目	登録・設定内容
許可番号	遠隔操作を行う電話機の電話番号を最大３件まで登録します。公衆電話からの操作を有効にしておくこともできます。
着信回数	遠隔オールロックが有効になる、指定時間内の着信回数（３～10回）を設定します。
指定時間	許可番号から着信があってから、着信回数のカウントを行う時間（１分～10分）を設定します。

● 遠隔操作でオールロックを解除することはできません。遠隔オールロックを解除するには、「オールロックを解除する」（☞P.160）を参照してください。

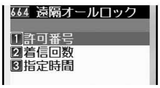
■ 遠隔オールロックを設定する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Settings 設定］（設定）→［セキュリティ］→［ロック設定］の順に選んで、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。

● 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。

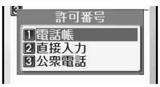
● ロック設定画面が表示されます。

2 4［遠隔オールロック］を選んで、1［ON］／2［OFF］を選ぶ。



設定する	1［ON］ ● 操作３に進みます。
解除する	2［OFF］

3 1［許可番号］を選んで、許可番号を登録する。



許可番号を登録する	電話帳から選ぶ	許可番号→◉→1［電話帳］→名前→◉
	直接電話番号を入力する	許可番号→◉→2［直接入力］→電話番号を入力→◉
	公衆電話からの操作を許可する	許可番号→◉→3［公衆電話］
許可番号を変更する		変更する許可番号→◉→1［変更］→以降は許可番号の登録と同様
許可番号を削除する		削除する許可番号→◉→2［削除］→［はい］→◉

● 新規に登録するときは［-------------------］が表示されている番号を選んでください。

● 許可番号は最大３件まで登録できます。

4 クリアを押す。

● 遠隔オールロックの設定画面に戻ります。

あんしん設定

次ページへ続く ▶▶

5 2 [着信回数] を選んで、着信回数を選ぶ。

3回	1 [3回]	7回	5 [7回]
4回	2 [4回]	8回	6 [8回]
5回	3 [5回]	9回	7 [9回]
6回	4 [6回]	10回	8 [10回]

- 着信回数が設定されます。
- 遠隔オールロックの設定画面に戻ります。

6 3 [指定時間] を選んで、指定時間を選ぶ。

1分	1 [1分]	6分	6 [6分]
2分	2 [2分]	7分	7 [7分]
3分	3 [3分]	8分	8 [8分]
4分	4 [4分]	9分	9 [9分]
5分	5 [5分]	10分	0 [10分]

- 指定時間が設定されます。
- 遠隔オールロックの設定画面に戻ります。

7 [完了] を押す。

- 遠隔オールロックが設定されます。

遠隔オールロックの操作をする

遠隔オールロック設定中は、他の電話機の操作で本FOMA端末のオールロックを設定できます。

- 遠隔オールロックの許可番号に登録した電話機から操作してください。また、操作する電話機の発信者番号通知を[ON]に設定した状態で操作してください。
- 登録している複数の許可番号から着信した場合、最初に着信した許可番号からの着信のみ着信回数として数えられます。
- 公衆電話からの操作を許可しているときは、公衆電話からでも操作できます。
- すでに本FOMA端末のオールロックが設定されている場合でも、同様に操作できます。

1 遠隔オールロックの許可番号に登録した電話機や公衆電話から本FOMA端末に電話をかける。

2 呼出音が数回鳴ったあと、電話を切る。

- 本FOMA端末の着信履歴に記憶されます。

3 指定時間以内に、操作1～2を指定回数くり返す。

- 本FOMA端末のオールロックが設定されると、操作をした電話機にオールロック設定の通知音「ピーピー」が流れます。(操作をした電話機に通話料がかかります。)

お知らせ

- 遠隔オールロックの許可番号が、電話帳指定着信拒否、電話帳指定着信許可、電話帳登録外着信拒否など、着信拒否を設定されている場合でも、遠隔オールロックは動作します。
- ドライブモード設定中でも、遠隔オールロックの操作ができます。このときは、ドライブモードのガイダンスが流れたら電話を切ってください。ただし、着信回数に達してオールロックが設定されるときは、ドライブモードのガイダンスは流れず、オールロック設定の通知音「ピーピー」が流れます。
- 遠隔オールロックの許可番号に設定した電話機から、本FOMA端末に電話をかけても次の場合は着信回数にカウントされません。
  - ■ 留守番電話サービス、転送でんわサービスを[開始]に設定中で呼出時間を[0秒]に設定している場合
  - ■ キャッチホンを開始中にキャッチホンとして着信した場合
  - ■ 許可番号が2つ以上登録してあり、着信回数がカウントされているときに、別の許可番号から着信があった場合

 ＊メニューを切り替えるときは [基本メニューへ] または [詳細メニューへ] を押します。(☞P.35)

お知らせ

- 次の操作を行うと、着信回数はリセットされます。
  - ■ 電源を切った場合　■ カウントされている許可番号からの着信に応答した場合
  - ■ 伝言メモ、イヤホンマイクなどで自動着信した場合
- 遠隔オールロックを［ON］に設定している場合、許可番号に設定した電話帳を編集したり、1件削除または選択削除することはできません。

セルフモード　◉ 5 8

発信や着信ができないようにする

お買い上げ時 OFF

音声電話やテレビ電話の発着信、iモードメールやSMSの送受信、メッセージR／Fの受信、iモードなど、通信が必要なすべての機能を使えないように設定できます。

- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていないことを通知するガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス（☞P.428）、転送でんわサービス（☞P.433）をご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスをご利用になれます。
- セルフモードは電源を切っても解除されません。
- セルフモード中でも、110番、119番、118番へはダイヤルできます。発信後にセルフモードの設定は解除されます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［通話・通信機能設定］→［セルフモード］の順に選んで、セルフモードの1［ON］／2［OFF］を選ぶ。

設定する	1［ON］→［はい］→◉
解除する	2［OFF］

- セルフモードを設定すると、ディスプレイ上部の［アンテナ］が消え［self］が表示されます。

お知らせ

- iモード待機中（[iモード]点滅）は、セルフモードを設定できません。

セルフモード中は

- セルフモード設定前に送受信したiモードメールやSMS、メッセージR／Fを読んだり、新規作成や編集して保存することはできますが、送信はできません。
- 送信されてきたiモードメールやメッセージR／FはiモードセンターでSMSはSMSセンターで、お預かりします。受信する場合は、セルフモードを解除してからiモード問い合わせを行ってください。

PIMロック　◉ 6 6

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

お買い上げ時 OFF

個人情報を他の人が見たり、無断で書き換えられたりするのを防ぐため、メール、電話帳などへのアクセスを制限します。

- ロックできる項目
  電話帳、スケジュール、メール、iモード、音声電話伝言メモ・テレビ電話伝言メモ・音声メモ、マルチメディア、マネーカルク、テキストメモ、ToDoリスト
- 項目ごとにロックを設定できます。
- マルチメディアをロックするとカメラ機能もロックされます。

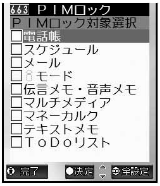
1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［セキュリティ］→［ロック設定］の順に選んで、端末暗証番号（4〜8桁の数字）を入力して◉を押す。

- 入力した端末暗証番号は、［*］で表示されます。
- ロック設定画面が表示されます。

あんしん設定

次ページへ続く

2 [3] ［PIMロック］を押す。



3 ロックまたは解除する項目を選んで◉→[i]［完了］を押す。

- ☑はロック、□は解除の状態です。
- ◉を押すと、ロックと解除を交互に切り替えることができます。
- PIMロックが設定され、ディスプレイ上部に［PIM］が表示されます。
- チェックボックスにチェックが１つも入っていない場合、[m]→［全設定］を押すとすべての項目をロックできます。また、チェックが１つでも入っている場合は、[m]→［全解除］を押すとすべての項目を解除できます。
- 各機能のメニューからセキュリティ設定を設定してもチェックボックスに反映されます。

お知らせ

- PIMとは「個人情報管理プログラム」を意味します。
- PIMロックは電源を切っても解除されません。
- 電話帳登録外着信拒否を設定しているときは、電話帳をPIMロックできません。
- 電話帳のPIMロックを設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴、メール送受信履歴は削除されます。設定後に発信したリダイヤルと設定後の着信履歴からの発信は行うことができます。また、電話帳に登録されていても名前や画像は表示されません。設定後のリダイヤルと着信履歴は、PIMロックを解除しても保持されます。
- 電話帳のPIMロックを設定すると、次の機能も禁止されます。
  - ■ ツータッチダイヤル
  - ■ 指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ設定、指定メール着信ランプ設定
  - ■ ｉモードメールやSMS送信時の電話帳を利用した宛先入力
  - ■ 電話帳指定着信許可・拒否の［OFF］以外の設定
  - ■ アラーム、スケジュール、ToDoリストの電話帳を利用した連絡先設定
  - ■ スケジュールの連絡先別表示
  - ■ 電話帳登録外着信拒否
- メールの PIM ロックを設定すると、設定前のメール送受信履歴は削除されます。設定後のメール送受信履歴は、PIMロックを解除しても保持されます。
- スケジュールのPIMロック中、スケジュールアラームは鳴りません。また、ToDoリストのPIMロック中、ToDoアラームは鳴りません。（通常のアラームは鳴ります。）
- メールのPIMロック中、ｉモードメール／SMS／メッセージR／Fの自動受信はできますが、画面に表示されません。PIMロック解除後に、ｉモードメール／SMSやメッセージR／Fのアイコンが表示されます。
- テレビ電話時に代替画像を送信する場合は、マルチメディアがPIMロック中でも、設定したテレビ電話代替画像（☞P.93）を送信できます。
- PIMロック中の機能を利用しようとすると、端末暗証番号入力画面が表示されます。正しい端末暗証番号を入力すると、PIMロックは一時解除され、機能操作を終了すると再びロックされます。miniSDメモリーカードのPIMデータ（電話帳、テキストメモ、スケジュール、ToDoリスト、ブックマーク、メール、メロディ、マイピクチャ、ｉモーション、ブックリーダー）は各機能の［miniSDデータ参照］から参照できます。
- マルチメディアのPIMロックを設定すると、電話帳の指定着信音や指定メール着信音は鳴らず、音選択で設定している着信音が鳴ります。また、ピクチャーコール設定した画像や、10001バイト以上の画像が添付されているメールの画像は表示されません。カメラを起動することもできなくなります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは[i]［[i]基本メニューへ］または［[i]詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

ダイヤル発信制限

ダイヤルボタンでの発信を禁止する

お買い上げ時
OFF

電話帳（miniSDメモリーカード内の電話帳を除く）、リダイヤル、光るワンタッチキー以外で電話をかけられないように制限します。

- ダイヤル発信制限を設定中に、ダイヤルボタンを使って電話をかけようとすると、エラー音「ピッピッピッ」が鳴って［ダイヤル発信制限設定中です］と表示され、待受画面に戻ります。（ボタン確認音を［サイレント］に設定している場合、エラー音は鳴りません。）
- ダイヤル発信制限を設定していても、110番、119番、118番へはダイヤルできます。
- ダイヤル発信制限を設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴、メール送受信履歴が削除されます。ただし、設定後に発信するとリダイヤルに新たに記憶され、リダイヤルで電話をかけることができます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［セキュリティ］→［ロック設定］の順に選んで、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。

- 入力した端末暗証番号は、［＊］で表示されます。
- ロック設定画面が表示されます。

2 2［ダイヤル発信制限］を選んで、1［ON］／2［OFF］を選ぶ。

設定する	1［ON］
解除する	2［OFF］

- ダイヤル発信制限を設定すると、ディスプレイ上部に［ ］が表示されます。

お知らせ

- ダイヤル発信制限を設定すると、次の機能も禁止されます。
  - 直接アドレス入力によるSMSおよびｉモードメールの送信（電話帳からのアドレス入力の場合は可能）
  - 電話帳の登録／修正／削除
  - アラームからの発信（電話帳に登録されている場合は可能）
  - プレフィックス設定（国際電話設定）
  - 電話帳データの本体⇔FOMAカード間データ転送（もしくは、コピー）
  - Phone To（AV Phone To）機能
  - Mail To機能
  - バーコードリーダー、文字読み取りでの発信
  - 電話帳データの本体⇔miniSD間データ転送
  - ワンタッチキーへの電話番号入力・メールアドレス入力／削除
- ダイヤル発信制限後、ドコモのネットワークサービスのリダイヤルは行えません。
- ダイヤル発信制限は電源を切っても解除されません。

サイドボタン操作無効

サイドボタンの誤動作を防止する

FOMA端末を閉じているときに、音量ボタン（サイドボタン）を操作できないようにして、誤作動を防ぎます。

1 待受画面で◉を１秒以上押す。

- サイドボタン操作無効が設定されます。（［ ］表示）
- 電源を切ると、ボタン操作無効は解除されます。
- 解除するときは、もう一度◉を１秒以上押します。

お知らせ

- 電源を切ると、サイドボタン操作無効は解除されます。
- サイドボタン操作無効を設定中に電話がかかってくると、一時的に解除され、通話を終了すると再び設定されます。

発着信履歴表示 ◈6 4

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する

お買い上げ時
ON（表示する）

着信履歴とリダイヤルを表示しないように設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［セキュリティ］→［発着信履歴表示］の順に選んで、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押す。

- 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。
- 発着信履歴表示画面が表示されます。

2 発着信履歴表示の1［ON］／2［OFF］を選ぶ。

着信履歴を表示する	1［着信履歴表示］→1［ON］
着信履歴を表示しない	1［着信履歴表示］→2［OFF］
リダイヤルを表示する	2［リダイヤル表示］→1［ON］
リダイヤルを表示しない	2［リダイヤル表示］→2［OFF］

お知らせ

- 発着信履歴表示設定は電源を切っても解除されません。
- 着信履歴表示を［OFF］に設定しているときは、伝言メモ（☞P.80）を再生できません。
- 発着信履歴表示を［OFF］に設定している間も着信履歴、リダイヤルは記録されます。［ON］に設定したときに、［OFF］に設定していた間の履歴も確認できます。

◈6 5

メール履歴の表示を設定する<メール履歴表示>

お買い上げ時
ON（表示する）

メールのメール送受信履歴（☞P.289）を表示しないように設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［セキュリティ］→［メール履歴表示］の順に選んで、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押す。

- 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。
- メール履歴表示画面が表示されます。

2 メール履歴表示の1［ON］／2［OFF］を選ぶ。

メール送信履歴を表示する	1［メール送信履歴表示］→1［ON］
メール送信履歴を表示しない	1［メール送信履歴表示］→2［OFF］
メール受信履歴を表示する	2［メール受信履歴表示］→1［ON］
メール受信履歴を表示しない	2［メール受信履歴表示］→2［OFF］

お知らせ

- メール履歴表示を［OFF］に設定している間も、メール送受信履歴は記録されます。［ON］に設定したときに、［OFF］に設定していた間の履歴も確認できます。
- メール履歴表示の設定は電源を切っても解除されません。

＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

シークレット登録されている情報を表示する

お買い上げ時
OFF（解除）

シークレットモードを設定すると、電話帳、スケジュール、ToDoリストを表示したときに、通常のデータとシークレットデータとして登録したデータの両方が表示されます。

- シークレットモードを解除すると、通常の電話帳、スケジュール、ToDoリストだけが表示されます。
- 待受中に省電力モードによってディスプレイの表示がOFFになったりスクリーンセーバーになったとき、または待受中にFOMA端末を閉じたとき、自動的にシークレットモードが解除されるように設定できます。
- 電源を切ると、シークレットモードは解除されます。
- シークレットデータの登録方法については、電話帳はP.121、スケジュールはP.399、ToDoリストはP.391を参照してください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings 設定（設定）→［セキュリティ］→［シークレットモード］の順に選んで、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。

- 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。
- シークレットモード設定画面が表示されます。

2 シークレットモードの1［**ON**］／2［**OFF**］を選ぶ。

設定する	自動解除しない	1［ON］→1［自動解除しない］
	自動解除する	1［ON］→2［自動解除する］→◉［確認］
解除する		2［OFF］

- シークレットモードに設定すると、ディスプレイ上部に［SECRET］が表示されます。

電話帳指定着信許可

指定した電話番号からの電話だけを受ける

指定した相手からの電話だけをつながるようにできます。それ以外の電話番号からの電話（相手が電話番号を通知してこない場合も含む）はつながらなくなります。
電話帳指定着信許可を設定するには、登録されている電話帳から着信許可するすべての相手先電話番号をリストに登録し、そのあとで一括して設定します。

- 電話帳指定着信許可に設定している相手が発信者番号を通知してこなかった場合、電話はつながりませんので、番号通知お願いサービス（☞P.436）も併せて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信拒否、電話帳登録外着信拒否、非通知設定着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否を設定しているときは、電話帳指定着信許可は設定できません。
- 着信許可以外の相手へは、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに［着信あり］と表示され、着信履歴に名前または電話番号が記憶されます。
- 電話帳のPIMロック中は電話帳指定着信許可の設定は無効となるため、許可していない相手からの電話もつながります。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
- FOMAカード電話帳の電話番号は設定できません。FOMA端末（本体）電話帳に登録された電話番号のみ設定できます。
- 電話帳指定着信許可に設定されていない電話番号からも遠隔オールロックの操作ができます。設定した着信回数に達して遠隔オールロックが設定されると、通知音「ピーピー」が操作をした電話機に流れます。（操作をした電話機に通話料がかかります。）

着信を許可する電話番号を登録する

電話帳指定着信許可の相手先電話番号は、最大20件まで登録できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → [Settings 設定]（設定）→［セキュリティ］→［着信拒否／許可設定］の順に選んで、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。



着信拒否／許可設定画面

- 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。

2 1［電話帳指定着信許可］を選ぶ。

- 電話帳指定着信許可画面が表示されます。
- ［電話帳指定拒否を解除してください］と表示されたときは、電話帳指定着信拒否が設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.171）
- ［着信拒否設定を解除してください］と表示されたときは、電話帳登録外着信拒否、非通知設定着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否のいずれかの着信拒否が設定されています。解除してからやり直してください。

3 3［リスト登録］を選ぶ。

- すでに他の方を登録しているときは、名前が表示されます。
- ［PIMロック中です］と表示されたときは、電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.163）

4 リストの番号を選んで◉→名前を選んで◉を押す。



登録リスト画面

- 電話帳指定着信許可の相手先電話番号として、電話帳の電話番号と名前が登録されます。（☞P.114）
- 続けて、他の相手先電話番号を登録するときは、操作４をくり返します。
- 電話帳指定着信許可を利用するには、このあと、電話帳指定着信許可を設定します。

お知らせ

- 電話帳指定着信許可のリストに登録した電話帳を修正・削除すると、登録した内容も修正・削除されます。ただし、電話帳指定着信許可に設定している場合は、電話帳を修正・削除（グループ内全件削除・全件削除は可能）できません。

関連操作

電話帳から登録する＜着信許可リスト登録＞

待受画面で📖▶名前▶📖▶0［着信許可リスト登録］▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉▶リスト番号▶◉

関連操作

リストの電話番号を削除する<削除>

登録リスト画面で名前▶◉▶2［削除］▶［はい］▶◉

● 電話帳指定着信許可を設定したあと、リスト登録した電話帳をすべて削除すると設定は解除されます。

リストの電話番号を変更する<変更>

登録リスト画面で名前▶◉▶1［変更］▶名前▶◉

◉63

指定した番号からの着信を許可する

お買い上げ時
OFF

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［セキュリティ］→［着信拒否／許可設定］の順に選んで、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押す。

● 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。

● 着信拒否／許可設定画面が表示されます。

2 1［電話帳指定着信許可］を選んで、1［ON］／2［OFF］を選ぶ。

設定する	1［ON］ ● リスト登録をしていないときはリスト登録画面が表示されます。リスト登録が終わると電話帳指定着信許可が設定されます。
解除する	2［OFF］

● ［PIMロック中です］と表示されたときは、電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.163）

電話帳指定着信拒否

指定した電話番号からの電話を受けない

指定した相手からの電話をつながらないようにできます。それ以外の電話番号からの電話（相手が電話番号を通知してこない場合も含む）はつながります。

電話帳指定着信拒否を設定するには、登録されている電話帳から着信拒否するすべての相手先電話番号をリストに登録し、そのあとで一括して設定します。

● 電話帳指定着信拒否に設定している相手が発信者番号を通知してこなかった場合、電話はつながります。番号通知お願いサービス（☞P.436）や、非通知理由別着信拒否も併せて設定することをおすすめします。
● 電話帳指定着信許可を設定しているとき、電話帳指定着信拒否は設定できません。
● 拒否した相手へは、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに［着信あり］と表示され、着信履歴に名前が記憶されます。
● 電話帳のPIMロック中は電話帳指定着信拒否の設定は無効となるため、拒否している相手からの電話もつながります。
● SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
● FOMAカード電話帳の電話番号は設定できません。FOMA端末（本体）電話帳に登録された電話番号のみを設定できます。
● 電話帳指定着信拒否に登録した電話番号からも遠隔オールロックの操作ができます。設定した着信回数に達して遠隔オールロックが設定されると、通知音「ピーピー」が操作をした電話機に流れます。（操作をした電話機に通話料がかかります。）

着信を拒否する電話番号を登録する

電話帳指定着信拒否の相手先電話番号は、最大20件まで登録できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → Settings（設定）→［セキュリティ］→［着信拒否／許可設定］の順に選んで、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。

- 入力した端末暗証番号は、［＊］で表示されます。
- 着信拒否／許可設定画面が表示されます。

2 2［電話帳指定着信拒否］を選ぶ。

- 電話帳指定着信拒否画面が表示されます。
- ［電話帳指定許可を解除してください］と表示されたときは、電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.169）

3 3［リスト登録］を選ぶ。

- すでに他の方を登録しているときは、名前が表示されます。
- ［PIMロック中です］と表示されたときは、電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.163）

4 リストの番号を選んで◉→名前を選んで◉を押す。



登録リスト画面

- 電話帳指定着信拒否の相手先電話番号として、電話帳の電話番号と名前が登録されます。（☞P.114）
- 続けて、他の相手先電話番号を登録するときは、操作４をくり返します。
- 電話帳指定着信拒否を利用するには、このあと、電話帳指定着信拒否を設定します。

お知らせ

- 電話帳指定着信拒否のリストに登録した電話帳を修正・削除すると、登録した内容も修正・削除されます。ただし、電話帳指定着信拒否に設定している場合は、電話帳を修正・削除（グループ内全件削除・全件削除は可能）できません。

関連操作

電話帳から登録する<着信拒否リスト登録>

待受画面で📖▶名前▶📖▶✉［着信拒否リスト登録］▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉▶リスト番号▶◉

リストの電話番号を削除する<削除>

登録リスト画面で名前▶◉▶2［削除］▶［はい］▶◉

- 電話帳指定着信拒否を設定したあと、リスト登録した電話帳をすべて削除すると設定は解除されます。

リストの電話番号を変更する<変更>

登録リスト画面で名前▶◉▶1［変更］▶名前▶◉

 ＊メニューを切り替えるときは㊂［㊂基本メニューへ］または［㊂詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

指定した番号からの着信を拒否する

◉6 3　お買い上げ時 OFF

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［セキュリティ］→［着信拒否／許可設定］の順に選んで、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押す。

- 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。
- 着信拒否／許可設定画面が表示されます。

2 2［電話帳指定着信拒否］を選んで、1［ON］／2［OFF］を選ぶ。

設定する	1［ON］ ● リスト登録をしていないときはリスト登録画面が表示されます。リスト登録が終わると電話帳指定着信拒否が設定されます。
解除する	2［OFF］

- ［PIMロック中です］と表示されたときは、電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.163）

非通知理由別着信拒否　◉6 3

発信者番号のわからない電話を受けない

お買い上げ時 すべて許可

発信者番号が通知されない着信があった場合、電話番号が通知されない理由（非通知理由）が通知されます。非通知理由によって、電話を受けないように設定できます。

- 着信拒否として指定した非通知理由に該当する相手から電話がかかってきた場合、電話はつながらなくなります。それ以外の非通知理由の場合はつながります。着信拒否の相手へは、話中音が流れます。このとき、［着信あり］と表示され、着信履歴に非通知理由が記憶されます。
- 番号通知お願いサービス（☞P.436）も併せて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信許可を設定しているときは、非通知理由別着信拒否は設定できません。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
- 電話帳登録外着信を拒否に設定している場合は、この機能に関係なく発信者番号のわからない電話は拒否されます。

非通知理由別の種類

非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合。
公衆電話	公衆電話などから発信した場合。
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合。（ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［セキュリティ］→［着信拒否／許可設定］の順に選んで、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押す。

- 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。
- 着信拒否／許可設定画面が表示されます。

次ページへ続く ▶▶

2 非通知理由の種類を選んで、1［許可］／2［拒否］を選ぶ。

非通知設定を設定する	4［非通知設定］→1［許可］／2［拒否］
公衆電話を設定する	5［公衆電話］→1［許可］／2［拒否］
通知不可能を設定する	6［通知不可能］→1［許可］／2［拒否］

- 非通知理由別着信拒否が設定されます。
- ［電話帳指定許可を解除してください］と表示されたときは、電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.169）

お知らせ

- 非通知理由別着信拒否とドライブモードを同時に設定した場合、非通知理由別着信拒否が優先されます。

呼出動作開始時間設定 ◉17

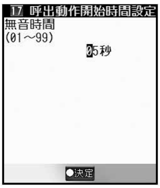
電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

お買い上げ時
OFF

電話帳に登録されていない相手（相手が電話番号を通知してこない場合も含む）から電話がかかってきたとき、設定した秒数後に着信音が鳴るように設定できます。

- 迷惑電話を防ぐ対策の１つです。
- 呼出動作開始時間を設定した場合、呼出開始前に切れた電話を着信履歴に表示するかどうかも設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［音］→［呼出動作開始時間設定］の順に選び、1［**ON**］を選ぶ。



2 呼出動作開始時間（２桁：**01～99**秒）を入力して◉を押す。

- 不在着信履歴表示画面が表示されます。

3 不在着信履歴表示を設定する。

着信履歴に表示する	1［ON］
着信履歴に表示しない	2［OFF］ ● 着信履歴で◎→#［全表示］を押すとすべての履歴を確認できます。もう一度着信履歴で◎→#［限定表示］を押すと元の表示に戻ります。

- 呼出動作開始時間が設定されます。

お知らせ

- 伝言メモや留守番電話サービスを設定しているとき、呼出動作開始時間設定を優先させるためには、伝言メモや留守番電話サービスの呼出時間より短く設定してください。
- 電話帳のPIMロック中は、電話帳登録している相手からの電話でも呼出動作開始時間設定に従って動作します。
- 呼出動作開始時間設定と電話帳登録外着信拒否を同時に設定することはできません。
- 呼出動作開始時間設定とドライブモードを同時に設定した場合は、ドライブモードが優先されます。
- 呼出動作開始時間設定とマナーモードを同時に設定した場合は、設定した時間が経過したあとにマナーモードの設定に従って動作します。
- 光るワンタッチキーに登録されている相手から着信があった場合は、電話帳登録していなくてもワンタッチキーは点滅します。

＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

お買い上げ時
許可

電話帳に登録されていない相手からの電話がつながらないように設定します。

- 相手には、話中音が流れます。このとき、[着信あり] と表示され、着信履歴に記憶されます。
- 番号通知お願いサービス（☞P.436）も併せて設定することをおすすめします。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
- 電話帳登録外着信を拒否に設定している場合は、公衆電話や非通知の相手からの着信はつながらなくなります。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ [設定アイコン]（設定）→［セキュリティ］→［着信拒否／許可設定］の順に選んで、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。

- 入力した端末暗証番号は、[✱] で表示されます。
- 着信拒否／許可設定画面が表示されます。

2 3［電話帳登録外］を選んで、1［許可］／2［拒否］を選ぶ。

許可する	1［許可］
拒否する	2［拒否］

- ［電話帳指定許可を解除してください］と表示されたときは、電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.169）
- ［PIMロック中です］と表示されたときは、電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.163）
- ［呼出動作開始時間設定を解除してください］と表示されたときは、呼出動作開始時間が設定されています。呼出動作開始時間を［OFF］に設定してからやり直してください。（☞P.172）

お知らせ

- 電話帳登録外着信拒否とドライブモードを同時に設定した場合、電話帳登録外着信拒否が優先されます。

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末を安心してお使いいただくため、次の設定や機能を利用することもできます。

目　的	機能／サービス名称	参照先
メールを選んで受信したい。	メール選択受信	『ｉモード操作ガイド』
メールアドレスを変更したい。	メールアドレスの変更	
指定したドメインのメールのみを受信したい。	ドメイン指定受信	
指定したアドレスからのメールを受信したくない。	アドレス指定受信／拒否	
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない。	未承諾広告※メール拒否	
１日に１台のｉモード携帯電話から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否したい。	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否したい。	ｉモードメールのみ受信／拒否	
パソコンからのメールは受信したくない。		
一時的にメール機能を停止したい。	メール機能停止	
すべてのSMS、または発信者番号非通知のSMSを受信したくない。	SMS拒否設定／確認	
災害時にｉモードを利用して安否情報を登録／確認したい。	「ｉモード災害伝言板」サービス	
特定の相手からの電話を着信しないように、電話番号を登録したい。	迷惑電話ストップサービス（ドコモのネットワークサービス）	P.435
FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合はダウンロードしてソフトウェアを更新したい。	ソフトウェア更新	P.543
外部からFOMA端末にデータやプログラムを取り込む際に、問題を引き起こす可能性がないかどうかを調べたい。	スキャン機能	P.549
ユーザ証明書を利用して、SSLに対応したサイトに接続したい。（FirstPass対応のサイトに限ります。）	FirstPass（ドコモの電子認証サービス）	P.246

 ＊メニューを切り替えるときは(i)［(i)基本メニューへ］または［(i)詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

カメラ

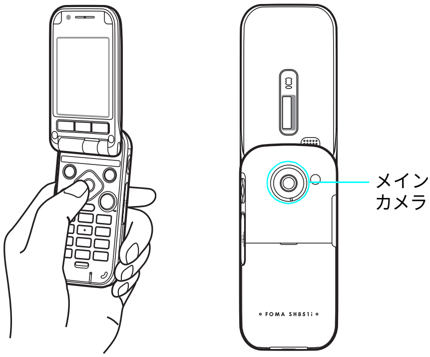
カメラをご利用になる前に

カメラのはたらき

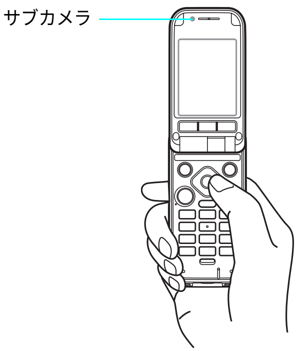
FOMA端末はメインカメラ（外部）とサブカメラ（内部）の２つのカメラを搭載しています。カメラを利用すると、静止画や動画を撮影できます。ご自分側を撮影するときはサブカメラを、他の人や風景を撮影するときはメインカメラを利用すると便利です。また、テレビ電話時に、サブカメラを利用してご自分側の映像を送信したり、メインカメラに切り替えてFOMA端末の外側の状況などを送信できます。miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.349）

- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

他の人や風景を撮影するとき



自分を撮影するとき



多彩な撮影方法について

- 画像の利用方法に応じた、画質・サイズの設定（☞P.191）
- 多彩な連続撮影（☞P.184）
- フレーム付き（☞P.193）や色合いやタッチを変えた撮影（☞P.194）
- 撮影した画像をメールに添付して送信（☞P.200）
- セルフタイマーで撮影（☞P.192）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

カメラのご使用について

- レンズ部に指紋や油脂などが付くとピントが合わなくなります。また、画像がぼやけたり、強い光源からすじを引くことなどがあります。撮影前に、柔らかい布で拭いてください。
- 電池残量が少ないと、画像が暗くなったり、画像が乱れることがあります。
- 充電中でも、電池残量が少ないと画像が暗くなったり、画像が乱れることがあります。充電中は撮影しないでください。
- FOMA端末を閉じるときなど、取り扱い時にはレンズ部に力がかからないように注意してください。故障の原因となります。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影したり、保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラのレンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源をじかに撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CCD（撮影素子）の性能を損なう場合がありますので、ご注意ください。
- 画質を最優先して撮影したいときには、［SUPER FINE］に設定して撮影してください。データ量は多くなりますが画質がよくなります。
  画質を優先すると保存枚数は減り、ｉモードメールに添付して送信する場合の送信時間が長くなったり、送信時に縮小されることがあります。用途に合わせて設定してください。（☞P.191）
- 連続カメラ撮影によりFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- メインカメラを使用中に、メインカメラの周辺の温度が高くなると［ただいまカメラを使用できません］と表示され、カメラが終了します。

撮影時の留意事項

- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消耗が早いため、撮影が終わったら 📴 を押してカメラモードを終了させることをおすすめします。
- 静止画撮影のプレビュー画面や動画の撮影中画面で、音声電話着信・テレビ電話着信・アラーム通知があった場合は、撮影が中止されてそれらの画面に切り替わります。そのあと、切り替わった画面を終了させるとカメラの画面に戻り、着信前に撮影したデータを保存できます。
- シャッター音の音量は変更できません。また、マナーモードやドライブモード設定中や平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中でも鳴ります。
- 撮影時は、ピクチャーライトを点灯させて撮影できます。
- 撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく動かないようにしっかりと固定して撮影してください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、FOMA端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生する場合があります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさ切替で調整することにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できる場合があります。
- メインカメラからサブカメラに切り替えた直後は、明るさや色あいなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。
- セルフタイマー動作中に、音声電話着信・テレビ電話着信・アラーム通知があると、セルフタイマーは中止されます。

著作権・肖像権について

- お客様がFOMA端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。
  なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。
- 著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影サイズについて

FOMA端末で撮影（保存）できる静止画と動画の撮影サイズ（画像サイズ）は次のとおりです。
※ 本書でのサイズ名：サイズ表記はすべて横×縦です。

サイズ	静止画	動　画	説　明
アイコン：76×76	○	−	FOMA端末のアイコンと同じサイズです。メニューアイコンに設定する静止画を撮影するときなどに便利です。
sQCIF：128×96	○	○	QCIFよりひと回り小さいサイズで、メール添付などに適したサイズです。
QCIF：176×144	○	○	テレビ電話の親画面のサイズです。代替画像用の静止画を撮影するときなどに便利です。お買い上げ時、動画撮影サイズは「QCIF：176×144」に設定されています。
hQVGA ：240×176	−	○	パソコンでの再生に適したサイズです。
待受：240×320	○	−	FOMA端末のディスプレイと同じサイズです。待受画面に設定する静止画を撮影するときなどに便利です。ｉモード端末に送信するのに適したサイズです。お買い上げ時、静止画撮影サイズは「待受：240×320」に設定されています。
QVGA ：320×240※1	−	○	FOMA端末で動画撮影できる最も大きなサイズです。パソコンでの再生に適したサイズです。
CIF：352×288	○	−	パソコンでの表示に適したサイズです。
VGA：480×640※1	○	−	パソコンでの表示に適したサイズです。
最大：960×1280※1	○	−	FOMA端末で静止画撮影できる最も大きなサイズです。パソコンでの表示やプリントに適したサイズです。

※1 サブカメラ撮影時は、設定できません。

撮影／保存できる目安

静止画モード

● 撮影枚数は、同じ画像サイズ、画質で撮影して、FOMA端末（本体）に保存したときの目安です。FOMA端末（本体）に他の画像などが保存されている場合、撮影できる静止画枚数は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる静止画枚数が少なくなることがあります。
FOMA端末（本体）への各画質別の撮影枚数の目安は、次のとおりです。16Mバイト／32MバイトのminiSDメモリーカードへの各画質別の撮影枚数の目安については、P.552を参照してください。

	ECONOMY	NORMAL	SUPER FINE
アイコン：76×76	−	約225枚	−
sQCIF：128×96	約270枚	約190枚	約140枚
QCIF：176×144	約240枚	約140枚	約90枚
待受：240×320	約170枚	約100枚	約35枚
CIF：352×288	約140枚	約80枚	約35枚
VGA：480×640	約80枚	約45枚	約35枚
最大：960×1280	約20枚	約10枚	約7枚

お知らせ

● パソコンをお持ちの場合、FOMA端末（本体）に保存した静止画はminiSDメモリーカード（☞P.349）を利用してパソコンに転送し、保存できます。

タイトルについて

● 撮影（保存）した静止画には、自動的に保存日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
例：2005年９月16日午後１時５分７秒に保存した場合→［050916_130507］
● 連続撮影を行った場合、末尾に連番（［_01］、［_02］…）が付きます。データBOXに保存されると、画像一覧画面でのタイトル表示で、半角14文字以上の末尾の連番は表示されません。タイトルは、［情報表示］のファイル名で確認することができます。（☞P.365）
● タイトルの編集については、P.364を参照してください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは Ⓘ［Ⓘ基本メニューへ］または［Ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

動画モード

- 撮影時間は、ファイルサイズ制限を［メール用（短）］［メール用（長）］に設定した場合の1回に撮影できる目安です。FOMA端末（本体）に他の画像などが保存されている場合、撮影できる時間や件数は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる時間が少なくなることがあります。
  FOMA端末（本体）への各画質別の撮影時間の目安は、次のとおりです。16Mバイト／32MバイトのminiSDメモリーカードへの各画質別の撮影時間の目安については、P.552を参照してください。

		ECONOMY	NORMAL	FINE	SUPER FINE
sQCIF：128×96	メール用（短）	約90秒	約61秒	約30秒	―
	メール用（長）	約152秒	約103秒	約51秒	―
QCIF：176×144	メール用（短）	約77秒	約45秒	約16秒	約11秒
	メール用（長）	約131秒	約77秒	約28秒	約19秒

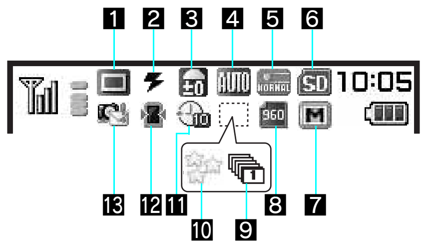
お知らせ

- 動画の画像サイズの設定方法については、P.191を参照してください。
- パソコンをお持ちの場合、保存した動画はminiSDメモリーカード（☞P.349）を利用してパソコンに転送し、保存できます。
- hQVGA、QVGAサイズの動画はminiSDメモリーカードにのみ保存できます。

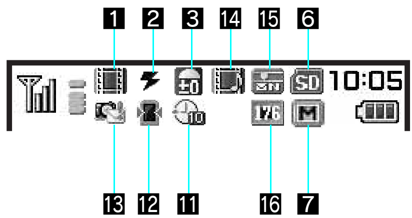
撮影画面の見かた

カメラモードでは、ディスプレイに次のマークが表示されます。

静止画モード



動画モード



1 モード表示（☞P.188）
カメラモードを表示します。
：静止画モード
：動画モード

2 ピクチャーライト表示（☞P.190）
ピクチャーライトの状態を表示します。
：ピクチャーライト［ON］
：ピクチャーライト［AUTO］（静止画モードのみ）
：ピクチャーライト［接写］（静止画モードのみ）

3 画像の明るさ表示（☞P.188）
画像の明るさを表示します。
暗い←標準→明るい

4 シーン別撮影表示（☞P.194）
シーン別撮影の設定状態を表示します。
：オート　：スポーツ
：夜景　：文字

5 画質表示（☞P.191）
画質の設定状態を表示します。
（赤色）：ECONOMY
（赤色）：NORMAL
（赤色）：SUPER FINE

6 miniSDメモリーカード表示
miniSDメモリーカードが挿入されているときに表示されます。
（グレー）：本体へ保存
（ピンク）：miniSDメモリーカードへ保存

7 メモリ警告表示
メモリの空きがないときに表示します。
表示は目安です。マークが表示されていても保存できることがあります。
（黄色）：メモリの空き容量が800Kバイト未満になったときに表示
（赤色）：メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示

8 静止画画像サイズ表示（☞P.191）
画像サイズの設定状態を表示します。
：アイコン：76×76
：sQCIF：128×96
：QCIF：176×144
：待受：240×320
：CIF：352×288
：VGA：480×640
：最大：960×1280

次ページへ続く

9 連続撮影表示（☞P.184）

連続撮影の設定状態を表示します。

- ：オート、マニュアル（25枚用）
- ：オート、マニュアル（9枚用）
- ：ブラケット（9枚）
- ：オートオーバーラップ、マニュアルオーバーラップ（5枚）
- ：連写枚数共通（1～25枚）～

10 エフェクト撮影表示（☞P.194）

エフェクトの設定状態を表示します。

- ：モノクロ
- ：セピア
- ：きらきら
- ：色鉛筆
- ：円ソフトフレーム
- ：波紋
- ：万華鏡（大）
- ：万華鏡（小）
- ：魚眼

11 セルフタイマー表示（☞P.192）

セルフタイマーの設定状態を表示します。

- ：2秒
- ：5秒
- ：10秒

12 視野切替表示（☞P.150）

視野切替の状態を表示します。

- ：視野切替［ON］

13 撮影中着信表示

撮影中のメール着信を表示します。

- ：撮影中にｉモードメールが着信
- ：撮影中にSMSが着信
- （緑色）：メール選択受信設定［ON］で撮影中に、ｉモードメールをセンターで着信

14 映像・音声切替表示（☞P.193）

動画の種類別を表示します。

- ：映像のみ
- ：音声のみ
- ：映像＋音声

15 画質表示／ファイルサイズ制限表示（☞P.191）

画質の設定状態を表示します。

- （黄色）：ECONOMY［メール用（短）］
- （黄色）：NORMAL［メール用（短）］
- （黄色）：FINE［メール用（短）］
- （黄色）：SUPER FINE［メール用（短）］
- （緑色）：ECONOMY［メール用（長）］
- （緑色）：NORMAL［メール用（長）］
- （緑色）：FINE［メール用（長）］
- （緑色）：SUPER FINE［メール用（長）］
- （赤色）：ECONOMY［制限なし］
- （赤色）：NORMAL［制限なし］
- （赤色）：FINE［制限なし］
- （赤色）：SUPER FINE［制限なし］

16 動画画像サイズ表示（☞P.191）

画像サイズの設定状態を表示します。

- 128：sQCIF：128×96
- 176：QCIF：176×144
- 240：hQVGA：240×176
- 320：QVGA：320×240

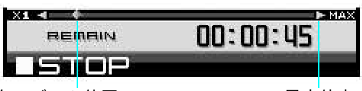
ズーム利用時

静止画モードで◇を押すと右の画面が表示され、ズームを調整できます。動画モードの場合はすでに表示されています。（☞P.189）

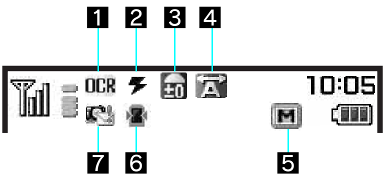
● 静止画モード



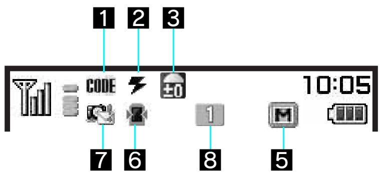
● 動画モード



文字読み取りモード



バーコードリーダー



1 モード表示（☞P.188）

カメラモードを表示します。

- OCR：文字読み取りモード
- CODE：バーコードリーダーモード

2 ピクチャーライト表示（☞P.190）

ピクチャーライトの状態を表示します。

- ：ピクチャーライト［ON］

＊メニューを切り替えるときは󠄀［基本メニューへ］または［詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

3 画像の明るさ表示（☞P.188）
画像の明るさを表示します。
暗い←標準→明るい

4 反転モード表示（☞P.204）
反転モードの状態を表示します。
：［自動］のときに表示
：［通常文字］のときに表示
：［反転文字］のときに表示

5 メモリ警告表示
メモリの空きがないときに表示します。
表示は目安です。マークが表示されていても保存できることがあります。
（黄色）：メモリの空き容量が800Kバイト未満になったときに表示
（赤色）：メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示

6 視野切替表示（☞P.150）
視野切替の状態を表示します。
：視野切替［ON］

7 撮影中着信表示
撮影中のメール着信を表示します。
：撮影中にｉモードメールが着信
：撮影中にSMSが着信
（緑色）：メール選択受信設定［ON］で撮影中に、ｉモードメールをセンターで着信

8 QRコード連結番号表示（☞P.202）
1：分割されたデータを読み取るときに、何枚目
~**16** を読み取っているかを表示

カメラを起動する／終了する

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［カメラ機能］→［写真を撮る］の順に選ぶ。
- 待受画面で◇（📷）を押しても同じ操作が行えます。

＊あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（カメラ）→［静止画撮影］の順に選ぶ。
- 待受画面で◇（📷）を押しても同じ操作が行えます。
- ピクチャーライトが１回点滅して、静止画撮影画面が表示されます。
- 終了するときは⊜または（クリア）を押します。

動画モードを起動するとき

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［カメラ機能］→［映像を撮る］の順に選ぶ。

＊あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（カメラ）→［動画撮影］の順に選ぶ。
- ピクチャーライトが１回点滅して、動画撮影画面が表示されます。
- 終了するときは⊜または（クリア）を押します。

次ページへ続く

お知らせ

お好みの撮影モードで起動するには

- 詳細メニューから📷（カメラ）→撮影モードを選択します。



静止画撮影



動画撮影



文字読み取り



バーコードリーダー

- カメラを起動した後、撮影モードを切り替えるとき：☞P.188

ボタン操作を確認する＜ボタン操作一覧＞

静止画や動画の撮影、文字読み取り、バーコードリーダーは、カメラモードを切り替えて操作します。
各モードでよく使う操作は以下のボタンに割り当てられ、ワンタッチで操作可能です。

ボタン	静止画モード	動画モード	文字読み取りモード	バーコードリーダーモード
方向キー右	ズームアップ	ズームアップ	−	−
方向キー左	ズームダウン	ズームダウン	−	−
方向キー上	明るさアップ	明るさアップ	明るさアップ	明るさアップ
方向キー下	明るさダウン	明るさダウン	明るさダウン	明るさダウン
#	カメラ切替	カメラ切替	−	−
1	カメラモード切替	カメラモード切替	カメラモード切替	カメラモード切替
2	データBOX表示	データBOX表示	読み取り対象選択	保存データ
3	セルフタイマー	セルフタイマー	反転モード切替	−
4	サイズ選択	サイズ選択	−	−
5	画質選択	画質選択	−	−
6	撮影モード切替	ファイルサイズ制限	−	−
7	オリジナルモード	映像・音声切替	−	−
8	カメラ設定	レコーダー設定	−	−
9	本体⇔miniSD切替	本体⇔miniSD切替	−	−

1 カメラ起動中に(メニュー)→［ボタン操作一覧］を選ぶ。

関連操作

ボタン操作一覧の割り当てを変更する＜カスタム＞

1 静止画撮影画面、動画撮影画面で(メニュー)▶［ボタン操作一覧］▶(決定)

2 割り当てるボタン▶(i)［カスタム］▶割り当てる機能▶(i)［登録］または(決定)［登録］

ボタン操作一覧の割り当てを初期化する＜ボタン操作初期化＞

静止画撮影画面、動画撮影画面で(メニュー)▶［ボタン操作一覧］▶(決定)▶(メニュー)［リセット］▶［はい］▶(決定)

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは(i)［(i)基本メニューへ］または［(i)詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

静止画を撮影する

FOMA端末を開いて静止画を撮影します。
- 撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャまたはminiSDメモリーカードに保存されます。

1 カメラを起動する。（☞**P.181**）
- ピクチャーライトが1回点滅します。
- カメラが起動し、静止画撮影画面になります。カメラからの画像がディスプレイに表示されます。
- ズームを利用したり、メニュー画面を表示できます。（☞P.189）

2 ◉を押す。
- カメラシャッター音が鳴り、撮影した静止画を確認するためのプレビュー画面が表示されます。
- カメラシャッター音は、マナーモード設定中でも鳴ります。
- カメラシャッター音は、変更できます。（☞P.196）
- 自動保存モードが［ON］に設定されているときは、撮影した静止画が自動的に保存されます。（プレビュー画面は表示されません。）（☞P.199）

3 保存する。

保存する		◉［保存］
サブカメラで撮影したとき	正像（見たとおりの向き）で保存する	◉［保存］ ● ディスプレイには鏡像（左右逆向き）で表示されますが、正像（見たとおりの向き）で保存されます。
	正像を確認してから保存する	ⓜ→2［正像で確認］→◉［保存］
	鏡像（左右逆向き）で保存する	ⓜ→3［鏡像で保存］ ● フレームを設定して撮影した場合は（☞P.193）、鏡像のまま保存することはできません。
撮影した静止画を削除して撮影し直す		クリア
ｉモードメールで送信する（☞P.200）		ⓘ［メール］
保存する前に編集／利用する		ⓜ ● 撮影した静止画を利用して、画像編集、プチエステ、画面設定や全画面表示切替ができます。画像編集についてはP.322～P.333を、プチエステについてはP.332を、画面設定についてはP.321を、全画面表示切替についてはP.196を参照してください。
カメラモードを終了する		電源

- 撮影した静止画がデータBOXのマイピクチャの［カメラ撮影］フォルダか、本体保存先指定（☞P.197）で指定したフォルダ、またはminiSDメモリーカード（☞P.197）に保存されます。（静止画の保存には時間がかかる場合があります。）
- FOMA端末（本体）のメモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます。（☞P.362）
- miniSDメモリーカードのメモリの空き容量がない場合は、保存先をminiSDメモリーカードに設定しても、自動的に保存先がFOMA端末（本体）に切り替わります。

自分を撮影するとき

サブカメラでご自分を撮影することができます。

1 カメラを起動し（☞**P.181**）、#［カメラ切替］を押す。
- サブカメラに切り替わります。

2 カメラを自分に向け、◉を押す。
- 撮影については、「静止画を撮影する」の操作2を参照してください。

次ページへ続く

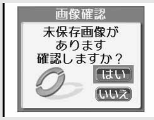
3 ◎［保存］を押す。

● 保存については、P.183「静止画を撮影する」の操作3を参照してください。

お知らせ

静止画保存中に音声電話やテレビ電話がかかってくると

● 着信画面が表示され、電話に出ることができます。通話終了後、画像確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、プレビュー画面に戻ります。［いいえ］を選択すると、静止画は削除され、待受画面に戻ります。



自動終了について

● カメラモードで約2分間何も操作しないと、自動的にカメラモードが終了し、待受画面に戻ります。未保存の静止画がある場合は、保存確認画面が表示されます。

連続撮影する<連続撮影>

複数の静止画を連続して撮影できます。連続撮影の方法は5種類あります。
連続撮影できる撮影サイズは次のとおりです。

	オート、マニュアル連続撮影	ブラケット	オートオーバーラップ、マニュアルオーバーラップ	フレーム撮影との組み合わせ
アイコン：76×76	○	×	×	×
sQCIF：128×96	○	○	○	○
QCIF：176×144	○	○	○	○
待受：240×320	○	○	○	○
CIF：352×288	×	×	×	×
VGA：480×640	×	×	×	×
最大：960×1280	×	×	×	×

● サブカメラでのブラケット・オーバーラップ連続撮影はできません。

オート、マニュアル

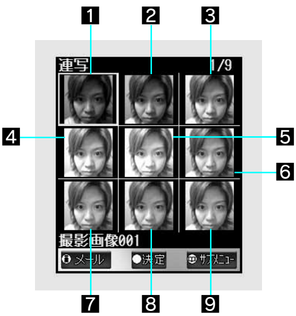
オート連続撮影では約0.1秒間隔で、静止画を連続して自動的に撮影します。マニュアル連続撮影では、ご自分のシャッター操作で静止画を連続して撮影します。

● 最大連続撮影枚数は撮影サイズにより異なります。

	アイコン：76×76	sQCIF：128×96	QCIF：176×144	待受：240×320
最大連続撮影枚数	25枚	25枚	25枚	9枚

ブラケット

ブラケット連続撮影では、9枚の静止画を明るさやピクチャーライトの色を自動的に変えて連続して撮影します。



1 画像の明るさ［−2］
2 画像の明るさ［−1］
3 画像の明るさ［±0］
4 画像の明るさ［+1］
5 画像の明るさ［+2］
6 ピクチャーライトの色［ホワイト］
7 ピクチャーライトの色［イエロー］
8 ピクチャーライトの色［レッド］
9 ピクチャーライトの色［パープル］

＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

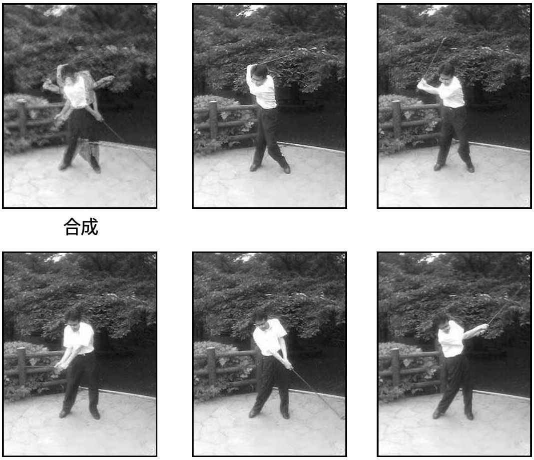
オートオーバーラップ、マニュアルオーバーラップ

- オートオーバーラップ連続撮影では5枚の静止画を約0.1秒間隔で撮影し、5枚を合成した6枚目画像を自動的に作成します。マニュアルオーバーラップ連続撮影では、5枚の静止画をご自分のシャッター操作で撮影し、5枚を合成した6枚目画像を自動的に作成します。
- オーバーラップ連続撮影中にカメラを動かすと正しく撮影できません。両手でFOMA端末をしっかり持って手ぶれがおきないように撮影してください。
- 撮影後は、5枚を重ね合わせた画像が1枚目に、重ねる前の画像が2～6枚目に表示されます。

合成



撮影画像一覧画面



連続撮影をする

- 撮影サイズによっては、[連続撮影] がグレー表示になり撮影できなかったり、連続撮影最大枚数が限られるものもあります。

1 静止画撮影画面（☞P.182）でⓜ→6［撮影モード切替］→1［連続撮影］の順に選び、連続撮影の種類を選ぶ。

オート	1［オート］	オートオーバーラップ	4［オートオーバーラップ］
マニュアル	2［マニュアル］	マニュアルオーバーラップ	5［マニュアルオーバーラップ］
ブラケット	3［ブラケット］	連続撮影を解除する	6［OFF］

2 撮影する。

撮影する	● 1枚目が撮影され、以降自動的に撮影されます。
マニュアル撮影に設定しているとき	連続撮影最大枚数まで◉
撮影中に中断する	ⓜ［中止］ ● それまで撮影した画像が表示されます。ⓜ→1［全件保存］またはⓜ→3［1件保存］を選ぶと画像が保存できます。（オートオーバーラップ、マニュアルオーバーラップ撮影時は、中断される前に撮影した画像は保存できません。撮影開始前の状態に戻ります。）
撮影中に撮影をやり直す	FOMA端末をゆっくり開閉 ● 撮影開始前の状態に戻ります。 ● マニュアル連続撮影、マニュアルオーバーラップ連続撮影中にクリアを押すと、最後に撮影した1枚が無効になります。

- 全枚数撮影すると、撮影画像一覧画面が表示されます。

次ページへ続く

3 保存する。

撮影した静止画をすべて保存する	ⓜ→1［全件保存］
撮影した静止画の中から1件選んで保存する	静止画→ⓜ→3［1件保存］ ● 他の静止画を追加保存するときは、静止画を選んで◉を押し、◉［保存］を押します。
連続撮影した画像を連結保存して1枚の画像として保存する	ⓜ→5［画像連結保存］ ● 画像連結保存すると、1枚ずつ保存できません。
撮影した静止画をすべて削除する	ⓜ→2［全件削除］
選択している静止画を一覧から削除する	静止画→ⓜ→4［1件削除］

- 自動保存モード（☞P.199）が［ON］のときは、自動的に一括保存されます。
- 連続撮影した静止画の保存と削除が終わると、静止画撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 連続撮影を設定しているときに、撮影サイズを変更したり、エフェクト撮影を設定したりすると、連続撮影は解除されます。
- カメラ設定保持が［ON］に設定されているときでも、カメラモードを終了すると、連続撮影は解除されます。

連続撮影時のご注意

- オートでの連続撮影中は、◇によるズームの利用や、◇による明るさを調整できません。
- オーバーラップ連続撮影中は、マニュアルでもズーム操作できません。
- 連続撮影中に着信やアラーム動作があったりすると、撮影中の静止画は保護され、連続撮影は中止されます。オーバーラップ連続撮影時は、撮影中の静止画が保護されません。
- 電池残量が少なくなっている場合に、ピクチャーライトが強く発光しないことがあります。
- 画像連結保存は「QCIF：176×144」サイズの場合のみ保存できます。また、画像連結保存したあとは静止画撮影画面に戻り、個々の撮影画像の保存はできません。画像連結保存中に着信やアラーム動作があると、連結保存画像が保護されない場合があります。
- 連続撮影中あるいはセルフタイマーカウントダウン中にFOMA端末を開閉すると、撮影は中止されます。

動画撮影

動画を撮影する

FOMA端末を開いて動画を撮影（録画）します。

- 撮影した動画はデータBOXのｉモーションまたはminiSDメモリーカードに保存されます。
- FOMA端末（本体）に動画を保存する場合は、あらかじめファイルサイズ制限を［メール用（短）］または［メール用（長）］に設定してから撮影してください。
- 電池残量が少ない場合は撮影できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- 本FOMA端末で撮影した「QCIF：176×144」、「sQCIF：128×96」サイズの動画（Mobile MP4）は、メール送信できます。ファイルサイズ制限を［メール用（短）］または［メール用（長）］に設定してから撮影してください。（☞P.179、P.192）
- 撮影した動画を着モーション（☞P.210）に使用する場合は、本体に保存してください。

1 動画モードを起動（☞**P.181**）する。

- 静止画撮影画面（☞P.182）でⓜ→1［カメラモード切替］→2［動画］の順に選びます。
- カメラが起動し、動画撮影画面になります。

2 撮影する。

撮影する	◉
メインカメラとサブカメラを切り替える	#［カメラ切替］

- カメラ撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます。（ただし、撮影されるまでに時間がかかることがあります。）
- カメラ撮影開始音は、マナーモード設定中でも鳴ります。
- 撮影を開始すると、ピクチャーライトが自動的に点灯します。撮影を終了すると、自動的に消灯します。（撮影中は消灯できません。）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

3 撮影を止めるときは、◉を押す。

- カメラ撮影終了音が鳴ります。
- 動画撮影確認画面が表示されます。
- 残時間表示が［00:00:00］になったとき（撮影中にファイルサイズが制限に達したときや、miniSDメモリーカードの空き容量がなくなったとき）は、自動的に撮影が停止します。操作4に進みます。
- 撮影時間が短いときは、停止できない場合があります。この場合、しばらく撮影を続けたあとで、◉を押してください。

4 保存する。

保存する	1［保存］
撮影した動画を再生する	2［再生］
撮影した動画を取消する	3［取消］→［はい］→◉
ｉモーションメールで送信する	ⓘ［メール］ ● 対応していないファイルサイズの動画／ｉモーションは送信できません。（☞P.192）
カメラモードを終了する	電源

- 撮影した動画がデータBOXのｉモーションの［カメラ撮影］フォルダか、本体保存先指定（☞P.197）で指定したフォルダ、またはminiSDメモリーカード（☞P.197）に保存されます。
- miniSDメモリーカードに空き容量がない場合、保存先をminiSDメモリーカードに設定して撮影を開始すると［録画処理に失敗しました］と表示され、カメラモードは終了し待受画面に戻ります。次に動画モードを起動したときは、保存先がFOMA端末（本体）に変更されています。
- FOMA端末（本体）に保存するときに、メモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます。（☞P.362）

お知らせ

- 撮影残時間表示は目安であり、撮影対象により、00:00:00より以前に撮影が自動的に停止する場合もあります。
- 撮影中にFOMA端末を閉じると撮影が自動的に停止し、保存確認画面が表示されます。ただし、撮影開始から１秒未満の場合は、撮影を停止し、撮影開始前の状態に戻ります。
- 動画撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合がありますので、ご注意ください。

撮影中や保存確認画面表示中に音声電話やテレビ電話がかかってくると

- 着信画面が表示され、電話に出ることができます。通話終了後、保存確認画面が表示されます。1［保存］を押すと動画が保存され、動画撮影画面に戻ります。3［取消］を押すと動画が削除され、動画撮影画面に戻ります。
- 撮影中に着信を受けたくないときは、セルフモードに設定することをおすすめします。

自動終了について

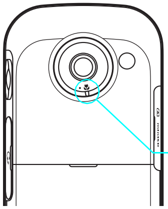
- 動画撮影画面で、約２分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了し、待受画面に戻ります。

撮影時の設定を変える

接写モードにする

近距離（約10～20cm）の撮影や、文字読み取りモード（☞P.203）やバーコードリーダー（☞P.200）を利用するときは、接写モードにしてください。

1 接写レバーを［🌷］に合わせる。



- ピクチャーライトを利用して静止画を撮影するときは、ⓘ［ライト］を押し、ピクチャーライトを点灯してください。
- 通常撮影にするときは、接写レバーを元の位置に戻します。

カメラを切り替える＜カメラモード切替＞

静止画、動画、文字読み取り、バーコードリーダーの各モードを切り替えます。

- 電池残量が▭以下のときに動画モードに切り替えようとした場合、または電池が切れて警告音が鳴ったときに充電を開始してすぐカメラモードを切り替えようとすると［電池残量が足りません］と表示され、カメラモードを起動できません。

1 撮影画面で㊞→1［カメラモード切替］を選んで、カメラモードを選ぶ。

静止画モード	1［静止画］	文字読み取りモード	3［文字読み取り］
動画モード	2［動画］	バーコードリーダーモード	4［バーコードリーダー］

- カメラモードが切り替わります。

明るさを設定する＜明るさ切替＞

明るさを５段階で調整できます。

1 静止画撮影画面（☞**P.182**）または動画撮影画面（☞**P.182**）で◇（明るくなる）／◇（暗くなる）を押して調整する。

- バーコードリーダー（☞P.200）、文字読み取り（☞P.203）でも明るさを調整できます。
- ディスプレイのマークで確認できます。（☞P.179）
- カメラモードを終了すると、［±0］（標準）に戻ります。
- サブカメラも同様の方法で調整できます。

＊メニューを切り替えるときはi［基本メニューへ］または［詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

デジタルズームを利用する<ズーム切替>

1 静止画撮影画面（☞P.182）でまたはを押し、ズームを切り替える。

- ズームバーが表示されます。
- 動画撮影画面（☞P.182）の場合は、すでにズームバーが表示されています。

ズームアップ（被写体が大きくなる）する	
ズームダウン（被写体が小さくなる）する	
徐々にズームアップする	（押し続ける）
徐々にズームダウンする	（押し続ける）

- ズームできる範囲（倍率）は撮影サイズによって異なります。

カメラモード	撮影サイズ		ズームの段階（デジタルズーム（最大））	
	メインカメラ	サブカメラ	メインカメラ	サブカメラ
静止画	アイコン：76×76		27段階 （約25倍）	2段階 （約2.0倍）
	sQCIF： 128×96		22段階 （約15倍）	2段階 （約2.0倍）
	QCIF： 176×144		19段階 （約11倍）	2段階 （約2.0倍）
	待受： 240×320		16段階 （約8.1倍）	－ （等倍）
	CIF： 352×288		12段階 （約5.5倍）	－ （等倍）
	VGA： 480×640	－	9段階 （約4.0倍）	
	最大： 960×1280	－	－ （等倍）	
動画	sQCIF： 128×96		14段階 （約3.7倍）	2段階 （約2.0倍）
	QCIF： 176×144		11段階 （約2.7倍）	2段階 （約2.0倍）
	hQVGA： 240×176		8段階 （約2.0倍）	－ （等倍）
	QVGA： 320×240	－	5段階 （約1.5倍）	

- 静止画の場合、デジタルズーム（最大）の位置でさらにを押すと2倍に拡大されますが、画像は少し粗くなります。
- メインカメラ撮影の場合、静止画撮影時に撮影サイズが「最大：960×1280」のときは、ズーム切替できません。
- サブカメラ撮影の場合、静止画撮影時に撮影サイズが「待受：240×320」または「CIF：352×288」のとき、動画撮影時に撮影サイズが「hQVGA：240×176」のときは、ズーム切替できません。
- 撮影サイズ変更、メイン／サブカメラ切替またはカメラモードを終了すると、等倍に戻ります。

お知らせ

撮影時のご注意

- 手ぶれに注意してください。撮影サイズが大きくなったり、撮影画質が高画質になるほど、手ぶれしやすくなります。撮影するときにFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。FOMA端末が動かないようしっかり持って撮影してください。

ピクチャーライトを利用する＜ピクチャーライト＞

1 静止画撮影画面（☞**P.182**）または動画撮影画面（☞**P.182**）でⓘ［ライト］を押す。

- バーコードリーダー（☞P.200）、文字読み取り（☞P.203）でもピクチャーライトを利用できます。
- ⓘ［ライト］を押すたびにディスプレイのマークが［⚡］（ON）→［⚡］（AUTO）（静止画モードのみ）→［⚡］（接写）（静止画モードのみ）→［OFF］の順に切り替わります。
- 接写撮影（接写レバーを✿の位置に合わせている）のときは、ライトを［⚡］（接写）に切り替えてください。ピクチャーライトが接写用に切り替わり、強く発光しないようになります。
- ライトを［AUTO］に設定すると、まわりの明るさに応じてピクチャーライトが自動的に点灯（発光）します。
- ［AUTO］と［接写］は静止画モードのときのみ利用できます。
- ピクチャーライトの色を設定しておくこともできます。（☞P.195）
- カメラ設定保持（☞P.199）またはレコーダー設定保持（☞P.199）が［OFF］に設定されている場合、カメラモードを終了するとピクチャーライトの色設定は［ホワイト］に戻ります。
- カメラ起動時や、プレビュー画面移行時も、ピクチャーライトが点灯します。
- 蛍光灯の下などで白い部分が多い印刷物などを接写する場合、撮影角度とピクチャーライトの［ON］／［OFF］により、FOMA端末の色や影が映りこむ場合がありますが異常ではありません。

メインカメラとサブカメラを切り替える＜カメラ切替＞

1 静止画撮影画面（☞**P.182**）または動画撮影画面（☞**P.182**）で#［カメラ切替］を押す。

- メインカメラからサブカメラに切り替えたときの撮影サイズは「QCIF：176×144」になります。

お知らせ

- ボイスレコーダーとして起動（☞P.366）した場合や、映像・音声切替（☞P.193）が［音声のみ］の場合は切り替えできません。

メインカメラ

- 他の人や動物、風景などを撮影するときに使うと便利です。また、文字読み取り（OCR）やバーコードリーダーを利用するときに使います。ディスプレイには、正像（見たとおりの向き）で表示されます。（表示どおり撮影されます。）

サブカメラ

- ご自分を撮影するときに使うと便利です。ディスプレイには鏡像（左右逆向き）で表示されます。（ディスプレイ表示とは左右が逆に撮影されます。）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

画像サイズを設定する<画像サイズ選択>

お買い上げ時
静止画（待受）：240×320
動画（QCIF）：176×144

静止画や動画の画像サイズを設定できます。

- 各サイズについては、P.178を参照してください。

1 静止画撮影画面（☞P.182）または動画撮影画面（☞P.182）で、m→4［サイズ選択］を選んで、サイズを選ぶ。

静止画撮影		動画撮影	
アイコン（76×76）	1［アイコン（76×76）］	sQCIF（128×96）	1［sQCIF（128×96）］
sQCIF（128×96）	2［sQCIF（128×96）］	QCIF（176×144）	2［QCIF（176×144）］
QCIF（176×144）	3［QCIF（176×144）］	hQVGA（240×176）	3［hQVGA（240×176）］
待受（240×320）	4［待受（240×320）］	QVGA（320×240）	4［QVGA（320×240）］
CIF（352×288）	5［CIF（352×288）］		
VGA（480×640）	6［VGA（480×640）］		
最大（960×1280）	7［最大（960×1280）］		

- 設定したサイズに応じたマークが表示されます。（☞P.179〜P.180）

お知らせ

- 静止画撮影の場合、画像サイズを変更すると、フレーム撮影、エフェクト撮影、連続撮影の設定は［OFF］になります。
- カメラ設定保持（☞P.199）が［OFF］に設定されている場合、静止画撮影終了時に撮影サイズは「待受：240×320」に戻ります。カメラ設定保持が［ON］に設定されている場合、ここで設定した内容が保持されます。
- レコーダー設定保持（☞P.199）が［OFF］に設定されている場合、動画撮影終了時に撮影サイズは「QCIF：176×144」に戻ります。レコーダー設定保持が［ON］に設定されている場合、ここで設定した内容が保持されます。
- カメラ設定保持（☞P.199）やレコーダー設定保持（☞P.199）を［ON］に設定していても、メインカメラからサブカメラへ切り替えると画像サイズは「QCIF：176×144」になります。
- 動画撮影で、画像サイズを「hQVGA：240×176」または「QVGA：320×240」にする場合は、保存先をminiSDメモリーカードに設定する必要があります。（☞P.197）
- 画像をｉモードメールに添付して送信する場合、画像サイズや画質により通信料金は異なります。
- ボイスレコーダーとして起動（☞P.366）した場合や、映像・音声切替（☞P.193）が［音声のみ］の場合は、画像サイズを選択できません。
- サブカメラ撮影時は、画像サイズを「VGA：480×640」（静止画撮影時）、「最大：960×1280」（静止画撮影時）、「QVGA：320×240」（動画撮影時）に設定できません。

画質を設定する<画質選択>

お買い上げ時
静止画：NORMAL
動画：NORMAL

静止画や動画の画質を設定できます。
静止画には、［ECONOMY］［NORMAL］［SUPER FINE］を設定できます。動画には、［ECONOMY］［NORMAL］［FINE］［SUPER FINE］を設定できます。
［ECONOMY］→［NORMAL］→［FINE］…の順に画質がきれいになりますが、データ量が多くなり登録できる枚数、撮影できる時間は少なくなります。

- 各画質の撮影枚数、撮影時間の目安については、P.178を参照してください。

1 静止画撮影画面（☞P.182）または動画撮影画面（☞P.182）で、m→5［画質選択］を選んで、画質を選ぶ。

静止画撮影		動画撮影	
ECONOMY	1［ECONOMY］	ECONOMY	1［ECONOMY］
NORMAL	2［NORMAL］	NORMAL	2［NORMAL］
SUPER FINE	3［SUPER FINE］	FINE	3［FINE］
		SUPER FINE	4［SUPER FINE］

- 設定した画質に応じてマークが表示されます。（☞P.179〜P.180）

次ページへ続く

お知らせ

- 画質を優先して撮影したいときは、［FINE］または［SUPER FINE］に設定してください。
- 「待受：240×320」より大きいサイズの画像をｉモードメール送信する場合、「待受：240×320」以下に縮小できます。また、撮影した静止画のファイルサイズが500Kバイトを超える場合、500Kバイト以下になるように圧縮されます。
- ボイスレコーダーとして起動（☞P.366）した場合や、映像・音声切替（☞P.193）が［音声のみ］の場合は、画質を選択できません。

ファイルサイズ制限を設定する<ファイルサイズ制限>

お買い上げ時
メール用（短）

動画を撮影する前に、保存するファイルサイズを制限しておくことができます。

- ｉモーションメールで送信する場合は、［メール用（短）］［メール用（長）］を選択してください。メール添付可能なサイズで撮影できます。
- 保存先がFOMA端末（本体）に設定されているときは、［制限なし］を選択できません。あらかじめ保存先をminiSDメモリーカードに設定してください。（☞P.197）

1 動画撮影画面（☞P.182）で[MENU]→[6]［ファイルサイズ制限］を選んで、ファイルサイズを選ぶ。

290Kバイトに制限する	[1]［メール用（短）］
490Kバイトに制限する	[2]［メール用（長）］
制限しない	[3]［制限なし］

- ファイルサイズ制限が設定されます。

お知らせ

- 画像サイズを「hQVGA：240×176」または「QVGA：320×240」にする場合、ファイルサイズ制限を［メール用（短）］［メール用（長）］に設定できません。また、保存先をminiSDメモリーカードに設定する必要があります。
- ファイルサイズ制限を［制限なし］に設定した場合、撮影時間は最長約1時間になります。（映像・音声切替が［音声のみ］の場合を除く）

セルフタイマーを使って撮影する<セルフタイマー>

お買い上げ時
OFF
時間：10秒

セルフタイマーを使って撮影できます。ご自分も入った画像を撮影するときなどに便利です。

1 静止画撮影画面（☞P.182）または動画撮影画面（☞P.182）で[MENU]→[3]［セルフタイマー］を選んで、セルフタイマーを設定する。

設定する	[1]［ON］
解除する	[2]［OFF］
時間を変更する	[3]［時間設定］→[1]［2秒］／[2]［5秒］／[3]［10秒］

- ［(2)］［(5)］または［(10)］が表示されます。

2 [●]を押す。

- タイマー音が鳴り、セルフタイマーが動作します。設定した時間（約2秒／約5秒／約10秒）が経過すると、撮影開始音が鳴り、自動的に撮影されます。
（［(2)］［(5)］または［(10)］とピクチャーライトが点滅）
- 撮影を中止するときは、[クリア]を押します。このとき、セルフタイマーは設定されたままです。
- 静止画モードの場合、撮影後もセルフタイマーは解除されません。

お知らせ

- カメラモードを終了すると、セルフタイマーが解除されます。カメラ設定保持（☞P.199）やレコーダー設定保持（☞P.199）が［ON］に設定されていても、同様です。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

＊ メニューを切り替えるときは[i]［[i]基本メニューへ］または［[i]詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- カメラ設定保持（☞P.199）またはレコーダー設定保持（☞P.199）が［OFF］の場合、カメラモードを終了すると時間設定は10秒に戻ります。カメラ設定保持またはレコーダー設定保持が［ON］に設定されている場合、ここで設定した内容が保持されます。

セルフタイマー動作中のご注意

- セルフタイマー動作中に、◉を押すと、その時点で撮影されます。
- 音声電話着信、テレビ電話着信、アラーム動作があったり、㊞を押すと、撮影は中止されます。
- 静止画モードでは、セルフタイマー動作中は、◇によるズームの利用や、◇による明るさの調整はできません。
- セルフタイマー動作中にFOMA端末を開閉したり、クリアを押すと、セルフタイマーは中断されますが、設定は保持されます。

映像と音声の組み合わせを設定する<映像・音声切替>

お買い上げ時
映像＋音声

動画撮影の種類を［映像＋音声］［映像のみ］［音声のみ］に設定できます。

1 動画撮影画面（☞**P.182**）でⓜ→7［映像・音声切替］を選んで、映像と音声の組み合わせを選ぶ。

映像＋音声を撮影する	1［映像＋音声］	音声のみを録音する	3［音声のみ］
映像のみを撮影する	2［映像のみ］		

- 映像と音声の組み合わせが設定されます。

お知らせ

- 撮影を終了すると、［映像＋音声］に戻ります。

フレームを重ねて撮影する<フレーム撮影>

撮影する静止画にフレームを設定し、フレーム付きで撮影できます。

- 連続撮影でも利用できます。（それぞれの静止画にフレームが付きます。）（☞P.184）
- カメラ撮影時にフレームを付けられる画像サイズは、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「待受：240×320」、「CIF：352×288」、「VGA：480×640」です。
- 撮影サイズとフレームの縦横が異なるときは、フレームが左に90度回転します。
- サイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたフレームを利用してフレーム撮影できます。

1 静止画撮影画面（☞**P.182**）でⓜ→6［撮影モード切替］→4［フレーム撮影］の順に選んで、フレームを選ぶ。



あらかじめ登録されているフレームの場合

プリインストールフレームを利用する	1［プリインストールフレーム］→フレーム→◉［決定］
ダウンロードしたフレームを利用する	2［ダウンロードフレーム］→フォルダ→◉→フレーム→◉［決定］
フレームを解除する	3［OFF］

- 選択したフレームと被写体の合成された画面が表示されます。
- フレームを確認するときは、フレームを選んで◉［確認］を押します。戻るときはクリアを押します。
- 全画面表示で確認するときは、フレームにカーソルを合わせてⓜを押し、［全画面表示切替］を選びます。戻るときはクリアを押します。

2 ◉を押す。

- フレーム付きの静止画が撮影されます。

お知らせ

- 撮影サイズ（☞P.191）を変更したり、メインカメラとサブカメラを切り替える（☞P.190）と、フレーム撮影が解除されます。

いろいろな効果を付けて撮影する<エフェクト撮影>

撮影する静止画にエフェクトを設定し、色あいやタッチを変えて撮影できます。

- 静止画撮影時にエフェクト効果を付けられるサイズは、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「待受：240×320」、「CIF：352×288」です。
- サブカメラ使用時、エフェクト撮影はできません。

1 静止画撮影画面（☞P.182）で㊐→6［撮影モード切替］→2［エフェクト撮影］の順に選んで、エフェクトの種類を選ぶ。

エフェクトの種類

［モノクロ］	1	モノトーンで濃淡を表現
［セピア］	2	セピア色で濃淡を表現
［きらきら］	3	光輝部をさらに輝かせる効果を表現
［色鉛筆］	4	色つきの線画で表現
［円ソフトフレーム］	5	画面の周りにぼかしの効果を付ける
［波紋］	6	波紋効果を付ける
［万華鏡（大）］	7	万華鏡の効果を表現（模様が大きい）
［万華鏡（小）］	8	万華鏡の効果を表現（模様が小さい）
［魚眼］	9	魚眼レンズでの効果を表現
［OFF］	0	エフェクトを解除します。

2 ◉を押す。

- エフェクト効果付きの静止画が撮影されます。

カメラ

お知らせ

- エフェクト撮影を設定しているときに、撮影サイズ（☞P.191）を変更したり、連続撮影（☞P.185）を設定すると、エフェクト撮影は解除されます。

撮影環境や被写体に応じた設定を行う<シーン別撮影>

自然な色合いやピントで撮影できるよう、静止画撮影時は撮影環境や被写体に応じた撮影モードを設定できます。

- サブカメラ使用時、シーン別撮影はできません。

1 静止画撮影画面（☞P.182）で㊐→6［撮影モード切替］→3［シーン別撮影］の順に選んで、シーンを選ぶ。

［オート］	1	通常の撮影に適しています。
［夜景］	2	夜景など光の少ない場所を撮影する場合に適した設定です。
［スポーツ］	3	屋外でのスポーツなど動きの多い被写体を撮影する場合に適した設定です。
［文字］	4	白と黒などコントラストのはっきりした被写体を撮影する場合に適した設定です。

- 設定したシーンに応じてマークが表示されます。（☞P.179）

お知らせ

- カメラモードを終了すると、［オート］に戻ります。
- 夜景など光の少ない場所を撮影する場合は、手ぶれに注意して撮影してください。

＊メニューを切り替えるときは㊙［㊙基本メニューへ］または［㊙詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

撮影時のバックライトの点灯時間を設定する<点灯時間設定>

お買い上げ時
照明設定に従う

動画撮影時、バックライトの点灯時間を設定できます。

1 動画撮影画面（☞**P.182**）で⊡→8［レコーダー設定］→5［点灯時間設定］の順に選んで、点灯時間を選ぶ。

照明設定に従う	1［照明設定に従う］ ● 照明時間設定に従ってバックライトが点灯します。（☞P.140）
常にON	2［常にON］ ● 常時点灯します。（ただし、ファインダー以外の画面ではバックライトの点灯時間は照明時間設定に従います。）

● 点灯時間が設定されます。

ピクチャーライトの色を設定する<ピクチャーライト色変更>

お買い上げ時
ホワイト

静止画撮影時や動画撮影時のピクチャーライトの色をそれぞれ設定できます。

● ピクチャーライトの点灯方法については、P.190を参照してください。

1 静止画撮影画面（☞**P.182**）で⊡→8［カメラ設定］→4［ピクチャーライト色変更］の順に選んで、ピクチャーライトの色を選ぶ。

● 動画モードのときは、動画撮影画面（☞P.182）で⊡→8［レコーダー設定］→4［ピクチャーライト色変更］を選びます。

ホワイト	1［ホワイト］	イエロー	5［イエロー］
レッド	2［レッド］	パープル	6［パープル］
グリーン	3［グリーン］	ライトブルー	7［ライトブルー］
ブルー	4［ブルー］		

● 選択された色でピクチャーライトが点灯します。

お知らせ

● ボイスレコーダーとして起動（☞P.366）した場合や、映像・音声切替（☞P.193）が［音声のみ］の場合、サブカメラ撮影時の場合は設定できません。

● ピクチャーライトは、暗い場所での撮影を補助するものであり、通常のカメラのストロボのような光量はありませんので、ご注意ください。

● ピクチャーライトは、色あいが個々に多少異なる場合がありますが、故障ではありません。補助光としてお使いください。

音声のノイズを少なくする<ノイズキャンセラ>

お買い上げ時
ON

動画撮影画面で、音声用のノイズキャンセラを設定できます。

1 動画撮影画面（☞**P.182**）で⊡→8［レコーダー設定］→1［ノイズキャンセラ］の順に選んで、1［**ON**］を選ぶ。

● ノイズキャンセラが設定されます。

お知らせ

● 映像・音声切替（☞P.193）が［映像のみ］の場合、ノイズキャンセラを設定できません。

● ノイズキャンセラでは、音声を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や、話しかたにより、音声の聞こえかたが変わることがあります。

スイッチ付イヤホンマイクのスイッチで撮影できるようにする<レリーズ設定>

お買い上げ時
OFF

別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク（☞P.422）のスイッチをシャッター代わりに使うことができます。スイッチを１秒以上押すと、撮影できます。

1 静止画撮影画面（☞**P.182**）で㊂→8［カメラ設定］→5［レリーズ設定］の順に選んで、1［**ON**］を選ぶ。

● 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチで撮影できるようになります。

お知らせ

● スイッチを押すタイミングによっては、撮影できない場合があります。
● 撮影後、もう一度スイッチを１秒以上押すと、保存されます。

撮影時のファインダー表示を設定する<表示サイズ設定>

お買い上げ時
拡大

「アイコン：76×76」、「sQCIF：128×96」サイズで撮影するときのファインダー表示を拡大できます。

1 静止画撮影画面（☞**P.182**）で㊂→8［カメラ設定］→6［表示サイズ設定］を選んで、表示サイズを選ぶ。

拡大表示にする	1［拡大］	等倍表示にする	2［等倍］

カメラのシャッター音を変える<シャッター音>

◉1 2 4 3

お買い上げ時
標準音

シャッター音を、あらかじめ登録されている５種類のパターンから選択できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings 設定（設定）→［音］→［音選択］→［各種設定音選択］→［シャッター音］の順に選んで、シャッター音を選ぶ。

標準音	1［標準音］	トゥインクル	4［トゥインクル］
デジタルカメラ	2［デジタルカメラ］	人の声	5［人の声］
ピンポーン	3［ピンポーン］		

● シャッター音が設定されます。
● シャッター音を確認するときは、シャッター音を選んで㊀［再生］を押します。止めるときは㊀［停止］を押します。
● マナーモードが設定されているときは、確認画面が表示されたら［はい］を選んで◉を押します。

お知らせ

● カメラのシャッター音の音量は変更できません。（マナーモード設定中も鳴ります。）

画像をディスプレイいっぱいに表示する<全画面表示切替>

カメラモードで表示されるマークを消し、静止画をディスプレイいっぱいに表示できます。
「待受：240×320」、「VGA：480×640」、「最大：960×1280」サイズで撮影するときに全画面表示できます。

1 静止画撮影画面（☞**P.182**）で㊂→［全画面表示切替］を選ぶ。

● もう一度操作すると、全画面表示を解除できます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは㊀［㊀基本メニューへ］または［㊀詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- カメラモードを終了すると、全画面表示は解除されます。

miniSDメモリーカードに保存する＜本体⇔miniSD切替＞

お買い上げ時
FOMA端末（本体）

撮影した静止画や動画をminiSDメモリーカードに保存できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.349）

1 静止画撮影画面（☞**P.182**）または動画撮影画面（☞**P.182**）で[メニュー]→[#] ［本体⇔**miniSD**切替］を選ぶ。

- 保存先が変更され、静止画撮影画面または動画撮影画面に戻ります。
  設定内容に応じてminiSDメモリーカードマークの色が変わります。
  - ■ [SD]（グレー）………保存先がFOMA端末（本体）のとき
  - ■ [SD]（ピンク）………保存先がminiSDメモリーカードのとき
- miniSDメモリーカードに保存できる動画の撮影時間はminiSDメモリーカードのメモリにより異なります。
  映像が含まれる動画の場合、撮影時間は最長約1時間です。

お知らせ

- 静止画モードでは、保存先が miniSDメモリーカードに設定されていても、miniSDメモリーカードの空き容量が不足した場合、保存先がFOMA端末（本体）に切り替わります。動画モードでは、保存先がminiSDメモリーカードに設定されていて、撮影を開始すると［録画処理に失敗しました］と表示され、カメラモードは終了し待受画面に戻ります。
- miniSDメモリーカードに保存した静止画の確認については、P.356を参照してください。
- 保存先フォルダの静止画が400枚より多くなると新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに静止画が保存されます。
- 保存先がminiSDメモリーカードに設定されている場合、撮影画像は［カメラフォルダxxx］（フォルダが複数ある場合は「xxx」の数字が最も大きなフォルダ）に保存されます。
- 撮影画像をminiSDメモリーカードに保存するときは、DCF1.0準拠（ExifVer.2.2、JPEG準拠）の形式で保存されます。
- 「DCF」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラなどの画像ファイルなどを、関連機器間で便宜に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- 「Exif」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画用のファイルフォーマットです。

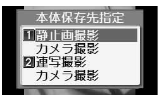
保存先フォルダを指定する＜本体保存先指定＞

お買い上げ時
下記参照

撮影した静止画や動画をFOMA端末（本体）に保存するときのフォルダを指定できます。
- 保存先フォルダを指定する前に、フォルダを作成してください。（☞P.361）

お買い上げ時設定（静止画撮影、連写撮影：データBOX－マイピクチャーカメラ撮影　動画撮影：データBOX－ｉモーションーカメラ撮影）

1 静止画撮影画面（☞**P.182**）で[メニュー]→[8] ［カメラ設定］→[2] ［本体保存先指定］を選ぶ。



静止画撮影画面で本体保存先指定を選んだ場合

- 動画モードのときは、動画撮影画面（☞P.182）で[メニュー]→[8] ［レコーダー設定］→[2] ［本体保存先指定］を選びます。

次ページへ続く

2 保存先フォルダを選ぶ。

静止画撮影の保存先を指定する	1［静止画撮影　カメラ撮影］→フォルダ→◉
連写撮影の保存先を指定する	2［連写撮影　カメラ撮影］→1［フォルダ選択］→フォルダ→◉
連写撮影の保存先フォルダを自動作成する	2［連写撮影　カメラ撮影］→2［自動フォルダ作成］ ● 連続撮影するたびに新規フォルダを作成し、その中に保存します。すでにフォルダが20個作成されているときは、撮影した画像は［カメラ撮影］フォルダに保存されます。
動画の保存先を指定する	フォルダ→◉

● 保存先フォルダが設定されます。

お知らせ

● 撮影した画像をminiSDメモリーカードに保存するときは、フォルダを指定できません。

オリジナルモードを保存する<オリジナルモード>

静止画撮影時の設定をお好みに合わせて２種類まで保存できます。設定したオリジナルモードを呼び出すと、お好みの設定に切り替えできます。

● オリジナルモードに登録できる項目は、次のとおりです。
画像サイズ、画質、連続撮影、エフェクト撮影、シーン別撮影、レリーズ設定の［ON］／［OFF］、セルフタイマーの［ON］／［OFF］／［時間設定］、ピクチャーライトの［ON］／［AUTO］／［接写］／［OFF］、ピクチャーライトの色、保存先（本体保存先指定を含む）、全画面表示です。

1 静止画撮影画面（☞P.182）で各種設定のあと、◫→7［オリジナルモード］を選んで、オリジナルモードを保存する。

設定１を呼び出す	1［設定１を呼出］
設定２を呼び出す	2［設定２を呼出］
設定１へ保存する	3［設定１へ保存］
設定２へ保存する	4［設定２へ保存］
保存内容を確認する	5［保存内容確認］ ● 設定１と設定２を切り替えるときは、◉［切替］を押します。

● お買い上げ時は、次のとおり設定されています。

	設定１	設定２
サイズ選択	最大：960×1280	待受：240×320
画質選択	SUPER FINE	NORMAL
ピクチャーライト	OFF	OFF
ピクチャーライト色	ホワイト	ホワイト
保存先	miniSDメモリーカード	本体 ● 静止画撮影：［カメラ撮影］フォルダ ● 連写撮影：［カメラ撮影］フォルダ
レリーズ設定	OFF	OFF
全画面表示切替	ON	OFF

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

自動保存モードを設定する<自動保存モード>

お買い上げ時
OFF

撮影した静止画を自動的に保存するように設定できます。

- 撮影した静止画はminiSDメモリーカードか、本体保存先指定（☞P.197）で指定したフォルダに自動的に保存されます。
- miniSDメモリーカードに保存するときは、撮影前に保存先を切り替えておきます。（☞P.197）

1 静止画撮影画面（☞**P.182**）で Ⓜ→8［カメラ設定］→1［自動保存モード］の順に選んで、1［**ON**］を選ぶ。

- 自動保存モードが設定されます。

お知らせ

- カメラ設定保持が［OFF］の場合、カメラモード終了時に自動保存モードは［OFF］に戻ります。カメラ設定保持が［ON］の場合、ここで設定した内容が保持されます。
- 自動保存モードを［ON］に設定すると、撮影後のプレビュー画面は表示されません。また、静止画保存前の編集などの操作はできなくなります。

静止画撮影の設定をお買い上げ時の状態に戻さないようにする<カメラ設定保持>

お買い上げ時
ON

カメラモードを終了したときに各設定を記憶しておくことができ、次回静止画撮影モードにしたときも同じ状態で利用できます。

- 設定を記憶できる項目は、次のとおりです。
  画像サイズ、画質、セルフタイマーの時間設定、ピクチャーライトの色設定、本体⇔miniSD切替、自動保存モード、FOMA端末（本体）の保存先指定、レリーズ設定、表示サイズ設定

1 静止画撮影画面（☞**P.182**）で Ⓜ→8［カメラ設定］→3［カメラ設定保持］の順に選んで、1［**ON**］を選ぶ。

- カメラ設定が保持されます。

お知らせ

- 2とおりの設定を使い分けたいときは、オリジナルモード（☞P.198）のご利用をおすすめします。

動画撮影の設定をお買い上げ時の状態に戻さないようにする<レコーダー設定保持>

お買い上げ時
ON

カメラモードを終了したときに各設定を記憶しておくことができ、次回動画撮影モードにしたときも同じ状態で利用できます。

- 設定を記憶できる項目は、次のとおりです。
  画像サイズ、画質、ファイルサイズ制限、点灯時間設定、ノイズキャンセラ設定、本体⇔miniSD切替、セルフタイマーの時間設定、FOMA端末（本体）の保存先指定、ピクチャーライトの色設定

1 動画撮影画面（☞**P.182**）で Ⓜ→8［レコーダー設定］→3［レコーダー設定保持］の順に選んで、1［**ON**］を選ぶ。

- レコーダー設定保持が設定されます。

撮影後すぐに静止画または動画を送る

静止画または動画撮影後、保存前のプレビュー画面から、撮影した静止画や動画を添付したｉモードメールを送信できます。
- 撮影した動画はｉモーションメールとして送信します。
- 撮影した動画は、ファイルサイズが500Kバイトを超えるとメールを作成できません。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定していた場合、撮影した画像はデータBOXの［マイピクチャ］フォルダ（静止画）または［ｉモーション］フォルダ（動画）に保存されたあと、メール作成画面が表示されます。
- ファイルサイズ制限が［制限なし］のときは、ｉモードメールに添付できません。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定していた場合、本体のメモリ容量が少ないと、上書き確認画面が表示されることがあります。データを削除してから保存してください。

1 静止画プレビュー画面（☞**P.183**の操作２）で、または動画撮影終了後（☞**P.187**の操作３）にⓘ［メール］を押す。



静止画の場合

［待受サイズ（240×320）以下に縮小しますか？］と表示されたとき	縮小する	［はい］→◉ ● 静止画の縦横比を保ったまま「待受：240×320」サイズ以下に縮小して添付します。
	縮小しない	［いいえ］→◉ ● 静止画のファイルサイズを500Kバイト以下に調整して（画像サイズは変わりません）添付します。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。
- 詳しくは、P.264の操作２～４を参照してください。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってバーコード（JANコード、QRコード）を読み取ると、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示を利用できます。読み取った文字のコピーや貼り付け、メロディの再生や保存、画像の表示や保存を行うこともできます。
- 読み取り結果をminiSDメモリーカードに保存することはできません。
- JANコードとQRコード以外のバーコード・二次元コードは読み取りできません。
- 分割されたQRコードも読み取りできます。



◉８０

バーコード（JANコード、QRコード）から文字を読み取って利用する

バーコード（JANコード、QRコード）から読み取った文字を利用して、ｉモード接続、ｉモードメール作成、音声電話やテレビ電話の発信などを行うことができます。
- バーコードリーダー利用時は、接写レバーを［🌷］の位置に合わせて撮影してください。（☞P.188）
  接写撮影の焦点距離は約10cmです。
- サイトを表示中に、バーコードリーダーを利用してJANコード、QRコードの情報をテキストボックスに入力できます。（☞P.218）
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れない場合があります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

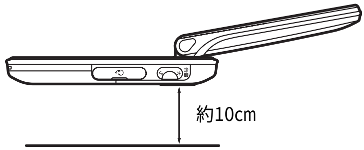
基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［カメラ機能］→［バーコードリーダー］の順に選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Tools ツール］（ツール）または［Camera カメラ］（カメラ）→［バーコードリーダー］の順に選ぶ。

- 静止画撮影画面（☞P.182）で Ⓜ→1［カメラモード切替］→4［バーコードリーダー］の順に選びます。
- バーコードリーダーモードになります。
- バーコード（JAN コード、QR コード）の真正面からカメラまでの焦点距離を約10cmにして、バーコードやFOMA端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。



2 ディスプレイの中央に読み取るバーコード（**JAN**コード、**QR**コード）を表示する。



- 被写体がJANコードかQRコードかは、FOMA端末が自動的に判断します。
- 光沢のある用紙の場合は、読み取りにくいことがあります。照明が直接反射しないように角度を調節してください。

ピクチャーライトを点灯する	ⓘ［ライト］
保存データを見る	Ⓜ→2［保存データ］ ● 保存データがない場合は、［保存データがありません］と表示されます。

3 ◉を押す。



- バーコード（JANコード、QRコード）の読み取りが開始されます。読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。
- 読み取りを開始してから１分経過しても読み取れなかったときは、エラー音「ピッピッピッ」が鳴って［読み取りできませんでした］と表示され、操作２の画面に戻ります。（ボタン確認音を［サイレント］に設定している場合、エラー音は鳴りません。）
- 読み取りを中止するときは、ⓘ［中断］またはクリアを押します。読み取りを中断して操作２の画面に戻ります。

4 読み取った文字を選んで◉を押す。

- 読み取った文字や数字が青く表示されている場合は、その部分を選択できます。
- 読み取った文字の内容に応じて、ｉモード接続確認画面（URLのとき）、メール作成確認画面（メールアドレスのとき）、電話発信確認画面（電話番号のとき）が表示されます。
- 電話帳データやメールデータ、ブックマークデータの場合は、電話帳登録確認画面やメール作成確認画面、Bookmark登録確認画面が表示されます。
- ｉアプリデータの場合は、ｉアプリ名が表示されますが、ｉアプリは起動できません。（ｉアプリ機能は搭載していません。）
- 読み取った文字や数字が青く表示されていない場合は、◉を押しても表示が変わりません。

読み取った文字をすべてコピーする	ⓘ［全コピー］ ● 読み取った文字が1999バイト以上の場合は全コピーできません。
読み取った文字の一部をコピーする	Ⓜ→3［コピー］→始点→◉→終点→◉
読み取った文字を保存する	Ⓜ→4［保存］→保存先→◉ ● 最大５件まで保存できます。

カメラ

次ページへ続く

お知らせ

- ｉモードメニュー画面（☞P.213）で、ⓜ［バーコードリーダー］を押してもバーコードリーダーを起動できます。
- サイトを表示中（☞P.212の操作１～２、P.213の操作１～２）に、ⓜ→ⓜ［バーコードリーダー］を押してもバーコードリーダーを起動できます。接続を終了することなく、読み取ったURLに接続できます。ただし、この場合はURL以外の認識結果を利用できません。
- 電話帳のPIMロック中、電話帳登録はできません。端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力するとPIMロックは一時的に解除され、読み取った結果から電話帳登録できます。電話帳登録が終了すると、再びロックされます。
- マナーモード設定中、読み取り完了音やエラー音は鳴りません。
- 読み取り完了音やエラー音の音量は、音声電話着信音量で設定した音量と同じです。

JANコードとは

- 幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。
- 右図を読み取ると［4942857120134］と表示されます。

QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの１つです。データとは、英数字、文字列（漢字・カナ・絵文字）です。
- 右図を読み取ると［FOMA SH851i］と表示されます。

分割されたデータについて

- QRコードには、分割されたデータ（最大16個）を読み取って１つのデータとなるものがあります。分割されたデータを読み取った場合、操作３のあとで右の画面が表示されます。（ ）には残り個数／全連結数が表示されています。［はい］を選択すると次のQRコードの読み取り画面に進みます。次のQRコードをディスプレイの中央に表示させると、自動的に次のQRコードを読み取ります。操作をくり返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。



QRコードから画像やメロディを読み取って再生する

1 **QRコードを読み取る。（☞P.201の操作１～４）**

- 読み取り結果が画像データの場合は結果画面に［画像］、メロディの場合は結果画面に［メロディ］が青で表示されます。

2 **◉を押し、表示・再生する。**

画像を表示する	1［表示］ ● 画像が表示されます。 ● ファイル形式によっては表示できないものもあります。
メロディを再生する	1［再生］ ● ファイル形式によっては再生できないものもあります。 ● 演奏位置情報が設定されているメロディのときは、このあと1［ポイント再生］または2［フルコーラス再生］を押します。再生を中止するときは◉またはクリアを押します。
メロディや画像を保存する	2［保存］ ● 画像はデータBOXのマイピクチャの［ｉモード・その他］フォルダに保存されます。 ● メロディはデータBOXのメロディの［メロディ］フォルダに保存されます。
メロディや画像を保存しない	3［保存しない］

読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する

- 読み取ったメールアドレスや電話番号、URLを電話帳に登録できます。
- URLをブックマークに登録することもできます。
- 読み取った文字（60Kバイト以下のデータ）をメモとして最大5件まで保存できます。

1 バーコードを読み取り（☞P.201の操作1～3）、読み取り結果画面で㊙を押す。

- サブメニューが表示されます。

2 読み取り結果を利用する。

電話帳登録	FOMA端末（本体）電話帳に新規登録する	1［電話帳登録］→1［本体新規］→［はい］→◉ ● 読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます。（☞P.103） ● あらかじめテレビ電話用電話番号としてバーコードに設定されているときは、テレビ電話用電話番号として登録されます。
	FOMAカード電話帳に新規登録する	1［電話帳登録］→2［FOMAカード新規］→［はい］→◉ ● 読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます。（☞P.108）
	電話帳に追加／上書登録する	1［電話帳登録］→3［追加／上書］→［はい］→◉→名前→◉ ● 読み取ったURLは、メモの項目（☞P.101）に上書登録されます。このあと、電話帳登録の操作を続けます。（☞P.103）
ブックマークに登録する（URLのみ）（☞P.225）		2［Bookmark登録］→［はい］→◉

保存データを利用するとき

- 読み取り開始画面（☞P.201の操作2）で㊙→2［保存データ］を押し、保存データを選んで◉を押します。
- このあと、上記の操作1～2に進みます。
- 保存データを削除するときは、保存データを選んで㊀［削除］を押し、［はい］を選んで◉を押します。

お知らせ

- 保存データは再保存できません。

文字読み取り（OCR）

文字を読み取る

紙などに印刷されたURL、メールアドレス、電話番号などをFOMA端末で撮影し、FOMA端末で扱える文字に変換します。
読み取った文字を利用して、サイトやインターネットホームページに接続したり、iモードメールを送信したりできます。音声電話やテレビ電話をかけたり、辞書検索することもできます。また、電話帳やブックマークに登録することもできます。

- 読み取れる文字は、次のものです。URL、メールアドレス、電話番号、英単語などのカテゴリは、読み取った文字によって自動的に識別されます。漢字やひらがななど、全角の文字は認識できません。

URL	半角英字、半角数字、半角記号［. -（ハイフン）_ : / ˜］
メールアドレス	半角英字、半角数字、半角記号［. @ -（ハイフン）_ : ］
電話番号	半角数字、半角記号［-（ハイフン）+ P # ＊］
英単語	半角英字、半角数字、半角記号［ -（ハイフン）/ ? ! @ + ＊ ' ( ) , . & ］

- 読み取り結果はminiSDメモリーカードに保存することはできません。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、文字サイズによっては、正しく読み取れない場合があります。

文字を読み取って利用する

カテゴリ（URL、メールアドレス、電話番号、英単語）を自動的に識別して、文字を読み取り、ｉモード接続、ｉモードメール作成、音声電話やテレビ電話の発信、ブックリーダーの辞書検索、電話帳の登録などを行うことができます。

- 文字読み取り時、接写レバーを［🌷］の位置に合わせて撮影してください。（☞P.188）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（ツール）または（カメラ）→［文字読み取り］の順に選ぶ。

- 静止画撮影画面（☞P.182）で㊂→1［カメラモード切替］→3［文字読み取り］の順に選びます。
- 文字読み取りモードになります。

2 読み取る文字をディスプレイの中央に表示する。



- 光沢のある用紙の場合は、読み取りにくいことがあります。照明が直接反射しないように角度を調節してください。
- ディスプレイの〔 〕枠内の中央に入るように調整してください。〔 〕の端の文字は読み取りにくい場合があります。
- 読み取り文字の真正面からカメラまでの焦点距離を約10cmにして、文字やFOMA端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。表示される文字は小さくて見づらくなりますが、被写体表示の下にあるバーが最も青い色になるように、撮影する印刷物などとの距離を調整してください。
- 一度の操作で読み取る文字数は、60文字以内を目安にしてください。

ピクチャーライトを点灯する	ⓘ［ライト］
読み取り対象のカテゴリを選ぶ	㊂→2［読み取り対象選択］→カテゴリ→◉ ● お買い上げ時は、［オート］に設定されています。
反転文字（黒地に白の文字）を読み取る	㊂→3［反転モード切替］→反転モードの種類→◉ ● お買い上げ時は、［自動］に設定されています。うまく読み取れないときは、［通常文字］または［反転文字］に設定してください。

3 ◉を押す。

- 静止画として撮影され、読み取る内容が表示されます。
- 複数の行を撮影したときは、◇で読み取る行を指定します。（文字の読み取りは、１行単位で行います。）

4 ◉［読取］を押す。

- 文字の読み取りが開始されます。
- 読み取りが完了すると、文字読み取りの候補選択画面になり、読み取った文字の内容が表示されます。

読み取り結果を修正する	◇で修正する文字→◇で候補 ● １文字ずつの修正候補が、画面下部に表示されます。修正候補がない場合はダイヤルボタンで入力します。 ● １文字ずつ削除するときは、クリアを押します。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

5 ◉を押す。

● 文字読み取り結果が表示されます。

読み取った文字を削除して読み取りをやり直す	ⓘ［再読取］→［はい］→◉
続けて文字を読み取る	Ⓜ→1［続き読み取り］ ● 文字読み取り画面が表示されます。 ● 先に読み取った文字につなげて、１つの文として利用できます。数行に分かれているURLやメールアドレスを読み取るときなどに便利です。最大256文字まで読み取りできます。
読み取りを追加する	Ⓜ→2［追加読み取り］ ● 文字読み取り画面が表示されます。 ● 最大３回に分けて読み取った文字を、１つのグループとして関連づけます。電話帳の項目を続けて読み取り、まとめて電話帳に登録するときなどに便利です。３回合計で最大508文字まで読み取りできます。
読み取った文字を編集する	Ⓜ→6［編集］
読み取った文字をすべてコピーする	Ⓜ→7［全コピー］ ● 他の画面に貼り付けて使用できます。
読み取った文字を削除する	Ⓜ→8［削除］→［はい］→◉
読み取り結果のカテゴリを変更する	◇ ● 読み取り結果がURL、メールアドレス、英単語のときは、カテゴリを変更できます。

6 ◉を押し、［はい］を選ぶ。

● 読み取った文字のカテゴリに応じて、ｉモード接続確認画面（URLのとき）、メール作成確認画面（メールアドレスのとき）、電話発信確認画面（電話番号のとき）、辞書検索確認画面（英単語のとき）が表示されます。

お知らせ

● 電話帳のPIMロック中、電話帳登録はできません。端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力するとPIMロックが一時的に解除され、電話番号、URL、メールアドレス、英単語を電話帳登録できるようになります。電話帳登録が終了すると、再びロックされます。
● 読み取る文字のカテゴリが、電話番号の場合、(　) は -（ハイフン）となります。
また、電話帳に登録するときや電話をかけるときには、-（ハイフン）は削除されます。
● 読み取る文字のカテゴリがURLの場合、対象のURLの「http://」が一部省略されていても、読み取り結果に追加されます。

読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する

読み取った文字は、認識したカテゴリに応じて、電話帳の各項目やブックマークに登録できます。

- 認識したカテゴリに応じて、電話帳の項目に登録されます。

カテゴリ	電話帳の項目	カテゴリ	電話帳の項目
URL	メモ	電話番号	電話番号
メールアドレス	メールアドレス	英単語	名前（姓）・フリガナ（姓）

1 文字の読み取り後の画面（☞**P.205**の操作５）で㊙を押す。

- サブメニューが表示されます。

2 読み取り結果を利用する。

電話帳登録	FOMA端末（本体）電話帳に新規登録する	3［電話帳登録］→1［本体新規］→［はい］→◉ ● 電話帳入力画面に読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます。（☞P.103）
	FOMAカード電話帳に新規登録する	3［電話帳登録］→2［FOMAカード新規］→［はい］→◉ ● 電話帳入力画面に読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます。（☞P.108）
	電話帳に追加／上書登録する	3［電話帳登録］→3［追加／上書］→［はい］→◉→名前→◉ ● 読み取ったURLは、メモの項目（☞P.101）に上書登録されます。このあと、電話帳登録の操作を続けます。（☞P.103）
URLをブックマークに登録する（☞P.225）		4［Bookmark登録］→［はい］→◉
全コピーする		7［全コピー］
削除する		8［削除］→［はい］→◉

読み取った文字を辞書で検索する

読み取った文字を辞書で検索できます。

- 操作の前に、電子辞書が入っているminiSDメモリーカードを挿入してください。

1 文字の読み取り後の画面（☞**P.205**の操作５）で㊙→5［辞書検索］を選び、［はい］を選ぶ。

- ブックリーダー一覧画面が表示されます。辞書の検索方法については、P.375を参照してください。
- 検索終了後、㊦を押すか、クリアを２回押すと、文字読み取り後の画面に戻ります。

カメラ

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

＊ メニューを切り替えるときは㊙［㊙基本メニューへ］または［㊙詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

ｉモード／ｉモーション

※ 掲載している画面はイメージのため、実際の画面とは異なる場合があります。

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

サイト（番組）接続

ｉモードメニューからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

インターネット接続

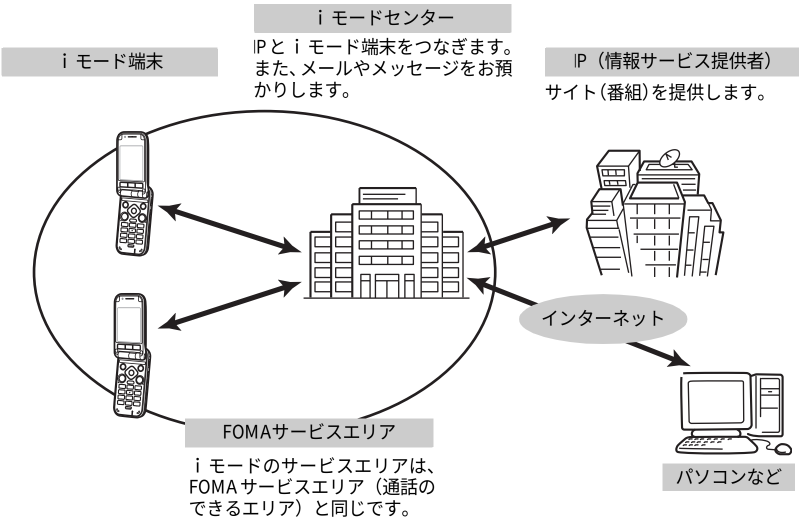
ｉモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、ｉモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

ｉモードメール

ｉモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

※ 本FOMA端末ではデコメールは受信のみ可能です。（☞P.261）

サービスのしくみ



ｉモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

お知らせ

- 新規でFOMAサービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容およびｉモードメールアドレスはそのまま引継がれます。サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引継がれないサイトもございますので、その場合は再登録をお願いします。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、ｉMenu内「お知らせ＆ヘルプ」でご確認できます。
- ｉモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金などにつきましては、ｉモードご契約時にお渡しする『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- ｉモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

サイト（番組）接続

簡単なボタン操作でサイトに接続して、IPが提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなどさまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

ｉモードセンターに接続すると、最初にｉMenuが表示されます。ここから、各サイト（番組）や［週刊ｉガイド］などへアクセスします。

サイトの表示方法☞P.212



1マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。（☞P.221）ｉMenu内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。
2週刊ｉガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。
3メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。
4とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます。（提供：D2コミュニケーションズ）
5ｉエリア	今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。
6かんたん検索	「ゲーム」「待受画面」などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。
6ｉアプリサーチ	ｉアプリを情報料が無料のものや、ゲームができるものなど目的別に紹介しているメニューです。（本FOMA端末はｉアプリに対応しておりません。）
6便利サイトサーチ	メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に合わせて紹介しているメニューです。
7マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。
8オプション設定	ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。
9お知らせ＆ヘルプ	ドコモからのお知らせや、ｉモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。
□料金＆お申込	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができます。
ENGLISH	ｉMenuを英語表記に変更できます。

※ 画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

お知らせ

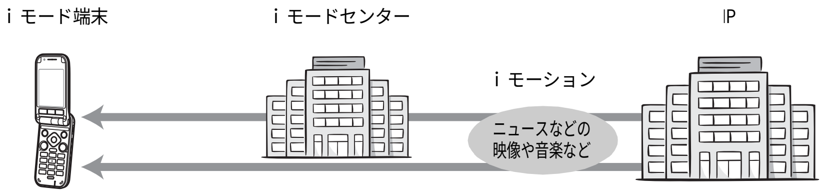
- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IPが提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- ｉモードアイコンが点滅していても、ｉモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu画面などが一部異なります。

■ こんなこともできます

iモーション

iモードのサイトから映像や音をiモード端末に取得し、再生したり、待受画面として楽しむことができます。☞P.250

- iモーションを取得するには☞P.251
- iモーションを再生するには☞P.251
- iモーションを自動再生設定するには☞P.253



着モーション／着うた®

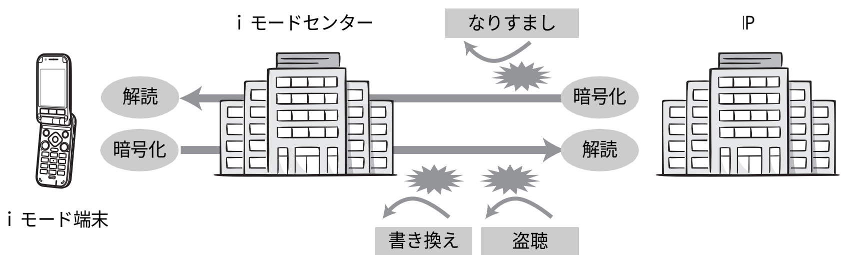
iモードのサイトからiモーションをiモード端末に取得し、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手などの歌声なども着信音としてご利用いただけます。
（一部の対応していないiモーションは着モーションに設定できません。）

- 着モーションを設定するには☞P.105、P.124
- 「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

SSL通信

SSLとは、認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。
SSL通信には、iモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと2つあります。なお、サイトによって、使用する証明書は異なります。☞P.246

- iモード端末に保存されているCA証明書を利用するには☞P.246
- FirstPassのユーザ証明書を利用するには☞P.246



※なりすまし：第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

FOMAカード動作制限機能

お客様情報〔電話番号・電話帳（一部）など〕を格納しているFOMAカードを、iモード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・動画などのファイルを動作制限します。また、別のFOMAカードを差し替えたり、または未挿入の状態で電源ONした場合、取得したファイルの再生・表示を不可にする機能です。

※ カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからiモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。
※ 着信音や待受画面設定など、iモード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

ｉメロディ
サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。☞P.232

ｉアニメ
サイトからお好みのアニメーション画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面に表示できます。☞P.135、P.137

Flash™
Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像を利用した画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面に設定することもできます。☞P.135
Flash画像によっては、お客様のｉモード端末の端末情報データを参照できるものがあります。利用する登録データには次のものがあります。☞P.238

- 電池残量
- 受信レベル
- 時刻情報
- 着信音量設定
- バイリンガル設定
- 機種情報

メッセージサービス
メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。メッセージサービスにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージR（メッセージリクエスト）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージF（メッセージフリー）	パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

- メッセージサービスの受信方法は☞P.240
- メッセージF（フリー）の設定について、2004年10月１日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申し込みの場合は、メッセージF設定のお買い上げ時の設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様ご自身で「受信しない」設定にご変更いただく必要がございますので、ご了承ください。
  ※上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。お買い上げ時には、「受信しない」設定になっております。
- 電源が入っていないとき、圏外などで受信できないときは、メッセージR／Fはｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードセンターでのメッセージR／Fの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管件数、最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージから順に削除されます。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

- ｉモードセンターに保管されたメッセージR／Fは、ｉモード問い合わせにより受信できます。（☞P.242）

トクだねニュース便
メッセージR（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。
トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。
- メッセージRの画面の見かたは☞P.243

■ｉモードパスワード
有料サイトの申し込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は［0000］に設定されていますので、お客様独自の４桁の数字に変更してください。☞P.222
ｉモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、iモード対応のインターネットホームページを表示できます。

● 表示方法は☞P.223

お知らせ

- iモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
  iモード対応のホームページとは、iモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。
  詳しくは☞P.223
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- URLが512文字を超えるインターネットホームページは表示できない場合があります。

iモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからiモード端末にダウンロードした文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- iモード端末に保存されている内容（メール、メッセージ、画面メモ、iモーション）やブックマークなどの登録内容は、iモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えを取っておくことをおすすめします。万が一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- iモード端末の修理などを行った場合、iモード・iモーションにて取得した情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトからダウンロードした静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディ）、「画面メモ」および「メッセージR／F」などを表示・再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面・指定着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容はお買い上げ時の状態にリセットされます。

サイト表示

サイトを表示する

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスをご利用いただけます。
FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。
（サイトによりサービス内容が異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。）

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◎→［iモード］→［iMenuを見る］の順に選ぶ。



- 待受画面で◉→［iMenuを見る］を選んでも同じ操作が行えます。
- iMenuが表示されます。
- 接続を中止するときは、接続中（［↯］点滅）に、◉［中止］を押します。

iモード中に表示されるマーク

- ：iモード待機中です。（点滅）
- ↯：iモード接続中です。（点滅）
- SSL：SSLページ表示中です。
- ：画像読み込み中と、画像表示設定が［OFF］の場合に表示されます。
- ：画像読み込みに失敗した場合、表示できない形式の画像の場合に表示されます。
- ☒：URLが正しくないために画像が読み込めない場合に表示されます。

 ＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

2 項目を選ぶ。

● この操作をくり返し、目的のサイトを表示します。

画面を上下にスクロールする	下：◇　上：◇
1画面単位でスクロールする	下：[小]　上：[大]
自動的にスクロールする	下：[#マナー]（1秒以上）　上：[*Ⓐ]（1秒以上） ● 自動スクロールを止めるときは、[*Ⓐ]、[#マナー]またはダイヤルボタンを押します。（ダイヤルボタンを押した場合、サイトやインターネットホームページによってはリンク先に移動することがあります。）

3 終了するときは[電源]を押し、［はい］を選ぶ。

● ｉモード通信が終了し、待受画面に戻ります。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → [i-mode]（ｉモード）を選ぶ。



● 待受画面で[i]を押しても同じ操作が行えます。

● ｉモードメニュー画面が表示されます。

2 [1] ［ｉ **Menu**］を選ぶ。

● ｉ Menuが表示されます。

● ｉモード中に表示されるマークや操作方法は、基本メニューと同じです。

お知らせ

● ｉモードメニュー画面で[メニュー]［バーコードリーダー］を押すと、バーコードリーダーを起動できます。（☞P.200）

● サイト表示時に、画像を読み込まないように設定することもできます。（☞P.239）

● サイトによっては、文字が正しく表示されなかったり、実際のサイトの画面と同じ表示ができない場合があります。文字が正しく表示されない場合は、文字コード変換を行うと正しい文字に変換して表示できることがあります。（☞P.223）

● サイトなどからダウンロードしたファイル形式により、FOMA端末の持っている最大表示色数で発色できない場合があります。

● サイト表示中に[i]［ｉモードトップ］を押すと、ｉモード終了確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、ｉモードメニュー画面が表示されます。

● 電話帳指定着信許可／拒否、非通知理由別着信拒否、電話帳登録外着信拒否を設定している場合、着信を許可しない相手からｉモード中やｉモード待機中に電話がかかってきたときも、着信音が鳴りません。相手の電話番号や電話帳に登録した名前が着信履歴に残ります。相手には話中音が聞こえます。

関連操作

文字コードを変換する<文字コード変換>

サイト表示中に[メニュー]▶［文字コード変換］▶◉

サイトのサーバ証明書を参照する<証明書参照>

サイト表示中に[メニュー]▶[#マナー]［証明書参照］

Flash画像やGIFアニメーションを再び再生する<リトライ>

サイト表示中に[メニュー]▶［リトライ］▶◉

ｉモードをPIMロックする<セキュリティ設定>

待受画面で[i]▶[9]［ｉモード設定］▶[*Ⓐ]（1秒以上）▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶[1]［ON］

ｉモード／ｉモーション

携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号送信について

サイトやインターネットホームページを表示するときに、携帯電話情報通知画面が表示されることがあります。［携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信します］と表示された場合、携帯電話情報を送信するときは［はい］を選んで◉を押します。送信しないときは［いいえ］を選んで◉を押します。送信せずに元の画面に戻るには、クリアを押すか、［戻る］を選んで◉を押します。

お知らせ

- 携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信される前に必ず、送信確認画面が表示されます。自動的に送信されることはありません。
- 送信される「携帯電話／ FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
- 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

サイトなどでの画像表示について

サイトやインターネットホームページ、画像メールやメッセージR／Fの画面には、画像が表示されることがあります。



- FOMA端末では、GIF形式やJPEG形式の画像、Flash画像を表示できます。（ただし、一部表示できないJPEG形式の画像もあります。）
- 画像を受信中は、［🔍］が表示され、受信が終わると画像を表示します。
- 画像を表示するかしないかを画像表示設定（☞P.239）で設定できます。［OFF］に設定すると、画像の代わりに［🔍］が表示されます。

お知らせ

- インターネット接続でGIF形式、JPEG形式の画像データやFlash画像も表示できます。ただし、受信したｉモードメールにGIF形式、JPEG形式の画像データやFlash画像のURLが記載されていても、画像メールとしては表示できません。この場合は、対象のURLをクリックすると「Web To機能」（☞P.235）を利用してGIF形式、JPEG形式の画像データやFlash画像が表示されます。
- 画像を取得できなかったときは、［▣］が表示されます。再読み込みを行うと、取得可能な場合があります。
- GIF形式、JPEG形式、Flash画像以外の画像を受信したときは、画像の代わりに［▣］または［添付ファイル削除］が表示され、画像は表示できません。

SSL対応のページを表示するとき



FOMA端末では、SSL通信に対応したサイトや「https://」から始まるインターネットホームページ（SSLページ）を表示できます。SSL対応のページを表示しようとしているときは、左のような画面が表示されます。
SSL通信を中止するときは◉を押します。

SSL対応のページを表示するときは、以下のいずれかの証明書を使用します。（☞P.246）

- ■ CA証明書　■ ドコモCA証明書　■ ユーザ証明書

- SSL対応のページを表示しているときは、［SSL］が表示されます。



SSL対応のページから通常のページへ移動するときは、SSLを終了するかどうかを確認する旨のメッセージが表示されます。

＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

● ［このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？］、［このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？］、［この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？］と表示されたときは、ページのSSL証明書が期限切れになっているか、FOMA端末が使用しているSSL証明書と異なる証明書を使用しているページを表示しようとしています。
この場合、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報を安全に送信できませんので、ご注意ください。続けてページを表示させるときは［はい］を選択します。ページを表示させないときは［いいえ］を選択します。

最後に表示したページに再接続する＜ラストURL＞

ｉモードを終了すると、最後に表示していたページのURLがラストURLとして記憶されます。ラストURLを利用すると、最後に表示したページに簡単に接続できます。

● URLが半角512文字を超えるページは表示されません。メロディのダウンロード完了の画面など、ページによってはラストURLに記憶されない場合があります。

基本メニュー（P.35）

1 待受画面で → ［ｉモード］→［ラストURL］の順に選ぶ。

● 待受画面で→［ラストURL］を選んでも同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で → （ｉモード）→［ラストURL］の順に選ぶ。



● 待受画面で→［ラストURL］を選んでも同じ操作が行えます。
● 最後に表示したページのURLが表示されます。
● ラストURLが記憶されていないときは、［ラストURLはありません］と表示されます。

2 ［接続］を押す。

● 最後に表示したページが表示されます。

関連操作

ラストURLを削除する＜削除＞
「最後に表示したページに再接続する＜ラストURL＞」の操作１の画面で ▶ 1 ［削除］▶［はい］▶

ラストURLをブックマークに登録する＜ブックマーク登録＞
「最後に表示したページに再接続する＜ラストURL＞」の操作１の画面で ▶ 2 ［Bookmark登録］▶ 1 ［OK］

ラストURLをコピーする＜コピー＞
「最後に表示したページに再接続する＜ラストURL＞」の操作１の画面で ▶ 3 ［コピー］

お知らせ

ブックマーク登録について
● ブックマークの登録方法については、P.225の操作１～２を参照してください。

コピーについて
● コピーは最大半角512文字まで可能です。（URLが半角512文字を超えるページは表示されません。）

ⓘ 9 3 2

文字サイズを変更する＜文字サイズ設定＞

お買い上げ時
標準

サイトやホームページ、画面メモの文字サイズを設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ i-mode（iモード）→［iモード設定］→［Internet設定］→［文字サイズ設定］の順に選んで、文字サイズを選ぶ。

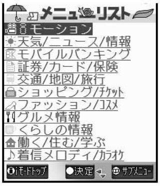
- 待受画面でⓘ→［iモード設定］→［Internet設定］→［文字サイズ設定］の順に選んでも、文字サイズを選べます。

大きい文字	1［大きい文字］
標準	2［標準］
小さい文字	3［小さい文字］

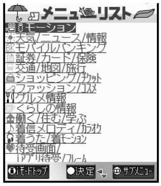
文字サイズの種類



［大きい文字］に設定した場合



［標準］に設定した場合



［小さい文字］に設定した場合

お知らせ

- サイトによっては、［文字サイズ設定］を変更すると正しく表示されない場合があります。
- 基本メニューに設定しているときは［大きい文字］で表示されます。

ⓘ 9 3 7

メロディの再生音量を設定する＜効果音設定＞

お買い上げ時
音量３

サイトやインターネットホームページ、画面メモのメロディの再生音量を設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ i-mode（iモード）→［iモード設定］→［Internet設定］→［効果音設定］の順に選ぶ。



- 待受画面でⓘ→［iモード設定］→［Internet設定］→［効果音設定］の順に選んでも同じ操作が行えます。

2 ◌（上げる）／◌（下げる）を押して音量を調節し、◉を押す。

お知らせ

- サイトやインターネットホームページを表示中にⓜ（サブメニュー）で音量変更することができます。

 ＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

サイトの見かたと操作

サイトやインターネットホームページでは、表示されている画面から他の画面に移動したり、情報をもう一度読み込むことができます。表示中のURLを確認したり、電話番号などを電話帳に登録することもできます。

Flash画像を表示する<Flash画像表示>

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flashとは絵や音を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。
また、Flash画像をデータBOXのマイピクチャに保存し、待受画面に設定することもできます。(☞P.135、P.321)

1 **Flash画像のあるサイト、インターネットホームページや保存している画面メモを表示する。(☞P.212の操作1～2、P.213の操作1～2、P.223の操作1～2)**

● Flash画像が自動的に再生されます。

Flash画像内にリンクなどが設定されているとき	◇◇◉0～9*#で、Flash画像内のリンクなどを選ぶことができます。 ● [↕] が表示されていない場合でも、操作できることがあります。
Flash画像の効果音の音量を設定する(☞P.236)	Flash画像を表示中にⓜ→[効果音設定]→◉→◇(上げる)／◇(下げる)→◉
Flash画像を再び再生する	Flash画像を表示中にⓜ→ [リトライ] →◉

お知らせ

● 携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号が送信される前に必ず、送信確認画面が表示されます。自動的に送信されることはありません。
● 送信される「携帯電話／ FOMAカード(UIM)の製造番号」は、IP(情報サービス提供者)がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP(情報サービス提供者)の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
● 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。
● 画像表示設定を[OFF]に設定しているとき、Flash画像は表示されません。
● 着信バイブレータを設定しても、Flash画像の効果音に合わせて振動することはありません。
● Flash画像を再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再生を再開するには◉を押します。(他のボタンでも再開できます。)
● 待受画面や発着信画面に設定されたFlash画像のメロディは再生されません。
● Flash画像によっては、画面メモとして保存しても、画像の一部が保存されないなど、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
● 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
● Flash画像によっては、再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。バイブレータを[OFF]に設定していても振動しますので、ご注意ください。
● Flash画像によっては、登録データを利用するものがあります。登録データの画像を利用するためには、iモード設定の登録データ利用設定を[利用する]に設定してください。お買い上げ時は、[利用する]に設定されています。(☞P.238)
● なお、画像が利用する登録データには次のものがあります。
■ 電池残量　■ 受信レベル　■ 時刻情報　■ 着信音量設定　■ バイリンガル設定　■ 機種情報
● Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
● Flash画像の保存については、P.231の操作1～3を参照してください。
● Flash画像のあるページをキャッシュで表示させた場合、サイトでの動作と異なる場合があります。

リンク先や項目を選択する

サイトやインターネットホームページでは、表示されている画面から、他の画面に移動できる場合があります。これを「リンク」といいます。リンク設定されている文字列は通常、青色で表示されます。選択されているリンクは、反転表示されます。

- リンクは画像に設定されていることもあります。選択すると、画像が実線で囲まれます。

リンクを選んで画面を移動する

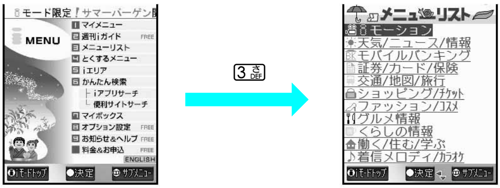


リンク先へ

- ◇を押すと、次のリンクが反転され、◇を押すと、前のリンクが反転表示されます。

番号をダイヤルボタンで指定して画面を移動する

選択できるリンクの先頭に［1］［2］［3］などの番号が付いていることがあります。先頭に付いている番号と同じダイヤルボタン（0～9、*、#）を押すと、移動できます。



リンク先へ

※ 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページもあります。

サイトやインターネットホームページ内の項目選択や文字入力

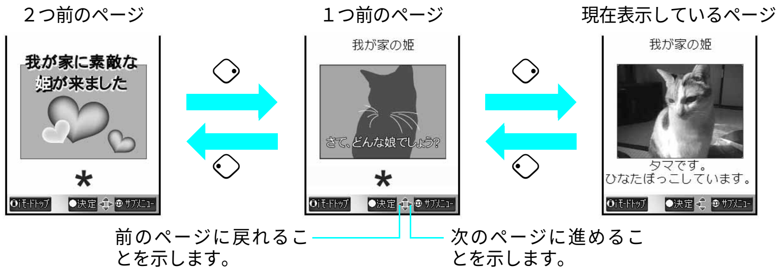
サイトやインターネットホームページ内で、次の方法で項目を選択したり、文字入力を行う場合があります。

名　称	表示例	内　容
ラジオボタン	○　：非選択状態 ◉　：選択状態	項目などの選択に使用します。１つの項目のみ選択できます。
チェックボックス	□　：未選択状態 ☒　：選択状態	項目などの選択に使用します。複数の項目を選択できます。
プルダウンメニュー	東　京 足立区 北　区	項目などの選択に使用します。プルダウンメニューを選ぶと、選択できる項目の一覧が表示されます。
テキストボックス	ID パスワード	文字を入力できます。文字入力画面で、サブメニューから「バーコードリーダー」を利用してJANコード／QRコードの文字情報をテキストボックスに入力できます。（メロディと画像は入力できません。文字情報として表示されます。また、テキストボックスに入力できない文字を読み取っても表示されません。）

＊ メニューを切り替えるときは(i)［(i)基本メニューへ］または［(i)詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

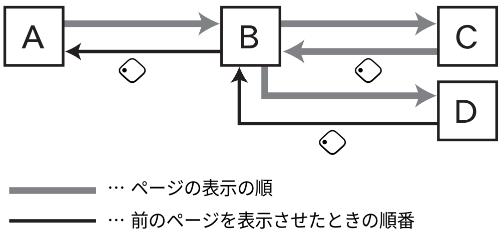
前のページに戻る／進む（キャッシュ、履歴について）

FOMA端末は、サイトやインターネットホームページの画面と表示してきた経路を、最大10件まで記憶しています。これを「キャッシュ」といいます。を押して前のページ／次のページを表示できます。



- を押して前のページを表示したあとは、を押して次のページを表示できます。
- キャッシュに記憶されたページを表示するときは、以前入力した文字や設定などの情報は表示されません。
- 履歴に10件記憶されている状態で、新たなページを表示すると、古い履歴から順に削除されます。
- を押して前、または次のページを表示するときに、キャッシュ内にそのページが残っていない場合や、FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしている場合や、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたサイトのページを表示する場合は、サイトからダウンロードして表示します。
- キャッシュに保存した画面を切り替えているとき、画面の表示に時間がかかることがあります。
- 履歴とキャッシュの情報は、ｉモードを終了するとリセットされます。
- を続けて押すと、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、途中でを押して前のページを表示させ（「C」から「B」に戻る）、そのページから他のページ（「D」）を表示させたときは、「D」からを２回押しても「C」は表示されません。「B」→「A」の順で前のページを表示します。

〈画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき〉



情報を再読み込みする＜再読み込み＞

サイトやインターネットホームページの情報が正常に受信できなかったとき（[ ] が表示されたとき）などに、もう一度そのサイトやインターネットホームページに接続して、情報をもう一度読み込むことができます。

- この操作はサイトやインターネットホームページの情報のダウンロードが完全に終わってから行ってください。

1 サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.212**の操作１～２、**P.213**の操作１～２、**P.223**の操作１～２）に、→1［再読み込み］を選ぶ。

- 再読み込みを開始します。
- 再読み込みを中止するときは、接続中（[ ] 点滅）に、［中止］を押します。

お知らせ

- 再読み込みを行っても、サイトやインターネットホームページの情報が正常に受信できない場合もあります。
- 画面メモ（☞P.228）は、再読み込みできません。

次ページへ続く

お知らせ

- サイトやインターネットホームページを次回から簡単に表示したいときは、ブックマーク（☞P.225）をご利用ください。

URLを参照する＜URL表示＞

表示中のサイトやインターネットホームページのURLを確認できます。
URLとは、「http://www.xxx.△△.jp」などで表示されるアドレスです。
URLは最大半角512文字（http://などを含む）まで表示できます。

- 表示したURLを編集することはできません。

1 サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.212**の操作1～2、**P.213**の操作1～2、**P.223**の操作1～2）に、m→9［**URL**表示］を選ぶ。

- サイトやインターネットホームページのURLが表示されます。
- 画面メモ（☞P.228）のURLを表示するときは、画面メモ一覧画面でm→4［URL表示］を選びます。
- ブックマーク（☞P.225）のURLを表示するときは、ブックマーク一覧画面でm→3［URL表示］を選びます。

URLをコピーする	m［コピー］
画面を上下にスクロールする	下：▽　上：△

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する＜電話帳登録＞

サイトやインターネットホームページで反転表示された電話番号やメールアドレスを、電話帳に登録できます。

1 サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.212**の操作1～2、**P.213**の操作1～2、**P.223**の操作1～2）に、電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせてm→8［電話帳登録］を選んで、登録方法を選ぶ。

FOMA端末（本体）電話帳に新規登録する	1［本体新規］
FOMAカード電話帳に新規登録する	2［FOMAカード新規］
電話帳に追加／上書登録する	3［追加／上書］

- 電話帳入力画面に、選択した電話番号やメールアドレスが入力されています。電話帳登録の操作を続けます。（☞P.103）

お知らせ

- 画面メモで反転表示される電話番号やメールアドレスも、電話帳に登録できます。（☞P.230）
- 反転表示される電話番号やメールアドレスでも、電話帳に登録できないことがあります。

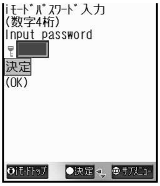
 ＊メニューを切り替えるときはi［i基本メニューへ］または［i詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

マイメニューに登録する

ｉMenu、メニューリストの中のよく利用するサイトをマイメニューに登録すると、次回からそのサイトに簡単に接続できます。
- マイメニューは最大45件まで登録できます。マイメニューに登録できないサイトもあります。
- インターネットホームページは登録できません。簡単に接続するにはブックマークをご利用ください。(☞P.225)

マイメニューに登録する

1 登録したいサイトを表示（☞**P.212**の操作１～２、**P.213**の操作１～２）し、マイメニュー登録用のメニュー（例：[1マイメニュー登録]）を選ぶ。



2 ［ｉモードパスワード入力］の入力欄を選んで、ｉモードパスワード（４桁の数字）を入力して◉を押す。
- 入力したパスワードは、［✱］で表示されます。

3 ［決定］を選ぶ。
- マイメニューへの登録が完了します。

お知らせ
- 各サイトによってページ構成が異なります。
- 有料サイトに申し込むと、自動的にマイメニューに登録されます。
- 詳しくは最新の『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

マイメニューに登録したサイトを表示する

基本メニュー（☞**P.35**）

1 待受画面で◉→［ｉモード］→［ｉ**Menu**を見る］→［マイメニュー］の順に選ぶ。
- 待受画面でⓘ→［ｉMenuを見る］→［マイメニュー］の順に選んでも同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［i-mode］（ｉモード）→［ｉ**Menu**］→［マイメニュー］の順に選ぶ。
- 待受画面でⓘ→［ｉMenu］→［マイメニュー］の順に選んでも同じ操作が行えます。
- 登録されているマイメニューの一覧画面が表示されます。

2 サイトを選ぶ。
- サイトのページが表示されます。

ｉモード／ｉモーション

次ページへ続く

お知らせ

- デュアルネットワークサービス（☞P.437）をご利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末でご利用になれない場合があります。

iモードパスワード変更

iモードパスワードを変更する

お買い上げ時
0000

マイメニューの登録／削除、メッセージR／FやiモードのPWは有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときには、iモードパスワード（４桁の数字）が必要です。

- iモードパスワードの変更は、iモードをご契約後に可能となります。なお、iモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。
- iモードパスワードをお忘れのときは、ご契約いただいたご本人であるかどうか確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口にご持参いただき、iモードパスワードを［0000］にリセットさせていただきます。

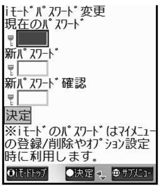
基本メニュー（☞**P.35**）

1 待受画面で◉→［iモード］→［i **Menu**を見る］の順に選び、i **Menu**で［オプション設定］→［iモードパスワード変更］の順に選ぶ。

- 待受画面でⓘ→［i Menuを見る］→［オプション設定］→［iモードパスワード変更］の順に選んでも同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［iモード］（iモード）→［i **Menu**］の順に選び、i **Menu**で［オプション設定］→［iモードパスワード変更］の順に選ぶ。



- 待受画面でⓘ→［i Menu］→［オプション設定］→［iモードパスワード変更］の順に選んでも同じ操作が行えます。

2 ［現在のパスワード］の入力欄を選んで、現在のiモードパスワード（４桁の数字）を入力して◉を押す。

- 現在のiモードパスワードの入力画面が表示されます。
- 入力したパスワードは、［＊］で表示されます。

3 ［新パスワード］の入力欄を選んで、新しいiモードパスワード（４桁の数字）を入力して◉を押す。

- 新しいiモードパスワードの入力画面が表示されます。
- 入力したパスワードは、［＊］で表示されます。

4 ［新パスワード確認］の入力欄を選んで、もう一度新しいiモードパスワード（４桁の数字）を入力して◉を押す。

- 新しいiモードパスワードの確認入力画面が表示されます。
- 入力したパスワードは、［＊］で表示されます。

5 ［決定］を選ぶ。

- iモードパスワードが変更されます。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

インターネットホームページを表示する

インターネットホームページのアドレス（URL: http://などで始まるアドレス）を入力して、接続できます。
- ｉモードに対応していないインターネットホームページや情報量の多いインターネットホームページは、正しく表示されないことがあります。

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉ → ｉモード → ［Internet］の順に選ぶ。
- 待受画面で◉→［Internet］を選んでも同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → （ｉモード）→［Internet］の順に選ぶ。
- 待受画面で◉→［Internet］を選んでも同じ操作が行えます。
- URLの入力画面が表示されます。（「http://」が入力されています。）
- 以前にURLを入力したことがある場合には、そのURLが表示されます。
- サイトやインターネットホームページ表示中に他のホームページに接続するときは、サイト表示中に⊡→［Internet］を選びます。
- バーコードリーダーを起動してURLを読み取る（☞P.200）ときは、詳細メニューから（ｉモード）→⊡［バーコードリーダー］を選びます。

2 URLを入力して◉を押す。
- 最大半角512文字まで入力できます。（「http://」などを含む。）
- インターネットホームページが表示されます。
- 表示中の操作はサイトの場合と同様です。

URLを間違えたとき	URLの入力画面でクリア ● 最後の一文字またはカーソルのあたっている文字が消えます。 ● すべての文字を消すときは、カーソルが最初の１文字、または最後の１文字の後にあるときにクリアを１秒以上押します。
接続を中止する	接続中（［↯］点滅）に◉［中止］
接続を終了する	⊡→［はい］→◉

お知らせ
- 文字が何も入力されていない状態でクリアを押すと、ｉモードメニューに戻ります。
- 受信したデータが、１ページの最大サイズを超えた場合、［最大サイズを超えたので中断しました］と表示され、受信を中断し取得したところまでのデータを表示します。

インターネットホームページを正しい文字で表示し直す<文字コード変換>

インターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、正しい文字に変換して再表示します。

1 サイトやインターネットホームページを表示中（☞P.212の操作１～３、P.213の操作１～２、P.223の操作１～２）に⊡→［文字コード変換］を選ぶ。
- インターネットホームページを正しい文字に変換して再表示します。
- 正しく表示されないときは、同じ操作をくり返します。

お知らせ
- 正しく表示されているときに文字コードを変換すると、正しく表示できない場合があります。
- 文字コード変換をくり返しても、正しく表示できない場合があります。
- 文字コード変換を４回くり返すと、元の表示に戻ります。

次ページへ続く

お知らせ

- 正しい文字で表示し直したあと、ページの更新、進む、戻るなどの操作を行った場合、文字表示は元に戻ります。

URL履歴を使ってページを表示する<URL履歴>

FOMA端末には、ｉモードメニューの［Internet］から接続したインターネットホームページの履歴を最大10件まで記憶しています。
この履歴を利用して、インターネットホームページへ再接続できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（ｉモード）→［**URL**履歴］の順に選ぶ。

- 待受画面で→［URL履歴］を選んでも同じ操作が行えます。
- URL履歴一覧画面が表示されます。

2 **URL**を選ぶ。

- 接続中画面表示後、インターネットホームページが表示されます。

お知らせ

- URL履歴が10件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- URL履歴が記憶されていないときは、［URL履歴はありません］と表示されます。

サイトやインターネットホームページ表示中に他のホームページに接続するとき

- →0［URL履歴］を押すと、URL履歴一覧画面が表示されます。以降は操作２と同様です。

関連操作

URL履歴を削除する<１件削除>

1 「URL履歴を使ってページを表示する」の操作１のURL履歴一覧画面で、URL履歴▶▶2［１件削除］
2 ［はい］▶◉

URL履歴のURLをすべて表示するとき<URL表示>

「URL履歴を使ってページを表示する」の操作１のURL履歴一覧画面で、URL履歴▶▶3［URL表示］

- URLをコピーするとき：［コピー］

ｉモード／ｉモーション

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは［基本メニューへ］または［詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する

よく見るサイトやインターネットホームページのURLをブックマークに登録しておくと、すぐに見たいページを表示できます。

- フォルダを追加して、ブックマークを種類ごとに分けて管理できます。(☞P.227)
- 画像やメロディが保存されているサイトやインターネットホームページのURLをブックマークに登録したとき、サイトやインターネットホームページによってはブックマークから表示できない場合もあります。

ブックマークに登録する

ブックマークはフォルダ全体で最大100件まで登録できます。

- 1件あたりのURLの文字数は、最大半角256文字までです。URLの文字数が256文字を超えるときは登録できません。

1 サイトやインターネットホームページを表示中(☞**P.212**の操作1～2、**P.213**の操作1～2、**P.223**の操作1～2)に、Ⓜ→2［**Bookmark**登録］を選ぶ。

- タイトルまたはURLの先頭から全角12文字分(半角24文字分)までが登録されます。タイトルの文字数が全角12文字(半角24文字)を超えるときは、超えた部分が削除されて登録されます。タイトルがないときは、先頭から24文字のURLが登録されます。
- Bookmark登録画面が表示されます。

すでにブックマークが100件登録されているとき	[Bookmarkがいっぱいです　他のBookmarkを上書きしますか？]→［はい］→◉→フォルダ→◉→上書きするブックマーク→◉
すでに同じURLが登録されているとき	[同じURLが登録されています　上書きしますか？]→［はい］→◉ ● ［いいえ］を選択すると、サイトやインターネットホームページの表示画面に戻ります。
URLが長すぎるとき	[URLが長すぎて登録できません]と表示され、登録できません。

2 登録する。

登録する	1［OK］
タイトルを変えて登録する	2［タイトル編集］→タイトルを編集→◉ ● 全角12文字(半角24文字)まで入力できます。

- ［Bookmark］フォルダに、ブックマークが登録されます。

お知らせ

- サイトやインターネットホームページ上で、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニューで選択したり、テキストボックスに入力した状態でブックマークに登録しても、選択した項目や入力した文字はブックマークに登録されません。
- サイトやインターネットホームページによっては、ブックマークに登録できない場合があります。

miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末(本体)に登録したブックマークをminiSDメモリーカードにコピーしたり(☞P.353)、miniSDメモリーカード内のブックマークを表示する(☞P.356)ことができます。
- miniSDメモリーカードに保存されているブックマークをFOMA端末(本体)にコピー(☞P.357)できます。

ブックマークに登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカード(☞P.349)やデータリンクソフト(☞P.532)をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ブックマークからサイトやインターネットホームページを表示する

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◎→［iモード］→［全**Bookmark**を見る］の順に選ぶ。



- 待受画面でi→［全Bookmarkを見る］を選んでも同じ操作が行えます。
- Bookmark全件表示画面が表示されます。
- 選択されているBookmarkのURLが画面上部に表示されます。
- サイトやインターネットホームページ表示中にブックマークを利用するときは、サイト表示中にm→3［Bookmark一覧］を選びます。

2 ブックマークを選ぶ。

- ページが表示されます。

ブックマークのURLを確認する	ブックマーク→m→3［URL表示］
ブックマークのURLをコピーする	ブックマーク→m→4［URLコピー］
接続を中止する	接続中（［↯］点滅）にi［中止］

1 詳細メニュー：待受画面で◎→［iモード］（iモード）→［**Bookmark**］の順に選ぶ。



Bookmarkフォルダ一覧画面

- 待受画面でi→［Bookmark］を選んでも同じ操作が行えます。
- Bookmarkフォルダ一覧画面が表示されます。
- サイトやインターネットホームページ表示中にブックマークを利用するときは、サイト表示中にm→3［Bookmark一覧］を選びます。

登録しているすべてのブックマーク一覧を表示する	m→4［全Bookmark表示］
miniSDメモリーカード内のブックマークを利用する	m→#［miniSDデータ参照］ ● 再びFOMA端末（本体）のブックマークを利用するときは、クリアクリアを押します。

2 フォルダを選んで、ブックマークを選ぶ。

- ページが表示されます。
- 操作方法は、基本メニューからの操作と同じです。

お知らせ

- Bookmark一覧は利用した順に表示されます。
- コピーした URL はメールやテキストメモの本文などに貼り付けることができます。貼り付け方法については、P.497を参照してください。
- Bookmarkが登録されていないときは、［Bookmarkの登録はありません］と表示されます。

関連操作

光るワンタッチキーでサイトやインターネットホームページを表示する

待受画面で、URLが登録されている1〜3▶◎［接続］

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

＊メニューを切り替えるときはi［i基本メニューへ］または［i詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

ブックマークを管理する

ブックマークを最大10個（[Bookmark］フォルダ含む）のフォルダに分けて管理できます。
作成したフォルダはフォルダ名を編集したり、削除できます。（ただし、あらかじめ登録されている[Bookmark］フォルダは、フォルダ名を編集したり、削除することはできません。）

- フォルダの作成、フォルダ名編集、削除はBookmarkフォルダ一覧画面で行います。
- ブックマークは次の方法で削除できます。

1件削除	ブックマークを1件ずつ削除します。
フォルダ内全件削除	フォルダ内のすべてのブックマークを削除します。
選択削除	複数のブックマークを選んでまとめて削除します。
全件削除	ブックマークを全件削除します。
フォルダ削除	フォルダごと削除します。

関連操作

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

1 Bookmarkフォルダ一覧画面（☞P.226）で ▶ 1 [フォルダ新規作成]
2 フォルダ名を入力 ▶
- 「新しいフォルダ」名を削除するとき：クリア（1秒以上）

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

1 Bookmarkフォルダ一覧画面（☞P.226）でフォルダ ▶ ▶ 2 [フォルダ名編集]
2 フォルダ名を編集 ▶
- フォルダ名を削除するとき：クリア（1秒以上）

別のフォルダに移動する<移動>

1 Bookmarkフォルダ一覧画面（☞P.226）でフォルダ ▶ ▶ ブックマーク ▶ ▶ 5 [移動]
2 1 [1件移動]
- フォルダ内のすべてのブックマークを移動するとき：2 [フォルダ内全件移動]
- 複数のブックマークを選んでまとめて移動するとき：3 [選択移動] ▶ ブックマーク（くり返し）▶ [完了]

3 フォルダ ▶

ブックマークのタイトルを変更する<タイトル編集>

1 Bookmarkフォルダ一覧画面（☞P.226）でフォルダ ▶ ▶ ブックマーク ▶ ▶ 1 [タイトル編集]
2 タイトルを入力 ▶
- タイトルを削除するとき：クリア（1秒以上）

ブックマークを削除する<削除>

1 Bookmarkフォルダ一覧画面（☞P.226）でフォルダ ▶ ▶ ブックマーク ▶ ▶ 2 [削除]
2 1 [1件削除]
- フォルダ内のすべてのブックマークを削除するとき：2 [フォルダ内全件削除] ▶ 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力 ▶
- 複数のブックマークを選んでまとめて削除するとき：3 [選択削除] ▶ ブックマーク（くり返し）▶ [完了]

3 [はい] ▶

フォルダごと削除する<フォルダ削除>

1 Bookmarkフォルダ一覧画面（☞P.226）でフォルダ ▶ ▶ 3 [削除]
2 2 [フォルダ削除] ▶ 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力 ▶
- すべてのブックマークを削除するとき：1 [全件削除] ▶ 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力 ▶

3 [はい] ▶

お知らせ

フォルダ名について
- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
- [Bookmark］のフォルダ名は変更できません。

次ページへ続く

関連操作

お知らせ

ブックマークのタイトルの変更について
- 最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

フォルダごとの削除について
- ［Bookmark］フォルダは、削除できません。
- Bookmarkフォルダ一覧画面で全件削除を行うと、フォルダは削除されず、全フォルダに登録されているすべてのブックマークが削除されます。

画面メモ

サイトの内容を保存する

お好きなサイトやインターネットホームページの画面を、画面メモとして保存しておくことができます。
- 画面メモ内の画像を、データBOXのマイピクチャに保存し直すと、待受画面に設定することもできます。(☞P.231)
- 画面メモは最大400件まで保存できます。保存・登録できる最大件数はデータ量によって変わります。保存・登録した画面メモのデータ量が大きいときは、保存・登録できる最大件数は少なくなります。
- 保存できる容量の半分まで保護設定できます。（最大200件）保護した画面メモは上書きされません。

画面メモを保存する

1 サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.212**の操作１～２、**P.213**の操作１～２、**P.223**の操作１～２）に、Ⓜ→4［画面メモ保存］を選ぶ。

- タイトルの全角12文字分（半角24文字分）までが表示されます。タイトルが設定されていないときは、［無題］と表示されます。
- 画面メモ保存画面が表示されます。
- 画面メモを登録するメモリの空き容量がない場合は、［画面メモがいっぱいです　書きかえますか？］と表示されます。
  ［はい］を選択して上書きする画面メモを選択すると、保存確認の画面に進みます。また、登録する画面メモの容量が指定した画面メモよりも大きい場合、［容量が不十分です　他の画面メモも書きかえますか？］と表示されます。［はい］を選択して上書きする画面メモを選択します。
  ［いいえ］を選択すると、サイトやインターネットホームページの表示画面に戻ります。

2 保存する。

保存する	1［OK］
タイトルを変えて保存する	2［タイトル編集］→タイトルを編集→◉ ● 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

- サイトやインターネットホームページの表示画面に戻ります。

お知らせ

- 画像表示設定を［OFF］に設定しているときは、画面メモに画像は保存されません。
- サイトやインターネットホームページ上で、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニューで選択したり、テキストボックスに入力した状態で画面メモを保存しても、選択した項目や入力した文字は画面メモに保存されません。
- ダウンロードした画像のサイズによっては、待受画面などに設定した場合、すべて表示できない場合があります。

画面メモを表示する

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［iモード］→［画面メモを見る］の順に選ぶ。

● 待受画面でi→［画面メモを見る］を選んでも同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［i-mode iモード］（ｉモード）→［画面メモ］の順に選ぶ。



画面メモ一覧画面

● 待受画面でi→［画面メモ］を選んでも同じ操作が行えます。

● 画面メモ一覧画面が表示されます。

（画面メモ）	通常の状態です。
（画面メモ）	保護されています。
（画面メモ）	FOMAカード動作制限（☞P.43）が設定されています。

2 画面メモを選ぶ。

● 指定した画面メモが表示されます。

画面を上下にスクロールする	下：◇　上：◇
１画面単位でスクロールする	下：小　上：大
自動的にスクロールする	下：# 1秒以上　上：＊ 1秒以上 ● 自動スクロールを止めるときは、＊、#またはダイヤルボタンを押します。（ダイヤルボタンを押した場合、サイトやインターネットホームページによってはリンク先に移動することがあります。）
前後の画面メモを表示する	次：◇　前：◇

お知らせ

● 画面メモに登録された情報は登録した時点の情報です。最新のサイトやインターネットホームページの情報と異なる場合があります。

● 画面メモが登録されていないときは、［画面メモはありません］と表示されます。

関連操作

画面メモのURLを確認する<URL表示>

「画面メモを表示する」の操作２の画面で☐▶9［URL表示］

● 画面メモ一覧から：画面メモ▶☐▶4［URL表示］

● URLをコピーするとき：URLが表示されている状態で☐［コピー］

画面メモの詳細な情報を確認する<情報表示>

「画面メモを表示する」の操作２の画面で☐▶4［情報表示］

● 画面メモ一覧から：画面メモ▶☐▶5［情報表示］

画面メモ内の静止画をデータBOXのマイピクチャにダウンロードする

「画面メモを表示する」の操作２の画面で☐▶5［画像保存］

画面メモのURLを記載したｉモードメールを作成する<メール作成>

「画面メモを表示する」の操作２の画面で☐▶6［メール作成］

画面メモ内の静止画を添付したｉモードメールを作成する<画像メール作成>

「画面メモを表示する」の操作２の画面で☐▶7［画像メール作成］▶画像▶◉▶1［URL貼り付け］／2［画像添付］

iモード／iモーション

次ページへ続く

関連操作

画面メモ内の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>
「画面メモを表示する」の操作2の画面で ▶ 8 [電話帳登録]

画面メモ内のFlash画像の効果音量を調節するとき<効果音設定>
「画面メモを表示する」の操作2の画面で ▶ [効果音設定] ▶ (上げる)/ (下げる) ▶

画面メモ内のFlash画像を再び再生する<リトライ>
「画面メモを表示する」の操作2の画面で ▶ [リトライ] ▶

お知らせ

静止画の取得について
- P.231を参照してください。

画像メール作成について
- iモードメール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているファイルは送信できません。
- iモードメール作成・送信については、P.263を参照してください。

電話帳登録について
- P.220の「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」を参照してください。

画面メモを管理する

画面メモを保護/削除したり、タイトルを変更できます。画面メモの情報を表示したり、並べ替えることもできます。

削除について

次の方法で削除できます。

1件削除	画面メモを1件ずつ削除します。
全件削除	すべての画面メモを削除します。
選択削除	複数の画面メモを選んでまとめて削除します。

並べ替え(ソート)について

ソートの順番は次のとおりです。

日付順(新→旧)	保存した日付の新しい順
タイトル順	タイトルによって、半角文字(記号→数字→英字大文字→英字小文字→カタカナ)→全角文字(記号→数字→英字大文字→英字小文字→ひらがな→カタカナ→記号・特殊文字→漢字→絵文字)の順 ※ 各文字種類内では、文字コード順
サイズ順	サイズの大きい順
保護優先	保護(日付順)→通常(日付順)の順(各項目内では「日付順(新→旧)」)

- ソートを行ったあとにタイトル編集などを行っても、自動的に再ソートされません。ご自分で再ソートしてください。

関連操作

画面メモのタイトルを変更する<タイトル編集>
画面メモ一覧画面(☞P.229)で画面メモ ▶ ▶ 2 [タイトル編集] ▶ タイトルを入力 ▶
- 画面メモ表示画面から: ▶ 2 [タイトル編集]
- タイトルを削除するとき: クリア (1秒以上)

画面メモを保護する<保護設定>
1 画面メモ一覧画面(☞P.229)で画面メモ ▶ ▶ 3 [保護設定]
- 画面メモ表示画面から: ▶ 3 [保護設定]

2 1 [ON]
- 解除するとき: 2 [OFF]

 ＊メニューを切り替えるときは [基本メニューへ] または [詳細メニューへ] を押します。(☞P.35)

関連操作

画面メモを削除する<削除>

1 画面メモ一覧画面（☞P.229）で画面メモ▶ⓜ▶1［削除］

2 1［1件削除］

- 画面メモ表示画面から削除するとき：画面メモ表示画面でⓜ▶1［1件削除］
- すべての画面メモを削除するとき：2［全件削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉
- 複数の画面メモを選んでまとめて削除するとき：3［選択削除］▶画面メモ◉（くり返し）▶ⓘ［完了］

3 ［はい］▶◉

画面メモの情報を表示する<情報表示>

画面メモ一覧画面（☞P.229）で画面メモ▶ⓜ▶5［情報表示］

- 確認を終わるとき：◉

画面メモを並べ替える<ソート>

画面メモ一覧画面（☞P.229）でⓜ▶6［ソート］▶ソート方法▶◉

お知らせ

画面メモのタイトルについて

- 最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

画面の保護について

- 保護された画面メモには、［保護アイコン］が表示されます。

画面メモの削除について

- 全件削除では、保護されていない画面メモだけを削除します。

画面メモの並べ替えについて

- お買い上げ時は、日付順（新→旧）に設定されています。
- 設定した表示方法は、表示方法を変更するまで有効です。

画像保存

サイトやメッセージから画像を取得する

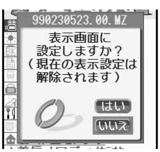
サイト、インターネットホームページやメッセージR／Fのお好みの画像やFlash画像、フレームやスタンプを取得して保存できます。保存した画像は待受画面などに設定できます。（☞P.135）

- 保存した画像は、データBOXのマイピクチャの［ｉモード・その他］または作成したフォルダに保存できます。（☞P.361）
- 画像の保存件数は、FOMA端末（本体）に保存する場合は最大520件です。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。
- 保存できる画像のファイルサイズや種類は、GIF画像（100Kバイト）、JPEG画像（100Kバイト）、SWF画像（Flash）（100Kバイト）です。

例：サイトやインターネットホームページの場合

1 サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.212**の操作１～２、**P.213**の操作１～２、**P.223**の操作１～２）に、ⓜ→5［画像保存］を選ぶ。

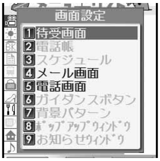
2 画像を選んで、フォルダを選ぶ。



- ［保存中］［XXXに保存しました］と表示されたあと、左の画面が表示されます。（フレームやスタンプの場合は表示されません。）

次ページへ続く

3 ［はい］を選んで、設定先の画面を選ぶ。



- 画像のファイル形式によって、設定できる項目が異なります。設定できない項目はグレーで表示されます。
- 待受画面に設定するときは、［待受画面に設定しますか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押します。

お知らせ

- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールから画像を取得する場合は、メモリマークにご注意ください。メモリマークが表示されているときに、画像を取得すると上書き保存される場合があります。
  あらかじめ、データBOXの不要な画像を削除して、メモリマークの表示を消すことをおすすめします。（画面メモ保存はできます。）

Ⓜ（黄色）	メモリの空き容量が800Kバイト未満になったときに表示されます。
Ⓜ（赤色）	メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示されます。

ｉメロディ

サイトからメロディをダウンロードする

サイトやインターネットホームページからメロディをダウンロードして保存できます。ｉメロディは最大150件まで保存できます。（メロディのサイズによって、保存できる件数が変わります。）
保存したメロディは着信音に設定したり、ｉモードメールに添付したりできます。

- 保存できるメロディのファイルサイズや種類は、SMF（100Kバイト）、MFi（100Kバイト）です。

1 サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.212**の操作１～２、**P.213**の操作１～２、**P.223**の操作１～２）に、メロディを選ぶ。

- ダウンロードが終了すると、［完了しました］と表示されます。
- ダウンロード中にアニメーションが表示されない場合もあります。
- 保存確認画面が表示されます。
- ダウンロードを中止するときは、ダウンロード中にⓘ［中止］または(クリア)を押します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

2 保存する。

メロディを保存する	2［保存］ ● 演奏位置情報が設定されているメロディのときは1［フルコーラス再生］／2［ポイント再生］を押します。 ●［フルコーラス再生］で保存すると、全部演奏されます。 ●［ポイント再生］で保存すると、あらかじめ設定されている一部が演奏されます。
メロディを再生する	1［再生］ ● 演奏位置情報が設定されているメロディのときは1［フルコーラス再生］／2［ポイント再生］を押します。 ● 再生を中止するときは、●またはクリアを押します。 ● 音声電話着信音（☞P.128）の音量で再生されます。音声電話着信音が［サイレント］、［ステップトーン］のときは、［音量1］で再生されます。 ● マナーモードを設定しているときは、確認画面が表示されます。［はい］を選んで●を押します。
保存しない	3［保存しない］
すでにメロディが150件保存されているとき	2［保存］→1［フルコーラス再生］／2［ポイント再生］→［はい］→●→3［メロディ］→フォルダ→●→上書きするメロディ→ⓘ［完了］→［はい］→●

お知らせ

登録したｉメロディは、パソコンをお持ちの場合は、miniSDメモリーカード（☞P.349）を利用してパソコンに転送・保管することをおすすめします。

● FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。（メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているメロディは転送できません。）

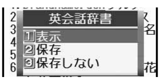
ダウンロード辞書

サイトから辞書をダウンロードする

サイトやインターネットホームページからダウンロード辞書をダウンロードし、FOMA端末に登録して利用できます。

● ダウンロード辞書ファイルは最大５件まで登録できます。（ただし、使用できる辞書は最大２件です。）
● 保存できるダウンロード辞書のファイルサイズは、最大6Kバイトです。
● ｉMenu内のサイト［SH-MODE］から、FOMA端末で利用できるダウンロード辞書をダウンロードできます。
［ｉMenu］→［3メニューリスト］→［ケータイ電話メーカー］→［SH-MODE］

1 サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.212**の操作１～２、**P.213**の操作１～２、**P.223**の操作１～２）に、ダウンロード辞書を選ぶ。



● ダウンロードが終了すると、［完了しました］と表示されます。

2 保存する。



ダウンロード辞書を表示する	1［表示］
ダウンロード辞書を保存する	2［保存］→登録番号→● ● すでに登録されている番号を選んだときは、上書きするかどうかを確認する旨のメッセージが表示されます。［はい］を選んで●を押します。
ダウンロード辞書を保存しない	3［保存しない］

3 辞書の使用を設定する。

ダウンロード辞書を使用する	[はい] →◉→◉ [確認]
ダウンロード辞書を使用しない	[いいえ] →◉

● すでに使用辞書設定に２件登録されているときは、使用辞書登録の確認画面は表示されません。現在設定されている辞書を解除して、辞書の使用を設定してください。解除方法については、P.500「使用辞書を設定／解除する」の操作１～２を参照してください。

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメール内で反転表示された情報（電話番号、メールアドレス、URLなど）を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示できます。

● パソコンなどから装飾されたメールを受信すると、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能が使用できない場合があります。

Phone To（AV Phone To）機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメールの中に表示されている電話番号に、音声電話やテレビ電話をかけることができます。

● 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。
● ダイヤル発信制限（☞P.165）中は、Phone To（AV Phone To）機能を使って電話をかけることはできません。

1 サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメール表示中に、電話番号を選んで、[はい] を選ぶ。

● 発信する電話番号が表示されます。
● 電話帳に登録されている電話番号の場合、電話番号と登録されている名前が表示されます。

2 電話をかける。

音声電話をかける	☎／◉ [音声電話]
テレビ電話をかける	ⓘ [テレビ電話] ● サイトやインターネットホームページの場合は、ⓘ [テレビ電話] を押し、[はい] を選んで◉を押します。

● 表示されている電話番号に発信します。

お知らせ

● サイトやインターネットホームページの場合、電話番号自体は表示されず、[電話番号はこちら] などの文字が反転表示されることがあります。
● サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメールなどの中に表示されている電話番号を電話帳に登録することもできます。（☞P.220、P.243、P.277）
● メールの本文中に次の条件を満たす数字列が表示されている場合は、電話番号として認識されてPhone To（AV Phone To）機能を利用できます。
■「0」または「+」（半角）から始まる10～26桁の数字列
■「#」または「¥」で始まる「#」と「¥」を含めて５～26桁の数字列
■「tel:」または「TEL:」で始まる３～26桁の数字列
■「tel-av:」または「TEL-AV:」で始まる３～26桁の数字列（テレビ電話）
※ 上記の数字列内に「-」（ハイフン）、「(」、「)」が含まれているときも、電話番号として認識されます。（ただし、これらの記号が連続した場合は、電話番号として認識されません。）

 ＊メニューを切り替えるときはⓘ [ⓘ基本メニューへ] または [ⓘ詳細メニューへ] を押します。（☞P.35）

Mail To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメール内に表示されているメールアドレスに、ｉモードメールを送ることができます。

- 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。
- メールアドレスが２つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用できない場合があります。
- メールアドレスとして使える文字数は半角50文字までです。51文字以上のアドレスは、反転表示されても、宛先欄にメールアドレスが正しく入力されません。

1 サイト、インターネットホームページ、メッセージ**R**／**F**やメール表示中に、メールアドレスを選ぶ。

- メール作成画面が表示されます。選択したメールアドレスが入力されています。
- サイトやインターネットホームページから操作したときは、題名や本文が入力されていることもあります。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.264の操作３～４を参照してください。

お知らせ

- サイトやインターネットホームページの場合、メールアドレス自体は表示されず、［メールはこちら］などの文字が反転表示されることがあります。
- サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメールの中に表示されているメールアドレスを電話帳に登録することもできます。（☞P.220、P.243、P.277）

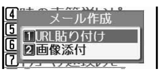
画像メールを作成する

サイトやインターネットホームページで表示されている画像のURLを貼り付けた、ｉモードメールを作成します。

- 画像を添付したｉモードメールを作成することもできます。

1 サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.212**の操作１～２、**P.213**の操作１～２、**P.223**の操作１～２）に、Ⓜ→7［画像メール作成］を選ぶ。

2 画像を選んで、メールの作成方法を選ぶ。



- 複数の画像がある場合は、画像を選んで◉を押します。

URLを貼り付けたｉモードメールを作成する	1［URL貼り付け］
画像を添付したｉモードメールを作成する	2［画像添付］→◉［確認］

3 ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.264の操作２～４を参照してください。

お知らせ

- 送信できるのは、GIF形式またはJPEG形式の画像ファイルです。Flash画像は送信できません。
- ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているファイルは送信できません。

Web To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメール内に表示されているURLからインターネットホームページを表示できます。

- メール本文に静止画のURLが記載されているときは、静止画を保存することもできます。
- メール本文にｉモーションのURLが記載されているときは、ｉモーションを取得することができます。
- 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。
- URLが半角512文字を超える場合は、インターネットホームページを表示できません。

次ページへ続く

1 サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメール表示中に、アドレス（URL）を選ぶ。

- メール本文のURLを選択したときは、このあと[メニュー]［はい］を押します。
- 接続が開始され、指定したインターネットホームページが表示されます。
- 以降は、ｉモードのインターネット接続と同様です。（☞P.212）

お知らせ

- サイトやインターネットホームページの場合、URL 自体は表示されず、インターネットホームページの名称などの文字が反転表示されることがあります。
- ｉモーション待受画面（☞P.135）からWeb To機能はご利用になれません。

関連操作

メール本文のURLから静止画を保存する<画像保存>

URL ▶ [決定] ▶ [メニュー]［はい］▶ [メニュー] ▶ [5]［画像保存］▶ [決定] ▶ フォルダ ▶ [決定]

お知らせ

- 保存した静止画は、データBOXのマイピクチャの［ｉモード・その他］フォルダに保存できます。

ｉモードの設定を行う

ｉモード接続に関する各種の機能を設定します。

Flash画像の効果音量を調節する<効果音設定>

お買い上げ時：音量３

Flash画像の効果音量を設定できます。

1 サイトやインターネットホームページを表示中（☞P.212の操作１～２、P.213の操作１～２、P.223の操作１～２）に[メニュー]→［効果音設定］を選ぶ。

- 効果音調節画面が表示されます。

2 [上]（上げる）／[下]（下げる）を押して音量を調節し、[決定]を押す。

- 効果音を鳴らさないときは、［サイレント］を選んで[決定]を押します。

お知らせ

- マナーモード設定中は、効果音を設定しても効果音は鳴りません。
- Flashによっては効果音の鳴らないものもあります。

[ｉ][9][1][1]

接続待ち時間を設定する<接続待ち時間設定>

お買い上げ時：60秒間

サイトやインターネットホームページが混み合っていてデータの送受信ができなかったときに、自動的にデータの送受信を中止するまでの時間を［60秒間］［90秒間］［無制限（設定なし）］のいずれかに設定できます。

 ＊メニューを切り替えるときは[ｉ]［[ｉ]基本メニューへ］または［[ｉ]詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ i-mode（ｉモード）→［ｉモード設定］→［共通設定］→［接続待ち時間設定］の順に選んで、接続待ち時間を選ぶ。

● 待受画面で(i)→［ｉモード設定］→［共通設定］→［接続待ち時間設定］の順に選んでも、接続待ち時間を選べます。

60秒間	1［60秒間］
90秒間	2［90秒間］
無制限（設定なし）	3［無制限（設定なし）］ ● ｉモードセンターとの切断時間を設定しません。（ただし、電波状況などにより切断される場合があります。）

● 接続待ち時間が設定されます。

お知らせ

● 設定されている接続待ち時間が経過した場合、［設定時間内に接続できませんでした］と表示され、元の画面に戻ります。

ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）＜ｉモード接続先選択＞

※ ドコモのｉモードサービスをご利用の場合、設定を変更する必要はありません。

ISP接続通信とは

ドコモのFOMA端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続が可能になります。ISP接続通信のご利用に際しては、パケット通信サービスのお申し込みが必要です。なお、ISP接続通信にはパケット通信料がかかります。

※ｉモードをご契約しているお客様はお申し込み不要です。

● ドコモ以外の接続先を選択した際のパケット通信はパケ・ホーダイの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

プロバイダ契約について

● ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については、各プロバイダにお問い合わせください。

● プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合があります。

● お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダにお客様の電話番号や位置情報が通知される場合があります。

● 本FOMA端末に登録できる接続先は、最大10件です。（「ｉモード（FOMAカード）」を含まず）

●「ｉモード（FOMAカード）」以外の接続先にすると、ｉモードをご利用できなくなります。

接続先を登録する

(i) 9 1 2

最大10件（「ｉモード（FOMAカード）」を含まず）まで登録できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ i-mode（ｉモード）→［ｉモード設定］→［共通設定］→［接続先選択］の順に選ぶ。

● 待受画面で(i)→［ｉモード設定］→［共通設定］→［接続先選択］の順に選んでも同じ操作が行えます。

● 接続先選択画面が表示されます。

2 登録する番号を選んで、2［編集］を選ぶ。

● 端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。

● 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。

次ページへ続く

4 接続先名称を入力して◉を押す。

- 新規登録のときは［接続先○］と表示されます。（○には操作２で選択した接続先の番号が表示されます。）
- 表示されている接続先名称を消すときは、クリアを１秒以上押します。
- 最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

5 接続先を入力して◉を押す。

- 半角英数字と記号を、最大半角99文字まで入力できます。

6 接続先アドレスを入力して◉を押す。

- 半角英数字と記号を、最大半角30文字まで入力できます。

接続先を変更する

ⓘ９１２

あらかじめ、接続先を登録しておく必要があります。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ iモード（ｉモード）→［ｉモード設定］→［共通設定］→［接続先選択］の順に選ぶ。

- 待受画面でⓘ→［ｉモード設定］→［共通設定］→［接続先選択］の順に選んでも同じ操作が行えます。
- 接続先選択画面が表示されます。

2 接続先の番号を選んで、１［設定］を選ぶ。

- 接続先が変更されます。
- ［ｉモード（FOMAカード）］を選んで◉を押した場合は、［ｉモード（FOMAカード）を選択しました］と表示され、接続先が変更されます。

お知らせ

- ドコモのｉモードサービスをご利用の場合、設定を変更する必要はありません。
- 接続先選択の画面で表示される「ｉモード」は、ｉモードをご契約された地域により、次のいずれかになります。
  - ■「ドコモ北海道」「ドコモ東北」「ドコモ」「ドコモ東海」「ドコモ北陸」「ドコモ関西」「ドコモ中国」「ドコモ四国」「ドコモ九州」
- お買い上げ時の接続の情報を変更することはできません。

関連操作

登録内容をリセットする<リセット>

「接続先を登録する」の操作１の画面で接続先の番号▶◉▶３［リセット］▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉

お知らせ

- 現在設定されている接続先をリセットすると、接続先は「ｉモード（FOMAカード）」になります。

ⓘ９３６

Flash再生時に端末情報を利用するかどうかを設定する <登録データ利用設定>

お買い上げ時
利用する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ iモード（ｉモード）→［ｉモード設定］→［Internet設定］→［登録データ利用設定］の順に選んで、１［利用する］を選ぶ。

- 待受画面でⓘ→［ｉモード設定］→［Internet設定］→［登録データ利用設定］→１［利用する］の順に選んでも同じ操作が行えます。

 ＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

i 9 3 1

画像を表示しないようにする＜画像表示設定＞

お買い上げ時
ON（表示する）

サイトやインターネットホームページ、メッセージR／F本文内の画像や画面メモの静止画を表示しないように設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◈→ i-mode（ｉモード）→［ｉモード設定］→［Internet設定］→［画像表示設定］の順に選んで、2［OFF］を選ぶ。

- 待受画面でⓘ→［ｉモード設定］→［Internet設定］→［画像表示設定］→2［OFF］を選んでも同じ操作が行えます。

お知らせ

- 画像表示設定を、［OFF］に設定すると、静止画の表示位置に［🔍］が表示されます。
  この場合、表示されている静止画を画面メモに登録しても、静止画は保存されません。（☞P.228）
- 画像表示設定を、［OFF］に設定すると、Flash画像も表示されません。
- ｉモードメールやメッセージR／Fの添付画像は、画像表示設定を［OFF］に設定していても表示されます。

i 9 4

ｉモード機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す＜ｉモード設定リセット＞

ｉモードに関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。
リセットされる項目と、お買い上げ時の状態は次のとおりです。

設定項目			お買い上げ時の設定
共通設定	接続待ち時間設定		60秒間
	接続先選択		ｉモード（FOMAカード）
Internet設定	画像表示設定		ON
	文字サイズ設定		標準
	証明書設定		ドコモ証明書1～2 CA証明書すべて有効
	ｉモーション設定	自動再生設定	する
		ｉモーションタイプ設定	標準タイプ
	セキュア通信サービス設定	センター接続先設定	ドコモ
	登録データ利用設定		利用する
	効果音設定		音量3

1 詳細メニュー：待受画面で◈→ i-mode（ｉモード）→［ｉモード設定］→［ｉモード設定リセット］の順に選んで、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◈を押す。

- 待受画面でⓘ→［ｉモード設定］→［ｉモード設定リセット］の順に選んで、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して決定ボタンを押しても同じ操作が行えます。
- 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。
- ｉモードリセット確認画面が表示されます。

2 ［はい］を選ぶ。

- 設定がリセットされます。

メッセージR／Fとは

メッセージサービスを提供するサイトに申し込みいただくことにより、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。メッセージにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージR （メッセージリクエスト）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージF （メッセージフリー）	パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

- メッセージR／Fの受信方法は「メッセージR／Fを受信したときは」を参照してください。
- 圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどで受信できないときは、メッセージR／Fはｉモードセンターに保管されます。

メッセージF（メッセージフリー）の設定方法

［ｉMenu］→［8オプション設定］→［3メッセージF設定］→［受信する］を選択後、ｉモードパスワード（４桁の数字）を入力し［決定］

メッセージR／Fを受信したときは

FOMA端末がｉモード圏内にあるときは、ｉモードセンターからメッセージR／Fを自動的に受信します。

- メッセージR／Fは、それぞれ最大50件までFOMA端末に保存できます。（メッセージのサイズによって、保存できる件数が変わります。）
- FOMA端末が以下のようなときに送られてきたメッセージR／Fは、ｉモードセンターに保管されます。
  - ■ 電源が入っていないとき
  - ■ セルフモード中
  - ■ 圏外
  - ■ テレビ電話の通話中
  - ■ FirstPassセンター接続中
  - ■ 保護や未読のメッセージR／Fがいっぱいで空き容量がないとき

お知らせ

マークの意味

マーク	意　味
R／F	未読メッセージR／Fがあります。 メッセージR／Fの確認については、P.243を参照してください。
R／F	FOMA端末の受信メッセージR／Fがいっぱいです。 未読メッセージの確認（☞P.243）、メッセージR／Fの保護解除（☞P.245）、不要なメッセージR／Fの削除（☞P.245）を行ってください。
R／F	センターでメッセージR／Fをお預かりしています。 メッセージR／Fを受信したいときは、ｉモード問い合わせ（☞P.242）を行ってください。
R／F	センターでお預かりしているメッセージR／Fがいっぱいです。 ｉモード問い合わせ（☞P.242）を行ってください。

RRRR：リクエスト、FFFF：フリーの意味です。

- メッセージR／Fを受信したときに、メモリの空き容量がない場合、保護されていない一番古い既読のメッセージR／Fから順に自動的に上書きされます。上書きされたくないメッセージR／Fを保護できます。（☞P.245）
- ｉモードセンターでメッセージR／Fが保存されていても、［R／F］、［R／F］が表示されない場合があります。
- ［R／F］が表示された場合、ｉモードセンターのメッセージR／Fが上書きされることがあります。
- 通話中、ｉモーション／メロディ再生中などにメッセージを受信した場合、メッセージ着信音は鳴りません。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

新着メッセージR／Fを表示する

メッセージR／Fが届くと、最新の1件が自動的に表示されます。
ただし、メッセージ自動表示設定を［自動表示なし］に設定している場合、受信したメッセージR／Fは表示されません。

- 自動表示を行うメッセージの種類や、別の種類のメッセージR／Fを同時に受信したときの優先順位を設定できます。

1 メッセージR／Fが届くと自動的に受信する。

- メッセージR受信中は［R］が、メッセージF受信中は［F］が点滅します。
- 受信終了後、メッセージR／Fの受信結果が表示され、メッセージ着信音が鳴ります。（［R］／［F］表示）

すぐにメッセージR／Fの内容を確認する	受信結果画面で［メッセージR］／［メッセージF］→◉→メッセージR／F→◉
着信音を止める	クリアまたは終話 ● 着信音が止まり、受信結果画面が消えます。その他のボタンを押すと、受信結果画面のまま着信音が止まります。

2 受信したメッセージR／Fを約15秒間表示し、自動的に待受画面に戻る。（自動表示するように設定している場合）

- メッセージR／Fの表示を続けるときは、メッセージR／Fを表示中に◇を押して、スクロールなどの操作を行います。

お知らせ

待受中以外の状態で受信したとき

- ディスプレイに［R／F］が表示されます。受信完了画面は表示されません。

◇0 7

メッセージR／Fを自動的に表示する＜メッセージ自動表示設定＞

お買い上げ時
メッセージR優先

自動表示を行うメッセージの種類と、優先順位を設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail メール （メール）→［メール設定］→［メッセージ自動表示設定］の順に選んで、表示方法を選ぶ。

［メッセージR優先］	1	未読のメッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージRを自動表示します。
［メッセージF優先］	2	未読のメッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージFを自動表示します。
［メッセージRのみ］	3	未読のメッセージRのみ自動表示します。
［メッセージFのみ］	4	未読のメッセージFのみ自動表示します。
［自動表示なし］	5	自動表示しません。

- メッセージ自動表示が設定されます。

お知らせ

- 自動表示を行うように設定しているときは、次の場合に最新の未読メッセージR／Fを約15秒間表示します。
  - ■ 受信結果画面から待受画面に戻るとき
- 次の場合は、メッセージ自動表示の設定にかかわらず、自動表示されません。
  - ■ オールロック中
  - ■ メールのPIMロック中

メッセージR／Fがあるかどうかを問い合わせる

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなど（☞P.240）に送られてきたメッセージR／FはｉモードセンターにI保管されています。
メッセージR／Fがｉモードセンターに保管されているかどうかを問い合わせ、保管されている場合は受信します。

- ｉモード問い合わせを行う種類（ｉモードメール、メッセージR／F）を設定できます。（☞P.295）
- メール選択受信設定を［ON］に設定しているときも、ｉモード問い合わせを行うと、ｉモードメールやメッセージR／Fを受信します。
- お買い上げ時は、すべての種類の問い合わせを行うように設定されています。
- SMSの問い合わせについては、P.310を参照してください。

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［メール機能］→［ｉモード問い合わせ］の順に選ぶ。

- 待受画面で◇→［ｉモード問い合わせ］を選んでも同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［iモード］（ｉモード）または［メール］（メール）→［ｉモード問い合わせ］の順に選ぶ。

- 待受画面でⓘまたは◇→［ｉモード問い合わせ］を選んでも同じ操作が行えます。
- 問い合わせが開始されます。
- ｉモード問い合わせ設定（☞P.295）の設定に従い、［ｉモードメール］→［メッセージR］→［メッセージF］の順でｉモード問い合わせを行います。
（問い合わせをしているマーク（［✉］［R］［F］）が順次表示されます。）
- 受信を中止するときは、受信中に◉を押します。
- 受信を中止したメッセージR／Fは、ｉモードセンターに保管されます。（［R］／［F］表示）
- 受信を中止するタイミングにより、メッセージR／Fを受信してしまう場合もあります。

2 新しく届いたメッセージR／Fがある場合は、メッセージR／F着信音が鳴る。

- ｉモード問い合わせが終了します。
- センターにメッセージR／Fが保管されていないときは、件数が［０］と表示されます。
- ｉモードメールとメッセージR／Fを同時に受信した場合は、最後に受信したメールまたはメッセージR／Fの着信音が鳴ります。
- 着信音を途中で止めるときは、クリアを押します。他のボタンでも止めることができます。（☞P.272）

3 受信結果画面で［メッセージR］または［メッセージF］を選ぶ。

- メッセージRまたはメッセージFの一覧画面が表示されます。
- すぐに表示しないときは、受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後にｉモードメニュー画面に戻ります。
- ｉモード問い合わせで受信したメッセージR／Fは、自動表示されません。

4 表示したいメッセージR／Fを選ぶ。

- メッセージR／Fの見かたについては、P.243を参照してください。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

メッセージBOXのメッセージR／Fを表示する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ i-mode （iモード）→［メッセージ］の順に選んで、メッセージR／Fを選ぶ。

● 待受画面で(i)→［メッセージ］を選んでも、メッセージR／Fを選べます。

メッセージＲを表示する	1［メッセージＲ］→メッセージＲ→◉
メッセージＦを表示する	2［メッセージＦ］→メッセージＦ→◉

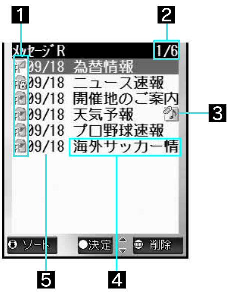
● メッセージ表示画面が表示されます。

お知らせ

● 画像が正しく読み込めなかったときは、再読み込みしてください。（☞P.244）
● 本文に挿入された画像については、画像を読み込まないように設定することもできます。（☞P.239）

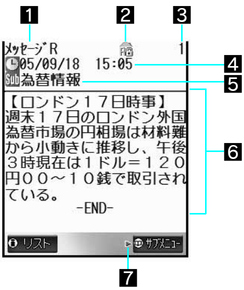
メッセージ一覧画面／表示画面の見かた

メッセージ一覧画面の見かた



1 未読／保護マーク
　　／　：未読メッセージR／Fを表しています。
　　／　：保護されているメッセージR／Fを表しています。
　　／　：保護されていないメッセージR／Fを表しています。
2 メッセージR／Fの番号／メッセージR／F総数
3 メロディ／画像の有無
メロディ／画像が添付されているメッセージには、［　］／［　］が表示されます。
4 題名
メッセージR／Fの題名が表示されます。
5 受信日時
当日の場合は時間、当日以外の場合は日付が表示されます。

メッセージ表示画面の見かた



1 メッセージの種別
2 保護マーク
保護されているときに表示されます。
（メッセージFでは［　］が表示されます。）
3 メッセージ番号
4 受信日時
5 題名
6 本文
文末には［-END-］が表示されます。
7 画面操作

画面を上下にスクロールする	下：◉　上：◉
画面単位でスクロールする	下：(小)　上：(大)
自動的にスクロールする※	下：#（1秒以上）　上：*（1秒以上）
前後のメッセージ内容を表示する	次：◉　前：◉

※ 自動スクロールを止めるときは、*、#またはダイヤルボタンを押します。

● メッセージR／Fにメロディが添付されているときは、本文の下の行に［　］とメロディのタイトルが表示されます。
● メロディ自動再生を［ON］に設定しているときは、メロディが自動演奏されます。
● メッセージR／Fに画像が添付されているときは、本文の下に画像と種別マーク、ファイル名が表示されます。

関連操作

メッセージR／F内の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する＜電話帳登録＞
メッセージ表示画面で(m)▶6［電話帳登録］

次ページへ続く

関連操作

お知らせ

- 以降の操作については、P.220「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>」を参照してください。

メッセージR／F内の画像を再読み込みする

メッセージR／Fに含まれる画像が正常に受信できなかったとき（[ ] が表示されたとき）、再びｉモードセンターに接続して、再度読み込みをすることができます。

1 メッセージ一覧画面（☞P.243）で、メッセージR／Fを選んで、ⓜ→1［再読み込み］を選ぶ。

- 再読み込みを開始します。
- 再読み込みを中止するときは、接続中（[ ] 点滅）にⓘ［中止］を押します。

お知らせ

- 再読み込みを行っても、画像が正常に受信できない場合もあります。

添付ファイルを確認・保存する<添付ファイル確認>

メッセージR／Fに添付されている画像やメロディファイルを、確認・保存することができます。画像はデータBOXのマイピクチャの［ｉモード・その他］、メロディはデータBOXのメロディの［メロディ］フォルダに保存されます。

1 メッセージ一覧画面（☞P.243）で、メッセージR／Fを選んで、ⓜ→3［添付ファイル確認］を選ぶ。

- 添付ファイル一覧画面が表示されます。

2 添付ファイルを選んで確認する。

添付ファイルを確認する	⊙［確認］
添付ファイルを保存する	ⓘ［保存］→［はい］→⊙

挿入された画像を確認・保存する<本文中画像確認>

メッセージR／Fの本文に挿入されているGIF画像、JPEG画像を確認・保存することができます。
- 画像は、データBOXのマイピクチャの［ｉモード・その他］フォルダに保存されます。

1 メッセージ一覧画面（☞P.243）で、メッセージR／Fを選んで、ⓜ→4［本文中画像確認］を選ぶ。

- 本文中画像一覧画面が表示されます。

2 画像を選んで確認する。

画像を確認する	⊙［確認］
画像を保存する	ⓘ［保存］→［はい］→⊙

お知らせ

- 添付された画像については、「添付ファイル確認」で確認・保存を行ってください。

 ＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

メッセージR／Fを管理する

メッセージR／Fを上書きできないように保護したり、ソート、削除できます。

保護について

受信したメッセージR／Fを保護したり、保護されているメッセージR／Fの保護を解除できます。保護すると上書きできません。

- 保存するメモリの空き容量がない場合、すでに読んだ同じ種類のメッセージのうち、古いものから順に自動的に削除されます。
- メッセージR／Fはそれぞれ25件まで保護できます。（ただし、メッセージのサイズによって、保護できる件数が少なくなります。）

並べ替え（ソート）について

メッセージ一覧の表示順番を次のいずれかに変更できます。

日付順（新→旧）	受信した日時の新しい順
日付順（旧→新）	受信した日時の古い順
題名順	題名が、半角文字（記号→数字→英字大文字→英字小文字→カタカナ）→全角文字（記号→数字→英字大文字→英字小文字→ひらがな→カタカナ→漢字→絵文字）の順（各文字種類内では、文字コード順）
未読／保護／既読順	未読メッセージR／F→保護メッセージR／F→既読メッセージR／Fの順（各項目内では「日付順（新→旧）」）

- お買い上げ時は、「日付順（新→旧）」に設定されています。
- メッセージ一覧以外の画面を表示すると、表示方法は、お買い上げ時の設定である「日付順（新→旧）」に戻ります。ただし、表示方法を変更した状態で、メッセージ表示画面を表示したあと、[クリア]を押してメッセージ一覧画面に戻った場合、表示方法は変更されたままです。

削除について

メッセージR／Fは、次のいずれかの方法で削除できます。

1件削除	メッセージR／Fを1件ずつ削除します。
全件削除	保護されていないすべての既読メッセージR／Fを削除します。
選択削除	複数のメッセージR／Fを選んでまとめて削除します。

関連操作

メッセージR／Fを保護する<保護設定>

1 メッセージ一覧画面（☞P.243）でメッセージR／F▶[●]▶[m]▶[2]［保護設定］

2 [1]［ON］

- 解除するとき：[2]［OFF］

メッセージR／Fを削除する<削除>

1 メッセージ一覧画面（☞P.243）でメッセージR／F▶[m]［削除］

2 [1]［1件削除］

- メッセージ表示画面から削除するとき：メッセージ表示画面で[m]▶[5]［1件削除］
- すべてのメッセージR／Fを削除するとき：[2]［全件削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶[●]
- 複数のメッセージR／Fを選んでまとめて削除するとき：[3]［選択削除］▶メッセージR／F[●]（くり返し）▶[i]［完了］

3 ［はい］▶[●]

メッセージR／Fを並べ替える<ソート>

メッセージ一覧画面（☞P.243）で[i]［ソート］▶ソート方法▶[●]

iモード／iモーション

SSL証明書を操作する

CA証明書の有効／無効を設定する＜CA証明書設定＞

お買い上げ時
すべて有効

SSLページを表示する際は以下の証明書が必要です。
- CA証明書……認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時は、FOMA端末内に保存されています。
- ドコモ証明書…FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されています。
- ユーザ証明書…FOMA端末内のメニュー（☞P.247）を選択してFirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード（緑色）内に保存されます。

各証明書の内容は、表示できます。また、万が一、CA証明書自体の安全性に問題が生じた場合は、CA証明書を無効にできます。
- CA証明書を無効にすると、そのCA証明書を使用するSSLページは表示できません。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（ｉモード）→［ｉモード設定］→［Internet設定］→［証明書設定］の順に選んで、証明書にカーソルを合わせて☐［有効／無効］を押す。
- 待受画面で◉→［ｉモード設定］→［Internet設定］→［証明書設定］の順に選んで、証明書にカーソルを合わせて☐［有効／無効］を押しても同じ操作が行えます。
- 有効な証明書には［☑］が、無効な証明書には［☐］が表示されます。
- 有効／無効が切り替わります。
- 証明書の内容を表示するときは、証明書を選んで◉［表示］を押します。

FirstPassの設定を行う＜ユーザ証明書操作＞

FirstPass対応のサイトやインターネットホームページに接続する際は、ユーザ証明書が必要です。ユーザ証明書は、お客様がFOMAと契約されていることを証明するもので、FirstPassセンターからユーザ証明書の発行を要求したり、ダウンロードしたりできます。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカード（緑色）に保存され、クライアント認証に対応しているサイトやインターネットホームページで利用できます。
- FOMAカード（青色）ではご利用になれません。
- FOMAデータプランではご利用になれません。（ISP接続通信でご利用の場合は料金プランにかかわらずご利用いただけます。）
- FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻設定をしてください。（☞P.52）
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassセンター接続中は、メールの送受信やメッセージR／Fの受信はできません。

お知らせ

FirstPassのご使用にあたって
- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPass ご利用規則」をよくお読みになり、ご同意のうえ、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。（☞P.156）
  PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分にご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、ドコモショップなど窓口にてユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。
- ｉモード通信によるFirstPass対応サイトへのアクセスに発生するパケット通信料は、パケ・ホーダイに含まれます。

＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

クライアント認証について

- FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバ認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証をうけることで、より安全に通信サービスを受けられます。

ユーザ認証でサイトに接続する

ユーザ証明書を用いてFirstPass対応のサイトやインターネットホームページに接続します。

1 **サイトやインターネットホームページに接続し、SSL対応のサイトを表示する。(☞P.212の操作1～2、P.213の操作1～2、P.223の操作1～2)**

- ユーザ証明書が必要なサイトやインターネットホームページでは、送信確認画面が表示されます。
- サイト表示中にサーバ証明書を参照するときは、[メニュー]→[#]［証明書参照］を押します。

2 **［はい］を選んで、PIN2コード（4～8桁の数字）を入力して[決定]を押す。**

- 認証が成功すると、SSL対応のサイトやインターネットホームページが表示されます。
- PIN2コードについては、P.156を参照してください。

お知らせ

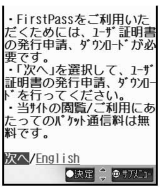
- ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応のサイトやインターネットホームページに接続した場合、［ユーザ証明書がありません　継続しますか？］と表示されます。［いいえ］を選ぶとSSL通信が切断されます。FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードしてから再び接続してください。
- ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、［ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか？］と表示されます。［NO］を選択すると元のページに戻ります。FirstPassセンターでユーザ証明書を更新してから再び接続してください。

FirstPassセンターに接続する

[i][9][3][5][1]

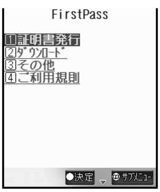
ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターから行います。
FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は変更されることがあります。

1 **詳細メニュー：待受画面で[決定]→[iモード]（iモード）→［iモード設定］→［Internet設定］→［セキュア通信サービス設定］→［ユーザ証明書操作］の順に選ぶ。**



- 待受画面で[i]→［iモード設定］→［Internet設定］→［セキュア通信サービス設定］→［ユーザ証明書操作］の順に選んでも同じ操作が行えます。
- FirstPassセンターのトップ画面が表示されます。

2 **［次へ］を選ぶ。**



- FirstPassセンターのメニュー画面が表示されます。

次ページへ続く

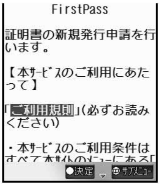
お知らせ

- FirstPassを利用する前には、操作２の画面で、［ご利用規則］を選択し、記載内容をよくお読みください。
- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- FirstPassセンターへ接続中は、次の機能を利用できません。
  - ■ テレビ電話（音声電話は利用可）
  - ■ ｉモード問い合わせ（SMS問い合わせ）
  - ■ ｉモーションの取得
  - ■ ｉモードメールの送受信（SMSの受信は利用可）
  - ■ メッセージR／Fの受信
  - ■ Web To機能

■ ユーザ証明書の発行を申請して、ダウンロードする

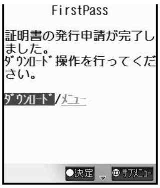
ユーザ証明書のダウンロードを行う前に必ずユーザ証明書の発行を申請し、ユーザ証明書をダウンロードします。

1 **FirstPassセンターに接続（☞P.247「■ FirstPassセンターに接続する」の操作１～２）し、［証明書発行］を選ぶ。**



2 **［実行］を選ぶ。**

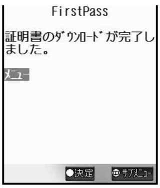
3 **PIN2コード（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。**



- PIN2コードについては、P.156を参照してください。
- 証明書発行完了画面が表示されます。

4 **［ダウンロード］を選ぶ。**

5 **［実行］を選ぶ。**



- ダウンロード完了画面が表示されます。
- 終了するときは、Ⓡを押し［はい］を選んで◉を押します。

お知らせ

- ユーザ証明書を新規でダウンロードする場合と更新でダウンロードする場合、どちらの場合も必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードできません。

■ ユーザ証明書の失効を申請する

一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

1 **FirstPass**センターに接続（☞**P.247**「■ **FirstPass**センターに接続する」の操作１～２）し、［その他］を選んで、［証明書失効］を選ぶ。

2 ［はい］を選んで、**PIN2**コード（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。

- PIN2コードについては、P.156を参照してください。

3 ［実行］を選んで、［次へ］を選ぶ。

- 失効申請確認の画面が表示されます。

4 ［実行］を選ぶ。

- ［証明書の失効申請が完了しました。］の画面が表示されます。
- 終了するときは、Ⓢを押し［はい］を選んで◉を押します。

お知らせ

- 失効申請が完了すると、FirstPass対応サイトは表示できなくなります。
- 失効が完了したユーザ証明書を有効にする場合には、再びユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。
- ダウンロードしたユーザ証明書を見る方法については、P.246を参照してください。

ⓘ 9 3 5 2

証明書発行接続先を変更する

お買い上げ時
ドコモ

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ i-mode（ｉモード）→［ｉモード設定］→［**Internet**設定］→［セキュア通信サービス設定］→［センター接続先設定］の順に選ぶ。



- 待受画面でⓘ→［ｉモード設定］→［Internet設定］→［セキュア通信サービス設定］→［センター接続先設定］の順に選んでも同じ操作が行えます。

2 1［編集］を選んで、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。

- 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。
- 接続先入力画面が表示されます。
- リセットするときは、2［リセット］を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押します。お買い上げ時の設定に戻ります。

次ページへ続く

3 接続先情報を入力して◉を押す。



● 半角英数字と記号を、最大半角99文字まで入力できます。

4 接続先アドレスを入力して◉を押す。

● 半角英数字と記号を、最大半角100文字まで入力できます。

お知らせ

● 現在設定されている接続先をリセットすると、[XXXXXXXXXX] と表示されます。

iモーション

iモーションとは

iモーションとは、映像や音声、音楽のデータです。iモーション対応サイトやインターネットホームページから、FOMA端末に取得することができます。取得したiモーションは、その場で再生したり、FOMA端末に保存して楽しむことができます。iモーション対応サイトは、iMenuのメニューリストから探すこともできます。

● iモーションには、標準タイプとストリーミングタイプがあります。
  ■ 標準タイプ（最大500Kバイト）
  FOMA端末に保存できます。次の２つのタイプがあります。
    ● 取得したあとで再生するタイプ
    ● 取得しながら再生可能なタイプ
  iモーションによっては、標準タイプでも保存できないものがあります。
  ■ ストリーミングタイプ（最大２Mバイト）
  ストリーミングタイプとは、データを取得しながら同時に再生する方式で、再生し終わったデータは破棄され、くり返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。なお、自動再生設定（☞P.253）を［しない］に設定しても、ストリーミングタイプのiモーションは自動再生されます。
● 取得したiモーションがどちらのタイプであるかは、サイトやインターネットホームページによって異なります。
● iモーションは最大150件まで保存できます。（iモーションのサイズによって、保存できる件数が変わります。）

着信音・着信画面の組み合わせ

着信音・着信画面にiモーションを設定した場合の組み合わせと動作は次のとおりです。

設定した着信音の種類	設定した着信画面の種類	着信したときに動作する着信音と着信画面の種類
メロディ	JPEG画像、GIF画像、音声のないiモーション、Flash画像	着信音：　メロディ 着信画像：設定した着信画像※
映像と音声を含むiモーション	JPEG画像、GIF画像、iモーション（音＋映像）、音声のないiモーション、Flash画像	着信音：　映像と音声を含むiモーション 着信画像：映像と音声を含むiモーション
音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）	JPEG画像、GIF画像	着信音：　音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション） 着信画像：設定した着信画像
	音声のないiモーション、Flash画像	着信音：　音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション） 着信画像：お買い上げ時に設定されている画像
着信音なし	JPEG画像、GIF画像、音声のないiモーション、Flash画像	着信音：　サイレント 着信画像：設定した着信画像※

※ Flash画像の効果音は再生されません。

お知らせ

- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は着信画像に設定できません。
- 音声のないｉモーションは着信音に設定できません。
- 着信音に映像と音声を含むｉモーションを設定した場合は、着信画像もそのｉモーションに自動的に変更されます。ただし、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合は、着信画像は変更されず、設定した画像が表示されます。
- 着信画像に映像と音声を含むｉモーションを設定した場合は、着信音もそのｉモーションに自動的に変更されます。ただし、映像のみのｉモーションの場合は、次の優先順位に設定した着信音が再生されます。
- 着信音は、電話帳指定着信音→グループ指定着信音→通常の着信音の優先順位で鳴ります。
- 設定した画像は、電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定の優先順位で表示されます。いずれも設定していない場合は、お買い上げ時に設定されている画像が表示されます。
- テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音を［音声電話着信音に従う］に設定していた場合、着信音にメロディ、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定すると着信画面はお買い上げ時の設定に戻ります。
- テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音を［音声電話着信音に従う］に設定していた場合、着信画面にJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像、映像のみのｉモーションを設定すると着信音は［着信音１］に戻ります。
- テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音を［音声電話着信音に従う］に設定していた場合、着信画面も音声電話着信画面に従って表示されます。
- ｉモーションによっては設定できないものがあります。

ｉモーション取得

サイトからｉモーションを取得する

サイトからｉモーションを取得し再生する

サイトやインターネットホームページからｉモーションを取得して再生します。

1 サイトやインターネットホームページを表示中（☞P.212の操作１～２、P.213の操作１～２、P.223の操作１～２）に、ｉモーションを選ぶ。

ストリーミングタイプのとき		［はい］→◉ ● 取得しながら再生されます。
標準タイプのとき	自動再生設定［する］	ｉモーションを取得し、準備ができたら再生します。
	自動再生設定［しない］	再生・保存などの選択画面が表示されます。1［再生］を押すと再生し、2［保存］を押すと保存し、3［情報表示］を押すと情報が表示されます。 ● 4［戻る］を押すと［このｉモーションを保存しますか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押すと保存されます。

- 取得を中止するときは、取得中にクリアを押します。
- 再生を中止するときは、ⓘ［停止］を押します。
- 再生中に一時停止するときは、◉［一時停止］を押します。

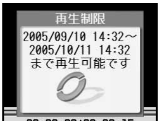
お知らせ

- ｉモーションによっては、データ取得中の再生ができないものもあります。
- ｉモーションタイプ設定が［標準タイプ］に設定されているとき、ストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとすると、［このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください　変更しますか？］と表示されます。［はい］を選択すると、ｉモーションタイプ設定が変更され、取得することができます。
- データを取得しながら再生できるｉモーションの場合、電波状況などにより再生できなくなったときでも、ｉモーションの取得完了後に再生できます。
- ｉモーションのデータ取得中に、電波状況により再生が停止したり、画像が乱れたりすることもあります。

お知らせ

- 長い期間電池パックを外していると、FOMA端末の日付・時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期限／再生期間が決められているｉモーションは、再生できません。
- ｉモーションによっては、データを取得しても正しく再生できないことがあります。
- ｉモーションは待受画面（☞P.135）に設定できます。（設定できないｉモーションもあります。）
- ｉモーションは着モーション（☞P.105）に設定できます。（設定できないｉモーションもあります。）

再生期間が設定されたｉモーション



再生期間が設定されているｉモーションを取得して再生しようとすると、左の画面が表示されます。

- 再生期間前には再生できません。
- 再生期間が過ぎているｉモーションを取得しようとしたときは、［再生制限データに誤りがあるため取得出来ません］と表示されます。

再生期限が設定されたｉモーション



再生期限が設定されているｉモーションを取得して再生しようとすると、左の画面が表示されます。

- 再生期限が過ぎているｉモーションを取得しようとしたときは、［再生制限データに誤りがあるため取得出来ません］と表示されます。

再生回数が設定されたｉモーション



再生回数が設定されているｉモーションを取得し、FOMA端末（本体）に保存してから再生しようとすると、左の画面が表示されます。

- 再生回数が０回のｉモーションを取得しようとしたときは、［このデータは保存できません取得しますか？］と表示されます。取得するときは［はい］を選んで◉を押します。

ｉモーションを保存する

取得したｉモーションを保存しておくことができます。

- ｉモーションはデータBOXのｉモーションの［ｉモード・その他］フォルダへ保存されます。

1 取得したｉモーションの再生、停止または一時停止中に、□→□［保存］を選ぶ。

お知らせ

- 保存したｉモーションは、ビデオプレーヤ（☞P.333）で再生できます。
- ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。

テロップ中にリンクが設定されていたとき

ｉモーション再生中のテロップにリンクが設定されていた場合、Phone To（AV Phone To）機能、Mail To機能、Web To機能を利用できることがあります。また、表示される電話番号、メールアドレスは電話帳に登録できます。

1 取得したｉモーションを再生後、ダイヤル発信画面（**Phone To**（**AV Phone To**）の場合）、メール作成画面（**Mail To**の場合）、サイト接続画面（**Web To**の場合）が表示される。

2 操作を選ぶ。

- 以降の操作については、P.234～P.235を参照してください。
- 元の画面に戻るときは、クリアを押します。

iモーションの詳細情報を表示する

iモーションの詳細情報を表示できます。

1 取得したiモーションの再生中、停止または一時停止中に、[メニュー]→[2]［情報表示］を選ぶ。

- 情報表示画面が表示されます。
- ストリーミングタイプのiモーションやデータを取得しながら再生できるiモーションのときは、取得中（☞P.251）または一時停止中に[メニュー]→[2]［情報表示］を押しても表示できます。
- 確認を終わるときは、[●]［確認］を押します。

自動再生設定 [i][9][3][4][1]

iモーションを自動再生するかどうかを設定する

お買い上げ時
する

iモーションを取得した際に、自動再生するかどうかを設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で[●]→[i-mode]（iモード）→［iモード設定］→［Internet設定］→［iモーション設定］→［自動再生設定］の順に選んで、[1]［する］を選ぶ。

- 待受画面で[i]→［iモード設定］→［Internet設定］→［iモーション設定］→［自動再生設定］→[1]［する］の順に選んでも同じ操作が行えます。

お知らせ

- ストリーミングタイプのiモーションは自動再生の設定にかかわらず、常に自動再生されます。
- 自動再生を［する］に設定しても、iモーションによっては自動再生されない場合があります。
- 自動再生を［しない］に設定すると、iモーションの取得完了後、再生や保存操作を選択する画面が表示されます。

iモーションタイプ設定 [i][9][3][4][2]

取得するiモーションのタイプを設定する

お買い上げ時
標準タイプ

iモーションを取得するときに、標準タイプのiモーションのみを取得するか、標準タイプとストリーミングタイプ両方のiモーションを取得するかを設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で[●]→[i-mode]（iモード）→［iモード設定］→［Internet設定］→［iモーション設定］→［iモーションタイプ設定］の順に選んで、iモーションのタイプを選ぶ。

- 待受画面で[i]→［iモード設定］→［Internet設定］→［iモーション設定］→［iモーションタイプ設定］の順に選んでも、iモーションのタイプを選べます。

標準タイプのみを取得する	[1]［標準タイプ］
標準タイプとストリーミングタイプを取得する	[2]［標準・ストリーミングタイプ］

お知らせ

- ストリーミングタイプのiモーションを取得する場合は、iモーションタイプ設定を［標準・ストリーミングタイプ］に設定する必要があります。
- ［標準タイプ］に設定したまま、ストリーミングタイプのiモーションを取得しようとすると、［このiモーションを再生するためにはiモーションタイプ設定を変更してください　変更しますか？］と表示されます。［はい］を選択すると、iモーションタイプ設定が変更され、取得することができます。

▶MEMO◀

メール

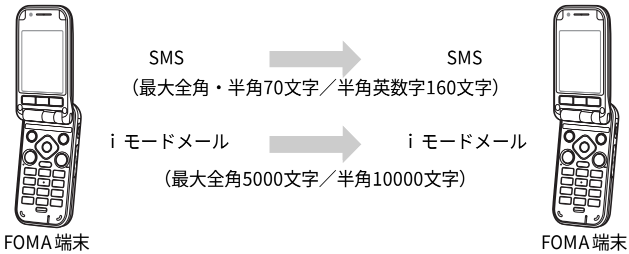
FOMA端末のメール機能について

- FOMA端末はｉモードメールとSMS（ショートメッセージ）を送受信できるメール機能を持っています。ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
  ｉモードメールの送信、受信方法については、P.263、P.270を参照してください。
- ｉモードを契約しなくても、FOMA端末との間でSMSの送受信（文字メッセージのやりとり）ができます。SMSの送信、受信方法については、P.306、P.309を参照してください。

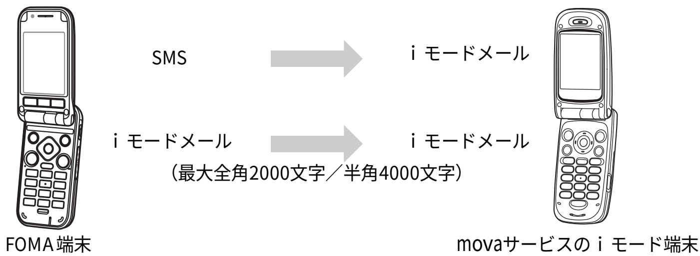
メール機能の送受信について

３種類のメール機能で送受信できる相手は次のとおりです。

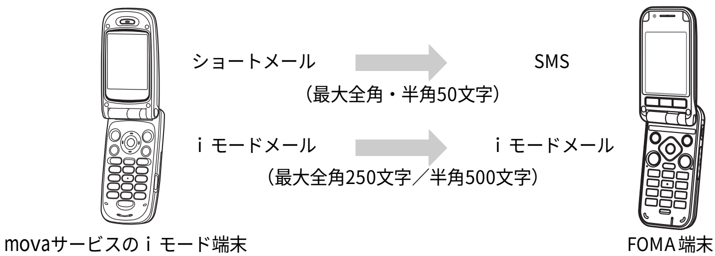
- FOMA端末→FOMA端末へ



- FOMA端末→movaサービスのｉモード端末へ
  FOMA端末から送信したSMSは、movaサービスのｉモード端末ではｉモードメールとして受信されます。
  SMS送達通知設定（☞P.311）が［要求する］に設定されている場合には、mova端末へ送ることはできません。



- movaサービスのｉモード端末→FOMA端末へ
  movaサービスのｉモード端末から送信したショートメール※は、FOMA端末ではSMSとして受信できます。



※ ショートメールとは、ドコモの携帯電話で文字メッセージをやりとりできるサービスです。

お知らせ

- ｉモードメールやSMSの内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカード（☞P.349）やデータリンクソフト（☞P.532）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。
- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていたｉモードメールアドレスはそのまま引き継がれます。

メール

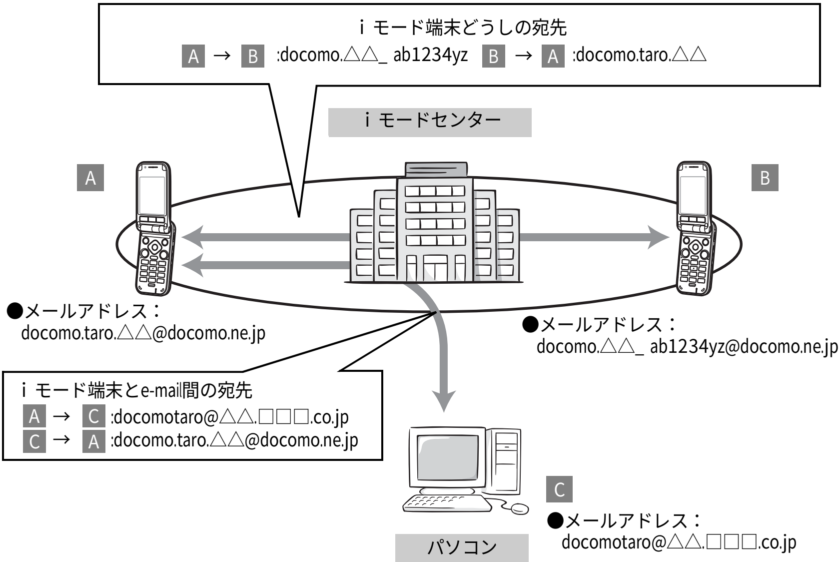
＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

ｉモードメールとは

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。
ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合 @マークの前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモードご契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。 例）abc1234～789xyz@docomo.ne.jp 〈お客様のメールアドレスの確認方法〉 ［ｉMenu］➡［8オプション設定］➡［1メール設定］➡［アドレス確認］

- ｉモード端末（mova含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。



- メールの送信方法は☞P.263
- メールの受信方法は☞P.270

メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除することができます。☞P.272

メール設定を行う

下記の各種設定を行うことができます。

〈設定方法〉 ［ｉMenu］➡［8オプション設定］➡［1メール設定］➡［各設定］

- 詳細はｉモードご契約時にお渡しする『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

メールアドレス変更（アドレス変更）

たとえば「docomo.taro_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更することができます。

次ページへ続く

シークレットコード登録(メールアドレス設定<その他設定> ➡ シークレットコード登録)
電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて４桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

メールアドレスリセット(メールアドレス設定<その他設定> ➡ アドレスリセット)
メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にすることができます。

メールアドレス確認(アドレス確認)
現在設定されているメールアドレスを確認することができます。

メール受信／拒否設定
以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限することができます。

① ドメイン指定受信(メール受信設定<受信／拒否設定> ➡ ドメイン指定受信)
- au・ボーダフォン・TU－KA・ウィルコムのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
- また、上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。

※NTTドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメール・ビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

② アドレス指定受信／拒否
(メール受信設定<受信／拒否設定> ➡ アドレス指定受信、アドレス指定拒否)
- 受信するすべてのメールのうち指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。

③ ｉモードメールのみ受信／拒否
(メール受信設定<受信／拒否設定> ➡ ｉモードメールのみ受信、ｉモードメールのみ拒否)
- ｉモードどうしのメールのみ受信(インターネット経由のメールを拒否)／拒否します。

④ ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限
(メール受信設定<その他設定> ➡ ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限)
- 1日に1台のｉモード端末(mova含む)から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。お買い上げ時には[拒否する]に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

⑤ 未承諾広告※メール拒否(メール受信設定<その他設定> ➡ 未承諾広告※メール拒否)
- 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。お買い上げ時には[拒否する]に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。(送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※(全角6文字)と記載することが法律で義務づけられています。)

※「ドメイン指定受信」、「アドレス指定受信」、「アドレス指定拒否」、「ｉモードメールのみ受信」、「ｉモードメールのみ拒否」は同時に設定することができません。

⑥ SMS拒否(メール受信設定<その他設定> ➡ SMS拒否設定／確認)
- すべてのSMSまたは非通知SMSのみを受信しないよう設定したり、設定の状況を確認することができます。

メール設定状況確認(設定状況確認)
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

メールサイズ制限(メールサイズ制限)
あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限することができます。

メール機能停止(メール機能停止)
メール機能を利用されない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。

＊メニューを切り替えるときは ⓘ [ⓘ基本メニューへ]または[ⓘ詳細メニューへ]を押します。(☞P.35)

送受信できる文字数

ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題名	15文字	30文字
メールアドレス	－	50文字
本文	5000文字	10000文字

お知らせ

- ｉモードメールの本文は全角5000文字（10000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
- 本文が受信可能な文字数を超えた場合、本文の最後に［/］または［//］が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- movaサービスへｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角2000文字までです。また、ｉショット・ｉモーションメールはURLの記載されたメールとして送信され、それ以外の添付ファイルは削除されます。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- ｉモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末がテレビ電話中、圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどで受信できないときは、メールはｉモードセンターに保管されます。
ｉモードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大３回まで再送します。また、メール選択受信設定により、ｉモードセンターでｉモードメールを選んで受信することができます。

お知らせ

- ｉモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
ｉモードメール	207～1000件 （約２メガバイトまで）	720時間

- 保管期間が超過したメールは自動的に削除されます。
- 最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、ｉモードセンターではメールを受信せず送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときｉモード端末には、［✉］が表示されます。（☞P.270）
  なお、メール選択受信設定を「ON」に設定しているときは、保管件数を超えても［✉］は表示されません。
- ｉモードセンターに保管されているメールは、ｉモード問い合わせ（☞P.273）やメール選択受信（☞P.272）により受信できます。また、新しいメールが届いたときは、保管されているほかのメール、メッセージも合わせて受信できます。
- ｉモード端末でメールを受信するとｉモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはｉモード端末に保存されます。（☞P.270）
- 極端に容量の大きいメールはｉモードセンターで受け付けないことがあります。

■ こんなこともできます

ファイル添付メール

■メロディ添付メール

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているメロディファイルは送信できません。）

- 送信するには☞P.266
- 受信したときは☞P.279

■画像添付メール

サイト、インターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画ファイルをｉモードメールに添付して送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。）

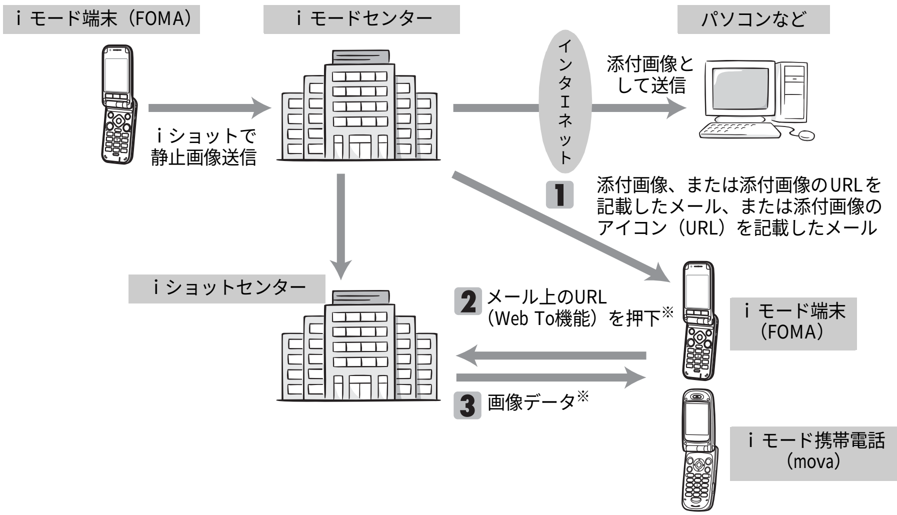
- 送信するには☞P.266
- 受信したときは☞P.279

ｉショット

カメラ機能付き端末で撮影した静止画ファイルを添付ファイルとしてｉモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。受信側には添付ファイル形式または、画像閲覧用URL（またはアイコン）および画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLを押下することで画像を取得できます。

mova端末へ送れるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

- 送信するには☞P.266
- 受信したときは☞P.279



※ 添付画像のURLを記載したメールを受信した場合

- ｉショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後、自動的に削除されます。
- ｉモード端末が送信できるのは、最大500Kバイトまでの静止画となります。また、20Kバイトより大きい画像を添付してｉモード端末に送信した場合は、受信側では自動的にサイズの圧縮された画像を取得します。

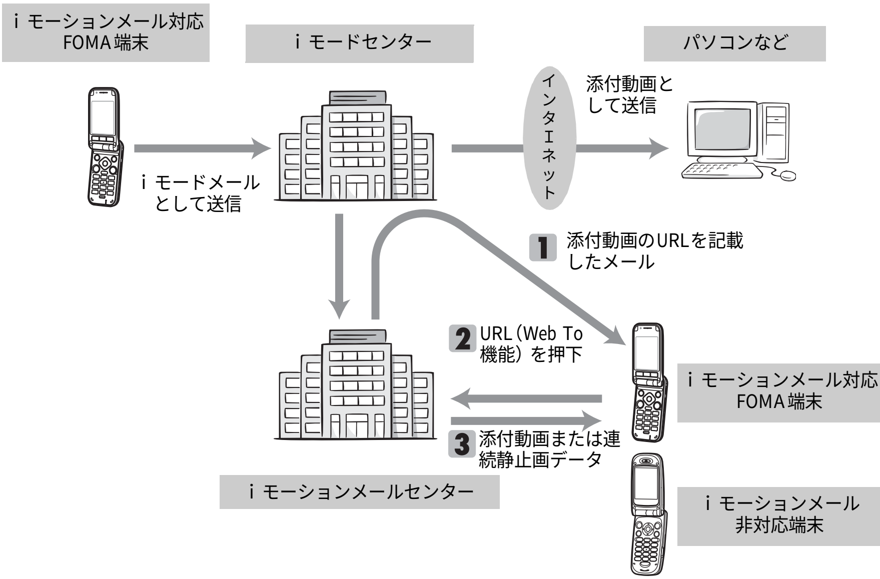
ｉモーションメール

ｉモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画をｉモーションメール対応端末及びパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません。）

- ｉモーションメールを送信するには☞P.266
- ｉモーションメールを受信したときは☞P.278

■サービスのしくみ

ｉモーションメールに添付された動画ファイルはｉモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます。（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます。）
ｉモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを押下して動画を取得することができます。
ｉモーションメール非対応端末へ送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URLの記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、連続静止画を取得します。



- ｉモーションメールセンターでは最大10日間まで画像が保管され、保管期間経過後、自動的に削除されます。
- ｉモーションメール対応端末が受信できるのは、最大500Kバイトまでの動画となります。また、取得した動画はｉモーションメール対応端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

デコメール

文字の大きさや背景の色などを変えたり画像を本文中に貼り付けるなど、装飾された楽しいメールを受信することができます。（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります。）
本FOMA端末は、デコメールの受信にのみ対応しており、受信したデコメールに添付された画像を閲覧することができます。（☞P.279）デコメールの作成や編集は行えません。

- 対応機種…デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

メール同報送信

同じｉモードメールを、一度に複数の宛先（最大５件）に送信できます。☞P.266

- 通信料は、１通のみ送信した場合と同じです。（ただし、追加した宛先の情報量については、通信料が増えます。）

Cc、Bcc送受信

パソコンと同じように、ｉモードメール編集時に宛先をTo、Cc、Bccから選択できます。ただし、Toが１件もない場合は、メールを送信できません。☞P.263

チャットメール

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。☞P.299

- 通信料は、相手が複数の場合メール同報送信したときと同じです。

SMS（ショートメッセージ）

ｉモードを契約しなくても、FOMA端末どうしでSMSの送受信（文字メッセージのやりとり）ができます。

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。
- 保管期間を過ぎたSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、SMS問い合わせ（☞P.310）により受信できます。
- FOMA端末でSMSを受信するとSMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。（☞P.309）FOMA端末が受信したSMSは、FOMAカードにコピーすることもできます。（☞P.312）
- SMS一括拒否／非通知SMS拒否／国際SMS拒否／非通知SMS拒否と国際SMS拒否を設定できます。（☞P.258）

SMSの宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

メールメニュー

メールメニューを表示する

ｉモードメールの作成、受信メールや送信メールの表示などは、メールメニューから行います。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail メール （メール）を選ぶ。



- 待受画面で◇（✉）を押しても同じ操作が行えます。
- メールメニューが表示されます。

メニュー	機　能	ページ
1受信BOX	受信したメールの表示や返信、転送などを行います。	P.270、P.280
2送信BOX	送信したメールの表示や再送信などを行います。	P.269、P.280
3未送信BOX	未送信メールの編集や送信を行います。	P.270、P.280
4新規メール作成	新規にメールを作成して送信や保存を行います。	P.263
5新規SMS作成	新規にSMSを作成して送信や保存を行います。	P.306、P.307
6チャットメール	チャットメールの設定や送信などを行います。	P.299
7ｉモード問い合わせ	ｉモードセンターにメールやメッセージR／Fが保管されていないか問い合わせます。	P.273
8SMS問い合わせ	SMSセンターにSMSが保管されていないか問い合わせます。	P.310
9メール選択受信	ｉモードセンターで保管されているメールのうち、受信したいメールのみを選んで受信します。	P.272
0メール設定	ｉモードメールやSMSに関係する各種機能を設定します。	P.292

ｉモードメールを作成して送信する

ｉモードメールを作成して、送信します。

- ｉモード端末以外の相手にｉモードメールを送信する場合は、題名や本文に半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されないことがあります。
- movaサービスのｉモード端末へｉモードメールを送信する場合、本文は最大全角2000文字（半角4000文字）まで送信できます。
- ｉモードメールの送信先を［To］［Cc］［Bcc］に分けて送信できます。［宛先］に入力したアドレスへは［To］で送信されます。

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉ → メール機能 → ［メールを書く］の順に選ぶ。

- 待受画面で◇（✉）を１秒以上押しても同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → Mail（メール）→［新規メール作成］の順に選ぶ。



メール作成画面

- 待受画面で◇（✉）を１秒以上押しても同じ操作が行えます。
- メール作成画面が表示されます。
- ［未送信BOXがいっぱいです］や［未送信メールと保護メールがいっぱいです］が表示されたときは、ｉモードメールを作成できません。送信メールの保護を解除するか、未送信メールを削除してください。（☞P.288）
  未送信メールは送信メールと合わせて最大101件まで保存できます。

メール

次ページへ続く

2 ［宛先］を選んで、宛先を入力する。

電話帳から選ぶ	1［電話帳検索］→相手→◉ ● 登録されている他のメールアドレスを選ぶときは、相手を選んでi［確認］を押し､メールアドレスを選んで◉を押します。 ● ［ ］［ ］［ ］［✉］のいずれも表示されない場合、メールアドレスは登録されていません。
直接入力する	2［直接入力］→宛先を入力→◉ ● 半角の英字、数字、一部の記号を最大50文字まで入力できます。 ● ｉモード端末にｉモードメールを送信する場合は、「@docomo.ne.jp」を省略できます。 ● 記号入力（☞P.495）、インターネットに関連した定型文（☞P.494）を利用できます。
メール送信履歴から選ぶ	3［メール送信履歴］→相手→◉→◉
メール受信履歴から選ぶ	4［メール受信履歴］→相手→◉→◉
メールメンバーから選ぶ	5［メールメンバー］→メールメンバー→◉ ● あらかじめメールメンバーを登録しておいてください。（☞P.296）
複数の宛先に送信する（☞P.266）	●［宛先］を入力すると「同報」の入力欄が追加されます。 「同報」の入力欄→◉→送信種別→◉→宛先を入力 ● メールメンバーを設定した場合はメンバー全員が必ず［To］で入力されます。 ● 最大４件まで宛先を追加できます。
宛先を変更する	宛先→◉→入力方法→◉ ●［電話帳検索］［メール送信履歴］［メール受信履歴］を選んだときは、［アドレスを上書きしますか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押すと、メールアドレスを選択できます。 ●［メールメンバー］を選んだときは、［アドレスを全件上書きします　よろしいですか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押すと、メールメンバーを選択できます。 ●［直接入力］を選んだときは、アドレス入力画面が表示されます。
宛先を削除する	宛先→m→3［アドレス削除］→［はい］→◉

3 ［題名］や［本文］を選んで、題名や本文を入力して◉を押す。



● メール本文入力画面では、画面中央の文字入力エリアで文字を決定したあと、◉を押して本文のカーソル位置に入力します。
● 題名は最大全角15文字（半角30文字）まで、本文は最大全角5000文字（半角10000文字）まで入力できます。（ただし、movaサービスのｉモード端末に送信する場合は最大全角2000文字（半角4000文字）まで送信されます。）
● 改行［↵］は全角１文字としてカウントします。全角、半角のスペース（空白）もそれぞれ全角１文字、半角１文字としてカウントします。（題名に改行［↵］は入力できません。）
● 本文入力画面の文末で◇を押すと［↵］（改行）されます。また、クリアを押すと［↵］は削除されます。
● 本文に何も入力されていない状態でクリアを押すと、メール作成画面に戻ります。

定型文を利用する	本文入力画面でm→5［定型文挿入］→定型文の種類→◉→定型文→◉→◉ ● 定型文については、P.523を参照してください。
署名を貼り付ける	本文入力画面でm→#［署名貼付］ ● あらかじめ署名を登録しておきます。（☞P.295） ● 自動署名貼付が［ON］に設定されている場合、署名は自動的に貼り付けられます。返信のときも自動的に貼り付けられます。ただし、クイック返信、引用返信、転送のときは自動的に貼り付けられません。 ● 署名の文字数は、本文の文字数に含まれます。本文と署名の合計文字数が送信できる文字数を超えるときは、［署名を付けることができません］と表示され、貼り付けできません。

＊メニューを切り替えるときはi［i基本メニューへ］または［i詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

4 ⓘ［送信］を押す。



- 送信が完了すると、［モードメール送信しました］と表示されます。◉を押すと、メール作成前の画面に戻ります。
- 送信を中止するときは、送信中の画面で◉［中止］を押します。
  ⓘまたは クリア を押しても中止できます。
  ただし、タイミングによってはｉモードメールが送信される場合があります。
  送信を中止したｉモードメールは、未送信メールとして保存されます。

お知らせ

- 画像やメロディなどを添付すると、本文に入力できる文字数が少なくなります。
- 宛先や同報が入力されている状態でメールメンバー（☞P.296）から宛先を指定すると、上書きされます。上書きする場合は［はい］を選択してください。
- 宛先にメールメンバーを設定すると、１人目のアドレスは［宛先］に入力され、２人目以降は同報の入力欄に［To］で入力されます。（［Cc］［Bcc］への変更も可能です。）
- 電波状況などにより、送信できない場合があります。送信できなかったｉモードメールは、未送信メールとして保存されます。
- 送信できていても、電波状況などによっては、［送信できませんでした］と表示される場合があります。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信メールは、未送信メールと合わせて最大101件まで保存できます。送信メールが100件または送信メールと未送信メールと合わせて101件以上保存されている状態で新しいｉモードメールを送信すると、保護されていない一番古い送信メールから順に自動的に上書きされます。（上書き確認のメッセージは表示されません。）必要なｉモードメールは保護することをおすすめします。
- メール履歴表示を［OFF］に設定しているときは（☞P.166）、宛先入力で［メール送信履歴］［メール受信履歴］を選択できません。
- ダイヤル発信制限（☞P.165）中は、電話帳に登録されている宛先以外へｉモードメールを送信できません。
- オールロック中、セルフモード中はｉモードメールを送信できません。
- メールのPIMロック中は、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力するとｉモードメールを送信できます。
- ［宛先］、［To］、［Cc］に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

編集中に電話がかかってくると

- 通話後、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。

相手がシークレットコードを登録しているとき

- 「@」の前に、相手のシークレットコード（４桁の数字）を入力します。電話帳に相手のシークレットコードを登録しているときは、入力する必要はありません。（☞P.105）
- 宛先が「携帯電話番号」または「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳にシークレットコードが設定されているかどうかを自動的に調べ、シークレットコードが設定されているときは、シークレットコードを付けて送信します。（☞P.105）
- メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、ｉモードメール送信や返信ができないことがあります。「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードを登録してください。
- ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。

関連操作

光るワンタッチキーでメールを作成する

1 待受画面で、メールアドレスが登録されている ～ ▶ｉモードメール作成・送信

お知らせ

- 登録されているメールアドレスが表示されたのち、そのメールアドレスが［宛先］に入力されたメール作成画面が表示されます。
- ｉモードメール作成・送信については、P.264の操作３～４を参照してください。

同報送信について

FOMA端末では同じ内容のｉモードメールを複数の宛先に同時に送信できます。最大５人までの相手に送信できます。

- 「同報」の入力欄では送信種別（To／Cc／Bcc）を選択できます。
  - ■ Cc ：［To］宛に送信したメールを第三者に知らせるときに使います。
  - ■ Bcc ：［Cc］と同じように第三者に知らせるときに使いますが、［Bcc］で指定したアドレスは、［To］や［Cc］の相手には表示されません。
- 最大５人までのアドレスをメールメンバーに登録しておくと、複数のアドレスを簡単に指定することができます。（☞P.296）
- 宛先に入力したアドレスは［Bcc］にしたものを除き、受信した相手に表示されます。ただし、相手の機種によっては表示されない場合もあります。
- 複数の宛先に送信しても、１件の送信メールとして保存されます。送信メール表示画面では、送信に成功した宛先がすべて表示されます。
- 送信に失敗した宛先があったときは、送信メール１件と未送信メール１件が保存されます。未送信メールには、送信されていない宛先がすべて表示されます。
- 同じメールアドレスを宛先や同報として複数設定すると［重複するアドレスがあります］と表示され、送信できません。重複するアドレスを削除して送信してください。

送信種別を変更する

入力した宛先や同報の送信種別を変更できます。

1 ｉモードメールの作成中（☞**P.263**の操作１～３）に２件目以降の宛先の入力欄にカーソルを合わせて◉→6［送信種別変更］を選んで、送信種別を選ぶ。

［To］にする	1［To］
［Cc］にする	2［Cc］
［Bcc］にする	3［Bcc］

- 送信種別が変更されます。

メール

添付ファイル

ファイルを添付する

FOMA端末で撮影した静止画や動画、サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像、ｉモーションやメロディをｉモードメールに添付して送信できます。

- １つのメールに通常添付ファイルと大容量添付ファイルを同時に添付できます。

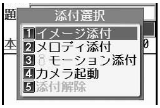
１つのメールに添付できるファイルのサイズや個数

種　類		通常添付ファイル		大容量添付ファイル	
データの種類		メロディ	静止画	静止画	動画／ｉモーション
ファイル形式		SMF	GIF画像、JPEG画像	JPEG画像※1	Mobile MP4
ファイルサイズ		1～10000バイト※2		10001～500K（512000）バイト※3	1～500K（512000）バイト※3
添付可能件数		合計最大10個※4		どちらか1個	
送付先ごとの送付可否	FOMA端末	○	○	○※5	○※6
	movaサービスのｉモード端末	×	○※7、※8	○※5、※8	○※6
	e-mail	○	○	○	○

※1　10000バイトを超えるGIF画像はメールに添付できません。
※2　添付ファイルサイズと本文サイズの合計です。添付ファイルのサイズの分だけ、本文に入力できる文字数が少なくなります。ただし、大容量添付ファイルを添付すると、通常添付ファイルサイズと本文サイズの合計は最大9800バイトまでになります。
※3　大容量添付ファイルのみを添付した場合のサイズです。

※４　添付ファイルサイズが大きいと、添付できる件数が少なくなります。
※５　ｉモード端末へ送信する場合、ｉショットセンターでｉモード端末に送るのに適したサイズに変換されます。
※６　動画／ｉモーションをｉモード端末へ送信する場合、ｉモーションメール（動画閲覧用URLと動画保存期限が自動的に付与される）となります。送信先のｉモード端末の種類によっては画像が粗くなったり、連続静止画に変換されることがあります。
※７　GIF画像は添付できません。
※８　movaサービスのｉモード端末へ送信する場合、自動的にｉショット送信（画像閲覧用URLと画像保存期限が自動的に付与される）となります。なお、添付できるデータは１個、本文は最大全角184文字までです。もし、この条件にあてはまらないファイルや、複数のファイルを添付した場合は、添付ファイルが削除され、本文のみが送信されます。

1 ｉモードメールを作成し（☞P.263の操作１～３）、◈で添付の入力欄を選ぶ。



2 添付するファイルを選ぶ。



静止画を添付する	1［イメージ添付］→フォルダ→◉→静止画→◉［決定］ ● 静止画を確認するときは、静止画を選んで◉［確認］を押します。
メロディを添付する	2［メロディ添付］→フォルダ→◉→メロディ→◉［決定］ ● メロディを再生するときは、メロディを選んで◉［確認］を押します。再生を止めるときは、◉［停止］を押します。
動画／ｉモーションを添付する	3［ｉモーション添付］→フォルダ→◉→動画／ｉモーション→◉［決定］ ● 動画／ｉモーションを再生するときは、動画／ｉモーションを選んで◉［確認］を押します。再生を止めるときは、◉［停止］を押します。
撮影した静止画を添付する	4［カメラ起動］→◉→◉ ● 撮影した静止画は、［カメラ撮影］フォルダに圧縮して保存されます。

● メール作成画面に戻ります。添付欄に選択したファイル名とファイルサイズが表示されます。
● 本文入力欄の上に表示される残バイト数表示は、添付ファイルのサイズを引いた値です。
●「待受：240×320」より大きいサイズのJPEG画像を選んだときは、［待受サイズに縮小しますか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押すと縮小して添付されます。［いいえ］を選んで◉を押すと、500Kバイト以下になるように圧縮して添付されます。
●「待受：240×320」サイズはｉモード端末に送信するのに適したサイズです。

3 ◉［送信］を押す。

● ｉモードメールが送信されます。

お知らせ

● ファイルサイズが10000バイトを超える静止画を選択した場合は、自動的に圧縮して添付されます。圧縮されたファイルは、マイピクチャの［ｉモード・その他］フォルダに元のファイル名＋「_M」の名前で保存されます。
● データBOXのマイピクチャやｉモーションの［ｉモード・その他］フォルダに保存されている圧縮された画像を削除した場合、未送信BOXに保存されている未送信メールに添付されている画像が削除されることがあります。
● 添付できない画像やメロディは、タイトル名がグレー表示されます。
● Flash画像やフレーム、スタンプは添付できません。

次ページへ続く

お知らせ

- 相手の機種がFOMA SH900i、SH901iC、SH700i、SH901iS、SH851i以外の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているファイルは送信できません。
- FOMA端末で撮影した画像にファイル制限を設定している場合、添付して送信できますが、受け取った方はそのファイルを外部へ送信できません。
- ｉモーションによっては、添付できないものもあります。また、送信相手側機種によって、画像が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。
- FOMA端末にあらかじめ内蔵されているメロディは添付できません。
- メール添付可能なメロディ一覧には、メール本文と合わせるとデータ量がオーバーしてしまうメロディは表示されません。

次の場合はメロディや静止画を添付できません

- メロディまたは静止画を添付すると、本文（添付したメロディ、画像を含む）のデータ量が10000バイトを超える場合。
- すでにメロディまたは画像が、合計で10個添付されている場合。

次の場合は10000バイトを超える静止画またはｉモーションを添付できません

- ｉモーションのデータ量が500Kバイト（512000バイト）を超える場合。
- 本文（添付したメロディ、画像を含む）の残りのデータ量が200バイト未満の場合。
- すでに10000バイトを超える静止画、またはｉモーションが添付されている場合。

添付ファイルを確認する場合

- メール作成画面で確認したいファイルが添付されている添付欄を選んで(メニュー)→4［添付ファイル確認］を押します。

貼り付けられたデータについて

- メールに貼り付けられたメロディ（MFi）は、メールの返信や転送をする際に引用できません。

関連操作

添付ファイルを解除する<添付解除>

操作２のメール作成画面で、添付欄のファイル▶(決定)▶5［添付解除］

メール作成時に撮影した画像を添付する<カメラ起動>

操作２のメール作成画面で、添付欄▶(決定)▶4［カメラ起動］▶(決定)▶(決定)

- 撮影した静止画を削除してやり直すとき：(クリア)

お知らせ

撮影した画像の添付について

- 自動保存モード（☞P.199）を［ON］に設定している場合、撮影後のプレビュー画面は表示されません。

メール

ｉモードメール保存

ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

ｉモードメールの作成中に操作を中断しなければならないときなどに、作成したｉモードメールをFOMA端末に一時保存しておくことができます。保存したｉモードメールはあとから編集して送信することができます。

- ｉモードメールの作成については、P.263～P.265を参照してください。

ｉモードメールを保存する

1 ｉモードメールの作成中（☞**P.263**の操作１～３）に、Ⓜ→2［保存］を選ぶ。



- 作成中のｉモードメールが、未送信メールとして保存されます。
- 通常のｉモードメールでは、本文サイズと添付ファイルを合わせて10000バイトまで保存できます。
- 大容量添付ファイル（静止画およびｉモーション）を添付する場合は、メール本文と合わせて521800バイトまで保存できます。

お知らせ

- メール作成中で宛先、題名、本文のいずれかが入力されている場合、Ⓞを押すと、終了確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、メールの作成を中止できます。ただし、作成を中止したメールは保存されません。

送信／保存したｉモードメールを編集・送信する

■ 送信したｉモードメールを編集・再送する

基本メニュー（☞**P.35**）

1 待受画面で◉ → メール機能 → ［全送信メールを見る］の順に選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → Mail（メール）→［送信**BOX**］→フォルダの順に選ぶ。



- 送信メール一覧画面が表示されます。

2 ｉモードメールを選ぶ。

- メール表示画面が表示されます。
- ◇を押すと、前または次のメール表示画面が表示されます。
- Ⓘ［リスト］を押すと、送信メール一覧画面に戻ります。
- メロディが添付されているときは、メロディが再生されます。メロディ自動再生（☞P.297）を［自動再生しない］に設定しているときは、再生されません。メロディを止めるときは、◉を押します。他の画面に移動してもメロディは止まります。
- 画像が添付されているときは、本文の下に画像と添付種別マーク、ファイル名が表示されます。（☞P.283）

3 編集・再送する。

再送する	Ⓜ→1［再送］
編集する	Ⓜ→2［編集］→メール編集→Ⓘ［送信］ ● 新規作成時と同様に編集できます。詳しくは、P.264の操作２～３を参照してください。

保存したｉモードメールを編集・送信する

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［メール機能］→［未送信メールを見る］の順に選んで、ｉモードメールを選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Mail メール］（メール）→［未送信**BOX**］の順に選んでｉモードメールを選ぶ。

- メール作成画面が表示されます。

2 項目を選んで、編集して⓪［送信］を押す。

- 新規作成時と同様に編集できます。詳しくは、P.264の操作２～３を参照してください。
- ｉモードメールが送信されます。
- 未送信メールは１件ずつ選択して、送信します。
- 送信したｉモードメールは［送信トレイ］に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.293）の条件に合致していた場合は、設定されたフォルダに保存されます。

メール自動受信

ｉモードメールを受信したときは

メール選択受信設定（☞P.272）が［OFF］に設定されている場合、ｉモードメールを自動的に受信します。

- 受信メールは最大100～1000件まで保存できます。（受信メールのサイズによって、保存できる件数が変わります。）
- 保存するメモリの空き容量がない場合、保護されていない保存日時の一番古い既読メールに上書きされます。必要なｉモードメールは保護することをおすすめします。（上書き確認のメッセージは表示されません。）
- FOMA端末が次のいずれかの状態のとき、送信されてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
  - ■電源が入っていないとき
  - ■セルフモード中
  - ■圏外
  - ■テレビ電話の通話中
  - ■メール選択受信設定が［ON］のとき
  - ■保護や未読のｉモードメールがいっぱいで空き容量がないとき
  - ■FirstPassセンター接続中

お知らせ

- あらかじめ、受信するｉモードメールのサイズを制限できます。（☞P.258）
- 本文は最大全角5000文字（半角10000文字）まで受信できますが、それを超えた場合は文末に［/］または［//］が表示され、超えた部分が自動的に削除されます。

マークの意味

マーク	状　態
✉	未読メールがあります。（☞P.271）
✉（黒）	FOMA端末の受信メールがいっぱいです。 未読メールの確認（☞P.271）、ｉモードメールの保護解除（☞P.288）、不要なメールの削除（☞P.286）を行ってください。
（青色）	センターでメールをお預かりしています。（メール選択受信設定が［OFF］のとき） ｉモードメールを受信したいときは、ｉモード問い合わせ（☞P.273）を行ってください。
（緑色）	センターでメールをお預かりしています。（メール選択受信設定が［ON］のとき） ｉモードメールを受信したいときは、選択受信（☞P.272）を行ってください。
	センターでお預かりしているｉモードメールがいっぱいです。 ｉモード問い合わせ（☞P.273）を行ってください。
PIM	PIMロックが設定されています。メールのPIMロック中にｉモードメールを確認したいときは、端末暗証番号の入力が必要です。（☞P.163）

- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていても、［］（青色）が表示されない場合があります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊メニューを切り替えるときは⓪［⓪基本メニューへ］または［⓪詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- メール選択受信設定を［ON］に設定しているときは、［✉］（青色）や［✉］は表示されません。（☞P.272）
- FOMA端末（本体）のメールをminiSDメモリーカードにコピーしたり、miniSDメモリーカード内のメールをFOMA端末（本体）にコピーできます。
- 文字サイズの設定によって、画面に表示される文字数が変わります。

新着ｉモードメールを表示する

1 ｉモードメールが届くと、自動的に受信する。（［✉］点滅）



- メール選択受信設定を［ON］に設定しているときは、自動的に受信できません。
- FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイに［受信中］と表示されます。
- 受信を中止するときは、受信中に◉を押します。
- 受信を中止したｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。（［✉］（青色）表示）
- 受信を中止するタイミングにより、ｉモードメールを受信してしまう場合もあります。
- 待受中に、□～□にメールアドレスを登録してある相手からのメールを受信したときは、□～□が点滅します。点滅している□～□を押すと、メールの内容が表示されます。

2 受信終了後、ｉモードメールの受信結果が表示され、ｉモードメール着信音が鳴る。（［✉］表示）



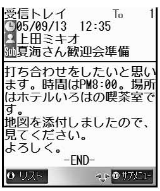
- 受信したｉモードメールは、［受信トレイ］に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.293）の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
- 複数のｉモードメール、メッセージR／Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、メッセージR／Fに設定されている着信音が鳴ります。
- 通話中、ｉモーション／メロディ再生中などにメールを受信した場合、メール着信音は鳴りません。

3 受信結果画面で［メール］を選ぶ。



- 受信BOX一覧画面が表示されます。
- 未読のメールが保存されているフォルダは、ピンク色で表示されています。
- SMSを受信したときも、受信BOXに保存されます。
- 受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後、自動的に受信前の画面に戻り、［メールあり　○件］と表示されます。
- メッセージR／Fを受信したときは、メッセージ自動表示設定（☞P.241）に従い、メッセージR／Fが自動表示されます。

4 フォルダを選んでｉモードメールを選ぶ。



- 受信メール表示画面が表示されます。
- 受信メールの見かたについては、P.285を参照してください。

お知らせ

- ｉモードメールでは、メロディや動画、静止画を添付ファイルとして送受信できます。対応していない添付ファイルは、ｉモードセンターで削除されます。添付ファイルを削除した場合は、本文に［添付ファイル削除］の文字が追加されます。

メール

次ページへ続く

お知らせ

- メロディ自動再生が［ON］に設定されているときは、メロディが再生されます。◉を押したり、他の画面に移動すると、メロディが止まります。
- 画像が添付されているときは、本文の下に画像と添付種別マーク、ファイル名が表示されます。
- ｉモードメールに10000バイトを超えるJPEG画像が添付されていた場合は、本文に［画像あり］が表示されます。
- ［画像あり］を選択すると画像が取得され、自動的にデータBOXのマイピクチャの［ｉモード・その他］フォルダに保存されます。メモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除して、メモリの空き容量を増やしてから保存します。
- ｉアプリToの情報が貼り付けられていても本文には何も表示しません。（ｉアプリ機能は搭載していません。）
- 受信メール（本体＋添付ファイルまたは貼付データ）のデータ量が、ｉモードメニューから［ｉMenu］→［8オプション設定］→［1メール設定］→［メールサイズ制限］で設定した文字数（データ量）を超えた場合、添付ファイル、貼付データはｉモードセンターで削除されます。削除された添付ファイルや貼付データを、再度受信することはできません。
- 画像が貼り付けられているデコメール（☞P.279）の場合、添付ファイル受信（☞P.298）で画像を受信しないように設定しているときは、［図］（画像取得失敗）が表示されます。
- To、Cc、Bccを設定できるFOMA端末やパソコンなどから送信されたｉモードメールは、ご自分がTo、Cc、Bccのどれに当てはまるかを、FOMA端末で確認できます。（☞P.285）
- メールのPIMロック中、ｉモードメールやメッセージR／Fを受信しても、受信結果の表示とメッセージR／Fの自動表示は行われません。また、メール着信音も鳴りません。
- 保存先メモリの空き容量がなく、保護されていない既読メールが１件もないときにｉモードメールを受信した場合、［メッセージがいっぱいです］と表示されます。受信結果画面には件数［0］と表示されます。
- 正しく表示できない文字はスペースなどで表示されます。

着信音を止めるとき

- 次のボタンを押します。
  - ■ ◉ ....着信音が止まり、受信BOX一覧画面が表示されます。
  - ■ 大／小、クリア、終話 ...着信音が止まり、待受画面または受信前の画面に戻ります。
  - ■ その他のボタン ......受信結果画面のまま着信音が止まります。

待受中以外の状態で受信したとき

- 操作中メール着信音設定を［ON］に設定している場合、メール着信音が鳴り、ディスプレイに［✉］が表示されます。受信完了画面は表示されません。

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめメール選択受信設定を［ON］に設定します。なお、［ON］に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

ｉモードメールが届いたときは



メール選択受信設定を［ON］に設定しているときにｉモードセンターにｉモードメールが届くと、待受画面には右の画面が表示されます。（メール選択受信通知）
□1～□3、□以外のいずれかのボタンを押すと、表示が消えます。ｉモードメールを選択受信するときは、表示を消してから行ってください。FOMA端末を閉じているときは、大／小を１秒以上押すと、表示が消えます。

- 右画面が表示されているときに、電話がかかってきて開始や終話を押しても、通話終了後、再び右画面に戻ります。
- 右画面が表示されるときは、メール着信音は鳴らず、バイブレータも振動しません。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

ｉモードメールを選択受信する＜メール選択受信＞

1 詳細メニュー：待受画面で→（メール）→［メール選択受信］の順に選ぶ。



- ｉモードセンターに接続され、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールが表示されます。
- メール選択受信設定を［OFF］に設定しているときは、［メール選択受信をご利用になる場合は「メール設定」から「メール選択受信設定」をONにしてください］と表示されます。を押すと、メール選択受信設定画面が表示されます。1［ON］を押してメール選択受信設定を［ON］にしてから、9［メール選択受信］を押すと選択受信できます。

2 ｉモードメールごとに［受信］、［削除］または［保留］を選ぶ。



- 表示されていない部分を確認するときは、を押します。
- ファイルが添付されているときは、サイズの右側に次のアイコンが表示されます。
  - ：画像ファイルが添付されています。
  - ♪：メロディファイルが添付されています。
  - ：ｉモーションが添付されています。(貼り付けられているときは表示されません。)
- ｉモードセンターのｉモードメールをすべて削除するときは、メール選択受信画面の最下部にある［削除］を選んでを押します。確認画面で［決定］を選んでを押すと、ｉモードセンターのｉモードメールがすべて削除されます。

3 ［受信／削除］を選んで、［決定］を選ぶ。

- 受信／削除したいｉモードメールを選び直すときは、［キャンセル］を選んでを押します。

4 受信したｉモードメールを表示する。（☞**P.271**の操作３～４）

関連操作

ｉモードメニューリストから選択受信する＜メール選択受信＞

待受画面で▶［ｉMenu］▶▶［3メニューリスト］▶［メール選択受信］▶

ｉモード問い合わせ

7または4

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されています。（☞P.270）ｉモードセンターに問い合わせて受信できます。

- ｉモード問い合わせをする種類（ｉモードメール、メッセージR／F）を設定できます。（☞P.295）
- メール選択受信設定を［ON］に設定していても、ｉモード問い合わせをすると、すべてのｉモードメールを受信します。
- ｉモード問い合わせをしたあと、［］が点滅している間に再びｉモード問い合わせの操作をしても、実際には問い合わせを行いません。すべての種類について０件と表示されます。
- お買い上げ時は、すべての種類の問い合わせをするように設定されています。（☞P.295）
- SMSの問い合わせについては、P.310を参照してください。

メール

次ページへ続く

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→ メール機能 →［ｉモード問い合わせ］の順に選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail メール（メール）または i-mode iモード（ｉモード）→［ｉモード問い合わせ］の順に選ぶ。

- 問い合わせを開始します。
- ｉモード問い合わせ設定（☞P.295）の設定に従い［ｉモードメール］→［メッセージR］→［メッセージF］の順でｉモード問い合わせを行います。
  （問い合わせをしているマーク（[✉]［R］［F］）が順次表示されます。）
- 受信を中止するときは、受信中に◉を押します。
- 受信を中止したｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。（[✉]（青色）表示）
- 受信を中止するタイミングにより、ｉモードメールを受信してしまう場合もあります。

2 問い合わせ結果が表示され、ｉモードメールがある場合は、ｉモードメール着信音が鳴る。

- ｉモード問い合わせが終了します。
- センターにｉモードメールが保管されていないときは、件数が［0］と表示されます。
- 複数のｉモードメール、メッセージR／Fを受信したときは、最後に受信したｉモードメール、メッセージR／Fに設定されている着信音が鳴ります。
- 着信音を途中で止めるときは、CLRを押します。他のボタンでも止めることができます。（☞P.272）

3 受信結果画面で、［メール］を選ぶ。



- 受信BOX一覧画面が表示されます。
- 未読のメールが保存されているフォルダは、ピンク色で表示されます。
- 受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後に元の画面に戻ります。
- ｉモード待機中の状態（[8]が点滅）のままです。
- ｉモード問い合わせで受信したｉモードメールは、自動表示されません。

4 フォルダを選んでｉモードメールを選ぶ。

- 受信メールの見かたについては、P.285を参照してください。

お知らせ

- 問い合わせの結果、表示される画面上側のマークの意味については、P.270を参照してください。
- 電波状況などにより、エラーメッセージが表示され、問い合わせできない場合や中断される場合があります。
- 保存先メモリの空き容量がなく、保護されていない既読メールが１件もないときにｉモード問い合わせをしてｉモードメールを受信した場合、［メッセージがいっぱいです］と表示されます。受信結果画面には件数［0］と表示されます。

ｉモードメール返信

ｉモードメールに返信する

ｉモードメールの返信方法には、受信メールの本文を引用して返信する方法と、本文を引用しないで返信する方法があります。

- 送信メールを保存するメモリの空き容量がない場合は、メールを返信できません。
- SMSの返信については、P.311を参照してください。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

1 iモードメールを表示し（☞P.271の操作1～4）、Ⓜを押して返信方法を選ぶ。



返信する	2 ［返信］ ● 受信メールの題名の先頭に［Re:］が付いた題名が入力されています。
受信メールの本文を引用して返信する	3 ［引用返信］ ● 本文の先頭に［>］が挿入され、受信メールの内容が引用されます。

● 返信できないiモードメールを選んだときは、[返信先が無効です]と表示されます。
● 同報があるiモードメールを選んだときは、返信先の選択画面が表示されます。1［差出人に返信］または2［全員に返信］を押します。

2 iモードメールを作成し、送信する。

● 題名や本文を編集できます。
● 詳しくは、P.264の操作2～3を参照してください。
● メール作成画面でⓂ→2[保存]を押すと、作成中のiモードメールが未送信メールとして保存されます。

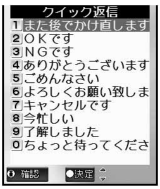
お知らせ

● iモードメール作成中にⓒを押すと、終了確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、iモードメールの作成を中止できます。作成を中止したiモードメールは保存されません。
● iモードメールの返信画面で未編集のままⓒを押すと、終了確認画面は表示されません。
● 返信メールの題名は、受信メールの題名の先頭に［Re:］が付いた題名となります。［Re:］を含めて全角15文字（半角30文字）を超えると、超えた部分が削除されます。
● ［>］と本文と合わせて全角5000文字（半角10000文字）を超えると、超えた部分が削除されます。
● 送信元のメールアドレスが50文字を超えているときや、送信元が「iモードメールplus」の「フレンドメール12」のときなどは返信できません。返信できないiモードメールには受信メール表示画面で［⊠］が表示されます。
● 引用返信するiモードメールに画像が表示されていても、作成した返信メールには引用されません。
● 引用返信したiモードメールに、自動署名が設定されていても自動貼り付けされません。
● 受信したデコメールに引用返信する場合、装飾や挿入されている画像は引用されません。
● 相手がシークレットコードを登録している場合、iモードメール送信時にメールアドレスにシークレットコードを付加する必要があります。（☞P.265）
● 本文にiアプリToが貼り付けられている場合、引用返信してもiアプリToは引用できません。また、データリンクソフトを利用しても、iアプリToの情報は送信できません。
● ダイヤル発信制限（☞P.165）中は、電話帳に登録していない宛先へは返信できません。ただし、電話帳に登録していない宛先であっても、ワンタッチキーに登録している宛先には送信できます。

手早く返信する＜クイック返信＞

受信メール表示画面から簡単に返信メールを送信できます。
● あらかじめクイック返信メール設定（☞P.297）で本文を登録しておきます。10件まで登録できます。

1 iモードメールを表示し（☞P.271の操作1～4）、Ⓜ→1［クイック返信］を選ぶ。



メール

次ページへ続く

2 本文を選ぶ。

- メール作成画面が表示されます。
- 宛先、題名、本文を確認します。
- 本文を確認するときは、［本文］を選んで◉［決定］を押します。

3 ⓘ［送信］を押す。

- メールが送信されます。

iモードメール転送

iモードメールを他の宛先に転送する

FOMA端末で受信したiモードメールを他の相手に転送できます。

- 送信メールを保存するメモリの空き容量がない場合は、iモードメールを転送できません。
- SMSは転送できません。

1 iモードメールを表示し（☞**P.271**の操作1～4）、ⓜ→4［転送］を選ぶ。

- メール作成画面が表示されます。
- 受信メールの題名の先頭に［Fw:］が付いた題名が入力されています。
- 受信した本文がそのまま入力されています。

2 iモードメールを作成し、送信する。

- 題名や本文を編集できます。
- 詳しくは、P.264の操作2～3を参照してください。
- メール作成画面でⓜ→2［保存］を押すと、作成中のiモードメールが未送信メールとして保存されます。

お知らせ

- iモードメール作成中にⓒを押すと、終了確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、iモードメールの作成を中止できます。ただし、作成を中止したiモードメールは保存されません。
- iモードメールの転送画面で未編集のままⓒを押すと、終了確認画面は表示されません。
- 転送するiモードメールの題名は、受信メールの題名の先頭に［Fw:］が付いた題名になります。［Fw:］を含めて全角15文字（半角30文字）を超えると、超えた部分が削除されます。
- 本文の編集後、全角5000文字（半角10000文字）を超えると、超えた部分が削除されます。
- 転送するiモードメールに、自動署名貼付が設定されていても自動貼り付けされません。
- 受信したデコメールを転送する場合、装飾は引用されず、挿入されている画像は添付ファイルとして送信されます。
- 電話帳を表示中に受信したiモードメールは、電話帳を終了してから転送してください。

転送するiモードメールにメロディや画像が添付されていたとき

- メロディ（SMF）や画像も転送されます。ただし、メロディ添付のiモードメールを転送した機種がFOMA SH900i、SH901iC、SH700i、SH901iS、SH851i以外の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。また、大容量GIF画像は自動で添付されません。
- 転送するiモードメールに、iアプリToやiモードメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されているとき、それらのファイルは削除されます。
- メロディは最大10件添付できますが、添付するファイルサイズによっては、添付できる件数が少なくなります。

メールアドレスや電話番号を電話帳に登録する

受信メールの送信元や宛先、送信メールの宛先のメールアドレスまたは電話番号を、電話帳に登録できます。また、受信メールの本文に書かれたメールアドレスを電話帳に登録できます。

- 電話帳に登録するには新しく電話帳を作成して登録する［新規］と、既存の電話帳にメールアドレスを追加する［追加／上書］があります。
- SMSの場合、送信元／宛先の電話番号が電話帳の電話番号欄に登録されます。
- メールアドレスが半角50文字を超える受信メールの場合は、電話帳に登録できません。
- ダイヤル発信制限（☞P.165）中は、電話帳を登録できません。
- すでにFOMA端末（本体）電話帳の場合は750件、FOMAカード電話帳の場合は50件登録されているとき、新規には登録できません。
- 「iモードメールplus」の「フレンドメール12」のメールアドレスは登録できません。

送信元／宛先のメールアドレスを電話帳に登録する<アドレス登録>

1 受信メール表示画面で[メニュー]→[0]［アドレス登録］を選んで、登録方法を選ぶ。

- 送信メールのときは、送信メール表示画面で[メニュー]→[8]［アドレス登録］を押します。

FOMA端末（本体）電話帳に新規登録する	[1]［本体新規］
FOMAカード電話帳に新規登録する	[2]［FOMAカード新規］
電話帳に追加／上書登録する	[3]［追加／上書］→名前→[決定]

- 電話帳入力画面に、送信元または宛先のメールアドレスが入力されています。電話帳登録の操作を続けます。（☞P.103、P.108）
- 電話帳のPIMロック中は、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力すると電話帳に登録できます。

お知らせ

- 宛先が複数存在する場合は、操作１のあとアドレス選択画面が表示されます。宛先を選んで[決定]を押します。
- 電話帳の操作中にｉモードメールやSMSを受信したとき、その受信メールのアドレスまたは電話番号を、電話帳に登録することはできません。

メール本文の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>

1 受信メール表示画面で電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせて[メニュー]→[#]［電話帳登録］を選んで、登録方法を選ぶ。

FOMA端末（本体）電話帳に新規登録する	[1]［本体新規］
FOMAカード電話帳に新規登録する	[2]［FOMAカード新規］
電話帳に追加／上書登録する	[3]［追加／上書］→名前→[決定]

- 電話帳入力画面に、選択した電話番号やメールアドレスが入力されています。電話帳登録の操作を続けます。（☞P.103、P.108）

画像メールの画像を表示する

大容量添付ファイル（静止画）や画像のURLが記載されたメールの画像を表示します。

例：大容量添付ファイル（静止画）の場合

1 受信した大容量添付ファイル付メールを表示し（☞**P.271**の操作１～４）、本文中の［📷画像あり］を選ぶ。

- 画像が取得され、データBOXのマイピクチャの［ｉモード・その他］フォルダに保存されます。
- メモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除して、メモリの空き容量を増やしてから保存します。
- 静止画が表示されます。
- 大容量添付ファイル（静止画）が取得できなかった場合、静止画は添付されません。
- 画像のURLが記載されているときは、画像のURLを選んで◉を押します。ｉモード接続確認画面が表示されます。㊞［はい］を押すと、ｉモード接続が開始され、画像が表示されます。
- 表示した画像の保存方法は、サイトから画像をダウンロードする場合と同様です。詳しくは、P.231を参照してください。

ｉモーションメールからｉモーションを再生・保存する

受信したｉモーションメールには、ｉモーション閲覧のためのURLが記載されています。［🎥あり］が表示され、URLを選択すると、ｉモーションメールセンターからｉモーションのファイルを取得して、再生することができます。

1 ｉモーションが添付されている受信メールを表示し（☞**P.271**の操作１～４）、本文中の**URL**を選ぶ。

- ｉモード接続確認画面に[サイト接続しますか？]と表示されます。㊞[はい]を押すと取得が開始されます。
- ｉモーションが取得され、完了後、再生を行います。ｉモーションによっては、取得しながら自動的に再生を行い、再生が終ったときに、データ取得完了画面が表示されるものがあります。
- 再生回数が決められているｉモーションは、再生するときに残り回数が表示されます。再生するときは、［はい］を選んで◉を押します。
- 再生期限が決められているｉモーションは、再生するときに再生期限が表示されます。
- ｉモーションを保存するときは、取得したｉモーションを停止中または一時停止中に㊞→㊞［保存］を押します。
- ｉモーション自動再生設定（☞P.253）を［しない］に設定しているときは、ｉモーションを取得完了後に、再生するか、保存するかの選択画面が表示されます。

お知らせ

- ｉモーション取得開始直後にテレビ電話着信があった場合は、ｉモーション取得が中止されます。
- ｉモード端末へｉモーションメールを送信した場合、ｉモーションメールセンターに保存されたｉモーション閲覧用URL１件につき50回まで取得できます。50回を超えた場合は、ｉモーションを取得できません。
- ｉモーションメールに添付されているｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要です。（☞P.532「動画再生ソフトのご紹介」）詳しくは、ドコモのホームページを参照してください。
- ｉモーションによっては、データを取得しても正しく再生できないことがあります。
- データを取得しながら再生できるｉモーションの場合、電波状況などにより再生できなくなった場合でも、ｉモーションの取得完了後に再生できます。

添付ファイル確認

添付ファイルを確認・保存・削除する

ｉモードメールに添付されている、画像・動画・メロディファイルを確認・保存・削除できます。

● 添付ファイルはデータBOXのマイピクチャの［ｉモード・その他］、ｉモーションの［ｉモード・その他］、メロディの［メロディ］フォルダにそれぞれ保存されます。

1 ファイルが添付されている受信メールを表示し（☞P.271の操作１～４）、Ⓜ→8［添付ファイル確認］を選ぶ。

● 添付ファイル一覧画面が表示されます。
● 送信メールのときは、Ⓜ→6［添付ファイル確認］を押します。
● 添付ファイルのURLを確認するときは、Ⓜ→9［添付ファイルURL確認］を押します。

2 ◇でファイルを選び、確認する。

添付ファイルを確認する		◉［確認］ ● 添付ファイルが表示または再生されます。
添付ファイルを保存する		ⓘ［保存］→［はい］→◉
添付ファイルを削除する	１件削除	Ⓜ［削除］→1［１件削除］→［はい］→◉ ● 添付ファイルが１件のみの場合は、Ⓜ［削除］を押し、［はい］を選んで◉を押します。
	全件削除	Ⓜ［削除］→2［全件削除］→［はい］→◉

お知らせ

● ｉモードメールに添付された画像は、正しく表示されないことがあります。また、縦横ともに2048ドット以下、画像面積が1536×2048ドット以下のサイズの画像は表示されますが、そのサイズを超えた場合、受信しても表示されない場合があります。

本文中画像確認

デコメールに挿入された画像を確認・保存する

受信したデコメールの本文に挿入されている画像を確認・保存できます。

● 画像は、データBOXのマイピクチャの［ｉモード・その他］フォルダに保存されます。

1 画像が挿入されている受信メールを表示し（☞P.271の操作１～４）、Ⓜ→0［本文中画像確認］を選ぶ。



2 ◇で画像を選んで、確認する。

画像を確認する	◉［確認］
画像を保存する	ⓘ［保存］→［はい］→◉

お知らせ

● 添付された画像は、本文中画像確認で確認・保存を行ってください。
● 動画、または10001バイト以上のJPEG画像は、添付ファイル確認からは保存できません。

送信／受信メールBOXのメールを表示する

送信、受信、未送信のｉモードメールやSMSを確認できます。

- ｉモードメールとSMSの両方が、受信BOXや送信BOXに保存されます。
- ｉモードメールでは最大全角5000文字の本文を送受信できます。
- 本文が全角5000文字（半角10000文字）を超えるｉモードメールを受信した場合、文末に［/］または［//］が表示され、超えた部分が自動的に削除されます。削除された部分は確認できません。
- 送信メールは、未送信メールと合わせてｉモードメールは最大50〜101件、SMSは最大20件まで保存できます。ただし、送信メール、未送信メールそれぞれの最大保存件数は100件です。（メールのサイズによって、保存できる件数が異なります。）
- 受信メールは、ｉモードメールが最大100〜1000件、SMSは最大20件まで保存できます。（受信メールのサイズによって、保存できる件数が異なります。）
- 送信／受信したｉモードメールとSMSは、フォルダで管理できます。FOMA端末（本体）とFOMAカードのそれぞれに［受信トレイ］［送信トレイ］フォルダがあります。FOMA端末（本体）には、ご自分でフォルダを作成することもできます。
- 送信BOX一覧画面の［送信トレイ］フォルダには、FOMA端末（本体）の［送信トレイ］の送信メールとFOMAカードの［送信トレイ］の送信メールが混在して表示されます。受信BOX一覧画面の［受信トレイ］フォルダも同様です。

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→ メール機能 →［全受信メールを見る］の順に選ぶ。

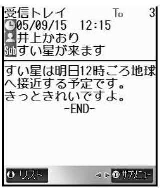
- 送信メールのとき：基本メニューから［メール機能］→［全送信メールを見る］の順に選ぶ。
- 未送信メールのとき：基本メニューから［メール機能］→［未送信メールを見る］の順に選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail メール （メール）→［受信**BOX**］→フォルダの順に選ぶ。

- 受信メール一覧画面が表示されます。
- 未読のｉモードメールまたはSMSがある場合、そのフォルダはピンク色で表示されます。
- フォルダ一覧の見かたについては、P.281を参照してください。
- 送信メールのとき：詳細メニューから✉（メール）→［送信BOX］→フォルダの順に選ぶ。
- 未送信メールのとき：詳細メニューから✉（メール）→［未送信BOX］の順に選ぶ。

2 ｉモードメールや**SMS**を選ぶ。



メール表示画面

- メールの内容が表示されます。

表示を終わる	終話
他のメールを確認する	ⓘ［リスト］またはクリア→メール一覧画面でメールを選び直す
表示中の送信／受信メールのアドレスや題名、本文をコピーする	ⓜ→5［コピー］（送信メールのときはⓜ→3［コピー］）→項目→◉

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

関連操作

メール表示画面での画面操作

操　作	ボタン
下スクロール	↓
上スクロール	↑
画面単位下スクロール	(小)
画面単位上スクロール	(大)
下自動スクロール※	# （1秒以上）
上自動スクロール※	* （1秒以上）
次メール表示	→
前メール表示	←

※ 自動スクロールを止めるときは、#、*またはダイヤルボタンを押します。

アシスタントビューを使う

メール作成中などに(i)（1秒以上）

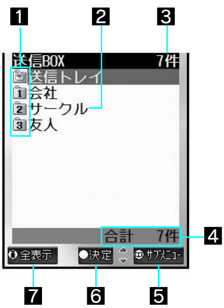
メール表示画面から電話をかける<電話帳発信>

● あらかじめ電話帳にメールを送信された相手のメールアドレスと電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号に発信します。1件目に電話番号が登録されていないときは2件目に、2件目にも登録されていないときは3件目の電話番号に発信します。

メール表示画面で (m) ▶［電話帳発信］▶ ● ▶［はい］▶ ● ▶ ●［音声電話］または(i)［テレビ電話］

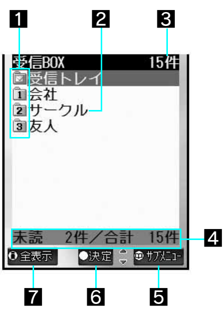
BOX一覧画面の見かた

送信BOX一覧画面



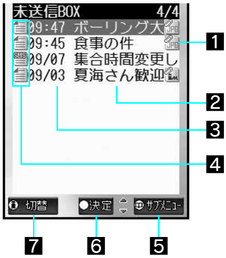
1 フォルダマーク
　1：作成されたフォルダ
　　0～9のフォルダの場合、0～9を押すと、対応するフォルダの送信メール一覧画面が表示されます。
2 フォルダ名
　先頭から全角10文字（半角20文字）まで表示されます。
3 送信ｉモードメール、送信SMSの総件数
4 選択しているフォルダ内のｉモードメール、SMSの件数
5 (m)を押すと、フォルダの作成や削除などができます。
6 ●を押すと、選択されたフォルダに保存されている送信ｉモードメールと送信SMSの一覧が表示されます。
7 (i)を押すと、保存されているすべての送信ｉモードメール、送信SMSの一覧が表示されます。

受信BOX一覧画面



1 フォルダマーク
　未読メールが保存されているときは、ピンク色で表示されます。
　1：作成されたフォルダ
　　0～9のフォルダの場合、0～9を押すと、対応するフォルダの受信メール一覧画面が表示されます。
2 フォルダ名
　先頭から全角10文字（半角20文字）まで表示されます。
3 受信ｉモードメール、受信SMSの総件数
4 選択しているフォルダ内の未読 ｉモードメールと未読 SMS の件数／フォルダ内の全件数
5 (m)を押すと、フォルダの作成や削除などができます。
6 ●を押すと、選択されたフォルダに保存されている受信ｉモードメールと受信SMSの一覧が表示されます。
7 (i)を押すと、保存されているすべての受信ｉモードメール、受信SMSの一覧が表示されます。

未送信BOX一覧画面



1 データが付いているとき
：メロディが添付されています。
（青色）　：GIF画像が添付されています。
（青色）　：10000バイト以下のJPEG画像が添付されています。
（ピンク）：10001バイト以上のJPEG画像が添付されています。
：動画／ｉモーションが添付されています。

2 題名（題名のないメールは［無題］と表示されます。）
メールの題名が表示されます。先頭から全角7文字（半角14文字）まで表示されます。

3 保存日時
当日の場合は時間、当日以外の場合は日付が表示されます。

4 メールの種類
：未送信ｉモードメール
：未送信SMS

5 ⓜを押すと、メールの削除などができます。

6 ｉモードメールまたはSMSで◉を押すと、選択された未送信ｉモードメールや未送信SMSの編集画面が表示されます。

7 ⓘを押すと、題名表示→名前表示（電話帳に登録されていない場合は、メールアドレス）→メールアドレス（SMSは電話番号）が順に切り替わります。

お知らせ

miniSDメモリーカードについて

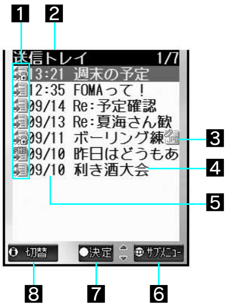
- FOMA端末（本体）に保存されているｉモードメールやSMSのデータをminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞P.353）、miniSDメモリーカード内のｉモードメールやSMSを表示したり（☞P.356）できます。
- miniSDメモリーカードに保存されているｉモードメールやSMSのデータを、FOMA端末（本体）にコピー（☞P.357）できます。

FOMAカードについて

- FOMA端末（本体）に保存されているSMSのデータを、FOMAカードにコピーしたり（☞P.312）、FOMAカード内のSMSを表示したり（☞P.310）できます。
- FOMAカードに保存されているSMSのデータを、FOMA端末（本体）にコピーできます。（☞P.313）

送信／受信メールの一覧画面／表示画面の見かた

送信メール一覧画面の見かた



1 メールの種類（保護の有無）
：送信済みｉモードメール　　：送信済みｉモードメール（保護）
：送信済みSMS　　：送信済みSMS（保護）
：FOMAカード送信済みSMS
［送信トレイ］フォルダの場合、FOMA端末（本体）とFOMAカード両方の［送信トレイ］内のｉモードメールとSMSが混在表示されます。

2 フォルダ名
先頭から全角9文字（半角18文字）まで表示されます。

3 データが付いているとき
：メロディが添付されています。
（青色）　：GIF画像が添付されています。
（青色）　：10000バイト以下のJPEG画像が添付されています。
（ピンク）：10001バイト以上のJPEG画像が添付されています。
：動画／ｉモーションが添付されています。

4 題名（題名のないメールは［無題］と表示されます。）
メールの題名が表示されます。先頭から全角7文字（半角14文字）まで表示されます。

5 送信日時
当日の場合は時間、当日以外の場合は日付が表示されます。

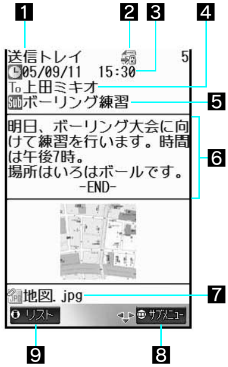
6 ⓜを押すと、ｉモードメールの移動や削除などができます。

7 ◉を押すと、選択されたｉモードメール表示画面やSMS表示画面が表示されます。

8 ⓘを押すと、題名表示→名前表示（電話帳に登録されていない場合は、メールアドレス）→メールアドレス（SMSは電話番号）が順に切り替わります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

送信メール表示画面の見かた



1 フォルダ名
文字サイズ設定により表示されます。
基本メニューから表示したときは［大きい文字］で表示されます。
大きい文字 ：全角５文字（半角11文字）
標準　　　 ：全角７文字（半角15文字）
小さい文字 ：全角10文字（半角20文字）

2 保護マーク
保護されているときに表示されます。

3 送信日時

4 宛先（送信先）
送信種別（To／Cc／Bcc）

5 題名

6 本文
文末には［- END -］が表示されます。

7 添付種別マーク／ファイル名
添付ファイルがあるときに表示されます。
：メロディが添付されています。
（青色）　：GIF画像が添付されています。
（青色）　：10000バイト以下のJPEG画像が添付されています。
（ピンク）：10001バイト以上のJPEG画像が添付されています。
：動画／ｉモーションが添付されています。
：再生できない（壊れている）メロディが添付されています。
：再生できない（壊れている）GIF画像が添付されています。
（青色）　：再生できない（壊れている）JPEG画像が添付されています。
（ピンク）：再生できない（壊れている）大容量 JPEG 画像が添付されています。
：再生できない（壊れている）ｉモーションが添付されています。
：無効なデータが貼り付けられています。

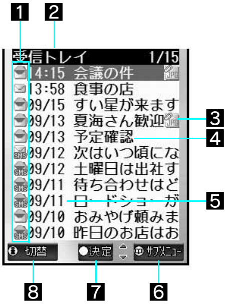
8 Ⓜを押すと、編集や削除などができます。

9 ⓘを押すと、送信メール一覧画面に戻ります。

画面操作については、P.281の「関連操作」を参照してください。

- 宛先のメールアドレスが電話帳に登録されているときは、相手の名前が宛先の欄に表示されます。電話帳に登録されていない場合、電話番号またはメールアドレスが表示されます。ただし、電話帳のPIMロック中や、電話帳がシークレット登録（☞P.120）されている場合、名前は表示されません。シークレット登録した電話帳の名前を表示させるには、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定してください。

受信メール一覧画面の見かた



1 メールの種類（保護の有無）

：未読ｉモードメール　　：未読ｉモードメール（保護）
：既読ｉモードメール　　：既読ｉモードメール（保護）
：未読SMS　　：未読SMS（保護）
：既読SMS　　：既読SMS（保護）
：FOMAカード未読SMS
：FOMAカード既読SMS
：メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール
：メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール（保護）
：メール連動型ｉアプリでの既読ｉモードメール
：メール連動型ｉアプリでの既読ｉモードメール（保護）
：返信済み　　：返信済み（保護）
：転送済み　　：転送済み（保護）

［受信トレイ］フォルダの場合、FOMA端末（本体）とFOMAカード両方の［受信トレイ］内のｉモードメールとSMSが混在表示されます。

2 フォルダ名

先頭から全角９文字（半角18文字）まで表示されます。

3 データが付いているとき

：メロディが添付または貼り付けられています。
（青色）　：GIF画像が添付されています。
（青色）　：10000バイト以下のJPEG画像が添付されています。
（ピンク）：10001バイト以上のJPEG画像が添付されています。
：大容量の画像ファイルがサーバに保存されています。

4 題名（題名のないメールは［無題］と表示されます。）

メールの題名が表示されます。先頭から全角７文字（半角14文字）まで表示されます。

5 受信日時

当日の場合は時間、当日以外の場合は日付が表示されます。

6 Ⓜを押すと、ｉモードメールの移動や削除などができます。

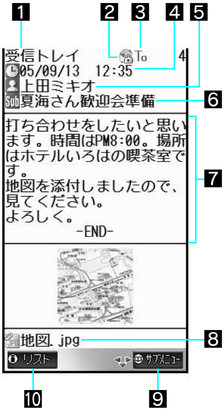
7 ◉を押すと、選択されたｉモードメール表示画面やSMS表示画面が表示されます。

8 ⓘを押すと、題名表示→名前表示（電話帳に登録されていない場合は、メールアドレス）→メールアドレス（SMSは電話番号）が順に切り替わります。

- お買い上げ時は、ｉモードセンターで受信した日時の新しい順に表示されます。（表示方法を変更することもできます。☞P.287）
- SMSの場合は、相手によって、次のように表示されます。
  - ■ 相手の電話番号が通知され、かつ電話帳に登録されている場合 .... 電話帳に登録されている名前
  - ■ 相手の電話番号が通知され、電話帳に登録されていない場合 .... [090（または080など）XXXXXXXX]
  - ■ 相手の電話番号が非通知の場合 .... [非通知設定]
  - ■ 相手が公衆電話を利用して送信した場合 .... [公衆電話]

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

受信メール表示画面の見かた



1 フォルダ名
文字サイズ設定により表示されます。
基本メニューから表示したときは［大きい文字］で表示されます。
大きい文字：全角5文字（半角11文字）
標準　　　：全角7文字（半角15文字）
小さい文字：全角10文字（半角20文字）

2 保護マーク
保護されているときに表示されます。

3 受信種別（To／Cc／Bcc）が表示されます。

4 受信日時（ｉモードセンターまたはSMSセンターで受信した日時が表示されます。）

5 送信元
送信種別（To／Cc：同報が設定されている場合に表示されます。）

6 題名

7 本文
文末には［- END -］が表示されます。また、受信可能文字数を超えた場合、［/］または［//］が表示され、超えた部分が自動的に削除されます。
ｉモーションのURLが記載されているときは、が表示されます。

8 添付種別マーク／ファイル名
添付ファイルがあるときに表示されます。
：メロディが添付または貼り付けられています。
（青色）　：GIF画像が添付されています。
（青色）　：10000バイト以下のJPEG画像が添付されています。
（ピンク）：10001バイト以上のJPEG画像が添付されています。
：再生できない（壊れている）メロディが添付されています。
：再生できない（壊れている）GIF画像が添付されています。
：再生できない（壊れている）JPEG画像が添付されています。
：無効なデータが貼り付けられています。

9 を押すと、返信や削除などができます。

10 を押すと、受信メール一覧画面に戻ります。

画面操作については、P.281の「関連操作」を参照してください。

- 送信元のメールアドレスが電話帳に登録されているときは、相手の名前が送信元の欄に表示されます。電話帳に登録されていない場合、電話番号またはメールアドレスが表示されます。ただし、電話帳のPIMロック中や、電話帳がシークレット登録（☞P.120）されている場合、名前は表示されません。シークレット登録した電話帳の名前を表示させるには、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定してください。
- 画像が添付されているときは、画像が表示されます。

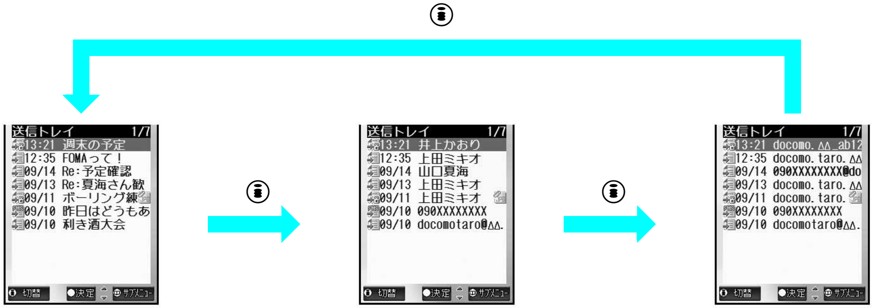
メールを管理する

送信／受信したｉモードメールやSMSは、フォルダに分けて管理したり、削除や表示順番を並べ替えることができます。

- フォルダは、それぞれ最大20個（［送信トレイ］［受信トレイ］を含まず）作成することができ、フォルダ名を編集したり、削除できます。（ただし、［送信トレイ］［受信トレイ］は名前を編集したり、削除したりできません。）
- 保護設定したメールは全件削除では削除できません。

メール表示の切り替えについて

メール一覧画面で㊂を押すと、以下の順で表示が切り替わります。



題名表示
（SMSは本文
先頭文字）

名前表示
（電話帳に登録され
ていない場合は、
メールアドレス
または電話番号）

メールアドレス表示
（SMSは電話番号）

メールの保護について

- 受信メールは最大500件、受信SMSは最大10件、送信メールは最大50件、送信SMSは最大10件まで保護できます。（ただし、メールのサイズによって、保護できる件数が少なくなります。）

メールの削除について

送信メール／未送信メール

削除方法	説　明	操作できる画面
全件削除	保護されていないすべての送信メール／SMSや未送信メール／SMSを削除します。	送信BOX一覧画面 未送信BOX一覧画面
フォルダ内全件削除	フォルダ内の保護されていないすべての送信メール／SMSや未送信メール／SMSを削除します。	送信メール一覧画面
選択削除	保護されていない複数の送信メール／SMSや未送信メール／SMSを選んでまとめて削除します。	送信メール一覧画面 未送信BOX一覧画面
1件削除	送信メール／SMSや未送信メール／SMSを1件ずつ削除します。	送信メール一覧画面 送信メール表示画面 未送信BOX一覧画面

受信メール

削除方法	説　明	操作できる画面
既読全件削除	［受信トレイ］を含む全フォルダ内の保護されていないすべての既読メール／SMSを削除します。	受信BOX一覧画面
未読全件削除	［受信トレイ］を含む全フォルダ内の保護されていないすべての未読メール／SMSを削除します。	
全件削除	［受信トレイ］を含む全フォルダ内の保護されていないすべての未読／既読メール／SMSを削除します。	
フォルダ内既読削除	フォルダ内の保護されていないすべての既読メール／SMSを削除します。	受信メール一覧画面
フォルダ内未読削除	フォルダ内の保護されていないすべての未読メール／SMSを削除します。	
フォルダ内全件削除	フォルダ内の保護されていないすべてのメール／SMSを削除します。	
選択削除	保護されていない複数の受信メール／SMSを選んでまとめて削除します。	
1件削除	受信メール／SMSを1件ずつ削除します。	受信メール一覧画面 受信メール表示画面

＊メニューを切り替えるときは㊂［㊂基本メニューへ］または［㊂詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

■ メールの並べ替え（ソート）について

送信メールの表示方法

日付順（新→旧）	送信した日時が新しい順
日付順（旧→新）	送信した日時が古い順
アドレス順	宛先のメールアドレスによって、数字→英字大文字→英字小文字の順
題名順	題名によって、半角文字（記号→数字→英字大文字→英字小文字→カタカナ）→全角文字（記号→数字→英字大文字→英字小文字→ひらがな→カタカナ→記号・特殊文字→漢字→絵文字）の順（各文字種類内では、文字コード順）
保護メール優先※	保護メール→通常のメールの順
添付ありメール優先※	添付ありメール→添付なしメールの順

※ 各項目内は「日付（新→旧）」の順で表示されます。

受信メールの表示方法

日付順（新→旧）	受信した日時が新しい順
日付順（旧→新）	受信した日時が古い順
アドレス順	送信元のメールアドレスによって、数字→英字大文字→英字小文字の順
題名順	上記送信メールの［題名順］と同様
未読／保護／既読順※	未読保護メール→未読メール→既読保護メール→既読メールの順
添付ありメール優先※	添付ありメール→添付なしメールの順

※ 各項目内は「日付（新→旧）」の順で表示されます。

関連操作

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

送信BOX一覧画面（☞P.281）／受信BOX一覧画面（☞P.281）で(m) ▶ 1［フォルダ新規作成］▶ フォルダ名を入力 ▶ ◉

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

1 送信BOX一覧画面（☞P.281）／受信BOX一覧画面（☞P.281）で、フォルダ ▶ (m) ▶ 2［フォルダ名編集］
2 フォルダ名を編集 ▶ ◉
- フォルダ名を削除するとき：クリアを１秒以上押す

作成したフォルダを削除する<削除>

1 受信BOX一覧画面（☞P.281）で、フォルダ ▶ (m) ▶ 5［削除］▶ 4［フォルダ削除］
- 送信BOX内のフォルダを削除するとき：送信BOX一覧画面で、フォルダ ▶ (m) ▶ 5［削除］▶ 2［フォルダ削除］

2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力 ▶ ◉ ▶［はい］▶ ◉

フォルダの表示順を１つ上に移動する<フォルダ移動（↑）>

送信BOX一覧画面（☞P.281）／受信BOX一覧画面（☞P.281）で、フォルダ ▶ (m) ▶ 4［フォルダ移動（↑）］

送信／受信メールを別のフォルダに移動する<移動>

1 送信メール一覧画面（☞P.282）／受信メール一覧画面（☞P.284）で、メール ▶ (m) ▶ 1［移動］
2 1［１件移動］
- フォルダ内のすべてのメールを移動するとき：2［フォルダ内全件移動］
- フォルダ内で複数のメールを選んでまとめて移動するとき：3［選択移動］▶ メール ◉（くり返し）▶ (i)［完了］

3 フォルダ ▶ ◉

メール表示画面でフォルダに移動する<１件移動>

1 受信メール表示画面（☞P.285）で(m) ▶ 6［１件移動］
- 送信メール表示画面のとき：(m) ▶ 4［１件移動］

2 フォルダ ▶ ◉

メール

次ページへ続く ▶▶

関連操作

送信／受信メールを保護する＜保護設定＞

1 受信メール表示画面（☞P.285）でⓜ▶［保護設定］▶◉
- 送信メールを保護するとき：送信メール表示画面でⓜ▶✱［保護設定］

2 1［ON］
- 解除するとき：2［OFF］

メールを１件ずつ削除する＜１件削除＞

1 受信メール表示画面（☞P.285）でⓜ▶7［１件削除］
- 送信メールを削除するとき：送信メール表示画面でⓜ▶5［１件削除］

2 ［はい］▶◉

メール一覧画面から１件ずつ削除する＜１件削除＞

1 送信メール一覧画面（☞P.282）／受信メール一覧画面（☞P.284）でⓜ▶2［削除］

2 1［１件削除］▶［はい］▶◉
- 未送信BOX一覧画面のとき：ⓜ▶1［削除］

すべてのメールを削除する＜全件削除＞

1 受信BOX一覧画面（☞P.281）でⓜ▶5［削除］▶3［全件削除］
- 既読メールを全件削除するとき：ⓜ▶5［削除］▶1［既読全件削除］
- 未読メールを全件削除するとき：ⓜ▶5［削除］▶2［未読全件削除］
- 送信BOX一覧画面のとき：ⓜ▶5［削除］▶1［全件削除］
- 送信／受信メール一覧画面のとき：ⓜ▶2［削除］
- 未送信BOX一覧画面のとき：ⓜ▶1［削除］▶2［全件削除］

2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉▶［はい］▶◉

メールを選んで削除する＜選択削除＞

1 送信メール一覧画面（☞P.282）／受信メール一覧画面（☞P.284）でⓜ▶2［削除］
- 未送信BOX一覧画面のとき：ⓜ▶1［削除］

2 5［選択削除］
- 送信／未送信メールのとき：3［選択削除］

3 メール◉（くり返し）▶ⓘ［完了］▶［はい］▶◉

送信／受信メールを並べ替える＜ソート＞

送信メール一覧画面（☞P.282）／受信メール一覧画面（☞P.284）でⓜ▶3［ソート］▶ソート方法▶◉

メール

お知らせ

フォルダの作成について
- FOMAカードにはフォルダを作成できません。
- フォルダ名は最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
- ［送信トレイ］［受信トレイ］のフォルダ名は変更できません。

フォルダの削除について
- ［送信トレイ］［受信トレイ］は削除できません。
- メールが保存されているフォルダも削除できます。
- フォルダを削除した場合、フォルダに保存されているメールも削除されます。ただし、保護されているメールがある場合はフォルダを削除できません。

メールの移動について
- ［送信トレイ］［受信トレイ］の位置は変更できません。
- FOMAカード内のSMSはFOMAカード内では移動できません。
- 送信したメールは［送信トレイ］に保存されます。また、受信したメールは［受信トレイ］に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.293）の条件に合致していた場合は、設定されたフォルダに保存されます。
- 送信／受信したメールを、自動的にフォルダに振り分けることができます。（☞P.293）

メールの保護について
- FOMAカード内のSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードにコピーすると、保護は解除されます。

 ＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

関連操作

お知らせ

メールの削除について

- まとめて削除したとき、保護されているｉモードメールやSMS、FOMAカード内のSMSは削除されません。

ソートについて

- ［受信トレイ］［送信トレイ］の場合、ｉモードメール、FOMA端末（本体）のSMS、FOMAカードのSMSのすべてがソートされます。
- お買い上げ時は、送信／受信メールどちらも、送信（または受信）した日時が新しい順（［日付順（新→旧）］）に設定されています。
- メール一覧以外の画面を表示すると、変更した表示方法は、お買い上げ時の設定に戻ります。ただし、表示方法を変更した状態でメール表示画面を確認したあと、クリアを押してメール一覧画面に戻った場合は、変更した状態が保持されます。

メール受信履歴・メール送信履歴

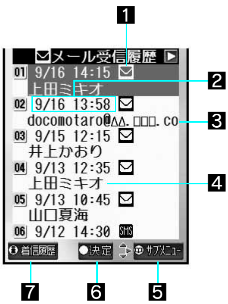
メールの履歴を利用する

FOMA端末は、送受信したメール（ｉモードメール、SMS）の履歴を、最新のものから送信／受信それぞれ最大30件まで記憶しています。これらの履歴を利用して、メールを送信したり、音声電話や、テレビ電話をかけたり、相手のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

- 記憶できる件数を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。
- 同じ相手と複数回送受信したときは、それぞれ別の履歴として記憶されます。
- 同報送信したメールアドレスは履歴に記憶されません。送信メール表示画面で、送信に成功した宛先を確認することができます。（☞P.266）
- メールアドレスは最大半角50文字まで表示されます。

■ メール受信／送信履歴一覧画面の見かた

ここでは、メール受信履歴一覧画面で説明しています。



1 履歴の種類

✉	：ｉモードメール
SMS	：SMS
✉✕	：返信できないメールまたは発信者番号非通知のSMS（メール受信履歴）／送信を失敗したメール（メール送信履歴）

2 受信日時（メール受信履歴）／送信日時（メール送信履歴）
3 相手のメールアドレスまたは電話番号
4 相手の名前
（電話帳に同じメールアドレスや電話番号が登録されているときに表示されます。）
5 ⓜを押すと、電話帳登録や削除などができます。
6 メール受信履歴／メール送信履歴詳細画面表示（●を押すと表示されます。）
7 着信履歴表示（メール送信履歴の場合は、リダイヤル表示）

メールの履歴一覧画面で◇を押すと、メール受信履歴一覧画面とメール送信履歴一覧画面が切り替わります。

メール

■ メール受信／送信履歴詳細画面の見かた

ここでは、メール受信履歴詳細画面で説明しています。



1 履歴の種類

✉：ｉモードメール SMS：SMS ✉✕：返信できないメールまたは発信者番号非通知のSMS（メール受信履歴）／送信を失敗したメール（メール送信履歴）

2 受信日時（メール受信履歴）／送信日時（メール送信履歴）

3 相手の名前
（電話帳に同じメールアドレスや電話番号が登録されているときに表示されます。）

4 相手のメールアドレスまたは電話番号

5 ⓜを押すと、電話帳登録や削除などができます。

6 メール作成画面表示（◉を押すと表示されます。）

お知らせ

- メール受信履歴、メール送信履歴を表示しないように設定できます。（☞P.166）

■ メール受信履歴を利用してメールを送信する

1 待受画面で◇（➔□）ⓘを押す。



- メール受信履歴一覧画面が表示されます。
- 待受画面で◇（➔□）を押したときに着信履歴詳細画面が表示された場合は、待受画面で◉→ⓘ［詳細メニューへ］を押して、詳細メニューに切り替えてから操作をやり直してください。
- 日時の左側に表示される数字が小さいほど、新しく受信したものです。
- メール受信履歴表示を［OFF］に設定しているときには、［メール受信履歴表示OFF設定中］と表示されます。
- メール受信履歴がないときは、［メール受信履歴はありません］と表示されます。

2 履歴を選ぶ。

- メール受信履歴詳細画面が表示されます。
- 確認を終わるときは、㊂を押します。

3 ◉［メール］を押す。

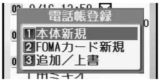


- ｉモードメールの履歴を選んで操作した場合は、ｉモードメール作成画面が表示されます。宛先欄には、相手のメールアドレスが入力されています。以降の操作については、P.264の操作3～4を参照してください。
- SMSの履歴を選んで操作した場合は、SMS作成画面が表示されます。宛先欄には、相手の電話番号が入力されています。以降の操作については、P.306の操作3～4を参照してください。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

■ メール受信履歴のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する

1 待受画面で◇（→□）ⓘを押し、履歴にカーソルを合わせて⊡→1［電話帳登録］を選ぶ。



- メール受信履歴一覧画面で、履歴を選んで⊡→1［電話帳登録］を押しても登録できます。
- 待受画面で◇（→□）を押したときに着信履歴詳細画面が表示された場合は、待受画面で◉→ⓘ［詳細メニューへ］を押して、詳細メニューに切り替えてから操作をやり直してください。
- ｉモードメールの履歴を選んで操作を行うと、電話帳にメールアドレスが登録されます。
- SMSの履歴を選んで操作を行うと、電話帳に電話番号が登録されます。

2 登録方法を選ぶ。

FOMA端末（本体）電話帳に新規登録する	1［本体新規］
FOMAカード電話帳に新規登録する	2［FOMAカード新規］
電話帳に追加／上書登録する	3［追加／上書］→名前→◉

- 電話帳入力画面に、メールアドレスまたは電話番号が入力されています。電話帳登録の操作を続けます。（☞P.103、P.108）

■ メール送信履歴を利用してメールを送信する

1 待受画面で◇（□）ⓘを押す。



- メール送信履歴一覧画面が表示されます。
- 待受画面で◇（□）を押したときにリダイヤル詳細画面が表示された場合は、待受画面で◉→ⓘ［詳細メニューへ］を押して、詳細メニューに切り替えてから操作をやり直してください。
- 日時の左側に表示される数字が小さいほど、新しく送信したものです。
- メール送信履歴表示を［OFF］に設定しているときは、［メール送信履歴表示OFF設定中］と表示されます。
- メール送信履歴がないときは、［メール送信履歴はありません］と表示されます。

2 履歴を選ぶ。

- メール送信履歴詳細画面が表示されます。
- 確認を終わるときは、ⓒを押します。

3 ◉［メール］を押す。

- ｉモードメールの履歴を選んで操作した場合は、ｉモードメール作成画面が表示されます。宛先欄には、相手のメールアドレスが入力されています。以降の操作については、P.264の操作３～４を参照してください。
- SMSの履歴を選んで操作した場合は、SMS作成画面が表示されます。宛先欄には、相手の電話番号が入力されています。以降の操作については、P.306の操作３～４を参照してください。

お知らせ

- メール送信履歴のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録することもできます。操作方法は、メール受信履歴の場合と同様です。

メール履歴の削除について

ｉモードメールやSMSの履歴は、次のいずれかの方法で削除できます。

1件削除	メール受信履歴またはメール送信履歴を1件ずつ削除します。
全件削除	すべてのメール受信履歴、またはメール送信履歴を削除します。

関連操作

メール作成画面からメール受信履歴を表示する<メール受信履歴>

メール作成画面（☞P.263）で、［宛先］▶◉▶4［メール受信履歴］▶履歴▶◉

メール作成画面からメール送信履歴を表示する<メール送信履歴>

メール作成画面（☞P.263）で、［宛先］▶◉▶3［メール送信履歴］▶履歴▶◉

メールの履歴を削除する<削除>

1 メール受信履歴一覧画面（☞P.289）またはメール送信履歴一覧画面（☞P.289）で、履歴▶ⓜ▶2［削除］
2 1［1件削除］
- すべての履歴を削除するとき：2［全件削除］

3 ［はい］▶◉

メールの履歴から電話をかける<電話帳発信>

1 メール受信履歴一覧画面（☞P.289）またはメール送信履歴一覧画面（☞P.289）で、履歴▶ⓜ▶3［電話帳発信］▶［はい］▶◉
2 音声電話をかけるときは◉
- テレビ電話をかけるとき：ⓘ［テレビ電話］

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

◇04

メールの文字サイズを切り替える<文字サイズ設定>

お買い上げ時
標準

ディスプレイに表示されるメールやSMSの文字の大きさを［大きい文字］［標準］［小さい文字］に設定できます。
- メール作成画面、リスト画面では文字サイズは変わりません。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail（メール）→［メール設定］→［文字サイズ設定］の順に選んで、文字サイズを選ぶ。

大きい文字	1［大きい文字］
標準	2［標準］
小さい文字	3［小さい文字］

お知らせ
- 基本メニューから起動したときは、［大きい文字］で表示されます。

関連操作

文字サイズを切り替える<文字サイズ設定>

1 メール表示画面（☞P.280）でⓜ▶［文字サイズ設定］▶◉
2 文字サイズ▶◉
- 本文入力画面（☞P.264）で設定するとき：ⓜ▶9［文字サイズ設定］

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

メールを自動的にフォルダに振り分ける<振分け条件設定>

フォルダに振分け条件を設定すると、条件に合ったｉモードメールやSMSを自動的に振り分けることができます。

- ［送信トレイ］や［受信トレイ］に振分け条件を設定することはできません。
- SMSをFOMAカードへ振り分けることはできません。
- 送信／受信BOXで、それぞれ最大20個まで振り分けができ、１つのフォルダに５つまで振分け条件を設定できます。

振分け条件について

振分け条件として設定できるのは、次の６つです。

アドレス（差出人）	差出人のメールアドレスで振り分けます。（受信メールのみ）
アドレス（差出人／同報）／アドレス（送信先／同報）	受信メールはFrom、To、Cc、送信メールはTo、Cc、Bccのアドレスが振分け条件の対象となり、画面上で上にあるフォルダから優先的に振り分けられます。
グループ	FOMA端末（本体）電話帳に設定されているグループで振り分けます。
題名	題名に含まれている文字列で振り分けます。
電話帳登録なし	FOMA端末（本体）電話帳に登録されていない相手からのメールを振り分けます。送信メールの場合、すべての宛先が電話帳に登録されていない場合のみ振り分けます。
全ての受信（送信）メール	すべての受信メール（または送信メール）を振り分けます。

- 複数のフォルダの振分け条件に合致した場合、［フォルダ１］が最も優先順位が高く、一番下に表示されているフォルダが最も優先順位が低くなります。
- シークレット登録した電話帳データは、登録されていないのと同じ扱いになります。［グループ］では振り分け対象外になり、［電話帳登録なし］では振り分け対象になりますので、ご注意ください。［グループ］の対象にするには、シークレットモードを［ON］に設定してください。
- 指定したメールアドレスのメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します。（最大半角50文字）ただし、送信元がｉモード端末（mova含む）のアドレスの場合、「@docomo.ne.jp」は省略できます。また、電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。
- 電話帳のPIMロック中は、［グループ］は振り分け対象外となりますので、ご注意ください。

フォルダに振分け条件を設定する

1 受信**BOX**一覧画面（☞**P.281**）または送信**BOX**一覧画面（☞**P.281**）でフォルダにカーソルを合わせて㊂→3［振分け条件設定］を選ぶ。



- 上にあるフォルダに設定されている条件ほど優先度が高くなります。

次ページへ続く

2 登録先番号を選んで、振分け条件を選ぶ。

- 設定済みの番号を選ぶと、振分け条件を編集できます。

受信メールを差出人のメールアドレスで振り分ける	［アドレス（差出人）］→◉→メールアドレスを選ぶ（または入力）→◉
差出人または宛先と同報のメールアドレスで振り分ける	［アドレス（差出人／同報）］または［アドレス（送信先／同報）］→◉→入力方法→◉→メールアドレスを選ぶ（または入力）→◉ ● 半角20文字分まで表示されます。
グループで振り分ける	［グループ］→◉→グループ→◉ ● グループ名が表示されます。
題名に含まれる文字列で振り分ける	［題名］→◉→文字列を入力→◉ ● 最大全角15文字（半角30文字）まで入力でき、入力した文字列の先頭から全角10文字分（半角20文字分）が表示されます。
FOMA端末（本体）の電話帳に登録していない相手からのメールを振り分ける	［電話帳登録なし］→◉
全ての受信（送信）メールを振り分ける	［全ての受信メール］または［全ての送信メール］→◉→［はい］→◉ ● ［全ての受信（送信）メール］が［①］に設定されます。 ● ［いいえ］を選んで◉を押すと、指定した番号に設定されます。

3 複数の振分け条件を設定するときは、操作２をくり返す。

4 ⓘ［完了］を押す。

お知らせ

- FOMAカード電話帳に登録してある相手からのメールは、［電話帳登録なし］のメールとして振り分けられます。

■ 設定した振分け条件を削除する

振分け条件を削除できます。

1 受信BOX一覧画面（☞P.281）または送信BOX一覧画面（☞P.281）でフォルダにカーソルを合わせて📖→3［振分け条件設定］を選ぶ。

- 振分け条件設定画面が表示されます。

2 振分け条件を選んで📖を押し、削除方法を選ぶ。

振分け条件を１件削除する	1［１件削除］→［はい］→◉→ⓘ［完了］
すべての振分け条件を削除する	2［全件削除］→［はい］→◉→ⓘ［完了］

メール

 ＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

ｉモードメールに署名を付ける<署名登録>

お買い上げ時：ON

署名を利用してご自分の名前や電話番号、メールアドレスなどを伝えることができます。
- ｉモードメール作成時に、署名を自動的に貼り付けるように設定することもできます。
- 署名は１件のみ登録できます。
- チャットメール、ｉモードメールのクイック返信、引用返信、転送には署名が自動的に貼り付けられません。署名を貼り付けるときは、本文入力画面から手動で貼り付けてください。（☞P.264）
- SMSには署名を貼り付けることができません。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（メール）→［メール設定］→［署名登録］の順に選ぶ。
- 署名登録画面が表示されます。
- すでに署名が登録されているときは、現在登録されている署名が表示されます。

2 署名を入力して◉を押し、1［**ON**］を選ぶ。
- 最大全角30文字（半角60文字）まで入力できます。
- 改行［↲］も入力できます。
- 新規メール作成時には、あらかじめ署名が［本文］に入力されます。

関連操作

署名を削除する
待受画面で◇▶0［メール設定］▶＊［署名登録］▶(クリア)（１秒以上）▶◉▶［OFF］▶◉

ｉモード問い合わせの内容を設定する<ｉモード問い合わせ設定>

お買い上げ時：下記参照

ｉモード問い合わせをするかどうかを種類別（ｉモードメール、メッセージR／F）に設定できます。
お買い上げ時設定（ｉモードメール：ON　メッセージR：ON　メッセージF：ON）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（メール）→［メール設定］→［ｉモード問い合わせ設定］の順に選んで、種類と1［**ON**］／2［**OFF**］を選ぶ。



ｉモードメール	1［ｉモードメール］→1［ON］／2［OFF］
メッセージR	2［メッセージR］→1［ON］／2［OFF］
メッセージF	3［メッセージF］→1［ON］／2［OFF］

2 (i)［完了］を押す。

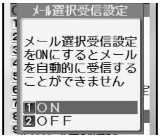
◇08

ｉモードメールを選択して受信できるようにする＜メール選択受信設定＞

お買い上げ時 OFF

● メール選択受信設定を［ON］に設定した場合でも、ｉモード問い合わせを行うとすべてのメールを受信します。受信したくない場合には、問い合わせしたい項目からｉモードメールを外してご利用ください。（☞P.273）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail（メール）→［メール設定］→［メール選択受信設定］の順に選んで、1［ON］を選ぶ。



◇00

メールメンバーリストを作成する＜メールメンバー設定＞

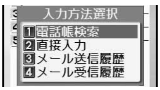
複数の宛先をメールメンバーに登録しておくと、簡単な操作で複数の宛先を指定できます。宛先を１件ずつ指定する同報送信の操作とは異なり、一度に複数の宛先を指定できます。

● １つのメールメンバーにつき、最大５件までのメールアドレスを登録できます。
● メールメンバーは、最大10件まで登録できます。
● 通信料は、１通のみ送信した場合と同じです。（ただし、追加した宛先の情報量については、通信料が増えます。）

■ メールメンバーにアドレスを登録する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail（メール）→［メール設定］→［メールメンバー設定］の順に選ぶ。

2 登録先のメールメンバーの番号を選んで、登録先を選ぶ。



3 入力方法を選んで、メールアドレスを選択（または入力）して◉を押す。



● すでに登録されている番号を選んだときは、入力方法選択画面で2［直接入力］以外を押すと、［上書きしますか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押すと、メールアドレスを選択できます。［いいえ］を選んで◉を押すと、操作３の画面に戻ります。2［直接入力］を押したときは、アドレス入力画面が表示されます。メールアドレスを追加して登録するときは、登録先を選んで◉を押し、操作３をくり返します。

4 ⓘ［完了］を押す。

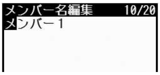
メール

 ＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

メールメンバーのメンバー名を編集する

MENU 0 0

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（メール）→［メール設定］→［メールメンバー設定］の順に選んで、メールメンバーにカーソルを合わせて(i)→1［メンバー名編集］を選ぶ。



- メンバー名をリセットするときは、(i)→2［メンバー名1件リセット］を押します。［はい］を選んで◉を押すと、メンバー名がお買い上げ時のメンバー名（［メンバー1］～［メンバー 10］）に戻ります。

2 メンバー名を編集して◉を押す。

- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
- メンバー名を削除するときはクリアを1秒以上押します。

メールメンバーに登録されているメールアドレスを削除する

MENU 0 0

メールメンバーに登録されているメールアドレスは、次のいずれかの方法で削除できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（メール）→［メール設定］→［メールメンバー設定］の順に選んで、メールメンバーを選ぶ。

2 メールアドレスにカーソルを合わせて(i)を押し、削除方法を選ぶ。

メールアドレスを1件削除する	1［1件削除］→［はい］→◉→(i)［完了］
すべてのメールアドレスを削除する	2［メンバー内全件削除］→［はい］→◉→(i)［完了］ ● 選んだメールメンバー内のすべてのメールアドレスを削除します。

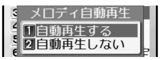
MENU 0 3

メロディを自動再生するかどうかを設定する ＜メロディ自動再生＞

お買い上げ時
自動再生する

メッセージR／Fや受信したｉモードメールに添付または貼り付けられているメロディを、自動再生するかどうかを設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（メール）→［メール設定］→［メロディ自動再生］の順に選んで、自動再生するかどうかを選ぶ。



［自動再生する］	1	開封時に自動的に演奏します。
［自動再生しない］	2	開封時に自動的に演奏しません。

お知らせ

- ［自動再生する］に設定した場合、マナーモード設定中は、メロディを再生するかどうかの確認画面が表示されます。［はい］を選択すると再生されます。

MENU 0 1

クイック返信メールの本文を設定する＜クイック返信メール設定＞

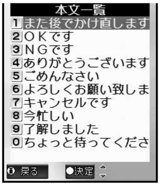
クイック返信（☞P.275）するときは、送信する本文をあらかじめ設定しておきます。

- 本文は全角250文字（半角500文字）以内で10件まで登録できます。
- お買い上げ時に登録されている本文は次のとおりです。

1	また後でかけ直します	6	よろしくお願い致します
2	OKです	7	キャンセルです
3	NGです	8	今忙しい
4	ありがとうございます	9	了解しました
5	ごめんなさい	0	ちょっと待ってください

次ページへ続く

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail（メール）→［メール設定］→［クイック返信メール設定］の順に選んで、登録または編集する本文の番号を選ぶ。



● 登録されている本文が表示されます。

2 本文を編集して◉を押す。

◉ 0 2

添付ファイルを受信するかどうかを設定する ＜添付ファイル受信＞

お買い上げ時
画像とメロディ

メールに添付されている画像やメロディファイルを、受信するかどうかを設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail（メール）→［メール設定］→［添付ファイル受信］の順に選んで、添付ファイルの種類を選ぶ。

画像とメロディファイルを受信する	1［画像とメロディ］
画像のみ受信する	2［画像のみ］
メロディのみ受信する	3［メロディのみ］
添付ファイルを受信しない	4［受信しない］

お知らせ

● 添付ファイル受信を［受信しない］に設定すると、受信し直すことはできません。添付ファイルはｉモードセンターで削除されます。削除されたことは通知されませんので、ご注意ください。
● メッセージR／Fの場合、設定にかかわらず、すべての添付ファイルを受信します。
● メール本文中に貼り付けられたMFi形式のメロディは設定にかかわらず受信します。

◉ 0 5

操作中のメール受信の通知方法を設定する ＜操作中メール着信音設定＞

お買い上げ時
ON

操作中にメールを受信した場合の通知方法を設定できます。

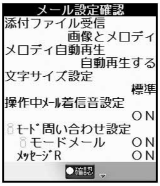
1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail（メール）→［メール設定］→［操作中メール着信音設定］の順に選んで、通知方法を選ぶ。

［ON］	1	メール受信時に、受信した［✉］［R］［F］［SMS］や着信ランプなどが点灯し、メール着信音が鳴ります。
［OFF］	2	メール受信時に、受信した［✉］［R］［F］［SMS］などが点灯します。メール着信音は鳴らず、着信ランプやバイブレータも動作しません。

メールの設定状況を確認する＜メール設定確認＞

メールの設定状況を確認できます。

1 詳細メニュー：待受画面で →（メール）→［メール設定］→［メール設定確認］の順に選ぶ。



- でスクロールして確認できます。
- 確認を終わるときは、［確認］を押します。

メール機能の設定をリセットする＜メール設定リセット＞

メールの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 詳細メニュー：待受画面で →（メール）→［メール設定］→［メール設定リセット］の順に選ぶ。

- メール設定リセット画面が表示されます。

2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して を押し、［はい］を選ぶ。

- 入力した端末暗証番号は、［＊］で表示されます。

お知らせ

- 署名登録、クイック返信メール設定、メールメンバー設定、SMSセンター設定、SMS有効期間設定の内容はリセットされません。

関連操作

メールをPIMロックする＜セキュリティ設定＞

待受画面で ▶ 0 ［メール設定］▶ ＊（１秒以上）▶ 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力 ▶ ▶ 1 ［ON］

チャットメール作成・送信

チャットメールを作成して送信する

複数の相手と会話をするようにメールを交換し、楽しむことができます。

- あらかじめ相手のメールアドレスをチャットメールのメンバーに登録しておく必要があります。
- ｉモードメールアドレスをチャットメンバーに登録する際は、「@docomo.ne.jp」まで含んだ形でメールアドレスを登録する必要があります。
- チャットメールのメンバー設定画面に表示されるご自分のメールアドレスは、所有者情報と連動しています。（☞P.410）
- メンバーはご自分を含め、最大６人まで登録できます。
- 複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、同報メール送信の場合と同じです。
- 相手がチャットメール非対応端末の場合、送信したチャットメールは題名が「チャットメール」（半角または全角）のメールとして相手に受信されます。

メール

次ページへ続く

● ご自分を含めて３人以上のメンバーとチャットメールを行う場合、ご自分だけでなく各メンバーが他のメンバーのメールアドレスをチャットメンバーに登録しておく必要がありますので、チャットメールを行う前に、メンバーのメールアドレスを交換し合うことをおすすめします。
● メール選択受信設定を［ON］に設定しているときは、チャットメールを起動できません。［OFF］に設定してからもう一度操作してください。（☞P.296）

チャットメンバーを設定する＜メンバー設定＞

● チャットメールを使用する場合、事前にメンバーを登録する必要があります。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→Mail（メール）→［チャットメール］の順に選ぶ。

● チャットメンバーがすでに登録されている場合は、チャットメール画面（☞P.301）が表示されます。追加登録するときは⊕→4［メンバー設定］を押してメンバー設定画面を表示し、操作２に進みます。

2 ⊕→1［新規作成］を選んで、入力方法を選ぶ。

電話帳から選ぶ	1［電話帳検索］→相手→◉ ● メールアドレスが登録されていないときは、［ ］［ ］［ ］［✉］が表示されません。電話帳に登録されているメールアドレスのアイコンは最大３件まで表示されます。
直接入力	2［直接入力］→メールアドレスを入力→◉ ● 半角の英字、数字、一部の記号を最大50文字まで入力できます。 ● 記号入力（☞P.495）、インターネットに関連した定型文（☞P.494）を利用できます。 ● メールアドレスが電話帳に登録されている場合、名前が自動的に登録されます。
メール送信履歴から選ぶ	3［メール送信履歴］→相手→◉→◉
メール受信履歴から選ぶ	4［メール受信履歴］→相手→◉→◉
メールメンバー	5［メールメンバー］→［はい］→◉→メンバー名→◉→ⓘ［完了］ ● 指定したメールメンバーに置き換えられます。（メンバー設定完了） ● あらかじめメールメンバーを登録しておいてください。（☞P.296）

● シークレットコードを登録している相手とチャットメールをやりとりするときは、相手のシークレットコードをあらかじめ設定しておく必要があります。（☞P.105）
● 同じメールアドレスを重複して登録すると、送信できません。

3 ［👤］を選んで、名前（チャット名）を入力して◉を押す。

● 最大全角２文字（半角４文字）まで入力できます。

4 ⓘ［完了］を２回押す。

● 続けてメンバーを登録する場合は、ⓘ［完了］を１回押して、⊕→1で登録します。

チャットメールのメンバーを登録／解除する

● メンバー設定の画面で設定するメンバーを選んで◉を押します。☑は選択、☐は解除の状態です。◉を押すと交互に切り替えることができます。チャットメールを送るメンバーをすべて選んでⓘ［完了］を押します。

お知らせ

● チャットメール中は、アシスタントビューからメールを起動できません。

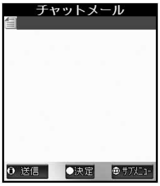
チャットメールの自動起動が設定されているとき（☞P.306）
● 題名に「チャットメール」（半角または全角）が含まれるメールをメール一覧表示から開こうとしたとき、自動起動の確認画面が表示されます。

メール

 ＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

チャットメールを作成して送信する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail メール（メール）→［チャットメール］の順に選ぶ。



- メンバーが登録されていないときは、メンバー設定の画面が表示されます。メンバーを登録してください。（☞P.300）
- 登録されているメンバーを確認するときは、⊡→4［メンバー設定］を押します。☑がついているメンバーにチャットメールが送信されます。

2 ◉を押し、本文を入力して◉を押す。

- 入力した文字が反転表示されます。
- 全角で250文字（半角500文字）入力できます。

3 ⓘ［送信］を押す。

- ☑がついている宛先すべてに、チャットメールが送信されます。
- 送信に失敗したときは、エラーメッセージが表示されます。◉［確認］を押すとチャットメール画面に戻り、失敗したチャットメールは赤色で表示されます。再送信するときは、もう一度操作2〜3を行ってください。

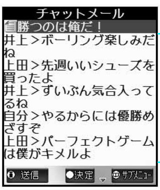
お知らせ

- 送信したチャットメールは送信トレイに保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.293）の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
- 送信に失敗したメールは、未送信メール一覧に保存されます。
- チャットメールには画像やメロディを添付できません。

チャットメールを受信する

チャットメール起動中にチャットメールを受信すると

チャットメール起動中、チャットメンバーから題名に「チャットメール」（半角または全角）が含まれるメールを受信すると、チャットメール着信音が鳴ります。チャットメール受信後、少したつと受信チャットメール本文を最上段に表示します。（それ以外のメールを受信しても、チャットメールの画面では表示されません。）



チャットメール本文（チャットメール表示部には、チャットメールが最新のものから最大50件まで表示されます。）
送信可能文字数は全角250文字（半角500文字）です。

- ◇で１行ごとに上下にスクロールします。

お知らせ

- 受信したチャットメールは既読メールとして受信トレイに保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.293）の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
- 同時に複数のメールを受信した場合は、最後に受信したメールに設定されているチャットメール着信音が鳴ります。

メール

次ページへ続く

お知らせ

- チャットメールで受信したメッセージの中に電話番号、メールアドレス、URLが記載されていても、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能（☞P.234）は利用できません。チャットメールを終了（☞P.303）して、受信トレイから受信したチャットメールを表示したときは、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能が利用できます。
- 受信したチャットメールに添付ファイルがある場合、チャットメール画面では本文のみ表示されます。

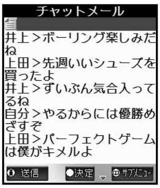
■チャットメール起動中以外でチャットメールを受信すると

- チャットメール着信音が鳴ります。
- メール選択受信設定を［ON］に設定しているときは、チャットメールは起動できません。

1 題名に「チャットメール」（すべて半角またはすべて全角）が含まれるメールをメール一覧表示から開こうとしたとき、チャットメールの確認画面が表示される。

- 自動起動設定を［OFF］に設定しているときは、自動起動できません。自動起動設定については、P.306を参照してください。
- 送信者がチャットメンバーに登録されているときは、［チャットメンバーです　チャットメールを起動しますか？］と表示されます。
- 送信者がチャットメンバーに登録されていないときや、登録されていても解除（□）されているときは、［チャットメンバーに登録してチャットメールを起動しますか？］と表示されます。（メンバーがすでに6人登録されているときは、登録されません。）

2 ［はい］を選ぶ。



チャットメール画面

- 選択した受信メールの本文が最新のチャットメール本文として追加され、チャットメール画面が表示されます。（すでにチャットメール本文に追加されている受信メールを選択した場合は、同じ内容の本文が最新のチャットメールとして追加されます。）
- 登録が解除（□）されていたときは、有効（☑）に切り替わり、チャットメール画面が表示されます。
- チャットメールを起動しないときは、［いいえ］を選んで◉を押すと、受信メール表示画面が表示されます。

お知らせ

- ｉモードメールで返信するときは、ｉモードメールと同じ操作で返信できます。（☞P.274）
- チャットメール画面で表示される名前は、最大全角2文字（半角4文字）です。
- 名前が登録されていない場合、メールアドレスの最初の4文字が表示されます。
- 送受信したメールは、新しい順に、最大50件まで表示できます。

関連操作

チャットメールを更新する＜更新＞
チャットメール画面で⊡▶2［更新］

＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

チャットメールを終了する＜チャットメール終了＞

1 チャットメール中に(電源)または(メニュー)→6［チャットメール終了］を選ぶ。

- ［チャットメールを削除しますか？］と表示されます。
- チャットメールの本文やメンバー設定を編集中に(電源)を押すと［編集中の内容が失われます　終了しますか？］と表示されます。［はい］を選んで●を押すと、待受画面に戻ります。（送受信したチャットメールは保存されます。）

2 ［いいえ］を選ぶ。

- チャットメールが終了します。
- チャットメールを削除して終了するときは、［はい］を選んで●を押します。

お知らせ

- チャットメールを削除せずにチャットメールを終了すると、次回チャットメールを起動したときは、前回のチャットメールが表示されます。

◇1

受信メールからチャットメールを開始する＜チャットメール起動＞

- 受信メールからチャットメールを起動できます。ただし、デコメールとSMSからは起動できません。
- メール選択受信設定を［ON］に設定しているときは、チャットメールを起動できません。

基本メニュー（☞**P.35**）

1 待受画面で● → メール機能 → ［全受信メールを見る］の順に選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で● → Mail メール （メール）→［受信**BOX**］→フォルダの順に選ぶ。

- 受信メール一覧画面が表示されます。

2 ｉモードメールにカーソルを合わせて(メニュー)→5［チャットメール起動］を選ぶ。

3 ［はい］を選ぶ。

- 以降の操作については、P.301の操作２～３を参照してください。

お知らせ

- 送信元が返信不可のメールアドレスの場合、チャットメールを起動できません。

チャットメールの宛先を確認する＜最新メール宛先確認＞

受信した最新のチャットメールの宛先と現在のチャットメンバーを確認できます。
チャットメンバーに設定されていないアドレスをメンバーに登録したり解除することもできます。

1 詳細メニュー：待受画面で → （メール）→［チャットメール］の順に選んで、→3［最新メール宛先確認］を押す。

- 最新メール宛先確認画面が表示されます。
- 設定済みのメンバーと、未設定のメンバーに分かれて表示されます。

2 ［設定］を押し、メンバーを選ぶ。



- ☑は選択、□は解除の状態です。を押すと交互に切り替えることができます。
- メンバーは５人まで選ぶことができます。

3 ［完了］を押す。

- メンバーが再設定され、チャットメール画面に戻ります。

メンバーを編集する

チャットメンバーの名前とアドレスを編集できます。

- ご自分のメールアドレスは編集できません。

1 詳細メニュー：待受画面で → （メール）→［チャットメール］の順に選んで、→4［メンバー設定］を選ぶ。

- メンバー設定画面が表示されます。

2 メンバーにカーソルを合わせて→2［編集］を選ぶ。



3 名前、メールアドレスを編集し、［完了］を２回押す。

- 詳しくは、P.300の操作３～４を参照してください。

メンバーを削除する

- ご自分は削除できません。

1 詳細メニュー：待受画面で → （メール）→［チャットメール］の順に選んで、→4［メンバー設定］を選ぶ。

- メンバー設定画面が表示されます。

メール

＊メニューを切り替えるときは［基本メニューへ］または［詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

2 メンバーにカーソルを合わせてを選んで⊞→3［削除］を選んで、削除方法を選ぶ。



メンバーを１件削除する	1［１件削除］→［はい］→◉→◉［完了］
すべてのメンバーを削除する	2［全件削除］→［はい］→◉→◉［完了］

お知らせ

- メンバーを削除しなくても、メンバー設定画面で☑を☐にすることにより、チャットメールを送らないようにすることもできます。

◇6

チャットメールを削除する<チャットメール削除>

チャットメール画面に表示されているすべてのチャットメールを削除します。

- 送信メールフォルダ／受信メールフォルダ内のデータも削除されます。
- 保護されているメールは、メールフォルダから削除されません。（未送信メールと未読メールは削除されます。）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail（メール）→［チャットメール］の順に選んで、⊞→5［チャットメール削除］を選ぶ。

- チャットメール削除画面が表示されます。

2 ［はい］を選ぶ。

お知らせ

- チャットメールを１件ずつ削除する場合は、通常のｉモードメールと同様の方法で削除してください。（☞P.286）

◇6

チャットメール画面の文字サイズを切り替える<文字サイズ切替>

お買い上げ時
標準

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail（メール）→［チャットメール］の順に選んで、⊞→7［文字サイズ切替］を選ぶ。



標準



小さい文字

チャットメールを自動的に起動するかどうかを設定する<自動起動設定>

お買い上げ時 ON

題名に「チャットメール」（半角または全角）が含まれている受信メールを開くときに、チャットメール画面を自動的に開くかどうかを設定します。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→Mail（メール）→［チャットメール］の順に選んで、◫→8［自動起動設定］を選んで、1［**ON**］を選ぶ。

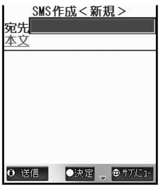


SMS作成・送信

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する

SMSを新規に作成して、送信します。
- SMSの宛先には電話番号を入力します。
- SMSの本文は全角・半角を問わず最大70文字（半角英数字のみの場合最大160文字）まで送受信できます。
- SMSの本文に半角カタカナや絵文字を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→Mail（メール）→［新規**SMS**作成］の順に選ぶ。



- 待受画面で◇→［新規SMS作成］を選んでも同じ操作が行えます。

2 ［宛先］を選んで、入力方法を選ぶ。

電話帳から選ぶ	1［電話帳検索］→相手→◉ ● 電話番号が20桁を超える場合、超えた部分は削除されます。
直接入力する	2［直接入力］→宛先を入力→◉ ● 電話番号（最大20桁まで）を入力します。 ● 0を1秒以上押すと［+］を入力できます。［+］を入力した場合は、合計21桁まで入力できます。 ● 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、［+］（0を1秒以上押す）、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。また、「010」、国番号、相手先の携帯電話番号の順に入力しても送信できます。（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください。）
メール送信履歴から選ぶ	3［メール送信履歴］→相手→◉→◉
メール受信履歴から選ぶ	4［メール受信履歴］→相手→◉→◉

3 ［本文］を選んで、本文を入力して◉を押す。
- 本文は全角・半角を問わず最大70文字（半角英数字のみの場合最大160文字）まで入力できます。
- 改行［↲］、スペース（空白）は1文字としてカウントされます。

メール

 ＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

4 ⓘ［送信］を押す。

● 送信が完了すると、［送信完了しました］と表示されます。
● 送達通知を設定するときは、Ⓜ→3［SMS送達通知設定］を押し、1［要求する］または2［要求しない］を押します。
● 有効期間を設定するときは、Ⓜ→4［SMS有効期間設定］を選んで◉を押します。

お知らせ

● 宛先入力では、［+］は先頭でのみ有効となります。
● 電波状況などにより、送信できない場合があります。送信できなかったSMSは、未送信SMSとして保存されます。
● 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されない場合があります。
● SMSはｉモード契約をしていなくても送信できます。
● FOMA端末では、movaサービスのｉモード端末からのショートメールをSMSとして受信できます。
● 送信SMSと未送信SMSを合わせて最大20件まで、FOMA端末（本体）に保存できます。
● FOMA端末（本体）に保存された送信SMSをFOMAカードにコピーできます。（☞P.312）
● 送信SMSと受信SMSを合わせて最大20件まで、FOMAカードに保存できます。未送信SMSをFOMAカードに保存することはできません。
● 送信時に設定した送達通知や有効期間は、メール設定のSMS送達通知設定やSMS有効期間設定には反映されません。

編集中に電話がかかってくると

● 通話後、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。

編集中にｉモードメールやメッセージR／Fを受信すると

● 受信結果は表示されず、編集を続けることができます。

ダイヤル発信制限中は

● ダイヤル発信制限（☞P.165）中は、電話帳に登録されている宛先以外へSMSを送ることはできません。

「184」／「186」を付けたとき

● 宛先の先頭に「186」を付けると、SMSを送信できません。「184」を付けた場合は、SMS が送信されますが、発信者番号も通知されます。
●「184」は発信者番号を通知しないとき、「186」は発信者番号を通知するときに、電話番号の前に付けてダイヤルする番号です。（☞P.53）

SMS（ショートメッセージ）を保存しておき、あとで送信する<SMS保存>

SMSの作成中に操作を中断しなければならないときや、作成したSMSを保存しておきたいときは、FOMA端末に一時保存できます。また、保存したSMSを編集して送信することもできます。
● SMSの作成については、P.306を参照してください。
● 未送信SMSと送信SMSを合わせて最大20件まで、FOMA端末（本体）に保存できます。

■ 未送信SMSを保存する

1 SMSの作成中（☞P.306の操作１～３）にⓂ→2［保存］を選ぶ。

● 作成中のSMSが、未送信SMSとして保存されます。

お知らせ

● SMS作成中にⓒを押すと、終了確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、SMSの作成を中止できます。ただし、作成を中止したSMSは保存されません。
● 未送信SMSはFOMAカードにコピー（保存）できません。

保存したSMSを編集・送信する

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉ → [メール機能] → ［未送信メールを見る］の順に選んで、**SMS**を選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → [Mail]（メール）→［未送信**BOX**］の順に選んで**SMS**を選ぶ。

- SMS作成画面が表示されます。

2 項目を選んで、編集して◉［送信］を押す。

- 新規作成時と同様に編集できます。詳しくは、P.306の操作２～３を参照してください。
- SMSが送信されます。
- 送信したSMSは［送信トレイ］に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.293）の条件に合致していた場合は、設定されたフォルダに保存されます。

お知らせ

FOMAカードについて

- FOMA端末（本体）に保存された送信SMSを、FOMAカードにコピーできます。（☞P.312）
- FOMAカードに保存されているSMSのデータを、FOMA端末（本体）にコピーできます。（☞P.313）

miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末（本体）やFOMAカードに保存されているSMSをminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞P.353）、miniSDメモリーカード内のSMSを表示（☞P.356）できます。
- miniSDメモリーカードに保存されているSMSをFOMA端末（本体）にコピー（☞P.357）できます。

送信したSMSを編集・再送する

基本メニュー（☞P.35）

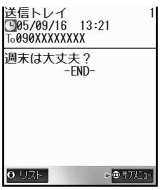
1 待受画面で◉ → [メール機能] →［全送信メールを見る］の順に選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → [Mail]（メール）→［送信**BOX**］→フォルダの順に選ぶ。

- 送信メール一覧画面が表示されます。

2 **SMS**を選ぶ。



- SMSの内容が表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

3 編集・再送する。

編集する	MENU→2［編集］→SMS編集→●［送信］ ● 新規作成時と同様に編集できます。詳しくは、P.306の操作2～3を参照してください。
再送する	MENU→1［再送］

SMS受信

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは

SMSが送られてきたときは自動的に受信します。

● 受信SMSは最大20件までFOMA端末（本体）に保存できます。

1 SMSが届くと、自動的に受信する。

2 受信完了後、SMSの受信結果が表示され、SMS着信音が鳴る。（[SMS]表示）



● 受信したSMSは［受信トレイ］に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.293）の条件に合致していた場合は、設定されたフォルダに保存されます。

● 未読のメールが保存されているフォルダは、ピンク色で表示されています。

待受画面に表示されるマークの意味

SMS（赤色）：SMSを受信しました。

SMS（黒色）：FOMA端末（本体）のSMSがいっぱいです。

SMS（青色）：FOMAカードのSMSがいっぱいです。

SMS（黄色）：FOMA端末（本体）とFOMAカードのSMSがいっぱいです。

3 受信結果画面で、［メール］を選ぶ。

● 受信BOX一覧画面が表示されます。

● 受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後、自動的に受信前の画面に戻り、［メールあり　○件］と表示されます。

4 フォルダを選んで、SMSを選ぶ。



● 受信SMSの見かたについては、P.310を参照してください。

お知らせ

● SMS着信音は変更できます。（☞P.126）

● 保存するメモリの空き容量がない場合、保護されていない保存日時の一番古い既読SMSに上書きされます。（上書き確認のメッセージは表示されません。）

● FOMAカード内のSMSは上書きされません。

● FOMA端末（本体）に保存された受信SMSをFOMAカードにコピーできます。ただし、SMS送達通知はコピーできません。

● 送信SMSをFOMAカードにコピーすると、それに対応するSMS送達通知もFOMAカードにコピーされます。

● FOMAカードの容量がいっぱいの場合は、FOMA端末（本体）の保存件数が20件に達していなくても、新規にSMS受信できません。［容量がいっぱいです　空きがないためこれ以上受信できません］と表示された場合は、FOMAカード内の受信SMSを削除してください。

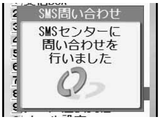
待受中以外の状態で受信したとき

● ディスプレイに［SMS（赤色）］が表示されます。受信完了画面は表示されません。

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる<SMS問い合わせ>

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたSMSはSMSセンターに保管されています。SMSセンターに問い合わせ、受信できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail（メール）→［**SMS問い合わせ**］の順に選ぶ。



● 左の画面が表示されたあと、センターにSMSが保管されていると、自動受信が始まります。

お知らせ

● ［SMS（黒色）］（FOMA端末（本体）SMSフル）または［SMS（青色）］（FOMAカードSMSフル）などのアイコンが表示されたとき、FOMA端末はそれ以上SMSを受信できません。不要なSMSを削除するか、保護を解除してください。読んだり、保護を解除したSMSは、受信時に古いものから上書きされます。（☞P.309）
● 問い合わせをしたあと、自動受信がすぐに始まらない場合があります。

受信SMS：◇1　送信SMS：◇2　未送信SMS：◇3

受信したSMS（ショートメッセージ）を見る<受信SMS表示>

受信したSMSを表示します。
● 受信したSMSは［受信トレイ］に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.293）の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
● FOMAカードにコピーした受信SMSも［受信トレイ］に保存されます。

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→ メール機能 →［全受信メールを見る］の順に選ぶ。
● 送信SMSを表示するとき：基本メニューから［メール機能］→［全送信メールを見る］の順に選ぶ。
● 未送信SMSを表示するとき：基本メニューから［メール機能］→［未送信メールを見る］の順に選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail（メール）→［**受信BOX**］→フォルダの順に選ぶ。
● 未読のｉモードメールやSMSがある場合、そのフォルダはピンク色で表示されます。
● フォルダ一覧の見かたについては、P.281を参照してください。
● 受信メール一覧画面が表示されます。
● 送信メールのとき：詳細メニューから✉（メール）→［送信BOX］→フォルダの順に選ぶ。
● 未送信メールのとき：詳細メニューから✉（メール）→［未送信BOX］の順に選ぶ。

2 **SMS**を選ぶ。



SMS表示画面

● SMSの内容が表示されます。
● 送信／受信メール一覧画面／表示画面の見かた（☞P.282）
● FOMAカード内の受信SMSを表示するときは、フォルダ一覧画面で［受信トレイ］を選んで◉を押し、SMSを選んで◉を押します。フォルダ一覧画面で［受信トレイ］には、FOMA端末（本体）内とFOMAカード内の両方の受信SMSが一覧表示されます。マークで区別してください。
● FOMAカード内の送信SMSを表示するときは、フォルダ一覧画面で［送信トレイ］を選んで◉を押し、SMSを選んで◉を押します。
● 表示を終わるときは、終話を押します。

お知らせ

- 受信SMSを、自動的にフォルダに振り分けることができます。（☞P.293）

受信したSMS（ショートメッセージ）に返信する＜SMS返信＞

SMSに返信できます。

1 **SMS**表示画面で(m)→2［返信］を選んで、**SMS**を作成して(i)［送信］を押す。

- 本文は全角・半角を問わず最大70文字（半角英数字のみの場合最大160文字）まで入力できます。
- 送信が完了すると、［送信完了しました］と表示されます。

お知らせ

- SMSはクイック返信、引用返信、転送はできません。
- 送信元が非通知設定、公衆電話、通知不可と表示されたSMSには返信できません。
- FOMAカード内のSMSに返信SMSを作成中に保存した場合、未送信SMSはFOMA端末（本体）に保存されます。

SMS設定

SMS（ショートメッセージ）の設定を行う

SMS（ショートメッセージ）センターの設定をする＜SMSセンター設定＞

お買い上げ時：「ドコモ」（ドコモのSMSセンター）

SMSセンターの接続先を変更できます。

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

1 詳細メニュー：待受画面で◈→Mail（メール）→［メール設定］→［**SMS**センター設定］の順に選ぶ。



2 2［ユーザ設定］を選んで、**SMS**センターのアドレスを入力して◈を押す。

- アドレスは最大20桁まで入力できます。
- Type of number画面が表示されます。

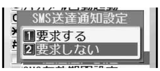
3 1［**International**］または2［**Unknown**］を選ぶ。

相手に届いたら通知を受け取る＜SMS送達通知設定＞

お買い上げ時：要求しない

送信するSMSの送達通知を受け取るかどうかを設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◈→Mail（メール）→［メール設定］→［**SMS**送達通知設定］の順に選ぶ。



次ページへ続く

2 送達通知を受け取るかどうかを選ぶ。

SMS送達通知を受け取る	1［要求する］
SMS送達通知を受け取らない	2［要求しない］

お知らせ

- SMS送達通知はSMSで届きます。
- SMS送達通知は、SMSごとに設定することもできます。
- SMS送達通知単独ではFOMAカードへコピー、miniSDメモリーカードへコピーすることはできません。

0

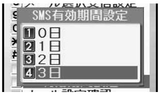
SMS（ショートメッセージ）に有効期間を設定する<SMS有効期間設定>

お買い上げ時
3日

送信するSMSに有効期間を設定できます。

- FOMAカードが挿入されていない場合は設定できません。

1 詳細メニュー：待受画面で → （メール）→［メール設定］→［SMS有効期間設定］の順に選ぶ。



2 期間を選ぶ。

0日	1［0日］	2日	3［2日］
1日	2［1日］	3日	4［3日］

- SMS有効期間が設定されます。

お知らせ

- 有効期間設定は、SMSごとに設定することもできます。

メール

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存する

FOMA端末（本体）に保存されているSMSを、FOMAカードにコピーできます。
FOMAカードには、送信SMS、受信SMS合わせて最大20件まで保存できます。

- あらかじめFOMAカードを挿入しておいてください。

受信SMS：1　送信SMS：2　未送信SMS：3

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードにコピーする

FOMA端末（本体）のSMSを、FOMAカードにコピーします。

例：受信SMSの場合

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で → メール機能 →［全受信メールを見る］の順に選ぶ。

- 送信SMSのとき：基本メニューから［メール機能］→［全送信メールを見る］の順に選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは［基本メニューへ］または［詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail（メール）→［受信BOX］→フォルダの順に選ぶ。

- 受信メール一覧画面が表示されます。
- SMS送達通知はコピーできません。
- SMS表示画面からコピーするときは、SMS表示画面で㋲を押し、［FOMAカードへコピー］を選んで◉を押します。

2 **FOMA**端末（本体）内の**SMS**にカーソルを合わせて㋲→6［**FOMA**カードへコピー］を選ぶ。

- FOMA端末（本体）のSMSを選んだ場合、サブメニューに［FOMAカードへコピー］が表示されます。
- 送信SMSのときは、㋲→5［FOMAカードへコピー］を押します。

マークの意味

：FOMA端末（本体）の未読SMS
：FOMA端末（本体）の未読SMS（保護）
：FOMA端末（本体）の既読SMS
：FOMA端末（本体）の既読SMS（保護）
：FOMA端末（本体）の送信済みSMS（保護）
：FOMAカードの未読SMS
：FOMAカードの既読SMS
：FOMAカードの送信済みSMS
：FOMA端末（本体）の送信済みSMS

3 コピー方法を選ぶ。



SMSを1件コピーする	1［1件コピー］→［はい］→◉
SMSを選択してコピーする	2［選択コピー］→SMS⇔◉（くり返し可）→ ㋑［完了］→［はい］→◉

- 受信SMSは［受信トレイ］に、送信SMSは［送信トレイ］にコピーされます。

お知らせ

- 未送信SMSはFOMAカードにコピー（保存）できません。
- 上書きコピーはできません。
- FOMAカードの最大保存件数を超えると、コピーが中止されます。
- 送信SMSをFOMAカードにコピーすると、それに対応するSMS送達通知もFOMAカードにコピーされます。

受信SMS：◇1　送信SMS：◇2　未送信SMS：◇3

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）をFOMA端末（本体）にコピーする

FOMAカード内のSMSを、FOMA端末（本体）にコピーします。

例：受信SMSの場合

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Mail（メール）→［受信BOX］の順に選んで、［受信トレイ］フォルダを選ぶ。

- 受信メール一覧画面が表示されます。
- 送信SMSのとき：詳細メニューから（メール）→［送信BOX］→［送信トレイ］フォルダの順に選ぶ。
- SMS表示画面からコピーするときは、SMS表示画面で、㋲を押し、［本体へコピー］を選んで◉を押します。

2 **FOMA**カード内の**SMS**にカーソルを合わせて㋲→6［本体へコピー］を選ぶ。

- FOMAカードのSMSを選んだ場合、サブメニューに［本体へコピー］が表示されます。
- 送信SMSのときは、㋲→5［本体へコピー］を押します。

マークの意味

：FOMAカードの未読SMS
：FOMAカードの既読SMS
：FOMAカードの送信済みSMS

メール

3 コピー方法を選ぶ。



SMSを１件コピーする	1［1件コピー］→［はい］→●
SMSを選択してコピーする	2［選択コピー］→SMS⇔●（くり返し可）→ i［完了］→［はい］→●

● 受信SMSは［受信トレイ］に、送信SMSは［送信トレイ］にコピーされます。

お知らせ

● 上書きコピーはできません。
● FOMA端末（本体）の最大保存件数（20件）を超えると、コピーが中止されます。

SMS削除

SMS（ショートメッセージ）を削除する

FOMA端末（本体）またはFOMAカード内のSMSを削除できます。

例：受信SMSの場合

基本メニュー（☞**P.35**）

1 待受画面で● → メール機能 → ［全受信メールを見る］の順に選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で● → Mail（メール）→［受信**BOX**］→フォルダの順に選ぶ。

● 受信メール一覧画面が表示されます。
● FOMA端末（本体）のSMSとFOMAカード内のSMSはマークで区別します。
● SMS表示画面から削除するときは、SMS表示画面で、受信SMSのときはm→7［1件削除］、送信SMSのときはm→5［1件削除］を押します。

2 **SMS**にカーソルを合わせてm→2［削除］を選ぶ。

● 削除画面が表示されます。

3 1［1件削除］を選んで、［はい］を選ぶ。

お知らせ

● 受信メール一覧画面、送信メール一覧画面から、SMSをまとめて削除できます。（☞P.286、P.288）

データ表示／編集／管理

保存した画像を表示する

FOMA端末で撮影した静止画や、サイトやインターネットホームページからダウンロードした静止画は、データBOXのマイピクチャに保存され、イメージビューアで再生できます。

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉ → [カメラ機能] → ［写真を見る］の順に選ぶ。

- 待受画面で◇（📷）を１秒以上押しても同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → [データBOX]（データBOX）→［マイピクチャ］の順に選ぶ。



マイピクチャのフォルダ一覧画面

- 待受画面で◇（📷）を１秒以上押しても同じ操作が行えます。
- データBOXのマイピクチャのフォルダー覧画面が表示されます。

2 フォルダを選ぶ。



［カメラ撮影］フォルダを選んだ場合

- 静止画の画像一覧画面が表示されます。
- 静止画撮影画面（☞P.182）でⓜ→2［データBOX表示］を押しても表示できます。
- 画像一覧表示を切り替えるときは、ⓜ→0［表示切替］を押し、1［９分割表示］または2［16分割表示］、3［リスト表示］を押します。
- 静止画を全画面表示するときは、静止画を選んでⓜ→［全画面表示切替］を選んで◉を押します。
- miniSDメモリーカード内の静止画を確認するときは、ⓜ→#［本体⇔miniSD切替］を押します。再びFOMA端末（本体）の静止画を確認するときは、ⓜ→#［本体⇔miniSD切替］を押します。静止画撮影画面からデータBOXを表示した場合は切り替えできません。静止画撮影画面でⓜ→#［本体⇔miniSD切替］を押してから、データBOXを表示してください。

3 静止画を選ぶ。



- ◇を押すと、前後の画像を表示します。
- 静止画がディスプレイより小さいときや大きいときは、◉を押すと、［等倍］［縮小］［拡大］表示を切り替えることができます。（静止画のサイズ自体は変更されません。）
- 静止画のサイズが［240×252］より小さい場合、［等倍］［拡大］表示を切り替えることができます。［240×252］より大きい場合、［等倍］［縮小］表示を切り替えることができます。［240×252］の場合、［拡大］［等倍］［縮小］は表示されません。
- GIFアニメーションやFlash画像は拡大表示／縮小表示の変更ができません。
- 静止画を全画面表示するときは、ⓜ→2［全画面表示切替］を押します。
- 全画面表示を解除するときは、ⓒ、◇、◇、□～□、□以外のいずれかのボタンを押します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- メモリの空き容量がなくなると、データをそれ以上保存できなくなります。ただし、カメラで撮影した静止画や、画像編集した静止画、ダウンロードした画像をFOMA端末（本体）に保存するときは、不要なファイルを削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます。（☞P.362）
  撮影や静止画の編集、サイトから静止画をダウンロードする前に、メモリの使用状況を確認してください。（☞P.365）
- 画像の保存件数が多くなると、画像の表示、保存が遅くなる場合があります。
- 保存したGIFアニメーションやFlash画像は、コマ落ちなど、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- 現在の画像の参照先（FOMA端末（本体）または miniSDメモリーカード）は、イメージビューアをいったん終了しても記録され、次回、イメージビューアを起動したときも同じ参照先となります。
- 操作2で［表示切替］を変更しても、再び基本メニューから操作すると、［9分割表示］で表示されます。

データBOXのマイピクチャに保存した静止画は、パソコンをお持ちの場合、miniSDメモリーカード（☞P.349）を利用してパソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、データ BOXのマイピクチャに登録してある静止画が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

関連操作

ズームを利用する<ズームアップ>

「保存した画像を表示する」（☞P.316）の操作3の画面でⓂ▶1［ズーム］▶Ⓜ［拡大］

- 徐々に拡大（ズームアップ）するとき：Ⓜ（押し続ける）
- ほかの部分を表示するとき：✥
- 元の表示に戻すとき：●［終了］
- 拡大した静止画表示を縮小（ズームダウン）するとき：ⓘ［縮小］
- 徐々に縮小（ズームダウン）するとき：ⓘ（押し続ける）

ライトアップする<ライトアップ>

「保存した画像を表示する」（☞P.316）の操作3の画面でⓂ▶［ライトアップ］▶●

- または#（1秒以上）
- 消すとき：同じ操作をする、または表示を終了する

再生時の照明を設定する<再生中照明設定>

1 マイピクチャのフォルダ一覧画面（☞P.316）でⓂ▶6［再生中照明設定］
2 常にONにするときは2［常にON］
- 照明設定に従うとき：1［照明設定に従う］

お知らせ

ズームアップについて
- ズームを利用できるのは、JPEG画像のみです。

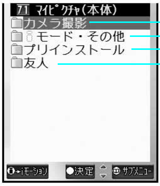
照明について
- 再生中照明設定を［照明設定に従う］に設定しているときは、照明時間設定（☞P.140）で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。
- 再生中照明設定を［常にON］に設定しているときは、Flash画像の再生時、画像の表示を終了するまで照明時間設定（☞P.140）で設定した時間が経過してもバックライトが消灯しません。ただし、ライトアップ時は設定した時間が経過するとバックライトが消灯します。
- ライトアップ時は、ディスプレイの明るさの設定（☞P.142）にかかわらず、最大の明るさで表示されます。

再生中照明設定について
- お買い上げ時は、［照明設定に従う］に設定されています。（☞P.140）
- Flashの再生が対象です。

マイピクチャのフォルダ一覧画面／画像一覧画面の見かた

マイピクチャのフォルダ一覧画面の見かた

FOMA端末（本体）



- FOMA端末で撮影した静止画用フォルダ
- サイトやインターネットホームページ、メッセージR／FやｉモードメールでⅠ入手した静止画、メール添付のときに圧縮された画像やフレーム、スタンプの画像用フォルダ
- あらかじめFOMA端末に内蔵されている静止画用フォルダ
- お客様が作成できるフォルダ（☞P.361）

miniSDメモリーカード

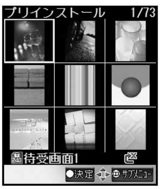
miniSDメモリーカードを挿入しているとき、マイピクチャフォルダ一覧画面で◎→# ［本体⇔miniSD切替］を押すと、miniSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。（☞P.352）



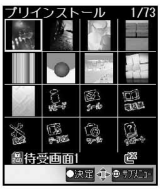
- FOMA端末で撮影した静止画や、DCF準拠のJPEG、GIFアニメーション以外のGIF画像フォルダ。静止画撮影やFOMA端末（本体）から静止画をコピーするとカメラフォルダ100が自動的に作成され、ファイル数が400件になると、カメラフォルダXXX（XXXは100～999の３桁の半角数字）という名前のフォルダが自動的に作成されます。（カメラフォルダは変更できますが、フォルダ名をパソコン上で000～099に変更すると、FOMA端末上でフォルダを認識できません。）
- お客様が作成できるフォルダ（☞P.359）
- FOMA端末（本体）からコピーしたGIFアニメーションやDCFに準拠していないJPEG画像用フォルダ

画像一覧画面の見かた

画像一覧画面は、［９分割表示］［16分割表示］［リスト表示］のいずれかで表示できます。



９分割表示



16分割表示



リスト表示

静止画情報マークの見かた

	JPEG						
画像の種類とサイズ	アイコン：76×76	sQCIF：128×96	QCIF：176×144	待受：240×320	CIF：352×288	VGA：480×640	最大：960×1280
保護設定なし							
保護設定あり							

	JPEG		GIF画像	Flash画像
画像の種類とサイズ	1224×1632	その他		
保護設定なし				
保護設定あり				

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

● FOMAカード動作制限機能が設定された静止画には、[ ]（保護設定なし）、[ ]（保護設定あり）が表示されます。
● 待受画面やピクチャーコールなどの画面設定画像や所有者画像、スケジュールなどに設定した静止画には、[ ]が表示されます。
● メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されている静止画には、[ ]が表示されます。
● iモードなどでダウンロードした静止画には[ ]が、miniSDメモリーカードやバーコードリーダーで取得した静止画には[ ]が表示されます。ただし、フレーム画像とスタンプ画像は取得元にかかわらず[ ]が表示されます。
● カメラ撮影した静止画には［ ］が表示されます。
● ブック／辞書で保存した静止画には［ ］が表示されます。
● 画像サイズが該当しない場合は、［ ］［ ］［ ］［ ］［ ］［ ］が表示されます。また、画像サイズは［情報表示］の表示サイズで確認することができます。（☞P.365）
● 本FOMA端末で撮影できる撮影サイズ、撮影枚数などについては、P.178を参照してください。
● 静止画の保護設定を変更することもできます。（☞P.364）

関連操作

リスト画面の表示方法を変更する＜表示切替＞
「保存した画像を表示する」（☞P.316）の操作2の画面で ▶ 0［表示切替］▶ 表示方法 ▶

お知らせ

リスト画面の表示方法変更について
● お買い上げ時は、［9分割表示］に設定されています。表示方法を変更しても、再び基本メニューから操作すると、［9分割表示］で表示されます。
● 静止画のタイトル名は、最大全角31文字（半角63文字）まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角7文字（半角14文字）までです。

Flash画像を再生する

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたFlash画像は、データBOXのマイピクチャの［iモード・その他］フォルダに保存され、再生できます。

1 **マイピクチャのフォルダ一覧画面（☞P.316）でフォルダを選んで、Flash画像を選ぶ。**
● 画像一覧画面でFlash画像には、［ ］［ ］が表示されます。
● Flash画像が再生されます。
● 再生を始めからやり直すときは、再生中に［停止］を押し、→1［リトライ］を押します。

お知らせ
● 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。

関連操作

再生時の照明を設定する＜再生中照明設定＞
1 Flash画像の再生中に［停止］▶ ▶ 8［再生中照明設定］
2 常にONにするときは2［常にON］
● 照明設定に従うとき：1［照明設定に従う］

Flash画像を全画面表示する＜全画面表示切替＞
画像一覧画面またはFlash画像の再生中に［停止］▶ ▶［全画面表示切替］▶

再生時の音量を設定する＜音量変更＞
「保存した画像を表示する」（☞P.316）の操作2の画面で ▶ 6［音量変更］▶ （上げる）／（下げる）▶

データ表示／編集／管理

次ページへ続く

関連操作

お知らせ

再生中照明設定について

- お買い上げ時は、［照明設定に従う］に設定されています。（☞P.140）

全画面表示切替について

- 全画面表示に切り替えたあとで、、、～、以外のいずれかのボタンを押すと、全画面表示を終了します。

音量変更について

- お買い上げ時は、［音量３］に設定されています。

スライドショーを見る<スライドショー>

指定したフォルダ内の、再生可能なすべての画像を、連続表示できます。

- プリインストールフォルダはスライドショーできません。

1 マイピクチャのフォルダ一覧画面（☞**P.316**）で、フォルダにカーソルを合わせて→5［スライドショー再生］を選ぶ。

- ［画像展開中］と表示され、全画面表示サイズでスライドショーが開始されます。
- 再生を中止するときは、クリアを押します。
- 再生中にを押すと、画像を進めることができます。

スライドショー動作時にBGMを流す

スライドショー動作時にBGMを流すことができます。BGMの音色や音量も設定できます。ただし、マナーモード設定中は、BGM設定をしてもサイレントで再生します。

- BGMの音色は、データBOXのメロディから選択できます。
- お買い上げ時は、音色は［Light Heart］、音量は［サイレント］に設定されています。

1 マイピクチャのフォルダ一覧画面（☞**P.316**）で、フォルダにカーソルを合わせて→4［スライドショー設定］を選ぶ。



2 BGMの音色や音量を選ぶ。

BGMの音色を設定する	1［BGM音色］→フォルダ→→メロディ→［決定］
BGMの音量を変更する	2［BGM音量］→（上げる）／（下げる）→

スライドショーの再生間隔や効果を変更する

マイピクチャフォルダ内のスライドショー動作時の再生間隔（スピード）や効果を設定できます。

- お買い上げ時は、再生間隔は［普通］、効果は［OFF］に設定されています。

1 マイピクチャのフォルダ一覧画面（☞**P.316**）で、フォルダにカーソルを合わせて→4［スライドショー設定］を選ぶ。

- スライドショー設定画面が表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは［基本メニューへ］または［詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

2 3［再生間隔］を選んで、再生間隔を選ぶ。

［もっと速く］	1	画像を表示後、すぐに次の画像を再生します。
［速く］	2	画像を約３秒間表示してから次の画像を再生します。
［普通］	3	画像を約５秒間表示してから次の画像を再生します。
［ゆっくり］	4	画像を約10秒間表示してから次の画像を再生します。

※ 再生間隔は、画像の大きさにより表示時間が異なる場合があります。

3 4［効果設定］を選んで、効果を選ぶ。

［OFF］	1	効果を設定しません。
［ワイプ↓］	2	静止画に重ねて、上から下に次の静止画を表示します。
［ワイプ↑］	3	静止画に重ねて、下から上に次の静止画を表示します。
［ワイプ→］	4	静止画に重ねて、左から右に次の静止画を表示します。
［ワイプ←］	5	静止画に重ねて、右から左に次の静止画を表示します。
［ミックスワイプ］	6	上下左右からランダムに次の静止画を表示します。

静止画を添付してｉモードメールを送信する

データBOXのマイピクチャから静止画を選択し、ｉモードメールに添付して送信できます。

- 送信できる静止画のファイルサイズは最大500Kバイト（512000バイト）までです。
- 送信できる静止画は、ｉモードメールに添付されてきた静止画、FOMA端末で撮影した静止画、サイトからダウンロードした静止画のうちメール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されていないものです。
- ファイル制限されている静止画でも、本FOMA端末で撮影した静止画やminiSDメモリーカードで取得した静止画は送信できます。

1 マイピクチャのフォルダ一覧画面（☞P.316）でフォルダを選んで、静止画にカーソルを合わせて i［メール］を押す。



- 「待受：240×320」より大きいサイズのJPEG画像を選んだときは、［待受サイズに縮小しますか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押すと縮小して添付されます。［いいえ］を選んで◉を押すと、ファイルサイズが500Kバイト以下の場合はそのまま添付されます。500Kバイトを超える場合は自動的に500Kバイト以下になるように圧縮して添付されます。
- 「待受：240×320」サイズはｉモード端末に送信するのに適したサイズです。
- 圧縮された静止画は、マイピクチャの［ｉモード・その他］フォルダに自動的に保存されます。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

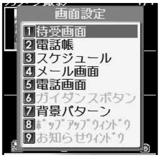
- 詳しくは、P.264の操作２～４を参照してください。

画像を待受画面などに設定する＜画面設定＞

データBOXのマイピクチャに保存されている静止画を、待受画面や電話発着信、メール送受信画面、ガイダンスボタンなどに設定できます。

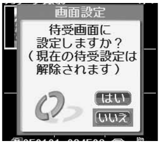
- フレームとスタンプは画面設定できません。
- Flash画像は、待受画面、電話発着信画面に設定できます。
- JPEG画像とGIFアニメーション、一部のGIF画像は、ポップアップウィンドウやお知らせウィンドウ、ガイダンスボタンに設定できません。また、一部のJPEG画像とGIFアニメーションや一部のGIF画像は、背景パターンに設定できません。

1 マイピクチャのフォルダ一覧画面（☞**P.316**）でフォルダを選んで、静止画にカーソルを合わせて Ⓜ→5［画面設定］を選ぶ。



- 静止画表示画面（☞P.316の操作3）で、Flash画像停止中にⓂ→6［画面設定］、GIFアニメーションはⓂ→7［画面設定］を選びます。
- 画面設定画面が表示されます。

2 画面設定の種類を選ぶ。



- 画面の種類によっては、［はい］を選んで◉を押します。
- 画面の種類によっては、さらに項目を選びます。

画像編集

静止画を編集する（スピーディラボ）

画像編集では、編集前と編集後の静止画を見比べながら、連続して編集できます。

- FOMA端末で撮影した静止画のサイズによっては編集できない場合があります。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードおよびデータリンクソフトからインポートした静止画でも、画像によっては編集できない場合があります。
- 静止画にフレームやマーカースタンプを貼り付けるなどの画像編集をくり返し行う場合、保存してから再び編集を行うと、画質が劣化することがあります。
- 画像編集することによって、データの容量が増加する場合があります。
- 編集後の画像をｉモードメールに添付して送信できます。（☞P.324）
- Flash画像、GIFアニメーションは編集できません。

◉71

編集画面を表示する

基本メニュー（☞**P.35**）

1 待受画面で◉→ カメラ機能 →［写真を見る］→フォルダの順に選ぶ。

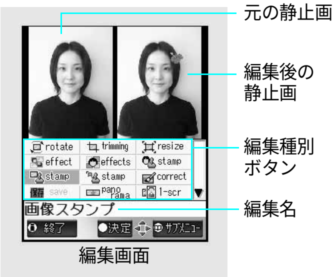
＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ DataBOX（データ**BOX**）→［マイピクチャ］→フォルダの順に選ぶ。

2 静止画にカーソルを合わせてⓂ→Ⓜ［画像編集］を選ぶ。

- 静止画表示画面（☞P.316の操作3）でⓂ→Ⓜ［画像編集］を選びます。
- カメラ撮影後の静止画プレビュー画面（☞P.183の操作2）で、Ⓜ→Ⓜ［画像編集］を選びます。
- 画像編集画面が表示されます。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）



編集画面

編集種別ボタン

編集種別ボタンを使うと、直接編集メニューを呼び出すことができます。

rotate	trimming	resize
画像回転 （☞P.324）	画像切り出し （☞P.324）	サイズ変更 （☞P.325）
effect	effects	stamp
画像エフェクト （☞P.326）	フェイスエフェクト （☞P.327）	フェイススタンプ （☞P.329）
stamp	stamp	correct
画像スタンプ （☞P.330）	文字スタンプ （☞P.331）	画像補正 （☞P.326）
save	panorama	1-scr
保存 （☞P.324）	パノラマ合成 （☞P.331）	1画面表示
cancel		
取消 （☞P.323）		

※ 編集種別ボタンは機能や画面によって異なります。

編集画面でのボタン操作

編集種別の選択方法には、次の3とおりの方法があります。

- ⓜを押し、編集種別を選択する。
- ◎で編集種別ボタンを選択する。
- ダイヤルボタン（0～9、*、#）を押して選択する。
  （編集種別ボタンの並びは、ダイヤルボタンの並びに対応しています。）
  - ■ 画像編集後、続けて編集の種類を選択すると、同じ静止画を連続で編集できます。
  - ■ 編集の種類がグレー表示になっている場合は、操作できません。

直前の操作を取り消す

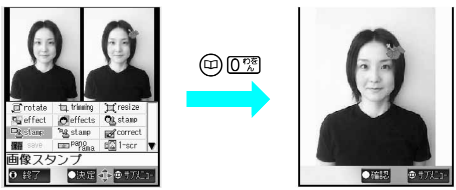
1 ⓜ→# ［取消］を選んで、［はい］を選ぶ。

- 直前に編集した静止画が編集前に戻ります。（何も編集していないときは操作できません。）
- 取消は1回のみ可能です。続けて取消操作を行うと、静止画が編集前の状態に戻ります。

1画面で表示する

編集した静止画を1画面で表示できます。編集を開始する前には、元の画像を1画面で表示します。

1 ⓜ→0 ［1画面表示］を選ぶ。



- 画像エフェクト、フェイスエフェクト、フェイススタンプ、画像スタンプの編集画面のときは、ⓜ→0→0［1画面表示］を押します。
- 1画面表示にしてからⓜを押し、［全画面表示切替］を選んで◉を押すと、全画面表示に切り替わります。全画面表示を解除するときは、□～□、□以外のいずれかのボタンを押します。

お知らせ

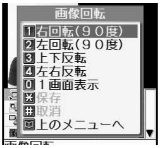
- 編集した静止画は圧縮して保存し直されるため、静止画を再び表示したときに、編集中の静止画と異なって見える場合があります。

静止画を回転する＜画像回転＞

静止画を右左に90度ずつ回転したり、上下、左右に反転できます。

● サイトやインターネットホームページからのダウンロードや、データリンクソフトからインポート（☞P.360）した静止画など、画像によっては操作できない場合があります。
●「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は回転できません。

1 編集画面（☞**P.323**）でⓜ→1［画像回転］を選んで、回転の種類を選ぶ。



右回転（90度）	1［右回転（90度）］
左回転（90度）	2［左回転（90度）］
上下反転	3［上下反転］
左右反転	4［左右反転］

● ［回転処理中］と表示され、処理後の静止画が表示されます。

2 静止画を保存する。

静止画を保存する	ⓘ［終了］→［はい］→◉→1［OK］
タイトルを変更して保存する	ⓘ［終了］→［はい］→◉→2［タイトル編集］→タイトル入力→◉→1［OK］ ● 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。
フォルダを変更して保存する	ⓘ［終了］→［はい］→◉→3［フォルダ変更］→フォルダ→◉→1［OK］
ｉモードメールに添付して作成する	ⓘ［終了］→［はい］→◉→4［メール作成］→ｉモードメール作成・送信 ● 静止画は自動的に保存されます。 ● 詳しくは、P.264の操作３～４を参照してください。
保存せずに別の編集をする	ⓜ→編集種別番号
保存後に続けて編集する	ⓜ→✱［保存］→1［OK］→ⓜ→編集種別番号

お知らせ

● 画像切り出しやサイズ変更（☞P.325）した静止画は回転できますが、画質が劣化することがあります。
● 静止画を右回転または左回転すると、「アイコン：76×76」以外は縦横比が変わります。

静止画のサイズを修正する＜画像切り出し＞

アイコン設定用や待受画面設定用など、目的や用途に応じて静止画のサイズを修正したり、切り出したりできます。

変更前の静止画サイズ	変更可能な静止画サイズ
アイコン：76×76	アイコン：76×76
sQCIF：128×96	アイコン：76×76、sQCIF：128×96
QCIF：176×144	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144
待受：240×320 CIF：352×288 VGA：480×640 最大：960×1280	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、待受：240×320

※ カメラ撮影サイズ以外に、miniSDメモリーカードから取り込んだ、任意サイズの静止画も修正できますが、サイズによっては、修正できない場合もあります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

1 編集画面（☞P.323）で[m]→[2]［画像切り出し］を選んで、画像サイズを選ぶ。

● 元の静止画サイズによっては、修正できないサイズもあります。修正できないサイズは、グレー表示されます。

アイコン（76×76）	[1]［アイコン（76×76）］
sQCIF（128×96）	[2]［sQCIF（128×96）］
QCIF（176×144）	[3]［QCIF（176×144）］
待受（240×320）	[4]［待受（240×320）］

● ［画像展開中］と表示され、修正後の静止画が表示されます。
● 画像切り出し後、上下が足りない場合は、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。
● 画像サイズを選択すると、「変更前の静止画」に「変更後の静止画」の切り出し枠が重ねられます。
● sQCIFの画像を編集（90度回転）すると、sQCIFに切り出すことができません。また、待受の画像を編集（90度回転）すると、アイコン（９分割）に切り出すことができません。

2 [方向キー]で切り出し部分を指定して[決定]を押す。

● [m]［拡大］を押して拡大したり、[i]［縮小］を押して縮小してから[方向キー]で切り出し部分を指定できます。

3 静止画を保存する。（☞P.324の操作２）

静止画のサイズを変更する＜サイズ変更＞

待受画面設定用など、目的や用途に応じて静止画のサイズを変更できます。

● サイズ変更しても縦横比は変更されません。縦横比が異なる画像をアイコンやテレビ電話代替画像に使用する場合は画像切り出し（☞P.324）を利用してください。

変更前の静止画サイズ	変更可能な静止画サイズ
アイコン：76×76	sQCIF：128×96、QCIF：176×144、待受：240×320
sQCIF：128×96	アイコン：76×76、QCIF：176×144、待受：240×320
QCIF：176×144	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、待受：240×320
待受：240×320	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144
CIF：352×288 VGA：480×640 最大：960×1280	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、待受：240×320

1 編集画面（☞P.323）で[m]→[3]［サイズ変更］を選んで、画像サイズを選ぶ。



アイコン（76×76）	[1]［アイコン（76×76）］
sQCIF（128×96）	[2]［sQCIF（128×96）］
QCIF（176×144）	[3]［QCIF（176×144）］
待受（240×320）	[4]［待受（240×320）］

● ［サイズ変更中］と表示され、修正後の静止画が表示されます。
● 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りない場合は、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。「待受：240×320」「VGA：480×640」「最大：960×1280」を［アイコン（76×76）］に変更した場合は、左右に余白が付くこともあります。

2 静止画を保存する。（☞P.324の操作２）

データ表示／編集／管理

静止画を補正する＜画像補正＞

静止画にシャープネスやソフトなどの補正をかけることができます。

- サイトやインターネットホームページからのダウンロードや、データリンクソフトからインポート（☞P.360）した静止画など、画像によっては操作できない場合があります。
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は補正できません。

1 編集画面（☞**P.323**）で(m)→9［画像補正］を選んで、補正の種類を選ぶ。



［シャープネス］	1	エッジを強調する
［ソフト］	2	エッジをぼかす
［感度アップ］	3	明るさ、およびコントラストをアップする
［鮮やか］	4	色彩度をアップする

- ［画像補正処理中］と表示され、補正後の静止画が右画面に表示されます。

2 静止画を保存する。（☞**P.324**の操作2）

お知らせ

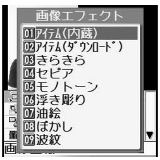
- 色の変化が少ないものなど、静止画によっては効果が表れにくいものもあります。

いろいろな効果をかける＜画像エフェクト＞

静止画の色あいやタッチを変えたり、フレームを付けたりできます。

- サイトやインターネットホームページからのダウンロードや、データリンクソフトからインポート（☞P.360）した静止画など、画像によっては操作できない場合があります。
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画に画像エフェクトを行うことはできません。

1 編集画面（☞**P.323**）で(m)→4［画像エフェクト］を選んで、エフェクトの種類を選ぶ。



アイテム（内蔵）	0→1［アイテム（内蔵）］→フレーム→(●)［決定］	あらかじめ登録されているフレーム
アイテム（ダウンロード）	0→2［アイテム（ダウンロード）］→フォルダ→(◆)→フレーム→(●)［決定］	ダウンロードしたフレーム
きらきら	0→3［きらきら］	光輝部を十字に輝かせる効果を表現
セピア	0→4［セピア］	セピア色で濃淡を表現
モノトーン	0→5［モノトーン］	モノトーンで濃淡を表現
浮き彫り	0→6［浮き彫り］	メタル系シルバー色で立体感を表現
油絵	0→7［油絵］	油絵タッチで表現
ぼかし	0→8［ぼかし］	画像をぼかす
波紋	0→9［波紋］	波紋効果を付ける
魚眼	1→0［魚眼］	魚眼レンズでの効果を表現

- ［エフェクト処理中］と表示され、処理後の静止画が右画面に表示されます。

2 静止画を保存する。（☞**P.324**の操作2）

 ＊メニューを切り替えるときは(●)［(●)基本メニューへ］または［(●)詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

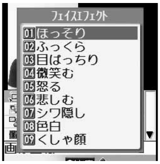
- 静止画によって効果に差があります。
- 画像切り出し（☞P.324）やサイズ変更（☞P.325）した静止画にフレームを付けると、画質が劣化することがあります。

顔を装飾する＜フェイスエフェクト＞

人物の顔の静止画に喜怒哀楽の表情を付けることができます。

- フェイスエフェクトによる画像編集、または編集後の静止画をｉモードメールで送信したり、待受画面に設定する場合は、人格権および肖像権を尊重し、他の方の中傷にならないようにご配慮ください。
- フェイスエフェクトには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- フェイスエフェクトは、顔の輪郭情報を自動抽出し、その情報を元にエフェクトをかけます。そのため、静止画内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。特に、次の静止画の場合はご注意ください。ピントが合っていない、首を傾けている、暗い、目が髪で隠れている、口が開いている、メガネをかけている、ヒゲを生やしているなど
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画にはフェイスエフェクトをかけられません。

1 編集画面（☞**P.323**）で[m]→[5]［フェイスエフェクト］を選んで、エフェクトの種類を選ぶ。



ほっそり	[0]→[1]［ほっそり］
ふっくら	[0]→[2]［ふっくら］
目ぱっちり	[0]→[3]［目ぱっちり］
微笑む	[0]→[4]［微笑む］
怒る	[0]→[5]［怒る］
悲しむ	[0]→[6]［悲しむ］
シワ隠し	[0]→[7]［シワ隠し］
色白	[0]→[8]［色白］
くしゃ顔	[0]→[9]［くしゃ顔］
左右対称顔（右）	[1]→[0]［左右対称顔（右）］
左右対称顔（左）	[1]→[1]［左右対称顔（左）］
位置修正	[1]→[2]［位置修正］ ● 各部の輪郭を手動で設定します。次項「■ 各部の輪郭情報を手動で設定する」を参照してください。

- 顔の輪郭情報を自動抽出し、［エフェクト処理中］と表示され、処理後の静止画が右画面に表示されます。
- 顔の輪郭情報が正しく自動抽出できないときは、[m]→[田]［取消］を押し、［はい］を選んで[●]を押すと、編集前の画像に戻ります。[m]→[5]［フェイスエフェクト］→[1]→[2]［位置修正］を押し、輪郭情報を手動で設定してください。詳しくは、次項「■ 各部の輪郭情報を手動で設定する」を参照してください。

2 静止画を保存する。（☞**P.324**の操作２）

■ 各部の輪郭情報を手動で設定する

顔の輪郭、画面上の右の目の輪郭、画面上の左の目の輪郭、口の輪郭を順番に設定してエフェクトをかけます。

各部分の輪郭を設定するには[◆]を押して［+］カーソルを移動させます。

- ［+］カーソルは画像エリア内のみで移動します。
- 顔の輪郭は赤色、画面上の右の目の輪郭は青色、画面上の左の目の輪郭は緑色、口の輪郭は黄色の枠で示されます。
- 輪郭情報は、フェイススタンプ（☞P.329）でも利用されます。
- １つ前の動作に戻るときは、[クリア]を押します。

データ表示／編集／管理

1 編集画面（☞P.323）で ⊡→5［フェイスエフェクト］→1→2［位置修正］の順に選んで、顔の輪郭を指定する。

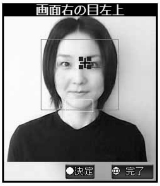


✥で輪郭の左上に［+］カーソルを合わせ、◉を押す。



✥で輪郭の右下に［+］カーソルを合わせ、◉を押す。

2 画面上の右の目の輪郭を指定する。

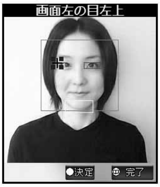


✥で輪郭の左上に［+］カーソルを合わせ、◉を押す。

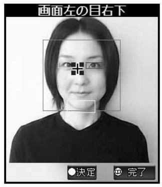


✥で輪郭の右下に［+］カーソルを合わせ、◉を押す。

3 画面上の左の目の輪郭を指定する。

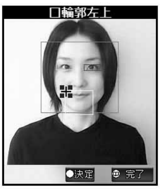


✥で輪郭の左上に［+］カーソルを合わせ、◉を押す。



✥で輪郭の右下に［+］カーソルを合わせ、◉を押す。

4 口の輪郭を指定する。



✥で輪郭の左上に［+］カーソルを合わせ、◉を押す。



✥で輪郭の右下に［+］カーソルを合わせる。

5 ⊡［完了］を押し、静止画を保存する。（☞P.324の操作2）

お知らせ

- ✥を押し続けると［+］カーソルを連続して移動させることができます。

お知らせ

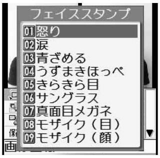
- 設定した顔の輪郭情報は、編集した画像を保存したときに、保存されます。画像を保存しないと、輪郭情報の設定は元に戻ります。次回画像編集を行うときは、この輪郭情報を元に画像編集が行われます。

顔スタンプを貼り付ける<フェイススタンプ>

顔の各部に涙やサングラス、うずまきほっぺなど、装飾用の静止画を貼り付けることができます。

- フェイススタンプを使っての画像編集、または編集後の画像をｉモードメールで送信したり、待受画面に設定する場合は、人格権および肖像権を尊重し、他の方の中傷にならないようにご配慮ください。
- フェイススタンプには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- フェイススタンプは、顔の輪郭情報を自動抽出し、その情報を元にエフェクトをかけます。そのため、静止画内の顔の位置情報や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。特に、次の静止画の場合はご注意ください。
ピントが合っていない、首を傾けている、暗い、目が髪で隠れている、口が開いている、メガネをかけている、ヒゲを生やしているなど
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画はフェイススタンプを貼り付けできません。

1 編集画面（☞**P.323**）で📖→6［フェイススタンプ］を選んで、スタンプの種類を選ぶ。



怒り	0→1［怒り］
涙	0→2［涙］
青ざめる	0→3［青ざめる］
うずまきほっぺ	0→4［うずまきほっぺ］
きらきら目	0→5［きらきら目］
サングラス	0→6［サングラス］
真面目メガネ	0→7［真面目メガネ］
モザイク（目）	0→8［モザイク（目）］
モザイク（顔）	0→9［モザイク（顔）］
位置修正	1→0［位置修正］ ● 各部の輪郭を手動で設定します。（☞P.327）

- 顔の輪郭情報を自動抽出し、［エフェクト処理中］と表示され、処理後の静止画が右画面に表示されます。
- 顔の輪郭情報が正しく自動抽出できないときは、📖→#［取消］を押し、［はい］を選んで●を押すと、編集前の画像に戻ります。📖→6［フェイススタンプ］→1→0［位置修正］を押し、輪郭情報を手動で設定してください。詳しくは、P.327を参照してください。

2 静止画を保存する。（☞**P.324**の操作２）

お知らせ

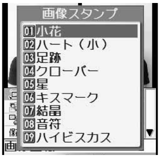
- 画像切り出し（☞P.324）やサイズ変更（☞P.325）した静止画にフェイススタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

画像スタンプを貼り付ける<画像スタンプ>

静止画に星や花、キスマークなど、あらかじめ登録されている画像スタンプやダウンロードした画像スタンプを貼り付けできます。

- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は画像スタンプを貼り付けできません。

1 編集画面（☞**P.323**）で⊡→7［画像スタンプ］を選んで、画像スタンプの種類を選ぶ。



小花	0→1［小花］
ハート（小）	0→2［ハート（小）］
足跡	0→3［足跡］
クローバー	0→4［クローバー］
星	0→5［星］
キスマーク	0→6［キスマーク］
結晶	0→7［結晶］
音符	0→8［音符］
ハイビスカス	0→9［ハイビスカス］
合格	1→0［合格］
バラ	1→1［バラ］
虹	1→2［虹］
吹き出し	1→3［吹き出し］
流れ星	1→4［流れ星］
ハート（大）	1→5［ハート（大）］
スタンプ（ダウンロード）	1→6［スタンプ（ダウンロード）］→フォルダ→⊙→スタンプ→ⓘ［決定］

- 画像スタンプが表示されます。
- ✥を押すと、画像スタンプの貼り付け位置を調整できます。
- 画像スタンプを選び直すときは、クリア を押します。クリア を押す前に選んでいたスタンプは削除されます。

2 ⊙［貼付］を押す。

- 続けて同じ画像スタンプを貼り付けるときは、貼り付け位置を調整して⊙を押します。

3 ⓘ［完了］を押し、静止画を保存する。（☞**P.324**の操作2）

お知らせ

- 画像切り出し（☞P.324）やサイズ変更（☞P.325）した静止画に画像スタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

文字スタンプを貼り付ける＜文字スタンプ＞

静止画に入力した文字や日付を貼り付けできます。
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は文字スタンプを貼り付けできません。

1 編集画面（☞**P.323**）で[MENU]→[8] ［文字スタンプ］を選んで、文字スタンプを選ぶ。



フリーワード	[1] ［フリーワード］→文字を入力→[決定] ● 全角11文字（半角22文字）まで入力できます。文字が画面の幅を超える場合は、途中まで入力されます。（改行できません。）
日付	[2] ［日付］

- [方向キー]を押すと、文字の貼り付け位置を調節できます。
- 文字はオレンジ色で表示されます。
- 文字サイズを変更するときは、[i] ［サイズ］を押します。押すたびに文字サイズが、20ドット→24ドット→30ドット→48ドット（縦倍角）→12ドット→16ドット→20ドットの順に変更されます。
- 文字サイズを変更すると文字の貼り付け位置は中央に戻ります。

2 [決定]を押し、静止画を保存する。（☞**P.324の操作２**）

お知らせ

- 画像切り出し（☞P.324）やサイズ変更（☞P.325）した静止画に文字スタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

２枚の静止画を１枚の画像に合成する＜パノラマ合成＞

２枚の静止画を合成して、１枚のパノラマ画像を作成できます。
- 色味が異なる２枚の静止画をパノラマ合成すると、うまく合成されない場合があります。
- 「待受：240×320」サイズの静止画のみ合成できます。



１枚目静止画　　２枚目静止画　　パノラマ画像

1 左側に配置する静止画の編集画面（☞**P.323**）で、[MENU]→［パノラマ合成］を選ぶ。



次ページへ続く

2 合成の種類を選ぶ。

[標準]	1	パノラマ合成の標準モードです。通常はこちらを使用してください。風景など、遠距離で撮影した画像の合成に適しています。
[近景]	2	近くのものを撮影したときに発生する視差の影響を補正した上で、合成を行います。近距離の画像を合成するときに、標準モードでは思ったような合成ができなかった場合に使用してください。
[ドキュメント]	3	近くにある看板や時刻表など、カメラを横方向に移動させて撮影した画像を合成するのに適しています。

- データBOXのマイピクチャのフォルダ一覧画面が表示されます。
- 合成の種類を選び直すときは、CLRを押します。操作１の画面に戻ります。

3 フォルダを選んで、右側に配置する静止画にカーソルを合わせて[決定]を押す。

- 右側に配置する静止画を確認してから合成するときは、静止画を選んで[確認]を押し、[決定]を押します。
- [画像合成中]と表示され、合成した静止画が表示されます。
- [入替]を押すと、左右の画像を入れ替えることができます。

4 を押し、静止画を保存する。（☞**P.324**の操作２）

お知らせ

- 画像切り出し（☞P.324）やサイズ変更（☞P.325）した静止画をパノラマ合成すると、画質が劣化することがあります。

人物の顔をメークアップする<プチエステ>

人物の顔（静止画）に、美白やナチュラルのメークアップ効果をかけることができます。

- 効果をかけられる静止画のサイズは、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「待受：240×320」、「CIF：352×288」、「VGA：480×640」です。

1 マイピクチャのフォルダ一覧画面（☞**P.316**）でフォルダを選び、静止画にカーソルを合わせて→[プチエステ]を選ぶ。



2 を押し、効果の種類を選ぶ。



[美白]	1	肌を白く美しくします。
[ナチュラル]	2	肌を自然に、健康的にします。

- [プチエステ処理中]と表示され、処理後の静止画が表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは[基本メニューへ]または[詳細メニューへ]を押します。（☞P.35）

3 ◈を押し、静止画を保存する。（☞**P.324**の操作２）

お知らせ

- 静止画によって効果に差があります。

ビデオプレーヤ　◈ 7 2

動画／ｉモーションを再生する

FOMA端末で撮影した動画やボイスレコーダーで録音した音声、サイトやインターネットホームページから取得したｉモーションは、データBOXのｉモーションに保存され、ビデオプレーヤで再生できます。

基本メニュー（☞**P.35**）

1 待受画面で◈ → カメラ機能 → ［映像を見る］の順に選ぶ。

- 待受画面で◇を１秒以上押したあと、ⓘ［→ｉモーション］を押しても同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◈ → DataBOX（データ**BOX**）→［ｉモーション］の順に選ぶ。



ｉモーションの
フォルダ一覧画面

- 待受画面で◇を１秒以上押したあと、ⓘ［→ｉモーション］を押しても同じ操作が行えます。
- 動画／ｉモーションのフォルダ一覧画面が表示されます。

2 フォルダを選ぶ。



- 動画／ｉモーションの画像一覧画面が表示されます。
- 動画撮影画面（☞P.182）などで、Ⓜ→2［データBOX表示］を押しても表示できます。
- 画像一覧表示を切り替えるときは、Ⓜ→9［表示切替］を押し、1［９分割表示］または2［16分割表示］、3［リスト表示］を押します。
- miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションを確認するときは、Ⓜ→#［本体⇔miniSD切替］を押します。再びFOMA端末（本体）の動画／ｉモーションを確認するときは、Ⓜ→#［本体⇔miniSD切替］を押します。
- ASFファイルの情報を表示するときは、ⓘ［詳細］を押します。

データ表示／編集／管理

3 動画／ｉモーションを選ぶ。



- 再生中に◉を押すと、一時停止します。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合、画面には固定のアニメーションが表示されます。
- マナーモードを設定しているときは、［マナーモード中です　音を再生しますか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押すと、音声ありで再生されます。映像のみの場合は表示されません。

全画面表示する	ｉモーション表示中にⓂ→［全画面表示切替］→◉ ● 横方向の全画面表示で再生されます。全画面表示中に一時停止してⓂ→［全画面表示切替］を選んだり、ⓘを押して停止すると、元の表示サイズに戻ります。 ● 全画面表示中は上下と左右の操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持った状態で操作してください。
音量を調節する	◇（下げる）または◇（上げる）
早送りする	◇を押し続ける。 ● ボタンから指を離した時点で、再生します。
早戻しする	◇を押し続ける。 ● ボタンから指を離した時点で、再生します。
一時停止する	◉［一時停止］ ● もう一度◉［再生］を押すと、続きを再生します。 ● 一時停止中に◇を押すとコマ送り、◇を押すとコマ戻しできます。 ● 一時停止中に1～9を押すと、ボタンに該当した位置にジャンプします。※
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプする	1～9 ● ボタンに該当した位置にジャンプして、再生を開始します。※
次の動画／ｉモーションを再生する	◇
前の動画／ｉモーションを再生する	◇

※ 1を押すと再生中の動画／ｉモーションの先頭に戻ります。2～9を押すと録画時間の約1／9ずつ先の位置にジャンプします。ただし、録画時間が短い場合は、ジャンプしないときがあります。

- 再生可能な動画／ｉモーションの種類は次のとおりです。動画／ｉモーションの種類は情報表示で確認できます。

ファイル形式		符号化方式
MP4 （拡張子：「.mp4」「.3gp」）	画像	MPEG-4、H.263
	音声	AMR（8kHz）、AAC（8kHz/16kHz/32kHz/44.1kHz/48kHz）
ASF （拡張子：「.asf」）	画像	MPEG-4
	音声	AMR、G.726（16～32kbps）

- 再生可能な動画／ｉモーションの画像サイズは、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「QQVGA：160×120」、「hQVGA：240×176」、「QVGA：320×240」です。

再生状態のマークの見かた

トラック情報表示	映像＋音声＋テキスト	▣	バッファリング中表示（標準タイプ・ストリーミングタイプ）	▣
	映像＋音声	▣	ダウンロード未完了	▣
	映像＋テキスト	▣	リピート再生	▣
	音声＋テキスト	▣	再生中照明設定	▣
	映像のみ	▣	拡大再生中表示	▣
	音声のみ	▣		
	テキストのみ	▣		

- 画面右下に、映像非対応の場合は［▣×］、音声非対応の場合は［♪×］が表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- 再生中に一時停止をした場合、再生を再開するときに一時停止した位置とは少しずれた位置から再生されることがあります。また、アラーム動作があった場合、再生は中止されます。
- 動画／ｉモーションを一時停止してサブメニューを選んだ場合、メニューや再生中のデータによっては少し戻った位置から再生を開始することがあります。
- データによっては1～9を押しても指定した位置にジャンプできないデータや位置があります。
  また、コマ送り・コマ戻しで、一部画像を表示できない場合があります。
- 外部機器でminiSDメモリーカードに保存した動画もFOMA端末で再生できます。（☞P.531）
- 再生中にFOMA端末を閉じても、再生は継続されます。
- 現在の動画／ｉモーションの参照先（FOMA端末（本体）またはminiSDメモリーカード）は、ビデオプレーヤをいったん終了しても記録され、次回、ビデオプレーヤを起動したときにも同じ参照先となります。

データBOXのｉモーションに保存した動画／ｉモーションは、パソコンをお持ちの場合、miniSDメモリーカード（☞P.349）を利用してパソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、データ BOXのｉモーションに登録してある動画／ｉモーションが消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

動画／ｉモーションを再生中に音声電話やテレビ電話がかかってくると

- 着信画面が表示され、電話に出ることができます。再生は中止され、通話終了後に、動画／ｉモーションの停止画面に戻ります。FOMA端末（本体）に保存されたMP4／ASFファイルの場合は、miniSDメモリーカード側でレジューム再生を［する］に設定しても、再生を中止したところから再生できません。

関連操作

リピート再生する<リピート再生>

再生中にm ▶ 1［リピート再生］

- 通常の再生に戻すとき：m ▶ 1［リピート再生］
- 再生を中止するとき：クリア

表示サイズを切り替える<表示サイズ切替>

1 再生中にm ▶ 2［表示サイズ切替］

2 拡大するときは2［拡大］
- 等倍にするとき：1［等倍］

ライトアップする<ライトアップ>

再生中にm ▶［ライトアップ］▶ ○

- または#（1秒以上）
- 消すとき：同じ操作をする

コマ送りの幅を設定する<送り幅指定>

1 再生中にm ▶［送り幅指定］▶ ○
- 映像編集画面（☞P.341）で設定するとき：m ▶ 0［送り幅指定］

2 送り幅を細かくするときは2［細かい］
- 送り幅を大まか（高速）にするとき：1［大まか（高速）］

再生時の音量を設定する<再生音量設定>

1 「動画／ｉモーションを再生する」（☞P.333）の操作1の画面でm ▶ 6［再生音量設定］
- 操作2の画面で設定するとき：m ▶ 0［再生音量設定］

2 ↑（上げる）／↓（下げる）▶ ○

再生時の照明を設定する<再生中照明設定>

1 「動画／ｉモーションを再生する」（☞P.333）の操作1の画面でm ▶ 7［再生中照明設定］

2 常にONにするときは2［常にON］
- 照明設定に従うとき：1［照明設定に従う］

レジューム再生するかどうかを設定する<レジューム再生設定>

1 「動画／ｉモーションを再生する」（☞P.333）の操作2の画面でm ▶ #［本体⇔miniSD切替］▶ フォルダ ▶ ○ ▶ 動画／ｉモーション ▶ m ▶［レジューム再生設定］▶ ○

2 レジューム再生するときは1［する］
- レジューム再生しないとき：2［しない］

次ページへ続く

関連操作

お知らせ

リピート再生について

- 再生回数に制限のあるデータは、リピート再生できません。
- リピート再生が開始される前の３秒間に1～9／0／＊／＃／◉／◉／◉のボタンを押すと、リピート再生は停止します。ダイヤルボタンなどを押してリピート再生を終了しても、リピート再生は解除されません。（ただし、＊／＃／◉／クリア／◉／◉／◉／◉／◉のボタンを１秒以上押すと再生は継続されます。）リピート再生を再開するときは◉［再生］を押します。
- リピート再生を終了するときは、クリアを押します。

表示サイズ切替について

- 画像サイズが「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」（テロップなし）、「QQVGA：160×120」の場合、表示サイズを［拡大］に切り替えることができます。
- 電源を切っても再生サイズの設定は保持されます。
- お買い上げ時は、［等倍］に設定されています。

照明について

- 再生中照明設定（☞P.335）を［照明設定に従う］に設定しているときは、照明時間設定（☞P.140）で設定した時間が経過するとバックライトが消灯します。
- 再生中照明設定を［常にON］に設定しているときは、動画／ｉモーションを終了するまで照明時間設定（☞P.140）で設定した時間が経過してもバックライトは消灯しません。ただし、ライトアップ時は設定した時間が経過するとバックライトが消灯します。
- ライトアップ時は、ディスプレイの明るさの設定（☞P.142）にかかわらず、最大の明るさで表示されます。

コマ送りの幅の設定について

- お買い上げ時は、［大まか（高速）］に設定されています。
- 電源を切っても設定は保持されます。
- 映像のない動画は、［細かい］に設定しても無効となり、［大まか（高速）］でコマ送りされます。
- 一部、［細かい］に設定しても無効となり、［大まか（高速）］でコマ送りされる動画があります。
- 映像編集画面で編集中のデータサイズが500Kバイトを超える場合、コマ送り幅は［大まか（高速）］となります。

再生中照明設定について

- お買い上げ時は、［照明設定に従う］に設定されています。（☞P.140）

再生音量設定について

- お買い上げ時は、［音量５］に設定されています。

レジューム再生について

- お買い上げ時は、［する］に設定されています。
- レジューム再生は、miniSDメモリーカードに保存されている動画／ｉモーションが対象となります。
- レジューム再生を［する］に設定すると、miniSDメモリーカードに保存された動画／ｉモーションを再生中に着信などで中断した場合、再生を中止したところから再生を開始できます。
- ［ミュージック・ボイス］フォルダの動画／ｉモーションは設定できません。
- miniSDメモリーカードに、動画／ｉモーションが保存されていない場合、レジューム再生設定はできません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

ｉモーションフォルダ一覧画面／画像一覧画面の見かた

ｉモーションフォルダ一覧画面の見かた

FOMA端末（本体）



- FOMA端末で撮影した動画用フォルダおよびボイスレコーダーで録音した音声用フォルダ
- サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールで入手した動画／ｉモーション用フォルダ
- お客様が作成できるフォルダ（☞P.361）

miniSDメモリーカード

miniSDメモリーカードを挿入しているとき、ｉモーション画面でⓜ→# ［本体⇔miniSD切替］を押すと、miniSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。



- FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
- お客様が作成できるフォルダ（☞P.359）
- 映像・音声切替を音声のみ、保存先をminiSDメモリーカードに設定して撮影した動画用フォルダおよびボイスレコーダーで録音した音声用フォルダ
  - ［ミュージック・ボイス］フォルダに保存された動画は、別のフォルダに移動できません。
  - ［ミュージック・ボイス］フォルダのフォルダ名変更、フォルダ削除はできません。
  - ［ミュージック・ボイス］フォルダに保存された動画にはタイトル名がないため、タイトル編集はできません。
  - ［ミュージック・ボイス］フォルダには最大100件まで保存でき、VOICE001〜VOICE100までのファイル名が付きます。ファイル形式はMP4です。

画像一覧画面の見かた

画像一覧画面は、［９分割表示］［16分割表示］［リスト表示］のいずれかで表示できます。



９分割表示



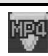
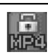
16分割表示



リスト表示

- ９分割表示や16分割表示では、動画／ｉモーションの種類が次のいずれかに該当する場合は、画像の代わりに［♪］［ⓘ］が表示されます。
  - ■ 音声のみまたはテキストのみのデータ
  - ■ 画像ファイル形式が非対応のデータ
  - ■ 画像サイズが非対応のデータ
  - ■ 画像が表示できない（壊れている）データ

動画／ｉモーション情報マークの見かた

	Mobile MP4		MP4		ASF
	再生制限なし	再生制限あり	再生制限なし	再生制限あり	−
保護設定なし					
保護設定あり					

データ表示／編集／管理

次ページへ続く

● FOMAカード動作制限機能が設定されたｉモーションには、[ ]（保護設定なし）、[ ]（保護設定あり）が表示されます。
● 待受画面、ピクチャーコールや着信音、指定着信音、アラーム、スケジュールアラーム、ToDoアラームに設定した動画／ｉモーションには、[ ] が表示されます。
● ファイル制限されている動画／ｉモーションには、[ ] が表示されます。
● ｉモードなどで取得した動画／ｉモーションには［ ］が、miniSDメモリーカードで取得した動画／ｉモーションには［ ］が表示されます。
● カメラ撮影した動画には［ ］が表示されます。

関 連 操 作

リスト画面の表示方法を変更する<表示切替>
「動画／ｉモーションを再生する」（☞P.333）の操作２の画面でⓜ▶9［表示切替］▶表示方法▶◉

お知らせ

リスト画面の表示方法変更について
● お買い上げ時は、［９分割表示］に設定されています。基本メニューから表示したときは、［表示切替］を変更しても［９分割表示］で表示されます。
● 動画／ｉモーションのタイトル名は、最大全角31文字（半角63文字）まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字（半角14文字）までです。

動画を連続して再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のすべての動画／ｉモーションを連続して再生できます。

1 **ｉモーションのフォルダ一覧画面（☞P.333）で、フォルダにカーソルを合わせてⓜ→5［連続再生］を選ぶ。**

● 再生中に◉を押すと、一時停止します。
● 再生中にⓘ［停止］を押すと、停止します。◉を押すと、停止した動画／ｉモーションの先頭から再生し、連続再生は継続されます。
● 再生期間制限、再生期限制限のある動画／ｉモーションはメッセージが表示されます。
● 連続再生時は全画面表示に切り替えできません。

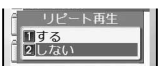
連続再生の設定をする

動画／ｉモーションを連続再生するときの設定を行います。

設　定	内　容	お買い上げ時
リピート再生	くり返し再生するかどうかを設定します。設定内容はすべてのフォルダに反映されます。	しない
ダイジェスト再生	それぞれの動画の最長再生時間を設定します。（つなぎ目の時間は含みません。）設定内容はすべてのフォルダに反映されます。	しない
つなぎ目効果設定	動画と動画の間のつなぎ目の効果を設定します。miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションのフォルダのみに設定できます。ただし、［ミュージック・ボイス］フォルダには設定できません。フォルダごとに設定します。	ランダム

リピート再生するとき

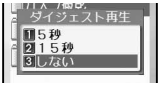
1 **ｉモーションのフォルダ一覧画面（☞P.333）で、フォルダにカーソルを合わせてⓜ→4［連続再生設定］→1［リピート再生］の順に選んで、1［する］を選ぶ。**



＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

ダイジェスト再生するとき

1 ｉモーションのフォルダ一覧画面（☞P.333）で、フォルダにカーソルを合わせて㋱→4［連続再生設定］→2［ダイジェスト再生］の順に選ぶ。



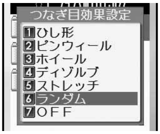
2 再生時間を選ぶ。

5秒	1［5秒］
15秒	2［15秒］
ダイジェスト再生しない	3［しない］

つなぎ目効果を設定するとき

● miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションのフォルダのみに設定できます。

1 ｉモーションのフォルダ一覧画面（☞P.333）で㋱→#［本体⇔miniSD切替］を選んで、フォルダにカーソルを合わせて㋱→4［連続再生設定］→3［つなぎ目効果設定］の順に選ぶ。



2 効果の種類を選ぶ。

［ひし形］	1	次の画像が、中から外へ、ひし形が大きくなるようにして切り替わります。
［ピンウィール］	2	次の画像が、回転しながら大きくなって切り替わります。
［ホイール］	3	次の画像が、中心から回転するように広がって切り替わります。
［ディゾルブ］	4	次の画像が、細かい粒子状に浮かび上がって切り替わります。
［ストレッチ］	5	次の画像が、中心から縦方向に広がりながら切り替わります。
［ランダム］	6	効果の種類がランダムに選択されて反映されます。
［OFF］	7	つなぎ目効果を設定しません。

動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを送信する<ｉモーションメール>

動画／ｉモーションを、ｉモードメールに添付して送信できます。

● 送信できる動画／ｉモーションのファイルサイズは、最大500Kバイト（512000バイト）までです。
● 送信できる動画／ｉモーションのファイル形式は、Mobile MP4、MP4です。
● 送信できる画像サイズは、「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」です。

1 ｉモーションのフォルダ一覧画面（☞P.333）でフォルダを選んで、動画／ｉモーションにカーソルを合わせて㋮［メール］を押す。



● メール作成画面が表示されます。選択した動画／ｉモーションが添付されます。
● 300Kバイトを超える動画／ｉモーションのときは、［メール用（短）］と［メール用（長）］の選択画面が表示されます。
● ［メール用（短）］を選んで◉を押すと、先頭から約290Kバイトが自動的に切り出されます。
● ［メール用（長）］を選んで◉を押すと、500Kバイトを超える場合は先頭から約490Kバイトが自動的に切り出されます。300Kバイトを超え、500Kバイト以下の動画／ｉモーションはそのまま添付されます。

次ページへ続く

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

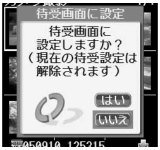
● 詳しくは、P.264の操作2～4を参照してください。

動画／ｉモーションを待受画面に設定する＜待受画面に設定＞

動画／ｉモーションを、待受画面に設定できます。

● 待受画面にGIFアニメーション、Flash画像やｉモーションを設定しているとき、カレンダーに切り替えると、待受画面の画像が停止します。

1 ｉモーションのフォルダ一覧画面（☞P.333）でフォルダを選んで、動画／ｉモーションにカーソルを合わせて📖→5［待受画面に設定］を選ぶ。



● 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）やファイル形式がASFの動画／ｉモーションを待受画面に設定することはできません。

● 画像サイズが「QQVGA：160×120」の動画／ｉモーションは、待受画面に設定できません。

● miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションは、待受画面や着信音などに設定できません。

2 ［はい］を選んで、表示方法を選ぶ。

等倍表示する	1［等倍］
拡大表示する	2［拡大］

● 画像サイズが「sQCIF：128×96」と「QCIF：176×144」以外のときは、拡大表示できません。

お知らせ

● 動画／ｉモーションを着モーションに設定する方法については、P.124を参照してください。

● ｉモーションによっては、待受画面に設定できないものがあります。

● ｉモーション待受画面から、Phone To（AV Phone To）機能、Mail To機能、Web To機能はご利用になれません。

● 待受画面に設定した動画／ｉモーションの音量は、オープン音の音量（☞P.130）で設定できます。

● miniSDメモリーカードから、FOMA端末本体にコピーまたは移動したもの（FOMA端末本体からminiSDメモリーカードにコピーまたは移動してから、もう一度FOMA端末本体にコピーまたは移動したものを含む）は、着モーションや着信画像に設定できません。

映像編集

動画を編集する（スピーディラボ）

撮影した動画を編集できます。

● FOMA SH851i以外で撮影した動画は、編集できない場合があります。

◉72

映像編集画面を表示する

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→ カメラ機能 →［映像を見る］の順に選んでフォルダを選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ DataBOX（データBOX）→［ｉモーション］の順に選んでフォルダを選ぶ。

＊メニューを切り替えるときは ⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

2 動画にカーソルを合わせてⓜ→ⓜ［映像編集］を選ぶ。



映像編集画面
編集種別マーク

- 映像編集画面が表示されます。このとき、ファイルの先頭の映像が表示されます。
- 動画再生中（☞P.333）にⓜ→ⓜ［映像編集］を選びます。動画が一時停止して映像編集画面が表示されます。
- ✥を押して、コマ送り／戻しできます。このとき、音声は再生されません。
- 1～9を押すと、指定した位置にジャンプします。

編集種別マークの見かた

	静止画キャプチャ（☞P.343）		映像カッター（☞P.342）	ABCD	テロップ編集（☞P.343）
	アフレコ編集（☞P.344）		エフェクト挿入（☞P.345）		サイズ変換（☞P.345）
	情報表示	save	保存	FINISH	終了

映像編集画面でのボタン操作

編集種別の選択方法には、次の方法があります。

- ⓜを押し、編集種別を選択する。
- ✥で編集種別マークを選択する。

お知らせ

- 映像編集後、続けて編集の種類を選択すると、同じ動画を連続で編集できます。
- 画像サイズが「sQCIF：128×96」または「QCIF：176×144」のときのみテロップ編集、アフレコ編集、エフェクト挿入ができます。
- ファイルサイズが500Kバイトを超えるときは、テロップ編集、アフレコ編集、エフェクト挿入を行うことはできません。

関連操作

テロップを表示しないようにする<テロップ表示>

1 映像編集画面でⓜ▶［テロップ表示］▶◉
2 2［OFF］

- テロップを表示するとき：1［ON］

詳細情報を表示する<情報表示>

映像編集画面でⓜ▶7［情報表示］

- 確認を終わるとき：◉［確認］

お知らせ

テロップ表示について

- お買い上げ時は、［ON］に設定されています。
- ここでの設定は、映像編集画面内でのみ有効です。

動画を切り取る<映像カッター>

動画の一部を切り取り、新しい動画として保存します。

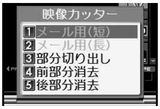
- テロップが付いている場合、テロップの始点から終点までが切り取る範囲に含まれていないと、テロップは削除されます。

動画の始点と終点を指定して切り取る

始点と終点を指定して切り取ります。

- ３秒未満の動画は切り取りできません。

1 映像編集画面（☞**P.341**）でMENU→2［映像カッター］を選んで、切り取り方法を選ぶ。

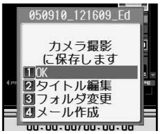


- ◇を押してコマ送り／戻しをできます。１秒以上押すと、早送り／早戻しします。
- 終点を始点と同じ位置、または始点より前の位置に指定することはできません。

始点と終点を指定して切り取る	3［部分切り出し］→ⓘ［始点］→ⓘ［終点］→◉［確認］
始点からファイルの最後までを切り取る	4［前部分消去］→ⓘ［始点］→◉［確認］
ファイルの最初から終点までを切り取る	5［後部分消去］→ⓘ［終点］→◉［確認］

- 映像編集画面に戻ります。

2 動画を保存する。



編集した動画を保存する	MENU→8［保存］→1［OK］
タイトルを変更して保存する	MENU→8［保存］→2［タイトル編集］→タイトル入力→◉→1［OK］ ● 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。
保存するフォルダを変更して保存する	MENU→8［保存］→3［フォルダ変更］→フォルダ→◉→1［OK］ ● miniSDメモリーカード内の動画の場合、フォルダを変更できないことがあります。
ｉモードメールに添付して送信する	MENU→8［保存］→4［メール作成］→ｉモードメール作成・送信 ● 動画は自動的に保存されます。 ● 詳しくは、P.264の操作３～４を参照してください。
編集した動画を保存しない	MENU→9［終了］→［はい］→◉
編集した動画を再生する	ⓘ［プレビュー］

- 編集した動画の画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」で、ファイルサイズが300Kバイトを超えるときは、メール添付用に変換するかどうかの選択画面が表示されます。［メール用（短）］を選んで◉を押すと、先頭から約290Kバイトが自動的に切り出されます。［メール用（長）］を選んで◉を押すと、先頭から約490Kバイトが自動的に切り出されます。そのまま保存するときは、［何もしない］を選んで◉を押します。

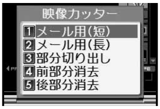
動画からメール用に切り出す

ｉモードメール添付用に、動画を切り出します。

- ［メール用（短）］は、指定した位置から約290Kバイトまでを自動的に切り出します。
- ［メール用（長）］は、指定した位置から約490Kバイトまでを自動的に切り出します。
- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」のときのみメール用に切り出しできます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

1 映像編集画面（☞P.341）で[メニュー]→[2] [映像カッター] を選んで、切り出し方法を選ぶ。



[メール用（短）] を選ぶ	[1] [メール用（短）]
[メール用（長）] を選ぶ	[2] [メール用（長）]

- [左右キー]を押してコマ送り／戻しをできます。1秒以上押すと、早送り／早戻しします。

2 切り取る始点で[i] [始点] を押し、[決定] [確認] を押す。

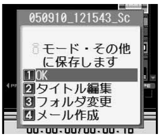
3 動画を保存する。（☞P.342の操作２）

動画を静止画として保存する＜静止画キャプチャ＞

動画の一場面を、静止画として保存できます。保存した静止画はFOMA端末で撮影した静止画と同様に扱うことができます。また、ｉモードメールに添付して送信することもできます。

- 静止画キャプチャした静止画は、データBOXのマイピクチャの［ｉモード・その他］フォルダに保存されます。
- 映像のないデータは、静止画キャプチャできません。

1 映像編集画面（☞P.341）で、[左右キー]で静止画として保存したい場面を選んで、[メニュー]→[1] [静止画キャプチャ] を選ぶ。



2 [1] [OK] を選ぶ。

- 動画の一場面が静止画として保存されます。
- 保存画面での操作方法については、P.324「静止画を回転する＜画像回転＞」の操作２を参照してください。

動画のテロップを編集する＜テロップ編集＞

動画を再生中に、テロップを付けたいところで一時停止して、１ファイルにつき、最大５個のテロップを付けることができます。

文字の色やサイズを変更したり、背景に色を付けるなどの装飾ができます。

- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」のときのみテロップ編集できます。
- １秒未満のデータ、500Kバイトを超えるデータや映像のないデータは、テロップ編集できません。

1 映像編集画面（☞P.341）で[メニュー]→[3] [テロップ編集] を選ぶ。



- すでにテロップが付いている動画の場合、[現在のテロップをすべて削除します　よろしいですか？] と表示されます。削除する場合は、[はい] を選んで[決定]を押します。[いいえ] を選んで[決定]を押すと、現在のテロップを残したままテロップ編集できます。

次ページへ続く

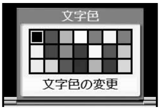
2 [再生]を押し、テロップを入れる場面で [一時停止]を押し、 [始点]を押す。

- [始点]を押す前にを押してコマ送り／戻しをして位置を調整できます。1秒以上押すと、早送り／早戻しします。
- テロップ入力画面が表示されます。

3 文字を入力して（☞P.488）を押す。

- 最大全角20文字（半角40文字、絵文字、改行も含む）まで入力できます。

4 →[デコレーション]を選んで、装飾の種類を選んで、装飾内容を指定する。



- デコレーションメニュー画面が表示されます。

装飾の種類	装飾内容の指定
1 文字色	文字色→
2 背景色	背景色→
3 アンダーライン	1 [引く] ／2 [引かない]
4 点滅	1 [する] ／2 [しない]
5 文字サイズ	1 [文字→小] ／2 [文字→大]
6 文字表示位置	1 [左] ／2 [中央] ／3 [右]
7 スクロールイン	1 [する] ／2 [しない]
8 スクロールアウト	1 [する] ／2 [しない]
9 スクロール方向	1 [←（右から左）] ／2 [→（左から右）] 3 [↑（下から上）] ／4 [↓（上から下）]

- 入力した文字に装飾が反映されます。

5 テロップ編集を完了する。

編集を完了する	→1 [編集完了]
再び文字を編集する	→2 [文字編集] →操作3～4（くり返し）
装飾を削除する	→3 [デコレーション解除] → [はい] →
テロップを削除する	→4 [テロップ削除] → [はい] →
他のところにテロップを付ける	操作2～4（くり返し）

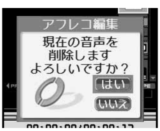
6 動画を保存する。（☞P.342の操作2）

動画をアフレコ編集する<アフレコ編集>

動画に音声を付けることができます。動画を再生しながら吹き込みます。音声は送話口から録音されます。

- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」のときのみアフレコ編集できます。
- 1秒未満のデータ、500Kバイトを超えるデータや映像のないデータは、アフレコ編集できません。
- 別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク接続時は、イヤホンマイクから録音できます。

1 映像編集画面（☞P.341）で→4 [アフレコ編集]を選ぶ。



- 映像のみで撮影した動画のときは、操作3に進みます。

＊メニューを切り替えるときは [基本メニューへ]または[詳細メニューへ]を押します。（☞P.35）

2 ［はい］を選ぶ。

- ファイルの最初で一時停止します。
- ファイルの途中からアフレコ編集を開始することはできません。

3 ［録音］を押し、録音が終了したら［完了］を押す。

- 映像に合わせて音声を吹き込みます。
- 録音中に一時停止、早送り、早戻し、コマ送り、コマ戻しはできません。
- 動画が終了するまで録音すると、自動的に完了します。

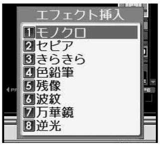
4 動画を保存する。（☞**P.342**の操作２）

動画全体に効果をかける<エフェクト挿入>

動画の色あいやタッチを変えることができます。

- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」のときのみ編集できます。
- 500Kバイトを超えるデータや映像のないデータは、エフェクト挿入できません。

1 映像編集画面（☞**P.341**）で→5［エフェクト挿入］を選んで、エフェクトの種類を選ぶ。



モノクロ	1［モノクロ］
セピア	2［セピア］
きらきら	3［きらきら］
色鉛筆	4［色鉛筆］
残像	5［残像］
波紋	6［波紋］
万華鏡	7［万華鏡］
逆光	8［逆光］

2 動画を保存する。（☞**P.342**の操作２）

動画のサイズを変換する<サイズ変換>

メール添付できるように動画のサイズを変換します。変換後は画質が［NORMAL］で画像サイズが「QCIF：176×144」になります。また、先頭から約490Kバイトまでを自動的に切り出します。

- 画像サイズを「hQVGA：240×176」、「QVGA：320×240」に設定して撮影した動画、または画像サイズを「QCIF：176×144」、画質を［SUPER FINE］に設定して撮影した動画のみ変換できます。

1 映像編集画面（☞**P.341**）で→6［サイズ変換］を選んで、［はい］を選ぶ。

2 動画を保存する。（☞**P.342**の操作２）

メロディを再生する

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたｉメロディや、メッセージR／Fやｉモードメールに添付されているメロディは、データBOXのメロディに保存され、メロディプレーヤで再生できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（データBOX）→［メロディ］の順に選ぶ。



メロディのフォルダ一覧画面

- メロディのフォルダ一覧画面が表示されます。
- 連続再生するときは、フォルダにカーソルを合わせてⓜ→4［連続再生］を押します。

2 フォルダを選ぶ。



- メロディ一覧画面が表示されます。

miniSDメモリーカード内のメロディを確認する	ⓜ→# ［本体⇔miniSD切替］ ● 再びFOMA端末（本体）のメロディを確認するときは、ⓜ→# ［本体⇔miniSD切替］を押します。

3 メロディを選ぶ。



- 選んだメロディが再生されます。
- 再生中に◉を押すと、停止し、メロディ一覧画面に戻ります。
- マナーモードを設定しているときは、［マナーモード中です　メロディを再生しますか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押します。

お知らせ

- 一部再生できないメロディがありますので、ご了承ください。
データ BOX のメロディに保存したメロディは、パソコンをお持ちの場合、miniSDメモリーカード（☞P.349）を利用してパソコンに転送・保管することをおすすめします。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、データ BOX のメロディに登録してあるメロディが消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- メロディを着信音に設定できます。（☞P.349）
- 現在のメロディの参照先（FOMA端末（本体）または miniSDメモリーカード）は、メロディプレーヤをいったん終了しても記録され、次回、データBOXのメロディを参照したときにも同じ参照先となります。

関連操作

音量を変更する<音量変更>
「メロディを再生する」の操作２の画面でⓜ▶7［音量変更］▶◌（上げる）／◌（下げる）▶◉

再生中に音量を変更する<音量変更>
再生中にⓜ▶1［音量変更］▶◌（上げる）／◌（下げる）▶◉

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

関連操作

イコライザを設定する＜イコライザ設定＞

再生中にⓜ▶2［イコライザ設定］▶イコライザの種類▶◉

お知らせ

音量変更について

● お買い上げ時は、［音量３］に設定されています。

イコライザ設定について

● イコライザ設定では、ノーマル・ロック・ポップス・クラシックの４つのパターンを設定できます。

メロディフォルダ一覧画面の見かた

FOMA端末（本体）



- メロディ：サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールで取得したメロディ用フォルダ
- プリインストール：あらかじめFOMA端末に内蔵されているメロディ用フォルダ
- マイスペシャル：お客様が作成できるメロディ用フォルダ（☞P.361）

miniSDメモリーカード

miniSDメモリーカードを挿入しているとき、メロディ一覧画面、またはメロディフォルダ一覧画面でⓜ→#［本体⇔miniSD切替］を押すと、miniSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。



- メロディ：あらかじめ用意されているメロディ用フォルダ
- お好み：お客様が作成できるメロディ用フォルダ（☞P.359）

メロディマークの見かた

	SMF	MFi
保護設定なし		
保護設定あり		

● FOMAカード動作制限機能が設定されたメロディには、[■]（保護設定なし）、[■]（保護設定あり）が表示されます。

● 着信音などに設定したメロディには、［■］が表示されます。

● ｉモードなどでダウンロードしたメロディには［■］が、miniSDメモリーカードやバーコードリーダーで取得したメロディには［■］が表示されます。

● メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているメロディには、[■]が表示されます。

データ表示／編集／管理

連続再生する＜連続再生＞

指定したフォルダ内のすべてのメロディを連続して再生できます。

1 メロディのフォルダ一覧画面（☞**P.346**）で、フォルダにカーソルを合わせてⓜ→4［連続再生］を選ぶ。



途中で次のメロディにスキップする	◇
現在のメロディの先頭に戻る	◇ ● メロディの先頭でもう一度◇を押すと、1つ前のメロディに戻ります。

メロディの演奏部分を指定する＜開始位置選択＞

ｉモードでダウンロードしたメロディやｉモードメールで受信したメロディの指定されている部分だけを演奏できます。

- 演奏部分は、あらかじめ指定されている部分が決まっていて、変更できません。
- ファイル形式がSMFのメロディは開始位置選択できません。
- miniSDメモリーカードに保存されたメロディの開始位置を指定することはできません。FOMA端末（本体）に保存されていても、メロディによっては開始位置を指定できないものもあります。

1 メロディのフォルダ一覧画面（☞**P.346**）でフォルダを選んで、演奏部分を指定するメロディにカーソルを合わせてⓜ→1［開始位置選択］を選ぶ。

- 開始位置選択画面が表示されます。
- 演奏部分を指定できないメロディの場合、［1開始位置選択］はグレーで表示されます。

2 再生方法を選ぶ。

メロディを全部演奏する	1［フルコーラス再生］
メロディを一部演奏する	2［ポイント再生］

メロディを添付してｉモードメールを送信する

データBOXのメロディからメロディ（SMF）を選択し、ｉモードメールに添付して送信できます。

- 送信できるメロディのサイズは最大10000バイトまでです。これを超えるサイズは添付できません。

1 メロディのフォルダ一覧画面（☞**P.346**）でフォルダを選んで、メロディにカーソルを合わせてⓘ［メール］を押す。

- メール作成画面が表示されます。選択したメロディファイルが添付されます。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.264の操作2～4を参照してください。

お知らせ

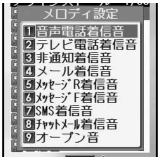
- 相手の機種がFOMA SH900i、SH901iC、SH700i、SH901iS、SH851i以外の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- ファイル形式がMFiのメロディ、メールに添付されたメロディ、ｉモードでダウンロードしたメロディは一部、ｉモードメールに添付できないものがあります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

メロディを着信音などに設定する<メロディ設定>

データBOXのメロディに保存されているメロディは、着信音などに設定できます。

1 メロディのフォルダ一覧画面（☞**P.346**）でフォルダを選んで、メロディにカーソルを合わせて[MENU]→[6]［メロディ設定］を選ぶ。



2 項目を選ぶ。

miniSDメモリーカードについて

FOMA端末では、miniSDメモリーカードを利用できます。miniSDメモリーカードは、SDメモリーカードをさらに小型化したメモリーカードです。FOMA端末内の電話帳やメール、ブックマークなどのデータをminiSDメモリーカードに保存したり、miniSDメモリーカード内のデータをFOMA端末（本体）に取り込むことができます。また、FOMA端末からminiSDメモリーカード内のデータを閲覧できます。
miniSDメモリーカードに保存できる静止画撮影枚数、動画撮影時間、音声録音時間の目安については、P.552を参照してください。
miniSDメモリーカードアダプタを利用すると、SDメモリーカード対応パソコンやプリンタなどでも利用できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードおよびminiSDメモリーカードアダプタをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
miniSDメモリーカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。

- FOMA端末の電源を入れたままの状態でminiSDメモリーカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- miniSDメモリーカードは正しく挿入してください。正しく挿入していないと、使用できません。
- SH851iでは、256MバイトまでのminiSDメモリーカードに対応しています。（2005年７月現在）
  miniSDメモリーカードの最新対応状況については、
  FOMA端末からの場合：［ｉMenu］→［[3]メニューリスト］→［ケータイ電話メーカー］→［SH-MODE］
  パソコンからの場合：　http://k-tai.sharp.co.jp/products/d/sh851i/
  をご覧ください。
- 購入直後のminiSDメモリーカードや他の機器でフォーマットしたminiSDメモリーカードなどをお使いの場合は次の点にご注意ください。
  - ■ FOMA端末に挿入すると約５秒間FOMA端末でご使用いただくための情報を書き込みます。その間にminiSDメモリーカードを取り外したり、電源を切らないでください。データが壊れたり正常に動作しなくなることがあります。
  - ■ パソコンなどでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしたminiSDメモリーカードを使用することをおすすめします。フォーマットの操作については、P.358を参照してください。フォーマットすると元のデータが消えてしまいますので、ご注意ください。
- miniSDメモリーカード内のデータ編集中に、miniSDメモリーカードを抜き差ししないでください。また、データ編集中にFOMA端末やminiSDメモリーカードを挿入した機器の電源を切らないでください。データが壊れたり正常に動作しなくなることがあります。
- 他の機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。

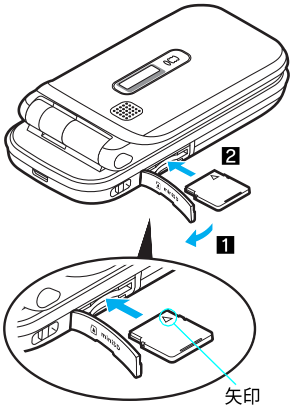
次ページへ続く

● 他のFOMA端末やパソコンなどで使用していたminiSDメモリーカードをFOMA SH851iに挿入した場合、使用できないことがあります。不要なデータを削除してから、再度挿入してください。
● miniSDメモリーカードに保存されたデータはバックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

miniSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

miniSDメモリーカードを挿入する

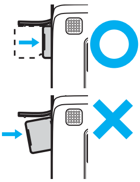
FOMA端末の電源を切ってからminiSDメモリーカードを取り付けてください。

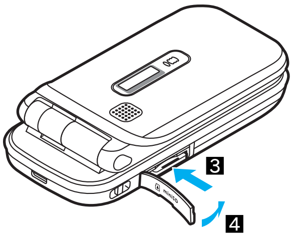


1 miniSDメモリーカードスロットのカバーを開く。（❶）

2 miniSDメモリーカードの矢印（▲）を上に向けてゆっくりと挿入する。（❷）

● miniSDメモリーカードが傾いたままで無理に押し込まないでください。miniSDメモリーカードスロットが破損することがあります。





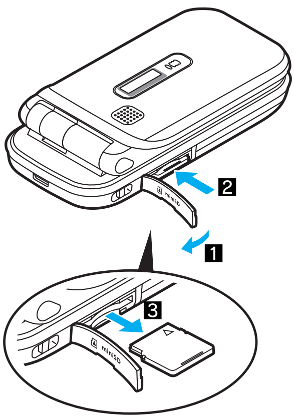
3 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり押し込む。（❸）

● 指で押し込んでください。

4 miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる。（❹）

miniSDメモリーカードを取り外す

FOMA端末の電源を切ってからminiSDメモリーカードを取り外してください。



1 miniSDメモリーカードスロットのカバーを開き（❶）、miniSDメモリーカードを軽く押し込む。（❷）

● 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。miniSDメモリーカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、FOMA端末やminiSDメモリーカードを破損させるおそれがあります。

2 miniSDメモリーカードを取り外す。（❸）

● ゆっくりまっすぐに取り外してください。取り外したあと、miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは ⓘ ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- miniSDメモリーカードスロットを顔の方に向けて、挿入したり、取り外したりしないでください。急に指を離すとminiSDメモリーカードが飛び出し危険です。
- miniSDメモリーカードを取り外すときは、必ずminiSDメモリーカードを軽く押し込み「カチッ」と鳴ったことを確認したあと、miniSDメモリーカードを引き抜いてください。無理に引き抜くと、FOMA端末やminiSDメモリーカードを破損させるおそれがあります。
- FOMA端末から取り外したときは、必ずminiSDメモリーカードに付属の専用保護ケースに収納してください。

miniSDメモリーカードの使用条件

FOMA端末（本体）のデータを、miniSDメモリーカードにコピーできます。
コピーには、1件コピー、全件コピー、選択コピーの方法があります。また、機能によっては、グループやフォルダなど分類内のデータをすべてコピーする方法もあります。

FOMA端末からminiSDメモリーカードにコピーできるデータ

機　能	件　数※1		1件／選択／全件コピー	フォルダ内全件コピー
	16Mバイト	32Mバイト		
電話帳※2	合わせて最大65535件		○	○
スケジュール※3※8			○	－
ToDoリスト※3			○	－
テキストメモ			○	－
ブックマーク			○	○（フォルダ情報はコピーされません。）
ｉモードメール／SMS※5※6			○	○
静止画※4※7	900フォルダ／1フォルダ最大400件（☞P.552）		○	○
動画※4	4095フォルダ／1フォルダ最大400件（☞P.552）		○	○
メロディ※4	999フォルダ／1フォルダ最大400件		○	○

※1 保存するデータの大きさや、miniSDメモリーカードの容量によっては、件数が少なくなる場合があります。
※2 メモリ番号、グループ番号、グループ名、シークレット設定、シークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ、指定メール着信ランプはコピーされません。電話帳で［画像転送設定］を［しない］に設定しているときは、ピクチャーコール設定もコピーされません。［画像転送設定］を［する］に設定しても、ファイル制限（FOMA端末外への出力制限）のあるデータはコピーされません。名前やフリガナ・電話番号・メールアドレスの登録場所が変わる場合があります。
※3 シークレット設定とアラーム時刻以外のアラーム情報はコピーされません。スケジュールでは、連絡先、画像設定の情報もコピーされません。
※4 ファイル制限（FOMA端末外への出力制限）のないデータのみコピーできます。
※5 miniSDメモリーカードにコピーしたメールは、返信したり、転送できますが、保護設定はできません。また、フォルダ情報はコピーされません。
※6 大容量添付ファイルが添付されているメールは、大容量添付ファイルが削除されてコピーされます。（大容量添付ファイルについては、P.266を参照してください。）
※7 Flash画像、フレームはminiSDメモリーカードにコピーされません。
※8 祝日設定はコピーされません。終了日時が入力されていないデータをコピーすると、終了日時に開始日時が設定されます。

お知らせ

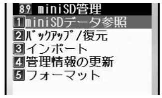
- FOMA端末で撮影した静止画または動画は、FOMA端末（本体）またはminiSDメモリーカードに保存できます。
- miniSDメモリーカードにデータをコピーすると、管理情報もminiSDメモリーカードに書き込まれます。
- パソコンからminiSDメモリーカードへ直接ファイルをコピーしても、FOMA端末では表示されないことがあります。その場合はデータリンクソフトをご利用ください。データリンクソフトのダウンロードについては、P.532を参照してください。

次ページへ続く

お知らせ

- PIMロック中、ロックされているデータは操作できません。ただし、データBOXでは端末暗証番号（4〜8桁の数字）を入力すると、PIMロックが一時的に解除され、操作できるようになります。

miniSD管理画面について



miniSD管理画面では、miniSDメモリーカード内のデータを参照したり、バックアップやフォーマットを行うなど、miniSDメモリーカード内のデータを管理・利用できます。

- miniSD管理画面は、詳細メニューから8[ツール]→9[miniSD管理]を押して表示します。
- miniSDメモリーカード内のフォルダやファイル名などの情報は、「管理情報」と呼ばれる部分で管理されています。パソコンなどでminiSDメモリーカードを利用（データ編集や追加、削除など）した場合は、miniSDメモリーカードの管理情報を更新する必要があります。（☞P.359）管理情報が正しくない状態では、データの編集、保存や移動、コピーなどができない場合がありますので、ご注意ください。

miniSDメモリーカードのフォルダ構成

- miniSD メモリーカード
  - BOOK ………… ブックリーダーフォルダ
  - DCIM ………… 静止画フォルダ
    - xxxSHARP ………… 撮影静止画用フォルダ
    - xxxSH_UF ………… ユーザ作成フォルダ
  - MISC ………… DPOF設定ファイル用フォルダ
  - PRIVATE
    - DOCOMO
      - RINGER ………… メロディファイル用フォルダ
      - STILL ………… その他画像ファイル用フォルダ
      - TABLE ………… 管理情報フォルダ※
    - SHARP
      - IMPORT ………… インポートフォルダ
      - VOICE ………… ボイスメモフォルダ・ｉモーション（音楽データ含む）
  - SD_PIM ………… PIMデータ用フォルダ（電話帳、スケジュール／ToDoリスト、メール、テキストメモ、ブックマーク）
  - SD_VIDEO ………… 動画フォルダ
    - PRLxxx ………… 撮影動画用フォルダ

※［TABLE］フォルダの下には［DCIM］、［RINGER］、［STILL］、［SD_VIDEO］それぞれについて、付加情報を格納するフォルダがあります。

- フォルダ名「PRLxxx」の「xxx」は、001〜999の3桁の半角数字になります。
- フォルダ名「xxxSHARP」「xxxSH_UF」の「xxx」は、100〜999の3桁の半角数字になります。000〜099に変更してもパソコン上では正常に認識されますが、パソコン上で000〜099に変更したフォルダはFOMA端末上では認識できません。
- GIFアニメーションファイルは［STILL］フォルダに入り、それ以外のGIFファイルは［DCIM］フォルダに入ります。
- パソコンでフォルダ名の変更や削除をすると、FOMA端末でminiSDメモリーカードのデータを正しく表示できなくなります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊メニューを切り替えるときは①［①基本メニューへ］または［①詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

FOMA端末からminiSDメモリーカードにコピーする

データの一覧画面や内容表示画面から、データをminiSDメモリーカードにコピーします。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(☞P.349)
- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。

例：電話帳の場合

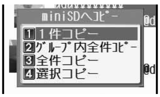
基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で⊙→[電話機能]→［電話帳を見る］の順に選ぶ。
- 待受画面でⓜを押しても同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で⊙→[Phonebook 電話帳]（電話帳）を選ぶ。
- 待受画面でⓜを押しても同じ操作が行えます。

2 名前にカーソルを合わせてⓜ→8［**miniSD**へコピー］を選ぶ。



- 電話帳の内容を確認してからコピーするときは、内容表示画面でⓜ→#［miniSDへ1件コピー］を押します。そのあと、［はい］を選んで⊙を押します。

3 コピー方法を選ぶ。

1件コピーする	1［1件コピー］→［はい］→⊙
グループ内全件コピーをする	2［グループ内全件コピー］→グループ→⊙→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→⊙→［はい］→⊙
全件コピーする	3［全件コピー］→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→⊙→［はい］→⊙
選択コピーする	4［選択コピー］→名前⇔⊙（くり返し可）→ⓘ［完了］→［はい］→⊙ ● 最大50件まで選択できます。

お知らせ

- 電話帳をコピーする場合、電話帳のグループ情報はコピーされません。
- データBOXの静止画、メロディ、動画／ｉモーションをminiSDメモリーカードにコピーする場合、コピー先のフォルダを選択できます。
- FOMA端末とminiSDメモリーカードの間で静止画、動画／ｉモーションをコピーすると、元の画像より画質が劣化したり、ファイルサイズが変わる場合があります。コピー先フォルダの静止画が400件を超えると新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに画像が保存されます。
- FOMA端末に保存してあるJPEG画像をminiSDメモリーカードにコピーすると、画像のファイルサイズが大きくなります。FOMA端末のメモリが少ないと、元の画像を削除しても、miniSDメモリーカードにコピーした画像をFOMA端末にコピーして戻せない場合があります。
- FOMA端末で撮影可能な画像サイズや、撮影可能なファイルサイズよりも大きい画像は、コピーできない場合があります。
- コピーした項目を再度コピーすると別のデータとして保存されます。
- miniSDメモリーカードのメモリ使用状況によっては、コピーできない場合があります。

FOMA端末（本体）のデータをバックアップする

FOMA端末の各機能（電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、ブックマーク、テキストメモ）のデータを、miniSDメモリーカードにバックアップデータとして機能ごとに1ファイルで保存できます。電話帳のバックアップ／復元では所有者情報も含んで転送されます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.349）

- バックアップできるデータの種類については、P.351を参照してください。ただし、データBOXの静止画や動画／iモーション、メロディはバックアップできません。
- 個人データのバックアップは、同機種間またはminiSDメモリーカード対応FOMA端末などでの情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的でご利用されることをおすすめします。
- 電池残量が少ない場合、バックアップできなかったり、正しくバックアップできないことがあります。充電しながら行うことをおすすめします。
- あらかじめ、日付・時刻を設定しておいてください。（☞P.52）
- PIMロック中は、バックアップできません。
- ダイヤル発信制限（☞P.165）中は、電話帳をバックアップできません。

FOMA端末→miniSDメモリーカードにバックアップする　◉8921

1 詳細メニュー：待受画面で◉→Tools（ツール）→［**miniSD**管理］→［バックアップ／復元］→［**miniSD**へバックアップ］の順に選んで、機能を選ぶ。

- 端末暗証番号入力画面が表示されます。
- ［メール］を選んだときは、メール内の分類が表示されます。バックアップするメールを選んで◉を押します。

2 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押し、［はい］を選ぶ。

- 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。
- バックアップが開始されます。
- バックアップが終了すると、［バックアップ完了しました］と表示されます。

お知らせ

- miniSDメモリーカードのメモリ使用状況によっては、転送できない場合もあります。
- バックアップされたデータは、他のFOMA端末で読み込んでも利用できないことがあります。
- 電話帳のシークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ、指定メール着信ランプはバックアップされません。名前やフリガナ・電話番号・メールアドレスの登録場所が変わる場合があります。
- 電話帳で［画像転送設定］を［する］に設定している場合、ピクチャーコールに設定した画像もバックアップされます。バックアップされる画像は、本FOMA端末でカメラ撮影した静止画、動画およびそれらを編集したものです。
- スケジュール・ToDoリストでは、アラーム時刻以外のアラーム情報はバックアップされません。スケジュールでは、連絡先、画像設定の情報もバックアップされません。
- ToDoリストをバックアップすると、シークレット登録したデータが通常のデータとして保存されますので、ご注意ください。
- メールでは、フォルダ情報はバックアップされません。
- FOMAカード内の電話帳・SMSはバックアップされません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

miniSDメモリーカード→FOMA端末にバックアップデータを読み込む

◉8 9 2 2

miniSDメモリーカードからFOMA端末にバックアップデータを読み込みます。

- FOMA端末内のデータを残したまま追加する方法と、FOMA端末内のデータを消去して書き込む方法があります。
- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→Tools（ツール）→［miniSD管理］→［バックアップ／復元］→［本体へ復元］の順に選んで、機能を選ぶ。

- 選んだ機能のバックアップデータが表示されます。該当するデータがないときは、［miniSDデータがありません］と表示されたあと、操作1の画面に戻ります。
- 本FOMA端末でバックアップしたデータ名には、バックアップした日付が付いています。
例：2005年９月16日８時52分の場合→［datagr050916_0852］
- ［メール］を選んだときは、メール内の分類が表示されます。◉を押すと、メールのバックアップリスト表示画面が表示されます。
- バックアップデータの内容を確認するときは、バックアップデータにカーソルを合わせて㋲→2［データ参照］を押します。
- バックアップデータの情報を確認するときは、バックアップデータにカーソルを合わせて㋲→3［情報表示］を押します。タイトル、ファイル形式、ファイル名、場所、ファイル制限、保存日時が表示されます。

2 バックアップデータを選んで、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押す。

- 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。
- 復元確認画面が表示されます。

3 ［追加］を選ぶ。

- バックアップデータの読み込みが開始されます。
- バックアップデータの読み込みが終了すると、［復元完了しました］と表示されます。
- FOMA端末のデータに上書きするときは、［上書き］を選んで◉を押してから、［はい］を選んで◉を押します。電話帳にバックアップデータを上書きする場合、所有者情報については、自局番号を除いて上書きされます。また、電話帳のグループ名も上書きされ、上書き対象でないグループ設定は初期化されますので、ご注意ください。

お知らせ

- メールとブックマークにはフォルダの情報が保存されていないため、受信メールは［受信トレイ］に、送信メールは［送信トレイ］に、ブックマークは［Bookmark］フォルダに保存されます。
- メールについては、転送に時間がかかる場合があります。

バックアップデータを削除する

◉8 9 2 2

1 詳細メニュー：待受画面で◉→Tools（ツール）→［miniSD管理］→［バックアップ／復元］→［本体へ復元］の順に選んで、機能を選ぶ。

2 データにカーソルを合わせて㋲→1［削除］を選んで、削除方法を選ぶ。

１件削除する	1［１件削除］→［はい］→◉
全件削除する	2［全件削除］→端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力→◉→［はい］→◉
選択削除する	3［選択削除］→データ⇔◉（くり返し可）→㋐［完了］→［はい］→◉ ● 最大50件まで選択できます。

miniSDメモリーカードのデータをプレビューする

miniSDメモリーカードにコピーしたデータは、各機能の画面またはminiSD管理画面から確認できます。miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(☞P.349)

各機能の画面から確認する

miniSDメモリーカード内のデータの確認は、各データの一覧画面から操作できます。

例：電話帳の場合

基本メニュー(☞**P.35**)

1 待受画面で◉→［電話機能］→［電話帳を見る］の順に選ぶ。

- 待受画面で⊡を押しても同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Phonebook 電話帳］(電話帳)を選ぶ。

- 待受画面で⊡を押しても同じ操作が行えます。

2 ⊡→［#マナー］［**miniSD**データ参照］を選ぶ。

- miniSDメモリーカード内のデータが表示されます。FOMA端末(本体)のデータと同様に確認できます。
- バックアップデータを選んで◉を押すと、miniSDメモリーカードにバックアップしたデータの内容を確認できます。
- 該当するデータがないときは、［miniSDデータがありません］と表示されたあと、元の画面に戻ります。

miniSD管理画面から確認する

◉891

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Tools ツール］(ツール)→［**miniSD**管理］→［**miniSD**データ参照］の順に選んで、機能を選ぶ。

- 選んだ機能内のデータがリスト形式で表示されます。該当するデータがないときは、［miniSDデータがありません］と表示されたあと、元の画面に戻ります。
- ［メール］を選んだときは、メール内の分類が表示されます。参照するメールを選んで◉を押します。
- データを削除するときは、⊡を押し、［削除］を選んで◉を押します。削除方法を選んで◉を押したあと、画面の指示に従って操作してください。(基本的な操作方法は、電話帳などと同様です。)
- FOMA端末(本体)へコピーするときは、⊡を押し、［本体へコピー］を選んで◉を押します。コピー方法を選んで◉を押したあと、画面の指示に従って操作してください。バックアップ／復元(☞P.354)で作成されたデータはコピーできません。
- データ情報を確認するときは、⊡を押し、［情報表示］を選んで◉を押します。

2 データを選ぶ。

- データが表示されます。
- データ表示中の操作については、各機能の説明ページを参照してください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.349)

＊メニューを切り替えるときは⊡［⊡基本メニューへ］または［⊡詳細メニューへ］を押します。(☞P.35)

miniSDメモリーカードからFOMA端末にコピーする

miniSDメモリーカードに保存されている各データを、FOMA端末（本体）にコピーできます。
１件コピー、全件コピー、選択コピーの方法があります。
miniSDメモリーカードからのコピーは、各データのリスト画面から操作します。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.349）

● 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。

例：電話帳の場合

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［電話機能］→［電話帳を見る］の順に選ぶ。

● 待受画面でⓜを押しても同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Phonebook 電話帳］（電話帳）を選ぶ。

● 待受画面でⓜを押しても同じ操作が行えます。

2 ⓜ→#［**miniSD**データ参照］を選ぶ。

● miniSDメモリーカード内のデータが表示されます。

3 データにカーソルを合わせてⓜ→2［本体へコピー］を選んで、コピー方法を選ぶ。

１件コピーする	1［１件コピー］→［はい］→◉
全件コピーする	2［全件コピー］→端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力→◉→［はい］→◉
選択コピーする	3［選択コピー］→名前⇔◉（くり返し可）→ⓘ［完了］→［はい］→◉ ● 最大50件まで選択できます。

● コピーが開始されます。

お知らせ

● miniSD管理画面でデータを確認中にコピーすることもできます。（☞P.356）
● miniSDメモリーカードにバックアップしたデータをコピーすることはできません。miniSDメモリーカードからの読み込み（☞P.355）を行ってください。

電話帳をコピーするとき

● 名前が未登録のデータがコピーされたときは［No Name］と表示されます。

ブックマークをコピーするとき

● ［同じURLは上書きされます　よろしいですか？］と表示されます。現在のデータに上書きするときは、［はい］を選択します。

miniSDメモリーカードの管理について

データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディの場合、miniSDメモリーカード内のデータを管理するために、フォルダの作成や削除、フォルダ名の編集を行うことができます。データの詳細情報を表示したり、静止画をプリント指定することもできます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.349）

- miniSDメモリーカード内には、１つのフォルダに最大400件までのファイルを保存できます。フォルダやデータについては、P.351～P.352を参照してください。

miniSDメモリーカードをフォーマットする<フォーマット>

フォーマット（初期化）されていないminiSDメモリーカードを使うときは、FOMA端末でフォーマットする必要があります。

- フォーマットすると、miniSDメモリーカード内のすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- パソコンなどでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしたminiSDメモリーカードを使用することをおすすめします。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（ツール）→［miniSD管理］→［フォーマット］の順に選ぶ。

- 端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押し、［はい］を選ぶ。

- 入力した端末暗証番号は、［*］で表示されます。
- フォーマットが開始されます。
- フォーマットが終了すると、［フォーマットしました］と表示されます。

お知らせ

- 実行中は、miniSDメモリーカードを抜かないでください。

データを管理する

削除について

miniSDメモリーカードのデータは、次の方法で削除できます。

１件削除	データを１件ずつ削除します。
全件削除	すべてのデータを削除します。
選択削除	複数のデータを選んでまとめて削除します。 ● 最大50件まで選択できます。

関連操作

miniSDメモリーカードのデータを削除する（例：電話帳）

1 待受画面で▶▶［miniSDデータ参照］
2 データ▶▶［削除］
3 ［１件削除］
- すべてのデータを削除するとき：［全件削除］▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉
- 複数のデータを選んでまとめて削除するとき：［選択削除］▶名前◉（くり返し）▶［完了］

4 ［はい］▶◉

データ表示／編集／管理

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
* メニューを切り替えるときは［基本メニューへ］または［詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

関連操作

miniSDメモリーカードにフォルダを作成する（例：マイピクチャ）

1 詳細メニューから7［データBOX］▶1［マイピクチャ］▶m▶#［本体⇔miniSD切替］▶m▶1［フォルダ新規作成］

2 カメラフォルダを作成するときは1［カメラフォルダ］
- ［その他静止画］フォルダを作成するとき：2［その他静止画］

3 フォルダ名を入力▶●

miniSDメモリーカードのデータをフォルダごと削除する（例：マイピクチャ）

1 詳細メニューから7［データBOX］▶1［マイピクチャ］▶m▶#［本体⇔miniSD切替］▶フォルダ▶m▶3［削除］

2 3［フォルダ1件削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶●
- フォルダ内のすべての画像を削除するとき：1［フォルダ内全件削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶●
- すべての画像を削除するとき：2［全件削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶●
- 複数のフォルダを選んでまとめて削除するとき：4［フォルダ選択削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶●▶フォルダ●（くり返し）▶i［完了］

3 ［はい］▶●
- 削除しないとき：［いいえ］▶●

miniSDメモリーカード内のデータの詳細情報を表示する（例：電話帳）

待受画面でm▶m▶#［miniSDデータ参照］▶データ▶m▶3［情報表示］
- 確認を終わるとき：●［確認］

お知らせ

削除について
- miniSD管理画面でデータを確認中に削除することもできます。（☞P.356）

フォルダ作成について
- miniSDメモリーカードの空き容量がない場合、miniSDメモリーカード内にフォルダを新規作成することはできません。
- フォルダ名は、最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

フォルダ削除について
- 作成したフォルダ内のデータを全件削除した場合は、フォルダも削除されます。

情報表示について
- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。
- miniSD管理画面でデータを確認中に情報表示することもできます。（☞P.356）

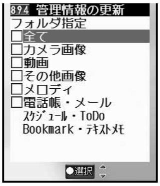
●894

miniSDメモリーカードの管理情報を更新する＜管理情報の更新＞

miniSDメモリーカードを他の機器で利用（データ編集や追加、削除など）した場合、miniSDメモリーカードの管理情報を更新する必要があります。
- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- miniSDメモリーカードの空き容量がないときは、管理情報を更新できない場合があります。
- FOMA端末で管理情報を更新しないと、miniSDメモリーカードが正しく動作しない場合があります。
- miniSDメモリーカード内のファイル数やデータ量によっては、管理情報の更新が完了するまで時間がかかることがあります。
- 他の機器で書き込んだデータを利用するときは、管理情報の更新が必要な場合があります。管理情報を更新すると、ファイル名の拡張子が小文字（.jpg）の場合は、大文字に変更されます。
- 管理情報の更新を行うと、Exif形式以外のデータのタイトル名は消去されますので、ご注意ください。ただし、オリジナルタイトルの付いたｉモーションとメロディのタイトル名は消去されません。

次ページへ続く▶▶

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Tools］（ツール）→［miniSD管理］→［管理情報の更新］の順に選ぶ。



2 項目を選ぶ。

- マークが［☑］に変わります。☑が選択、□が解除の状態です。◉を押すと交互に切り替えることができます。管理情報を更新する項目をすべて選択します。
- ［全て］を選択したときは、［はい］を選んで◉を押すと管理情報更新が開始されます。

3 ⓘ［完了］を押し、［はい］を選ぶ。

- 管理情報更新が開始されます。
- 管理情報の更新実行中に◉［中止］、またはクリアを押し、［3バックグランド処理］を選んで◉を押すと、管理情報を更新しながら、他の操作ができます。電源を押した場合は、自動的にバックグランド処理を行います。

お知らせ

- 更新中はminiSDメモリーカードを抜かないでください。
- 更新中に音声電話やテレビ電話を受けたり、メールを受けることもできますが、次の機能はご利用になれません。
  ｉモード、静止画・動画撮影、バーコードリーダー、メール閲覧、イメージビューア、ｉモーション再生、メロディ再生、電話帳・メール・スケジュール・ToDoリスト・テキストメモからのminiSDデータ参照、プリント指定（DPOF）、miniSDメモリーカードのメモリ確認、ブックリーダー、光るワンタッチキー登録時のBookmark参照

◉893

パソコンなどで作成したデータをFOMA端末で確認する<インポート>

パソコンなどで作成したデータ（電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモ、データBOXの静止画、動画／ｉモーション、メロディ）を、miniSDメモリーカードを経由して、FOMA端末で確認できます。

- あらかじめ、データリンクソフトを使って、パソコンなどからminiSDメモリーカードのインポートフォルダにデータをコピーしておいてください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Tools］（ツール）→［miniSD管理］→［インポート］の順に選ぶ。

- インポート画面が表示されます。

2 機能を選ぶ。

- 該当するデータがないときは、［miniSDデータがありません］と表示されたあと、操作1の画面に戻ります。
- 選んだ機能のデータ（ファイル名）が表示されます。
- データを削除するときは、ⓜ→1［削除］を押します。以降の操作は通常のデータの削除と同様です。
- FOMA端末（本体）へコピーするときは、ⓜ→2［本体へ1件コピー］を押します。以降の操作は通常のデータのコピーと同様です。漢字やひらがなのファイル名のファイルをコピーしたときは、FOMA端末で扱えるファイル名に変更されます。
- データ情報を確認するときは、ⓜ→3［情報表示］を押します。パソコンなどで作成したデータは、タイトル情報がない場合があります。

3 データを選ぶ。

- データが表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- メロディの場合、本体へのコピーは100Kバイト、miniSDメモリーカード上の再生は200Kバイトまで可能となります。静止画の場合、JPEG画像は800Kバイト、GIF画像は500Kバイト、動画の場合は500Kバイトまで再生およびコピーできます。
- バックアップデータをインポートフォルダに入れた場合、バックアップデータ内の最初の１件のみを表示します。
- 横1224×縦1632ドットを超える静止画（JPEG／GIF）は表示できない場合があります。大きな画像は、画像一覧用の画像を表示する場合もあります。
- 次の場合は、添付ファイルの一部または全部が削除されます。
  - FOMA端末で未対応のファイルが添付されているメール
  - 100Kバイトを超えるファイルが添付されているメール
  - 10000バイト以下の添付ファイルが合計11件以上添付されているメール
  - ｉモーションまたは10000バイトを超える静止画ファイルまたは10000バイトを超えるメロディ（SMF）ファイルが合計２件以上添付されているメール
  - ｉモーションまたは10000バイトを超える静止画ファイルまたは10000バイトを超えるメロディ（SMF）ファイルを除く添付ファイルの合計サイズがメール本文と合わせて10000バイトを超えるメール

データを管理する

データBOXには次のフォルダがあります。

データBOX
- マイピクチャ ………… 撮影した静止画やダウンロードした画像が保存されます。（☞P.318）
- ｉモーション ………… FOMA端末で撮影した動画やボイスレコーダーで録音した音声、取得したｉモーションが保存されます。（☞P.333）
- メロディ ……………… メロディが保存されます。（☞P.346）
- プリント指定（DPOF）… miniSDメモリーカードに保存された静止画のプリント指定の枚数などが、miniSDメモリーカードに保存されます。（☞P.376）

フォルダを作成・編集・削除する

データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディにそれぞれ最大20個のフォルダを作成して、データを管理できます。
- フォルダに保存されているデータを表示するときに、端末暗証番号の入力が必要になるよう設定することもできます。

削除について

フォルダは次のいずれかの方法で削除できます。

全件削除	すべてのフォルダを削除します。
フォルダ１件削除	フォルダを１件ずつ削除します。
フォルダ選択削除	複数のフォルダを選んでまとめて削除します。

- ご自分で作成したフォルダ以外は削除できません。
- フォルダ内に保存されているデータごと削除されます。
- フォルダ内に保護されているデータが保存されているときは、フォルダ削除できません。保護を解除して、やり直してください。

マイピクチャを例に説明します。

関連操作

データBOXをPIMロックする＜セキュリティ設定＞
詳細メニューから7［データBOX］▶✉（１秒以上）▶端末暗証番号（４〜８桁の数字）を入力▶◉▶1［ON］

フォルダを作成する＜フォルダ新規作成＞
詳細メニューから7［データBOX］▶1［マイピクチャ］▶▣▶1［フォルダ新規作成］▶フォルダ名を入力▶◉

次ページへ続く

関 連 操 作

フォルダセキュリティを設定する＜フォルダセキュリティ＞

1 詳細メニューから7［データBOX］▶1［マイピクチャ］▶フォルダ▶[メニュー]▶[メール]（1秒以上）

2 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶[決定]▶1［ON］

- 設定を解除するとき：端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶[決定]▶2［OFF］

フォルダ名を編集する＜フォルダ名編集＞

詳細メニューから7［データBOX］▶1［マイピクチャ］▶フォルダ▶[メニュー]▶2［フォルダ名編集］▶フォルダ名を編集▶[決定]

- フォルダ名を削除するとき：フォルダ名編集画面で[クリア]（1秒以上）

フォルダを削除する＜削除＞

1 詳細メニューから7［データBOX］▶1［マイピクチャ］▶フォルダ▶[メニュー]▶3［削除］

2 3［フォルダ1件削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶[決定]

- すべてのフォルダを削除するとき：2［全件削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶[決定]
- 複数のフォルダを選んでまとめて削除するとき：4［フォルダ選択削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶フォルダ[決定]（くり返し）▶[i]［完了］

3 ［はい］▶[決定]

お知らせ

フォルダ作成について

- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

フォルダセキュリティについて

- フォルダセキュリティを［ON］に設定すると、データ一覧を表示するときに端末暗証番号（4～8桁の数字）の入力が必要になります。
- フォルダセキュリティを［ON］に設定できるのは、作成したフォルダのみです。
- フォルダセキュリティは、FOMA端末（本体）のフォルダのみ設定できます。

フォルダ名編集について

- ご自分で作成したフォルダ以外は変更できません。

データを保護・削除・ソートする

データを保護したり、削除や並べ替えなどができます。

保護について

データを保護したり、保護されているデータの保護を解除できます。

- miniSDメモリーカード内のデータは保護できません。

削除について

データは次のいずれかの方法で削除できます。

1件削除	データを1件ずつ削除します。
フォルダ内全件削除	フォルダ内のすべてのデータを削除します。
全件削除	すべてのデータを削除します。
選択削除	複数のデータを選んでまとめて削除します。最大50件まで選択できます。

- 保護されたデータは、1件削除／選択削除以外では削除できません。

並べ替え（ソート）について

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

日付順（新→旧）	保存した日付の新しい順
日付順（旧→新）	保存した日付の古い順
タイトル名順	タイトルによって、半角数字→半角英大文字→半角英小文字→半角カタカナ→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字1→絵文字2の順
ファイル取得元順※	ファイルによって、カメラ撮影画像→ダウンロード（iモード／iモードメール）→miniSDメモリーカード／USB→テレビ電話→ブックリーダーから取得の順

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

＊ メニューを切り替えるときは[i]［[i]基本メニューへ］または［[i]詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

サイズ順（大→小）	サイズの大きい順
サイズ順（小→大）	サイズの小さい順

※ データの種類により取得元は異なります。
- お買い上げ時は、［日付順（新→旧）］に設定されています。
- プリインストールフォルダはソートできません。
- miniSDメモリーカード内では、ファイル取得元順にはソートできません。

ファイル制限設定について

静止画や動画のメール添付や、FOMA端末外への出力ができないように設定できます。
- FOMA端末で撮影したデータをファイル制限設定すると、お客様がｉモードメールに添付して送信することはできますが、受け取った相手がさらに他の方に送信したり、miniSDメモリーカードへの書き込みなど、外部への出力をすることはできなくなります。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータや、ｉモードメールに添付されているデータ、テレビ電話中に撮影した静止画メモのファイル制限設定を変更することはできません。データによっては変更できるものもあります。
- FOMA SH851iで撮影、または編集して作成したデータのみ設定を変更できます。
- FOMA SH851iで撮影した動画であっても、サイトやインターネットホームページから取得したｉモーションや、ｉモーションメールの本文中に表示されているURLから取得したｉモーションのファイル制限設定を変更することはできません。

詳細情報（情報表示）について

表示される情報は次のとおりです。

項　目	マイピクチャ	ｉモーション	メロディ	項　目	マイピクチャ	ｉモーション	メロディ
保存日時	○	○	○	デイリーアラーム設定※2	－	○	○
保存日時（Exif）（カメラ撮影画像のみ）	○	－	－	スライドショー設定	－	－	○
作成日時	－	○	○（MFiのみ）	作成者	－	○	－
表示サイズ※1※5（Flash画像を除く）	○	○	－	コピーライト	－	○	－
ファイルサイズ	○	○	○	説明	－	○	－
ファイルサイズ（映像部）（JPEG画像のみ）	○	－	－	ファイル名	○	○	○
ファイル形式（Flash画像を除く）	○	○	○	撮影日時（JPEG画像のみ）	○	－	－
ファイル制限［あり／なし］	○	○	○	オリジナルタイトル	－	○	○
保護設定［あり／なし］※2	○	○	○	再生制限（回数）［MobileMP4／MP4］※3	－	○	－
音色設定※2	－	○	○	再生制限（期限）［MobileMP4／MP4］※3	－	○	－
画面設定※2	○	○	－	再生制限（期間）［MobileMP4／MP4］※3	－	○	－
電話帳設定※2	○	○	○	音［AAC／AMR／G.726］※4	－	○	－
スケジュール／ToDo設定※2	○	○	○	取得元	○	○	○
テレビ電話設定※2	○	－	－	故障時退避可否［可／不可］※2※6	○	－	○
伝言メモ設定※2	○	－	－	着信音設定［可／不可、MobileMP4／MP4］	－	○	－
所有者情報設定※2	○	－	－	着信画面設定［可／不可］	－	○	－

次ページへ続く

※1 表示サイズは数値（ドット）で表示されます。
※2 miniSDメモリーカードの情報表示では、表示されません。
※3 再生制限がない場合は表示されません。
※4 音声のない動画／iモーションの場合は、表示されません。
※5 音声のみの動画／iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）の場合は、表示されません。
※6「可」になるのは、移行を許可されたダウンロードした静止画やメロディです。

マイピクチャを例に説明します。

関連操作

タイトルを変更する<タイトル編集>

1 詳細メニューから 7 [データBOX] ▶ 1 [マイピクチャ] ▶ フォルダ ▶ ◉ ▶ データ ▶ 📖 ▶ 1 [タイトル編集]

2 タイトルを編集 ▶ ◉

● タイトルを削除するとき：タイトル編集画面で クリア（1秒以上）

データを削除する<削除>

1 詳細メニューから 7 [データBOX] ▶ 1 [マイピクチャ] ▶ フォルダ ▶ ◉ ▶ データ ▶ 📖 ▶ 2 [削除]

● miniSDメモリーカード内のデータを削除するとき：フォルダ一覧画面で 📖 ▶ # [本体⇔miniSD切替] ▶ フォルダ ▶ ◉ ▶ データ ▶ 📖 ▶ 2 [削除]

2 1 [1件削除]

● フォルダ内のすべてのデータを削除するとき：2 [フォルダ内全件削除] ▶ 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力 ▶ ◉

● すべてのデータを削除するとき：3 [全件削除] ▶ 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力 ▶ ◉

● 複数のデータを選んでまとめて削除するとき：4 [選択削除] ▶ データ ◉（くり返し）▶ i [完了]

3 [はい] ▶ ◉

データを保護する<保護設定>

1 詳細メニューから 7 [データBOX] ▶ 1 [マイピクチャ] ▶ フォルダ ▶ ◉ ▶ データ ▶ 📖 ▶ 3 [保護設定]

2 1 [ON]

● 保護を解除するとき：2 [OFF]

データを別のフォルダに移動する<移動>

1 詳細メニューから 7 [データBOX] ▶ 1 [マイピクチャ] ▶ フォルダ ▶ ◉ ▶ データ ▶ 📖 ▶ 4 [移動]

2 1 [1件移動]

● フォルダ内のすべてのデータを移動するとき：2 [フォルダ内全件移動] ▶ 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力 ▶ ◉

● 複数のデータを選んで移動するとき：3 [選択移動] ▶ データ ◉（くり返し）▶ i [完了]

3 フォルダ ▶ ◉

ファイル名を変更する<ファイル名編集>

詳細メニューから 7 [データBOX] ▶ 1 [マイピクチャ] ▶ フォルダ ▶ ◉ ▶ データ ▶ 📖 ▶ 7 [ファイル名編集] ▶ ファイル名を編集 ▶ ◉

● ファイル名を削除するとき：ファイル名編集画面で クリア（1秒以上）

データを並べ替える<ソート>

詳細メニューから 7 [データBOX] ▶ 1 [マイピクチャ] ▶ フォルダ ▶ ◉ ▶ 📖 ▶ 9 [ソート] ▶ ソート方法 ▶ ◉

静止画や動画のFOMA端末外への出力を制限する<ファイル制限設定>

1 詳細メニューから 7 [データBOX] ▶ 1 [マイピクチャ] ▶ フォルダ ▶ ◉ ▶ データ ▶ 📖 ▶ [ファイル制限設定] ▶ ◉

2 2 [あり]

● 制限を解除するとき：1 [なし]

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊メニューを切り替えるときは i [i 基本メニューへ] または [i 詳細メニューへ] を押します。（☞P.35）

関 連 操 作

詳細情報を表示する<情報表示>

詳細メニューから 7 [データBOX] ▶ 1 [マイピクチャ] ▶ フォルダ ▶ ◉ ▶ データ ▶ ⊡ ▶ 8 [情報表示]

● 確認を終わるとき：◉ [確認]

お知らせ

タイトルの変更について

● タイトル名はデータ一覧などで表示される名前です。また、ファイル名はデータをｉモードメールに添付して送信するときに使用される名前です。
● 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。
● 各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字（半角14文字）までです。
● miniSDメモリーカードの［ミュージック・ボイス］フォルダ内のデータは、タイトル編集できません。

データの削除について

● マイピクチャの［プリインストール］フォルダ内のデータと、メロディの［プリインストール］フォルダ内のデータは削除できません。
● 保護設定したデータや、各種機能に設定しているデータを削除するときは、１件削除または選択削除を行います。

データの保護について

● miniSDメモリーカードに保存されているデータは、保護設定できません。
● 待受画面、発着信画面、メール送受信画面、ピクチャーコール、背景パターン、スケジュール、着信音、アラーム音、効果音に設定したデータは、自動的に保護設定されます。画面や音設定への設定を解除しても、保護設定は自動解除されません。

別のフォルダへの移動について

● 選択移動するときは、最大50件まで選択できます。
● miniSDメモリーカードのメモリの空き容量がない場合は、miniSDメモリーカード内で別のフォルダに移動することはできません。
● miniSDメモリーカードの場合、移動先フォルダ内の静止画や動画／ｉモーション、メロディのデータ数が400件を超えると、超えた分のデータは移動できません。
● miniSDメモリーカードの［ミュージック・ボイス］フォルダ内のデータは移動できません。

ファイル名の変更について

● ファイル名は、最大半角36文字まで入力できます。（半角文字以外は入力できません。）
● サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータや、ｉモードメールに添付されているデータで、ファイル制限が［あり］のデータや、テレビ電話中に撮影した静止画メモ、miniSDメモリーカードに保存されているデータのファイル名は編集できません。

◉ 3 1

メモリの使用状況を確認する<メモリ確認>

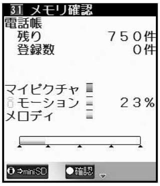
確認できる内容は次のとおりです。

項　目	内　容
電話帳、スケジュール、ToDo	残り件数・登録件数・シークレット件数
ブックマーク、テキストメモ	残り件数・登録件数
受信メール、送信メール、メッセージＲ、メッセージＦ、画面メモ	使用率（%）
SMS送信、SMS受信	登録件数／20件
データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ	合計の使用率（%）
miniSDメモリーカード	容量・使用容量・空き容量
FOMAカード	電話帳残り件数・登録件数・SMS使用率（%）

● シークレットデータの件数は、シークレットモードを［ON］に設定しているときのみ表示されます。（☞P.167）

次ページへ続く ▶▶

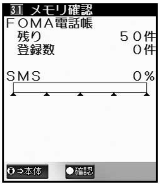
1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［一般設定］→［メモリ確認］の順に選ぶ。



本体



miniSD
メモリーカード



FOMAカード

- miniSDメモリーカードのメモリ使用状況を確認するときは、ⓘ［⇒miniSD］を押します。miniSDメモリーカード使用状況が表示されます。FOMAカードのメモリ使用状況を確認するときは、もう一度ⓘ［FOMAカード］を押します。
- 現在のメモリの使用状況が表示されます。
- 各画面のインジケータ、および目盛は目安です。
- 本体のメモリ確認中に、他の機能のメモリ使用状況を表示するときは、◇を押します。
- 確認を終了するときは、◉［確認］または(クリア)を押します。
- 電話帳の登録数はシークレットデータを含んで表示されます。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

メモリが足りなくなったり、保存件数をオーバーしたときは、データやファイルを保存できません。miniSDメモリーカードなどに保存したり、不要なファイルの削除をおすすめします。

- 保存件数を超えたときは、メモリに空きがあっても保存できません。不要なデータを削除してから保存してください。
- 画像やメロディなどは、保存の途中で不要なデータやファイルを削除して保存することもできます。
- FOMA端末（本体）のメモリが少なくなったときや、なくなったときは、待受画面に［M］［M］が表示されます。

M（黄色）	メモリの空き容量が800Kバイト未満になったときに表示されます。
M（赤色）	メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示されます。

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーとして使う

FOMA端末をボイスレコーダーとして利用できます。
ボイスレコーダーは、動画撮影機能を利用したもので、［音声のみ］（＝映像なし）の動画データとして保存されます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.349）

- 録音データは、データBOXのｉモーションの［カメラ撮影］フォルダに、ｉモーションと合わせて最大150件まで保存できます。（録音時間により保存件数は変わります。）
  - ■ 録音データは、miniSDメモリーカードの［ミュージック・ボイス］フォルダに、音声のみの動画データとして最大100件まで保存できます。（録音時間により保存件数は変わります。）
- 録音時間の目安は、FOMA端末（本体）に保存する場合、1件あたり最長約5分です。32M バイトの miniSDメモリーカードに保存する場合は、最長約5時間です。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

- 録音した音声は、ビデオプレーヤ（☞P.333）で再生できます。
- 録音したデータは、ファイル制限なしのファイルとして保存されます。
- 録音距離は、1.5m以内をおすすめします。
- お買い上げ時の保存先はFOMA端末（本体）のデータBOXのｉモーションの［カメラ撮影］フォルダに設定されています。
- レコーダー設定保持を［ON］に設定すると、カメラ（ボイスレコーダー）の設定を記憶しておくことができます。
- マルチメディアのPIMロック中は、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、PIMロックを一時解除して、ボイスレコーダーを起動します。

Ⓞ81

録音する

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面でⓄ→［簡易設定·便利機能］→［便利機能を使う］→［ボイスレコーダー］の順に選んで、Ⓞ［録音］を押す。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面でⓄ→［Tools ツール］（ツール）→［ボイスレコーダー］の順に選んで、Ⓞ［録音］を押す。

- 録音が開始されます。
- 録音を開始すると、シャッター音が鳴り、ピクチャーライトが自動的に点滅します。録音を終了するとシャッター音が鳴り、ピクチャーライトが自動的に消灯します。（録音中に消灯させることはできません。）

2 録音を止めるときはⓄ［停止］を押す。

- 保存画面が表示されます。
- 残時間表示が00:00:00になったとき（録音中にファイルサイズ制限に達したときや、miniSDメモリーカードの空き容量がなくなったとき）は、自動的に録音が停止します。

3 1［保存］を選ぶ。

- 録音した音声は、データBOXのｉモーションの［カメラ撮影］フォルダに保存されます。
- 録音した音声を再生するときは、2［再生］を押します。再生を一時停止するときはⓄ［一時停止］、停止するときはⓘ［停止］を押します。クリアを押すと、元の画面に戻ります。
- 録音した音声を添付したｉモードメールを作成するときは、ⓘ［メール］を押します。ｉモードメールの作成については、P.200を参照してください。
- 保存しないときは、3［取消］を押し、［はい］を選んでⓄを押します。
- 保存先フォルダ指定が設定されているときは、設定されているフォルダに保存されます。（☞P.197）
- FOMA端末（本体）に保存するときに、メモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます。（☞P.362）

お知らせ

- 録音中にFOMA端末を閉じても録音は継続され、サブディスプレイに［ボイス録音中］と表示されます。
- 録音中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、録音が自動的に停止し、電話に出ることができます。通話終了後、保存確認画面が表示されます。
- 録音した音声は、ビデオプレーヤで再生できます。ｉモーション画面で［カメラ撮影］（FOMA端末（本体）保存の場合）または［ミュージック・ボイス］（miniSDメモリーカード保存の場合）を選択します。（☞P.337）
- ファイルサイズ制限が［制限なし］のときは、ｉモードメールに添付できません。ただし、ファイルサイズが500Kバイト以内の場合は添付できます。

ボイスレコーダーの設定を変える

ボイスレコーダーでは次の設定ができます。詳しくは、動画撮影を参照してください。

データBOX表示		指定されている保存先フォルダのファイルを表示します。
セルフタイマー		［ON］に設定すると、録音するまでの時間を［2秒］［5秒］［10秒］から選択できます。（☞P.192）
ファイルサイズ制限		miniSDメモリーカードに保存するときは、［メール用（短）］［メール用（長）］［制限なし］のいずれかに設定できます。FOMA端末（本体）に保存するときは、［メール用（短）］［メール用（長）］のどちらかに設定できます。（☞P.192）
レコーダー設定	ノイズキャンセラ	音声のノイズを少なくするときに設定します。（お買い上げ時：［ON］）（☞P.195）
	本体保存先指定	FOMA端末（本体）に保存するときの、保存先フォルダを指定します。（☞P.197）
	レコーダー設定保持	［ON］に設定すると、カメラ（ボイスレコーダー）の設定を記憶しておくことができます。（お買い上げ時：［ON］）（☞P.199）
	点灯時間設定	バックライトの点灯時間を設定できます。（☞P.195）
本体⇔miniSD切替		保存先を切り替えることができます。（☞P.197）

関連操作

データBOXを表示する＜データBOX表示＞

詳細メニューから8［ツール］▶1［ボイスレコーダー］▶ⓜ▶2［データBOX表示］

セルフタイマーを設定する＜セルフタイマー＞

1 詳細メニューから8［ツール］▶1［ボイスレコーダー］▶ⓜ▶3［セルフタイマー］

2 1［ON］

- 時間を変更するとき：3［時間設定］▶時間▶◈
- 解除するとき：2［OFF］

ファイルサイズ制限を設定する＜ファイルサイズ制限＞

詳細メニューから8［ツール］▶1［ボイスレコーダー］▶ⓜ▶6［ファイルサイズ制限］▶ファイルサイズ▶◈

ノイズキャンセラを設定する＜ノイズキャンセラ＞

1 詳細メニューから8［ツール］▶1［ボイスレコーダー］▶ⓜ▶8［レコーダー設定］▶1［ノイズキャンセラ］

2 1［ON］

- 設定しないとき：2［OFF］

本体保存先を設定する＜本体保存先指定＞

詳細メニューから8［ツール］▶1［ボイスレコーダー］▶ⓜ▶8［レコーダー設定］▶2［本体保存先指定］▶フォルダ▶◈

レコーダー設定保持を設定する＜レコーダー設定保持＞

1 詳細メニューから8［ツール］▶1［ボイスレコーダー］▶ⓜ▶8［レコーダー設定］▶3［レコーダー設定保持］

2 1［ON］

- 設定しないとき：2［OFF］

点灯時間を設定する＜点灯時間設定＞

1 詳細メニューから8［ツール］▶1［ボイスレコーダー］▶ⓜ▶8［レコーダー設定］▶5［点灯時間設定］

2 2［常にON］

- 照明設定に従うとき：1［照明設定に従う］

保存先を切り替える＜本体⇔miniSD切替＞

詳細メニューから8［ツール］▶1［ボイスレコーダー］▶ⓜ▶#［本体⇔miniSD切替］

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

電子辞書やブックを表示する

miniSDメモリーカードに保存されている電子辞書／ブックを、FOMA端末で表示できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.349）

- 表示できるブック／辞書の種類（拡張子）：XMDF形式（.zbf）、TEXT形式（.zbk .txt .text）
- 閲覧するファイルはあらかじめminiSDメモリーカードのBOOKフォルダに置いてください。（☞P.352）
- お買い上げ時は、FOMA端末（本体）に「サポートブック（内蔵）」が内蔵されています。
- 操作の前にFOMA端末のminiSDメモリーカードスロットに、電子辞書やブックが入っているminiSDメモリーカードを挿入しておいてください。サポートブック（内蔵）をご利用になる場合、miniSDメモリーカードを挿入する必要はありません。
- ブック／辞書によっては、音声や画像が埋め込まれているデータがありますが、FOMA端末では音声をご利用になれません。画像によってもご利用になれない場合があります。

基本メニュー（☞**P.35**）

1 待受画面で◉→［簡易設定・便利機能］→［便利機能を使う］→［ブックリーダー］の順に選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［BookReader ブックリーダー］（ブックリーダー）または待受画面で◉→［Tools ツール］（ツール）→［**miniSD** 管理］→［**miniSD** データ参照］→［ブックリーダー］の順に選ぶ。

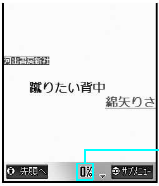


ブックリーダー一覧画面

- ブックリーダー一覧画面が表示されます。
- 前回の閲覧時に㊥または［クリア］を1秒以上押して終了した場合、終了時に表示されていたページが表示されます。

データ表示／編集／管理

2 ブック／辞書を選ぶ。



内容表示画面
（横書き画面）

現在のページが全体のおよそ何%の位置にあるかを示しています。



内容表示画面
（縦書き画面）

行を移動する	横書き画面	◇※
	縦書き画面	◇※
次のページを表示する	横書き画面	◇または（小）※
	縦書き画面	◇または（小）※
前のページを表示する	横書き画面	◇または（大）※
	縦書き画面	◇または（大）※
先頭のページを表示する		（i）［先頭へ］または（m）→4［先頭へ］
最後のページを表示する		（m）→5［最後へ］
ブックリーダー一覧に戻る		（クリア）または（m）→（*）［リストへ］

※ 押しつづけると行またはページを連続して移動します。

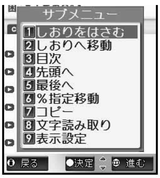
お知らせ

- 綿矢りさ著「蹴りたい背中」©ザウルスセレクト文庫／河出書房新社提供
- 画面は表示例です。

履歴を表示する

前に表示したページを、順に戻ったり進んだりできます。

- 履歴がないときは、［戻る］［進む］は表示されません。



表示したページを順に戻る	（i）［戻る］
表示したページを順に進む	（m）→（m）［進む］

お知らせ

- （電源）または（クリア）を１秒以上押してブックリーダーを終了したときは、次回ブックリーダーを起動すると、自動的に終了時のページが表示されます。ただし、挿入し直したminiSDメモリーカードに、終了時に閲覧していたファイルが入っていないときや、文字読み取りから起動したときは表示されません。また、待受画面からサポートブックを起動したときも表示されません。（その場合、次回ブックリーダーを起動したときは、サポートブックを起動する前に表示した終了時のページが表示されます。ブックを開いていなかった場合は、ブックリーダー一覧画面が表示されます。）アシスタントビューからサポートブックを起動したときも表示されません。
- ブック／辞書によってはパスワードの入力が必要な場合があります。パスワード（最大16桁）を入力して◉を押してください。
- データによっては、コンテンツ内の他のページに移動する情報が埋め込まれている場合があります。情報が埋め込まれている文字列や画像を選び◉を押すと、指定されているページに移動します。移動先のページで（i）［戻る］を押すと、元のページに戻ります。
- ファイル一覧に表示できるのは最大400件までです。

アシスタントビューを使う

- メール作成中などに（i）を１秒以上押すと、ブックリーダーを利用できます。（☞P.369）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは（i）［（i）基本メニューへ］または［（i）詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

関連操作

フォルダを切り替える<表示フォルダ切替>

ブックリーダー一覧画面（☞P.369）で ▶ 4 ［表示フォルダ切替］▶ フォルダ ▶

お知らせ

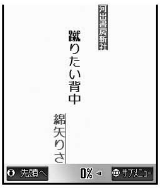
表示フォルダ切替について

- 携帯情報端末など、FOMA端末以外でXMDF形式のブックを利用していた場合、そのブックの入ったフォルダを表示できます。
- 利用されていた携帯情報端末によっては、フォルダを表示できない場合もあります。

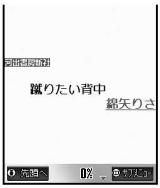
内容表示画面の操作方法

ブック／辞書の内容表示画面では次の機能を利用できます。

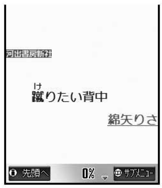
しおりをはさむ		表示中のページにしおりを設定します。１つのブック／辞書に最大２個（最大11冊）のしおりを設定できます。
しおりへ移動		以前に設定したしおりのページを表示します。
目次		目次に対応した書籍データの場合は、目次からページを表示できます。
先頭へ		先頭のページを表示します。
最後へ		最後のページを表示します。
%指定移動		文書全体のページ数に対するおおよその位置を%で指定して表示します。
コピー		ブック／辞書内の文字列をコピーします。他の画面などに貼り付けできます。一度にコピーできる文字数は最大全角・半角に関係なく20文字までです。
文字読み取り		文字読み取りモードになります。（☞P.375）
表示設定	文字サイズ設定	ブック／辞書の文字サイズを［大きい文字］［標準］［小さい文字］に設定できます。（お買い上げ時：大きい文字）
	縦横設定	画面の縦横表示を設定できます。（お買い上げ時：縦書き）
	ルビ表示	ルビ（ふりがな）を表示するかどうかを設定できます。（お買い上げ時：OFF）
情報表示		ブック／辞書の詳細情報が表示されます。（☞P.375）
リストへ		ブックリーダー一覧画面を表示します。



縦書き画面



横書き画面



ルビ表示［ON］

関連操作

しおりをはさむ<しおりをはさむ>

1 内容表示画面（☞P.370）で ▶ 1 ［しおりをはさむ］

2 1 ［しおり１］

- しおり２を設定するとき：2 ［しおり２］

しおりへ移動する<しおりへ移動>

内容表示画面（☞P.370）で ▶ 2 ［しおりへ移動］▶ しおり ▶

目次からページを表示する<目次>

内容表示画面（☞P.370）で ▶ 3 ［目次］▶ 項目 ▶

先頭のページを表示する<先頭へ>

内容表示画面（☞P.370）で ▶ 4 ［先頭へ］

最後のページを表示する<最後へ>

内容表示画面（☞P.370）で ▶ 5 ［最後へ］

次ページへ続く

関連操作

%指定でページを移動する<%指定移動>
内容表示画面（☞P.370）で▶6［%指定移動］▶移動先（２桁：00〜99%）を入力▶

文字をコピーする<コピー>
内容表示画面（☞P.370）で▶7［コピー］▶最初の文字▶［開始］▶最後の文字▶［コピー］

文字を読み取る<文字読み取り>
内容表示画面（☞P.370）で▶8［文字読み取り］▶文字読み取り▶▶［読取］▶単語選択▶

文字サイズを設定する<文字サイズ設定>
内容表示画面（☞P.370）で▶9［表示設定］▶1［文字サイズ設定］▶文字サイズ▶

縦書き／横書きを切り替える<縦横設定>
1 内容表示画面（☞P.370）で▶9［表示設定］▶2［縦横設定］
2 1［横書き］
- 縦書きに設定するとき：2［縦書き］

ルビ（ふりがな）を表示するかどうかを設定する<ルビ表示>
1 内容表示画面（☞P.370）で▶9［表示設定］▶3［ルビ表示］
2 1［ON］
- ルビ表示しないとき：2［OFF］

情報を表示する<情報表示>
内容表示画面（☞P.370）で▶0［情報表示］

ブックリーダー一覧画面を表示するとき<リストへ>
内容表示画面（☞P.370）でクリアまたは▶※［リストへ］

お知らせ

しおりについて
- 12冊目のしおりを設定すると、自動的に古いしおりから消去されます。
- ブックリーダーを終了すると、最後に表示していたページに［自動しおり１］が設定されます。次に同じブック／辞書を表示し、終了した場合は、最後に表示していたページが［自動しおり１］に設定され、前回の［自動しおり１］は［自動しおり２］に設定されます。（自動しおりも、１つのブック／辞書に最大２個（最大11冊）まで設定され、古いものから自動的に消去されます。）
- 電池パックを取り外したときは、［自動しおり］は設定されません。
- 待受画面でを１秒以上押してサポートブック（内蔵）を起動したときは、［自動しおり］を参照せずに常に先頭ページから表示されます。また、アシスタントビューからサポートブックを起動したときは、［自動しおり］を参照せずに起動元の機能に対応したページまたは先頭ページが表示されます。

コピーについて
- 電源を切ると、読み取った文字は破棄されます。
- コピーできない文字もあります。
- マスクが設定されている文字やルビ文字、外字などはコピーできません。

表示設定について
- データによっては、表示を切り替えることができないものや、表示の設定が指定されているブック／辞書もあります。
- サポートブック（内蔵）は縦書き／横書きの切り替えに対応していません。

ルビ表示について
- ルビが設定されていないブック／辞書では表示されません。

サポートブック（ヘルプ）を利用する

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で→［簡易設定・便利機能］→［便利機能を使う］→［ブックリーダー］→［サポートブック（内蔵）］の順に選ぶ。
- 待受画面でを１秒以上押しても同じ操作が行えます。

＊あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは［基本メニューへ］または［詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ （ブックリーダー）→［サポートブック（内蔵）］の順に選ぶ。

- 待受画面で◉を１秒以上押しても同じ操作が行えます。
- 音声電話の通話中やメール作成中などに◉を１秒以上押して、サポートブック（内蔵）を呼び出して利用することもできます。（☞P.40）
- サポートブック（内蔵）から対応する機能を起動することもできます。（☞P.41）

辞書で調べる

辞書もブックと同様の操作が可能です。辞書の検索例を説明します。

- 文字読み取りで読み取った文字を辞書で調べることもできます。（☞P.375）
- 操作の前に、電子辞書が入っているminiSDメモリーカードを挿入してください。

※ FOMA SH851iに辞書は内蔵されていません。別途お買い求めください。

1 ブックリーダー一覧画面（☞**P.369**）で、辞書を選ぶ。

文字読み取りで文字を読み取るとき

- ⓜ→8［文字読み取り］を押します。（☞P.204）

2 入力欄を選んで、用語を入力して◉を押す。

- 半角255文字まで入力できます。
- 検索結果が表示されます。
- 該当する文字列がない場合、［検索文字列は見つかりませんでした］と表示されます。

3 用語を選ぶ。

- 内容が表示されます。

ブック／辞書内の情報を利用する

ブック／辞書内から他のページへ移動したり、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用したり、動画の実行、静止画の保存、文字列のマスクなどの機能を利用することができます。（対応ページのみ）

- 操作の前に、電子辞書やブックが入っているminiSDメモリーカードを挿入してください。

Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する

ブック／辞書内で反転表示された文字情報（電話番号、メールアドレス、URLなど）やPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能が埋め込まれた画像を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、サイトやインターネットホームページを表示できます。（☞P.234）

1 ブックリーダー一覧画面（☞**P.369**）で、ブック／辞書を選ぶ。

- 内容表示画面が表示されます。

2 電話番号やメールアドレス・**URL**などを選ぶ。

- 確認画面が表示されます。
- 画像に設定されているときは、画像を選んで◉を押します。
- 画像に［マイピクチャ登録］が設定されているときは、◉→1［リンクへ移動］を押します。

次ページへ続く

3 ［はい］を選ぶ。

- Phone To（AV Phone To）機能が設定されているときは、テレビ電話の場合は、表示されている電話番号を確認し、ⓘ［テレビ電話］を押します。音声電話の場合は、表示されている電話番号を確認し、◎［音声電話］を押します。
- Mail To機能が設定されているときは、メールアドレスが入力されたメール作成画面が表示されます。
- Web To機能が設定されているときは、接続が開始され、サイトやホームページが表示されます。

お知らせ

- 電話番号やメールアドレス、URLが表示されていても、電話をかけたり、メッセージを送信したり、画面を表示できない場合もあります。

リンク先のページを表示する

文字列や画像に別のページのリンク情報が設定されているときは、そのページを表示できます。

1 「Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する」（☞P.373）の操作1の内容表示画面で、リンク情報が設定されている文字列や画像を選ぶ。

- リンク先のページが表示されます。

動画を再生する

画像に動画を実行する情報が設定されているときは、動画を再生できます。

1 「Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する」（☞P.373）の操作1の内容表示画面で、画像を選ぶ。

- 動画の再生が始まらないときは、◎→1［動画の実行］を押します。

関連操作

文字列や画像をマスクする<マスク>

「Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する」（☞P.373）の操作1の内容表示画面で文字列／画像▶◎

- マスクされた文字列／画像を表示するとき：文字列／画像▶◎
- 画像に［マイピクチャ登録］が設定されているとき：画像▶◎▶1［マスクの切替］

ブック／辞書内の画像を保存する

ブック／辞書に表示された静止画をマイピクチャ（☞P.318）に保存すると、待受画面などに設定できます。（☞P.135）

- PNG形式など、保存できない画像もあります。
- 保存した画像は、マイピクチャ内の［カメラ撮影］フォルダに保存されます。（☞P.183）
- 画像の保存件数は、最大520件までです。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。
- すべて著作権のある画像として保存されます。miniSDメモリーカードへの保存や、メールへの添付はできません。

1 「Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する」（☞P.373）の操作1の内容表示画面で、静止画を選ぶ。

- メニュー画面が表示されます。

2 ［マイピクチャ登録］を選ぶ。

- マイピクチャに保存されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

カメラで文字を読み取って検索する

電子辞書を表示中に、英単語をFOMA端末で撮影し、検索できます。
- 操作の前に、電子辞書が入っているminiSDメモリーカードを挿入してください。
- 詳しくは、P.203「文字を読み取る」を参照してください。

例：英和辞書の場合

1 **P.373**の「■辞書で調べる」の操作１の内容表示画面で(📖)→8［文字読み取り］を選ぶ。

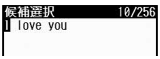


- カメラが起動し、文字読み取り画面が表示されます。

2 読み取る文字をディスプレイの中央に表示する。（☞**P.204**）

3 ◉を押し、画面をスクロールして、検索画面を表示する。
- 静止画として撮影され、読み取る内容が表示されます。
- 複数の行を撮影したときは、◇で読み取る行を指定します。（文字の読み取りは１行単位で行います。）

4 ◉［読取］を押す。



- 文字の読み取りが開始されます。
- 読み取りが完了すると、文字読み取りの候補選択画面になり、読み取った文字の内容が表示されます。

5 単語を選ぶ。
- 内容が表示されます。

ブック／辞書を管理する

ブック／辞書は削除したり、ファイル名を編集したり、詳細情報を表示できます。

■ ブック／辞書の削除について

ブック／辞書は、次の方法で削除できます。
- サポートブック（内蔵）は削除できません。

1件削除	ファイルを１件ずつ削除します。
フォルダ内全件削除	該当フォルダに表示されているすべてのファイルを削除します。
選択削除	複数のファイルを選んでまとめて削除します。最大50件まで選択できます。

■ 詳細情報について

表示される詳細情報は次のとおりです。
- XMDF形式（.zbf）は、ブックリーダー一覧画面ではタイトル、ファイル名、著者、出版社、ファイルサイズが、内容表示画面ではシリーズ、タイトル、サブタイトル、ファイル名、著者、出版社、要約、配布日時、ファイルサイズ、配布時の刻印情報が表示されます。（これらの項目でもブック／辞書に記録されていない情報は表示されません。）
- TEXT 形式（.zbk、.txt、.text）は、ブックリーダー一覧画面ではファイル名／ファイルサイズ以外の情報は常に空白表示されます。

次ページへ続く

関連操作

ブック／辞書を削除する<削除>

1 基本メニューから［簡易設定・便利機能］▶［便利機能を使う］▶［ブックリーダー］▶ブック／辞書▶ⓜ▶2［削除］
- 詳細メニューから9［ブックリーダー］▶ブック／辞書▶ⓜ▶2［削除］

2 1［1件削除］
- フォルダ内のすべてのブック／辞書を削除するとき：2［フォルダ内全件削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶⊙
- 複数のブック／辞書を選んでまとめて削除するとき：3［選択削除］▶ブック／辞書⊙（くり返し）▶ⓘ［完了］

3 ［はい］▶⊙

ファイル名を編集する<ファイル名編集>

基本メニューから［簡易設定・便利機能］▶［便利機能を使う］▶［ブックリーダー］▶ブック／辞書▶ⓜ▶1［ファイル名編集］▶ファイル名入力▶⊙
- 詳細メニューから9［ブックリーダー］▶ブック／辞書▶ⓜ▶1［ファイル名編集］▶ファイル名入力▶⊙

詳細情報を表示する<情報表示>

基本メニューから［簡易設定・便利機能］▶［便利機能を使う］▶［ブックリーダー］▶ブック／辞書▶⊙▶ⓜ▶0［情報表示］
- 詳細メニューから9［ブックリーダー］▶ブック／辞書▶⊙▶ⓜ▶0［情報表示］
- ブックリーダー一覧画面から表示するとき：ⓜ▶3［情報表示］
- 確認を終わるとき：⊙［確認］

お知らせ

ファイル名編集について
- サポートブック（内蔵）のファイル名は変更できません。
- ファイル名は、全角109文字（半角218文字）まで入力できます。
- 半角8文字以内のファイルの名前および拡張子の英字は、半角小文字が半角大文字に変わる場合があります。

詳細情報について
- サポートブック（内蔵）の情報は表示できません。
- ファイル名は、拡張子もあわせて表示されます。

プリント指定（DPOF）

保存した画像を印刷する

DPOF（ディーポフ：「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。FOMA端末で撮影したminiSDメモリーカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントできます。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードした静止画はプリントできません。ただし、miniSDメモリーカードにコピーできるJPEG画像の場合は、プリントできます。
- プリント時の操作など、詳しくは、プリントする機器の取扱説明書を参照してください。
- DPOF対象となるフォルダ
  - ■ 撮影静止画用フォルダ／ユーザ作成フォルダ（☞P.352）
  - ■ 他の機器で作成したDCF準拠フォルダ（☞P.197）
- DPOF対象となるファイル
  - ■ 上記フォルダに保存されている静止画（DCF準拠JPEG）
- FOMA端末（本体）の静止画は指定できません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

miniSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する ＜プリント指定（DPOF）＞

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ DataBOX（データBOX）→［プリント指定（DPOF）］の順に選ぶ。

- プリント指定（DPOF）のフォルダ一覧画面が表示されます。
- すでに他の機器で設定したDPOFがあるときは、確認画面が表示されます。クリアするときは、［はい］を選んで◉を押します。クリアしないと、新たにDPOFを設定できません。

2 プリント内容を設定する。

静止画を選んでプリント枚数を設定する	フォルダ→◉→静止画→Ⓜ→1［個別枚数指定］→枚数（0～99）を入力→◉ ● 静止画を選んで、0～9でプリント枚数を入力することもできます。 ● 続けて他の静止画を指定できます。
すべての静止画を同じ枚数ずつプリントする	フォルダ→Ⓜ→1［枚数一括指定］→1［全ての画像］→枚数（0～99）を入力→◉
［640×480以上］の静止画を同じ枚数ずつプリントする	フォルダ→Ⓜ→1［枚数一括指定］→2［640×480以上］→枚数（0～99）を入力→◉
［1024×768以上］の静止画を同じ枚数ずつプリントする	フォルダ→Ⓜ→1［枚数一括指定］→3［1024×768以上］→枚数（0～99）を入力→◉
指定をすべて取り消す	フォルダ→Ⓜ→2［一括リセット］→［はい］→◉
日付を付ける	フォルダ→Ⓜ→3［日付付加指定］→1［ON］ ● 静止画のプロパティの日付が付けられます。
インデックスプリントを指定する	フォルダ→プリント枚数を設定→Ⓜ→4［インデックスプリント指定］→1［ON］ ● インデックスプリントとは、はがきやA4用紙などに縮小画像をファイル名付きで印刷する機能です。
プリント指定状況を確認する	フォルダ→Ⓜ→5［指定状況確認］ ● 枚数一括指定をしている場合、枚数は概算が表示されます。

3 ⓘ［完了］を押し、［はい］を選ぶ。

- プリント指定をやり直すときは、［いいえ］を選んで◉を押します。

4 ◉［確認］を押す。

お知らせ

- 他の機器でminiSDメモリーカードに保存したDCF準拠以外の静止画は、印刷指定できない場合があります。
- 枚数一括指定で［640×480以上］、［1024×768以上］からプリント枚数を指定した場合は［一括リセット］できません。

関連操作

静止画を並べ替える＜ソート＞
詳細メニューから7［データBOX］▶4［プリント指定（DPOF）］▶フォルダ▶◉▶Ⓜ▶2［ソート］▶ソート方法▶◉

静止画を全画面表示する＜全画面表示切替＞
詳細メニューから7［データBOX］▶4［プリント指定（DPOF）］▶フォルダ▶◉▶静止画▶Ⓜ▶3［全画面表示切替］

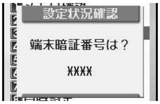
▶MEMO◀

その他の便利な機能

設定状況を確認する

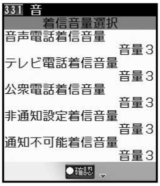
各種機能の設定状況を確認できます。
- 確認できる機能は次のとおりです。
  音、表示、一般設定、通話・通信設定、セキュリティ、ｉモード、メール・メッセージ

1 詳細メニュー：待受画面で◎→（設定）→［一般設定］→［設定状況確認］の順に選んで、端末暗証番号（４〜８桁の数字）を入力して◎を押す。



- 入力した端末暗証番号は、［X］で表示されます。

2 確認する機能を選ぶ。



［音］を選んだ場合

音	1［音］
表示	2［表示］
一般設定	3［一般設定］
通話・通信設定	4［通話・通信設定］
セキュリティ	5［セキュリティ］
ｉモード	6［ｉモード］
メール・メッセージ	7［メール・メッセージ］

- 設定状況が表示され、内容を確認できます。
- 確認を終了するときは、◎［確認］またはCLRを押します。

マルチアクセス

マルチアクセスについて

FOMA端末では音声電話と一部のパケット通信（ｉモードメールの受信およびパソコンをつないだデータ通信）の複数の通信を同時にご利用いただけます。これをマルチアクセスと呼びます。
- マルチアクセスとは別に、音声電話などの通信中にSMSを受信できます。
- 音声電話中に他のパケット通信（ｉモードおよびｉモードメール送信）はご利用できません。

マルチアクセスの主な組み合わせ

FOMA端末で同時に使用可能な通信機能の主な組み合わせは、P.529の「マルチアクセスの組み合わせについて」を参照してください。

マルチアクセスでできる主な操作

音声電話の通話中にｉモードメールやSMSを受信できます。さらに、アシスタントビュー（☞P.382）をご利用になると、音声電話をかけながら受信したメールを見ることなどもできます。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

通話中にｉモードメールやSMSを受信する

音声電話の通話中にｉモードメールやSMSを受信したり、テレビ電話中にSMSを受信したとき、通話中の画面のまま受信できます。音声電話の通話中にアシスタントビューを使うと、通話しながらｉモードメールやSMSを見ることもできます。

- テレビ電話中はｉモードメールを受信できません。ｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。

1 音声電話の通話中にｉモードメールや**SMS**を受信する。

- ディスプレイに［✉］または［SMS］が表示されます。
- このまま通話を続けて、通話終了後にｉモードメールやSMSを見ることもできます。

2 通話しながらｉモードメールや**SMS**を見るときは、(i)を１秒以上押す。



- アシスタントビューの使いかたについては、P.382～P.383を参照してください。
- 通話中画面に戻るときは、(i)を１秒以上押します。

3 ［メール］を選んで、［受信**BOX**］を選ぶ。

- 受信BOX一覧画面が表示されます。

4 フォルダを選んで、メールを選ぶ。

- 通話中画面に戻るときは、(i)を１秒以上押します。

ｉモード中に電話をかける

ｉモード中に通信を継続したまま、Phone To（AV Phone To）機能により音声電話をかけることができます。

1 サイトやインターネットホームページで表示されている電話番号を選ぶ。



2 ［はい］を選んで、(通話)または(決定)［音声電話］を押す。

- ｉモードに接続したまま、ダイヤルされます。
- テレビ電話をかけた場合は、ｉモード通信が終了します。

3 通話が終わったら、(電源)を押す。

- サイトやインターネットホームページの画面に戻ります。

アシスタントビューについて

音声電話の通話中や機能の操作中に別の機能のデータを確認する

音声電話中や機能の操作中に別の機能を起動して、データを確認したりコピーできます。音声電話中に予定や電話帳を確認したり、メール作成時に電話帳のメールアドレスや電話番号を利用するときなどに便利です。

- アシスタントビューで確認できる機能は、メール、電話帳、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモ、電卓、サポートブック（内蔵）、ブックリーダー、マネーカルクです。（起動中に使用していた機能によっては、一部の機能が確認できない場合もあります。）
  また、アシスタントビュー起動中に、さらにアシスタントビューを起動することはできません。
- アシスタントビューから別の機能を起動した場合は、起動元の機能に応じたアシスタントビューマークが点滅します。（☞P.32）
- 起動中の機能では、データの確認、項目（文字）のコピーを行うことができますが、編集、削除などはできません。また、データの確認の場合、メールの並べ替え、電話帳検索を行うことができます。
- ｉモード通信中（[↯]点滅）や音声伝言メモ録音中、テレビ電話の通話中、テレビ電話伝言メモ録音中、伝言メモ／音声メモ再生中などには、アシスタントビューを使用できません。
- 起動中にPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能は使用できません。

起動できる機能の組み合わせについて

先に起動している機能		メール	電話帳	スケジュール	ToDoリスト	テキストメモ	電　卓	サポートブック	ブックリーダー	マネーカルク
	音声電話の通話中	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	ｉモード中	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ｉモードメール／SMS	○※	○	○	○	○	○	○	○	○
	電話帳	○	−	○	○	○	○	○	○	○
	スケジュール	○	○	−	×	○	○	○	○	○
	ToDoリスト	○	○	×	−	○	○	○	○	○
	テキストメモ	○	○	○	○	−	○	○	○	○

○：起動できます。　×：起動できません。　−：同一機能のため起動できません。
※ チャットメール中は起動できません。

お知らせ

- バーコードリーダーや文字読み取りで読み取ったサイトやインターネットホームページのURLに直接接続すると、ｉモード中にアシスタントビューを起動できない場合があります。その場合は、読み取ったURLをいったんブックマークに登録し、ブックマークから接続してください。（☞P.226）

1 音声電話の通話中や機能の操作中に ⓘ を１秒以上押す。



- 起動できる機能が表示されます。（グレー表示されている機能は起動できません。）
- アシスタントビューが使用できないときは、ⓘを１秒以上押しても何も表示されません。
- 前回選択した機能にカーソルが表示されます。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

2 起動する機能を選ぶ。

- でカーソルを移動します。
- 1～9を押して選ぶこともできます。
- 選んだ機能が起動します。機能によっては操作内容が制限されます。
- 機能の操作については、各機能の説明ページを参照してください。
- 電話帳の項目をコピーするときは、電話帳内容表示画面で、コピーするデータを選んで→3［項目コピー］を押します。コピーした項目の貼り付けについては、P.498を参照してください。
- テキストメモの文字をコピーするときは、コピーするメモを選んでを２回押します。そのあとの操作については、P.497を参照してください。
  コピーした文字の貼り付けについては、P.498を参照してください。
- ｉモード中、電話帳、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモ起動中にアシスタントビューを使用しているときに電話がかかってきたときは、アシスタントビューが終了し着信画面が表示されます。通話を終了すると、アシスタントビューを起動する前の画面に戻ります。ｉモードメールやSMSが届いたときはアシスタントビューは終了せずに［］や［SMS］が表示され、起動中のアシスタントビューからメールを確認できます。

3 アシスタントビューを終了するときは、を１秒以上押す。

- 元の画面に戻ります。
- またはクリアを押しても終了できます。

自動電源ON　371

自動的に電源をONにする

お買い上げ時
OFF（解除）

指定した時刻になったら自動的にFOMA端末の電源を入れます。

- 自動電源ONを解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- あらかじめ、日時を設定しておいてください。（☞P.52）
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くや、航空機内、病院など使用を禁止された区域に入る場合は、あらかじめ自動電源ONを解除してから、FOMA端末の電源を切ってください。

1 詳細メニュー：待受画面で→（設定）→［一般設定］→［自動電源ON／OFF］→［自動電源ON］の順に選んで、1［ON］を選ぶ。

- 時刻入力画面が表示されます。

2 動作時刻（４桁）を入力してを押す。

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは、で移動できます。
- アラーム設定画面が表示されます。

3 アラーム音の音色を選ぶ。

アラームを鳴らす	1［ON］→→フォルダ→→アラーム音→［決定］→（上げる）／（下げる）→ ● ［PIN1コード入力がONのときにはPIN1コードが入力されるまでアラームは鳴動しません］と表示されます。 ● アラーム音を確認するときは、アラーム音を選んで［確認］を押します。停止するときは［停止］を押します。
アラームを鳴らさない	2［OFF］

その他の便利な機能

■ 指定した時刻になると

自動的に電源が入り、［自動電源ON時刻が過ぎました］と表示されます。

- 指定した時刻に電源が入っていたときも、同様に動作します。
- PIN1コード入力設定（☞P.156）を［ON］に設定しているときは、PIN1コード入力画面になり、PIN1コード入力後［自動電源ON時刻が過ぎました］と表示されます。
- アラームが鳴るように設定しているときは、約30秒間アラームが鳴ります。いずれかのボタンを押すと止まります。
- 通話中や着信時の場合は、通話終了後に待受画面に戻るとアラームが鳴ります。ただし、電話帳などの機能を利用していたときに着信があった場合は、通話終了後、電話帳を終了して待受画面に戻るとアラームが鳴ります。

お知らせ

- 自動電源ONとアラーム（アラームまたはスケジュールで設定しているアラーム）を同じ時刻に設定すると、自動電源ONが優先します。ボタンを押して自動電源ON通知画面を消すとアラームが動作します。
- 自動電源ONと自動電源OFFの時間を同時刻に設定した場合、FOMA端末の電源が切れているときは電源が入り、電源が入っているときは電源が切れます。
- アラーム（アラームまたはスケジュールで設定しているアラーム）時刻に電源が入っていない場合、アラームは動作しません。

自動電源OFF　⊙ 3 7 2

自動的に電源を**OFF**にする

お買い上げ時
OFF（解除）

指定した時刻になったら自動的にFOMA端末の電源を切ります。

- 自動電源OFFを解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- あらかじめ、日時を設定しておいてください。（☞P.52）

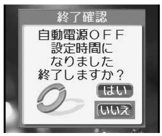
1 詳細メニュー：待受画面で⊙→［Settings 設定］（設定）→［一般設定］→［自動電源ON／OFF］→［自動電源OFF］の順に選んで、1［ON］を選ぶ。

- 時刻入力画面が表示されます。

2 動作時刻（４桁）を入力して⊙を押す。

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは、◇で移動できます。
- 自動電源OFF機能が設定されます。

■ 指定した時刻になると



指定した時刻に何かの操作をしていると（待受画面以外のとき：ｉモード／メール／アラーム（鳴動時）／電卓／タイマー／メロディプレーヤ／データBOXの連続再生・スライドショー・全画面表示など）、右の確認画面が表示されます。［はい］を選択するか、約１分間何も操作しないでそのままにしておくと、電源は切れます。［いいえ］を選択すると、操作を続けることができます。
（詳細メニューの一覧表示中は待受画面に戻ります。）

- 通話中のときは、通話終了後、待受画面に戻ると右の確認画面が表示されます。
- ソフトウェア更新中（☞P.543）は、ソフトウェア更新終了後、待受画面に戻ると上の確認画面が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときも、指定した時刻にサブディスプレイに［自動電源OFF ▶］と表示されます。大／小を押すとスクロール表示できます。

お知らせ

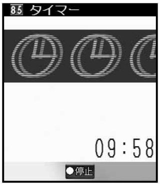
- 自動電源OFFとアラーム（アラームまたはスケジュールで設定しているアラーム）を同じ時刻に設定すると、自動電源OFFにより電源が切れ、アラームは動作しません。（ただし、同時刻内に手動で電源を入れた場合や確認画面が表示されたときに、［いいえ］を選択した場合は、待受画面に戻るとアラームが動作します。）
- 自動電源ONと自動電源OFFの時間を同時刻に設定した場合、FOMA端末の電源が切れているときは電源が入り、電源が入っているときは電源が切れます。

一定の時間が経過するとアラームで知らせる

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせできます。
- アラーム音は約15秒間鳴ります。▢～▢、▢以外のいずれかのボタンを押すと止まります。
- 着信バイブレータ（☞P.130）を設定していると、アラーム動作時にバイブレータも連動して動作します。

1 詳細メニュー：待受画面で◈→（ツール）→［タイマー］の順に選ぶ。
- 時刻入力画面が表示されます。

2 時間を入力して◈［開始］を押す。



9分58秒
➡［09:58］

- 左の2桁に分を、右の2桁に秒を入力します。
- 1秒～99分59秒の間で設定できます。
- タイマーが開始します。

タイマーを止める	◈［停止］ ● 再開するときは◈［開始］を押します。 ● ⓘ［リセット］を押すと、設定時間が［3分］に戻ります。
タイマーを解除する	☎

お知らせ

- タイマーでお知らせする音や鳴動時間（☞P.127）を変えたり、音量（☞P.130）を変えることもできます。
- タイマーを利用中にメール受信があった場合、タイマーは継続しますが、電話着信があった場合には、タイマーは終了します。
- タイマー動作中に電源を切った場合、タイマーは終了します。

関連操作

待受画面からタイマーを使う<タイマー>
待受画面で、時間（1～99分）を入力▶◈［クイック］▶4［タイマー］

指定した時刻にアラームで知らせる

指定した時刻・曜日に、アラーム音や動画／iモーションでお知らせします。
- あらかじめ、日時を設定しておいてください。（☞P.52）
- アラームは10件まで登録でき、解除するまでお知らせします。
- 着信バイブレータ（☞P.130）を設定していると、アラーム動作時にバイブレータも連動して動作します。

◈84

アラームを登録する

お買い上げ時
下記参照

アラームを登録します。
- 詳細メニューから登録する場合は、アラームが動作する曜日を設定できます。また、アラーム音量や音色を変えたり、メッセージや電話番号を表示するなど、アラーム動作時の状態を設定することもできます。（☞P.386～P.388）

お買い上げ時設定（アラーム音選択：着信音1　アラーム音量選択：音量3　スヌーズ設定：OFF　鳴動時間：15秒）

メッセージ	アラーム動作時にメッセージを表示できます。最大全角30文字（半角60文字）まで入力できます。
連絡先	アラーム動作時に電話番号を表示できます。アラーム動作時に簡単に電話をかけられます。（☞P.388）
アラーム音選択	アラーム音を変更できます。動画／iモーションも設定できます。
アラーム音量選択	アラーム音量を変えることができます。

次ページへ続く▶▶

スヌーズ設定	アラームが鳴る回数と間隔を設定できます。
鳴動時間	アラーム動作時にアラームが鳴っている時間を変更できます。

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［簡易設定･便利機能］→［アラームを設定する］の順に選び、登録番号を選ぶ。



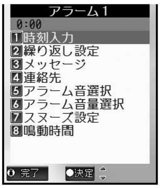
● 基本メニューから登録できるのは、アラーム時刻のみです。その他の項目は以下のように設定されます。

繰り返し設定：毎日　メッセージ：なし　連絡先：なし　アラーム音選択：着信音１
アラーム音量選択：音量３　スヌーズ設定：OFF　鳴動時間：60秒

2 動作時刻（４桁）を入力して◉を押す。

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは、◇で移動できます。
- アラームが設定されます。
- 登録を終わるときは◎を押します。（待受画面に［🔔］表示）

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Tools ツール］（ツール）→［アラーム］の順に選んで、登録番号を選ぶ。



アラーム登録画面

2 1［時刻入力］を選んで、動作時刻（４桁）を入力して◉を押す。

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは、◇で移動できます。

3 2［繰り返し設定］を選んで、くり返し方法を選ぶ。

アラームを１回だけ動作させる	1［１回だけ］ ● アラーム動作後、設定が自動的に解除されます。
動作させる曜日を指定する	2［曜日設定］→曜日⇔◉（くり返し可）→◎［完了］ ●［休日設定日を除く］にチェックを入れたときは、休日・祝日・祝日の振替休日にはアラームが動作しません。 ● 曜日指定を解除する場合は、曜日を選び◉［選択］を押します。
アラームを毎日動作させる	3［毎日］

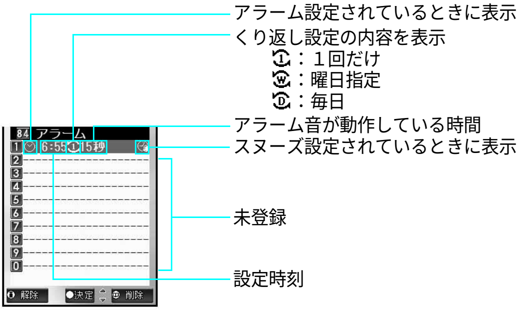
その他の便利な機能

＊メニューを切り替えるときは◎［◎基本メニューへ］または［◎詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

4 [完了]を押す。

● アラームが設定されます。

設定内容の見かた



アラーム一覧画面

● 登録を終わるときはを押します。（待受画面に［］表示）

お知らせ

● アラームとスケジュールアラームを同じ時刻に設定すると、アラーム→スケジュールアラームの順に動作します。
● 当日（時刻が過ぎている場合は翌日）、1回のみのアラームを簡単に設定することもできます。（クイックアラーム）
● GIF アニメーション、Flash画像を待受画面に設定した場合、［］はアニメーションが終了するまで表示されません。

関連操作

待受画面からアラームを設定する<クイックアラーム>

1 待受画面で時刻（例 午後２時５分：「1405」）を入力▶［クイック］▶3［クイックアラーム］
2 ［はい］▶

メッセージを表示する<メッセージ>

アラーム登録画面（☞P.386）で3［メッセージ］▶メッセージを入力▶

連絡先を表示する<連絡先>

1 アラーム登録画面（☞P.386）で4［連絡先］
2 1［電話帳検索］▶名前▶
  ● 直接入力するとき：2［直接入力］▶電話番号▶

アラーム音を変更する<アラーム音選択>

1 アラーム登録画面（☞P.386）で5［アラーム音選択］
2 1［メロディ］
  ● 動画／ｉモーションを設定するとき：2［ｉモーション］
  ● 設定しないとき：3［設定なし］
3 フォルダ▶▶アラーム音▶［決定］
  ● アラーム音を確認するとき：アラーム音▶［確認］（で停止）
  ● 動画／ｉモーションを確認するとき：動画／ｉモーション▶［確認］（で停止）

アラーム音量を変更する<アラーム音量選択>

1 アラーム登録画面（☞P.386）で6［アラーム音量選択］
2 （上げる）／（下げる）▶
  ● アラーム音を鳴らさないとき：［サイレント］▶

アラームの回数と間隔を設定する<スヌーズ設定>

1 アラーム登録画面（☞P.386）で7［スヌーズ設定］
2 1［ON］
  ● 解除するとき：2［OFF］
3 間隔（２桁：02〜15分）を入力▶▶回数（２〜６）を入力▶

次ページへ続く

関 連 操 作

鳴動時間を変更する<鳴動時間>
アラーム登録画面（☞P.386）で8［鳴動時間］▶鳴動時間（２桁：02〜99秒）を入力▶◉

お知らせ

待受画面からのアラーム設定について（クイックアラーム）
- 日時は当日（時刻が過ぎている場合は翌日）、分類は［分類なし］、内容は［クイックアラーム］としてスケジュールに登録されます。

連絡先の表示について
- ダイヤル発信制限（☞P.165）中は、連絡先を入力できません。
- 電話帳のPIMロック（☞P.163）中は、電話帳利用時に端末暗証番号（４〜８桁の数字）の入力が必要です。

アラーム音設定について
- 管理情報更新中はメロディ、動画／ｉモーションを設定できません。
- マルチメディアのPIMロック（☞P.163）中は、メロディまたは動画／ｉモーション利用時に端末暗証番号（４〜８桁の数字）の入力が必要です。

スヌーズ間隔について
- スヌーズ中に音声電話着信があった場合には、登録したアラームを鳴らす間隔の前でも通話終了後に鳴り、アラームが鳴り終わった時刻からの間隔で次のアラームが動作します。

アラーム設定時刻になると

1 アラーム音が鳴る。（［🔔］点滅）



- アラームのオプションで設定した、アラーム音の種類、音量、鳴動時間などに従って動作します。（登録しているメッセージ、連絡先の電話帳に登録されている静止画やｉモーションも表示されます。）
- 着信バイブレータ（☞P.130）を設定しているときは、アラーム音と同時にバイブレータも動作します。
- アラーム音量をステップトーン以外に設定しているときは、◇（上げる）／◇（下げる）を押して音量を調節できます。
- FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイに［アラーム鳴動中］と表示されます。

2 止めるときは、□〜□、□、◇、◇以外のいずれかのボタンを押す。

表示を消す	電源
電話をかける（連絡先登録時）	◉［電話］→電話をかける（☞P.115）

- スヌーズを設定しているときは、電源以外のボタンでアラーム音を止めると、あらかじめ指定した間隔で複数回アラームが鳴ります。電源でアラーム音を止めたときは、以降その時刻に対するスヌーズは動作しません。
- FOMA端末を閉じているときは、大／小を押します。サブディスプレイに［アラームあり］と表示され、大／小を１秒以上押すと待受画面に戻ります。

お知らせ
- アラーム時刻に電源が入っていない場合、アラームは動作しません。
- アラームの連絡先に設定した電話帳にピクチャーコールが設定されていた場合、アラーム時にその画像が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションをアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールに関係なくｉモーションの画像が表示されます。
- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）をアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールの画像が表示されます。ピクチャーコールにｉモーションが登録されている場合は通常のアラーム画面が表示されます。
- 連絡先に登録した電話帳に、ピクチャーコールとグループピクチャーコールの両方が設定されている場合、電話帳に登録されているピクチャーコールが優先されます。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- データ送受信中にアラームまたはスケジュールアラームで設定した時刻になったときは、通信が終了し、待受画面に戻ると動作しますが、ソフトウェア更新操作中にアラームまたはスケジュールアラームで設定した時刻になったときは、ソフトウェア更新操作終了後でも動作しない場合があります。

操作２で何も操作しないで、アラーム鳴動時間が経過すると

- アラーム音が止まり、アラーム時間が過ぎたことを、ディスプレイの表示でお知らせします。（アラームの設定時間が表示されます。）

通話中にアラーム時刻になったとき

- 通話を終了し、待受画面に戻るとアラームが動作します。

マナーモード設定中にアラーム時刻になったとき

- アラーム音は鳴りません。バイブレータは動作します。バイブレータ設定（☞P.130）を［OFF］に設定していても、バイブレータは［パターン１］で振動します。

ドライブモード設定中にアラーム時刻になったとき

- アラーム音は鳴りません。ピクチャーライト、バイブレータも動作しません。

アラームを解除／削除／再設定する

アラームは、１件ごとに設定（再設定）／解除／削除できます。削除すると登録内容が消えますが、解除しても登録内容は消えません。再設定を行うことで、再び同じ内容でアラームを動作させることができます。

基本メニュー（☞**P.35**）

1 待受画面で◉→［簡易設定·便利機能］→［アラームを設定する］の順に選び、登録番号を選んで解除する。

＊あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Tools ツール］（ツール）→［アラーム］の順に選んで、登録番号を選んで解除する。



解除する	［解除］ ● 解除するときは［⊘］が表示されている番号を選びます。解除すると［⊘］が消えます。
設定（再設定）する	［設定］ ● 再設定するときは［⊘］が表示されていない番号を選びます。設定すると［⊘］が表示され、待受画面に［🔔］が表示されます。
削除する	［削除］→［はい］→◉ ● 設定されていた内容が削除され、アラーム一覧画面に［---------］が表示されます。

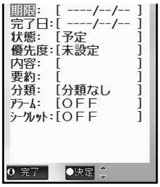
ToDoリストを登録する

行動予定の期限、内容などを登録して行動予定を管理できます。優先度を設定したり、行動予定の期限前にアラームでお知らせすることもできます。また、行動予定をシークレット登録すると、端末暗証番号（☞P.154）を入力してシークレットモードを［ON］に設定しない限り、読み出すことができなくなります。他の人に見られたくない行動予定を守ることができます。

- あらかじめ、日時を設定しておいてください。（☞P.52）
- ToDoリストは最大100件まで登録できます。
- 2000年1月1日～2099年12月31日まで登録できます。

ここでは、行動予定の期限と内容、分類などを登録する手順を例に、基本的な行動予定の登録方法を説明します。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（ツール）→［**ToDo**リスト］の順に選んで、Ⓜ→1［新規作成］を選ぶ。



行動予定登録画面

2 ［期限］を選んで、期限（時刻）を入力して◉を押す。

- 完了日を設定するときは、［完了日］を選んで◉を押し、完了日（時刻）を入力して◉を押します。
- 状態を設定するときは、［状態］を選んで◉を押し、状態を選んで◉を押します。
- 優先度を設定するときは、［優先度］を選んで◉を押し、優先度を選んで◉を押します。

3 ［内容］を選んで、内容を入力して◉を押す。

- 内容は最大全角100文字（半角200文字）まで入力できます。
- 行動予定リスト画面では、要約が登録されているときは要約の先頭全角9文字分（半角18文字分）が表示され、要約が登録されていないときには内容の先頭全角9文字分（半角18文字分）が表示されます。
- 要約を入力するときはこのあと、［要約］を選んで◉を押し、要約を入力して◉を押します。最大全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

4 ［分類］を選んで、分類のアイコンを選ぶ。



- 分類の種類については、P.397を参照してください。
- 分類が決定されると、次回分類を選ぶときに、前回選択した分類が一番上に表示されます。

5 ⓘ［完了］を押し、［はい］を選ぶ。

- 行動予定の内容が入力されていない場合、ⓘを押しても完了することはできません。

お知らせ

- 通話中にアラーム時刻になったときは、通話を終了し待受画面に戻るとアラームが動作します。

miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末（本体）に登録したToDoリストをminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞P.353）、miniSDメモリーカード内のToDoリストを表示（☞P.356）できます。
- miniSDメモリーカードに保存されているToDoリストをFOMA端末（本体）にコピー（☞P.357）できます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

ToDoリストに登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカード（☞P.349）やデータリンクソフト（☞P.532）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

関連操作

行動予定の期限前にアラームで知らせる<アラーム設定>

1 行動予定登録画面（☞P.390）で［アラーム］▶◉
2 1［ON］
- 解除するとき：2［OFF］

3 1［アラーム時刻］▶時刻（期限の何分前）を入力▶◉
- アラームに連絡先を登録するとき：5［連絡先］▶入力方法▶◉▶連絡先▶◉

行動予定をシークレット登録する<シークレット>

1 行動予定登録画面（☞P.390）で［シークレット］▶◉
2 1［ON］
- 解除するとき：2［OFF］

お知らせ

アラーム設定について
- 連絡先を設定するとアラーム画面に表示され、簡単に電話をかけることができます。
- ダイヤル発信制限（☞P.165）中は連絡先を設定することはできません。

シークレットについて
- シークレットモードの設定方法については、P.167を参照してください。

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。アラームを止めるときは、□～□、□、◇、◇以外のいずれかのボタンを押します。（☞P.388）

- シークレット登録している行動予定の場合、アラームは動作しますが、電話番号やメッセージ、登録画像は表示されません。（シークレットモードを［ON］に設定（☞P.167）しているときは、表示されます。）
- ToDoのPIMロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- マナーモード設定中は、アラーム音が鳴りません。
- ドライブモード設定中に設定した時刻になったときは、アラーム音／バイブレータは鳴らず、ピクチャーライト／着信ランプも点滅しません。



通常の予定



シークレットデータ

お知らせ

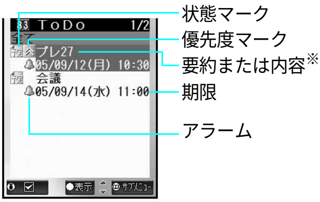
- アラームの連絡先に設定した電話帳にピクチャーコールが設定されていた場合、アラーム時にその画像が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションをアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールに関係なくｉモーションの画像が表示されます。
- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）をアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールが表示されます。ピクチャーコールにｉモーションが登録されている場合は通常のアラーム画面が表示されます。
- 通話中にアラーム時刻になったときは通話を終了し、待受画面に戻るとアラームが動作します。

ToDoリストを確認する

状態や分類を指定してToDoリストを表示したり、完了したToDoリストをチェックできます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Tools ツール］（ツール）→［ToDoリスト］を選ぶ。

● miniSDメモリーカード内の予定を確認するときは、行動予定リスト画面で、ⓜ→# ［miniSDデータ参照］を押します。

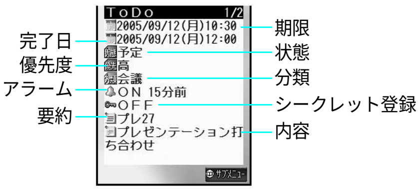


行動予定リスト画面

※ 要約が登録されているときは、要約の先頭全角９文字分（半角18文字分）が表示されます。
　要約が登録されていないときは、内容の先頭全角９文字分（半角18文字分）が表示されます。

2 行動予定を選ぶ。

内容をコピーする	ⓜ→2［コピー］
確認を終了する	電源



行動予定内容画面

お知らせ

● 音声電話の通話中やメール作成中などにⓘを１秒以上押すと、ToDoリストを呼び出して行動予定を確認できます。（☞P.382）

関連操作

状態を切り替える＜状態切替＞

詳細メニューから8［ツール］▶3［ToDoリスト］▶行動予定▶ⓜ▶3［状態切替］▶項目▶◉

状態別／分類別に表示する＜状態別表示／分類別表示＞

1 詳細メニューから8［ツール］▶3［ToDoリスト］
2 ⓜ▶4［状態別表示］
　● 分類別表示をするとき：ⓜ▶5［分類別表示］
3 項目▶◉

完了したToDoリストをチェックする

詳細メニューから8［ツール］▶3［ToDoリスト］▶行動予定▶ⓘ［☑］

● 未チェック（［予定］）に戻すとき：すでに［完了］が表示されている行動予定を選んでⓘ［☑］

ToDoリストのPIMロックを設定する＜セキュリティ設定＞

詳細メニューから8［ツール］▶3［ToDoリスト］▶ⓜ▶*（１秒以上）▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉▶1［ON］

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

関連操作

お知らせ

ToDoリストのチェックについて
- チェックすると、完了日時が自動的に登録されます。

8 3

ToDoリストを修正する＜編集＞

1 詳細メニュー：待受画面で◉→Tools（ツール）→［ToDoリスト］の順に選んで、行動予定にカーソルを合わせて㊂→2［編集］を選ぶ。
- 行動予定登録画面が表示されます。

2 行動予定を修正する。
- 修正方法は、登録時の操作と同様です。（☞P.390）
- 完了日を設定するときは、行動予定登録画面で［完了日］を選んで◉を押します。行動予定の完了日（時刻）を入力して、◉を押します。

3 修正が終わったら㊀［完了］を押し、登録方法を選ぶ。

新しい行動予定として登録する	1［新規登録］→［はい］→◉
行動予定を上書登録する	2［上書登録］→［はい］→◉

8 3

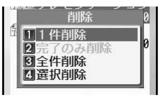
ToDoリストを削除する

行動予定は、次のいずれかの方法で削除できます。

1件削除	行動予定を1件ずつ削除します。
完了のみ削除	完了したすべての行動予定を削除します。
全件削除	すべての行動予定を削除します。
選択削除	複数の行動予定を選んでまとめて削除します。

※ 状態別表示や分類別表示のときは、完了のみ削除、全件削除を行うことはできません。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→Tools（ツール）→［ToDoリスト］の順に選んで、行動予定にカーソルを合わせて㊂→6［削除］を選ぶ。



- ［完了のみ削除］［全件削除］の場合は、削除したい行動予定を選択する必要はありません。

2 削除方法を選ぶ。
- 削除確認画面が表示されます。

行動予定を1件削除する	1［1件削除］→［はい］→◉
完了したすべての行動予定を削除する	2［完了のみ削除］→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→◉→［はい］→◉
すべての行動予定を削除する	3［全件削除］→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→◉→［はい］→◉
複数の行動予定を選んでまとめて削除する	4［選択削除］→行動予定⇔◉（くり返し可）→㊀［完了］→［はい］→◉ ● 最大50件まで選択できます。

スケジュールを管理する

予定の開始日時、終了日時、内容、連絡先（電話番号）などを登録して管理できます。開始時刻前にアラームでお知らせしたり、メッセージや電話番号、静止画を表示することもできます。また、連絡先でスケジュールを検索したり、電話帳を表示して電話をかけたり、メールを作成することもできます。
１ヶ月アイコン表示のカレンダーでは、簡単な操作で分類アイコンだけをスケジュールに登録できます。あとから内容を追加することもできます。（☞P.396）

- あらかじめ、日時を設定しておいてください。（☞P.52）
- スケジュールは最大300件まで登録できます。
- 2000年１月１日～2099年12月31日まで登録できます。

カレンダーを表示する<カレンダー>

カレンダーを表示できます。（☞P.136）スケジュール機能で登録した予定を確認することもできます。

- あらかじめ、日時を設定しておいてください。（☞P.52）
- お買い上げ時は、カレンダーには「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年法律第59号）」に基づいた祝日が15件登録されています。（2005年７月現在）祝日は赤色で表示されます。
- ご自分の休日など、新たな休日や祝日を登録し、カレンダーに表示することもできます。

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で ● → 簡易設定・便利機能 →［便利機能を使う］→［スケジュール］の順に選ぶ。

＊あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で ● → Tools（ツール）→［スケジュール］の順に選ぶ。



カレンダー画面

- 今月のカレンダーが表示されます。
- カレンダーを消すときは Ⓒ を押します。

指定した日付のカレンダーを表示する<日付指定>

1 カレンダー画面で Ⓜ →［日付指定］を選ぶ。



2 日付を入力して ● を押す。

- 指定した日付のカレンダーが表示されます。

関連操作

待受画面から日付を入力してカレンダーを表示する<スケジュール>

待受画面で日付入力 ▶ ●［クイック］▶ 2［スケジュール］

 ＊メニューを切り替えるときは Ⓜ［Ⓜ基本メニューへ］または［Ⓜ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

関連操作

お知らせ

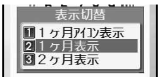
- 日付入力と表示されるカレンダーの対応は次のとおりです。

01～31	今月のカレンダー（1日～31日）
0101～1231	指定月日のカレンダー（1月1日～12月31日）
20000101～20991231	指定年月日のカレンダー（2000年1月1日～2099年12月31日）

カレンダー表示を切り替える<表示切替>

- カレンダーの表示を2ヶ月表示や1ヶ月アイコンなどに切り替えても、待受画面のカレンダー表示設定には反映されません。（設定したスケジュールや休日は反映されます。）待受画面のカレンダー表示設定については、P.136を参照してください。
- お買い上げ時は、［1ヶ月表示］に設定されています。

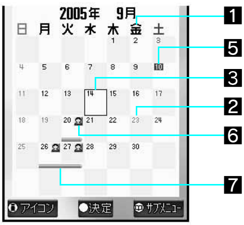
1 カレンダー画面（☞P.394）で(メニュー)→5［表示切替］を選んで、表示形式を選ぶ。



1ヶ月アイコン表示	1［1ヶ月アイコン表示］
1ヶ月表示	2［1ヶ月表示］
2ヶ月表示	3［2ヶ月表示］

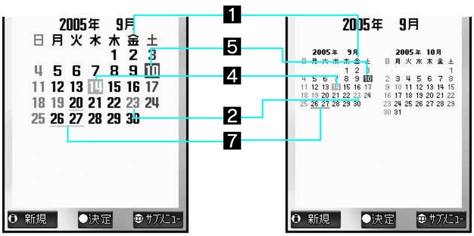
- カレンダー画面の表示が切り替わります。
- 予定の内容を表示するときは、予定を選んで◉を押します。（☞P.401）

カレンダー画面の見かた



1ヶ月アイコン表示

1 曜日色設定されている曜日（設定した色で表示）
2 休日設定されている日（赤色で表示）
3 選択している日（黒線枠で表示）
4 選択している日（緑色で表示）
5 本日（曜日の色で反転表示）
6 登録されている予定（分類別にアイコンで表示）
7 予定が登録されている日（アンダーライン表示）
- 2日以上の予定が登録されている日（アンダーライン表示）



1ヶ月表示　2ヶ月表示

スケジュールを登録する

ここでは、予定の日時と内容、分類、連絡先を登録する手順を例に、基本的な予定の登録方法を説明します。

- 開始日時と内容は必ず設定してください。
- 予定の開始時刻前にアラームを鳴らしたり、予定をシークレット登録することもできます。（☞P.398、P.399）

1 カレンダー画面（☞P.394）で、日にカーソルを合わせて(i)［新規］または(m)→1［新規作成］を選ぶ。



予定登録画面

- 1ヶ月アイコン表示の場合は、(m)→1［新規作成］を押します。

2 ［日時］を選ぶ。

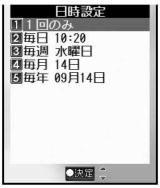


カレンダーでの
日付選択画面

- 日付をカレンダーから選ぶときは、続けて(m)［切替］を押します。

選択している日
(✥)で日にちを選択します。

3 予定の開始日を入力するか、カレンダーから選んで、時間を入力して(●)を押す。



- 時刻は24時間制で入力します。
- 終了日時を入力すると、操作4で［1回のみ］以外は選択できません。
- 終了日時をリセットするときは、(i)［リセット］を押します。

4 くり返し方法を選ぶ。

1回のみの予定を登録する	1［1回のみ］
毎日くり返す予定を登録する	2［毎日○：○］→くり返しの回数を入力（00～99）→(●)
毎週1回の予定を登録する	3［毎週○曜日］→くり返しの回数を入力（00～99）→(●)
毎月1回の予定を登録する	4［毎月○日］→くり返しの回数を入力（00～99）→(●)
毎年1回の予定を登録する	5［毎年○月○日］→くり返しの回数を入力（00～99）→(●)

- くり返しの回数に「00」を入力したときは、くり返し回数が制限なしの予定が登録されます。

5 ［要約］を選んで、要約を入力して(●)を押す。

- 最大全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは(i)［(i)基本メニューへ］または［(i)詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

6 ［分類］を選んで、分類アイコンを選ぶ。

分類の種類

アイコン	分　類	アイコン	分　類	アイコン	分　類	アイコン	分　類
	分類なし		会議		誕生日		買い物
	プライベート		食事		趣味		習い事
	休日		ドライブ		デート		出張
	旅行		スポーツ		カラオケ		鑑賞
	仕事		記念日		飲み会		病院

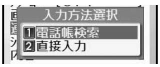
● 選択された分類名が表示されます。
● 分類が決定されると、次回分類を選ぶときに、前回選択した分類が一番上に表示されます。

7 ［画像］を選んで、画像を選ぶ。

静止画を設定する	1［マイピクチャ］→フォルダ→◉→静止画→◉［決定］
静止画を設定しない	2［設定なし］

● 動画／ｉモーションを選択することはできません。
● 選択された静止画のタイトル名が表示されます。
● 設定した画像は、予定リスト画面やスケジュール詳細画面で表示されます。

8 ［連絡先］を選んで、入力方法を選んで連絡先を設定する。



電話帳から選択する	1［電話帳検索］→電話番号→◉ ● 電話番号が登録されていない電話帳は、連絡先として選択できません。
直接入力する	2［直接入力］→電話番号を入力→◉

● 連絡先を設定すると、スケジュール詳細画面やアラーム画面に表示され、簡単に電話をかけることができます。
● ダイヤル発信制限（☞P.165）中は連絡先を設定することはできません。

9 ［内容］を選んで、内容を入力して◉を押す。

● 最大全角100文字（半角200文字）まで入力できます。

10 ◉［完了］を押し、［はい］を選ぶ。

お知らせ

画像設定について

● 管理情報更新中はマイピクチャを設定できません。

miniSDメモリーカードについて

● FOMA端末（本体）に登録したスケジュールをminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞P.353）、miniSDメモリーカード内のスケジュールを表示（☞P.356）できます。
● miniSDメモリーカードに保存されているスケジュールをFOMA端末（本体）にコピー（☞P.357）できます。

スケジュールに登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカード（☞P.349）やデータリンクソフト（☞P.532）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

次ページへ続く

関連操作

1ヶ月アイコン表示カレンダーから分類アイコンのみを登録する

カレンダー画面（☞P.394）でⓂ▶5［表示切替］▶1［1ヶ月アイコン表示］▶日▶ⓘ［アイコン］▶分類アイコン▶◉▶［はい］▶◉

お知らせ

スケジュールに登録される内容

日時	カーソル日＋操作した時間
要約	―
分類	選択したアイコンの分類
アラーム	OFF
画像	―
連絡先	―
シークレット	OFF
内容	［未入力］と入力されます。

アラームを設定する

お買い上げ時
下記参照

予定の開始時刻前にアラームでお知らせするように設定できます。アラーム動作時の状態を設定することもできます。

- アラーム起動時にスケジュールに登録された連絡先が表示されます。
- 着信バイブレータ（☞P.130）を設定していると、アラーム動作時にもバイブレータが連動して動作します。
- 同じ時刻に複数のスケジュールアラームを設定した場合、設定した回数、アラームが鳴ります。

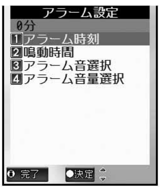
お買い上げ時設定（アラーム時刻：00分　鳴動時間：15秒　アラーム音選択：着信音1　アラーム音量選択：音量3）

アラーム時刻	予定の開始時刻の何分前にアラームを鳴らすか設定します。
鳴動時間	アラームが鳴っている時間を変更できます。
アラーム音選択	アラーム音を変更できます。
アラーム音量選択	アラーム音量を変更できます。

- 上記の設定は、予定登録画面（☞P.396「スケジュールを登録する」の操作1～2）から行います。

アラームを設定する

1 スケジュールの予定登録画面（☞**P.396**）で、［アラーム］を選んで、1［**ON**］を選ぶ。



アラーム設定画面

2 1［アラーム時刻］を選んで、アラームを鳴らす時刻（予定開始時刻の何分前）を入力して◉を押す。

- ⓘ［完了］を押すと、予定登録画面に戻ります。

関連操作

アラームが鳴っている時間を変更する<鳴動時間>

アラーム設定画面で2［鳴動時間］▶鳴動時間（2桁：02～99秒）▶◉

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

関連操作

アラーム音を変更する<アラーム音選択>

1 アラーム設定画面（☞P.398）で3［アラーム音選択］

2 1［メロディ］

- 動画／ｉモーションを設定するとき：2［ｉモーション］
- アラーム音を設定しないとき：3［設定なし］

3 フォルダ▶◉▶アラーム音▶◉［決定］

アラーム音量を変更する<アラーム音量選択>

アラーム設定画面（☞P.398）で4［アラーム音量選択］▶◇（上げる）／◇（下げる）▶◉

お知らせ

- 通話中にアラーム時刻になったときは、通話を終了し待受画面に戻るとアラームが動作します。
- GIFアニメーション、Flash画像を待受画面に設定した場合、［🔔］はアニメーションが終了するまで表示されません。

アラーム音設定について

- 管理情報更新中はメロディ、動画／ｉモーションを設定できません。

シークレット登録する

予定をシークレット登録すると、端末暗証番号（☞P.154）を入力してFOMA端末をシークレットモードを［ON］に設定しない限り、読み出すことができなくなります。他の人に見られたくない予定を守ることができます。

- シークレットモードの設定方法については、P.167を参照してください。
- シークレット登録を解除するときは、あらかじめシークレットモードを［ON］に設定（☞P.167）してから操作してください。

1 スケジュールの予定登録画面（☞**P.396**）で、［シークレット］を選んで、1［**ON**］を選ぶ。

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。アラームを止めるときは、□～□、□、◇、◇以外のいずれかのボタンを押します。（☞P.388）

- アラーム音量をステップトーン以外に設定しているときは、◇（上げる）／◇（下げる）を押して音量を調節できます。
- スケジュールに画像が設定されていたり、映像を含んだｉモーションをアラーム音に設定していたり、連絡先として登録した電話帳にピクチャーコール設定されている場合は、その画像が次の優先順位で表示されます。

	優先順位（高→低）
画像	アラーム音に設定したｉモーション→スケジュールの画像→電話帳のピクチャーコール設定→グループピクチャーコール設定→通常のアラーム画像

- シークレット登録している予定の場合、アラームは動作しますが、電話番号やメッセージ、登録画像は表示されません。（シークレットモードを［ON］に設定（☞P.167）しているときは、表示されます。）
- スケジュールのPIMロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- マナーモード設定中は、アラーム音が鳴りません。
- ドライブモード設定中に設定した時刻になったときは、アラーム音／バイブレータは鳴らず、ピクチャーライト／着信ランプも点滅しません。



通常のスケジュール



シークレットデータ

お知らせ

- 通話中にアラーム時刻になったときは通話を終了し、待受画面に戻るとアラームが動作します。

休日を登録する＜休日設定＞

特定の日を休日に設定したり、毎週決まった曜日を休日に設定できます。休日は最大100件まで設定できます。また、ご自分で設定した休日をすべて解除したり、過去の休日のみすべて（曜日指定で設定した休日を除く）解除できます。

● 全解除を行うと、曜日指定で設定した休日はお買い上げ時の設定（日曜日のみ休日）に戻ります。

1 カレンダー画面（☞P.394）で休日に設定する日（休日を解除する日）にカーソルを合わせてⓜ→6［休日設定］を選んで、休日の設定方法を選ぶ。

● 毎週同じ曜日を休日に設定したり、休日をすべて解除するときは、日を選ぶ必要はありません。

選択した日を休日に設定／解除する	1［当日設定／解除］ ● 休日に設定されている日を選んだときは、設定が解除されます。
毎週決まった曜日を休日にする	2［曜日指定設定］→曜日⇔⊙（くり返し可）→ⓘ［完了］

● 設定した休日は、赤色で表示されます。

関連操作

設定した休日をまとめて解除する＜全解除＞

1 カレンダー画面（☞P.394）でⓜ▶6［休日設定］

2 4［全解除］▶［はい］▶⊙

● 過去の休日をすべて解除するとき：3［過去全解除］▶［はい］▶⊙

お知らせ

● 曜日指定で設定した休日はお買い上げ時の設定（日曜日のみ休日）に戻ります。

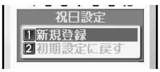
祝日を設定する＜祝日設定＞

お買い上げ時
国民の祝日（15件）

カレンダーに祝日を設定したり、初期設定に戻したりできます。

● あらかじめ登録されている国民の祝日の他に、最大20件まで設定できます。

1 カレンダー画面（☞P.394）で祝日に設定する日にカーソルを合わせてⓜ→7［祝日設定］を選ぶ。



2 1［新規登録］を選ぶ。

● 祝日設定画面が表示されます。

● 設定した祝日をすべて解除するときは、2［初期設定に戻す］を押し、［はい］を選んで⊙を押します。

3 祝日の設定方法を選ぶ。

「毎年○月○日」として設定する	1［毎年○月○日］
「毎年○月第○○曜日」として設定する	2［毎年○月第○○曜日］

● 内容入力画面が表示されます。

4 祝日名を入力して⊙を押す。

● 最大全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

● 設定した祝日内容を変更するときは、スケジュール詳細画面（☞P.402）でⓜ→1［編集］を押します。変更する日を入力して⊙を押し、操作3へ進みます。

● 「春分の日」、「秋分の日」はFOMA端末の計算によって設定されていますので、実際に発表される祝日と異なる可能性があります。

● 設定した祝日は、赤色で表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

曜日色を変更する＜曜日色設定＞

お買い上げ時
下記参照

カレンダー画面で表示される曜日の色を変更できます。
● 休日設定や祝日設定されている場合、曜日色設定を行っても、曜日の色は変更になりますが、日にち（数字）の色は赤色で表示されます。
お買い上げ時設定（日曜日：レッド（休日設定） 月曜日〜金曜日：ブラック 土曜日：ブルー）

1 カレンダー画面（☞P.394）で⊡→［曜日色設定］を選ぶ。



2 曜日を選んで色を選ぶ。
● 続けて他の曜日を設定できます。

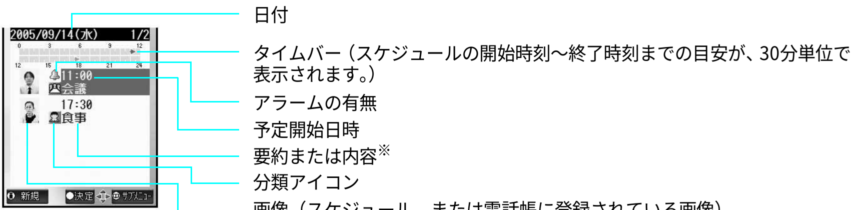
3 ⓘ［完了］を押す。
● 曜日の色が変更されます。

お知らせ
● 曜日色を変更すると、待受画面で表示されるカレンダーの曜日色も変更されます。時計表示設定を［ON］に設定している場合は、待受画面に表示された日時の曜日色も変更されます。（☞P.136）

スケジュールを確認する

登録されているスケジュールの内容を確認します。分類別、連絡先別に表示できます。電話番号やメールアドレスが登録されているときは、電話をかけたりｉモードメールを送信することもできます。スケジュールをコピーしたり、指定した日に保存した静止画やマネーカルクを参照することもできます。

1 カレンダー画面（☞P.394）で、日を選ぶ。
● 指定した日の予定がリストで４件まで表示されます。（予定リスト画面）
● ◇を押すと、前の日の予定一覧が表示されます。
● ◇を押すと、次の日の予定一覧が表示されます。
● シークレット登録した予定を確認するときは、シークレットモードを［ON］に設定（☞P.167）してください。
● miniSDメモリーカード内の予定を確認するときは、カレンダー画面または予定リスト画面で⊡→#［miniSDデータ参照］を押します。



予定リスト画面

※ 要約が登録されているときは、要約の先頭全角７文字分（半角14文字分）が表示されます。
要約が登録されていないときは、内容の先頭全角７文字分（半角14文字分）が表示されます。

その他の便利な機能

次ページへ続く

2 予定を選ぶ。



スケジュール
詳細画面

- 画像が登録されているとき、ⓘ［画像確認］を押すと、画像を確認できます。
- 連絡先が登録されていると、電話番号が表示され、電話をかけることができます。電話帳に登録されているときは名前が表示されます。◉［電話］を押すと電話帳内容表示画面になり、電話をかけたりメールを送信できます。（☞P.114）
- 確認を終わるときはCLRを押します。

お知らせ

- 音声電話の通話中やメール作成中などに ⓘ を１秒以上押すと、スケジュールを呼び出して予定を確認できます。（☞P.382）

関 連 操 作

分類別に表示する<分類別表示>

カレンダー画面（☞P.394）でⓂ▶3［分類別表示］▶分類▶◉

連絡先別に表示する<連絡先別表示>

カレンダー画面（☞P.394）でⓂ▶4［連絡先別表示］▶連絡先▶◉

すべてのスケジュールを確認する<スケジュール全件表示>

カレンダー画面（☞P.394）でⓂ▶2［スケジュール全件表示］

- 予定を確認するとき：予定▶◉
- miniSDメモリーカード内の予定を確認するとき：カレンダー画面でⓂ▶#［miniSDデータ参照］

スケジュールから電話をかける

スケジュール詳細画面で◉▶◉

- テレビ電話をかけるとき：◉▶ⓘ

スケジュールからｉモードメールを作成する

スケジュール詳細画面で◉［電話］▶アドレスを選択▶◉［メール］▶ｉモードメール作成

指定した日に保存された静止画を検索する<マイピクチャ検索>

カレンダー画面（☞P.394）で日付▶Ⓜ▶9［マイピクチャ検索］▶フォルダ▶◉▶静止画▶◉

指定した日のマネーカルクを確認する<マネーカルク参照>

カレンダー画面（☞P.394）で日付▶Ⓜ▶0［マネーカルク参照］

- コピーするとき：ⓘ［コピー］

スケジュールをコピーする<コピー>

スケジュール詳細画面でⓂ▶2［コピー］

- コピーしたスケジュールは、メール本文や電話帳などの文字入力画面で、貼り付けることができます。

スケジュールのPIMロックを設定する<セキュリティ設定>

カレンダー画面（☞P.394）でⓂ▶✉（１秒以上）▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉▶1［ON］

お知らせ

ｉモードメールの作成について

- 予定からｉモードメールを作成できるのは、電話帳にメールアドレスも登録されているときのみです。

マイピクチャ検索について

- 選んだフォルダに検索条件に合う静止画がないときは、［指定された日付の画像は存在しません］と表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

関連操作

お知らせ

マネーカルク参照について

- 指定した日にマネーカルクが作成されていないときは、[指定された日付のマネーカルクは存在しません] と表示されます。

スケジュールを修正する＜編集＞

1 カレンダー画面（☞**P.394**）で、日を選んで、予定にカーソルを合わせて Ⓜ→2 [編集] を選ぶ。



- シークレット登録している予定を選ぶときは、シークレットモードを［ON］に設定（☞P.167）してください。

2 予定を修正し、ⓘ [完了] を押して登録方法を選ぶ。

- 修正方法は、登録時の操作と同様です。（☞P.396）

新しい予定として登録する	1 [新規登録] → [はい] →◉
予定を上書登録する	2 [上書登録] → [はい] →◉

着信履歴、リダイヤルの連絡先を登録する

着信履歴やリダイヤルの電話番号をスケジュールの連絡先として登録できます。

1 着信履歴（☞**P.70**の操作１～２）またはリダイヤル（☞**P.59**の操作１～２）を選んで Ⓜ→✱ [スケジュール作成] を選ぶ。

- 予定登録画面が表示されます。

スケジュールに登録される内容

	着信履歴	リダイヤル
日時	着信日時	発信日時
要約	－	
分類	分類なし	
アラーム	OFF	
画像	－	
連絡先	電話番号	
シークレット	OFF	
内容	［未入力］と入力されます。	

2 スケジュールの内容を追加登録する。（☞**P.396**の操作２～**10**）

ｉモードメールの本文を登録する

受信／送信メールの本文をスケジュールの内容として登録できます。

- ｉモードメールに添付されたファイルは、スケジュールの内容として登録できません。

1 受信メールを表示（☞**P.280**の操作１～２）して㋱→［スケジュール作成］を選ぶ。

- 予定登録画面が表示されます。
- 送信メールのときは、送信メールを表示して㋱→0［スケジュール作成］を押します。

スケジュールに登録される内容

	受信メール	送信メール
日時	受信日時	送信日時
要約	－	
分類	分類なし	
アラーム	OFF	
画像	－	
連絡先	差出人の登録されている電話帳の１つ目の電話番号（電話帳に登録されていない場合、連絡先は登録されません。）	宛先の登録されている電話帳の１つ目の電話番号（電話帳に登録されていない場合、連絡先は登録されません。）
シークレット	OFF	
内容	メールの題名と本文（全角100文字（半角200文字）まで）	

2 スケジュールの内容を追加登録する。（☞**P.396**の操作２～**10**）

テキストメモの本文を登録する

テキストメモの本文をスケジュールの内容として登録できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→Tools（ツール）→［テキストメモ］の順に選んで、テキストメモにカーソルを合わせて㋱→4［スケジュール作成］を選ぶ。

- 予定登録画面が表示されます。

スケジュールに登録される内容

日時	----/--/--
要約	－
分類	テキストメモに登録されている分類
アラーム	OFF
画像	－
連絡先	－
シークレット	OFF
内容	テキストメモに登録されている本文

2 スケジュールの内容を追加登録する。（☞**P.396**の操作２～**10**）

その他の便利な機能

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは㋑［㋑基本メニューへ］または［㋑詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

■ マイピクチャの静止画を登録する

データBOXのマイピクチャの静止画を、スケジュールの静止画として登録できます。

● データBOXの動画／ｉモーションは、スケジュールの内容として登録できません。

1 静止画を選んで（☞**P.316**の操作１～３）m→7［画面設定］→3［スケジュール］の順に選ぶ。

● 予定登録画面が表示されます。

スケジュールに登録される内容

日時	静止画の保存日時
要約	－
分類	分類なし
アラーム	OFF
画像	静止画のタイトル名
連絡先	－
シークレット	OFF
内容	［未入力］と入力されます。

2 スケジュールの内容を追加登録する。（☞**P.396**の操作２～**10**）

お知らせ

● カメラ撮影後のプレビュー画面でm→1［画面設定］→3［スケジュール］を押すと、撮影した静止画をすぐに登録できます。なお、保存先をminiSDメモリーカードに設定しているときは、スケジュールに登録できません。保存先を本体に設定してから撮影してください。

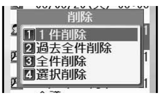
● miniSDメモリーカード内の静止画は、直接スケジュールに登録できません。FOMA端末（本体）にコピーしてから登録してください。

スケジュールを削除する＜スケジュール削除＞

予定は、次のいずれかの方法で削除できます。

１件削除	予定を１件ずつ削除します。
過去全件削除	指定した日の前日までのすべての予定を削除します。
全件削除	すべての予定を削除します。
選択削除	複数の予定を選んでまとめて削除します。

1 カレンダー画面（☞**P.394**）で、m→2［スケジュール全件表示］を選んで、予定にカーソルを合わせてm→6［削除］を選ぶ。



● １件削除や選択削除でシークレット登録している予定を選ぶときは、シークレットモードを［ON］に設定（☞P.167）してください。

● 選択削除の場合は、操作２で予定を選択します。

● 過去の予定をすべて削除するときは、削除を開始する予定を選択します。

2 削除方法を選ぶ。

予定を１件削除する	1［1件削除］→［はい］→●
過去のすべての予定を削除する	2［過去全件削除］→端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力→●→［はい］→●
すべての予定を削除する	3［全件削除］→端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力→●→［はい］→●
複数の予定を選択し、まとめて削除する	4［選択削除］→予定⇔●（くり返し可）→i［完了］→［はい］→● ● 最大50件まで選択できます。

次ページへ続く

関連操作

カレンダー画面から削除するとき

1 カレンダー画面（☞P.394）で☺▶8［削除］
2 1［過去全件削除］
- 全件削除するとき：2［全件削除］

3 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶［はい］▶◉

光るワンタッチキーを利用する

光るワンタッチキーに、よく使う電話番号やメールアドレス、サイトやインターネットホームページのURL、機能（ボイスレコーダー、スケジュール、電卓、マネーカルク、ブックリーダー）を登録しておくと、ワンタッチで簡単に操作することができます。

光るワンタッチキーを設定する<ワンタッチキー登録>

1 待受画面で、ディスプレイ下にある光るワンタッチキー［Ⅰ］～［Ⅲ］のいずれかを押す。



- ［ワンタッチキー○に登録がありません　新規登録します］と表示され、ワンタッチキー登録画面が表示されます。

2 ワンタッチキー登録の種類を選んで、登録する。

電話番号を登録する	電話帳から選ぶ	1［電話番号］→1［電話帳検索］→名前→◉
	電話番号を入力する	1［電話番号］→2［電話番号入力］→電話番号を入力→◉
メールアドレスを登録する	電話帳から選ぶ	2［メールアドレス］→1［電話帳検索］→名前→◉
	メールアドレスを入力する	2［メールアドレス］→2［メールアドレス入力］→メールアドレスを入力→◉
サイトやインターネットホームページのURLを登録する	ブックマークから選ぶ	3［Bookmark］→1［Bookmark参照］→ブックマーク→◉
	URLを入力する	3［Bookmark］→2［URL入力］→タイトルを入力→◉→URLを入力→◉
機能を登録する		4［便利機能］→機能→◉

- 入力した電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されていないときは、電話帳登録の確認画面が表示されます。登録するときは［はい］を選んで◉を押し、登録方法を選んで◉を押して、電話帳登録の操作を続けます。（☞P.103）電話帳のPIMロック中、確認画面は表示されません。

お知らせ

- 光るワンタッチキーには、別の光るワンタッチキーと同じ内容を登録することはできません。
- 電話番号を登録するとき、電話番号にポーズ［P］がある場合は、［Pの前の番号のみ登録します］と表示され、◉を押すと登録されます。電話番号の先頭に［P］がある場合は登録できません。
- 光るワンタッチキーに登録した相手から電話がかかってきた場合、対応するボタンが点滅します。点滅しているボタンを押して電話に出ることができます。
- URLは最大半角256文字まで入力できます。（「http://」などを含む。）

⊙ 3 9 1

光るワンタッチキーに登録した内容を変更する<ワンタッチキー設定>

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で⊙→［簡易設定·便利機能］→［ワンタッチキーを設定］→［ワンタッチキー設定］の順に選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で⊙→［Settings 設定］（設定）→［一般設定］→［ワンタッチキー設定］→［ワンタッチキー設定］の順に選ぶ。



● 待受画面で光るワンタッチキー□～□のいずれかを１秒以上押し、［ワンタッチキー設定］を選んでも表示できます。

2 変更する番号にカーソルを合わせて⊙を押す。

● ［既に登録済みです　ワンタッチキー○の登録を削除しますか？］と表示されます。

3 ［はい］を選ぶ。

● ワンタッチキー設定画面が表示されます。

4 登録する番号を選んで、ワンタッチキー登録の種類を選ぶ。

● 登録方法は「光るワンタッチキーを設定する<ワンタッチキー登録>」（☞P.406）の操作と同様です。

⊙ 3 9 2

登録した相手からの着信時に光るワンタッチキーが点滅してお知らせする<お知らせランプ設定>

お買い上げ時
ON

登録されている相手から電話がかかってきたときや未読メールがあるときに、光るワンタッチキーが点滅してお知らせするように設定できます。また、エニーキーアンサーが［OFF］の場合でも登録した相手から着信があった場合、光るワンタッチキーを押して電話を受けることができます。

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で⊙→［簡易設定·便利機能］→［ワンタッチキーを設定］→［お知らせランプ設定］の順に選ぶ。

● 待受画面で光るワンタッチキー□～□のいずれかを１秒以上押し、［お知らせランプ設定］を選んでも同じ操作が行えます。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → （設定）→［一般設定］→［ワンタッチキー設定］→［お知らせランプ設定］の順に選ぶ。

● 待受画面で光るワンタッチキー □～□のいずれかを１秒以上押し、［お知らせランプ設定］を選んでも同じ操作が行えます。

2 1［ON］を選ぶ。

お知らせ

● 光るワンタッチキーにBookmarkや便利機能を設定した場合は、ランプは点滅しません。
● 不在着信表示は、光るワンタッチキーを押しても消えません。不在着信を確認するか、クリアを１秒以上押すと、［着信あり］の表示が消えます。（☞P.76）

光るワンタッチキーから電話をかける

1 待受画面で、電話番号が登録されている光るワンタッチキー □～□のいずれかを押す。



2 電話をかける。

音声電話をかける	◉［音声電話］または手順１で押した□～□、📞
テレビ電話をかける	ⓘ［テレビ電話］

● 表示されている電話番号に発信します。

お知らせ

● 相手の電話番号が電話帳に登録されているときは、相手の名前と電話番号が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、電話番号のみ表示されます。ただし、電話帳のPIMロック中や、電話帳がシークレット登録（☞P.120）されている場合、名前は表示されません。シークレット登録した電話帳の名前を表示させるには、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定してください。

光るワンタッチキーからメールを送る

1 待受画面で、メールアドレスが登録されている光るワンタッチキー □～□のいずれかを押す。



● 宛先欄には、登録したメールアドレスが入力されています。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

● 詳しくは、P.264の操作２～４を参照してください。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

- 宛先のメールアドレスが電話帳に登録されているときは、相手の名前とメールアドレスが表示されます。電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスのみ表示されます。ただし、電話帳のPIMロック中や、電話帳がシークレット登録（☞P.120）されている場合、名前は表示されません。シークレット登録した電話帳の名前を表示させるには、シークレットモード（☞P.167）を［ON］に設定してください。
- メールのPIMロック中は、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力するとｉモードメールを作成できます。

光るワンタッチキーからｉモードを利用する

1 待受画面で、**URL**が登録されている光るワンタッチキー［I］～［III］のいずれかを押し、◉［接続］または待受画面で押した光るワンタッチキー［I］～［III］を押す。



- 接続が開始され、指定したインターネットホームページが表示されます。
- 以降は、ｉモードのインターネット接続と同様です。（☞P.212）

お知らせ

- ｉモードのPIMロック中は、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力するとサイトやインターネットホームページに接続できます。

光るワンタッチキーから様々な機能を利用する

- 光るワンタッチキーに登録できる便利機能は、ボイスレコーダー、スケジュール、電卓、マネーカルク、ブックリーダーになります。

1 待受画面で、便利機能が登録されている光るワンタッチキー［I］～［III］のいずれかを押す。

- 登録した機能が起動します。

お知らせ

- 登録した機能がPIMロック中のときは、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力すると起動できます。

光るワンタッチキーに入った電話、メールに返信する

メールアドレスや電話番号を登録している相手から電話がかかってきたり、メール着信（SMSを除く）があると、該当する光るワンタッチキーが点滅します。かかってきた電話に出られなかった場合や未読メールがある場合、点滅中の光るワンタッチキーを押して電話をかけたり、メールを返信できます。

1 待受画面で、点滅中の光るワンタッチキーを押す。

- 電話着信の場合は、着信の履歴情報が表示されます。
- メール受信の場合は、最新の未読メールの内容が表示されます。

2 電話をかけるまたは、ｉモードメールを作成し、送信する。

音声電話をかける	［発信］または操作１で押した［I］～［III］ ● ◉［電話］→◉［音声電話］を押しても発信できます。
テレビ電話をかける	◉［電話］→［テレビ電話キー］［テレビ電話］
メールを返信する	［メール］［2］［返信］→メール作成 ● 詳しくは、P.264の操作２～４を参照してください。

次ページへ続く

お知らせ

- FOMA端末を閉じているときや、ドライブモード設定中、オールロック中、電源 OFF 中、お知らせランプ設定OFF中は、光るワンタッチキーは点滅しません。
- メールのPIMロック中はメールを受信しても、光るワンタッチキーは点滅しません。
- 未読メールのお知らせは、受信したメールの差出人のアドレスと光るワンタッチキーに登録されたメールアドレスが完全に同じでないと、光るワンタッチキーは点滅しません。

◉ 3 9 1

光るワンタッチキーに登録した内容を削除する<ワンタッチキー削除>

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉ → [簡易設定･便利機能] → ［ワンタッチキーを設定］ → ［ワンタッチキー設定］の順に選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉ → [Settings 設定]（設定） → ［一般設定］ → ［ワンタッチキー設定］ → ［ワンタッチキー設定］の順に選ぶ。

- 待受画面で光るワンタッチキー 1～3のいずれかを１秒以上押し、［ワンタッチキー設定］を選んでも表示できます。

2 削除する番号にカーソルを合わせて◉を押す。

- ［既に登録済みです　ワンタッチキー○の登録を削除しますか？］と表示されます。

3 ［はい］を選ぶ。

- 登録が削除され、ワンタッチキー設定画面が表示されます。

所有者情報登録 ◉ 0

自分の名前や画像を登録する

お客様の所有者情報として、名前とフリガナ、自宅などの電話番号やメールアドレス、郵便番号、住所、誕生日、メモ、所有者画像を登録・変更できます。
電話番号は自局番号の他に２件、メールアドレスは３件まで登録できます。

- お買い上げ時は、取り付けたFOMAカードの電話番号のみが表示され、メールアドレスは未登録です。取得したｉモードメールアドレスを追加登録してください。

登録できる項目



アイコン	登録項目
👤	名前（最大全角16／半角32文字）
ｶﾅ	フリガナ（最大半角32文字）
📱	自局番号（編集不可）
☎	電話番号（２件、１件あたり最大26桁）
✉	メールアドレス（３件、１件あたり最大半角50文字）
〒	郵便番号（半角数字※、最大７桁）
🏠	住所（最大全角50／半角100文字）
🎂	誕生日（半角数字※、1900年１月１日～2099年12月31日まで）
📝	メモ（最大全角100／半角200文字）
🖼	所有者画像

※入力時は全角で表示されます。

＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［電話機能］→［自分の電話番号］の順に選んで、◉［詳細］を押す。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Settings 設定］（設定）→［電話番号表示］→◉［詳細］の順に選ぶ。

- 端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押し、☐→［1］［編集］を選ぶ。

- 入力した端末暗証番号は、［＊］で表示されます。
- 所有者情報編集画面が表示されます。

3 ◇で項目を選んでそれぞれの内容を登録する。

- 登録方法は、電話帳と同様です。詳しくは、P.103～P.104を参照してください。
- １つの項目の登録が終わると、操作２の画面に戻ります。続けて他の項目を登録できます。
- 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、誕生日、メモを削除するときは、各入力画面で［クリア］を押して削除します。所有者画像を削除するときは［設定なし］を選びます。

4 必要な項目の登録が終わったら［i］［完了］を押す。

- ◇で各項目のアイコンを選ぶと、登録した内容が表示されます。

お知らせ

- ｉモードメールアドレスは、お好みで変更することもできます。（☞P.257）
- ｉモードメールアドレスを変更しても、電話番号表示に表示されるメールアドレスは、自動的には変更されません。メールアドレスは登録し直してください。

関連操作

自分のｉモードメールアドレスを確認する（ｉモードご契約者のみ）

基本メニューから［ｉモード］▶［ｉMenuを見る］▶［8オプション設定］▶［1メール設定］▶［アドレス確認］

- 詳細メニューから［i］（ｉモード）▶［1ｉMenu］▶［8オプション設定］▶［1メール設定］▶［アドレス確認］

◉［0］

所有者情報の詳細を表示する

所有者情報の詳細を表示できます。

- 所有者情報の各項目の文字情報をコピーして、他の画面に貼り付けできます。

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◉→［電話機能］→［自分の電話番号］の順に選んで、◉［詳細］を押す。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

次ページへ続く

1 詳細メニュー：待受画面で● → Settings設定（設定）→［電話番号表示］→●［詳細］の順に選ぶ。

● 端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して●を押す。

● 入力した端末暗証番号は、［Ӿ］で表示されます。
● 所有者情報が表示されます。
● ◇を押すと、登録した内容を順に表示できます。
● 所有者情報の項目をコピーするときは、◇でコピーする項目を選んで㋮→2［項目コピー］を押します。コピーできる項目は、名前、自局番号、電話番号、メールアドレス、住所、メモです。

関連操作

iモードメールやSMS作成中にコピーする

1 基本メニューから［メール機能］▶［メールを書く］
● 詳細メニューから✉（メール）▶4［新規メール作成］

2 ［本文］▶●▶㋮▶✕［所有者情報引用］▶●［詳細］▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶●▶項目▶●

お知らせ

● コピーできる項目は、名前、自局番号、電話番号、メールアドレス、住所、メモです。

通話中音声メモ／待受中音声メモ

通話中の相手の声や待受中の自分の声を録音する

音声電話の通話中に相手の声（通話中音声メモ）を録音したり、待受中にご自分の声（待受中音声メモ）を録音できます。

● 録音した音声メモを応答保留音や保留音に設定することもできます。（☞P.73）
● 録音時間は１件につき約15秒で、音声伝言メモの用件（☞P.77）と合わせて最大３件（１件あたり約15秒）まで録音できます。
● テレビ電話伝言メモは最大２件（１件あたり約15秒）まで録画できます。

通話中に相手の声を録音する<通話中音声メモ>

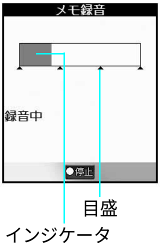
1 音声電話の通話中に●→2［通話中音声メモ］を選ぶ。

● 録音時の注意点は、待受中にご自分の声を録音するとき（☞P.413）と同様です。
● 15秒以内に録音を止めるときは㋮［停止］を押します。（停止前までの内容は録音されています。）

 ＊メニューを切り替えるときは●［●基本メニューへ］または［●詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

待受中に自分の声を録音する<待受中音声メモ>

1 待受画面で1（録音キー）を１秒以上押して1［録音］を選ぶ。



- 録音が始まります。
- 送話口から10cm以内で通話してください。
- すでに音声伝言メモと音声メモが３件録音されていて、テレビ電話伝言メモが２件録音されているときは、［これ以上録音できません］と表示されます。テレビ電話伝言メモが２件未満のときは、［音声伝言メモがすでに３件録音されています］と表示されます。不要な録音内容を削除してからやり直してください。（☞P.81）
- 録音は約15秒で自動的に終わります。
- インジケータおよび目盛りは目安です。
- 15秒以内に録音を止めるときは、◉［停止］を押します。（中止前までの内容は録音されています。）

お知らせ

- 通話中音声メモ、待受中音声メモの再生／削除については、P.80を参照してください。
- 音声メモが３秒以下の場合、録音されないことがあります。
- 通話中音声メモでは、ご自分の声は録音されません。ただし、回線の状態などによっては、ご自分の声が録音される場合もあります。
- 圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。
- 待受中音声メモ録音中、ボタン確認音は鳴りません。

待受中音声メモ録音中に電話がかかってくると

- 録音は中止されます。Ⓐを押すと電話に出ることができます。（中止前までの内容は録音されています。）

録音した内容は、別にメモを取り保管してくださるようお願いします。

- FOMA端末の録音内容は、使用誤りや静電気・電気的ノイズを受けたとき、また、故障・修理・FOMA端末の変更やその他取り扱いによって、録音内容が変化・消失してしまう場合もあります。万が一、録音した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電卓 ◉87

電卓として使う

電卓用の画面で加算、減算、乗算、除算、パーセント計算、税計算などができます。

- 電卓計算例については、P.528を参照してください。

基本メニュー（☞**P.35**）

1 待受画面で◉→［簡易設定·便利機能］→［便利機能を使う］→［電卓］の順に選ぶ。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［Tools ツール］（ツール）→［電卓］の順に選ぶ。

- 電卓画面が表示されます。
- 待受画面で計算用の数字を入力→◉［クイック］→［電卓］の順に選んでも表示できます。

次ページへ続く ▶▶

2 計算用の数字を入力する。



● 次のボタンを押して、入力します。

0～9	0～9の数字
＊	小数点
＃	＋／－の切り替え※

※ 先に数値を入力してから＃を押すことにより、＋／－の切り替えができます。

● クリアを押すと、入力した数字がすべて消えます。（数字が0のとき、クリアを押すと電卓が終了します。）

3 演算方法を選ぶ。



● 加減乗除は、ガイドボタンで指定します。

◇	＋ 加算	◇	－ 減算	◇	× 乗算	◇	÷ 除算

● 次の演算も指定できます。

ⓘ	% パーセント計算	☎	TAX 税計算

● 光るワンタッチキーを使うと、メモリ機能が利用できます。

1	M+	2	RM	3	CM

4 計算用の数字を入力して◉［＝］を押す。

● 計算結果が表示されます。

● 電卓を終了するときは、◉を押します。待受画面に戻ります。

お知らせ

● 電卓表示中に、アラーム時刻、スケジュールのアラームや遠隔オールロックが動作した場合、待受画面に戻ります。

関 連 操 作

待受画面から電卓を使用する<電卓>

待受画面で数字を入力▶◉［クイック］▶1［電卓］

計算結果をマネーカルク（☞P.415）に反映する

計算中に◎

税率を変更する

電卓画面で☎（1秒以上）▶税率（01～99の数字）入力▶◉

税額を計算する

計算結果を表示して☎［TAX］（税）

● 税抜額を計算するとき：計算結果を表示して☎［TAX］☎［TAX］（税抜）

計算内容をコピーする

計算中に＊（1秒以上）

お知らせ

マネーカルクへの反映について

● 小数点以下は省略されます。

例：120＋249 ◎を押すと、マネーカルクに［369円］と表示

例：123÷4 ◎を押すと、マネーカルクに［30円］と表示

税計算について

● お買い上げ時は、税率は［5％］に設定されています。

● 税額は小数点以下切り捨てで計算されます。

例：120 ☎［TAX］と押すと、［5税］と表示されます。

入力した金額を積算する

マネーカルクを利用すると、順次入力した金額の合計を自動的に積算できます。出張時の経費の計算などに便利です。

- マネーカルクには最大100件の金額を入力できます。（合計金額は99,999,900円まで、１回の入力は999,999円まで入力できます。）

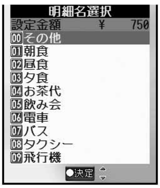
基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◈ → [簡易設定・便利機能] → ［便利機能を使う］→［電卓］の順に選んで、電卓で金額または計算式を入力する。

＊以降の手順は詳細メニューをご覧ください。あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◈ → [Tools ツール]（ツール）→［電卓］の順に選んで、電卓で金額または計算式を入力する。

2 ⓜを押す。



- １回の入力で、±100万円以上を入力した場合、エラー音「ピッピッピッ」が鳴って［100万円以上は入力できません］と表示され、電卓画面に戻ります。（ボタン確認音を［サイレント］に設定している場合、エラー音は鳴りません。）
- 数字のみ登録されます。
- 合計が101件以上になった場合、エラー音「ピッピッピッ」が鳴って［これ以上積算できません］と表示され、電卓画面に戻ります。（ボタン確認音を［サイレント］に設定している場合、エラー音は鳴りません。）

3 明細名を選ぶ。

- マネーカルクに入力した金額が加算され、電卓画面に戻ります。
- 自動的に入力した日の日時が登録されます。
- 操作１～３をくり返して入力すると、マネーカルクが加算されていきます。
- 小数点以下はカットされます。

お知らせ

- 音声電話の通話中やメール作成中などにⓘを１秒以上押すと、マネーカルクを呼び出して確認できます。（☞P.382）
- アシスタントビューから電卓を起動したときは、マネーカルクを起動できません。

登録した内容は、別にメモを取り保管してくださるようお願いします。

- FOMA端末の登録内容は、使用誤りや静電気・電気的ノイズを受けたとき、また、故障・修理・FOMA端末の変更やその他取り扱いによって、登録内容が変化・消失してしまう場合もあります。万が一、マネーカルクに登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

マネーカルクを確認する

基本メニュー（☞P.35）

1 待受画面で◈ → [簡易設定・便利機能] → ［便利機能を使う］→［マネーカルク］の順に選ぶ。

＊あわせて詳細メニューの補足事項などをご覧ください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（ツール）→［マネーカルク］の順に選ぶ。



マネーカルク画面

- マネーカルクの内容が表示されます。
- ⓘ［切替］を押すと、［当月集計］→［当月残高］→［全て集計］の順に切り替えることができます。
- 表示の続きを見るときは、◇を押します。

マネーカルクの明細名を変更する<明細名変更>

あらかじめ登録されているマネーカルクの明細名を変更できます。

- 1つの項目には、最大全角5文字（半角10文字）まで登録できます。
- ［00その他］は変更できません。

1 マネーカルク画面で、Ⓜ→7［明細名変更］を選ぶ。

- 現在の明細名が表示されます。
- 変更した明細名を元に戻すときは、元に戻したい明細名を選んで◉を押し、現在の明細名を削除して◉を押します。あらかじめ登録されている明細名に戻ります。

2 明細を選んで、明細名を入力して◉を押す。

- 続けて他の明細名を変更するときは、操作をくり返します。

マネーカルクから新規項目を入力する

1 マネーカルク画面で、Ⓜ→1［新規作成］を選ぶ。

- 日時入力画面が表示されます。

2 日時を入力して◉を押す。

- 金額入力画面が表示されます。

3 金額を入力して◉を押す。

- 明細名選択画面が表示されます。

4 明細名を選ぶ。

- マネーカルクに新規の項目が追加されます。

マネーカルクの項目を編集する

1 マネーカルク画面で、マネーカルクにカーソルを合わせてⓂ→2［編集］を選ぶ。

2 日時、金額、明細名を編集し、登録方法を選ぶ。

● 編集方法はP.416「マネーカルクから新規項目を入力する」の操作2～4を参照してください。

編集した内容を新規に登録する	1［新規登録］
編集した内容を上書登録する	2［上書登録］ ● 登録内容が変更されます。

集計を表示する＜集計表示切替＞

1 マネーカルク画面（☞P.416）で、m→4［集計表示切替］を選んで、表示内容を選ぶ。

● マネーカルク内容表示画面でi［切替］を押すと、［当月集計］→［当月残高］→［全て集計］の順に切り替えることができます。

当月集計を表示する	1［当月集計］
当月残高を表示する	2［当月残高］
すべての集計を表示する	3［全て集計］

明細別に指定した期間の集計をする＜期間集計表示＞

1 マネーカルク画面（☞P.416）で、m→5［期間集計表示］を選んで、集計期間を選ぶ。

当月の集計をする	1［当月］ ● 明細ごとに当月の集計が表示されます。
期間を指定（集計）する	2［指定期間］→日時を入力→• ● 明細ごとに指定した期間の集計が表示されます。
すべての期間を集計する	3［全て］ ● 明細ごとにすべての集計が表示されます。

● コピーするときはi［コピー］を押し、コピーしたい範囲を選択します。

予算を設定する＜予算設定＞

1 マネーカルク画面（☞P.416）で、m→6［予算設定］を選んで、1［ON］を選ぶ。

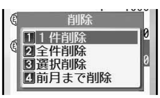
● 予算入力画面が表示されます。

2 予算を入力して•を押す。

● 99,999,999円まで入力できます。
● 集計表示切替で当月残高を選択した場合、入力した金額から当月集計の金額を減算した値が表示されます。

マネーカルクを削除する

1 マネーカルク画面（☞P.416）で、削除したいマネーカルクにカーソルを合わせてm→3［削除］を選ぶ。



● 1件削除以外の場合、削除したいマネーカルクを選ぶ必要はありません。
● 全件削除するときは、i［切替］を押して［集計：全て］にしてください。

次ページへ続く

2 削除方法を選ぶ。

項目を1件削除する	1 ［1件削除］→［はい］→◉
すべての項目を削除する	2 ［全件削除］→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→◉→［はい］→◉
複数の項目を削除する	3 ［選択削除］→項目⇔◉（くり返し可）→ⓘ［完了］→［はい］→◉
前月までの項目を削除する	4 ［前月まで削除］→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→◉→［はい］→◉

関連操作

マネーカルクのPIMロックを設定する<セキュリティ設定>

マネーカルク画面（☞P.416）で ⓜ ▶ ✉（1秒以上）▶ 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力 ▶ ◉ ▶ 1 ［ON］

通話時間／料金

通話時間・料金を表示する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間として音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、［0円］もしくは［¥¥¥¥¥¥円］が表示されます。
- テレビ電話と音声電話を切り替えて使用した場合の料金表示は、音声電話通話料金○○円、テレビ電話通話料金○○円と表示されます。複数回切り替えた場合は、音声電話、テレビ電話ごとに、それぞれが合算されて表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が表示されます。

  ※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示することはできません。（FOMAカードには蓄積されています。）
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

◉ 4 7

通話明細を表示する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［サービス］→［通話時間／料金］の順に選ぶ。



通話明細表示画面

- 通話明細表示画面が表示されます。
- FOMAカード読み込み中のときは、［FOMAカード（UIM）読み込み中です］と表示されます。
- 一度もリセットしていない場合には、リセット日時は［----/--/--(--)--:--］と表示されます。
- 積算通話料金をリセットすると、リセット日時にリセット時の積算通話料金が記録されます。
- 確認を終わるときは☎を押します。

お知らせ

- ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- 前回の通話時間が9時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 積算の通話時間が999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。

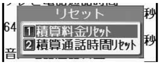
お知らせ

- 電源を切ると、音声電話通話料金／テレビ電話通話料金は「¥¥¥¥¥¥円」になります。

通話時間と通話料金をリセットする

前回の通話時間および積算の通話時間・通話料金の記憶を「0」に戻すことができます。

1 通話明細表示画面（☞**P.418**）で、◉［リセット］を押す。



2 リセットする項目を選ぶ。

積算料金をリセットする	1［積算料金リセット］→PIN2コード（4～8桁の数字）を入力→◉→［はい］→◉
積算通話時間をリセットする	2［積算通話時間リセット］→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→◉→［はい］→◉

- ［リセット日時］に、リセットした日時が登録されます。

通話料金の上限を設定して知らせる＜料金上限通知設定＞

お買い上げ時：無効

設定した通話料金の上限を超えた通話が終了したあと、待受画面に戻ったときにメッセージを表示したり、アラームで知らせるように設定できます。毎月1日に通話料金のリセット通知を表示し、リセットすることもできます。

1 通話明細表示画面（☞**P.418**）で📖→1［料金上限通知設定］を選んで、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押す。

2 1［有効］を選んで、上限の料金を入力して◉を押す。

- 10～100,000円の間、10円単位で入力できます。
- お買い上げ時は3,000円に設定されています。

3 通知方法を選ぶ。

待受画面にメッセージを表示し、アラームを鳴らす	1［アラーム＋待受け］→アラーム音色／アラーム音量／鳴動時間を設定→ⓘ［完了］ ● アラーム音色、アラーム音量、鳴動時間の設定方法については、P.387を参照してください。動画／ｉモーションはアラーム音色に設定できません。
待受画面にメッセージを表示する	2［待受け］

- アラームを鳴らす設定した場合、料金上限通知アラームの動作中に省電力モードになったときに、アラームが停止します。

4 リセット通知するかどうかを選ぶ。

リセット通知する	1［ON］→PIN2コード（4～8桁の数字）を入力→◉ ● 毎月1日午前0時を通過したとき、または日時設定（☞P.52）で翌月以降に日時を変更したときに、待受画面に［リセット時刻経過］が表示され、通話料金をリセットすることができます。
リセット通知しない	2［OFF］→PIN2コード（4～8桁の数字）を入力→◉

お知らせ

- 待受画面に料金上限通知メッセージが表示されている場合、料金上限通知を再設定すると、料金上限通知メッセージが削除されます。

関連操作

待受画面に表示された料金上限通知メッセージを削除する<通知あり表示削除>

通話明細表示画面（☞P.418）で◎▶2［通知あり表示削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉

リセット通知画面から通話料金をリセットする

待受画面に［リセット時刻経過］表示中に◉▶◉▶PIN2コード（4～8桁の数字）を入力▶◉▶［はい］▶◉

お知らせ

通知あり表示削除について

- 料金上限通知メッセージを削除すると、積算通話料金をリセットするか、料金上限通知を再設定するまで、料金上限通知メッセージは表示されなくなります。

リセット通知について

- リセットを中断したり、リセット確認画面で［いいえ］を選択してもリセット通知の表示は消去されます。翌月の1日午前0時になるまでリセット通知は表示されません。

テキストメモ　◉86

メモを入力する

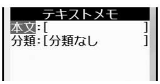
よく利用する文章を登録しておき、メールやスケジュール、ToDoリストを作成するときに利用できます。
- テキストメモは、最大10件まで登録できます。また、20種類に分類できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（ツール）→［テキストメモ］を選ぶ。



テキストメモ
一覧画面

2 ⓘ［新規］または◎→1［新規作成］を選ぶ。



- 登録したメモを確認するときは、メモを選んで◉［表示］を押します。
- すでに10件登録してあるときは、［これ以上登録できません］と表示されます。

3 ［本文］を選んで、本文を入力して◉を押す。

- 本文は最大全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

4 ［分類］を選んで、分類のアイコンを選ぶ。

- 20種類の分類設定から選択できます。分類の種類については、P.397を参照してください。
- 分類が決定されると、次回分類を選ぶときに、前回選択した分類が一番上に表示されます。

5 ⓘ［完了］を押し、［はい］を選ぶ。

- テキストメモが登録されます。

その他の便利な機能

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

miniSDメモリーカードについて

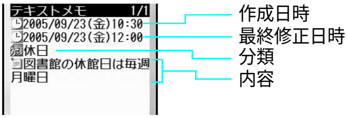
- FOMA端末（本体）に保存されているテキストメモをminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞P.353）、miniSDメモリーカード内のテキストメモを表示（☞P.356）できます。
- miniSDメモリーカードに保存されているテキストメモをFOMA端末（本体）にコピー（☞P.357）できます。

テキストメモに登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカード（☞P.349）やデータリンクソフト（☞P.532）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

メモを利用する

テキストメモに登録されているメモを、メールやスケジュール、ToDoリストを作成するときに利用できます。

1 テキストメモ一覧画面（☞**P.420**）で、メモを選ぶ。



2 メモを利用する機能を選ぶ。

メール作成に利用する	ⓜ→2［メール作成］ ● メール作成画面が表示されます。［本文］にメモの文章が入力されます。
スケジュールに利用する	ⓜ→3［スケジュール作成］ ● 予定登録画面が表示されます。［内容］にメモの文章が、［分類］にメモの分類が入力されます。
ToDoリストに利用する	ⓜ→4［ToDo作成］ ● 行動予定画面が表示されます。［内容］にメモの文章が、［分類］にメモの分類が入力されます。

お知らせ

- 音声電話の通話中やメール作成中などに㊂を1秒以上押すと、テキストメモを呼び出して確認またはコピーできます。（☞P.382）

登録したメモを修正する

1 テキストメモ一覧画面（☞**P.420**）で、メモにカーソルを合わせてⓜ→2［編集］を選ぶ。

- メモ編集画面が表示されます。

2 メモを編集する。

- 編集方法は、登録時と同様です。（☞P.420）

3 修正が終わったら㊂［完了］を押し、登録方法を選ぶ。

新規登録する	1［新規登録］
上書登録する	2［上書登録］

- すでに10件登録してあるときは、［これ以上登録できません］と表示されます。

メモを削除する

1 テキストメモ一覧画面（☞P.420）で、メモにカーソルを合わせて㊂→6［削除］を選ぶ。

2 削除方法を選ぶ。

メモを1件削除する	1［1件削除］→［はい］→◉
すべてのメモを削除する	2［全件削除］→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→◉→［はい］→◉
複数のメモを削除する	3［選択削除］→メモ⇔◉（くり返し可）→ⓘ［完了］→［はい］→◉

関連操作

テキストメモのPIMロックを設定する<セキュリティ設定>
テキストメモ一覧画面（☞P.420）で㊂▶✉（1秒以上）▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶1［ON］

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続すると、スイッチを押すだけでメモリ番号に登録した相手に音声電話をかけたり、かかってきた音声電話やテレビ電話を受けることができます。また、イヤホンマイクのスイッチをカメラのシャッター代わりに使うこともできます。（☞P.196）

- イヤホンマイクは、次の単品あるいは組み合わせでご使用になれます。
  - ■ 平型スイッチ付イヤホンマイク
  - ■ スイッチ付イヤホンマイク＋イヤホンジャック変換アダプタ P001
  - ■ ステレオイヤホンセット P001＋イヤホンジャック変換アダプタ P001
  - ■ イヤホンターミナル P001＋イヤホンジャック変換アダプタ P001

  （この組み合わせには、これらとは別にステレオイヤホンが必要です。）
- テレビ電話をかけるときはFOMA端末のボタンを操作してください。
- イヤホンマイク端子のゴムカバーは無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。

◉5#

スイッチ付イヤホンマイクの動作を設定する<イヤホン発信設定>

お買い上げ時
ON メモリ番号：749

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチのみで音声電話をかけるように設定できます。あらかじめ相手の電話番号をFOMA端末（本体）電話帳に登録し、そのメモリ番号を指定します。

- FOMA端末（本体）電話帳のメモリ番号000～749から1件のみ登録することができます。
- スイッチの操作でテレビ電話をかけることはできません。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［通話・通信機能設定］→［イヤホン発信設定］の順に選んで、1［**ON**］を選ぶ。

2 メモリ番号（3桁：**000～749**）を入力して◉を押す。
- イヤホン発信が設定されます。

その他の便利な機能

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

スイッチを使って音声電話をかける

1 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続する。

- イヤホンマイク端子に、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 待受画面でスイッチを２秒以上押す。

- イヤホン発信設定で設定したメモリ番号に登録されている電話番号に自動的に発信します。
- イヤホン発信設定で設定したメモリ番号に電話番号が複数登録されている場合は、１件目に登録されている電話番号に発信します。１件目に電話番号が登録されていないときは２件目に、２件目にも登録されていないときは３件目の電話番号に発信します。

3 通話が終わったら、スイッチを２秒以上押す。

- 電話が切れます。（FOMA端末の◉を押しても、電話を切ることができます。）

お知らせ

- イヤホン発信に設定したメモリ番号がシークレット登録されている場合は、シークレットモードを［ON］に設定してから、スイッチ操作で電話をかけてください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを FOMA端末に接続したままかばんなどに入れると、スイッチが押されて電話がかかってしまうことがあります。使用しないときは、外してください。
- 電話帳のPIMロック中は、電話をかけることができません。
- スイッチのないイヤホンマイクを接続してすぐに外すと、自動的に電話をかけてしまうおそれがありますので、ご注意ください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、ボタン確認音は、イヤホンから聞こえます。
- イヤホンからの受話音量は受話音量調節（☞P.72）で設定されている音量で聞こえます。

スイッチを使って電話を受ける

1 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続する。

- イヤホンマイク端子に、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 電話がかかってくると、着信音が鳴る。

- 着信音は、着信音出力切替（☞P.132）で設定したところから流れます。

3 スイッチを２秒以上押す。

- 電話がつながります。（FOMA端末の◉を押しても、電話がつながります。）
- テレビ電話がかかってきたときは、スイッチを押すと代替画像設定（☞P.93）で設定した代替画像が送信されます。そのあと、FOMA端末の◉［自画像］を押すと自分側のカメラ映像に切り替えることができます。（☞P.92）

4 通話が終わったら、スイッチを２秒以上押す。

- 電話が切れます。（FOMA端末の◉を押しても、電話を切ることができます。）

お知らせ

- 着信音が鳴ってから接続する場合、スイッチを押していないのに、接続した瞬間に電話を受けてしまうことがありますので、ご注意ください。使用しないときは、外してください。
- スイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話をかけたり、受けたりすることがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードを FOMA端末（本体）に巻き付けないでください。内蔵アンテナが正しく働かないことがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードを内蔵アンテナに近づけると、ノイズが入ることがありますので、ご注意ください。

次ページへ続く

お知らせ

● プラグは確実に差し込んでください。差し込みが不完全で途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。
● 通話中にプラグの差し込みが不完全な場合は「プー」という音がしますが故障ではありません。
● 電源を入れた瞬間に「パチッ」という音がすることがありますが故障ではありません。

オート着信設定

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

お買い上げ時
OFF

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話を自動的に受けるように設定できます。

● 自動的に電話を受けるまでの時間（着信時間）を設定することもできます。
● オート着信設定を［ON］に設定していても、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続していないときは、自動的に電話を受けることはできません。

1 詳細メニュー：待受画面で→（設定）→［通話・通信機能設定］→［オート着信設定］の順に選んで、［ON］を選ぶ。

● 着信時間入力画面が表示されます。

2 着信時間（３桁：**000**～**120**秒）を入力してを押す。

● 電話を受けるまでの時間を入力せずにを押すと、電話がかかってくると約２秒後に自動的に電話を受けます。（お買い上げ時は、［２秒］に設定されています。）
● 着信時間を［000秒］に設定すると、着信音やバイブレータが動作せずに電話を受けますので、ご注意ください。

お知らせ

● 電話帳指定着信許可・拒否などの機能を利用して電話を受けないようにしている相手から電話がかかってきた場合、自動的に電話を受けることはできません。
● オート着信設定と伝言メモ応答時間設定（☞P.79）は、同じ時間に設定できません。
● 留守番電話サービス（☞P.428）や転送でんわサービス（☞P.433）をオート着信設定と同時に設定しているときに、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を同じ時間に設定した場合、留守番電話サービスや転送でんわサービスが優先される場合があります。
オート着信設定を優先させるためには、伝言メモや留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間よりもオート着信設定の着信時間を短く設定してください。
● テレビ電話がかかってきたときは、代替画像設定（☞P.93）で設定した代替画像が相手に送信されます。そのあと、自分側の映像をカメラ映像に切り替えることができます。（☞P.92）

設定リセット

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

お客様が設定できる内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

● お買い上げ時の状態については、P.506～P.514「詳細メニュー一覧」を参照してください。

1 詳細メニュー：待受画面で→（設定）→［設定リセット］の順に選んで、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力してを押す。

● 入力した端末暗証番号は、［＊］で表示されます。
● リセット確認画面が表示されます。

2 ［はい］を選ぶ。

● 設定がリセットされます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときは［基本メニューへ］または［詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

お知らせ

設定リセットを行うと

- 次のものはリセット（削除・変更）されません。リセットするときは、それぞれのページを参照してください。

日時設定（☞P.52）	ToDoリスト（☞P.393）
端末暗証番号（☞P.154）	画面メモ（☞P.231）
所有者情報（☞P.410）	送受信／未送信メール（☞P.286）
電話帳指定着信許可リスト（☞P.169）	署名の登録内容（☞P.295）
電話帳指定着信拒否リスト（☞P.170）	ネットワークサービスの設定（☞P.428〜P.442）
伝言メモなどの録音内容（☞P.80）	電話帳の登録内容（☞P.120）
データBOXのデータ（☞P.361、P.364）	miniSDメモリーカード内のデータ（☞P.358）
カメラで撮影した画像（☞P.361、P.364）	テキストメモ（☞P.422）
Bilingual（☞P.150）	マネーカルク（☞P.417）
アラーム（☞P.389）	ユーザ辞書（☞P.499）
スケジュール（☞P.405）	ダウンロード辞書（☞P.501）
ワンタッチキー設定（☞P.407）	

- ｉモードの設定のリセットについては、P.239を参照してください。
- メールの設定のリセットについては、P.299を参照してください。

ユーザデータ削除

◎6 8 1

登録データを一括して削除する

お客様が登録されたデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 端末暗証番号はお買い上げ時の番号［0000］に戻ります。
- FOMA端末の保護されているデータも削除されます。
- データ一括削除中は、他の機能を使用できません。また、音声電話／テレビ電話の着信やメールの受信、アラームなどは動作しません。
- データ一括削除を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、一括削除できないことがあります。
- データ一括削除を行っているときは、電源を切らないでください。
- お買い上げ時に登録されているデータBOXのメロディのプリインストールフォルダ内のメロディ、マイピクチャのプリインストールフォルダ内の静止画、GIFアニメーション、Flash画像は削除されません。ただし、ｉモーションは削除されます。お買い上げ時の状態については「詳細メニュー一覧」を参照してください。（☞P.506〜P.514）

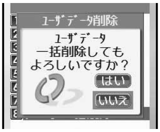
削除されるデータ	電話帳、データBOX内の静止画・動画・メロディ、メール、メッセージR／F、ブックマーク、画面メモ、ダウンロード辞書、音声メモ、テキストメモ、ToDoリスト、アラーム設定、マネーカルク、着信履歴、リダイヤル、メール送受信履歴、URL履歴、署名、ユーザ辞書、電子ブックのしおり、フォルダ※、チャットメール、ショートメッセージ、伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）、バーコードリーダーで読み取ったデータ、スケジュール（登録・変更した祝日を含む）、ワンタッチキーに登録した内容
削除されないデータ（お買い上げ時の状態に戻るデータ）	各種設定リセット（☞P.424）の対象となる機能と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。 ● 待受画面設定、着信メロディ設定、伝言メモ応答メッセージ、定型文、学習機能、各種設定、端末暗証番号、日時設定、詳細メニューのアイコン、通話時間、画面カスタマイズ設定、応答メッセージ登録、USSD登録、所有者情報（自局電話番号以外）、メールメンバー、URL入力、ラストURL、プレフィックス設定、データBOXのマイピクチャ、メロディ、メール設定、ｉモード設定

※ お買い上げ時に登録されているフォルダは削除されませんが、フォルダ名はお買い上げ時の名前に戻ります。

1 詳細メニュー：待受画面で◎→（設定）→［セキュリティ］→［データ一括削除］→［ユーザデータ削除］の順に選ぶ。

- 暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押し、［はい］を選ぶ。



3 ［はい］を選ぶ。

- ［削除後再起動しますがよろしいですか？］と表示されます。

4 ［はい］を選ぶ。

- データ削除完了後にFOMA端末が再起動します。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているｉモーションは、ｉMenu内のサイト［SH-MODE］からダウンロードできます。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。（☞P.251）
- FOMAカードやminiSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
- 他の機能が動作中は、一括削除できません。
- 削除するデータが多い場合は、データ一括削除に時間がかかる場合があります。
- データ一括削除中は、表示が乱れることがありますのでFOMA端末を閉じないでください。

◉６８２

シークレットデータをまとめて削除する＜シークレットデータ一括削除＞

電話帳、スケジュール、ToDoリストにシークレット登録したデータを、一括して削除できます。
- シークレットモードを［ON］／［OFF］どちらに設定していても、削除できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［セキュリティ］→［データ一括削除］→［シークレットデータ削除］の順に選ぶ。

- 暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押し、［はい］を選ぶ。

- 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。
- シークレット登録したデータが一括削除されます。

ネットワークサービス

※ 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなネットワークサービスを利用できます。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	ページ
留守番電話サービス	要	有料	P.428
キャッチホン	要	有料	P.431
転送でんわサービス	要	無料	P.433
迷惑電話ストップサービス	要	無料	P.435
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.436
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.436
デュアルネットワークサービス	要	有料	P.437
英語ガイダンス	不要	無料	P.438

※ 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。

※「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

- お申し込みが必要なサービスについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 詳しい操作については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

お知らせ

- ネットワークサービスは、ネットワークサービスセンターに接続して操作するサービスのため、圏外のときは操作できません。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録することができます。（☞P.442）

留守番電話サービス

留守番電話サービスを利用する

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。音声電話をかけてきた方には、応答メッセージでお答えします。

- 留守番電話サービスは、お申し込みが必要なオプション（月額使用料：有料）サービスです。
- 日本全国どこからでも伝言メッセージを聞くことができます。

お知らせ

- 伝言メッセージの録音時間は、1件あたり3分間、20件まで録音できます。
- 伝言メッセージは72時間保存されます。

お知らせ

- 音声電話に出られないことをお伝えするだけの、不在案内機能もあります。留守番電話サービス設定で設定してください。（☞P.429）
- 留守番電話サービスを［開始］に設定していても、通常どおり音声電話をかけたり、受けたりできます。
- 留守番電話サービスを［開始］に設定しているときに音声電話がかかってきた場合は、着信音が設定された呼出秒数の間（呼出時間は変更できます：☞P.429）鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しない場合は、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。この着信は、待受画面（☞P.76）や着信履歴（☞P.70）でもお知らせします。ただし、呼出時間を［0秒］に設定した場合は、着信履歴に記憶されません。
- 音声電話着信中に◉→4［留守転送］を押すと、手動で留守番電話サービスセンターに転送できます。
- 通話中に別の音声電話がかかってきたときは、自動的に留守番電話サービスセンターに接続させることもできます。
- 転送でんわサービス（☞P.433）を［開始］に設定すると、留守番電話サービスは自動的に停止します。
- 圏外のときは、FOMA端末から留守番電話サービスの設定はできません。このような場合、プッシュ式の一般電話、公衆電話などからネットワーク暗証番号を利用して留守番電話サービスの操作ができます。あらかじめ、遠隔操作設定（☞P.440）で遠隔操作ができるように設定しておく必要があります。
- 番号通知お願いサービス（☞P.436）を［開始］に設定中に［非通知設定］の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます。留守番電話サービスは利用できません。
- 急いでいるときなど、留守番電話サービスの応答メッセージを省略したい場合は、応答メッセージが流れているときに#を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えることができます。
- 伝言メモを同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスをご利用になるには月々の使用料とは別に、伝言メッセージの再生などにかかる通信料が必要です。
- 留守番電話サービスを［開始］に設定しているときに901iSシリーズもしくはSH851iからテレビ電話がかかってきた場合、設定した呼出時間が経過すると、相手には［音声電話でおかけ直しください］と表示され、電話が切れます。901iSシリーズもしくはSH851i以前のテレビ電話対応機種からテレビ電話がかかってきた場合は、［接続できませんでした］と表示され、電話が切れます。設定した呼出時間内に応答すると、そのまま通話できます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

STEP 1　留守番電話サービスを開始する。
STEP 2　お客様のFOMA端末に音声電話がかかる。
STEP 3　音声電話に出られないときは留守番電話サービスセンターに接続される。
STEP 4　相手が用件を伝言メッセージに録音する。
STEP 5　伝言メッセージを再生する。

＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

留守番電話サービスを開始／停止する＜留守番電話サービス開始／留守番電話サービス停止＞

■ 留守番電話サービスを開始する

◉4 1 3

● 開始時の呼出秒数を変更することもできます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［サービス］→［留守番電話］→［留守番電話サービス開始］の順に選ぶ。

● 留守番電話サービス開始設定画面が表示されます。

2 開始方法を選ぶ。

留守番電話サービスを開始する	1［留守番電話サービス開始］→［はい］→◉
呼出時間を設定してからサービスを開始する	2［呼出秒数設定＋開始］→呼出秒数（000～120秒）を入力→◉→［はい］→◉

● 留守番電話サービスが開始され、メッセージが表示されます。

■ 留守番電話サービスを停止する

◉4 1 5

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［サービス］→［留守番電話］→［留守番電話サービス停止］の順に選んで、［はい］を選ぶ。

● 留守番電話サービスが停止され、メッセージが表示されます。

お知らせ

● ［留守番サービス停止］とは、留守番電話サービスの契約そのものを解約するものではありません。

◉4 1 2

伝言メッセージを聞く＜留守番メッセージ再生＞

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［サービス］→［留守番電話］→［留守番メッセージ再生］の順に選んで、［はい］を選ぶ。

2 音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージを再生する。

お知らせ

● 待受画面に［留守番電話 ○件］が表示されているとき、◉を２回押すとメッセージを再生できます。
● 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
● この操作は、通話中に行うことはできません。
● 音声ガイダンスに従ってボタン操作を行った場合、㊦を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は㊦をもう一度押してください。

◉4 1 7

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定する＜留守番サービス設定＞

音声ガイダンスに従って留守番電話サービスを設定できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［サービス］→［留守番電話］→［留守番サービス設定］の順に選んで、［はい］を選ぶ。

2 音声ガイダンスの指示に従って 9 を押し、設定する。

不在案内変更	1
応答メッセージまたは名前のアナウンス確認の変更	2
発信者番号案内の確認変更	3

お知らせ

● 音声ガイダンスに従ってボタン操作を行った場合、㊦を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は㊦をもう一度押してください。
● GIFアニメーション、Flash画像を待受画面に設定した場合、［📼］はアニメーションが終了するまで表示されません。

4 1 1

新しい伝言メッセージがあるか確認する＜メッセージ問合せ＞

留守番電話サービスセンターに、伝言メッセージが入っているかどうかを問い合わせます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［サービス］→［留守番電話］→［メッセージ問合せ］の順に選ぶ。

- 問い合わせが完了すると、メッセージが表示されます。
- 伝言メッセージが入っていると、待受画面に［留守番電話 ○件］の表示と［留守番アイコン］が点灯します。

お知らせ

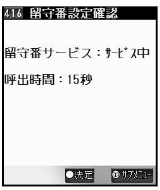
- メッセージ問い合わせ後にお預かりしたメッセージは、本機能で確認できない場合があります。
- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。

4 1 6

留守番電話サービスの設定を確認して変更する＜留守番設定確認＞

留守番電話サービスの設定を確認してから、開始、停止、呼出時間を変更できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［サービス］→［留守番電話］→［留守番設定確認］の順に選ぶ。



- 現在の設定内容が表示されます。

2 ⓜを押し、機能を選ぶ。

留守番電話サービスを開始する	1［開始］→1［留守番電話サービス開始］→［はい］→◉
呼出時間を設定してから留守番電話サービスを開始する	1［開始］→2［呼出秒数設定＋開始］→呼出秒数（000〜120秒）を入力→◉→［はい］→◉
留守番電話サービスを停止する	2［停止］→［はい］→◉
呼出時間を変更する	3［時間変更］→呼出秒数（000〜120秒）を入力→◉

4 1 8

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るようにする＜件数増加時鳴動設定＞

新しい伝言メッセージが届いたときに、着信音でお知らせできます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［サービス］→［留守番電話］→［件数増加時鳴動設定］の順に選んで、1［ON］を選ぶ。

- 件数増加時鳴動が設定されます。

お知らせ

- メール着信音選択のSMS着信音で設定した着信音でお知らせします。（☞P.124）
- メール着信鳴動時間設定（☞P.131）で設定した時間（1〜30秒）鳴ります。お買い上げ時は、［3秒］に設定されています。

4 1 9

伝言メッセージマークを消去する＜表示消去＞

伝言メッセージが届いたことを示す［留守番アイコン］を消去できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［サービス］→［留守番電話］→［表示消去］の順に選んで、［はい］を選ぶ。

- ［留守番アイコン］が消去されます。

お知らせ

- 伝言メッセージが留守番電話センターに残っているとき、［留守番アイコン］を消去しても、伝言メッセージは消去されません。メッセージ問い合わせを行うと、再び表示されます。

着信通知機能を利用する

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内になったときに着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。

- 着信通知機能は留守番電話サービスの一部ですが、留守番電話サービスと着信通知機能は、それぞれ開始／停止の操作をしてください。（留守番電話サービスを停止していても、着信通知機能を利用できます。）
- SMS一括拒否を設定していても、着信履歴は受信されます。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

■ 着信通知を開始する

◉ 4 1 0

1 **詳細メニュー：待受画面で◉→ （設定）→［サービス］→［留守番電話］→［着信通知開始］の順に選ぶ。**

● 着信通知開始設定画面が表示されます。

2 **発信者番号非通知の着信を通知するかどうかを選ぶ。**

発信者番号非通知の着信を通知する	［はい］→◉→［はい］→◉
発信者番号非通知の着信を通知しない	［いいえ］→◉→［はい］→◉

● 着信通知の開始画面で［はい］を選択すると、着信通知が開始され、メッセージが表示されます。

■ 着信通知を停止する

◉ 4 1 *

1 **詳細メニュー：待受画面で◉→ （設定）→［サービス］→［留守番電話］→［着信通知停止］の順に選んで、［はい］を選ぶ。**

● 着信通知が停止され、メッセージが表示されます。

■ 着信通知の設定を確認する

◉ 4 1 #

1 **詳細メニュー：待受画面で◉→ （設定）→［サービス］→［留守番電話］→［着信通知設定確認］の順に選ぶ。**

● 現在の設定内容が表示されます。

お知らせ

● SMSの受信は無料です。
● １通のSMS受信で最大５件までお知らせいたします。
● 電話帳に登録されている相手からの着信であっても、本文には名前ではなく、電話番号が表示されます。

キャッチホン

キャッチホンを利用する

通話中に第三者から電話がかかってきたことを、通話中着信音「ププ…ププ…」でお知らせします。現在通話中の相手との通話を保留にしたまま、第三者と通話できます。

● キャッチホンは、お申し込みが必要なオプション（月額使用料：有料）サービスです。
● 圏外のときは、キャッチホンの設定はできません。
● 以下の場合などでキャッチホンを利用できません。
  ■ 110番、119番、118番、117番、104番と通話しているとき（117番と通話中に音声電話を着信した場合、電話に出ることはできませんが、不在着信履歴は残ります）
  ■ ダイヤル中および相手を呼び出し中のとき
  ■ 留守番電話サービスセンターに接続されているとき
  ■ 転送先に電話が転送されているとき

お知らせ

● 通話保留中も発信者の方の料金は加算されます。
● キャッチホンをご契約されていない場合は、通話中着信音「ププ…ププ…」が鳴っても電話を受けることはできません。
● 番号通知お願いサービスを［開始］に設定中に［非通知設定］の着信をしたとき、番号通知お願いガイダンスが流れます。

キャッチホンを開始／停止する <キャッチホン開始／キャッチホン停止>

■ キャッチホンを開始する

◉ 4 2 1

1 **詳細メニュー：待受画面で◉→ （設定）→［サービス］→［キャッチホン］→［キャッチホンサービス開始］の順に選んで、［はい］を選ぶ。**

● キャッチホンを開始する旨のメッセージが表示されます。

■ キャッチホンを停止する

◉ 4 2 2

1 **詳細メニュー：待受画面で◉→ （設定）→［サービス］→［キャッチホン］→［キャッチホンサービス停止］の順に選んで、［はい］を選ぶ。**

● キャッチホンが停止され、メッセージが表示されます。

次ページへ続く

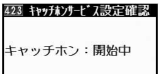
お知らせ

- キャッチホンを使用するときは、着信動作選択（☞P.439）を［通常着信］に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを［開始］に設定しても、音声電話の通話中にかかってきた音声電話に応答できません。

キャッチホン設定を確認する

◉4 2 3

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ （設定）→［サービス］→［キャッチホン］→［キャッチホンサービス設定確認］の順に選ぶ。



開始中の場合

- 現在の設定内容が表示されます。

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、☎を押す。



- 最初の方との通話は自動的に保留になり、新しくかかってきた音声電話を受けることができます。

2 新しくかかってきた方との通話が終わったら、☎を押す。

- 最初の方との通話に切り替わります。
- ☎を押すたびに通話の相手を切り替えることもできます。

保留中の音声電話を終わらせるとき

- ◉→3［保留呼切断］を押します。

お知らせ

- 通話中のテレビ電話を保留にして、かかってきた音声電話やテレビ電話に出ることはできません。
- 通話中の音声電話を保留にして、かかってきたテレビ電話に出ることはできません。

通話中の音声電話を終わらせて、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、電源を押す。

- 新しくかかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 ☎を押す。

- 新しくかかってきた電話の方と通話できます。

お知らせ

- 通話中の音声電話を終了して、かかってきたテレビ電話に出ることはできますが、通話中のテレビ電話を終了してかかってきた音声電話やテレビ電話に出ることはできません。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、新たにお客様のほうから別の相手に音声電話をかけることができます。

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤルする。

- 電話帳、着信履歴、リダイヤルを利用してダイヤルすることもできます。

2 ☎を押す。



- 新しくかけた相手と通話できます。
- 最初の方との通話は自動的に保留されます。
- 保留中の相手がいるとき、☎を押して通話する相手を切り替えることができます。

3 新しくかけた相手との通話が終わったら、電源を押す。

- 新しくかけた相手との通話が終了します。
- ☎を押すと、最初の方と通話できます。

お知らせ

- 通話中のテレビ電話を保留して、別の相手に音声電話およびテレビ電話をかけることはできません。

ネットワークサービス

転送でんわサービス

転送でんわサービスを利用する

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに、FOMA端末にかかってきた音声電話やテレビ電話を、一般の電話機や携帯電話、テレビ電話など、あらかじめ登録しておいた転送先に転送できます。

- 転送でんわサービスは、お申し込みが必要なオプション（月額使用料：無料）サービスです。
- 圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに、自動的に転送されます。
- 転送先として、フリーダイヤル、クイックナンバーおよび110番などの３桁の番号は登録できません。
- テレビ電話は、3G-324M（☞P.84）に準拠したテレビ電話対応機のみに転送できます。

お知らせ

- 転送先は、１件だけ登録できます。
- 転送でんわサービスを［開始］に設定していても、通常どおり音声電話やテレビ電話をかけたり、受けたりできます。
- テレビ電話をかけた側には、転送中のガイダンスは流れず、転送中のメッセージが画面に表示されます。
- 転送でんわサービスを［開始］に設定しているときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、着信音が約７秒間（呼出時間は変更できます）鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しない場合は、あらかじめ登録されている転送先に転送します。この着信は、待受画面や着信履歴でもお知らせします。ただし、呼出時間を［０秒］に設定した場合は、着信履歴に記憶されません。
- 転送でんわサービスを［開始］に設定しているときは、コレクトコール（料金着信払通話）での着信はできません。
- 音声電話やテレビ電話の着信中に◉→3［着信転送］を押して手動で転送できます。
- 通話中に別の音声電話がかかってきたときは、自動的に転送させることもできます。
- 留守番電話サービス（☞P.428）を［開始］に設定した場合、転送でんわサービスは、自動的に停止されます。
- 圏外のときは、FOMA端末から転送でんわサービスの設定はできません。このようなときは、プッシュ式の一般電話、公衆電話などから「ネットワーク暗証番号」を利用して転送でんわサービスの操作ができます。あらかじめ、遠隔操作設定（☞P.440）で遠隔操作ができるように設定しておく必要があります。
- 番号通知お願いサービス（☞P.436）を［開始］に設定中に［非通知設定］の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます。転送でんわサービスは、利用できません。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

転送でんわサービスの基本的な流れ

STEP１　転送先の電話番号を登録する。
STEP２　転送でんわサービスを開始する。
STEP３　お客様のFOMA端末に電話がかかる。
STEP４　電話に出られないときはあらかじめ登録した転送先に自動的に転送される。

転送でんわサービスを開始／停止する ＜転送サービス開始／転送サービス停止＞

■ 転送でんわサービスを開始する

◉4 3 1

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings 設定（設定）→［サービス］→［転送でんわ］→［転送サービス開始］の順に選ぶ。

- 転送サービス開始設定画面が表示されます。

2 3［転送先電話番号入力］を選んで、転送先電話番号を入力する。

直接入力する	1［直接入力］→電話番号を入力→◉
電話帳から入力する	2［電話帳から］→名前→◉→◉

3 2［呼出秒数設定］を選んで、呼出秒数（３桁：000～120秒）を入力して◉を押す。

- お申し込み時は、［７秒］に設定されています。

4 1［転送サービス開始］を選んで、［はい］を選ぶ。

- 転送サービスが開始され、メッセージが表示されます。

お知らせ

- 転送を行ったとき、転送でんわサービスを契約しているFOMA端末が位置登録しているエリアから転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。お出かけ先で転送の設定をしたまま、FOMA端末の電源を入れないでいると、通話料金が高くなることがありますので、ご注意ください。
- 転送でんわサービスを［開始］に設定しても、相手からテレビ電話がかかってきた場合は、転送先が3G-324M（☞P.84）に準拠したテレビ電話対応機でないと接続されません。転送先をあらかじめご確認のうえ、転送設定を行ってください。
- 圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送登録したお客様のご負担となります。

次ページへ続く

お知らせ

- 転送先からの申し出があり、当社が必要と認めるときは、その転送を中止していただくことがあります。
- PBX、ポケットベル※、FAXを転送先とした場合、かけてきた方に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。
- 着信音が鳴っている間に応答すると、転送されずに通話できます。

転送でんわサービスを停止する

◉ 4 3 2

1 **詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［転送でんわ］→［転送サービス停止］の順に選んで、［はい］を選ぶ。**

- 転送サービスが停止され、メッセージが表示されます。

お知らせ

- ［転送サービス停止］とは、転送でんわサービスの契約そのものを解約するものではありません。

通話中にかかってきた電話を転送先へ転送する

通話中（iモード待機中）に別の電話がかかってきたときも、その電話を登録されている転送先へ転送できます。

- 着信動作選択（☞P.439）を［通常着信］に設定している場合のみ、着信転送できます。

1 **通話中着信音が鳴っている間に◉→3［着信転送］を選ぶ。**

- かかってきた電話を登録されている転送先へ転送します。

着信音が鳴っているときに電話を転送先へ転送する

1 **着信音が鳴っている間に◉→3［着信転送］を選ぶ。**

- かかってきた電話を登録されている転送先へ転送します。

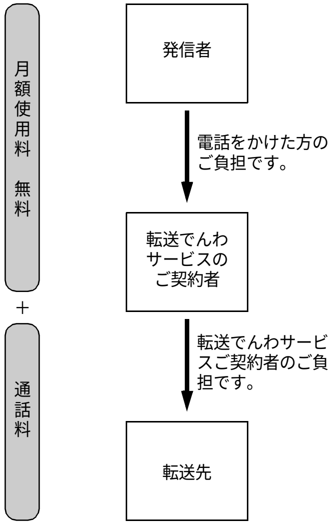
転送ガイダンス有・無を設定する場合

1 **待受画面で1→4→2→9→発信を押す。**

- 音声ガイダンスに従って設定してください。
- 詳しくは「ネットワークサービス操作ガイド」をご覧ください。

転送でんわサービスの料金

■ 通話料金

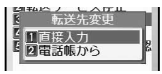


※ 転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始／停止などの操作の通話料は無料です。

◉ 4 3 3

転送先を変更する＜転送先変更＞

1 **詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［転送でんわ］→［転送先変更］の順に選んで、入力方法を選んで電話番号を修正する。**



直接入力する	1［直接入力］→電話番号を入力→◉
電話帳から入力する	2［電話帳から］→名前→◉→◉

2 **転送でんわサービスを開始するかどうかを選ぶ。**

転送先を変更するだけ	1［転送先変更のみ］
転送先を変更してからサービスを開始する	2［転送先変更＋開始］

- 転送先電話番号が変更されます。

ネットワークサービス

＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

◉4 3 4

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで応対する<転送先通話中時設定>

- 留守番電話をご利用になるには、留守番電話サービス（月額使用料：有料）のお申し込みが必要です。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［転送でんわ］→［転送先通話中時設定］の順に選んで、［はい］を選ぶ。

- 転送先通話時留守番サービスが設定され、メッセージが表示されます。

お知らせ

- テレビ電話がかかってきたときは、留守番電話サービスを［開始］に設定していても留守番電話サービスセンターに接続されず、相手には話中音が流れます。

◉4 3 5

転送サービス設定を確認する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［転送でんわ］→［転送サービス設定確認］の順に選ぶ。

- 現在の設定内容が表示されます。

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話や悪質なセールス電話など、特定の相手からの電話が着信しないように登録できます。最大30件まで登録できます。

- 迷惑電話ストップサービスは、お申し込みが必要なオプション（月額使用料：無料）サービスです。
- 圏外のときは、迷惑電話ストップサービスは設定できません。
- 迷惑電話ストップサービスで拒否登録した電話番号からテレビ電話着信があった場合、着信拒否ガイダンスは流れずに、切断されます。

◉4 4 1

最後に着信応答した電話番号を迷惑電話ストップサービスに登録する<迷惑電話着信拒否登録>

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［迷惑電話ストップ］→［迷惑電話着信拒否登録］の順に選んで、［はい］を選ぶ。

- 電話番号が登録され、メッセージが表示されます。
- 最後に着信応答した電話番号が迷惑電話ストップサービスに登録されます。
- すでに30件登録されているときは、［限度数を超えました　最も古い登録を削除し迷惑電話を登録しますがよろしいですか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押すと、上書登録されます。

◉4 4 2

登録した電話番号をすべて削除する<迷惑電話全登録削除>

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［迷惑電話ストップ］→［迷惑電話全登録削除］の順に選んで、［はい］を選ぶ。

- 電話番号が削除され、メッセージが表示されます。

■ 最後に登録した電話番号１件のみを削除する<迷惑電話１登録削除>

◉4 4 3

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［迷惑電話ストップ］→［迷惑電話１登録削除］の順に選んで、［はい］を選ぶ。

- 電話番号が削除され、メッセージが表示されます。

お知らせ

- 迷惑電話番号を削除する方法は、すべて削除、または最後に登録した１件の削除のいずれかです。特定の番号のみの削除はできません。

※ 2001 年１月から、ドコモのポケットベルは、「クイックキャスト」に名称が変わりました。

各サービス利用時の応答

次の各サービスの開始中に迷惑電話着信拒否登録した方から着信があった場合、次のようになります。

サービス名	迷惑電話着信拒否登録した方への応答
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。

お知らせ

- 最後に着信して通話した相手の電話番号だけでなく、拒否する電話番号を指定して登録することもできます。ガイダンスに従って操作することもできます。
- 相手が発信者番号を通知してこない電話でも拒否登録できます。
- 国際電話を拒否登録できない場合があります。
- 拒否登録した電話番号は確認や問い合わせをすることはできません。拒否登録した電話番号は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
- この機能によって着信しなかった場合、着信履歴に記憶されません。

発信者番号通知サービス

相手の電話機に自分の電話番号を通知する

発信時に相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号をお知らせできます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

- 圏外のときは、発信者番号通知の設定はできません。
- お申し込み時は、[通知しない]に設定されています。

◉452

発信者番号を通知する <発番号通知設定>

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→[サービス]→[発信者番号通知]→[発番号通知設定]の順に選ぶ。

- ネットワーク暗証番号入力画面が表示されます。

2 ネットワーク暗証番号（4桁の数字）を入力し、[はい]を選ぶ。

- 発番号通知が設定され、メッセージが表示されます。

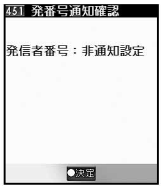
お知らせ

- 発信者番号通知サービスは、相手の電話機が発信者番号表示可能な場合に利用できます。
- 発信者番号は、お客様の大切な情報です。[通知する]／[通知しない]の設定については十分にご注意ください。
- 電話番号を入力したときや、電話帳、リダイヤルまたは着信履歴で電話番号を表示させたときに、発信者番号の通知／非通知を選ぶこともできます。
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが流れた場合は発信者番号通知設定を[通知する]に設定してからおかけ直しください。

◉451

設定内容を確認する <発番号通知設定確認>

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→[サービス]→[発信者番号通知]→[発番号通知設定確認]の順に選ぶ。



非通知設定の場合

- 現在の設定内容が表示されます。

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービスを利用する

発信者番号が通知されない電話がかかってきたとき、「番号の通知のお願い」を案内し、自動的に電話を切るサービスです。相手がわからないなどによるトラブルを防ぎ、安心できる携帯電話の活用が可能になります。

- 番号通知お願いサービスは、お申し込み不要です。
- 発信者番号の非通知理由が発信者の意思により発信者番号を通知しない[非通知設定]の場合のみはたらきます。（[公衆電話][通知不可能]は対象外です。）
- ガイダンスにかかわる通話については、発信者に通話料金がかかります。
- 圏外のときは、番号通知お願いサービスの設定はできません。
- お申し込み時は、[停止]に設定されています。

お知らせ

- サービス開始後、発信者番号を通知しない電話へは、番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れます。
- 非通知設定のテレビ電話着信があった場合、番号通知お願いガイダンスは流れずに、切断されます。

＊メニューを切り替えるときは◉[◉基本メニューへ]または[◉詳細メニューへ]を押します。（☞P.35）

お知らせ

- 番号通知お願いサービスの設定は、お客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末からのみ［開始］／［停止］の操作が可能です。遠隔操作はできません。［開始］／［停止］の操作に通信・通話料はかかりません。
- 番号通知お願いサービスを［開始］に設定しているときに［非通知設定］で音声電話やテレビ電話がかかってきた場合、着信履歴に記憶されず、不在着信も表示されません。
- FOMA端末の非通知理由別着信拒否（☞P.171）と番号通知お願いサービスを同時に設定した場合は、番号通知お願いサービスが優先されます。

各サービス利用時の応答中の着信とサービスとの関係

番号通知お願いサービスを［開始］に設定している場合、次の各サービスの開始中に、発信者番号を通知しない着信があった場合、次のようになります。

サービス名	発信者番号を通知しない方への応答
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	迷惑電話着信拒否登録した電話番号から着信すると、着信拒否ガイダンスが流れます。

◉ 4 6 1

番号通知お願いサービスを開始する＜番号通知サービス開始＞

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［番号通知お願いサービス］→［番号通知サービス開始］の順に選んで、［はい］を選ぶ。

- 番号通知お願いサービスが開始され、メッセージが表示されます。

◉ 4 6 2

番号通知お願いサービスを停止する＜番号通知サービス停止＞

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［番号通知お願いサービス］→［番号通知サービス停止］の順に選んで、［はい］を選ぶ。

- 番号通知お願いサービスが停止され、メッセージが表示されます。

◉ 4 6 3

設定内容を確認する＜サービス設定確認＞

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［番号通知お願いサービス］→［サービス設定確認］の順に選ぶ。

- 現在の設定内容が表示されます。

デュアルネットワークサービス

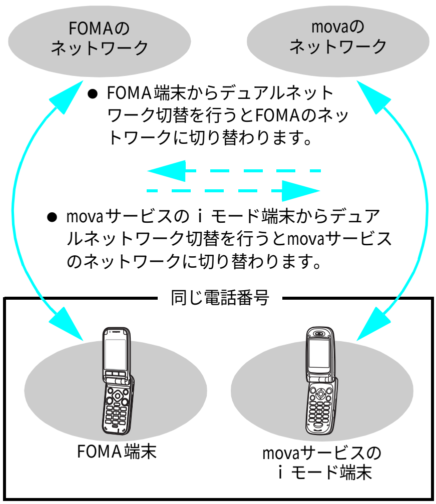
デュアルネットワークサービスを利用する

高品質な通信サービスのFOMA端末と、広範囲なサービスエリアを持つmovaサービスのｉモード端末とを、同じ電話番号で使い分けることができます。

- デュアルネットワークサービスは、お申し込みが必要なオプション（月額使用料：有料）サービスです。
- デュアルネットワークサービスで切り替えられるネットワークとは、ｉモードセンターやネットワークサービスセンターを含めたサービス全体を表しています。
- 圏外のときは、デュアルネットワークの設定はできません。
- movaサービスへ切り替えたあと、FOMA端末からは操作できません。

デュアルネットワークサービスの切り替え

デュアルネットワークサービスの切り替えは、サービスエリア内で利用不可状態のFOMA端末またはmovaサービスのｉモード端末から操作することにより行います。



※ 一部のサービスはご利用になれません。
※ FOMAとmovaを同時にご利用いただくことはできません。

◎4＊1

FOMA端末を使えるようにする

FOMAのネットワークに切り替えます。

1 **詳細メニュー：待受画面で◎→ Settings（設定）→［サービス］→［デュアルネットワーク］→［デュアルネットワーク切替］の順に選ぶ。**

- ネットワーク暗証番号入力画面が表示されます。

2 **ネットワーク暗証番号（4桁の数字）を入力し、［はい］を選ぶ。**

- 入力したネットワーク暗証番号は、「※」で表示されます。
- ネットワーク切替が終了します。

お知らせ

- ネットワーク切替を行うときは、アンテナ表示でサービスエリアであることを確認してください。FOMA端末、movaサービスのｉモード端末の画面の［ ］は、電波状態を示しているもので、ネットワーク利用可能、不可能の状態を示しているものではありません。

◎4＊2

設定内容を確認する ＜ネットワーク状態確認＞

1 **詳細メニュー：待受画面で◎→ Settings（設定）→［サービス］→［デュアルネットワーク］→［ネットワーク状態確認］の順に選ぶ。**

- 現在の設定内容が表示されます。

英語ガイダンス ◎4#1

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスの言語を設定できます。また、番号通知お願いサービスなど、お客様へ電話をかけてきた方へのガイダンスの言語を設定することもできます。

- ご利用可能なガイダンスの言語は日本語と英語です。
- ガイダンスの言語設定は発信時、着信時それぞれについて設定できます。
- 圏外のときは、英語ガイダンスの設定はできません。
- 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

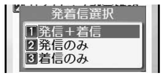
■利用できるガイダンスの種類

	メニュー項目	ガイダンスの内容
発信時（ネットワークサービス設定時に流れるガイダンス）	日本語	すべて日本語ガイダンスで流れます。
	英語	すべて英語ガイダンスで流れます。
着信時（相手がかけてきたときに流れるガイダンス）	日本語	すべて日本語ガイダンスで流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、そのあとに英語ガイダンスが流れます。※
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、そのあとに日本語ガイダンスが流れます。※

- お申し込み時は、発信時、着信時どちらも、「日本語」に設定されています。
- 着信時のガイダンスは英語のみのガイダンスに設定することはできません。

※ ドコモの携帯電話どうしでの通話の場合、発信者側の発信時の設定が着信側の着信時の設定より優先されガイダンスされます。

1 **詳細メニュー：待受画面で◎→ Settings（設定）→［サービス］→［英語ガイダンス］→［ガイダンス設定］の順に選んで、ガイダンスの種類を選ぶ。**



発信時と着信時のガイダンスを設定する	1［発信＋着信］
発信時のみのガイダンスを設定する	2［発信のみ］
着信時のみのガイダンスを設定する	3［着信のみ］

2 **言語の種類を選ぶ。**

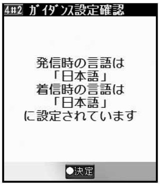
発信時のガイダンス		着信時のガイダンス	
日本語	1［日本語］	日本語	1［日本語］
英語	2［英語］	日本語＋英語	2［日本語＋英語］
		英語＋日本語	3［英語＋日本語］

- 発信時と着信時のガイダンス設定は、発信時のみのガイダンス設定と同じ種類です。

◉ 4 # 2

設定内容を確認する＜ガイダンス設定確認＞

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ (設定)→［サービス］→［英語ガイダンス］→［ガイダンス設定確認］の順に選ぶ。



● 現在の設定内容が表示されます。

サービスダイヤル

サービスダイヤルを利用する

お買い上げ時は、FOMAカードにはあらかじめ「ドコモ故障問合せ」と「ドコモ総合案内・受付」の電話番号が登録されています。メニュー操作で電話をかけることができます。

● 圏外のときは、電話をかけることはできません。

◉ 4 i 0 1

故障問い合わせ先へ電話をかける

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」（☞P.534～P.535）を参照してお調べください。

お知らせ

● FOMAカードに総合お問い合わせ先や故障のお問い合わせ先が登録されていない場合は、本機能はご利用になれません。
● 表示される画面や発信する番号は、FOMAカードにより異なる場合があります。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ (設定)→［サービス］→［サービスダイヤル］→［ドコモ故障問合せ］の順に選ぶ。

◉ 4 i 0 2

総合案内・受付へ電話をかける

● サービスダイヤルの番号は、本書裏面を参照してください。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ (設定)→［サービス］→［サービスダイヤル］→［ドコモ総合案内・受付］の順に選ぶ。

着信動作選択 ◉ 4 9

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ

通話中に別の音声電話がかかってきたときの動作を選択できます。

● 着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を［開始］に設定してください。

選択できる着信動作

留守番電話	通話中にかかってきた音声電話を留守番電話サービスに自動で接続します。留守番電話サービスの［開始］／［停止］に関係なく、伝言メッセージをお預かりします。
転送でんわ	通話中にかかってきた音声電話を転送でんわサービスに自動で接続します。転送でんわサービスの［開始］／［停止］に関係なく、登録してある電話番号に転送します。
着信拒否	通話中にかかってきた音声電話の着信を自動で拒否します。
通常着信	キャッチホンが［開始］に設定されている場合、キャッチホンの利用が可能です。 キャッチホンが［停止］に設定されている場合、次のいずれかの動作が可能です。 ● 通話中の音声電話を終了し、かかってきた音声電話に出ることができます。 ● 通話中にかかってきた音声電話を手動で留守番電話サービスや転送でんわサービスへ接続、または着信拒否できます。 ● 留守番電話サービスや転送でんわサービスが［開始］に設定されているときは、その設定に従います。

● キャッチホンを使用するときは、［通常着信］に設定してください。
● 着信動作選択がいずれの設定の場合でも、通話中に着信があったことを着信履歴でお知らせします。
● お買い上げ時は、［通常着信］に設定されています。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ (設定)→［サービス］→［着信動作選択］の順に選んで、着信動作を選ぶ。

留守番電話	1［留守番電話］
転送でんわ	2［転送でんわ］
着信拒否	3［着信拒否］
通常着信	4［通常着信］

ネットワークサービス

次ページへ続く

お知らせ

- テレビ電話中やテレビ電話を着信した場合、または64Kデータ通信の着信をした場合は、着信動作選択どおりに動作しません。

通話中着信設定

通話中着信設定を開始／停止する

通話中着信設定を［開始］に設定すると、通話中に別の音声電話がかかってきたときに、着信動作選択（☞P.439）に従い着信させることができます。

- 通話中に、手動で留守番電話サービスや転送でんわサービスに接続することもできます。
- 圏外のときは、通話中着信設定はできません。
- 通話中着信設定を利用するには、留守番電話サービスや転送でんわサービスのお申し込みが必要です。

◉481

通話中着信設定を開始する＜通話中着信設定開始＞

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［通話中着信設定］→［通話中着信設定開始］の順に選んで、［はい］を選ぶ。

- 通話中着信設定が開始され、メッセージが表示されます。

◉482

通話中着信設定を停止する＜通話中着信設定停止＞

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［通話中着信設定］→［通話中着信設定停止］の順に選んで、［はい］を選ぶ。

- 通話中着信設定が停止され、メッセージが表示されます。

◉483

設定内容を確認する＜通話中着信設定確認＞

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［通話中着信設定］→［通話中着信設定確認］の順に選ぶ。

- 現在の設定内容が表示されます。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

遠隔操作とは、留守番電話サービスや転送でんわサービスの操作を一般電話やNTT公衆電話などから行うことです。FOMAのサービスエリア外でも操作できます。
遠隔操作を行う前に、遠隔操作設定を［開始］に設定してください。

- 圏外のときは、遠隔操作設定はできません。

◉401

遠隔操作を開始する＜遠隔操作開始＞

遠隔操作ができるように設定します。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［遠隔操作設定］→［遠隔操作開始］の順に選んで、［はい］を選ぶ。

- 遠隔操作が開始され、メッセージが表示されます。

◉402

遠隔操作を停止する＜遠隔操作停止＞

遠隔操作ができないように設定します。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［遠隔操作設定］→［遠隔操作停止］の順に選んで、［はい］を選ぶ。

- 遠隔操作が停止され、メッセージが表示されます。

ネットワークサービス

＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

設定内容を確認する＜遠隔操作設定確認＞

1 **詳細メニュー：待受画面で◎→（設定）→［サービス］→［遠隔操作設定］→［遠隔操作設定確認］の順に選ぶ。**

- 現在の設定内容が表示されます。

■ 公衆電話などからネットワークサービスの操作をする

ご契約のFOMA端末の電話番号と４桁のネットワーク暗証番号を使って、一般電話、NTT公衆電話、ドコモの携帯・自動車電話などから、留守番電話サービス、転送でんわサービスの各種設定ができます。

- あらかじめFOMA端末で遠隔操作設定を［開始］に設定してください。

1 **公衆電話などから次の番号をダイヤルする。**

090-310-XXXX

- XXXXには以下の操作番号をダイヤルします。

留守番電話サービス

■ サービスの開始	1411
■ サービスの停止	1410
■ 新しい伝言メッセージの再生	1417
■ 保存した伝言メッセージの再生、サービスの設定	1416
■ 呼出時間の設定	1419

転送でんわサービス

■ サービスの各種設定	1429
■ サービスの開始（転送先登録）	1421
■ サービスの停止	1420

2 **ガイダンスに従ってサービスの設定をする。**

- 音声ガイダンスに従い、FOMA端末の電話番号とネットワーク暗証番号を入力して設定します。

マルチナンバー

マルチナンバー

マルチナンバーの詳細は、『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。

追加サービス（USSD）

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときに、新しいネットワークサービスを最大10件まで登録できます。

- 圏外のときは、追加したサービスの利用はできません。

■ 特番とサービスコード（USSD）について

- 新しいサービスが追加提供されたときは、サービスを利用するための特番またはサービスコードをドコモがお客様にお知らせします。
- FOMA端末には、新しく追加提供されたサービスの特番またはサービスコードを登録できます。
- サービスコードが提供される場合、FOMA端末には「USSD」として登録されます。

サービスを登録する<USSD登録>

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［追加サービス］→［USSD登録］の順に選ぶ。

- USSD登録画面が表示されます。

2 登録する番号にカーソルを合わせて📖→1［編集］を選んで、サービス名を入力して◉を押す。

- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
- コマンド入力画面が表示されます。

3 追加するサービスの特番またはサービスコードを入力して◉を押す。

- 新しいサービスが追加されます。

登録したサービスを利用する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［追加サービス］→［USSD登録］の順に選ぶ。

- USSD登録画面が表示されます。

2 サービスにカーソルを合わせて◉［発信］を押す。

登録したサービスを削除する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［追加サービス］→［USSD登録］の順に選ぶ。

- USSD登録画面が表示されます。

2 サービスを選び、削除方法を選ぶ。

サービスを1件削除する	📖→2［1件削除］→［はい］→◉
すべてのサービスを削除する	📖→3［全件削除］→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→◉→［はい］→◉

- サービスが削除されます。

登録したサービスの受信表示を編集する<応答メッセージ登録>

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［サービス］→［追加サービス］→［応答メッセージ登録］の順に選ぶ。

- USSD応答メッセージ登録画面が表示されます。

2 受信表示を選び、編集する。

- 新しい受信表示名が登録または変更されます。

受信表示を編集する	📖→1［編集］→受信表示名を入力→◉→特番またはサービスコードを入力→◉ ● 受信表示名は最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
受信表示を1件削除する	📖→2［1件削除］→［はい］→◉
すべての受信表示を削除する	📖→3［全件削除］→端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力→◉→［はい］→◉

ネットワークサービス

＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

データ通信

※ この章では、Windows 98とWindows 98SEをまとめてWindows 98と表記しています。

データ通信について

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の３つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をmusea™、sigmarion® II、sigmarion® IIIと接続してデータ通信を行うことができます。musea™、sigmarion® IIを使用する場合は、アップデートしてご利用ください。
  アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページを参照してください。

■ パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続中でもデータの送受信を行っていないときは通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、送信最大64kbps、受信最大384kbpsの速度でデータ通信できます。（通信環境や、電波などが混み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。）
パケット通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。メールの文字データの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。
データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。
FOMA端末では、パソコンなどによるパケット通信と音声電話を同時に利用できます。
（☞P.380）

■ 64Kデータ通信

接続している時間に応じて課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。
64Kデータ通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。データBOXコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。

■ データ転送

FOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンなどと接続し、データを転送、交換します。課金が発生しない通信形態です。電話帳、送受信メール、ブックマークなどのデータを送受信できます。

ご利用にあたっての留意点

■ インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この 利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に、インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

■ 接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは、FOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

■ ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA USB接続ケーブルに対応したパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、前述の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況などにより通信ができないことがあります。

お知らせ

- パケット接続を行う場合は、FOMA端末と接続する機器がJATE（財団法人電気通信端末機器審査協会）の認定品である必要があります。

データ通信用語集

APN（Access Point Name）
インターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列。ドコモのインターネット接続サービスmoperaは「mopera.ne.jp」、mopera Uは「mopera.net」がAPNとなります。

cid（Context Identifier）
FOMA端末にAPNを登録するときに割り当てる登録番号。FOMA端末では1番から10番まで使えます。

DNS（Domain Name System）
ドメインネーム（例：mopera.ne.jp）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

OBEX（Object Exchange）
データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データを送受信できます。

QoS（Quality of Service）
サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。
（☞P.476、P.483、P.484）

W-CDMA
世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム（IMT-2000）の1つ。FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

W-TCP
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。
FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

パソコンの管理者権限を持ったユーザー
Windows XP、2000 Professionalを使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

パソコンとFOMA端末を接続する（☞P.446）

↓

通信設定ファイルをインストールする（☞P.447）

	Windows XPをお使いのとき	Windows 2000 Professionalをお使いのとき	Windows Meをお使いのとき	Windows 98をお使いのとき
インストールする	P.447	P.448	P.448	P.449
インストール後の確認をする	P.450	P.450	P.450	P.450

↓

FOMA PC設定ソフトをインストールする（☞P.452）

↓

かんたん設定でパケット通信の設定をする
- mopera Uまたはmopera※（☞P.455）
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダ（☞P.456）

かんたん設定で64Kデータ通信の設定をする
- mopera Uまたはmopera※（☞P.457）
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダ（☞P.458）

↓

接続する（☞P.459）

（または、FOMA PC設定ソフトのインストール後）

↓

FOMA PC設定ソフトを使わずに通信の設定をする
- パケット通信（☞P.462）
- 64Kデータ通信（☞P.462）

↓

接続する（☞P.471）

※ FOMA でインターネットをするには、ブロードバンド接続や国際ローミングなどに対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。

通信設定ファイルについて

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、添付のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります。(☞P.447〜P.450)

お知らせ

- インストールに失敗してP.450の操作3の各画面で［FOMA SH851i］のデバイス名が表示されていない場合は、通信設定ファイルをアンインストールし(☞P.451)、もう一度インストールしてください。
- 何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし（☞P.451)、もう一度インストールしてください。
- 自動検索の設定などで、誤って異なるOSのドライバをインストールすると、正しく動作しません。いったん、通信設定ファイルをアンインストールしてから、正しくインストールし直してください。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信や、64Kデータ通信に必要なさまざまな設定を、簡単に行うことができます。(☞P.451)
また、FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末より取得したユーザ証明書を利用してパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにしたものです。
詳しくはCD-ROM内のFirstPassManualをご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。(別途通信料がかかります。）詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

動作環境の確認

通信設定ファイル・FOMA PC設定ソフトは、以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT互換機
OS	Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP（各日本語版）
必要メモリ※2	Windows 98、Windows Me：32MB以上 Windows 2000 Professional：64MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量※2	5MB以上の空き容量

※1　USBポート（USB仕様1.1/2.0に準拠）が必要です。

※2　必要メモリ・ハードディスク容量は、「FOMA　PC設定ソフト」に関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

FirstPass PCソフトは、以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS	Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP（各日本語版） (Windows 98には対応していません。)
必要メモリ※	Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional：32MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク※	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Internet Explorer 5.5以上 ● Windows XPの場合はInternet Explorer 6.0以上

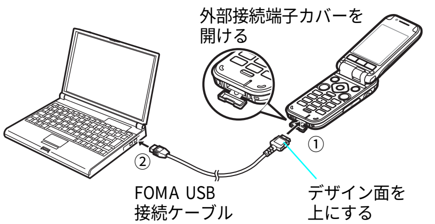
※ 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。通信設定ファイルがインストールされている場合には、FOMA端末の画面に［ ］が表示されます。

FOMA USB接続ケーブルで接続する



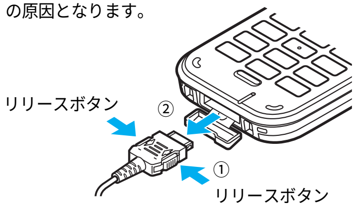
1 **FOMA USB接続ケーブル（別売）のFOMA端末側コネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む。(①)**

2 FOMA USB接続ケーブルのパソコン側コネクタをパソコンのUSBコネクタに差し込む。(②)

● はじめてパソコンに接続する場合は、FOMA USB接続ケーブルが差し込まれたことを自動的に認識し、ウィザード画面が表示されます。(☞P.447)

取り外しかた

1 FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側のリリースボタンを押した状態(①)で、FOMA端末からコネクタを水平に引き抜きます(②)。無理に引っ張ると故障の原因となります。



2 パソコンからFOMA USB接続ケーブルのコネクタを抜きます。

お知らせ

● FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら接続することもできます。

通信設定ファイルをインストールする

通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

Windows XPにインストールする

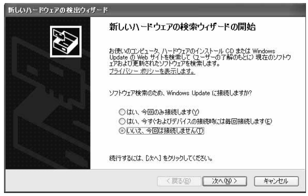
パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする。

2 FOMA端末をパソコンに接続する。

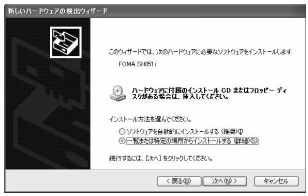
● ウィザードの開始画面が表示されます。

3 [いいえ、今回は接続しません]を選んで[次へ]をクリックする。



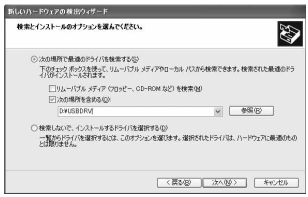
● お使いのパソコンにより、この画面が表示されない場合があります。

4 [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選んで[次へ]をクリックする。



● 検索場所の指定画面が表示されます。

5 検索するフォルダを指定する。



1 [次の場所で最適のドライバを検索する]を選ぶ。

2 [次の場所を含める]を選んで[参照]をクリックする。
次のフォルダを指定します。
<CD-ROMドライブ名>:\USBDRV

3 [次へ]をクリックする。
インストールが開始されます。インストールが終了すると検索ウィザードの完了画面が表示されます。

6 [新しいハードウェアの検索ウィザードの完了]が表示されたら、[完了]をクリックする。

● インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。

次ページへ続く

7 引き続き他のドライバをインストールする。

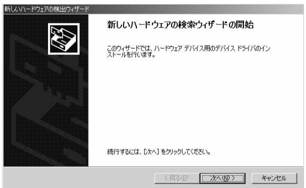
- 以降、操作3～6をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。
  ①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ
  ③コマンドポートドライバ
  すべてのドライバのインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから［新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました］というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。（☞P.450）

Windows 2000 Professionalにインストールする

パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。

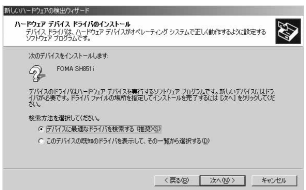
1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする。

2 FOMA端末をパソコンに接続し、［次へ］をクリックする。



- 検索方法の選択画面が表示されます。

3 ［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選んで［次へ］をクリックする。

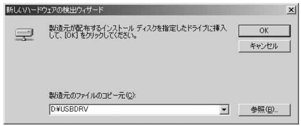


- 検索場所の指定画面が表示されます。

4 ［場所を指定］を選んで［次へ］をクリックする。

- コピー元の指定画面が表示されます。

5 コピー元を指定して［OK］をクリックする。



- 検索終了画面が表示されます。
- コピー元には次のフォルダを指定します。
  <CD-ROMドライブ名>:\USBDRV
- ［参照］をクリックした場合は、上記フォルダからいずれかのファイルを選んで［開く］をクリックします。

6 ［ドライバファイルの検索　ハードウェアデバイスのドライバファイル検索が終了しました。］が表示されたら、［次へ］をクリックする。

- インストールが開始されます。インストールが終了すると検索ウィザードの完了画面が表示されます。
- 表示されるフォルダ名は、お使いのパソコンによって異なります。

7 ［完了］をクリックする。

- インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。

8 引き続き他のドライバをインストールする。

- 以降、操作3～7をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。
  ①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ
  ③コマンドポートドライバ
- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。（☞P.450）

Windows Meにインストールする

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする。

2 FOMA端末をパソコンに接続し、［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選んで［次へ］をクリックする。



- 検索場所の指定画面が表示されます。

3 検索するフォルダを指定する。



1 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選ぶ。
2 ［検索場所の指定］を選んで［参照］をクリックする。
次のフォルダを指定します。
<CD-ROMドライブ名>:\USBDRV
3 ［次へ］をクリックする。
インストール準備完了画面が表示されます。

4 ［新しいハードウェアの検索ウィザードの開始］が表示されたら、［次へ］をクリックする。

- インストールが開始されます。インストールが終了するとウィザードの完了画面が表示されます。
- 表示されるフォルダ名はお使いのパソコンによって異なります。

5 ［完了］をクリックする。

- インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。

6 引き続き他のドライバをインストールする。

- 以降、操作3～5をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。
①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ
③コマンドポートドライバ
- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。（☞P.450）

Windows 98にインストールする

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする。

2 FOMA端末をパソコンに接続し、［次へ］をクリックする。



- 検索方法の選択画面が表示されます。

3 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選んで［次へ］をクリックする。



- 検索場所の指定画面が表示されます。

4 検索するフォルダを指定する。

1 ［検索場所の指定］を選んで［参照］をクリックする。
次のフォルダを指定します。
<CD-ROMドライブ名>:\USBDRV
2 ［次へ］をクリックする。
インストールを確認する画面が表示されます。

5 ［更新されたドライバ（推奨）］を選んで［次へ］をクリックする。



- インストール準備完了画面が表示されます。

6 ［次のデバイス用のドライバファイルを検索します。］が表示されたら、［次へ］をクリックする。

- インストールが開始されます。
- 表示されるフォルダ名はお使いのパソコンによって異なります。

7 ［新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。］が表示されたら、［完了］をクリックする。

- インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。

次ページへ続く

8 ［次の新しいドライバを検索しています：］が表示されたら［次へ］をクリックし、引き続き他のドライバをインストールする。

- 以降、操作3～7（操作5を除く）をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。
  ①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ
  ③コマンドポートドライバ
- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。（下記参照）

インストールした通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。
〈例〉Windows XPで確認するとき

1 ［スタート］メニュー→［コントロールパネル］をクリックし、［パフォーマンスとメンテナンス］アイコン→［システム］アイコンをクリックする。

- システムのプロパティ画面が表示されます。

Windows 2000 Professional、Me、98の場合

- ［スタート］メニュー→［設定］→［コントロールパネル］の順に選んで［システム］アイコンをダブルクリックします。

2 ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックする。

- デバイスマネージャ画面が表示されます。

Windows 2000 Professionalの場合

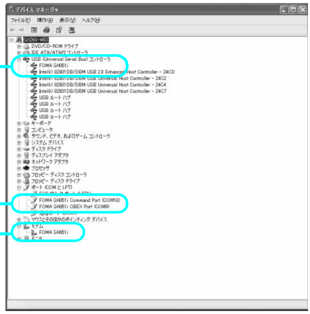
- ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックします。
  デバイスマネージャ画面が表示されます。

Windows Me、98の場合

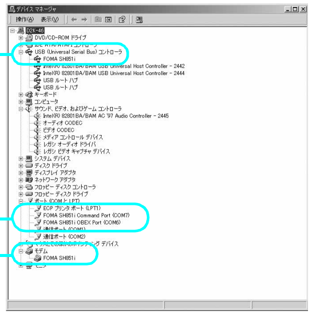
- ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。
  デバイスマネージャ画面が表示されます。

3 各デバイスをクリックしてインストールされたデバイス名を確認する。

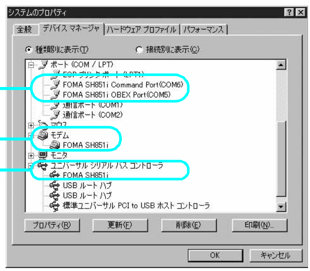
［ポート（COMとLPT）］または［ポート（COM／LPT）］［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］または［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］［モデム］の箇所に、インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。



Windows XPの場合



Windows 2000 Professionalの場合



Windows Me、98の場合

認識されるとこのように表示されます。

- 通信設定ファイルをインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイスの種類	デバイス名
ポート（COM/LPT）	● FOMA SH851i Command Port（COMx） ● FOMA SH851i OBEX Port（COMx）
モデム	● FOMA SH851i
USB（Universal Serial Bus）コントローラ	● FOMA SH851i

※「COMx」の「x」は数値です。お使いのパソコンによって異なります。

関連操作

インストールに失敗したとき、または操作3の画面に［FOMA SH851i］が表示されていないとき

- アンインストールしてから再度インストールしてください。

［スタート］メニューの［ファイル名を指定して実行］をクリック▶［<CD-ROMドライブ名>:\USBDRV\sh851iu.exe］を指定▶［OK］をクリック

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

通信設定ファイルのアンインストール手順を説明します。OSによって画面表示などが異なります。

- Windows XP、2000 Professionalで通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。
  パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。

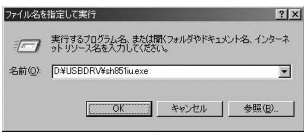
〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

1 **添付のCD-ROMをパソコンにセットする。**

2 **［スタート］メニュー→［ファイル名を指定して実行］をクリックする。**

- ［ファイル名を指定して実行］画面が表示されます。

3 **［<CD-ROMドライブ名>：¥USBDRV¥sh851iu.exe］と入力し、［OK］をクリックする。**



4 **［アンインストールを開始しますか？］が表示されたら、［はい］をクリックする。**

- 通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。

5 **［アンインストールが完了しました。］が表示されたら、［OK］をクリックする。**

- 通信設定ファイルのアンインストールが終了します。

Windows 98の場合

- ［今すぐ再起動しますか？］が表示されたら、［はい］をクリックして、パソコンを再起動してください。

お知らせ

- Windows Meの場合、通信設定ファイルをアンインストールしたあと、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できないことがあります。その場合は、FOMA USB接続ケーブルを一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定をできます。

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成を行い、同時にW-TCPの設定などを自動で行います。

W-TCPの設定

［FOMAパケット通信］を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。

通信性能を最大限に活用するには、［W-TCP設定］による通信設定の最適化が必要です。

次ページへ続く

接続先（APN）の設定
パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。お買い上げ時、cidの1番にはmoperaに接続するためのAPN［mopera.ne.jp］、cidの3番にはmopera Uに接続するためのAPN［mopera.net］が登録されていますが、mopera Uまたはmopera以外のプロバイダや企業内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。
cid ［Context Identifier］…
パケット通信の接続先（APN）に対応した番号のこと。FOMA端末にAPN登録をするときに設定します。

お知らせ

- FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。（☞P.462）

FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

FOMA PC設定ソフトの動作環境をご確認ください。（☞P.446）

STEP 1 FOMA PC設定ソフトをインストールする
お使いのパソコンに、本機種より前に発売されたFOMA端末に添付のW-TCP環境設定ソフト（以後、旧［W-TCP設定ソフト］）およびFOMAデータ通信設定ソフト（以後、旧［FOMAデータ通信設定ソフト］）、FOMA PC設定ソフトをインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
FOMA PC設定ソフトは、データ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。

STEP 2 設定前の準備
設定を行う前に以下のことを確認してください。
- FOMA端末とパソコンの接続（☞P.446）
- FOMA端末がパソコンに認識されているか（☞P.450）

STEP 3 かんたん設定で通信の設定を行う
- mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信（☞P.455）
- その他のプロバイダを利用したパケット通信（☞P.456）
- mopera Uまたはmoperaを利用した64Kデータ通信（☞P.457）
- その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信（☞P.458）

その他の設定は、P.462以降を参照してください。

STEP 4 接続する（☞P.459）
インターネットに接続します。

お知らせ

- FOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、接続先（APN）設定の際、接続先（APN）の情報の取得・書き込みができません。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトをインストールする

- Windows XP、2000 ProfessionalでFOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。
- インストールを始める前に、稼動中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがある場合は、FOMA PC設定ソフトの［キャンセル］をクリックし、使用中のプログラムを保存終了させたあと、インストールを再開してください。

〈例〉Windows XPにインストールするとき
- Windows XP以外をご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットし、SETUP.EXEを起動する。

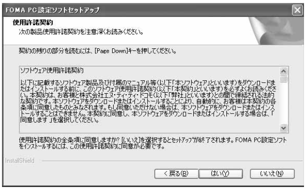
1 ［スタート］メニュー→［ファイル名を指定して実行］をクリックする。
2 ［<CD-ROMドライブ名>:\FOMA_PCSET\SETUP.EXE］を指定し、［OK］をクリックする。

FirstPass PCソフトをインストールする場合
- 2で［<CD-ROMドライブ名>:\FirstPassPCSoft\FirstPassPCSetup.exe］を指定し、［OK］をクリックします。
- CD-ROM内のFirstPassPCSoftフォルダ内の［FirstPassManual］の手順に従ってインストールしてください。

2 ［ようこそ］の画面で［次へ］をクリックする。

- 旧［W-TCP設定ソフト］および旧［FOMAデータ通信設定ソフト］がインストールされているという画面や、すでに［FOMA PC設定ソフト］がインストールされているという画面が表示された場合は、P.453を参照してください。

3 内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は［はい］をクリックする。



- FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約書です。［いいえ］をクリックすると、インストールは中止されます。

4 ［タスクトレイに常駐する］が☑であることを確認し、［次へ］をクリックする。



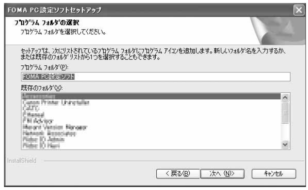
- セットアップ後、タスクトレイにW-TCP設定が常駐します。（☞P.460）
  これは、W-TCP通信の最適化の設定・解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
  インストール後に常駐の設定は変更できます。

5 インストール先を確認し、［次へ］をクリックする。



- 変更する場合は［参照］をクリックし、任意のインストール先を指定して［次へ］をクリックしてください。

6 プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックする。



- 変更する場合はフォルダ名を入力して［次へ］をクリックしてください。

7 ［セットアップの完了］の画面で［完了］をクリックする。

- FOMA PC設定ソフトが起動します。
  このまま各種設定を始められます。
  （☞P.455）

■ FOMA PC設定ソフト インストール時の注意

- 旧「W-TCP設定ソフト」、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」または「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合

旧「W-TCP設定ソフト」、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」または「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合、警告画面が表示されます。［OK］をクリックし、［アプリケーション（プログラム）の追加と削除］よりこれらのソフトをアンインストールしてから「FOMA PC設定ソフト」をインストールしてください。

- インストール途中で［キャンセル］をクリックした場合

セットアップ途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックし、インストールを中断した場合、セットアップの中止画面が表示されます。インストールを継続する場合は［いいえ］を、意図的に中止する場合は、［はい］をクリックしてください。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトをアンインストールする

アンインストールを実行する前に

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする前に、FOMA用に変更された通信設定を元に戻す必要があります。

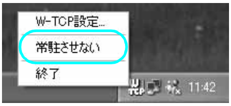
- Windows XP、2000 ProfessionalでFOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。

1 **タスクトレイの［W-TCP］を右クリックし、［常駐させない］をクリックする。**

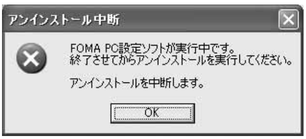
右クリック



クリック



2 **起動中のプログラムを終了させる。**



- FOMA PC設定ソフトやW-TCP設定ソフトが起動中にアンインストールを実行しようとすると、上のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

アンインストールする

<例>Windows XPでアンインストールするとき

1 **［スタート］メニュー→［コントロールパネル］をクリックし、［プログラムの追加と削除］アイコンをクリックする。**

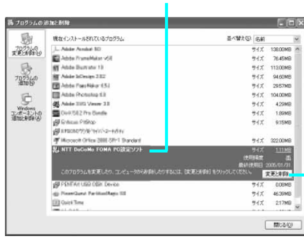
- プログラムの追加と削除画面が表示されます。

Windows 2000 Professional、Me、98の場合

- ［スタート］メニュー→［設定］→［コントロールパネル］の順に選んで［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。アプリケーションの追加と削除画面が表示されます。

2 **［NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト］を選んで［変更と削除］をクリックする。**

［NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト］を選ぶ



ここをクリック

FirstPass PCソフトをアンインストールする場合

- ［FirstPass PCソフト］を選んで［変更と削除］をクリックします。

Windows Me、98SEの場合

- ［追加と削除］をクリックします。

Windows 2000 Professionalの場合

- ［変更と削除］をクリックする

3 **削除するプログラム名を確認し、［はい］をクリックする。**

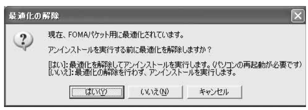
- FOMA PC設定ソフトのアンインストールが開始されます。

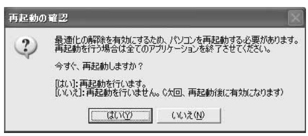
4 **［OK］をクリックする。**

- FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。

W-TCP最適化の解除

- W-TCPが最適化されている場合は次の画面が表示されます。
- 通常は［はい］をクリックして、最適化を解除してアンインストールを行ってください。
  W-TCP最適化の解除は、再起動後に行われます。





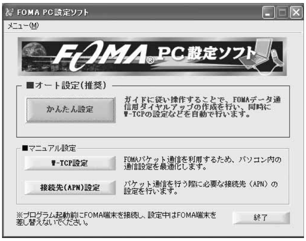
データ通信

各種設定前の準備

この設定ソフトでは、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

- 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。（☞P.446）

1 **プログラムを起動する。**



- ［スタート］メニュー→［プログラム］（Windows XPの場合は、［すべてのプログラム］）→［FOMA PC設定ソフト］の順に選びます。
  FOMA PC設定ソフトを起動すると上の画面が表示されます。

タスクトレイからW-TCP設定を操作する場合

- タスクトレイの［ ］をクリックし、W-TCP設定を起動してください。（☞P.460）



各種設定の方法

■ かんたん設定からパケット通信を選択する場合（mopera Uまたはmoperaを利用）

最大384kbpsの高速パケット通信※の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。

※【高速パケット通信】送受信したデータ量に応じて課金されます。接続時間を気にせずデータ通信ができます。送信最大64kbps、受信最大384kbps（一部機種を除く）の高速パケット通信が可能です。通信環境や、電波などが混み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。パケット通信を利用して画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータの多い通信を行うと、通信料が高額になりますので、ご注意ください。

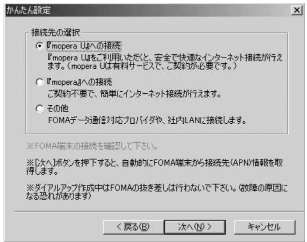
1 **FOMA PC設定ソフトを起動し、［かんたん設定］をクリックする。**



2 **［パケット通信］を選んで［次へ］をクリックする。**



3 **［「mopera U」への接続］または［「mopera」への接続］を選んで［次へ］をクリックする。**

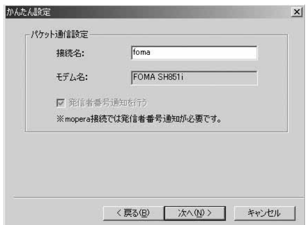


- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダをご利用の場合（☞P.456）

4 **［FOMA端末設定取得］の画面で［OK］をクリックする。**

- パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。
  しばらくお待ちください。

5 **接続名を入力して［次へ］をクリックする。**

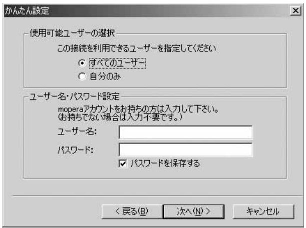


- ［接続名］欄に任意の接続名を入力します。
- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  \ / : ＊ ? ! < > ¦ ”

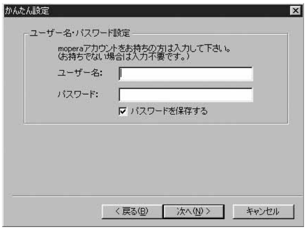
データ通信

6 ［次へ］をクリックする。

- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」については空欄でもかまいません。
- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選んでください。



Windows XP、2000 Professionalの場合



Windows Me、98の場合

7 ［最適化を行う］が☑であることを確認し、［次へ］をクリックする。



- パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認し、［完了］をクリックする。

- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  ［デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する］が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックしてください。

9 ［完了］の画面で［OK］をクリックする。

- 設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は、［はい］を選びます。
- 通信を行うには（☞P.459）

■ かんたん設定からパケット通信を選択する場合（mopera Uまたはmopera以外のプロバイダを利用）

最大384kbpsの高速パケット通信※の設定を行います。

※ 高速パケット通信について（☞P.455）

1 P.455の操作1～4を行う。

- 操作3の接続先は［その他］を選びます。

2 接続名を入力して［接続先（APN）設定］をクリックする。



- ［接続名］欄に任意の接続名を入力します。
- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ＼ / : ＊ ? ! < > ¦ ”
- お買い上げ時、［接続先（APN）の選択］には、moperaに接続するための接続先（APN）、［mopera.ne.jp］が設定されています。
- ［発信者番号通知を行う］を☑にすると、通信実行時に発信者番号を通知します。

高度な設定（TCP/IPの設定）

- ［詳細情報の設定］をクリックするとIPアドレス・ネームサーバの設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

3 接続先（APN）を設定する。

- お買い上げ時、cidの１番にはmoperaに接続するためのAPN［mopera.ne.jp］、cidの３番にはmopera Uに接続するためのAPN［mopera.net］が登録されています。
  1. ［追加］をクリックする。
     接続先（APN）の追加画面が表示されます。
  2. ［接続先（APN）］にご利用のプロバイダのFOMAパケット網に対応した接続先名（APN）を正しく入力して［OK］をクリックする。
     接続先（APN）設定画面に戻ります。
- ［接続先（APN）］には半角文字で、英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。

※cidは10まで登録可能です。

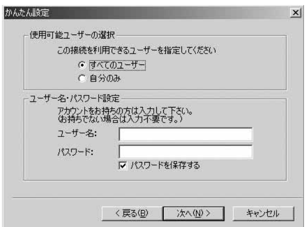
4 ［接続先（APN）設定］の画面で［OK］をクリックする。

- 操作２の画面に戻ります。［接続先（APN）の選択］には、操作３で設定した接続先（APN）が表示されます。

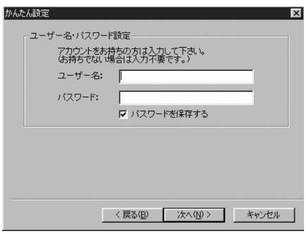
5 ［接続先（APN）の選択］で接続先名（APN）を確認し、［次へ］をクリックする。

6 ユーザー名・パスワードを設定し、［次へ］をクリックする。

- ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正確に入力してください。
- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選びます。



Windows XP、2000 Professionalの場合



Windows Me、98の場合

7 ［最適化を行う］が☑であることを確認し、［次へ］をクリックする。



- パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認し、［完了］をクリックする。

- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  ［デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する］が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックしてください。

9 ［完了］の画面で［OK］をクリックする。

- 設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］を選びます。
- 通信を行うには（☞P.459）

■ かんたん設定から64Kデータ通信を選択する場合（mopera Uまたはmoperaを利用）

64Kデータ通信※の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。

※【64Kデータ通信】接続していた時間に応じて課金されます。64kbpsの安定した通信速度によって快適なインターネットアクセスを実現できます。

1 P.455の操作１～４を行う。

- 操作２の接続方法は［64Kデータ通信］を選びます。

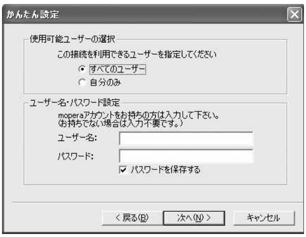
2 接続名の入力とモデムを選んで［次へ］をクリックする。



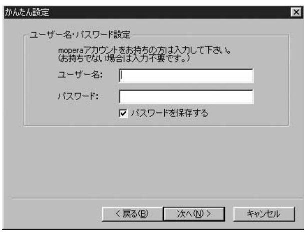
- ［接続名］欄に任意の接続名を入力します。
- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  \ / : ＊ ? ! < > ¦ ”
- ［モデムの選択］が［FOMA SH851i］に設定されていることを確認してください。

3 ［次へ］をクリックする。

- mopera Uまたはmoperaを選んだ場合は、「ユーザー名」・「パスワード」については空欄でもかまいません。
- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選びます。



Windows XP、2000 Professionalの場合



Windows Me、98の場合

4 設定情報を確認し、［完了］をクリックする。

- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  ［デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する］が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックしてください。

5 ［完了］の画面で［OK］をクリックする。

- 通信を行うには（☞P.459）

■ かんたん設定から64Kデータ通信を選択する場合（mopera Uまたはmopera以外のプロバイダを利用）

64Kデータ通信※の設定を行います。

※【64Kデータ通信】接続していた時間に応じて課金されます。64kbpsの安定した通信速度によって快適なインターネットアクセスを実現できます。

1 P.455の操作1～4を行う。

- 操作2の接続方法は［64Kデータ通信］、操作3の接続先は［その他］を選びます。

2 各項目を設定し、［次へ］をクリックする。



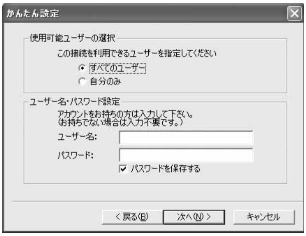
- ISDN同期64Kアクセスポイントを持つプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に以下の項目をそれぞれ登録します。
  - ■ 接続名：任意
  - ■ モデムの選択：FOMA SH851i
  - ■ 電話番号：
    プロバイダ情報を元に正しく入力してください。
- 入力できる文字は次のとおりです。
  0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D P T W a b c d p t w ! @ $ - . ( ) + ＊ # , &および半角スペース
- ［発信者番号通知を行う］を☑にすると、通信実行時に発信者番号を通知します。

高度な設定（TCP/IPの設定）

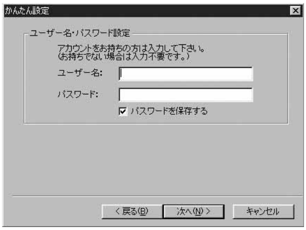
- ［詳細情報の設定］をクリックするとIPアドレス・ネームサーバ設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

3 ユーザー名・パスワードを設定し、［次へ］をクリックする。

- ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正確に入力してください。
- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選びます。



Windows XP、2000 Professionalの場合



Windows Me、98の場合

4 設定情報を確認し、[完了]をクリックする。

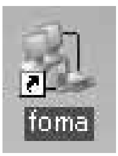
- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  [デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。

5 [完了]の画面で[OK]をクリックする。

設定した通信を実行する

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする。

- 通信が開始されます。
- 接続アイコン名には、設定を行ったときに作成した接続名が表示されます。



アイコンはOSによって異なります。

2 接続を実行する。



Windows XPの画面です。他のOSをご使用のときは、画面の表示が異なります。

- mopera Uまたはmoperaを選んだ場合は、[ユーザー名]・[パスワード]については空欄でもかまいません。
- P.458の操作3で[ユーザー名]・[パスワード]を入力した場合は、その情報が入力されています。
- mopera Uまたはmopera以外ののプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、[ユーザー名]・[パスワード]を入力して[ダイヤル]をクリックします。
- ユーザー名とパスワードを保存する項目を☑にすると、次回からは入力の必要がなくなります。

お知らせ

- デスクトップに接続アイコンがないとき
  (Windows XP)
  [スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワーク接続]をクリックする。
  (Windows 2000 Professional)
  [スタート]メニュー→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリックする。
  (Windows Me、98)
  [スタート]メニュー→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ダイヤルアップネットワーク]をクリックする。
- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中の画面、64Kデータ通信を実行すると呼び出し中の画面がそれぞれ表示されます。
- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

■ 切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作をしてください。

1 タスクトレイの[ ]をダブルクリックし、[切断]をクリックする。

- 接続が切断されます。

W-TCP設定

W-TCPの役割

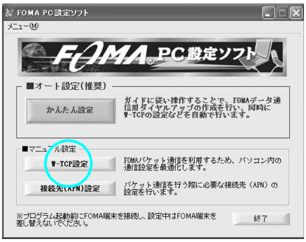
W-TCP設定ソフトはFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するためのTCPパラメータ設定ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

最適化の設定と解除

● Windows XPの場合

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、［W-TCP設定］をクリックする。



タスクトレイからW-TCP設定を操作する場合

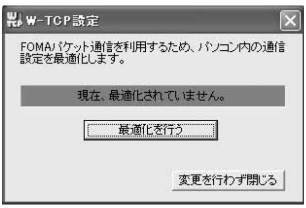
● タスクトレイの［W-TCPアイコン］をクリックし、W-TCP設定を起動してください。



2 次の操作を行う。

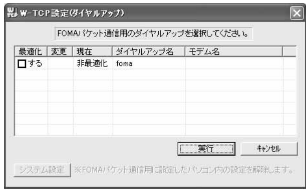
システム設定が最適化されていない場合

● 次の画面が表示されます。
［最適化を行う］をクリックすると、W-TCP設定（ダイヤルアップ）画面が表示されます。
最適化するダイヤルアップを選んで［実行］をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。
システム設定は、画面表示に従ってパソコンを再起動したあと、最適化が有効になります。



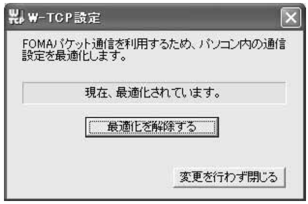
システム設定が最適化されている場合

● 次の画面が表示されます。
内容を変更する場合は設定を行ってください。
変更した内容はパソコンを再起動したあと、有効になります。



最適化を解除する場合

● W-TCP設定（ダイヤルアップ）画面で［システム設定］をクリックします。
次の画面が表示されます。
［最適化を解除する］をクリックし、画面表示に従ってパソコンを再起動したあと、最適化が解除されます。



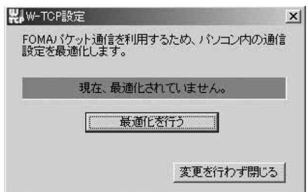
● Windows 2000 Professional、Me、98の場合

1 「Windows XPの場合」の操作1を行う。

2 次の操作を行う。

システム設定が最適化されていない場合

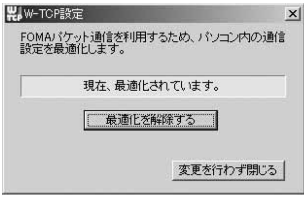
● 次の画面が表示されます。
［最適化を行う］をクリックし、現在開いているすべてのプログラムを終了させ、最適化設定を有効にするために、再起動を実行してください。



データ通信

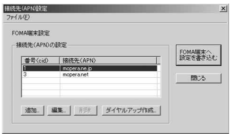
システム設定が最適化されている場合

- 次の画面が表示されます。
  FOMA端末以外での通信などの理由から設定を解除する場合は、［最適化を解除する］をクリックしてください。再起動を確認する画面が表示されます。現在開いているすべてのプログラムを終了し、最適化解除を有効にするために、再起動を実行してください。



接続先（APN）の設定

FOMA端末からの接続先（APN）情報の読み込み



［接続先（APN）設定］をクリックし、FOMA端末設定取得画面で［OK］をクリックすると、接続されたFOMA端末に自動的にアクセスし、登録されている接続先（APN）情報を読み込みます。（FOMA端末が接続されていない場合は起動しません。）また、設定情報はツールバーから［ファイル］→［FOMA端末から設定を取得］を順に選んでも読み込むことができます。

接続先（APN）の追加・編集・削除

接続先（APN）を追加する場合

接続先（APN）設定画面で、［追加］をクリックします。

登録済みの接続先（APN）を編集または修正する場合

接続先（APN）設定画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選んで［編集］をクリックします。

登録済みの接続先（APN）を削除するには

接続先（APN）設定画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選んで［削除］をクリックします。

- 番号（cid）の１と３に登録されている接続先（APN）は削除できません。番号（cid）の３を選択して［削除］をクリックした場合も、実際には削除されず「mopera.net」の設定に戻ります。

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップや編集中の接続先（APN）設定を保存したい場合は、ツールバーの［ファイル］からの操作で、接続先（APN）設定の保存ができます。

ファイルからの読み込み

保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込みたい場合には、ツールバーの［ファイル］からの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込むことができます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

接続先（APN）設定画面で、［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックすると、表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込むことができます。

ダイヤルアップ作成機能

接続先（APN）設定画面で追加・編集された接続先（APN）を選んで［ダイヤルアップ作成］をクリックします。FOMA端末への書き込み確認画面が表示されますので、［はい］をクリックしてください。接続先（APN）への書き込み終了後、パケット通信用ダイヤルアップの作成画面が表示されます。
任意の接続名を入力して［アカウント・パスワードの設定］をクリックします。（mopera Uまたはmoperaの場合は、空欄のままでもかまいません。）
ユーザー名とパスワードを入力して（Windows XP、2000 Professionalの場合は使用可能ユーザーを選んで）［OK］をクリックしてください。

ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合、パケット通信用ダイヤルアップの作成画面で［詳細情報の設定］をクリックし、必要な情報を登録後、［OK］をクリックしてください。
設定を入力後、［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックして、上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定

パケット通信と64Kデータ通信の設定手順

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信を設定する方法について説明します。
設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。

- ATコマンドで設定する操作は、以下のような流れになります。
- 64Kデータ通信の場合、接続先（APN）の設定はありません。

ATコマンドをサポートする通信ソフトを起動する（「接続先（APN）の設定」の操作2～5）

↓

接続先（APN）の設定をする（☞P.463の操作6～7）	発信者番号通知／非通知を設定する（☞P.463）	ダイヤルアップネットワークを設定する（☞P.464）

↓

通信ソフトを終了する（☞P.463　操作7）

お知らせ

- パケット通信／64Kデータ通信の設定をする前に通信設定ファイルをインストールしてください。（☞P.447）
- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合、お買い上げ時に設定されているため、接続先（APN）の設定は不要です。
- 発信者番号通知の設定は必要に応じて設定してください。（mopera Uまたはmoperaをご利用の場合、［通知］に設定する必要があります。）お買い上げ時は、［設定なし］に設定されています。
- その他の設定は必要に応じて設定してください。お買い上げ時のままでも利用できます。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。最大10件まで登録できます。接続先は1～10のcid（☞P.463）という番号で管理されます。お買い上げ時、cidの1番にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」、cidの3番にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されていますので、2、4～10に接続先（APN）を登録してください。

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
- mopera Uまたはmopera以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

＜例＞Windows XPの場合

1 **FOMA端末をパソコンに接続する。**

2 **［スタート］メニュー→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［通信］→［ハイパーターミナル］の順に選ぶ。**

- ハイパーターミナルが起動します。

Windows 2000 Professional、Meの場合

- ［スタート］メニュー→［プログラム］→［アクセサリ］→［通信］→［ハイパーターミナル］の順に選びます。

Windows 98の場合

- ［スタート］メニュー→［プログラム］→［アクセサリ］→［通信］→［ハイパーターミナル］→［hypertrm.exe］の順に選びます。

3 **［名前］に接続先名など任意の名前を入力して［OK］をクリックする。**



- 電話番号の詳細設定画面が表示されます。

データ通信

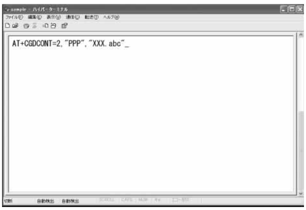
4 ［接続方法］から［FOMA SH851i］を選んで［電話番号］に実在しない電話番号（［0］など）を仮入力して、［OK］をクリックする。



- 市外局番には、Windowsに設定されている値［03］などが表示されますが、接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、任意の値を設定してください。

5 接続画面が表示されたら、［キャンセル］をクリックする。

6 接続先（APN）を入力して↵を押す。



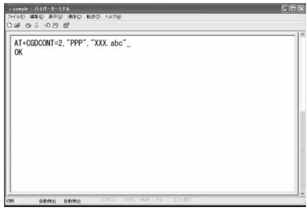
- 「AT+CGDCONT=<cid>, "PPP","APN"」の形式で入力します。（☞P.476）

  <cid>　：２、４～10までのうち任意の番号を入力します。
  "PPP"　：そのまま"PPP"と入力します。
  "APN"　：接続先（APN）の名称を" "で囲んで入力します。
- ［OK］と表示されると、APNの設定は完了です。
- 現在の接続先（APN）設定を確認したい場合は「AT+CGDCONT?↵」と入力すると、接続先（APN）設定が一覧画面で表示されます。

ATコマンドを入力しても画面に何も表示されない場合

- ATE1↵
  詳しくは、P.479を参照してください。

7 ［OK］が表示されていることを確認し、［ファイル］メニューから［ハイパーターミナルの終了］を選ぶ。



- ハイパーターミナルが終了します。
- ［セッション×××を保存しますか？］と表示されますが、保存する必要はありません。

ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットする場合

- AT+CGDCONT=↵　　：すべてのcidをリセットします
- AT+CGDCONT=<cid>↵：特定のcidのみリセットします

リセットした場合、<cid>=１は「mopera.ne.jp」（初期値）、<cid>=3は「mopera.net」（初期値）に戻り、<cid>=２、４～10の設定は未登録になります。

ATコマンドで接続先（APN）設定を確認する場合

- AT+CGDCONT?↵
  詳しくは、P.476を参照してください。



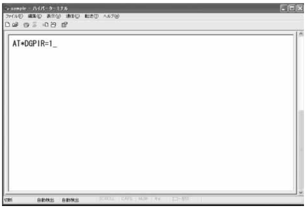
発信者番号の通知／非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

1 P.462の操作１～５を行う。

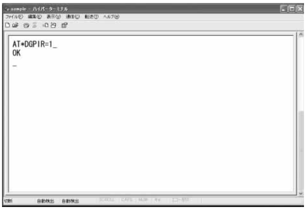
次ページへ続く

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する。



- 「AT*DGPIR=<n>」の形式で入力します。（☞P.476）
  AT*DGPIR=1↵：
  パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します。
  AT*DGPIR=2↵：
  パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

3 ［OK］が表示されたことを確認する。



ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けることができます。
*DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合は、次のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=1の場合）	*DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
*99***1#	設定なし（初期値）	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184*99***1#	設定なし（初期値）	非通知（ダイヤルアップネットワークの「184」が優先される）
	非通知	
	通知	
186*99***1#	設定なし（初期値）	通知（ダイヤルアップネットワークの「186」が優先される）
	非通知	
	通知	

- 「186」（通知）／「184」（非通知）を［設定なし］（初期値）に戻すには、「AT*DGPIR=0」と入力してください。
- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を［通知］に設定する必要があります。

ダイヤルアップネットワークを設定する

接続先およびTCP/IPプロトコルを設定します。
設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

接続先について

パケット通信では、あらかじめ接続先（APN）設定をしておきます。接続先（APN）設定で1～10の管理番号（cid）に接続先（APN）を登録しておけば、その管理番号を指定してパケット通信ができます。接続先（APN）設定とはパソコンでパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、通常の電話帳と比較すると次のようになります。

電話帳の登録	パケット通信の設定
登録番号（メモリ番号）	1～10の管理番号（cid）
相手の名前	接続先の名前（接続先（APN））
相手の電話番号	*99***<cid>#

たとえば、moperaの接続先（APN）、「mopera.ne.jp」をcid1に登録している場合、「*99***1#」という接続先番号を指定すると、moperaに接続できます。他のcidに登録した場合も同様です。

*99***1#：　cid1に登録した接続先（APN）に接続します。
　*99#でも接続できます。
*99***2#：　cid2に登録した接続先（APN）に接続します。
　≀
*99***10#：　cid10に登録した接続先（APN）に接続します。

お買い上げ時、すでにcidの1番にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」、cidの3番にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されています。mopera Uまたはmoperaの接続先（APN）以外のインターネットサービスプロバイダや企業LANに接続する場合は、cid2、4～10に接続先（APN）を登録してください。（☞P.463）
64Kデータ通信では、接続先にはインターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者から指定されたアクセスポイントの電話番号を入力します。

- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 64Kデータ通信をご利用の場合のアクセスポイントの電話番号は、mopera Uをご利用の場合「*8701」、moperaをご利用の場合「*9601」です。

■ Windows XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows XPでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先（APN）とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。
＜例＞<cid>=1を使いドコモのインターネット接続サービスmoperaへ接続する場合

1　［スタート］メニュー→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［通信］→［ネットワーク接続］をクリックする。

- ネットワーク接続画面が表示されます。

2　［ネットワークタスク］の［新しい接続を作成する］をクリックする。

- 新しい接続ウィザード画面が表示されます。

3　［次へ］をクリックする。

- ネットワーク接続の種類を選ぶ画面が表示されます。

4　［インターネットに接続する］を選んで［次へ］をクリックする。

- 準備画面が表示されます。

5　［接続を手動でセットアップする］を選んで［次へ］をクリックする。

- インターネット接続画面が表示されます。

6　［ダイヤルアップモデムを使用して接続する］を選んで［次へ］をクリックする。

- デバイスの選択画面が表示されます。

7　［モデムーFOMA SH851i（COMx）］を選んで［次へ］をクリックする。

- 「x」には数字が入ります。
- 接続名画面が表示されます。

8　［ISP名］に任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする。



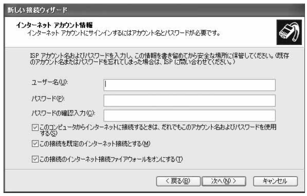
- ダイヤルする電話番号画面が表示されます。
- ［ISP名］とは、インターネットサービスプロバイダの名称です。

9　［電話番号］に接続先の番号を入力して［次へ］をクリックする。



- インターネットアカウント情報画面が表示されます。
- ここでは<cid>=1（mopera）への接続のため、「*99***1#」を入力します。

10　各項目を画面例のように設定し、［次へ］をクリックする。



- 新しい接続ウィザードの完了画面が表示されます。
- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」については空欄でもかまいません。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合の［ユーザー名］・［パスワード］は、プロバイダでご使用のユーザー名とパスワードを入力してください。

11　［新しい接続ウィザードの完了］が表示されたら、［完了］をクリックする。

- 新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

12　設定内容を確認し、［キャンセル］をクリックする。

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認のみを行います。

13　作成した接続先アイコンを選んで［ファイル］メニューの［プロパティ］を選ぶ。

- 接続先のプロパティ画面が表示されます。

次ページへ続く

14 ［全般］タブの各項目の設定を確認する。



- パソコンに２台以上のモデムが接続されている場合は、［接続の方法］の［FOMA SH851i］が☑になっているか確認します。□の場合は、☑にします。また、［FOMA SH851i］以外のモデムの☑を□にします。
- ［ダイヤル情報を使う］が□になっていることを確認します。☑の場合は、□にします。

15 ［ネットワーク］タブをクリックし、各項目の設定を確認し、［設定］をクリックする。



- ［呼び出すダイヤルアップサーバーの種類］は［PPP:Windows95/98/NT4/2000, Internet］に設定します。
- ［この接続は次の項目を使用します］の欄は、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］のみを☑にします。［QoSパケットスケジューラ］は設定変更できませんので、そのままにしておいてください。
- PPP設定画面が表示されます。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダなどに接続する場合のTCP/IP設定は、接続するプロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。

16 すべての項目を□にし、［OK］をクリックする。



- 接続先のプロパティ画面に戻ります。

17 ［プロパティ］の画面で［OK］をクリックする。

- 接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。
- ダイヤルアップ接続するにはP.471を参照してください。

Windows 2000 Professionalでダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows 2000 Professionalでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。
＜例＞<cid>=1を使いドコモのインターネット接続サービスmoperaへ接続する場合

1 ［スタート］メニュー→［プログラム］→［アクセサリ］→［通信］→［ネットワークとダイヤルアップ接続］をクリックする。

- ネットワークとダイヤルアップ接続画面が表示されます。

2 ［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリックする。

- 所在地情報画面が表示されます。
- この画面は［新しい接続の作成］をはじめてダブルクリックしたときに表示されます。
２回目以降の場合は、操作５へ進みます。

3 ［市外局番］を入力して［OK］をクリックする。

- 電話とモデムのオプション画面が表示されます。

4 ［OK］をクリックする。

- ネットワークの接続ウィザード画面が表示されます。

5 ［次へ］をクリックする。

- ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

6 ［インターネットにダイヤルアップ接続する］を選んで［次へ］をクリックする。

- ウィザードの開始画面が表示されます。

7 ［インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します］を選んで［次へ］をクリックする。

- インターネットの選択画面が表示されます。

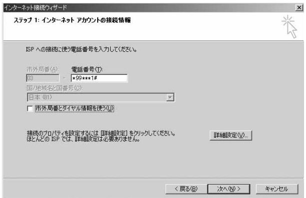
8 **［電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します］を選んで［次へ］をクリックする。**

● モデムの選択画面が表示されます。

9 **［インターネットへの接続に使うモデムを選択する］が［FOMA SH851i］に設定されていることを確認し、［次へ］をクリックする。**

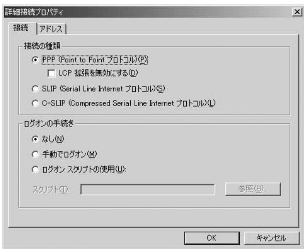
● インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。
●［FOMA SH851i］に設定されていない場合は、［FOMA SH851i］に設定してください。
●［FOMA SH851i］以外のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。

10 **［電話番号］に接続先の番号を入力して［詳細設定］をクリックする。**

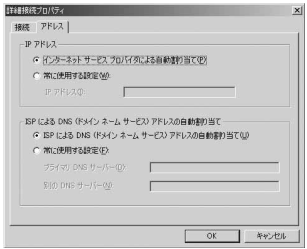


● 詳細設定プロパティの接続画面が表示されます。
●［市外局番とダイヤル情報を使う］が☐になっていることを確認します。☑の場合は☐にします。

11 **［接続］タブの各項目を画面例のように設定する。**



12 **［アドレス］タブをクリックし、各項目を画面例のように設定する。**



● mopera Uまたはmopera以外のプロバイダなどに接続する場合のTCP/IP設定は、接続するプロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。

13 **［OK］をクリックする。**

● インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

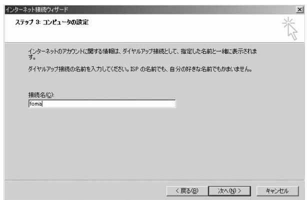
14 **［次へ］をクリックする。**

● インターネットアカウントのログイン情報画面が表示されます。

15 **［次へ］をクリックする。**

● コンピュータの設定画面が表示されます。
● mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」については空欄でもかまいません。
● mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合の［ユーザー名］・［パスワード］は、プロバイダでご使用のユーザー名とパスワードを入力してください。

16 **［接続名］に任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする。**



● e-mailアカウントの設定画面が表示されます。

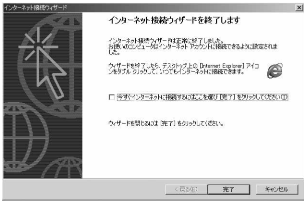
17 **［いいえ］を選んで［次へ］をクリックする。**

● インターネット接続ウィザードの終了画面が表示されます。

データ通信

次ページへ続く

18 ［今すぐインターネットに接続するにはここを選んで［完了］をクリックしてください］を□にし、［完了］をクリックする。



● ネットワークとダイヤルアップ接続画面に戻ります。

19 作成した接続先アイコンを選んで［ファイル］メニューの［プロパティ］を選ぶ。

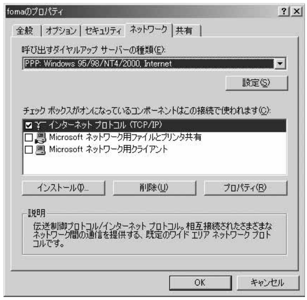
● 接続先のプロパティ画面が表示されます。

20 ［全般］タブの各項目の設定を確認する。



● パソコンに２台以上のモデムが接続されている場合は、［接続の方法］の［FOMA SH851i］が☑になっているか確認します。□の場合は、☑にします。また、［FOMA SH851i］以外のモデムの☑を□にします。
● ［ダイヤル情報を使う］が□になっていることを確認します。☑の場合は□にします。

21 ［ネットワーク］タブをクリックし、各項目の設定を確認する。



● ［呼び出すダイヤルアップサーバーの種類］は［PPP:Windows95/98/NT4/2000, Internet］に設定します。
● コンポーネントは［インターネットプロトコル(TCP/IP)］のみを☑にします。

22 ［設定］をクリックする。

● PPPの設定画面が表示されます。

23 すべての項目を□にし、［OK］をクリックする。



● 接続先のプロパティ画面に戻ります。

24 ［OK］をクリックする。

● 接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。
● ダイヤルアップ接続するにはP.471を参照してください。

■ Windows Meでダイヤルアップネットワークの設定をする

＜例＞<cid>=1を使いドコモのインターネット接続サービスmoperaへ接続する場合

1 ［スタート］メニュー→［プログラム］→［アクセサリ］→［通信］→［ダイヤルアップネットワーク］をクリックする。

● はじめて操作したときは、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。
● ２回目以降は「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面は表示されません。操作３へ進みます。

2 ［次へ］をクリックする。

● ダイヤルアップネットワーク画面が表示されます。

3 ［新しい接続］をダブルクリックする。

- 接続名を入力する画面が表示されます。

4 ［接続名］に任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする。



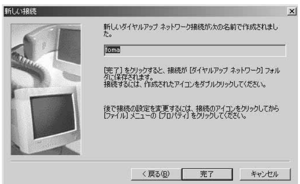
- 接続先電話番号の指定画面が表示されます。
- ［モデムの選択］が［FOMA SH851i］に指定されていることを確認してください。設定されていない場合は、［FOMA SH851i］に設定してください。

5 接続先の番号を入力して［次へ］をクリックする。



- ダイヤルアップネットワーク接続の完了画面が表示されます。
- ［市外局番］欄には何も入力しません。

6 接続先名を確認し、［完了］をクリックする。

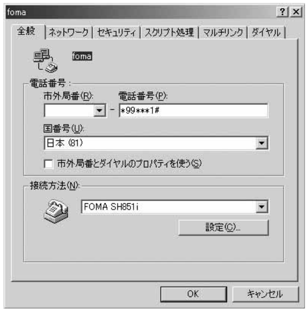


- 接続先が設定されます。

7 作成した接続先アイコンを選んで［ファイル］メニューの［プロパティ］を選ぶ。

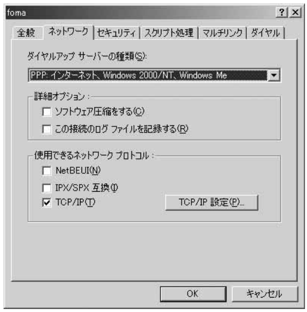
- 接続先の詳細設定画面が表示されます。

8 ［全般］タブの各項目の設定を確認する。



- ［市外局番とダイヤルのプロパティを使う］が□になっているか確認します。☑の場合は□にします。
- ［接続方法］が［FOMA SH851i］に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、［FOMA SH851i］に設定してください。

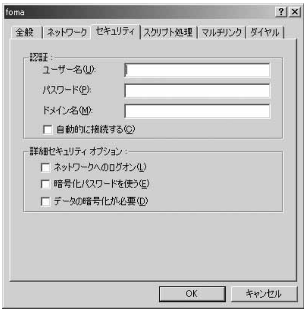
9 ［ネットワーク］タブをクリックし、各項目の設定を確認する。



- ［ダイヤルアップサーバーの種類］は［PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me］に設定します。
- ［使用できるネットワークプロトコル］は［TCP/IP］のみを☑します。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダなどに接続する場合のTCP/IP設定は、接続するプロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。

次ページへ続く

10 ［セキュリティ］タブをクリックし、［ユーザー名］と［パスワード］には何も入力せず、［OK］をクリックする。



- TCP/IPが設定されます。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合の［ユーザー名］および［パスワード］は、プロバイダでご使用のユーザー名およびパスワードを入力してください。
- ダイヤルアップ接続するにはP.471を参照してください。

Windows 98でダイヤルアップネットワークの設定をする

＜例＞<cid>=1を使いドコモのインターネット接続サービスmoperaへ接続する場合

1 ［スタート］メニュー→［プログラム］→［アクセサリ］→［通信］→［ダイヤルアップネットワーク］をクリックする。

- はじめて操作したときは、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。
- ２回目以降は「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面は表示されません。操作３へ進みます。

2 ［次へ］をクリックする。

- ダイヤルアップネットワーク画面が表示されます。

3 ［新しい接続］をダブルクリックする。

- 接続名を入力する画面が表示されます。

4 ［接続名］に任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする。



- 接続先電話番号の指定画面が表示されます。
- ［モデムの選択］が［FOMA SH851i］に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、［FOMA SH851i］に設定してください。

5 接続先の番号を入力して［次へ］をクリックする。



- ダイヤルアップネットワーク接続の完了画面が表示されます。
- ［市外局番］欄には何も入力しません。

6 接続先名を確認し、［完了］をクリックする。



- 接続先が設定されます。

7 作成した接続先アイコンを選んで［ファイル］メニューの［プロパティ］を選ぶ。

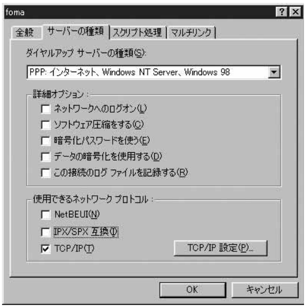
- 接続先の全般設定画面が表示されます。

8 ［全般］タブの各項目の設定を確認する。



- ［市外局番とダイヤルのプロパティを使う］が☐になっているか確認します。☑の場合は☐にします。
- ［接続の方法］が［FOMA SH851i］に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、［FOMA SH851i］に設定してください。

9 ［サーバーの種類］タブをクリックし、各項目の設定を確認する。



- ［ダイヤルアップサーバーの種類］は［PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98］に設定します。
- ［使用できるネットワークプロトコル］は［TCP/IP］のみを☑にします。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダなどに接続する場合のTCP/IP設定は、接続するプロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。

10 ［OK］をクリックする。

- TCP/IPが設定されます。

ダイヤルアップ接続する

1 FOMA端末をパソコンに接続する。

2 ［スタート］メニュー→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［通信］→［ネットワーク接続］をクリックする。

- ダイヤルアップネットワーク画面が表示されます。

3 接続先のアイコンをダブルクリックする。



- 接続画面が表示されます。
- 接続先のアイコンを選んで［接続］メニューの［接続］を選ぶと、接続画面が表示されます。

4 各項目を確認し、［接続］をクリックする。



- 接続先へ接続されます。
- ［電話番号］には「ダイヤルアップネットワークを設定する」（☞P.464）で設定した電話番号が表示されます。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合は、［ユーザー名］・［パスワード］については空欄のままでもかまいません。

■ 切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作をしてください。

1 タスクトレイの［ ］をダブルクリックし、［切断］をクリックする。

- 接続が切断されます。

データの送受信（OBEX）について

FOMA端末内のデータをパソコンと送受信する

- FOMA端末は、データ通信用のプロトコルとして、OBEXを持っています。本データ通信（OBEXによるデータの送受信）を使ってパソコンとの間で電話帳、電話番号表示の所有者情報、スケジュール、ToDoリスト、送信メール（SMS含む）、受信メール（SMS含む）、未送信メール（SMS含む）、テキストメモ、ブックマークのデータを送受信できます。メロディ、マイピクチャ、ｉモーションのデータは1件受信のみ可能です。
- FOMA端末では、次の3とおりのデータ送受信が可能です。
  - ■ パソコンからFOMA端末にデータを1件ずつ送信する（1件書き込み）
  - ■ パソコンからFOMA端末にデータを一括して送信する（全件書き込み）
  - ■ FOMA端末からパソコンにデータを一括して送信する（全件読み出し）
- データの送受信中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、ｉモードやｉモードメール、パケット通信などはできません。
- データの送受信終了後、しばらく［圏外］と表示される場合があります。

お知らせ

- FOMA端末とパソコンが正しく接続されているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池をフル充電して、電池残量が十分残っていることを確認してください。電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら操作することをおすすめします。
- パソコンの電源についても確認してください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- 待受画面の状態でデータ通信を行ってください。待受画面に動画／ｉモーションを設定している場合は、動画／ｉモーションの再生を停止してからデータ通信を行ってください。
- 通信中（音声通話やテレビ電話、データ通信）にデータの送受信はできません。また、データの送受信中には他の通信もできません。ただし、データの送受信開始直後などは着信を受ける場合があります。その場合、データの送受信が中止されます。
- FOMAカード内の電話帳は送信できません。
- メロディ（MFi）が貼り付けられているメール、およびｉアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、それぞれ貼り付けられているデータを削除して送信されます。
- 10001バイト以上500KバイトいかのJPEG画像を添付したメールの添付データは削除して送信されます。

お知らせ

- オールロック（☞P.160）、およびPIMロック（☞P.163）、またはセルフモード（☞P.163）が設定されている場合、電話帳などのデータの送受信はできません。
- ダイヤル発信制限（☞P.165）が設定されている場合、電話帳のデータは送受信できません。
- データの大きさによっては、送受信に時間がかかる場合があります。また、データの大きさによってはFOMA端末で受信できない場合があります。
- 電話帳のデータを受信する場合、1件受信のときは、メモリ番号［010］から、全件受信のときは、メモリ番号の情報に従って登録します。
- 電話帳を全件受信すると、電話番号表示に登録されている所有者情報（1件目の電話番号を除く）も上書きされます。
- 電話帳はメモリ番号順に送信されます。
- 全件送信を行うと電話番号表示の所有者情報は電話帳と一緒に送信されます。

■ データの送受信（OBEX）に必要な機器

- データの送受信を行うには、OBEXに準拠したデータ転送用のソフトをインターネットからダウンロードし（☞P.532）、パソコンにインストールする必要があります。データ転送用のソフトの動作環境、インストール方法については、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。また、あらかじめFOMA SH851i通信設定ファイルのインストール（☞P.447～P.450）が必要です。
- FOMA端末とパソコンの接続には、FOMA USB接続ケーブルが必要です。

データを1件送信する（1件書き込み）

- パソコンからFOMA端末へデータを1件ずつ送信します。
- FOMA端末からパソコンへ1件ずつ送信することはできません。
- データ送信の操作方法は、データ転送用のソフトによって異なります。詳しくは、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

1 パソコンからデータ転送用のソフトを使ってデータ送信（1件書き込み）の操作を行う。

- データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 電話帳のデータを1件ずつ受信するとき（パソコンからFOMA端末（本体）へ送信するとき）は電話帳のメモリ番号［010］～［749］の空いているメモリ番号の中で最も若いメモリ番号に登録されます。［010］～［749］がすべて登録されているときは、［000］～［009］の空いているメモリ番号の中で最も若いメモリ番号に登録されます。
- 電話帳のデータを受信した場合、すでに名前や電話番号またはメールアドレスが750件登録されているときは、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。

データを全件送信する（全件書き込み／全件読み出し）

- パソコンとFOMA端末の間で一括書き込みと一括読み出しができます。
- 「全件書き込み」あるいは「全件読み出し」の操作では、データ転送用のソフトとFOMA端末の両方で認証パスワードを入力する必要があります。
- データ送信の操作方法は、データ転送用のソフトによって異なります。詳しくは、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

1 **パソコンからデータ転送用のソフトを使ってデータ送信（全件転送）の操作を行う。**

- データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。
- パソコン側でも認証パスワードの入力が必要です。
- 認証パスワードは４桁の数字を入力してください。

2 **FOMA端末で、端末暗証番号（４～８桁の数字）と認証パスワード（４桁の数字）を入力する。**

3 **データ送信を開始する。**

お知らせ

- パソコンからFOMA端末への全件書き込みを行うとFOMA端末のデータはすべて書き換えられます。元のFOMA端末のデータは消去されますので、ご注意ください。シークレット登録した電話帳、スケジュール、保護されたメールを含みます。
- パソコンからFOMA端末への全件書き込みの途中で送信エラーが起こると、送信中のFOMA端末のすべてのデータが消去されることがあります。全件書き込みの前にケーブルの接続、FOMA端末の電池残量、パソコンの電源の状態を確認してください。
FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら操作することをおすすめします。
- 相手の機器によっては、通信状況（バー表示）が表示されないことがあります。

ATコマンド一覧

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ずATを付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。以下に入力例を示します。

ATD*99***1#↵

リターンマーク：Enterキーを押します。
コマンドの区切りになります。

パラメータ：コマンドの内容です。

コマンド：コマンド名です。

ATコマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、160文字（AT含む）まで入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作するには、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作を行います。
- オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、特別な操作（下記参照）をすると、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態になります。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

お知らせ

- ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- AT&D1に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、ATO↵と入力します。

※ USBインターフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

ATコマンド一覧

［M］：FOMA SH851i Modem Portで使用できるATコマンドです。

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT%V [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。※2	－	AT%V↵ Ver1.00 OK
AT&C<n> [M]	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。※1	n=0：回路CDを常にON n=1：回路CD信号は回線接続状態に従って変化（お買い上げ時） &C1に設定する場合は、接続完了時のCONNECTを送出する直前にCD信号を「ON」にします。回路が切断され、“NO CARRIER”を送出する直前にCD信号を「OFF」にします。	AT&C1↵ OK
AT&D<n> [M]	オンラインデータモードのときに、DTE から受け取る回路 ER（DTR）信号が「ON」から「OFF」に変わったときの動作を設定します。※1	n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモード状態になる n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモード状態になる（お買い上げ時）	AT&D1↵ OK
AT&E<n> [M]	接続時の速度表示仕様を選択します。※1	n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：DTE シリアル通信速度を表示（お買い上げ時）	AT&E0↵ OK
AT&F<n> [M]	FOMA端末のATコマンド設定値をお買い上げ時の状態にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。※2	n=0のみ指定可能（省略可）	AT&F↵ OK
AT&S<n> [M]	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御のしかたを設定します。※1	n=0：常時ON（お買い上げ時） n=1：回線接続時にDR信号ON	AT&S0↵ OK
AT&W<n> [M]	現在の設定値をFOMA端末に記憶します。※2、※5	n=0のみ指定可能（省略可）	AT&W↵ OK
AT*DANTE [M]	アンテナ本数をTEに表示します。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 *DANTE:<m> <m> 0：FOMA端末にて圏外と表示される状態 1：FOMA端末にてアンテナ本数1本の状態 2：FOMA端末にてアンテナ本数2本の状態 3：FOMA端末にてアンテナ本数3本の状態	AT*DANTE↵ *DANTE:3 OK
AT*DGANSM=<n> [M]	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドの設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼のみ有効です。※2	n=0：着信拒否設定および着信許可設定を［OFF］に設定（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定を［ON］に設定 n=2：着信許可設定を［ON］に設定	AT*DGANSM=0↵ OK AT*DGANSM?↵ *DGANSM:0 OK
AT*DGAPL=<n> [,<cid>] [M]	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。※2	<n>パラメータによって着信許可リストへの追加および削除を指定し、<cid>パラメータを省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追加（<n>=0）あるいは削除（<n>=1）します。本コマンドで追加（削除）しようとする<cid>が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加（削除）できます。 n=0：リストへ追加（<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します。） n=1：リストから削除（<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します。）	AT*DGAPL=0,1↵ OK AT*DGAPL?↵ *DGAPL:1 OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT*DGARL=<n> [,<cid>] [M]	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。※2	<n>パラメータによって着信拒否リストへの追加および削除を指定し、<cid>パラメータを省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追加（<n>=0）あるいは削除（<n>=1）します。本コマンドで追加（削除）しようとする<cid>が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加（削除）できます。 n=0：リストへ追加（<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します。） n=1：リストから削除（<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストより削除します。）	AT*DGARL=0,1↵ OK AT*DGARL?↵ *DGARL:1 OK
AT*DRPW [M]	MTFから通知される受信電力値を表示します。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 *DRPW:<m> m：0～75（受信電力の値）	AT*DRPW↵ *DRPW:0 OK
AT*DGPIR=<n> [M]	本コマンドの設定は、発信時に有効です。ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。※2	n=0：パケット通信確立時、接続先（APN）にそのまま接続（お買い上げ時） n=1：パケット通信確立時、接続先（APN）に184を付けて接続 n=2：パケット通信確立時、接続先（APN）に186を付けて接続 本コマンドとダイヤルアップネットワークの両方で186（通知）／184（非通知）を設定した場合については、P.464の表を参照してください。	AT*DGPIR=0↵ OK AT*DGPIR?↵ *DGPIR:0 OK
+++ [M]	FOMA端末のモードをオンラインデータモードからオンラインコマンドモードへ移行します。エスケープガード区間は、1秒の固定値です。※2	―	（通信中） +++（表示は見えない） OK
AT+CACM=[<passwd>] [M]	UIMに記録される累積課金値をリセットします。※2	本コマンドで、パスワードが一致した場合は、UIMに記録される累積課金値をリセットします。 <passwd> : SIM PIN2 ※ ストリングパラメータであり、入力時は ” で囲みます。	AT+CACM="0123"↵ OK
AT+CAOC[=<mode>] [M]	現在の課金値の問い合わせを行います。※2	<mode> 0：現在の呼の課金を問い合わせる 本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 +CAOC:"<ccm>"	AT+CAOC↵ +CAOC:"00001E" OK
AT+CEER [M]	直前の通信の切断理由を表示します。※2	「切断理由一覧」を参照。（☞P.482）	AT+CEER↵ +CEER:36 OK
AT+CGDCONT [M]	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。（☞P.482）	「ATコマンドの補足説明」を参照。（☞P.482）
AT+CGEQMIN [M]	パケット通信確立時にネットワーク側から通知される QoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。（☞P.483）	「ATコマンドの補足説明」を参照。（☞P.483）
AT+CGEQREQ [M]	パケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。（☞P.484）	「ATコマンドの補足説明」を参照。（☞P.484）
AT+CGMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。※2	―	AT+CGMR↵ 1234567890123456 OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGREG=<n> [M]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知されている内容は圏内／圏外です。※1	<n> 0：設定しない（お買い上げ時） 1：設定する AT+CGREG=1に設定すると、“+CGREG:<stat>”の形式で通知されます。<stat>パラメータは、0,1,4,5をサポートします。 <stat> 0：圏外 1：圏内（home） 4：不明 5：圏内（visitor）	AT+CGREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CGREG?↵ +CGREG:1,0 OK （圏外を意味している） +CGREG:1 （圏外から圏内に移動した場合）
AT+CGSN [M]	FOMA端末の製造番号を表示します。※2	—	AT+CGSN↵ 123456789012345 OK
AT+CLIP=<n> [M]	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。※1	<n> 0：リザルトを出さない（お買い上げ時） 1：リザルトを出す 「AT+CLIP?」のとき、+CLIP:<n>,<m>を表示します。 <m> 0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 2：不明	AT+CLIP=0↵ OK AT+CLIP?↵ +CLIP:0,1 OK
AT+CLIR=<n> [M]	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手側に通知するかどうかを設定します。※2	<n> 0：サービスご契約の設定どおり 1：通知しない 2：通知する（お買い上げ時） AT+CLIR?のとき、 +CLIR：<n>,<m>を表示します。 <m> 0：CLIRは起動していない（常時通知） 1：CLIRは常時起動している（常時非通知） 2：不明 3：CLIRテンポラリ・モード（非通知デフォルト） 4：CLIRテンポラリ・モード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0↵ OK AT+CLIR?↵ +CLIR:2,3 OK
AT+CMEE=<n> [M]	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。※1	エラーを“ERROR”のみで表示するか、理由を文字あるいは数値でレポートするかを設定します。 <n> 0：リザルトコードを使用せずに“ERROR”を表示（お買い上げ時） 1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 2：リザルトコードを使用し、文字で理由を表示 「n=1」または「n=2」でエラーレポート表示に設定した場合、エラーレポートは以下のように表示されます。 +CME ERROR:xxxx（xxxxには数字または文字が表示されます。「エラーレポート一覧」☞P.482）	AT+CMEE=0↵ OK AT+CNUM↵ ERROR AT+CMEE=1↵ OK AT+CNUM↵ +CME ERROR:10
AT+CNUM [M]	FOMA端末の自局番号を表示します。※2	number：電話番号 type　：129もしくは145 129：国際アクセスコード+を含まない 145：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM↵ +CNUM:,"+819012345678",145 OK

データ通信

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CR=<mode> [M]	回線接続時に“CONNECT”のリザルトコードが表示される前に、パケット通信／64Kデータ通信を表示するかどうかを設定します。※1 パケット通信のときは、“GPRS”と表示され64Kデータ通信のときは“SYNC”と表示されます。	<mode> 0：回線接続時に表示しない（お買い上げ時） 1：回線接続時に表示する	AT+CR=1↵ OK ATD*99***1# +CR:GPRS CONNECT
AT+CRC=<n> [M]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。※1	n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する	AT+CRC=0↵ OK
AT+CREG=<n> [M]	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。※1	AT+CREG=1に設定すると、“+CREG：<stat>”の形式で通知されます。<stat>パラメータは0、1、4、5をサポートします。 <n> 0：通知なし（お買い上げ時） 1：通知あり <stat> 0：圏外 1：圏内（home） 4：不明 5：圏内（visitor）	AT+CREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CREG?↵ +CREG:1,0 OK （圏外を意味している） +CREG:1 （圏外から圏内に移動した場合）
AT+CUSD=[<n>[,<str>[,<dcs>]]] [M]	付加サービスなどに関し、網側の設定を変更します。※1	<n> 0：中間リザルトを応答せず、OKを応答する（お買い上げ時） 1：中間リザルトを応答する <str> サービスコード ※ 詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。 <dcs> 0：固定値	AT+CUSD=0,"xxxxxx"↵ OK
AT+GMI [M]	FOMA端末のメーカの名前が半角英数字で表示されます。※2	－	AT+GMI↵ SHARP OK
AT+GMM [M]	FOMA端末の製品名の略称（FOMA SH851i）がアルファベットおよび数字で表示されます。※2	－	AT+GMM↵ FOMA SH851i OK
AT+GMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。※2	－	AT+GMR↵ Ver1.00 OK
AT+IFC=<n,m> [M]	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。※1	DCE by DTE（<n>） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） DTE by DCE（<m>） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時）	AT+IFC=2,2↵ OK
AT+WS46=<n> [M]	発信時に使用する無線ネットワークを設定します。着信に影響を与えるものではありません。※1	n=22：FOMAネットワーク（固定値）	AT+WS46=22↵ OK
A/ [M]	直前に実行したコマンドを再実行するときに使用します。※2	－	A/ OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATA [M]	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。※2	パケット着信中には、「ATA184↵」（発信者番号通知なし着信動作）および「ATA186↵」（発信者番号通知あり着信動作）を入力できます。	RING ATA↵ CONNECT
ATD [M]	発信処理を行います。※2、※3	● パケット通信ATD*99***<cid>#↵ ATD*99#を入力した場合： <cid>=1（お買い上げ時）を用います。（<cid>の入力を省略した場合は、<cid>=1になります。） ATD184*99***<cid>#で始まる書式を入力した場合： 指定した<cid>に規定した接続先（APN）に対して“184”が付加されます。（発信者番号通知ありの“186”でも同様の操作ができます。） ● 64Kデータ通信ATD［パラメータ］［電話番号］↵ 相手側の電話番号に、0～9、*、#、+、A、a、B、b、C、c、D、d、‐（ハイフン）、スペース、T、t、P、p、!、W、w、@、，（カンマ）以外を設定した場合は、発信できません。　の文字は入力可能ですが、ダイヤル時には認識されません。	ATD*99***1#↵ CONNECT
ATE<n> [M]	パソコンから送信された本コマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。※1	n=0：エコーバックなし n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定してください。	ATE1↵ OK
ATH [M]	パケット通信および64Kデータ通信時に入力すると、回線を切断します。※2	―	（通信中） +++（表示は見えない） OK ATH↵ NO CARRIER
ATI<n> [M]	確認コードを表示します。※2	n=0：NTT DoCoMo n=1：製品名の略称を表示（FOMA SH851i） n=2：製品のバージョンを“VerX.XX”などの形式で表示	ATI0↵ NTT DoCoMo OK
ATO [M]	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻ります。※2	―	ATO↵ CONNECT
ATQ<n> [M]	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。※1	n=0：リザルトコードを表示する（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを表示しない	ATQ0↵ OK
ATV<n> [M]	リザルトコードの表示方法を設定します。※1	すべてのリザルトコードを数字表記あるいは英文字表記で表示します。 n=0：リザルトコードを数字表記で表示 n=1：リザルトコードを英文字表記で表示（お買い上げ時）	ATV1↵ OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATX<n> [M]	接続のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。※1	ビジートーン検出： 接続先が通話中のとき、BUSY応答を送出します。 ダイヤルトーン検出： FOMA端末に接続されているかどうかを判定します。 速度表示： 接続時のCONNECT表示に速度を表示するかどうかを設定します。 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時）	ATX1⏎ OK
ATZ<n> [M]	FOMA端末のATコマンド設定値をリセットします。※2、※4	FOMA端末のATコマンド設定値を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。 n=0のみ指定可能（省略可）	（オンライン時） ATZ⏎ NO CARRIER （オフライン時） ATZ⏎ OK
ATS0=<n> [M]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。※1	n=0：自動着信しない（お買い上げ時） n=1～255　：指定したリング数で自動着信する	ATS0=0⏎ OK
ATS2=<n> [M]	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=0～127（お買い上げ時n=43） n=127に設定するとエスケープは無効になります。	ATS2=43⏎ OK ATS2?⏎ 043 OK
ATS3=<n> [M]	復帰（CR）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド文字列の最後を認識するキャラクタを定義します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。設定値は変更できません。（お買い上げ時n=13）	ATS3=13⏎ OK ATS3?⏎ 013 OK
ATS4=<n> [M]	改行（LF）キャラクタの設定を行います。	英文でリザルトコードを表示する場合、CRキャラクタの後ろに付きます。設定値は変更できません。（お買い上げ時n=10）	ATS4=10⏎ OK ATS4?⏎ 010 OK
ATS5=<n> [M]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。設定値は変更できません。（お買い上げ時n=8）	ATS5=8⏎ OK ATS5?⏎ 008 OK
ATS6=<n> [M]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：2～10（お買い上げ時n=５）	ATS6=10⏎ OK
ATS7=<n> [M]	接続完了までの待ち時間（秒）を設定します。※1	n：1～255（お買い上げ時n=60） 64Kデータ通信およびパケット通信の発呼時に、FOMA端末がパソコンからATD入力を受信してから設定した秒数が経過しても、FOMA端末がパソコンに“CONNECT”を送出できない場合は、“NO CARRIER”のリザルトを返し、切断処理へ移行します。値を121～255に設定した場合、“OK”のリザルトを返しますが、値は120に設定されます。	ATS7=60⏎ OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS8=<n> [M]	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、ポーズ時間（3秒）に影響しません。 n=0：ポーズしない n：1～255（お買い上げ時n=3）	ATS8=3↵ OK
ATS10=<n> [M]	自動切断の遅延時間（秒）を設定します。（1/10秒）※1	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：1～255（お買い上げ時n=1）	ATS10=1↵ OK
ATS30=<n> [M]	データの送受信をこの時間以上行わないと切断します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。<n>は分単位で設定します。 n：0～255（お買い上げ時n=0） n=0は不活動タイマオフ	ATS30=3↵ OK
ATS103=<n> [M]	着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0：*アスタリスク n=1：/スラッシュ （お買い上げ時） n=2：\マーク あるいはバックスラッシュ	ATS103=0↵ OK
ATS104=<n> [M]	発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0：#シャープ n=1：%パーセント（お買い上げ時） n=2：&アンド	ATS104=0↵ OK
AT\S [M]	現在の設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。※2	—	AT\S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 \V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT\V<n> [M]	接続時の応答コード仕様を選択します。※1	本コマンドは、ATX<n>コマンド（☞P.480）がn=0以外のときのみ有効です。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない （お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する	AT\V1↵ OK

※1　AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されます。
※2　AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。
※3　ATDN↵やATDL↵でリダイヤル発信ができます。
※4　AT&Wコマンドを使用する前にATZコマンドを実行すると、最後に記憶した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。
※5　AT&WコマンドでFOMA端末に記憶された設定値は、電源を切ると不揮発データとしてFOMA端末に格納されます。

切断理由一覧

パケット通信

値	理　由
27	接続先（APN）が存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するＩＣカード）カードが挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

+CGDCONT=[<cid>[,"PPP"[,"<APN>"]]]⏎

パラメータ説明

<cid>*　：1～10
<APN>*　：任意

<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10を登録できます。お買い上げ時は、<cid>=1および3には、moperaまたはmopera Uに接続するための接続先（APN）、「mopera.ne.jp」（cid1）、「mopera.net」（cid3）が登録されています。<APN>は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

実行例

「abc」という接続先（APN）名を登録する場合のコマンド（<cid>=2の場合）
AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"⏎
OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGDCONT=
すべての<cid>の設定をクリアします。ただし、<cid>=1および3の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。
AT+CGDCONT=<cid>
指定された<cid>の設定をクリアします。ただし、<cid>=1および3の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。
AT+CGDCONT=?
設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGDCONT?
現在の設定値を表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている４パターンが設定できます。
AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

AT+CGEQMIN=[<cid> [,, <Maximum bitrate UL> [, <Maximum bitrate DL>]]]⏎

パラメータ説明

<cid>* ：１～10
<Maximum bitrate UL>* ：なし（初期値）または64
<Maximum bitrate DL>* ：なし（初期値）または384
<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では１～10を登録できます。お買い上げ時は、<cid>=1および3にはmoperaまたはmopera Uに接続するための接続先（APN）、「mopera.ne.jp」（cid1）、「mopera.net」（cid3）が登録されています。［Maximum bitrate UL］および［Maximum bitrate DL］では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。［なし（お買い上げ時）］に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますので、ご注意ください。

実行例

以下の４パターンのみ設定できます。（１）の設定が各cidに初期値として設定されています。
（１）上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（<cid>=2の場合）
AT+CGEQMIN=2⏎
OK
（２）上り64kbps／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,64,384⏎
OK
（３）上り64kbps／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（<cid>=4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64⏎
OK
（４）上りすべての速度／下り384kbps速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,384⏎
OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQMIN=
すべての<cid>の設定をクリアします。
AT+CGEQMIN=<cid>
指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQMIN=?
設定可能な値のリストを表示します。

次ページへ続く

AT+CGEQMIN?
現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

概要

PPPパケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている１パターンのみで初期値としても設定されています。
AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

AT+CGEQREQ=[<cid>]↵

パラメータ説明

各cidにはその内容がお買い上げ時に設定されています。
<cid>*：１～10
<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では１～10を登録できます。お買い上げ時は、<cid>=1および3にはmoperaまたはmopera Uに接続するための接続先（APN）、「mopera.ne.jp」（cid1）、「mopera.net」（cid3）が登録されています。
上り64kbps／下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド

実行例

<cid>=3の場合
AT+CGEQREQ=3↵
OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQREQ=
すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=<cid>
指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=?
設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGEQREQ?
現在の設定を表示します。

リザルトコード

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手側と接続しました。
2	RING	着信を検出しました。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウトしました。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460800bpsで接続しました。

お知らせ

- リザルトコードは、ATV<n>コマンド（☞P.479）がn=1に設定されている場合は英文字表記（初期値）、n=0に設定されている場合は数字表記で表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため、通信速度は表示します。ただし、FOMA端末－PC間はFOMA USB接続ケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」（数字：100）が表示された場合は、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

リザルトコード表示例

ATX0が設定されている場合

AT\V<n>コマンド（☞P.481）の設定にかかわらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例：　ATD*99***1#
CONNECT

数字表示例：　ATD*99***1#
1

ATX1が設定されている場合

- ATX1、AT\V0が設定されている場合（初期値）

接続完了のときに、CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞の書式で表示します。

文字表示例：　ATD*99***1#
CONNECT 460800

数字表示例：　ATD*99***1#
1 21

- ATX1、AT\V1が設定されている場合※

接続完了のときに、以下の書式で表示します。

CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞PACKET＜接続先（APN）＞／＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞／＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞

文字表示例：　ATD*99***1#
CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/64/384
（mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）

数字表示例：　ATD*99***1#
1 21 5

※ ATX1、AT\V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT\V0のみでのご利用をおすすめします。

▶MEMO◀

文字入力

文字入力について

FOMA端末には、電話帳やメールなど文字入力が必要な機能がいくつかあります。
実際にお使いになる前に、文字入力のしくみを覚えておいてください。

文字入力方式について

かな方式	1つのダイヤルボタンに複数の文字が割り当てられ、ボタンを数回押すことにより目的の文字を入力する方式です。各ボタンの文字の割り当てについては、P.515～P.516を参照してください。表示を逆戻りさせるときは[#]を押します。
2タッチ方式	ポケットベル※へ文字を送信するときのように、2つの数字を組み合わせて文字を入力する方式です。数字の組み合わせと入力できる文字（変換方法）については、P.517を参照してください。

- 文字入力方式の選択方法については、P.502を参照してください。
- それぞれの入力方式には、文字の種類に合わせた入力モードがあります。（☞P.491、P.502）

入力できる文字の種類

全角文字	漢字、ひらがな、カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号、絵文字
半角文字	カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号

- 全角文字の数字は、全角英数字入力モードで入力できます。
- 詳しくは、P.515～P.517を参照してください。

近似予測変換と連携予測変換について

近似予測変換	ひらがなを1～5文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登録されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力・変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補が自動的に表示されます。

- お買い上げ時は、両方の変換機能が利用できるように設定されています。個別に利用を停止することもできます。（☞P.502）
- 学習された変換候補をすべてリセットできます。（☞P.500）

お知らせ

- 文字入力画面のデザインは、機能により異なります。

かな方式

かな方式で文字を入力する

漢字・ひらがな・カタカナ（全角）を入力する

漢字モードで、ひらがなを入力して漢字・ひらがな・カタカナ（全角）や記号などに変換します。

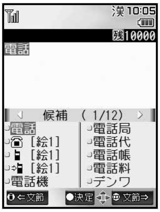
1 文字入力画面でダイヤルボタンを押してひらがなを入力する。



- ダイヤルボタンでひらがなを入力します。押す回数で文字が変わります。
- ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、[→]を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを1秒以上押します。
（例：「あい」 [1]→[→]→[1][1]または[1]→[1]（1秒以上）→[1]）
- カタカナや英数字を入力するときは、[i]［文字切替］を押します。押すたびに入力モード（文字の種類）が切り替わります。

＊メニューを切り替えるときは[i]［[i]基本メニューへ］または［[i]詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

2 ◇で変換候補欄にカーソルを移動し、文字を選ぶ。



● 選択をやめるときは、クリアを押します。文字入力画面にカーソルが戻り、入力を続けることができます。

目的の漢字に変換されないとき	● 文字入力画面にカーソルがあるときは◇で変換の対象になる文字（反転している文字）の区切りを変えて変換し直します。 ● 選択候補画面にカーソルがあるときは(i)［⇐文節］または(m)［⇒文節］で文字の区切りを変えます。 ● ワンタッチ変換するときは◇を押します。（☞P.490）

関連操作

濁点（゛）を付ける
文字を入力▶ ＊

半濁点（゜）を付ける
文字を入力▶ ＊ ＊

小文字に変換する
文字を入力▶ (☎)

文末にスペースを入力する
文末で◇

入力を取り消し、元に戻す<UNDO機能>
文字を入力▶操作（削除、切り取り）確定▶(m)▶(i)［元に戻す］

文字表示サイズを変える<文字サイズ設定>
1 文字入力画面で(m)▶［文字サイズ設定］▶◉
2 1［大きい文字］／2［標準］／3［小さい文字］

ボタン操作を確認する<ボタン操作一覧>
文字入力画面で(m)▶［ボタン操作一覧］▶◉

お知らせ

濁点、半濁点について
● 半角カタカナの場合、＊を１回押すと濁点（゛）、２回押すと半濁点（゜）、３回押すと長音（ー）、４回押すと改行（↵）が追加されます。５回押すと再び濁点（゛）に戻ります。追加された文字は１文字として数えられます。

小文字について
● 英字の場合は、小文字に変換され、入力モードも小文字になります。

スペース入力について
● 入力モードに関係なく半角スペースが入力されます。半角スペースは１文字として数えられます。

入力の取り消し（UNDO機能）について
● 入力の取り消し（UNDO）を繰り返して11回以上操作すると、［これ以上元にもどせません］と表示され、10回前の画面に戻ります。
● 文字編集が終了すると、記憶されている操作はクリアされます。

文字サイズ設定について
● 文字サイズ設定できない文字入力画面もあります。
● ［大きい文字］は24ドット、［標準］は20ドット、［小さい文字］は12ドットです。
● ｉモードメール作成時の宛先入力画面、題名入力画面、チャットメール、SMS 作成時の画面では、［大きい文字］［標準］［小さい文字］を選ぶことができ、メール表示画面にも反映されます。
● 電話帳登録時の入力画面では、［大きい文字］［標準］を選択できます。
● 設定した文字サイズは電源を切っても保持されます。
● 文字の表示（太さ）も設定できます。（☞P.150）

※ 2001年１月から、ドコモのポケットベルは、「クイックキャスト」に名称が変わりました。

1文字変換について

変換によって入力した漢字を再度入力するときには、先頭の1文字を入力するだけで漢字に変換できます。

入力したい漢字が見つからないとき＜音訓変換＞

漢字の音読みや訓読みを入力して1文字ずつ漢字を入力できます。

1 文字入力画面でひらがなを入力して(i)［音訓］を押す。



2 漢字を選ぶ。

お知らせ

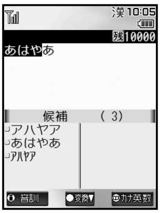
- 漢字候補の表示順序は、辞書の学習機能によって変わります。
- 変換できる漢字は、JIS第一水準漢字・第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は、一部変形もしくは省いています。

漢字変換用の文字を簡単に指定する＜ワンタッチ変換＞

ワンタッチ変換を使うと、押したボタンに割り当てられているすべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字変換を行うことができます。目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

例：「おはよう」と入力する場合

1 文字入力画面で[1]→[6]→[8]→[1]を押し、◇を押す。



- ワンタッチ変換は、主に名詞に対応しています。
- ワンタッチ変換状態では、カーソルが青色になります。
- ワンタッチ変換状態（青色のカーソル）のとき、(i)［←文節］または(m)［→文節］で、変換の対象となる文字の区切りを変えることもできます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。
- ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。
- ワンタッチ変換の変換候補が表示されているときに[クリア]を押すと、変換前のひらがなに戻ります。この状態で◇を押すと、通常変換の変換候補が表示されます。
- 濁点・半濁点付きの文字を指定するときは、元の文字が割り当てられているボタンを1回押したあと、濁点・半濁点を入力します。
  （例：「べんきょう」の場合「[6]→[*]→[0]→[2]→[8]→[1]」と入力）
- 電話帳登録のとき、ワンタッチ変換で名前を入力してもフリガナは自動的に入力されません。

2 文字を選ぶ。

文字入力

 ＊メニューを切り替えるときは(i)［(i)基本メニューへ］または［(i)詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

推測頭出し変換について

１文字だけ入力してワンタッチ変換を行うと、入力した文字の行の文字（「あ」を入力した場合「あ」「い」「う」「え」「お」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

- 表示される言葉は、あらかじめ登録されています。
- 表示される言葉は、5:00〜10:59、11:00〜16:59、17:00〜22:59、23:00〜4:59の時間帯で変わります。

ワンタッチ１文字学習について

以前にワンタッチ変換を行った文字列の先頭の１文字（「あたあさわ」と入力してワンタッチ変換で「お父さん」を採用していた場合は「あ」）を入力してワンタッチ変換を行うと、以前の変換結果（「お父さん」）が表示されます。

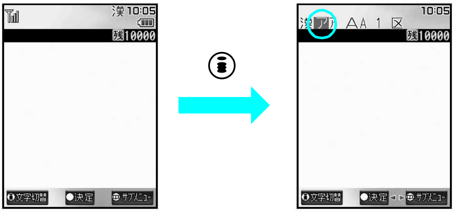
かな方式の入力モードの種類と切り替え方法

かな方式では、入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。

入力モードの種類

- ■ 漢字・ひらがな
- ■ 全角カタカナ
- ■ 半角カタカナ
- ■ 全角英数字
- ■ 半角英数字
- ■ 半角数字
- ■ 区点コード

1 文字入力画面で[文字切替]を選ぶ。



- を押すたびに、
  ア（全角カタカナ）→ｱ（半角カタカナ）→A（全角英数字）→A（半角英数字）→１（半角数字）→区（区点コード）→漢（漢字・ひらがな）の順に入力モードが切り替わります。
- を押したあとは、を押しても同様に切り替えできます。を押すと、逆の方向に切り替わります。

お知らせ

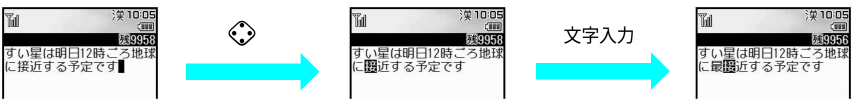
- 文字入力を中止し１つ前の画面に戻るには、クリア を押します。すでに文字を入力しているときは、クリア を押してすべての文字を削除（☞P.492）したあと、クリア を押します。
  文字の途中にカーソルがあるときは、クリア を１秒以上押す操作を２回くり返してすべての文字を削除したあと、クリア を押します。

文字を修正する

文字を追加する

1 追加したい文字の位置にカーソルを移動し、追加する文字を入力する。

例：「接近」の前に「最」を追加する場合



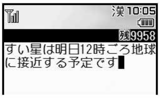
追加したい位置に
カーソルを移動

カーソル位置に
追加される

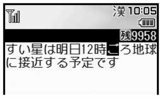
■ 文字を削除する

1 削除したい文字にカーソルを移動し、クリアを押す。

例：「ごろ」を削除する場合

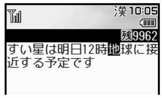


→（方向キー）→



削除したい位置に
カーソルを移動

→（クリア 2回）→



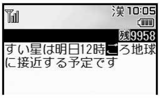
文字が削除される

- クリアを１秒以上押すと、カーソル位置に応じて文字をまとめて削除できます。
  - ■ カーソルの前後に文字があるときやカーソルの後ろだけに文字があるときは、カーソル位置の文字を含み、後の文字がすべて削除されます。
  - ■ カーソルの前にだけ文字があるときは、カーソル位置の前の文字がすべて削除されます。

■ 文字を変更する

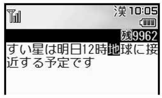
1 変更したい文字を削除し、文字を入力する。

例：「ごろ」を「近く」に変更する場合



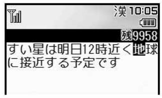
変更したい位置に
カーソルを移動

→（クリア 2回）→



文字が削除される

→（文字入力）→

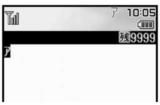


カーソル位置に
追加される

カタカナ（半角）を入力する

1 ⓘ［文字切替］を数回押して［ｱ］を表示する。

2 ダイヤルボタンを押して半角カタカナを入力する。



- 次の文字を入力するか、◇または◇を押すと確定されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、◇を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを１秒以上押します。（例：「ｱｲ」 1→◇→1→1または1→1（１秒以上）→1）

関連操作

かなをカタカナ（全角／半角）に変換する＜カナ英数字変換＞
ひらがなを入力▶ⓜ［カナ英数］▶全角カタカナ／半角カタカナ▶◉

文字入力

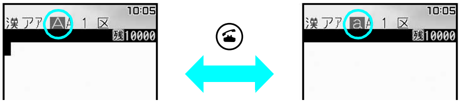
＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

英数字を入力する

英字を入力する

1 [文字切替]を数回押して［Ａ］または［A］を表示する。

- ［Ａ］を表示したときは全角英数字、［A］を表示したときは半角英数字が入力できます。
- を押すと大文字と小文字が切り替わります。文字を入力後、を押すと、１文字ずつ変換することもできます。



大文字　　小文字

2 ダイヤルボタンを押して英字を入力する。

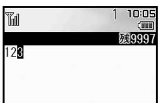


- 次の文字を入力するか、[◆]または[◆]を押すと確定されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、[◆]を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを１秒以上押します。（例：「AB」「ab」 [2]→[◆]→[2]→[2]または[2]→[2]（１秒以上）→[2]）
- 漢字モードで英単語の固有名詞（例「はうす」など）を入力し、変換候補から半角英字（例「House」、「house」など）を選んで入力することもできます。
- 漢字モードでひらがな（例「ひとみ」）を入力し、変換候補から半角ローマ字（例「hitomi」など）を選んで入力することもできます。

数字を入力する

1 [文字切替]を数回押して［１］を表示する。

2 ダイヤルボタンを押して数字を入力する。



- すぐに確定されます。
- 全角数字は、全角英数字モード（大文字／小文字）で、入力したい数字のダイヤルボタンをくり返し押すと入力できます。
  例：「１」を入力するとき→[1]を５回押す
  　　「２」を入力するとき→[2]を７回押す（大文字の場合）／[2]を４回押す（小文字の場合）
- 漢字モードでひらがなを入力し、カナ英数変換候補から数字を選んで入力することもできます。

関連操作

かなを英字／数字に変換する<カナ英数字変換>
ひらがなを入力▶[カナ英数]▶英字／数字▶[◆]

お知らせ

- 変換候補には、ボタンに割り当てられている数字や英字が表示されます。
  例：「あした」（[1]→[3]→[3]→[4]）と入力して[カナ英数]を押すと、「アシタ（全角カタカナ）」、「ｱｼﾀ（半角カタカナ）」、「１３３４（全角数字）」、「1334（半角数字）」、「．ＥＧ（全角英字の大文字）」、「.EG（半角英字の大文字）」、「．ｅｇ（全角英字の小文字）」、「.eg（半角英字の小文字）」が表示されます。

バーコードを利用して入力する

ｉモード接続中に文字入力画面でバーコード（JANコード、QRコード）から読み取ったデータを入力できます。（☞P.218「サイトやインターネットホームページ内の項目選択や文字入力」）

1 サイトやインターネットホームページの文字入力画面で[MENU]→[9]［バーコードリーダー］を選ぶ。

2 ディスプレイの中央に読み取るバーコードを表示して[●]を押す。

- バーコードリーダーの利用方法については、P.200を参照してください。

定型文を利用する＜定型文挿入＞

あらかじめ登録されている固定定型文（☞P.523）や、ご自分で登録した自作定型文（☞P.496）、メールアドレスなどを簡単に入力できます。

1 文字入力画面で[MENU]→[5]［定型文挿入］を選ぶ。



定型文挿入画面

- すべての定型文を表示するときは、[i]［切替］を押します。定型文選択画面が表示されます。

2 定型文の分類を選ぶ。

- 定型文選択画面が表示されます。
- メールアドレスなどを入力するときは、[5]［インターネット］から定型文を選びます。半角で入力されます。

3 定型文を選んで、定型文を確認して[●]を押す。



お知らせ

- 定型文選択画面を表示したとき、定型文は最後に使用されたものから、使用された順番に表示されます。

文字入力

＊メニューを切り替えるときは[i]［[i]基本メニューへ］または［[i]詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

記号を入力する＜記号入力＞

1 文字入力画面でⓜ→ⓜ［絵文字・記号入力］を選んで、ⓘ［記号］を押す。



● 絵文字が入力できない場合は、文字入力画面でⓜ→ⓜ［記号入力］を押します。絵文字と記号が入力できない場合は、［絵文字・記号入力］を選択できません。

2 記号を選ぶ。

● 連続して入力できます。

全角記号と半角記号を切り替える	ⓜ
元の入力モードに戻る	クリア

お知らせ

● 入力できる記号・特殊文字については、P.518「記号・特殊文字一覧」を参照してください。
● 一覧の１行目に表示される記号は、最近使用された10個の記号が表示されます。
● ２タッチ方式でも同様に操作できます。

絵文字を入力する＜絵文字入力＞

1 文字入力画面でⓜ→ⓜ［絵文字・記号入力］を選ぶ。



● 絵文字が入力できない場合は、サブメニューに［記号入力］と表示されます。絵文字と記号が入力できない場合は、［絵文字・記号入力］を選択できません。

2 絵文字を選ぶ。

● 連続して入力できます。

絵文字１と絵文字２を切り替える	ⓜ
元の入力モードに戻る	クリア

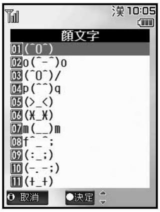
お知らせ

● 絵文字の「読み」を入力して絵文字に変換することもできます。P.519、P.520「絵文字一覧」を参照してください。
● 一覧の１行目に表示される絵文字は、最近使用された10個の絵文字が表示されます。
● ２タッチ方式でも同様に操作できます。

顔文字を入力する<顔文字>

顔文字一覧表（☞P.520）

1 文字入力画面で📖→4［顔文字］を選ぶ。



2 顔文字を選ぶ。

- コード（2桁の数字）を押しても入力できます。

お知らせ

- ひらがなで「かお」と入力して◇を押すと、漢字の候補と共に顔文字も表示されます。

定型文登録 ◇36

定型文を修正／登録する

よく使う言葉を自作定型文として登録したり、あらかじめ登録されている定型文を修正できます。

- あらかじめ登録されている定型文については、P.523を参照してください。
- 定型文は全角64文字（半角128文字）まで入力できます。
- 定型文をお買い上げ時の状態に戻すこともできます。

1 詳細メニュー：待受画面で◇→ Settings 設定 （設定）→［一般設定］→［定型文編集］の順に選ぶ。

2 6［自作定型文］を選ぶ。

- 自作定型文一覧画面が表示されます。
- 登録されている定型文を修正するときは、1［あいさつ］～5［インターネット］のいずれかを押します。

3 登録する番号を選んでⓘ［編集］を押す。

- 定型文編集画面が表示されます。

4 定型文を入力して◇を押す。

定型文をお買い上げ時の状態に戻す<リセット>

定型文のリセットを行うと、修正／登録した定型文を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。
リセットできる種類は次のとおりです。

1件リセット	指定した定型文を1件ずつリセットします。
フォルダ内リセット	指定した分類内の定型文をすべてリセットします。
全件リセット	すべての定型文をリセットします。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

関連操作

1件リセット／フォルダ内リセットを行う<1件リセット／フォルダ内リセット>

1 詳細メニューから3［一般設定］▶6［定型文編集］▶分類▶◉▶定型文▶📖
- 編集していない定型文のフォルダにはサブメニューが表示されません。

2 1［1件リセット］
- フォルダ内の定型文をすべてリセットするとき：2［フォルダ内リセット］

3 ［はい］▶◉

すべての定型文をリセットする<全件リセット>

1 詳細メニューから3［一般設定］▶6［定型文編集］▶📖［リセット］

2 ［はい］▶◉

文字コピー

文字の切り取り・コピーと貼り付け

連続した文字列をコピー／切り取りして、他の場所に貼り付けることができます。

- 同じ画面へも、他の文字入力画面へも貼り付けできます。（［サブメニュー］が表示されていない画面へは貼り付けできません。）
- 切り取りした場合、指定した文字列は元の位置から削除されます。
- 他の画面へ一度に切り取り・コピーできる文字数は、最大全角5000文字（半角10000文字）までです。
- コピー／切り取りして文字を記憶できるのは1件のみです。新たにコピー／切り取りを行うと、前に記憶していた文字に上書きされます。

文字をコピーする／切り取る

1 文字入力画面で、コピーまたは切り取る最初の文字にカーソルを移動する。

2 コピーまたは切り取りを選ぶ。

コピーする	＊（1秒以上） ● メニューで操作するときは、📖→1［コピー］を押し、◉［開始］を押します。
切り取る	＃（1秒以上） ● メニューで操作するときは、📖→2［切り取り］を押し、◉［開始］を押します。

3 最後の文字にカーソルを移動して◉を押す。
- 文字列が選択され、反転表示されます。（反転表示されている文字列が、コピーまたは切り取りの対象になります。）
- ◇を1秒以上押すと、操作1で指定した開始位置以降のすべての文字を選択できます。
- ◇を1秒以上押すと、操作1で指定した開始位置以前のすべての文字を選択できます。

メールの本文などをコピーする

例：受信メールの本文をコピーする場合

1 受信したメールを表示し、📖→5［コピー］を選ぶ。
- 送信メールのときは、送信メール表示画面で📖→3［コピー］を押します。
- 未送信メールのときは、メール作成画面で［本文］を選んで◉を押し、📖→1［コピー］を押します。操作3に進みます。
- コピー選択画面が表示されます。

次ページへ続く

2 コピーする項目を選ぶ。

アドレスをコピーする	1 [アドレス] ● アドレスがコピーされ、操作が終了します。
題名をコピーする	2 [題名]
本文をコピーする	3 [本文]

● コピー画面が表示されます。

3 コピーする最初の文字にカーソルを移動して◉［開始］を押す。

● ｉモードメールの場合は、コピーする文字の左側にカーソルを移動します。（SMS・未送信メールを除く）

4 コピーする最後の文字にカーソルを移動して◉［コピー］を押す。

文字を貼り付ける

1 貼り付け先の文字入力画面を表示し、📖→3［貼り付け］を選ぶ。

● 貼り付け画面が表示されます。

2 貼り付ける位置にカーソルを移動して◉を押す。

● 記憶されている文字列が、カーソルの位置に挿入されます。

お知らせ

● 電話帳の「フリガナ」入力欄など、半角文字のみ入力できる部分に貼り付けした場合、記憶されている文字列内の半角文字のみ入力されます。また、貼り付け先に応じて入力可能な文字数分のみ貼り付けされます。
● コピー／切り取りした文字列は、新たにコピー／切り取りするか、電源を切るまで記憶しています。
●「文字を貼り付ける」の操作１で１つ前の状態（画面）に戻るときは、クリアを押します。

区点コード入力

区点コードで入力する

４桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。
● 区点コードとは、漢字などの文字ひとつひとつに付与されている固有の番号です。
区点コードおよび区点でコード入力できる文字については、P.524～P.527「区点コード一覧」を参照してください。

1 文字入力画面でⓘ［文字切替］を数回押して［区］を表示する。

2 ４桁の区点コードを入力する。

● ４桁目を押すと、コード入力した文字が表示されます。
● 区点コードを押し間違えたときは、４桁目を押す前にクリアを押すと、数字が消えます。正しい数字を入力し直してください。

文字入力

 ＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

よく使う単語を登録する

よく使う単語に見出し語（全角ひらがな最大８文字）を付けて、最大100語まで登録できます。登録した単語は、見出し語を入力して漢字変換すると、変換候補に表示され、簡単に入力できます。
- 同じ見出し語は５件まで登録できます。

単語を新規登録する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［一般設定］→［ユーザ辞書］の順に選ぶ。
- ユーザ辞書一覧画面が表示されます。
- 単語と見出し語のリストを切り替えるときは、i［切替］を押します。

2 ［新規登録］を選ぶ。
- ユーザ辞書登録画面が表示されます。

3 単語を入力して◉を押す。
- 最大全角15文字まで入力できます。
- 改行は入力できません。

4 見出し語を入力して◉を押す。
- ひらがなで入力します。（最大８文字）

登録した単語を修正する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［一般設定］→［ユーザ辞書］の順に選んで、単語を選ぶ。
- ユーザ辞書修正画面が表示されます。

2 単語を修正して◉を押す。

3 見出し語を修正して◉を押し、登録方法を選ぶ。
- 修正しないときは、そのまま◉を押して登録方法を選びます。

新規登録する	1［新規登録］ ● 同じ見出し語がすでに５件登録されている場合は、新規登録できません。
上書登録する	2［上書登録］

登録した単語を削除する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings（設定）→［一般設定］→［ユーザ辞書］の順に選んで、単語にカーソルを合わせて m→1［削除］を選ぶ。
- 削除確認画面が表示されます。

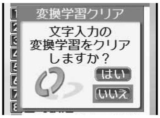
2 ［はい］を選ぶ。
- 単語が削除されます。

変換学習クリア　◉30

学習された変換候補をリセットする

近似予測変換や連携予測変換機能などで学習された変換候補を、すべてリセットできます。
● 絵文字や記号の変換候補もリセットされます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［一般設定］→［変換学習クリア］の順に選んで、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押す。



● 入力した端末暗証番号は、［✱］で表示されます。

2 ［はい］を選ぶ。
● 変換候補がリセットされます。

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

お買い上げ時
辞書登録なし

FOMA端末には、サイトやインターネットホームページから日本語変換用の辞書をダウンロードして、最大5件まで登録できます。このうち2件の辞書を、漢字変換用の辞書として使用できます。専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登録されている用語が変換候補に表示されるようになります。
● ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換できます。
● 辞書のダウンロード方法については、P.233を参照してください。

◉35

使用辞書を設定／解除する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［一般設定］→［ダウンロード辞書］の順に選ぶ。
● 登録されている辞書が表示されます。現在使用中の辞書には、［■］が表示されます。

2 辞書にカーソルを合わせて、使用辞書を設定または解除する。

使用辞書を設定／解除する	メニュー→1［使用辞書設定］／メニュー→1［使用辞書解除］ ● すでに2件使用を設定されているときは、［使用辞書登録は最大2つまでです］と表示されます。現在使用中の辞書を解除してから、やり直してください。 ● すでに設定されている使用辞書を選んだときは、解除されます。
辞書のタイトルを変更する	メニュー→3［タイトル編集］→タイトルを編集→◉
辞書の情報を確認する	メニュー→4［情報表示］ ● 辞書の情報（辞書名、作者、バージョン、ダウンロード日時など）が表示されます。クリアまたは◉［戻る］を押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ
● 文字入力画面でメニューを押し、［ダウンロード辞書切替］を選択しても、設定／解除の操作ができます。

辞書の内容を確認する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→Settings設定（設定）→［一般設定］→［ダウンロード辞書］の順に選んで、辞書にカーソルを合わせて◉［表示］を押す。

- 辞書に登録されている単語の一覧が表示されます。
- 確認を終了するときは、クリアを押します。
- 見出し語の一覧を確認するときは、◉［切替］を押します。◉［切替］を押すたびに、「単語の一覧」→「見出し語の一覧」の順に切り替わります。

辞書を削除する

登録されている辞書を１件ずつ、またはすべての辞書をまとめて削除できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→Settings設定（設定）→［一般設定］→［ダウンロード辞書］の順に選んで、辞書にカーソルを合わせて📖→5［削除］を選ぶ。

- 削除画面が表示されます。

2 削除方法を選ぶ。

辞書を１件削除する	1［１件削除］→［はい］→◉
すべての辞書を削除する	2［全件削除］→［はい］→◉

お知らせ

- ダウンロードしたときに挿入していたFOMAカードとは別のFOMAカードが挿入されている場合、そのダウンロード辞書の横にFOMAカード動作制限マークが表示されます。その場合、辞書の内容を確認することはできませんが、削除することはできます。

ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換する<ダウンロード辞書変換>

単語登録したユーザ辞書を、ダウンロード辞書に変換できます。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→Settings設定（設定）→［一般設定］→［ユーザ辞書］の順に選んで、📖→2［ダウンロード辞書変換］を選ぶ。

- 保存先設定画面が表示されます。

2 保存先を選ぶ。

- すでに登録されている番号を選んだときは、上書きするかどうかを確認する旨のメッセージが表示されます。［はい］を選んで◉を押します。

3 辞書の使用を設定する。

変換した辞書をすぐに使用する	［はい］→◉
変換した辞書をすぐに使用しない	［いいえ］→◉

- すでに使用辞書設定に２件登録されているときは、使用辞書登録の確認画面は表示されません。現在設定されている辞書を解除してから、使用辞書設定してください。

お知らせ

- ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換するとユーザ辞書は削除されます。

使用する変換方法を選ぶ

お買い上げ時
近似予測変換辞書ON（使用する）
連携予測変換ON（使用する）

近似予測変換（☞P.488）および連携予測変換（☞P.488）を使用するかどうかを設定できます。

1 文字入力画面で📖→7[近似予測変換辞書]を選んで、1[**ON**]を選ぶ。



- 連携予測変換を選ぶときは、📖→8[連携予測変換]を押し、1[ON]を押します。

２タッチ方式で文字を入力する

２タッチ方式に設定する<文字入力方式>

ボタン２つでひらがなが入力できる、２タッチ方式に切り替えできます。２タッチでの文字指定に慣れた方におすすめです。

1 文字入力画面で📖→6［２タッチ方式］を選ぶ。



２タッチ入力画面

- ２タッチ方式は、通常の入力方式［かな方式］にするまで継続します。
- ２タッチ方式でも、かな方式と同様に定型文挿入を利用できます。
- ２タッチ方式では、カナ英数変換はできません。
- かな方式に戻すときは、文字入力画面で📖→6［かな方式］を押します。

入力モードを切り替える

1 文字入力画面でⓘ［文字切替］を押す。

- ⓘ［文字切替］を押すたびに、半（半角大文字）→区（区点コード）→全（全角大文字）に切り替わります。

お知らせ

- 大文字モード／小文字モードの切り替えは、全角モード／半角モードの状態で行うことができます。
  また、文字を入力後☎を押すと、１文字ずつ変換することもできます。（☞P.493）
- 文字入力画面でⓘ［文字切替］を押したあと、◇を押しても同様に切り替えできます。◇を押すと、逆の方向に切り替わります。

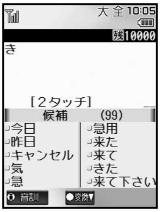
＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

文字を入力する

２タッチ方式で、２桁の数字を押し、１文字ずつ指定します。

1 文字入力画面で２桁の数字を入力する。

例：2→2 ➡［き］



● 文字の割り当てについては、P.517を参照してください。

MEMO

付録／外部機器連携／困ったときには

詳細メニュー一覧

● 詳細メニュー表示（☞P.38）に切り替えてからボタン操作を行ってください。

ｉモードメニュー

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
1ｉ Menu		ⓘ1	—	P.213
2メッセージ	メッセージR	ⓘ21	—	P.243
	メッセージF	ⓘ22	—	P.243
3Bookmark		ⓘ3	—	P.226
4ｉモード問い合わせ		ⓘ4	—	P.242
5画面メモ		ⓘ5	—	P.229
6ラストURL		ⓘ6	—	P.215
7URL履歴		ⓘ7	—	P.224
8Internet		ⓘ8	—	P.223
9ｉモード設定	共通設定	ⓘ91	—	P.236
	メール／メッセージ設定	ⓘ92	—	P.292
	Internet設定	ⓘ93	—	P.236
	ｉモード設定リセット	ⓘ94	—	P.239
	セキュリティ設定	ⓘ9*（1秒以上）	OFF☆	『ｉモード操作ガイド』

※ お買い上げ時に［☆］がついているものは、設定リセット（☞P.424）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

メールメニュー

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
1受信BOX	受信トレイ	✉1	—	P.280
2送信BOX	送信トレイ	✉2	—	P.280
3未送信BOX		✉3	—	P.270
4新規メール作成		✉4	—	P.263
5新規SMS作成		✉5	—	P.306
6チャットメール		✉6	—	P.299
7ｉモード問い合わせ		✉7	—	P.273
8SMS問い合わせ		✉8	—	P.310
9メール選択受信		✉9	—	P.273

＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
0メール設定	クイック返信メール設定	◇01	—	P.297
	添付ファイル受信	◇02	画像とメロディ☆	P.298
	メロディ自動再生	◇03	自動再生する☆	P.297
	文字サイズ設定	◇04	標準☆	P.292
	操作中メール着信音設定	◇05	ON☆	P.298
	ｉモード問い合わせ設定	◇06	ｉモードメール・メッセージR・メッセージF：ON☆	P.295
	メッセージ自動表示設定	◇07	メッセージR優先☆	P.241
	メール選択受信設定	◇08	OFF☆	P.296
	チャットメール自動起動	◇09	ON☆	P.306
	メールメンバー設定	◇00	—	P.296
	署名登録	◇0*	ON☆	P.295
	SMSセンター設定	◇0#	ドコモ	P.311
	SMS送達通知設定	—	要求しない☆	P.311
	SMS有効期間設定	—	3日	P.312
	メール設定確認	—	—	P.299
	メール設定リセット	—	—	P.299
	セキュリティ設定	◇0*（1秒以上）	OFF☆	『ｉモード操作ガイド』

※ お買い上げ時に［☆］がついているものは、設定リセット（☞P.424）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

カメラ

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
1静止画撮影		◇（カメラ）	—	P.183
2動画撮影		—	—	P.186
3文字読み取り		—	—	P.203
4バーコードリーダー		—	—	P.200

電話帳

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
電話帳		⊡（電話帳）	—	P.114

音

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
❶音量選択	着信音量選択	◈111	音声電話着信音・テレビ電話着信音・公衆電話着信音・非通知設定着信音・通知不可能着信音：音量３☆	P.128
	メール着信音量選択	◈112	メール着信音・メッセージR着信音・メッセージF着信音・SMS着信音：音量３☆	P.129
	チャットメール着信音量選択	◈113	音量３☆	P.129
	各種設定音量選択	◈114	ボタン確認音・オープン音・クローズ音・充電開始音・充電完了音・タイマー音：音量３☆	P.129 P.130
❷音選択	着信音選択	◈121	音声電話着信音：着信音１／テレビ電話着信音・公衆電話着信音・非通知設定着信音・通知不可能着信音：音声電話着信音に従う☆	P.125
	メール着信音選択	◈122	メール着信音：着信音２／メッセージR 着信音・メッセージF着信音・SMS着信音：メール着信音に従う☆	P.125 P.126
	チャットメール着信音選択	◈123	着信音２☆	P.125
	各種設定音選択	◈124	オープン音：OP（標準音）／クローズ音：CL（標準音）／シャッター音：標準音／タイマー音：標準音／15秒☆	P.127 P.196
❸バイブレータ設定	着信バイブレータ	◈131	OFF☆	P.130
	メール着信バイブレータ	◈132	OFF☆	P.130
❹マナーモード設定	通常マナーモード	◈141	—	P.132
	サイレントマナーモード	◈142	—	P.132
	オリジナルマナーモード	◈143	伝言メモ・着信バイブレータ・マイク感度アップ：ON、着信音・メール着信音・ボタン確認音・低電圧アラーム：OFF☆	P.134
❺着信音出力切替	イヤホンのみ	◈151	—	P.132
	イヤホン＋スピーカ	◈152	イヤホン＋スピーカ☆	P.132
❻メール着信鳴動時間設定	ON	◈161	ON／３秒☆	P.131
	OFF	◈162	—	P.131
❼呼出動作開始時間設定	ON	◈171	—	P.172
	OFF	◈172	OFF☆	P.172
❽保留・応答保留音	応答保留音	◈181	応答保留音１☆	P.73
	保留音	◈182	保留メロディ１☆	P.74

※ お買い上げ時に［☆］がついているものは、設定リセット（☞P.424）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

＊メニューを切り替えるときは◉［◉基本メニューへ］または［◉詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

表示

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
❶メイン画面設定	待受画面設定	◈211	待受画面１☆	P.135
	時計表示設定	◈212	ON☆	P.137
	カレンダー表示設定	◈213	OFF☆	P.136
❷サブ画面設定	相手表示設定	◈221	ON☆	P.139
	コントラスト調節	◈222	濃度３☆	P.139
❸文字表示設定	細字	◈231	―	P.150
	太字	◈232	太字☆	P.150
	極太字	◈233	―	P.150
❹画面カスタマイズ設定	ピクチャーコール設定	◈241	ON☆	P.138
	ポップアップウィンドウ設定	◈242	ポップアップ１☆	P.143
	お知らせウィンドウ設定	◈243	お知らせ１☆	P.144
	背景パターン設定	◈244	背景パターン１☆	P.143
	発着信画面設定	◈245	音声電話発信画面：電話発信１／音声電話着信画面・テレビ電話着信画面・公衆電話着信画面・非通知設定着信画面・通知不可能着信画面：電話着信１☆	P.137
	メール送受信画面設定	◈246	メール送信画面設定：メール送信１／メール受信画面設定：メール受信１☆	P.138
	タイトル&ステータス色設定	◈247	パターン１☆	P.145
	ガイダンスボタン設定	◈248	左ボタン：操作ガイド左１／中央ボタン：操作ガイド中央１／右ボタン：操作ガイド右１☆	P.144
❺着信ランプ設定	着信ランプ色設定	◈251	音声電話：グリーン／テレビ電話：グリーン☆	P.148
	メール受信ランプ色設定	◈252	ブルー☆	P.148
	着信ランプ動作設定	◈253	メロディ非連動☆	P.149
	メール受信ランプ動作設定	◈254	メロディ非連動☆	P.149
❻省電力設定	通常モード	◈261	通常モード☆	P.140
	節約モード	◈262	―	P.140
	ユーザ設定	◈263	照明時間設定：15秒（充電時・ｉモード時：通常時と同じ、テレビ電話時：常にON）／画面表示時間設定：２分（ランプ表示なし）／：スクリーンセーバー：OFF／明るさ調整：12☆	P.140
❼視野切替設定	マナーモード連動設定	◈271	ON☆	P.151
	視野切替画面設定	◈272	パターンA☆	P.151

※ お買い上げ時に［☆］がついているものは、設定リセット（☞P.424）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

一般設定

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
1メモリ確認		◉31	—	P.365
2電池残量確認		◉32	—	P.50
3設定状況確認	音	◉331	—	P.380
	表示	◉332	—	P.380
	一般設定	◉333	—	P.380
	通話・通信設定	◉334	—	P.380
	セキュリティ	◉335	—	P.380
	iモード	◉336	—	P.380
	メール・メッセージ	◉337	—	P.380
4ユーザ辞書		◉34	—	P.499
5ダウンロード辞書		◉35	—	P.500
6定型文編集	あいさつ	◉361	—	P.496
	ビジネス	◉362	—	P.496
	プライベート	◉363	—	P.496
	応答	◉364	—	P.496
	インターネット	◉365	—	P.496
	自作定型文	◉366	※1	P.496
7自動電源ON／OFF	自動電源ON	◉371	OFF☆	P.383
	自動電源OFF	◉372	OFF☆	P.384
8日時設定		◉38	※2	P.52
9ワンタッチキー設定	ワンタッチキー設定	◉391	—	P.406
	お知らせランプ設定	◉392	ON☆	P.407
0変換学習クリア		◉30	—	P.500
*Bilingual	日本語	◉3*1	日本語	P.150
	English	◉3*2	—	P.150
#スキャン機能	パターンデータ更新	◉3#1	—	P.549
	スキャン機能設定	◉3#2	有効☆	P.549
	バージョン表示	◉3#3	—	P.550
■ソフトウェア更新		◉3▶［ソフトウェア更新］▶◉	—	P.543

※ お買い上げ時に［☆］がついているものは、設定リセット（☞P.424）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。
※１ お買い上げ時に登録されている定型文については、P.523を参照してください。
※２ 2005年１月１日00:00

＊ メニューを切り替えるときは(i)［(i)基本メニューへ］または［(i)詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

サービス

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
❶留守番電話	メッセージ問合せ	◈411	—	P.430
	留守番メッセージ再生	◈412	—	P.429
	留守番電話サービス開始	◈413	—	P.429
	留守番呼出時間設定	◈414	—	P.429
	留守番サービス停止	◈415	—	P.429
	留守番設定確認	◈416	—	P.430
	留守番サービス設定	◈417	—	P.429
	件数増加時鳴動設定	◈418	ON☆	P.430
	表示消去	◈419	—	P.430
	着信通知開始	◈410	—	P.431
	着信通知停止	◈41✳	—	P.431
	着信通知設定確認	◈41＃	—	P.431
❷キャッチホン	キャッチホンサービス開始	◈421	—	P.431
	キャッチホンサービス停止	◈422	—	P.431
	キャッチホンサービス設定確認	◈423	—	P.432
❸転送でんわ	転送サービス開始	◈431	—	P.433
	転送サービス停止	◈432	—	P.434
	転送先変更	◈433	—	P.434
	転送先通話中時設定	◈434	—	P.435
	転送サービス設定確認	◈435	—	P.435
❹迷惑電話ストップ	迷惑電話着信拒否登録	◈441	—	P.435
	迷惑電話全登録削除	◈442	—	P.435
	迷惑電話１登録削除	◈443	—	P.435
❺発信者番号通知	発番号通知設定確認	◈451	—	P.436
	発番号通知設定	◈452	—	P.436
❻番号通知お願いサービス	番号通知サービス開始	◈461	—	P.437
	番号通知サービス停止	◈462	—	P.437
	サービス設定確認	◈463	—	P.437
❼通話時間／料金		◈47	—	P.418
❽通話中着信設定	通話中着信設定開始	◈481	—	P.440
	通話中着信設定停止	◈482	—	P.440
	通話中着信設定確認	◈483	—	P.440
❾着信動作選択	留守番電話	◈491	—	P.439
	転送でんわ	◈492	—	P.439
	着信拒否	◈493	—	P.439
	通常着信	◈494	通常着信☆	P.439
⓿遠隔操作設定	遠隔操作開始	◈401	—	P.440
	遠隔操作停止	◈402	—	P.440
	遠隔操作設定確認	◈403	—	P.441

※ お買い上げ時に［☆］がついているものは、設定リセット（☞P.424）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
✱デュアルネットワーク	デュアルネットワーク切替	◆4✱1	—	P.437
	ネットワーク状態確認	◆4✱2	—	P.438
#英語ガイダンス	ガイダンス設定	◆4#1	—	P.438
	ガイダンス設定確認	◆4#2	—	P.439
ⓘサービスダイヤル	ドコモ故障問合せ	◆4ⓘ01	—	P.439
	ドコモ総合案内・受付	◆4ⓘ02	—	P.439
■追加サービス	USSD登録	◆4 ▶［追加サービス］▶1	—	P.442
	応答メッセージ登録	◆4 ▶［追加サービス］▶2	—	P.442
■規制	本端末ではご利用になれません			
■マルチナンバー	マルチナンバー			

通話・通信機能設定

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
1ノイズキャンセラ	ON	◆511	ON☆	P.66
	OFF	◆512	—	P.66
2通話中アラーム設定	再接続機能	◆521	アラームあり（高音）☆	P.65
	通話品質アラーム	◆522	アラームあり（高音）☆	P.131
3テレビ電話設定	音声自動再発信	◆531	OFF☆	P.97
	送信画像設定	◆532	代替画像設定：通話中画像１／発信時自画像送信：ON／応答保留画像設定：応答保留画像／保留画像設定：保留画像☆	P.93 P.94
	画面サイズ設定	◆533	拡大表示☆	P.96
	テレビ電話画面設定	◆534	相手大・自分小☆	P.96
	子画面表示位置	◆535	左上☆	P.96
	送信画質設定	◆536	標準☆	P.94
	切替機能通知設定	◆537	切替機能通知開始	P.97
4伝言メモ設定	伝言メモ設定	◆541	OFF☆	P.77
	伝言応答時間	◆542	８秒☆	P.79
	応答メッセージ	◆543	応答メッセージ１☆	P.79
	テレビ電話時応答画像	◆544	伝言メモ画像☆	P.91
5クローズ動作設定	保留	◆551	—	P.69
	終話	◆552	終話☆	P.69
	ミュート	◆553	—	P.69
6エニーキーアンサー	ON	◆561	ON☆	P.69
	OFF	◆562	—	P.69
7オート着信設定	ON	◆571	—	P.424
	OFF	◆572	OFF☆	P.424
8セルフモード	ON	◆581	—	P.163
	OFF	◆582	OFF☆	P.163
9プレフィックス設定		◆59	1件目：009130-010☆	P.63

※お買い上げ時に［☆］がついているものは、設定リセット（☞P.424）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

＊メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
0サブアドレス設定	ON	◎501	ON☆	P.65
	OFF	◎502	—	P.65
＊国際ダイヤル設定	自動付加設定	◎5＊1	自動付加☆	P.64
	国際電話設定	◎5＊2	World call 009130-010☆	P.63
#イヤホン発信設定	ON	◎5#1	ON／メモリ番号：749☆	P.422
	OFF	◎5#2	—	P.422

セキュリティ

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
1シークレットモード		◎61	OFF／自動解除しない☆	P.167
2FOMAカード（UIM）設定	PIN1コード入力設定	◎621	OFF	P.156
	PIN1コード変更	◎622	—	P.157
	PIN2コード変更	◎623	—	P.157
3着信拒否／許可設定	電話帳指定着信許可	◎631	OFF☆	P.167
	電話帳指定着信拒否	◎632	OFF☆	P.169
	電話帳登録外	◎633	許可☆	P.173
	非通知設定	◎634	許可☆	P.171
	公衆電話	◎635	許可☆	P.171
	通知不可能	◎636	許可☆	P.171
4発着信履歴表示	着信履歴表示	◎641	ON☆	P.166
	リダイヤル表示	◎642	ON☆	P.166
5メール履歴表示	メール送信履歴表示	◎651	ON☆	P.166
	メール受信履歴表示	◎652	ON☆	P.166
6ロック設定	オールロック	◎661	—	P.160
	ダイヤル発信制限	◎662	OFF☆	P.165
	PIMロック	◎663	OFF☆	P.163
	遠隔オールロック	◎664	OFF／許可番号：なし／着信回数：５回/指定時間：３分☆	P.161
7端末暗証番号変更		◎67	0000	P.155
8データ一括削除	ユーザデータ削除	◎681	—	P.425
	シークレットデータ削除	◎682	—	P.426

その他の設定

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
電話番号表示		◎0	自局番号	P.54
初期設定		◎＊	—	P.52
設定リセット		◎#	—	P.424

※ お買い上げ時に［☆］がついているものは、設定リセット（☞P.424）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

データBOX

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
1マイピクチャ	カメラ撮影	◉71	—	P.316
	ｉモード・その他	◉71	—	P.316
	プリインストール	◉71	—	P.316
2モーション	カメラ撮影	◉72	—	P.333
	ｉモード・その他	◉72	—	P.333
3メロディ	メロディ	◉73	—	P.346
	プリインストール	◉73	—	P.346
4プリント指定（DPOF）		◉74	—	P.376
5セキュリティ設定		◉7*（1秒以上）	OFF☆	P.361

※ お買い上げ時に［☆］がついているものは、設定リセット（☞P.424）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

ツール

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
1ボイスレコーダー		◉81	—	P.366
2スケジュール		◉82	—	P.394
3ToDoリスト		◉83	—	P.390
4アラーム		◉84	—	P.385
5タイマー		◉85	—	P.385
6テキストメモ		◉86	—	P.420
7電卓		◉87	税率５%☆	P.413
8マネーカルク		◉88	—	P.415
9miniSD管理	miniSDデータ参照	◉891	—	P.356
	バックアップ／復元	◉892	—	P.354
	インポート	◉893	—	P.360
	管理情報の更新	◉894	—	P.359
	フォーマット	◉895	—	P.358
0バーコードリーダー		◉80	—	P.200
*文字読み取り		◉8*	—	P.203

※ お買い上げ時に［☆］がついているものは、設定リセット（☞P.424）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

ブックリーダー

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
ブックリーダー	サポートブック（内蔵）	◉9	—	P.369

サポート

機能メニュー		機能番号	お買い上げ時	ページ
サポートブック（内蔵）		ⓘ（１秒以上）	—	P.40

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）
＊ メニューを切り替えるときはⓘ［ⓘ基本メニューへ］または［ⓘ詳細メニューへ］を押します。（☞P.35）

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（かな方式）

文字入力は、ダイヤルボタンで行います。１つのボタンには、次の表のように複数の文字が割り当てられています。

● ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。
　例：全角カナモードで[1]を３回押すと
　[1]［ア］が表示➡[1]［イ］が表示➡[1]［ウ］が表示（表示を逆戻りさせるときは[小]を押します。）

全角文字の割り当て

ボタン	漢 漢字(ひらがな)入力モード	ア 全角カタカナ入力モード	全角英数字入力モード A 大小文字	全角英数字入力モード a 小文字	区 区点コード入力モード
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	．／＿＠１（スペース）	．／＿＠１（スペース）	1
2	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣａｂｃ２	ａｂｃ２	2
3	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦｄｅｆ３	ｄｅｆ３	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	ＧＨＩｇｈｉ４	ｇｈｉ４	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬｊｋｌ５	ｊｋｌ５	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯｍｎｏ６	ｍｎｏ６	6
7	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳｐｑｒｓ７	ｐｑｒｓ７	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ＴＵＶｔｕｖ８	ｔｕｖ８	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ９	ｗｘｙｚ９	9
0	わをん（スペース）	ワヲン（スペース）	０（スペース）	０（スペース）	0
0〜9 1秒以上押す	※3				0〜9
＊	゛゜（付加可能な文字の場合）↲※1	↲※1			↲
＃	全角記号変換（ー、。！？・）				なし
上	ワンタッチ変換(前候補)	カーソル上移動			
下	通常変換(次候補)／↲※1	カーソル下移動／↲※1			
左	文節左移動	カーソル左移動			
右	文節右移動	カーソル右移動			
メニュー	文字入力モードの切り替え				
メール	小文字変換※4（小文字変換可能な文字の場合）		大小文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え※4	大文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え※4	なし
クリア	1文字削除、変換中止	1文字削除			入力済みコードまたは1文字削除
クリア 1秒以上押す	カーソルより前の文字削除※2				
決定	採用、決定	決定			
小	逆順表示				なし

※１ 文字確定後に押すと［↲］（改行）されます。［↲］は半角で表示されますが、全角１文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や修正できます。メール本文入力時、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモの内容入力時などに有効です。
※２ カーソルの前後に文字があるときや、カーソルの後ろだけに文字があるときは、カーソル位置の文字を含み、後ろの文字がすべて削除されます。
※３ 同じ行の文字を続けて入力したい場合に、１秒以上押すと入力することができます。
※４ 文字を入力後に押すと、カーソルのある文字が変換されます。変換候補欄で押すと文字が採用されます。
● 濁点の付いたひらがなやカタカナは、一部を省略しているものがあります。

半角文字の割り当て

ボタン	ｶ 半角カタカナ入力モード	半角英数字入力モード A 大小文字	半角英数字入力モード a 小文字	1 半角数字入力モード
1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	. / _ @ 1 □(スペース)	. / _ @ 1 □(スペース)	1
2	ｶｷｸｹｺ	A B C a b c 2	a b c 2	2
3	ｻｼｽｾｿ	D E F d e f 3	d e f 3	3
4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	G H I g h i 4	g h i 4	4
5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	J K L j k l 5	j k l 5	5
6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	M N O m n o 6	m n o 6	6
7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	P Q R S p q r s 7	p q r s 7	7
8	ﾔﾕﾖｬｭｮ	T U V t u v 8	t u v 8	8
9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	W X Y Z w x y z 9	w x y z 9	9
0	ﾜｦﾝ□(スペース)	0 □(スペース)	0 □(スペース)	0
0～9 1秒以上押す	※4			※5
*	ﾞ ﾟ - ↲	↲※1		*
#	半角記号変換（-､｡!?･~()'",.:;¥&）※3			#
上	カーソル上移動			P（電話番号入力時）／カーソル上移動
下	カーソル下移動／↲※1			
左	カーソル左移動			
右	カーソル右移動			
(メニュー)	文字入力モードの切り替え			
(発信)	小文字変換※6（小文字変換可能な文字の場合）	大小文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え※6	大文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え※6	なし
クリア	1文字削除			
クリア 1秒以上押す	カーソルより前の文字削除※2			
(決定)	決定			
小	逆順表示			なし

※1 ［↲］（改行）されます。［↲］は半角で表示されますが、全角1文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や修正できます。メール本文入力時、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモの内容入力時などに有効です。
※2 カーソルの前後に文字があるときや、カーソルの後ろだけに文字があるときは、カーソル位置の文字を含み、後ろの文字がすべて削除されます。
※3 半角英数入力限定時（メールアドレス、URL入力時）は、「､」、「｡」、「･」を入力することはできません。
※4 同じ行の文字を続けて入力したい場合に、1秒以上押すと入力することができます。
※5 0を1秒以上押した場合は、「+」が入力されます。
※6 文字を入力後、カーソルのある文字が変換されます。

■ 文字の数え方

全角1文字は、半角2文字分として数えられます。
半角文字では、濁点・半濁点も1文字分として数えられます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（2タッチ方式）

全角文字

全角大文字モード

1桁目（最初に押すボタン）＼2桁目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	？	！	ー	／
7	ま	み	む	め	も	￥	＆		☎	
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃		♥	※
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

全角小文字モード

1桁目（最初に押すボタン）＼2桁目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			っ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										
8	ゃ		ゅ		ょ					※
9										
0	ゎ			、	。					

※ 8 0を押すと、大文字モード（左表）と小文字モード（右表）が切り替わります。

半角文字

半角大文字モード

1桁目（最初に押すボタン）＼2桁目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#		♥	※
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

半角小文字モード

1桁目（最初に押すボタン）＼2桁目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			ｯ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										
8	ｬ		ｭ		ｮ					※
9										
0				,	.					

※ 8 0を押すと、大文字モード（左表）と小文字モード（右表）が切り替わります。

- 「☎」「♥」は半角2文字分となります。

お知らせ

- 空欄はスペースを示します。
- □部分は、文字入力後、を押すたびに、大文字⇔小文字と切り替わります。

記号・特殊文字一覧

文字入力画面でⓜを押し、ⓜ［絵文字・記号入力］→ⓘを押すと［記号］と［絵文字］を切り替えて入力できます。
記号入力時にⓜを押すと、［半角］［全角］が切り替わり、絵文字入力時にⓜを押すと、［絵文字２］［絵文字１］が切り替わります。

全角記号・特殊文字

、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛
゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ
ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”
（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉
《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－
±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞
∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠
￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○
●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽	▼
※	〒	→	←	↑	↓	〓	∈	∋	⊆
⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒	⇔
∀	∃	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪
≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰	♯
♭	♪	†	‡	¶	◯	ゎ	ゐ	ゑ	ヮ
ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ	Ε
Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α
β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ
μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ

χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё
Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П
Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ
Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г
д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м
н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц
ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	─
│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼
━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻
╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
╂	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑
㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞
㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№	㏍	℡
㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽
㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟
⊿	∵	∩	∪						

特殊記号（①～∪）

※ 特殊文字は、ｉモードメール対応機以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

半角記号

!	"	#	$	%	&	'	(	)	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	[	¥	]	^	_	`	{	|
}	~	｡	｢	｣	､	･	ｰ	ﾞ	ﾟ

絵文字一覧

読みを入力して絵文字に変換できます。

絵文字1

見出し(ﾖﾐ)	絵文字	見出し(ﾖﾐ)	絵文字	見出し(ﾖﾐ)	絵文字	見出し(ﾖﾐ)	絵文字	見出し(ﾖﾐ)	絵文字
はれ		ひこうき		ばーすでー		いす		はーと、はあと	
くもり		いえ		でんわ		よる、つき		はーと、はあと	
あめ、かさ		びる		でんわ、けいたい		すーん		しつれん、はーと、はあと	
ゆき		ゆうびんきょく		めも		おん		はーと、はあと	
かみなり		びょういん		てれび		えんど		かお、にこ	
うずまき、たいふう		ぎんこう		げーむ		とけい		かお、むか	
きり		ぎんこう、えーてぃーえむ		しーでぃー		でんわ		かお、かなしい	
こさめ		ほてる		はーと、はあと		めーる		かお、かなしい	
おひつじざ		こんびに		すぺーど		ふぁっくす		かお、ふらふら	
おうしざ		がそりん、すたんど		だいや		あいもーど		やじるし、ぐっど	
ふたござ		ちゅうしゃじょう		くろーばー、くらぶ		あいもーど		おんぷ	
かにざ		しんごう		め		めーる		おんせん	
ししざ		といれ		みみ		どこも		かわいい	
おとめざ		れすとらん		ぐー		どこも		きす	
てんびんざ		きっさてん		ちょき、ぶい		ゆうりょう		ぴかぴか、きらきら	
さそりざ		ばー		ぱー		ふりー、むりょう		ひらめき	
いてざ		びーる、さけ		やじるし、みぎした		あいでぃー		むか、いかり	
やぎざ		はんばーがー		やじるし、ひだりうえ		かぎ、しーくれっと、ぱすわーど		ぱんち	
みずがめざ		ぶてぃっく		あし		りたーん		ばくだん	
うおざ		はさみ、びよういん		くつ		くりあ		おんぷ	
すぽーつ		からおけ		めがね		むしめがね、るーぺ、さーち		やじるし、ばっど	
やきゅう		えいが		くるまいす		にゅー		ねる、ねむい	
ごるふ		やじるし、みぎうえ		しんげつ、つき		はた		びっくり	
てにす		ゆうえんち		つき		ふりーだいやる		びっくり	
さっかー		おんがく		はんげつ、つき		しゃーぷだいやる		びっくり	
すきー		あーと		みかづき、つき		もばきゅー		しょうげき、いらいら	
ばすけっと、ばすけ		えんげき		まんげつ、つき		いち		あせ	
はた		いべんと		いぬ		に		あせ	
ぽけっとべる、ぽけべる		ちけっと		ねこ		さん		だっしゅ	
でんしゃ		たばこ、きつえん		よっと、りぞーと		よん、し		ー	
ちかてつ		きんえん		くりすます		ご		ー	
しんかんせん		かめら		やじるし、ひだりした		ろく		おーけー	
くるま		かばん		かちんこ		なな、しち			
くるま		ほん		ふくろ		はち			
ばす		りぼん		ぺん		きゅー、く			
ふね		ぷれぜんと		ひとかげ		ぜろ			

- 本絵文字を送信した場合、相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。また、iモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。
- SMSでは［♥］［♥］［☎］以外はスペースになります。（SMSの受信側では［♥］は、［♥］になります。）

次ページへ続く

- 「見出し（ヨミ）」を入力すると、変換候補の絵文字の後ろに［絵１］と表示されますが、その候補を選択しても［絵１］という文字は採用されません。

絵文字２

見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字
あいあぷり		すなどけい、とけい		ねこ		やじるし、さゆう		らーめん、どんぶり	
あいあぷり		じてんしゃ		かお、かなしい		やじるし、じょうげ		ぱん、しょくぱん	
てぃーしゃつ、しゃつ		おちゃ、ゆのみ		かお、なみだ、かなしい		がっこう		かたつむり	
さいふ		うでどけい、とけい		えぬじー	NG	なみ		ひよこ	
くちべに、けしょう		かお		くりっぷ		ふじさん、やま		ぺんぎん	
じーんず、じーぱん、ずぼん		かお、にこ		こぴーらいと	©	くろーばー		さかな	
すのぼ		かお、あせ		てぃーえむ、とれーどまーく、しょうひょう	™	さくらんぼ、ちぇりー		かお、うまい	
べる、ちゃべる		かお、あせ		はしる、ひと		ちゅーりっぷ、はな		かお	
どあ		かお、むか		まるひ	秘	ばなな		うま	
おかね、どるぶくろ		かお、ぼけ		りさいくる		りんご		ぶた	
ぱそこん		はーと		まるあーる、しょうひょう	®	め		わいん、さけ	
らぶれたー		おーけー、ぐっど、ないす		きけん、けいこく		もみじ		かお、げっそり、さけび	
れんち、こうぐ		かお、べー		きんし	禁	さくら			
えんぴつ		かお、ういんく		あき、くうしつ、くうせき、くうしゃ	空	おにぎり、おむすび			
おうかん		かお、にこ、うれしい		ごうかく	合	けーき			
ゆびわ		かお、がまん、かなしい		まんしつ、まんせき、まんしゃ	満	とっくり、さけ			

- 本絵文字を送信した場合、相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。また、ｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。
- サイトによっては正しく表示されない絵文字もあります。
- 「見出し（ヨミ）」を入力すると、変換候補の絵文字の後ろに［絵２］と表示されますが、その候補を選択しても［絵２］という文字は採用されません。

顔文字一覧

コード	顔文字	コード	顔文字	コード	顔文字	コード	顔文字
01	(^0^)	14	(T_T)	27	(°　∇°　)	40	(￣∇￣；)
02	o(^-^)o	15	(￥_￥)	28	！(^　^)！	41	(　^^)Y☆Y(^^　)
03	(^0^)/	16	(@_@)	29	o(＞＜)o	42	o(^-^o)(o^-^)o
04	p(^^)q	17	(?_?)	30	(。。；)	43	(ノ°0°)ノ
05	(>_<)	18	(;_;)	31	φ(..　)	44	(°　o°　)＼(-_-)
06	(¥_¥)	19	(0_0)	32	(^人^)	45	(∪o∪)。。。
07	m(__)m	20	(^_^)	33	＜(__)＞	46	(^　^)＼(°　°　)
08	f^_^;	21	(^^ゞ	34	(´Д`)	47	＼^o^／
09	(:_;)	22	(☆__☆)	35	＼(^^:;)	48	(┬┬＿┬┬)
10	(-.-;)	23	(ノ＞＜)ノ	36	(#^.^#)	49	??(°　Q。)??
11	(+_+)	24	(－_－#)	37	(^0)＝3	50	(^_-)-☆
12	(-_-)	25	(¨　；)	38	(；´・`)		
13	(v_v)	26	(－_－メ)	39	(´～`；)		

- 「かお」と入力して変換すると顔文字の候補が表示され、そこから顔文字を入力することもできます。

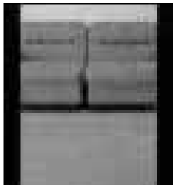
プリインストール画面一覧

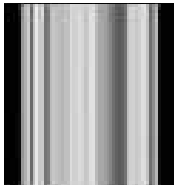
メイン画面／メニュー背景

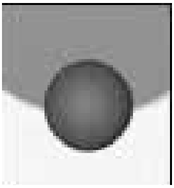

待受画面1


待受画面2


待受画面3


待受画面4


待受画面5


待受画面6


待受画面7


メニュー背景1


メニュー背景2

詳細メニューアイコン



iモード1



メール1



電話帳1



設定1



データBOX1



ツール1



サポート1



カメラ1



ビューア1



iモード2



メール2



電話帳2



設定2



データBOX2



ツール2



サポート2



カメラ2



ビューア2

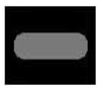
ガイドボタン


操作ガイド中央1


操作ガイド右1

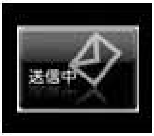

操作ガイド左1


操作ガイド中央2


操作ガイド右2


操作ガイド左2

メッセージ画面



メール送信 1



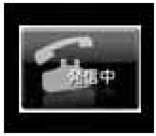
メール送信 2



メール受信 1



メール受信 2



電話発信 1



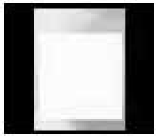
電話発信 2

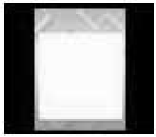


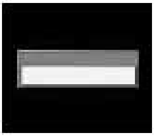
電話着信 1

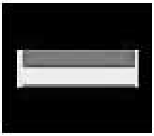


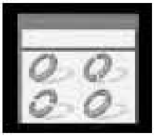
電話着信 2

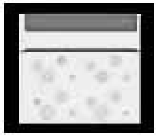

背景パターン 1

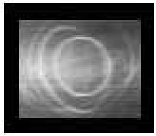

背景パターン 2

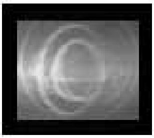

ポップアップ 1

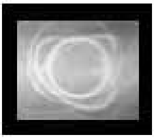

ポップアップ 2


お知らせ 1


お知らせ 2

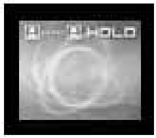

通話中画像 1


通話中画像 2

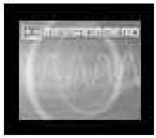

通話中画像 3



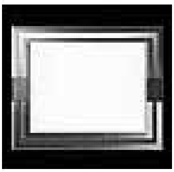
応答保留画像

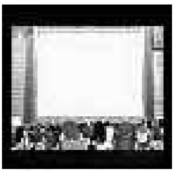


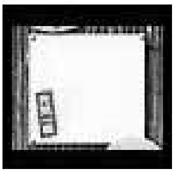
保留画像

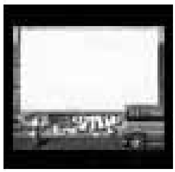

伝言メモ画像

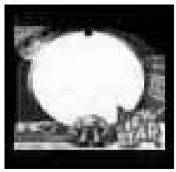
プリインストールフレーム


フレーム 1

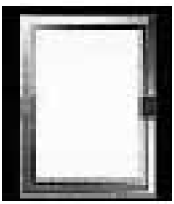

フレーム 2

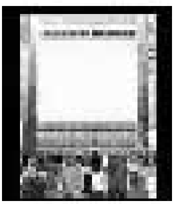

フレーム 3

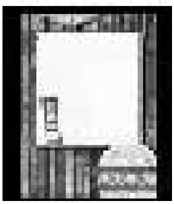

フレーム 4


フレーム 5

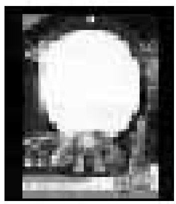
- フレーム 1 ～ 5 は、176×144、352×288、480×640の合計 3 種類が内蔵されています。


フレームメイン 1


フレームメイン 2


フレームメイン 3


フレームメイン 4


フレームメイン 5

定型文一覧

あいさつ	1	おはようございます	応答	1	OKです
	2	おやすみなさい		2	NGです
	3	昨日は、どうもありがとうございました		3	ありがとう
	4	行ってきます		4	ごめんなさい
	5	いってらっしゃい		5	待ってて
	6	お疲れ様でした		6	今忙しい
	7	お世話になっております		7	後で連絡入れます
	8	こんにちは		8	保留です
	9	こんばんは		9	キャンセルです
	0	よろしくお願い致します		0	時間がありません
ビジネス	1	直行します	インターネット	1	.ne.jp
	2	直帰します		2	.co.jp
	3	休暇をとります		3	.ac.jp
	4	半休します		4	.or.jp
	5	電車遅延のため、遅れます		5	.go.jp
	6	本日の会議は中止となりました		6	.com
	7	出欠をご連絡ください		7	@docomo.ne.jp
	8	次の指示を待ってください		8	http://
	9	携帯の電源を切ります		9	www.
	0	メールで連絡してください		0	.html
プライベート	1	遊びにいきませんか？	自作定型文	1	--------------------
	2	飲みに行きませんか？		2	--------------------
	3	遅れます		3	--------------------
	4	変更します		4	--------------------
	5	中止です		5	--------------------
	6	先に行きます		6	--------------------
	7	先に帰ります		7	--------------------
	8	時間です		8	--------------------
	9	何してますか？		9	--------------------
	0	どこに居ますか？		0	--------------------

● お買い上げ時は、自作定型文は登録されていません。

区点コード一覧

４桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

- 区点コードとは、漢字などの文字ひとつひとつに付けられている固有の番号です。
  区点コードでの入力のしかたについては、P.498「区点コードで入力する」を参照してください。

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡		≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138		≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
—あ—										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
—い—										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
—う—										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
—え—										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
—お—										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
—か—										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
—き—										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
—く—										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
—け—										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県

お知らせ

- 区点コード一覧で該当する文字がない区点コードを入力すると、エラー音「ピッピッピッ」が鳴り何も入力されないか、またはスペースが入力されます。（ボタン確認音を［サイレント］に設定している場合は、エラー音が鳴りません。）
- 区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ〜の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る～れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	榊	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

電卓計算例

計算例

計算例		操作	表示結果
加減乗除	14×3＋5＝	14[×]3[＋]5[＝]	47
	(−24)÷4−2＝	[−]24[÷]4[−]2[＝]	−8
定数計算	34＋57＝ 45＋57＝	34[＋]57[＝] 45 [＝] （加数が定数となります）	91 102
	48−23＝ 14−23＝	48[−]23[＝] 14 [＝] （減数が定数となります）	25 −9
	68×25＝ 68×40＝	68[×]25[＝] 40 [＝] （被乗数が定数となります）	1700 2720
	35÷14＝ 98÷14＝	35[÷]14[＝] 98 [＝] （除数が定数となります）	2.5 7
パーセント計算	200の10％は？	200[×]10[％]	20
	9は36の何％？	9[÷]36[％]	25
消費税計算	消費税込み3000円の消費税額は？	3000[TAX]	142税
	消費税込み3000円の税抜き額は？	3000[TAX][TAX]	2858税抜
割増割引計算	200の10％増しは？	200[＋]10[％] （または200[×]10[％][＋][＝]）	220
	500の20％引きは？	500[−]20[％] （または500[×]20[％][−][＝]）	400
べき乗	$(4^3)^2$＝	4[×][＝][＝][×][＝]	4096
逆数計算	1／8＝	8[÷][＝]	0.125
メモリ計算 累計	27×5＝ ＋)87÷3＝ ＋)68＋15＝ （計）＝	[CM]27[×]5[M＋] 87[÷]3[M＋] 68[＋]15[M＋] [RM] （[M＋]は[＝]の働きをかねています。）	M 135 M 29 M 83 M 247
メモリ計算 一時記憶	(13＋3×4)×(50−45)＝	[CM]13[M＋]3[×]4[M＋]50[−]45[×][RM][＝]	M 125
メモリ計算 定数記憶	135×(12＋14)＝ (12＋14)÷5＝	[CM]12[＋]14[M＋] 135[×][RM][＝] [RM][÷]5[＝]	M 26 M 3510 M 5.2

● メモリに「0」以外の数値が入ると、[M] が表示されます。

お知らせ

[E] が表示されたとき

● 計算の結果、[E] が表示されると、それ以降の計算ができません。クリア [C・CE] を押してください。
　①除数が0の計算をしたとき（例：5 [÷] 0 [＝]）
　②メモリの数値の整数部が12桁を超えたとき（例：[CM] 999999999999 [M＋] 1 [M＋]）
　③計算結果の整数部が12桁以上になったとき（例：1000000000 [÷] 0.01 [%]）

● 税計算は小数点以下は省略されます。
　例：120 [TAX] と押すと、[5税] と表示されます。

マルチアクセスの組み合わせについて

マルチアクセスで同時に使用可能な通信機能の主な組み合わせは次のとおりです。

実行する通信 ＼ 現在の通信状態	音声電話		テレビ電話		ｉモード接続	ｉモードメール		SMS		データ通信（パケット）		データ通信（64K）
	発信	着信	発信	着信		送信	受信	送信	受信	発信	着信	
音声電話中	×※1	×※1	×	×※2	×	×	○※3	×	○※3	○※7	○※7	×
テレビ電話中	×	×	×	×	×	×	×	×	○※3	×	×	×
ｉモード中	○※4	○	×※5	×※10	×	○※6	○※3	×	○※3	×	×	×
データ通信中（パケット）	×※8	○※9	×	×	×	×	×	×	○※3	×	×	×
データ通信中（64K）	×	×	×	×	×	×	×	×	○※3	×	×	×

○：現在の通信状態を継続したまま、実行する通信を処理できます。
×：現在の通信状態を継続します。（実行する通信を処理することはできません。）
※1 キャッチホンをご契約の場合は、処理できます。（☞P.431）
※2 音声電話を継続するか、音声電話を切断してテレビ電話を受けるかを選択できます。
※3 ｉモード問い合わせ／SMS問い合わせできません。自動受信のみとなります。
※4 Phone To（AV Phone To）機能による発信が可能です。（☞P.234）
※5 Phone To（AV Phone To）機能による発信が可能ですが、ｉモード通信は終了します。テレビ電話を終了すると、元の画面に戻ります。（☞P.234）
※6 Mail To機能による送信が可能です。（☞P.235）
※7 データ通信中（パケット）の画面が表示されます。このとき通信終了操作を行うと、データ通信が終了し、そのあとの通信終了操作により音声電話が終了します。
※8 ハンズフリー対応機器接続時はハンズフリー対応機器から発信できます。
※9 音声電話中の画面が表示されます。このとき☎を押すと、音声電話が終了し、そのあとの通信終了操作によりデータ通信（パケット）が終了します。（パソコンなどの接続機器で通信終了操作を行うと、上記にかかわらずデータ通信（パケット）を終了できます。）
※10 通信中やｉモード待機中以外は、テレビ電話着信に応答できます。

アシスタントビューの組み合わせについて

アシスタントビューで同時に利用できる機能の主な組み合わせは次のとおりです。

先に起動している機能	メール	電話帳	スケジュール	ToDoリスト	テキストメモ	電　卓	サポートブック	ブックリーダー	マネーカルク
音声電話の通話中	○	○	○	○	○	○	○	×	○
ｉモード中	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉモードメール／SMS	○※	○	○	○	○	○	○	○	○
電話帳	○	－	○	○	○	○	○	○	○
スケジュール	○	○	－	×	○	○	○	○	○
ToDoリスト	○	○	×	－	○	○	○	○	○
テキストメモ	○	○	○	○	－	○	○	○	○

○：起動できます。　×：起動できません。　－：同一機能のため起動できません。
※ チャットメール中は起動できません。

お知らせ

- バーコードリーダーや文字読み取りで読み取ったサイトやインターネットホームページのURLに直接接続すると、ｉモード中にアシスタントビューを起動できない場合があります。その場合は、読み取ったURLをいったんブックマークに登録し、ブックマークから接続してください。（☞P.226）

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス		電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）		（局番なし）106
一般電話の電話番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）（電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません。）		（局番なし）104
電報の発信（有料）	午前８時〜午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）		（局番なし）117
天気予報（有料）		知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報		（局番なし）110
消防・救急への緊急通報		（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報		（局番なし）118
お話中調べ		（局番なし）114
災害用伝言ダイヤル（有料）		（局番なし）171

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と１回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2005年７月現在）
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2005年７月現在）
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、発信場所が特定できませんので、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合はお近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用になれませんので、ご注意ください。
  （一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用になれます。）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。
なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ01
- 電池パック SH04
- リアカバー SH05
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- スイッチ付イヤホンマイク P001※1／P002※1
- ステレオイヤホンセット P001※1
- イヤホンターミナル P001※1
- 車載ハンズフリーキット01※2
- FOMA乾電池アダプタ 01
- FOMA DCアダプタ01
- 卓上ホルダ SH05
- FOMA室内補助アンテナ
- FOMA USB接続ケーブル
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- 車内ホルダ SH05
- キャリングケース SH06
- FOMA海外兼用ACアダプタ01
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01

※1 スイッチ付イヤホンマイク、ステレオイヤホンセット、イヤホンターミナルは、イヤホンジャック変換アダプタを接続しないとご利用になれません。
※2 FOMA SH851iと接続するには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01が必要です。

外部機器との連携

対応する外部機器を利用してminiSDメモリーカードに保存した動画を、FOMA端末で再生できます※。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.349）
対応機器などについては、http://k-tai.sharp.co.jp/products/d/sh851i/をご覧ください。または下記にお問い合わせください。

- 外部機器で作成したｉモーション（音楽データを含む）をFOMA端末で再生する。（☞P.533）

※ 保存した動画や外部機器の形式によっては、再生できない場合があります。

シャープ　データ通信サポートセンター
TEL 03-5396-2351
受付時間：平日10:00～12:00／13:00～17:00
（土・日・祝日および所定の休日を除く）

- ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

データリンクソフトのご紹介

「SHシリーズデータリンクソフト」を使って、電話帳、メール、ブックマーク、スケジュールなどのデータを、FOMA端末と接続したパソコンとの間で転送できます。また、miniSDメモリーカードとパソコンとの間でもデータを転送できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.349）
データリンクソフトは、http://k-tai.sharp.co.jp/soft/soft.htmlからダウンロードできます。

ダウンロード方法、転送可能データ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページ、またはデータリンクソフトのヘルプをご覧ください。

- ダウンロードするには、インターネットに接続した環境のパソコンが必要です。
- ダウンロード時には別途通信料がかかります。
- パソコンと接続してデータリンクソフトを利用するには「FOMA USB接続ケーブル（別売）」が必要です。
- ダウンロードした情報は、著作権法により、データリンクソフトを利用してもFOMA端末外へ転送することはできません。また、FOMA端末外への出力が禁止されているデータも転送することができません。

対応OS

Microsoft Windows 98 Second Edition/Windows Me/Windows 2000 Professional/
Windows XP Home Edition/Windows XP Professional（いずれも日本語版）
※上記OSが動作するPC/AT互換機

データリンクソフトのご使用にあたって

- 著作権について
  本ソフトウェアはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権はシャープ株式会社に帰属します。
- <免責事項>について
  シャープ株式会社は、本ソフトウェアの不稼動、稼動不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。また、シャープ株式会社は、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。

データリンクソフトに関する技術的なお問い合わせ先

シャープ　データ通信サポートセンター
TEL 03-5396-2351
受付時間：平日10:00～12:00／13:00～17:00
（土・日・祝日および所定の休日を除く）

- ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTime™ Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）が必要です。
QuickTime™ Playerは以下のホームページからダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法などについては、アップルコンピュータ（株）のホームページをご覧ください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

パソコンで作成したｉモーション（音楽データ含む）をFOMA端末で再生する

お客様が購入したCDの楽曲などをパソコンなどを利用してminiSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生することができます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.349）

- miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。
- ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
- miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、パソコンなど他の媒体に複製または移し替えをしないでください。

1 お客様が購入したCDの楽曲などを、AAC形式に変換できる市販のソフトウェアなどを利用して変換し、パソコンに保存する。

- ソフトウェアの使用方法など詳細については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

2 miniSDメモリーカードをパソコンに挿入し、楽曲ファイルをコピーする。

- コピー方法は次のとおりです。

1. 操作１で作成したファイルの名前を「VOICExxx.3gp」に変更する。（「xxx」の部分には001〜100までの半角数字が入ります。）
   - ファイル名を変更する際は、パソコン上の設定で拡張子を表示してから行ってください。
2. miniSDメモリーカード内の\PRIVATE\SHARP\VOICEフォルダにコピーする。
   - ［VOICE］フォルダがminiSDメモリーカード内にない場合は、miniSDメモリーカードをFOMA端末に一度挿入して認識させてから、再度パソコンに挿入してください。
   - miniSDメモリーカードのフォルダ構成については、P.352を参照してください。

3 動画／ｉモーションの一覧画面（☞P.333の操作１）で📖→#［本体⇔miniSD切替］を選んで、［ミュージック・ボイス］フォルダから楽曲を選んでｉモーション（音楽データ含む）を再生する。

- ｉモーションの再生についてはP.333、リピート再生についてはP.335、連続再生についてはP.338を参照してください。

お知らせ

- 再生中に着信やアラーム動作があった場合、再生は中止されます。
- ご使用になる市販のソフトウェアなどによっては、楽曲ファイルをFOMA端末でうまく再生できない場合があります。

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェア更新をしてください。（ソフトウェア更新☞P.543）

症　状	説　明	ページ
動作しない	● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？ ● 電池パックが正しく取り付けられていますか？	P.51 P.50 P.45
電源が入らない	● 電源を２秒以上押していますか？ ● 電池切れになっていませんか？ 警告音が鳴ったあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。 ● 電池パックが正しく取り付けられていますか？	P.51 P.50 P.45
電源が切れる	● FOMAカードのIC部が汚れていませんか？ ● 電池パックの接続端子面やFOMA端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が汚れていませんか？	P.42 P.45
充電ができない	● 電池パックが正しく取り付けられていますか？ ● 充電端子は汚れていませんか？ 端子部を綿棒などで清掃してください。 ● ACアダプタのコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか？ ● 卓上ホルダにFOMA端末が正しくセットされていますか？	P.45 － P.48 P.49 P.49
充電しても、すぐに使えなくなる	● 卓上ホルダにFOMA端末が正しくセットされていますか？ ● 電池の寿命がきていませんか？ ● 充電端子は汚れていませんか？ 端子部を綿棒などで清掃してください。 ● FOMA端末の扱いかたによって電池の持ち時間は変化します。	P.49 P.47 － P.47
ボタン操作ができない	● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● オールロックやサイドボタン操作無効が設定されていませんか？	P.51 P.160 P.165
[圏外]が表示されて電話がかけられない	● サービスエリア外か電波の弱い場所にいませんか？	P.56
[self] が表示されて電話がかけられない	● セルフモードが設定されていませんか？	P.163
電話帳ダイヤルで電話がかけられない	● 電話帳のPIMロックが設定されていませんか？ ● オールロックが設定されていませんか？	P.163 P.160
ダイヤルボタンで電話がかけられない	● ダイヤル発信制限が設定されていませんか？ ● オールロックが設定されていませんか？	P.165 P.160
通話がとぎれたり、切れる	● 電波の届きにくい場所にいませんか？ ● 電池切れになっていませんか？	P.56 P.50
通話中、相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	● 受話音量が大きくなっていませんか？	P.72
宛先登録時、[メール送信履歴] [メール受信履歴] が選択できない	● メール送信履歴表示、メール受信履歴表示が [OFF] に設定されていませんか？	P.166
メールを受信したとき設定した着信音が鳴らない	● 操作中メール着信音設定を [OFF] に設定していませんか？	P.298
着信音が鳴らない	● 着信音量が [サイレント] に設定されていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？ ● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● 電話を切ってありますか？ ● 保留のままになっていませんか？	P.128 P.50 P.51 P.56 P.57 P.90

症　状	説　明	ページ
着信音が鳴らない（つづき）	● 呼出動作開始時間設定を設定していませんか？ ● 電話帳指定着信許可を設定していませんか？ ● 電話帳指定着信拒否を設定していませんか？ ● 非通知着信拒否を設定していませんか？ ● 電話帳登録外着信拒否を設定していませんか？ ● 着信音が［着信音なし］になっていませんか？ ● 留守番電話サービスを使用し、呼出時間を［0秒］に設定していませんか？ ● ドライブモードに設定していませんか？ ● マナーモードに設定していませんか？	P.172 P.167 P.169 P.171 P.173 P.124 P.429 P.74 P.132
メールを受信したとき設定した着信音以外の着信音が鳴る	● 電話帳に指定メール着信音を設定した相手からのメールを受信したときは、指定メール着信音が鳴ります。 ● 電話帳のグループにメール着信音を設定した相手からのメールを受信したときは、そのグループのメール着信音が鳴ります。 ● 指定メール着信音とグループメール着信音の両方を設定した相手からのメールを受信したときは、指定メール着信音が鳴ります。 ● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールアドレスに設定した指定メール着信音が鳴ります。 ● 相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳のメールアドレスには電話番号のみを登録し、指定メール着信音を設定してください。 ● メール送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、指定メール着信音を設定していますか？ ● SMS を受信したときは、電話帳に設定した指定メール着信音が有効となります。 ● 電話番号が正しく登録されていますか？	P.105 P.112 P.105 － P.105 P.105 － P.102
ダイヤルしても話中音（ツーツー…）が出る	●「090」、「080」や「070」、または市外局番を忘れていませんか？ ●［圏外］が表示されていませんか？ ● 相手が携帯電話の場合、相手の電波状況が悪いと電話がかからないことがあります。	P.56 P.56 －
通話中に「プチッ」と音が入る	● 電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	－
［サービス未契約です］と表示される	● ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。 ● ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	－ －
日付の順序が逆に表示される	● Bilingualで［English］に設定していませんか？	P.150
［しばらくお待ち下さい］が表示されて消えない	● 回線設備の故障、または回線が非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。	－
電話の発着信、メールの送受信、ｉモードの機能が使えない	● 電池切れになっていませんか？ ●［圏外］が表示されていませんか？ ● セルフモードが［ON］に設定されていませんか？	P.50 P.56 P.163
文字が入力できない	● 文字数の制限をオーバーしていませんか？	－
画面表示が消えた	● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？ ● 省電力モードが起動していませんか？［ランプ表示あり］を設定していると、ピクチャーライトも点滅します。 ● 自動電源OFFを設定していませんか？	P.51 P.50 P.141 P.384
ドコモホームページやｉMenuの［お知らせ＆ヘルプ］にソフトウェア更新が必要との案内がある	● ソフトウェアの更新が必要です。 ソフトウェアを更新してください。	P.543
積算通話料金が増えない	● FOMAカードの積算通話料金の上限値（約1677万円）に達していると増えません。リセットすることにより、0円に戻ります。	P.419

こんな表示が出たら

● メッセージと共に、３桁の数字が表示される場合があります。一部の数字は、端末で表示させているドコモ独自のコードとなります。

表　示	説　明	ページ
[FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません]	● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージR／Fを選んで実行しようとしたときに表示されます。	P.43
[FOMAカード（UIM）を挿入してください]	● FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	P.42
[端末暗証番号は？]	● PIMロック中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。正しい端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力すると、PIMロックが一時解除され、操作できます。	P.163
[PIN1コードがロックされています]	● PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。しばらくするとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、正しいPINロック解除コードを入力してロックを解除してください。	P.158
[PIN ロック解除コードがロックされています]	● PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。 ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	P.158
[メモリの空きがありません]	● すでにFOMA端末（本体）の電話帳に750件登録されているときに、電話番号またはメールアドレスを登録しようとした場合に表示されます。	P.100
[このカードは認識できません]	● 本端末で使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性があるときに表示されます。 ● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。 正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください。	－ P.42
[シークレットデータが登録されています]	● シークレットモードでないときに、シークレットデータをツータッチダイヤルで発信しようとしたときに表示されます。	P.120
[セルフモード設定中です]	● セルフモード設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.163
[操作できませんでした]	● サービスエリア外や電波が届かないところで、ネットワークサービスの操作をしようとしたときに表示されます。 []が表示されるところまで移動してネットワークサービスの操作をしてください。	P.428
[ただ今、使用できません]	● サービスエリア外や電波が届かないところで、テレビ電話発信しようとしたときに表示されます。	P.85
[ダイヤル発信制限設定中です]	● ダイヤル発信制限中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.165
[端末暗証番号が違います][４～８桁で入力してください]	● 端末暗証番号（４～８桁の数字）の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。 正しい端末暗証番号を入力してください。 端末暗証番号を万が一お忘れになったときは、FOMA端末およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。	P.154
[ネットワーク暗証番号が誤っています]	● ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。 正しいネットワーク暗証番号を入力してください。 ネットワーク暗証番号を万が一お忘れになったときは、FOMA端末およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。	P.155
[メモリ番号：×××は書換えできません]	● シークレットモードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。 ● 電話帳指定着信許可または電話帳指定着信拒否を設定中に、リスト登録している電話帳のメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。	P.120 P.167～P.171
[もう一つの電話機が利用中のため切替えできませんでした]	● もうひとつの電話機（端末）が利用中で、デュアルネットワーク切替ができないときに表示されます。 利用可能状態の端末の通信を終了してから切り替えを行ってください。	P.437

表　示	説　明	ページ
[しばらくお待ち下さい]	● 回線設備の故障、または回線が非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。ダイヤルボタンを押すとメッセージが消えます。 ● 回線設備が故障、または回線が非常に混みあっていますのでしばらくたってからｉモードをご利用ください。 ● 110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。	― ― ―
[外部機器接続中のため使用できません]	● 外部機器接続中のため、ｉモードを終了する以外のｉモードの操作はできません。	P.446
[画像に誤りがあり正しく動作しません]	● Flash画像に誤りがあります。	―

ｉモード関連

● ｉモード関連のエラーメッセージ中の（　）で囲まれた数字は、ｉモードセンターから送信されるもので、エラーの内容を区別するためのコードです。

表　示	説　明	ページ
[FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません]	● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージR／Fを選んで実行しようとしたときに表示されます。	P.43
[SMSがいっぱいです　これ以上コピーできません]	● FOMA端末（本体）またはFOMAカード内のSMSが最大件数まで保存されていてコピーできなかったときに表示されます。	P.312
[ｉモーション再生サイズを超えています]	● 標準タイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが500Kバイトを超えているため取得ができない場合に表示されます。	P.250
[ｉモーション再生サイズを超えました]	● 標準タイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが500Kバイトを超えているため取得が完了しなかった場合に表示されます。	P.250
[ｉモーション最大サイズを超えています]	● ストリーミングタイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが2Mバイトを超えているため取得ができない場合に表示されます。	P.250
[ｉモーション最大サイズを超えました]	● ストリーミングタイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが2Mバイトを超えているため取得が完了しなかった場合に表示されます。	P.250
[サービス未契約です]	● ｉモードをご契約されておりません。ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。 ● ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから再度電源を入れ直してください。	P.208
[SSL通信が切断されました]	● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかったときに表示されます。再び接続し直してください。	P.214
[SSL通信が無効です]	● SSL通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。	P.214
[SSL通信が無効に設定されています]	● 証明書設定で［無効］に設定した証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再び接続し直してください。	P.246
[URLが長すぎて登録できません]	● URLが登録可能文字数を超えるため、ブックマークへ登録できません。	P.225
[応答がありませんでした(408)]	● サイトやインターネットホームページからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続してみてください。	P.219
[外部機器接続中のため使用できません]	● 外部機器接続中のため、ｉモードを終了する以外のｉモードの操作はできません。	P.446
[接続できませんでした]	● テレビ電話発信時に番号通知お願いサービスを設定しているため、接続ができません。発信者番号を［通知する］に設定してかけ直してください。	P.436

次ページへ続く

表　示	説　明	ページ
[携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信します]	● サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。[はい] を選んで◉ [決定] を押すと、「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」が送信されます。送信したくないときは [いいえ] を選んで◉ [決定] を押すか、クリアを押すとコンテンツ表示画面に戻ります。 ● 送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。 ● 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。	P.214
[圏外です]	● サービスエリア外や電波が届かないところで、i モードのサービスを利用しようとしたときに表示されます。 [Yill] が表示されるところまで移動して i モードのサービスをご利用ください。	―
[この i モーションを再生するためには i モーションタイプ設定を変更してください　変更しますか？]	● i モーションタイプ設定を [標準タイプ] に設定しているときに、ストリーミングタイプの i モーションを取得しようとしたときに表示されます。	P.253
[このサイトとのSSL通信は無効です]	● 書き換えられたSSL証明書を受信したときに表示されます。このサイトやインターネットホームページとはSSL通信できません。	P.214
[このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？]	● サポート外のSSL証明書を受信したときに表示されます。 接続するときは、[はい] を選んで◉ [決定] を押します。接続しないときには、[いいえ] を選んで◉ [決定] を押します。	P.214
[このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？]	● 期限切れまたは有効期間前のSSLサーバ証明書を受信したときに表示されます。 接続するときは、[はい] を選んで◉ [決定] を押します。接続しないときには、[いいえ] を選んで◉ [決定] を押します。	P.214
[この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？]	● 端末内のSSLルート証明書が期限切れの場合に表示されます。 接続するときは、[はい] を選んで◉ [決定] を押します。接続しないときには、[いいえ] を選んで◉ [決定] を押します。 「日時設定」を行ってください。	P.214
[この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか？]	● 正しくない情報をもったSSLサーバ証明書を受信したときに表示されます。 接続するときは、[はい] を選んで◉ [決定] を押します。接続しないときには、[いいえ] を選んで◉ [決定] を押します。	P.214
[このデータは再生できない可能性があります　取得しますか？]	● MP4（Mobile MP4）形式以外の i モーションを取得したときに表示されます。	P.337
[これ以上保護できません]	● 画面メモ／メッセージR／F／メール／送信済みメールで保護できる最大件数を超えています。保護を解除してください。	P.230 P.286
[最大サイズを超えたので中断しました]	● サイトやインターネットホームページで受信したデータが1ページの最大サイズを超えたため、受信を中断し、ダウンロードしたところまでのデータを表示します。 ● メロディやダウンロード辞書をダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。	P.223 ―
[サイトが移動しました（301）]	● サイトやインターネットホームページが移動したため、URLが変更されています。 古いURLをブックマークに登録している場合は、新しいURLに更新されます。	P.225
[サイトに接続できませんでした（403）]	● 何らかの原因でサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。もう一度接続してみてください。	P.219
[削除される添付ファイルがあります]	● 転送する i モードメールに、i モードメールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。 ◉ [決定] を押すと、ファイルが削除された状態で i モードメール編集画面が表示されます。	P.268

表　示	説　明	ページ
[指定サイトがみつかりません（404）]	● サイトやインターネットホームページが見つかりませんでした。サイトやインターネットホームページが存在しない可能性があります。	－
[指定サイトに表示データがありません（204）]	● 接続したサイトやインターネットホームページに表示するデータがない場合に表示されます。	－
[指定したサイトへは接続できませんでした（504）]	● 何らかの原因でサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。もう一度接続してみてください。	P.219
[接続が中断されました]	● 電波が弱いため、ｉモードが中断されました。 電波の強い場所に移動してからｉモードのサービスをご利用ください。 ● 電波が強く［圏内］マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトやインターネットホームページが非常に混みあっています。しばらくたってから接続してください。	P.56 －
[接続できません]	● 接続先の設定が正しくないときに表示されます。 ｉモード設定の［接続先選択］で接続先を正しく設定し直してください。 ● 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続してみてください。	P.237 P.219
[接続先番号が無効です]	● 接続先電話番号をお買い上げ時の設定から変更された場合、ｉモードに接続できません。お買い上げ時の設定に戻してください。	P.237 P.249
[設定時間内に接続できませんでした]	● ［接続待ち時間設定］で設定した接続待ち時間となったため、サイトやインターネットホームページへの接続、ｉモードメールの送信などが中断されました。しばらくたってからサイトやインターネットホームページへの接続やｉモードメール送信などを行ってください。	P.236
[送信できませんでした]	● ｉモードメールや SMS を正常に送信できなかった場合に表示されますので、電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。[宛先を確認してください］が併せて表示されるときは、宛先の修正を行ってから送信してください。 ［ｉモードセンターが混みあっています］が併せて表示されるときは、しばらくたってから送信し直してください。また、[送信先のメールがいっぱいです］が併せて表示されるときは、送信先でメールを受け取ることができないためメールを送信できません。	－
[ダウンロード中止しました]	● ダウンロード中に、ダウンロード中止操作を行ったときに表示されます。	P.232
[ダウンロードできませんでした]	● ダウンロードするデータがない場合や、データが正しくない場合に表示されます。ダウンロードすることはできません。 ● 正しくない、または未対応の形式であるためダウンロードできません。	P.232 －
[重複するアドレスがあります]	● ｉモードメール作成時、同じメールアドレスを宛先や同報として複数設定することはできません。重複するアドレスを削除して送信してください。	P.266
[入力データまたはURLが長すぎます]	● テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信できません。 文字数を減らしてから送信し直してください。	－
[入力データをご確認ください（205）]	● サイトやインターネットホームページで入力を行い送信したあとに、サーバがこの内容をリセットしたいときに表示されます。 画面上の入力した文字や設定が消去されます。（直前に送信した内容はすでに送信されています。）	－
[認証タイプに未対応です（401）]	● 認証できないときに表示されます。 元のページに戻ります。	－
[認証を中止しました]	● 認証画面で［キャンセル］を選択したとき、または[クリア]を押したときに表示されます。	－
[パスワードをご確認ください（401）]	● 認証画面で認証できないときに表示されます。	－
[添付可能サイズを超えるため添付できません]	● サイズを超えているため添付できません。本文を削除するかファイルを添付せずに送信してください。	P.268
[無効なデータを受信しました（301）] [無効なデータを受信しました（302）]	● 受信したデータにエラーがあるため表示できません。受信したデータは破棄されます。	－
[未送信BOXがいっぱいです]	● 未送信メールが合計100 件を超えるために新規メールを作成できません。 未送信メールを送信あるいは削除してから作成し直してください。	P.263 P.286

次ページへ続く

表　示	説　明	ページ
[未送信メールと保護メールがいっぱいです]	● 保護された送信メールと未送信メールが合計101件を超えるために新規メールを作成できません。保護された送信メールの保護解除を行うか未送信メールを送信あるいは削除してから作成し直してください。	P.263 P.286
[メモリ不足です　ｉモードが終了しました]	● メモリが不足したため処理を中断し、ｉモードを終了します。	―

データBOX関連

表　示	説　明	ページ
[一部コピーできませんでした]	● miniSDメモリーカード内に、FOMA SH851i以外の端末やパソコンで作成したファイルやフォルダが存在する場合に表示されることがあります。	P.352
[一部削除できませんでした]	● xxxSHARP/xxxSH_UF/PPLxxx などのフォルダ内にフォルダが存在する場合に表示されます。 ● パソコンなどで該当フォルダを削除するか、miniSDメモリーカードをフォーマットしてください。	― P.358
[このデータは再生できません　削除しますか？]	● 日時設定がリセットされたあとに、ｉモーションを再生しようとしたときに表示されます。	―
[再生可能回数が終了しました　削除しますか？]	● 再生可能回数が終了したｉモーションを再生しようとしたときに表示されます。	P.252
[再生可能期限が切れました　削除しますか？]	● 再生期間または再生期限が終了したｉモーションを再生しようとしたときに表示されます。	P.252
[再生可能日前です　再生できません]	● 再生期間が設定されているｉモーションを、再生可能期間前に再生しようとしたときに表示されます。	P.252
[ただいまカメラを使用できません]	● 高温下にて保管されていた場合や、長時間連続で使用して、カメラ周辺部の温度が高くなった場合に表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。	―
[電池残量が足りません]	● 電池残量が不足しています。カメラモードを起動できません。充電してからお使いください。	P.46
[M表示]	● メモリの空き容量が800Kバイト未満になったときに表示されます。 ● データBOX内のデータを整理し、空き容量を確保してください。	― ―
[M表示]	● メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示されます。 ● データBOX内のデータを整理し、空き容量を確保してください。	― ―
[未対応画像です　画像編集できません]	● 画像データが正しくないため編集ができません。	―
[メモリが少なくなっています　不要な画像を削除してください]	● 本体の空きメモリが少なくなっているため、現在の設定のままで撮影した画像を保存するには、すでに保存されている別のファイルを削除して空きエリアを増やす必要があります。	―

その他の表示

表　示	説　明	ページ
[電池不足です　フル充電してください]	● ソフトウェアの更新時、電池残量が、のときに表示されます。になるように充電してください。	P.543
[通信に失敗しました]	● ソフトウェアの更新ができなかった場合に表示されます。再度ソフトウェア更新を実施してください。	P.543
[SSL通信を切断しました]	● ソフトウェアの更新時、FOMA端末の日付（年月日）が正しく設定されていないときに表示されます。FOMA端末の日時設定を行ってください。	P.543
[SSL通信が無効に設定されています]	● ソフトウェアの更新時、SSL 証明書が有効に設定されていないときに表示されます。［証明書設定］で証明書１～５のすべてを有効にしてください。	P.543
[他機能実行中のため起動できませんでした]	● 他の機能が実行されているため、予約時刻にソフトウェア更新を実行できませんでした。即時更新を行うか、別の日時を予約し直してください。	P.543
[ただいまメインカメラを利用できません]	● 高温下にて保管されていた場合や、長時間連続でご使用して、FOMA端末の温度が高くなった場合に表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。 ● 電池残量が少ないときに、テレビ電話でメインカメラを使用した場合に表示されます。充電してからご利用ください。	― ―
サブディスプレイ [――X――]	● メインディスプレイ（待受画面）にエラーメッセージが表示されます。	―

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

保証とアフターサービス

保証について

FOMA端末には保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。
必要事項が記載されていないときは、すぐにお買い上げの販売店へお申し付けください。
保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン（Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフト（☞P.532）とFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモードにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しいFOMA端末などに移行を行っておりません。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。
それでも調子が良くないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡のうえ、ご相談ください。

※お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

- 詳しくは、添付の『全国サービスステーション一覧』でご確認ください。

保証期間内は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■次の場合は修理できないことがあります。

- 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有償修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後６年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面連絡先へお問い合わせください。

- 詳しくは、添付の『全国サービスステーション一覧』でご確認ください。

お願い

FOMA端末および付属品の改造はおやめください。

- 火災・けが・故障の原因となります。
- FOMA端末・FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。
- 改造（部品の交換・改造・塗装など）が施された場合は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身で携帯電話機などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失等する場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に移し替えします。（一部移し替えできないコンテンツもあります。また、故障の程度によっては移し替えができない場合があります。）

FOMA端末に貼付されている銘板シールは、剥がさないでください。

- 銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意に剥がされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

技術基準適合認証品

各種機能のON／OFF設定や通話明細などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。

- お手数をおかけしますが、この場合は再び、設定を行ってくださるようお願いします。

電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によって修理できないことがあります。

- FOMA端末の受話口部やスピーカには、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

ソフトウェアを更新する

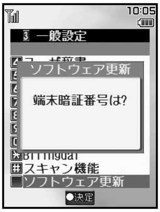
FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」にてご案内させていただきます。

- 更新方法には「即時更新」と「予約更新」の２種類があります。
  即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。
  予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
- ｉモード設定の接続先選択をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ■ 日付・時刻を設定していないとき
  - ■ 電池残量アイコンがまたはになっているとき
  - ■ 通話中・圏外にいるとき
  - ■ セルフモード中
  - ■ 外部機器と接続中
  - ■ オールロック中
  - ■ PIMロック中（ｉモード以外）
- PIN1コードON／OFF設定を［ON］に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、他機能を利用することはできません。（音声電話の着信は可能です。）
- ソフトウェア更新中に送信されてきた、ｉモードメールやメッセージR／FはｉモードセンターにSMSはSMSセンターに保管されます。
- ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR／Fが保管されると［／／］が表示されますが、ソフトウェア更新の再起動時に消えます。また、メール選択受信を［ON］に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。ｉモードセンターには保管されています。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。SSL証明書を有効にしておく必要があります。（お買い上げ時は［有効］に設定されています。☞P.246）
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  - ■ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に［更新は必要ありません　このままご利用ください］と表示されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承願います。必要なデータは、更新前にバックアップ（☞P.354、P.532）を取ることをおすすめします。（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。）
- ソフトウェア更新に失敗した場合、［書換え失敗しました］と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

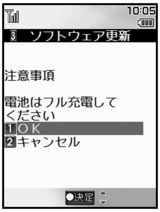
ソフトウェア更新を起動する

1 詳細メニュー：待受画面で◉→（設定）→［一般設定］→［ソフトウェア更新］の順に選ぶ。



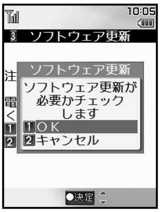
- 詳細メニューで（設定）→［初期設定］→日付・時刻を入力→端末暗証番号（4～8桁の数字）を登録→ボタン確認音を設定→［はい］→◉の順に選んでもソフトウェア更新画面が表示されます。（☞P.52）

2 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押す。



- 入力した端末暗証番号は、［＊］で表示されます。
- お買い上げ時は、［0000］に設定されています。

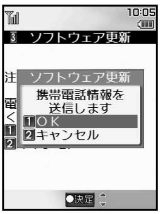
3 1［OK］を選ぶ。



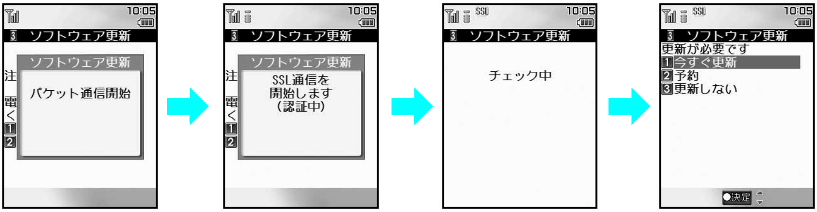
ソフトウェア更新
確認画面

- 電池残量が不足しているときは、2［キャンセル］を押します。十分充電してからやり直してください。

4 1［OK］を選ぶ。



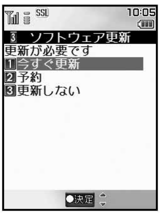
5 1 ［OK］を選ぶ。



- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新の必要がないときは、［更新は必要ありません　このままご利用ください］と表示されます。◉を押して、そのままご利用ください。
- 更新が必要な場合には［更新が必要です］と表示されます。このとき、［今すぐ更新］するか［予約］するかを選択することができます。
- 送信を中止するときは、終話キーを押します。

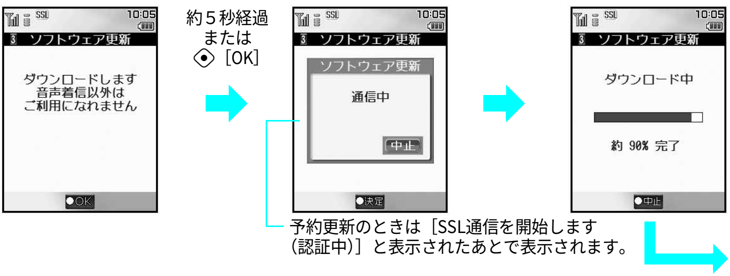
すぐにソフトウェアを更新する＜即時更新＞

1 ソフトウェア更新を起動する。（☞**P.544**の操作１～５）



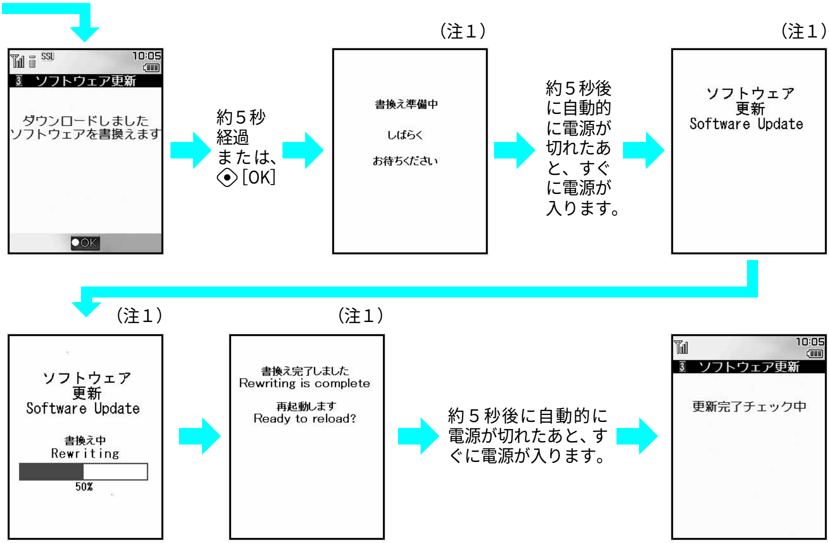
2 1 ［今すぐ更新］を選ぶ。

- ソフトウェアのダウンロードが開始されます。以降は、メニューなどを選択しなくても、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- 更新しないときは、3 ［更新しない］を押します。

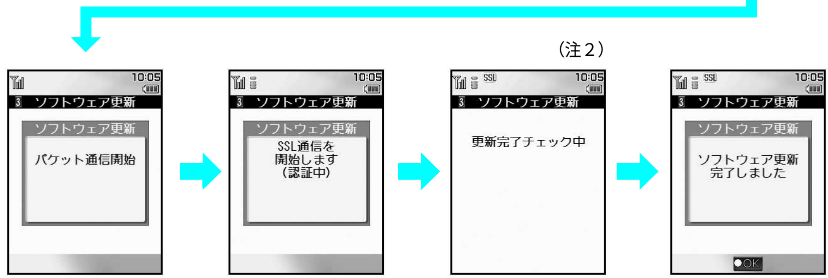


付録／外部機器連携／困ったときには

次ページへ続く

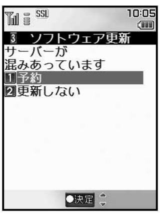


（注１）すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。



（注２）［更新完了チェック中］と表示されたあと、すぐに次の画面が表示されます。

- ● を押すと操作を終了するかどうかの問い合わせ画面が表示されます。ダウンロード中に終了した場合、それまでダウンロードされたデータは削除されます。（ソフト書き換え中は操作できません。）



- ［通信中］と表示されたあと、［サーバーが混みあっています］と表示されたときは、1［予約］を押します。以降の操作については、P.547「日時を予約してソフトウェアを更新する<予約更新>」の操作２～４を参照してください。予約しないときは2［更新しない］を押します。操作を終了するかどうかの問い合わせ画面が表示されます。操作を終了するときは、［はい］を選んで◉を押します。

3 ◉を押す。

お知らせ

- 操作1～3を行っているときに［書換え準備中　しばらくお待ちください］［ソフトウェア更新］［ソフトウェア更新 書換え中］［書換え完了しました　再起動します］と表示されているときは、圏外と同じ状態になり着信できません。これ以外の画面が表示されているときは着信できますが、着信中に伝言メモ録音することはできません。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。
- 操作1～3を行っているときに送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新終了後、待受画面に［ソフトウェア更新完了］または［ソフトウェア更新説明あり］と表示されたら、◉を押してください。正常に完了しなかった場合は、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力すると、その旨のメッセージが表示されます。◉を押して、更新をし直してください。

日時を予約してソフトウェアを更新する<予約更新>

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合には、ソフトウェア更新を行う日時をあらかじめ設定しておくことができます。

1 P.544の操作1～5を行い、2［予約］を選ぶ。



- 予約候補選択画面が表示されます。
- 日時は、サーバの時刻に合わせて表示されます。
- 操作を中止するときは、操作1～4で◉を押し、［はい］を選んで◉を押します。

2 希望日時を選ぶ。

- 確認画面が表示されます。
- ［その他の日時］を選んだときは、サーバと通信したあと、ご希望の日、時間帯を選ぶことができます。まず希望日を選んで◉を押し、次に希望時間帯を選んで◉を押します。
  時間帯を選択する画面には、各時間帯の予約空き状況が［○：空きあり］［△：空きわずか］のように表示されます。希望する時間帯を一つ選んで◉を押すと、再びサーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。ご希望の予約候補を選んで◉を押します。

3 ［はい］を選ぶ。

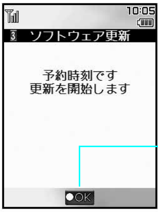
- 希望日時が予約されます。

4 ◉［OK］を押す。

お知らせ

- 操作中に電話がかかってきた場合は電話を受けることができます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。

予約した日時になると



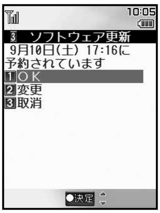
予約した日時に待受画面が表示されていると左の画面が表示され、自動的にソフトウェア更新を開始します。予約した日時に電源が入っていないときは、ソフトウェアは更新されません。
以降は「すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>」の操作2と同じ動作になります。
約5秒経過するか◉［OK］を押すと、自動的にソフトウェア更新が開始されます。

- ソフトウェア更新の予約日時には電波の十分届くところで待受画面を表示させておいてください。また、予約した日時に電池残量アイコンが▯または▯になっていると、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した日時に待受画面以外の状態、メール送信中、ｉモード中、メニュー表示中、外部機器接続中、セルフモード中、オールロック中、PIMロック中（ｉモード以外）など操作を行っていた場合は、予約した日時を過ぎて待受画面に戻ってもソフトウェアは更新されません。メール受信中の場合は、メール受信終了後にソフトウェアが更新されます。
- 予約した日時と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合は（自動マナーモード解除は除く）、アラームなどを優先し、ソフトウェアは更新されません。
- ソフトウェア更新の予約日時になったときFOMA端末の電源が切れている場合や、予約起動後すぐにFOMA端末の電源を切った場合は、予約は無効となります。
- 予約した日時に通話中（着信中および発信中を含む）の場合、約10分以内に待受画面に戻るとソフトウェア更新が起動されます。それ以上経過して待受画面に戻ってもソフトウェアは更新されません。
- 予約が完了したあとに「データ一括削除（ユーザデータ削除）」（☞P.425）を行うと、予約は取り消されます。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

◉3

予約した日時を確認・変更・取り消す

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ Settings 設定（設定）→［一般設定］→［ソフトウェア更新］の順に選んで、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押す。



- 画面に予約されている日時が表示されます。

予約を確認したとき	1［OK］
予約を変更する	2［変更］→1［OK］ ● 希望日選択画面が表示されます。以降の操作については、「日時を予約してソフトウェアを更新する<予約更新>」（☞P.547の操作1～4）を参照してください。
予約を取り消す	3［取消］→［はい］→◉→1［OK］→［予約を取消しました］と表示されたら、◉

お知らせ

- 操作中に電話がかかってきた場合は電話を受けることができます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど､外部からFOMA端末に取得したデータやプログラムについて､データを検知して､障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。そのため当社の都合により端末発売開始後３年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

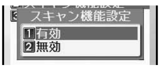
[◉][3][#][2]

スキャン機能を設定する<スキャン機能設定>

お買い上げ時
有効

スキャン機能設定を［有効］に設定すると､データやプログラムを実行する際､自動的にチェックします。

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［設定］（設定）→［一般設定］→［スキャン機能］→［スキャン機能設定］の順に選ぶ。



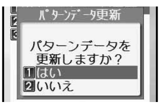
2 [1]［有効］を選んで、[1]［はい］を選ぶ。

- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に５段階の警告レベルで表示されます。（☞P.550）
- [2]［いいえ］を選択すると、操作１の画面に戻ります。

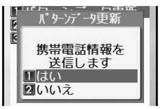
[◉][3][#][1]

パターンデータを更新する<パターンデータ更新>

1 詳細メニュー：待受画面で◉→［設定］（設定）→［一般設定］→［スキャン機能］→［パターンデータ更新］の順に選ぶ。



2 [1]［はい］を選ぶ。



- 携帯電話情報を送信しないときは、[2]［いいえ］または[電源]を押し、[1]［はい］を押します。

3 [1]［はい］を選ぶ。

- ダウンロードが開始されます。
- ダウンロードを中止するときは、◉または[電源]を押し、[1]［はい］を押します。
- パターンデータ更新の必要がないときは、［パターンデータは最新です］と表示されます。◉を押して、そのままご利用ください。

次ページへ続く

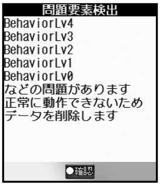
4 パターンデータ更新が完了したら◉を押す。

お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 電波の状態により、ダウンロードが中断される場合があります。

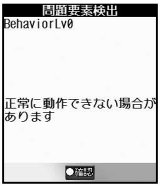
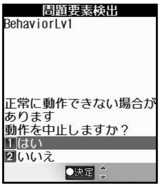
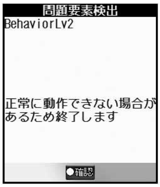
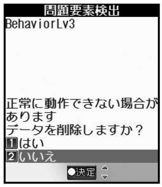
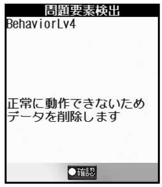
スキャン結果の表示について

■ スキャンされた問題要素の表示について



- スキャンを実行すると、問題要素名のレベルの大きい順にスキャン結果の画面が表示されます。
- 問題要素を検出した場合、最大５個まで問題要素名が表示されます。６個以上検出した場合は、５個目の問題要素名の下に［などの問題があります］と表示されます。また、同じ問題要素を複数検出した場合は、１個のみ表示されます。

■ スキャン結果の表示について

警告レベル０	警告レベル１	警告レベル２	警告レベル３	警告レベル４
				
表示／起動／発信できます。以前に問題があったが、現在は問題が起こらない場合に表示されます。◉［確認］を押すと表示／起動／発信できます。	［いいえ］を選んで◉を押すと表示／起動／発信できます。［はい］を選んで◉を押すと終了します。	表示／起動／発信できません。◉［確認］を押すと終了します。	表示／起動／発信できません。［データを削除しますか？］と表示され、［はい］を選択すると削除されます。［いいえ］を選んで◉を押すとデータを削除しないで終了します。	表示／起動／発信できません。［データを削除します］と表示され、◉［確認］を押すと削除されます。

◉ 3 # 3

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

1 詳細メニュー：待受画面で◉→ （設定）→［一般設定］→［スキャン機能］→［バージョン表示］の順に選ぶ。



主な仕様

品名		FOMA SH851i	
サイズ（H×W×D）		109（H）×52（W）×26（D）mm（折りたたみ時）（最厚部）	
質量		約129g（電池パック装着時）	
液晶部	方式	メイン サブ	視野切替機能付きモバイルASV液晶 STN液晶
	サイズ	メイン サブ	2.4inch 0.6inch
	画素数	メイン サブ	240×320ドット 72×12ドット
連続待受時間※1※3		静止時 移動時	約410時間※4 約340時間※5
連続通話時間※2※3		音声電話 テレビ電話	約130分 約80分
最大出力		0.25W	
電池パック種別		専用リチウムイオン蓄電池	
電源電圧		3.7V	
電池容量		830mAh	
ACアダプタでの充電時間		約120分	
DCアダプタでの充電時間		約120分	
撮像素子	種類	メインカメラ／CCD※6、サブカメラ／CMOS※6	
	サイズ	メインカメラ サブカメラ	1/4inch 1/7inch
カメラ部	有効画素数	メインカメラ サブカメラ	126万画素 11万画素
	記録画素数	メインカメラ サブカメラ	123万画素 10万画素
	ズーム（デジタル）	メインカメラ サブカメラ	最大約25倍 最大約2.0倍

※1 連続待受時間とは、FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合）などにより、通話・待受時間は半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成すると通話（通信）・待受時間は短くなります。

※2 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※3 データ通信やマルチアクセス実行時およびカメラ起動時も、前述の通話時間や待受時間より短くなります。

※4 FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※5 FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」、「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※6 CCD（charge coupled device：電荷結合素子）およびCMOS（complementary metal-oxide semiconductor：相補型金属酸化膜半導体）とは、銀塩カメラのフィルムに当たる部分を構成する撮像素子です。

主な仕様（データBOX）

miniSDメモリーカードに保存できる静止画撮影枚数、動画撮影時間、音声録音時間の目安は次のとおりです。

miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（☞P.349）

● 保存できる枚数や時間は、撮影環境や被写体などの条件により少なくなることがあります。

■ 静止画撮影枚数（32Mバイト）

	ECONOMY	NORMAL	SUPER FINE
アイコン：76×76	−	約1830枚	−
sQCIF：128×96	約1830枚	約920枚	約920枚
QCIF：176×144	約1830枚	約920枚	約615枚
待受：240×320	約920枚	約615枚	約260枚
CIF：352×288	約920枚	約615枚	約260枚
VGA：480×640	約615枚	約370枚	約260枚
最大：960×1280	約185枚	約90枚	約55枚

■ 静止画撮影枚数（16Mバイト）

	ECONOMY	NORMAL	SUPER FINE
アイコン：76×76	−	約860枚	−
sQCIF：128×96	約860枚	約435枚	約435枚
QCIF：176×144	約860枚	約435枚	約290枚
待受：240×320	約435枚	約290枚	約120枚
CIF：352×288	約435枚	約290枚	約120枚
VGA：480×640	約290枚	約170枚	約120枚
最大：960×1280	約85枚	約40枚	約25枚

■ 動画撮影時間（32Mバイト）

			ECONOMY	NORMAL	FINE	SUPER FINE
sQCIF：128×96	メール用（短）	映像＋音声	約90秒	約61秒	約30秒	−
		映像のみ	約124秒	約75秒	約36秒	−
	メール用（長）	映像＋音声	約152秒	約103秒	約51秒	−
		映像のみ	約210秒	約127秒	約61秒	−
	制限なし	映像＋音声	約155分	約106分	約52分	−
		映像のみ	約214分	約130分	約62分	−
QCIF：176×144	メール用（短）	映像＋音声	約77秒	約45秒	約16秒	約11秒
		映像のみ	約102秒	約52秒	約18秒	約11秒
	メール用（長）	映像＋音声	約131秒	約77秒	約28秒	約19秒
		映像のみ	約172秒	約89秒	約30秒	約20秒
	制限なし	映像＋音声	約134分	約79分	約28分	約19分
		映像のみ	約176分	約91分	約31分	約20分
hQVGA：240×176	メール用（短）	映像＋音声	−	−	−	−
		映像のみ	−	−	−	−
	メール用（長）	映像＋音声	−	−	−	−
		映像のみ	−	−	−	−
	制限なし	映像＋音声	−	約31分	約15分	約10分
		映像のみ	−	約34分	約16分	約10分

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.349）

			ECONOMY	NORMAL	FINE	SUPER FINE
QVGA：320×240	メール用（短）	映像＋音声	―	―	―	―
		映像のみ	―	―	―	―
	メール用（長）	映像＋音声	―	―	―	―
		映像のみ	―	―	―	―
	制限なし	映像＋音声	―	―	―	約10分
		映像のみ	―	―	―	約10分

動画撮影時間（16Mバイト）

			ECONOMY	NORMAL	FINE	SUPER FINE
sQCIF：128×96	メール用（短）	映像＋音声	約90秒	約61秒	約30秒	―
		映像のみ	約124秒	約75秒	約36秒	―
	メール用（長）	映像＋音声	約152秒	約103秒	約51秒	―
		映像のみ	約210秒	約127秒	約61秒	―
	制限なし	映像＋音声	約73分	約50分	約24分	―
		映像のみ	約101分	約61分	約29分	―
QCIF：176×144	メール用（短）	映像＋音声	約77秒	約45秒	約16秒	約11秒
		映像のみ	約102秒	約52秒	約18秒	約11秒
	メール用（長）	映像＋音声	約131秒	約77秒	約28秒	約19秒
		映像のみ	約172秒	約89秒	約30秒	約20秒
	制限なし	映像＋音声	約63分	約37分	約13分	約９分
		映像のみ	約83分	約43分	約14分	約９分
hQVGA：240×176	メール用（短）	映像＋音声	―	―	―	―
		映像のみ	―	―	―	―
	メール用（長）	映像＋音声	―	―	―	―
		映像のみ	―	―	―	―
	制限なし	映像＋音声	―	約14分	約７分	約４分
		映像のみ	―	約16分	約７分	約４分
QVGA：320×240	メール用（短）	映像＋音声	―	―	―	―
		映像のみ	―	―	―	―
	メール用（長）	映像＋音声	―	―	―	―
		映像のみ	―	―	―	―
	制限なし	映像＋音声	―	―	―	約４分
		映像のみ	―	―	―	約４分

音声録音時間（ボイスレコーダー）

- 32Mバイトの場合、最長約５時間です。（16Mバイトの場合、２時間20分です。）

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA SH851iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが２W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA SH851iのSARの値は0.540W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ	http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ	http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ	http://www.nttdocomo.co.jp/product/
シャープ株式会社のホームページ	http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の２）で規定されています。

索引／クイックマニュアル

索引

あ

か

た

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

▶MEMO◀

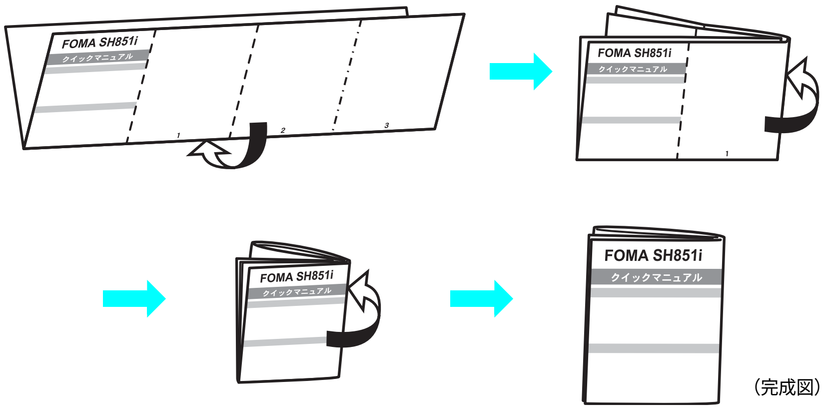
▶MEMO◀

MEMO

クイックマニュアル

次ページからのクイックマニュアルは、切り取り線で切り離してご利用いただけます。

折り畳み方



ご注意

● 切り離しの際、けがなどをしないように十分にご注意ください。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。

NTT DoCoMo DOLCE (FOMA SH851i)

クイックマニュアル（基本メニュー）

お申し込み・お問合せ

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※ 一般電話からはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

調子が悪いときは

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※ 一般電話からはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。
● なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

電話帳

電話帳登録

1 ［電話機能］▶⊙▶［電話帳を登録する］▶⊙
2 名前▶⊙▶フリガナ▶⊙▶電話番号▶⊙▶［✉］▶⊙▶メールアドレス▶⊙▶ⓘ［完了］
※ 本体に登録されます。（登録項目に制限あり）

登録できる項目

アイコン	項　目	補　足
［👤］	名前	全角16文字（半角32文字）以内
［ｶﾅ］	フリガナ	自動的に入力（半角カナ32文字以内
［☎］	電話番号	1件
［✉］	メールアドレス	1件

電話帳編集

1 ［電話機能］▶⊙▶［電話帳を見る］▶⊙▶名前▶⊙▶ⓜ▶1▶項目▶⊙▶編集▶⊙▶ⓘ［完了］

リダイヤルから電話をかける

1 ［電話機能］▶⊙▶［リダイヤル］▶⊙▶◇で相手の番号▶⊙または⊙

電話帳から電話をかける

1 ［電話機能］▶⊙▶［電話帳を見る］▶⊙▶◇▶名前▶⊙▶⊙または⊙

文字入力

入力モードを切り替える

1 文字入力画面でⓘ［文字切替］
ⓘ［文字切替］を押すごとに、ア（全角カタカナ）→ｱ（半角カタカナ）→A（全角英数字）→A（半角英数字）→1（半角数字）→区（区点コード）→漢（漢字・ひらがな）の順に切り替わります。

小文字を入力する

1 全角英数字モード／半角英数字モードで⊙
小文字入力モードに切り替わります。
文字入力後の小文字変換：⊙

ワンタッチ変換する

1 文字入力後に◇

絵文字を入力する

絵文字入力：文字入力画面でⓜ▶ⓜ［絵文字・記号入力］
記号入力：　文字入力画面でⓜ▶ⓜ［絵文字・記号入力］▶ⓘ［記号］

文字を削除する

1 カーソルを合わせてクリア
すべての文字を削除するとき：クリア 1秒以上

定型文を利用する

1 文字入力画面でⓜ▶5▶定型文の分類▶⊙
2 定型文▶⊙▶⊙

顔文字を入力する

1 文字入力画面でⓜ▶4▶顔文字▶⊙

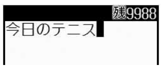
文字入力例

例）「今日のテニス３時🎾」
1 文字入力画面で2 2回▶◇▶［今日］▶⊙



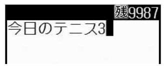
● ダイヤルボタンでひらがなを入力します。押す回数で文字が変わります。
● すべての文字を入力しなくても、変換する候補が表示され、選択できます。
● ⊙で小文字変換されます。
● 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、◇を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを1秒以上押します。

2 ◇▶［の］▶⊙
3 4 5 3▶◇▶［テニス］▶⊙



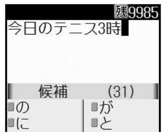
● ◇でワンタッチ変換されます。

4 ⓘ5回▶3



● ⓘ5回で半角数字モードになります。

5 ⓘ2回▶3 2回▶※▶◇▶［時］▶⊙



● ※で濁点が付きます。

6 ⓜ▶ⓜ［絵文字・記号入力］▶◇▶［🎾］▶⊙



カメラ

カメラ－静止画撮影

1 ［カメラ機能］▶⊙▶［写真を撮る］▶⊙
2 ⊙（撮影）
3 ⊙［保存］

カメラ－動画撮影

1 ［カメラ機能］▶⊙▶［映像を撮る］▶⊙
2 ⊙［録画］▶（録画）
3 ⊙［停止］
4 1［保存］

静止画を表示する

1 ［カメラ機能］▶⊙▶［写真を見る］▶⊙▶フォルダ▶⊙▶静止画▶⊙

動画を表示する

1 ［カメラ機能］▶⊙▶［映像を見る］▶⊙▶フォルダ▶⊙▶映像▶⊙

ボイスレコーダー

1 ［簡易設定・便利機能］▶⊙▶［便利機能を使う］▶⊙▶［ボイスレコーダー］▶⊙［録音］▶（録音）▶⊙［停止］▶1［保存］

<切り取り線>

テレビ電話

テレビ電話をかける

1 待受画面で、電話番号を入力▶ⓘ

テレビ電話を受ける

1 テレビ電話着信▶ⓘ

ブックリーダー

1 ［簡易設定・便利機能］▶◉▶［便利機能を使う］▶◉▶［ブックリーダー］▶ブック／辞書▶◉

行やページをスクロールするとき：✥
先頭／最後のページを表示するとき：ⓜ▶4／ⓜ▶5
目次を使うとき：ⓜ▶3▶項目▶◉

メール

ｉモードメール作成・送信



1 ［メール機能］▶◉▶［メールを書く］▶◉▶［宛先］▶◉

2 2▶宛先▶◉

電話帳から選択するとき：1▶相手▶◉
メール送信／メール受信履歴から選択するとき：3／4▶相手▶◉▶◉
メールメンバーから選択するとき：5▶メンバー▶◉

3 ［題名］▶◉▶題名▶◉▶［本文］▶◉▶本文▶◉

4 ⓘ［送信］

ｉモード問い合わせ

1 ［メール機能］▶◉▶［ｉモード問い合わせ］▶◉

メール自動受信



1 メールが届くと自動的に受信する

2 ［メール］▶◉▶メール▶◉

基本メニューから選ぶ

本FOMA端末では、大きな文字の見やすい基本メニューから、基本的な操作や簡単な設定などを行うことができます。

1 待受画面で◉▶機能▶◉

● 詳細メニューが表示された場合はⓘ［基本メニューへ］を押します。

基本メニュー一覧

メニュー	機能
電話機能	
電話機能	電話帳を見る
	リダイヤル
	着信履歴
	電話帳を登録する
	自分の電話番号

メニュー	機能
メール機能	
メール機能	メールを書く
	全受信メールを見る
	全送信メールを見る
	未送信メールを見る
	ｉモード問い合わせ
ｉモード	
ｉモード	ｉMenuを見る
	全Bookmarkを見る
	画面メモを見る
	ラストURL
	Internet

メニュー	機能	
カメラ機能		
カメラ機能	写真を撮る	
	写真を見る	カメラ撮影
		ｉモード・その他
		プリインストール
	映像を撮る	
	映像を見る	カメラ撮影
		ｉモード・その他
	バーコードリーダー	
簡易設定便利機能		
簡易設定・便利機能	着信音を設定する	着信音量を選択
		着信音を選択
		メール着信音量を選択
		メール着信音を選択

メニュー	機能	
簡易設定便利機能		
簡易設定・便利機能	待受画面を設定する	マイピクチャ
		ｉモーション
	アラームを設定する	
	ワンタッチキーを設定	ワンタッチキー設定
		お知らせランプ設定
	便利機能を使う	ボイスレコーダー
		スケジュール
		電卓
		マネーカルク
		ブックリーダー

NTT DoCoMo DOLCE（FOMA SH851i）

クイックマニュアル（基本メニュー）

お申し込み・お問合せ

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※ 一般電話からはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

調子が悪いときは

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
※ 一般電話からはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。
● なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

<切り取り線>

NTT DoCoMo DOLCE (FOMA SH851i)

クイックマニュアル（詳細メニュー）

お申し込み・お問合せ

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※ 一般電話からはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
- ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

調子が悪いときは

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
※ 一般電話からはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
- ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。
- なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

電話帳

電話帳登録

1 待受画面でⓜ１秒以上▶1［本体新規］／2［FOMAカード（UIM）新規］
2 名前▶◉▶［☎］／［📱］※▶◉▶電話番号▶◉▶電話種別▶◉▶［✉］／［✉］※▶◉▶メールアドレス▶◉▶メールアドレス種別▶◉
※ FOMAカードの場合
3 ⓘ［完了］▶メモリ番号（FOMAカードのときは省略）
- １件の電話帳に複数の電話番号・メールアドレスを登録するときは、詳細メニューから登録してください。

登録できる項目

アイコン	項　目	補　足
［👤］	名前	全角16文字（半角32文字）以内　FOMAカードのときは全角10文字（半角21文字）以内
［ｶﾅ］	フリガナ	自動的に入力（半角カナ32文字以内　FOMAカードのときは全角カナ12文字以内）
［👥］	グループ	20種類　FOMAカードのときは11種類
［☎］［📱］	電話番号	３件まで　FOMAカードのときは１件
［☎］［📱］［📠］［🏠］［🏢］［📱］［📞］	電話種別	７種類※
［✉］［📱］	メールアドレス	３件まで　FOMAカードのときは１件
［✉］［✉］［✉］［✉］	メールアドレス種別	４種類※
［〒］	郵便番号※	半角７文字
［🏠］	住所※	全角50文字（半角100文字）以内
［🎂］	誕生日※	半角数字のみ
［📝］	メモ※	全角100文字（半角200文字）以内
［🔑］	シークレット登録※	電話帳に表示しない
［🔒］	シークレットコード※	４桁の数字
［♪］	指定着信音選択※	―
［✉♪］	指定メール着信音選択※	―
［💡］	指定着信ランプ設定※	―
［✉💡］	指定メール着信ランプ設定※	―
［📷］	ピクチャーコール設定※	１件

※ FOMAカードのときは登録できません。

電話帳編集

1 待受画面でⓜ▶名前▶◉▶ⓜ▶1▶項目▶◉▶編集▶◉▶ⓘ［完了］

電話帳から電話をかける

1 待受画面でⓜ
検索方法を切り替えるとき：ⓜ▶1▶検索方法▶◉
2 名前▶◉
3 ⓢまたは◉

文字入力

入力モードを切り替える

1 文字入力画面でⓘ［文字切替］

ⓘ［文字切替］を押すごとに、ア（全角カタカナ）→ｱ（半角カタカナ）→A（全角英数字）→A（半角英数字）→1（半角数字）→区（区点コード）→漢（漢字・ひらがな）の順に切り替わります。

小文字を入力する

1 全角英数字モード／半角英数字モードでⓢ
小文字入力モードに切り替わります。
文字入力後の小文字変換：ⓢ

ワンタッチ変換する

1 文字入力後に◇

絵文字を入力する

絵文字入力：文字入力画面でⓜ▶ⓜ［絵文字・記号入力］
記号入力：　文字入力画面でⓜ▶ⓜ［絵文字・記号入力］▶ⓘ［記号］

文字を削除する

1 カーソルを合わせてクリア
すべての文字を削除するとき：クリア１秒以上

定型文を利用する

1 文字入力画面でⓜ▶5▶定型文の分類▶◉
2 定型文▶◉▶◉

顔文字を入力する

1 文字入力画面でⓜ▶4▶顔文字▶◉

文字入力例

例）「今日のテニス３時🎾」
1 文字入力画面で2 ２回▶◇▶［今日］▶◉



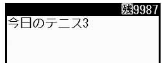
- ダイヤルボタンでひらがなを入力します。押す回数で文字が変わります。
- すべての文字を入力しなくても、変換する候補が表示され、選択できます。
- ⓢで小文字変換されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、◇を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを１秒以上押します。

2 ◇▶［の］▶◉
3 4 5 3▶◇▶［テニス］▶◉



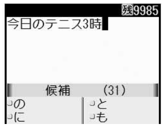
- ◇でワンタッチ変換されます。

4 ⓘ５回▶3



- ⓘ５回で半角数字モードになります。

5 ⓘ２回▶3２回▶※▶◇▶［時］▶◉



- ※で濁点が付きます。

6 ⓜ▶ⓜ［絵文字・記号入力］▶◇▶［🎾］▶◉



カメラ

カメラ－静止画撮影

1 待受画面で◇（カメラ起動）
2 ◉（撮影）
3 ◉［保存］

カメラ－動画撮影

1 待受画面で◇▶ⓜ▶1 2
2 ◉［録画］▶（録画）
3 ◉［停止］
4 1［保存］

静止画を表示する

1 待受画面で◇１秒以上▶フォルダ▶◉▶静止画▶◉

動画を表示する

1 待受画面で◉▶7 2▶フォルダ▶◉▶動画▶◉

ボイスレコーダー

1 待受画面で◉▶8 1▶◉［録音］▶（録音）▶◉［停止］▶1［保存］

<切り取り線>

テレビ電話

テレビ電話をかける

1 待受画面で、電話番号を入力▶Ⓘ

テレビ電話を受ける

1 テレビ電話着信▶Ⓘ

ブックリーダー

1 待受画面で◉▶9▶ブック／辞書▶◉

行やページをスクロールするとき：◇

先頭／最後のページを表示するとき：Ⓜ▶4／Ⓜ▶5

目次を使うとき：Ⓜ▶3▶項目▶◉

メール

ｉモードメール作成・送信

1 待受画面で◇１秒以上▶[宛先]▶◉

2 2▶宛先▶◉

電話帳から選択するとき：1▶相手▶◉

メール送信／メール受信履歴から選択するとき：3／4▶相手▶◉▶◉

メールメンバーから選択するとき：5▶メンバー▶◉



3 [題名]▶◉▶題名▶◉▶[本文]▶◉▶本文▶◉

4 Ⓘ［送信］

画像／メロディを送る

1 詳細メニューから7 1

動画／ｉモーションを送るとき：7 2

メロディを送るとき：7 3

2 フォルダ▶◉▶ファイル

3 Ⓘ［メール］

動画／ｉモーションのとき：Ⓘ［メール］▶ファイルサイズ（300Kバイトを超える場合）▶◉

SMS（ショートメッセージ）作成・送信

1 待受画面で◇（メール）▶5

2 [宛先]▶◉▶2▶宛先▶◉▶[本文]▶◉▶本文▶◉

3 Ⓘ［送信］

ｉモード問い合わせ

1 待受画面で◇（メール）▶7

メール自動受信

1 メールが届くと自動的に受信する

2 [メール]▶◉▶フォルダ▶◉▶メール▶◉



詳細メニューから選ぶ

詳細メニューではアイコンや機能番号から機能を呼び出します。

アイコンから選択する：

1 待受画面で◉▶アイコン▶◉

2 機能▶◉

● 基本メニューが表示された場合はⒾ［詳細メニューへ］を押します。

機能番号で選択する：

例：1 2 1と記載されている場合

1 待受画面で◉▶1▶2▶1

詳細メニュー一覧

音

メニュー	機能	機能番号
音量選択	着信音量選択	1 1 1
	メール着信音量選択	1 1 2
	チャットメール着信音量選択	1 1 3
	各種設定音量選択	1 1 4
音選択	着信音選択	1 2 1
	メール着信音選択	1 2 2
	チャットメール着信音選択	1 2 3
	各種設定音選択	1 2 4
バイブレータ設定	着信バイブレータ	1 3 1
	メール着信バイブレータ	1 3 2
マナーモード設定	通常マナーモード	1 4 1
	サイレントマナーモード	1 4 2
	オリジナルマナーモード	1 4 3
着信音出力切替		1 5
メール着信鳴動時間設定		1 6
呼出動作開始時間設定		1 7
保留・応答保留音	応答保留音	1 8 1
	保留音	1 8 2

表示

メニュー	機能	機能番号
メイン画面設定	待受画面設定	2 1 1
	時計表示設定	2 1 2
	カレンダー表示設定	2 1 3
サブ画面設定	相手表示設定	2 2 1
	コントラスト調節	2 2 2
文字表示設定		2 3
画面カスタマイズ設定	ピクチャーコール設定	2 4 1
	ポップアップウィンドウ設定	2 4 2
	お知らせウィンドウ設定	2 4 3
	背景パターン設定	2 4 4
	発着信画面設定	2 4 5
	メール送受信画面設定	2 4 6
	タイトル&ステータス色設定	2 4 7
	ガイダンスボタン設定	2 4 8
着信ランプ設定	着信ランプ色設定	2 5 1
	メール受信ランプ色設定	2 5 2
	着信ランプ動作設定	2 5 3
	メール受信ランプ動作設定	2 5 4

メニュー	機能	機能番号
省電力設定	通常モード	2 6 1
	節約モード	2 6 2
	ユーザ設定	2 6 3
視野切替設定	マナーモード連動設定	2 7 1
	視野切替画面設定	2 7 2

一般設定

メニュー	機能	機能番号
メモリ確認		3 1
電池残量確認		3 2
設定状況確認	音	3 3 1
	表示	3 3 2
	一般設定	3 3 3
	通話・通信設定	3 3 4
	セキュリティ	3 3 5
	ｉモード	3 3 6
	メール・メッセージ	3 3 7
ユーザ辞書		3 4
ダウンロード辞書		3 5
定型文編集		3 6
自動電源ON／OFF	自動電源ON	3 7 1
	自動電源OFF	3 7 2

メニュー	機能	機能番号
日時設定		3 8
ワンタッチキー設定	ワンタッチキー設定	3 9 1
	お知らせランプ設定	3 9 2
変換学習クリア		3 0
Bilingual		3 *
スキャン機能	パターンデータ更新	3 # 1
	スキャン機能設定	3 # 2
	バージョン表示	3 # 3
ソフトウェア更新		3▶［ソフトウェア更新］▶◉

サービス

メニュー	機能	機能番号
留守番電話	メッセージ問合せ	4 1 1
	留守番メッセージ再生	4 1 2
	留守番電話サービス開始	4 1 3
	留守番呼出時間設定	4 1 4
	留守番サービス停止	4 1 5
	留守番設定確認	4 1 6
	留守番サービス設定	4 1 7
	件数増加時鳴動設定	4 1 8

メニュー	機能	機能番号
留守番電話	表示消去	4 1 9
	着信通知開始	4 1 0
	着信通知停止	4 1 *
	着信通知設定確認	4 1 #
キャッチホン	キャッチホンサービス開始	4 2 1
	キャッチホンサービス停止	4 2 2
	キャッチホンサービス設定確認	4 2 3
転送でんわ	転送サービス開始	4 3 1
	転送サービス停止	4 3 2
	転送先変更	4 3 3
	転送先通話中時設定	4 3 4
	転送サービス設定確認	4 3 5
迷惑電話ストップ	迷惑電話着信拒否登録	4 4 1
	迷惑電話全登録削除	4 4 2
	迷惑電話１登録削除	4 4 3
発信者番号通知	発番号通知設定確認	4 5 1
	発番号通知設定	4 5 2
番号通知お願いサービス	番号通知サービス開始	4 6 1
	番号通知サービス停止	4 6 2
	サービス設定確認	4 6 3

<切り取り線>

メニュー	機　能	機能番号
通話時間／料金		47
通話中着信設定	通話中着信設定開始	481
	通話中着信設定停止	482
	通話中着信設定確認	483
着信動作選択	留守番電話	491
	転送でんわ	492
	着信拒否	493
	通常着信	494
遠隔操作設定	遠隔操作開始	401
	遠隔操作停止	402
	遠隔操作設定確認	403
デュアルネットワーク	デュアルネットワーク切替	4*1
	ネットワーク状態確認	4*2
英語ガイダンス	ガイダンス設定	4#1
	ガイダンス設定確認	4#2
サービスダイヤル	ドコモ故障問合せ	4[i]01
	ドコモ総合案内・受付	4[i]02
追加サービス	USSD登録	4▶[追加サービス]▶1
	応答メッセージ登録	4▶[追加サービス]▶2

通話・通信機能設定

メニュー	機　能	機能番号
ノイズキャンセラ		51
通話中アラーム設定	再接続機能	521
	通話品質アラーム	522
テレビ電話設定	音声自動再発信	531
	送信画像設定	532
	画面サイズ設定	533
	テレビ電話画面設定	534
	子画面表示位置	535
	送信画質設定	536
	切替機能通知設定	537
伝言メモ設定	伝言メモ設定	541
	伝言応答時間	542
	応答メッセージ	543
	テレビ電話時応答画像	544
クローズ動作設定		55
エニーキーアンサー		56
オート着信設定		57
セルフモード		58
プレフィックス設定		59
サブアドレス設定		50

メニュー	機　能	機能番号
国際ダイヤル設定	自動付加設定	5*1
	国際電話設定	5*2
イヤホン発信設定		5#

セキュリティ

メニュー	機　能	機能番号
シークレットモード		61
FOMAカード（UIM）設定	PIN1コード入力設定	621
	PIN1コード変更	622
	PIN2コード変更	623
着信拒否／許可設定	電話帳指定着信許可	631
	電話帳指定着信拒否	632
	電話帳登録外	633
	非通知設定	634
	公衆電話	635
	通知不可能	636
発着信履歴表示	着信履歴表示	641
	リダイヤル表示	642
メール履歴表示	メール送信履歴表示	651
	メール受信履歴表示	652

メニュー	機　能	機能番号
ロック設定	オールロック	661
	ダイヤル発信制限	662
	PIMロック	663
	遠隔オールロック	664
端末暗証番号変更		67
データ一括削除	ユーザデータ削除	681
	シークレットデータ削除	682

その他の設定

機能メニュー	機能番号
電話番号表示	0
初期設定	*
設定リセット	#

データBOX

機能メニュー	機能番号
マイピクチャ	71
ｉモーション	72
メロディ	73
プリント指定（DPOF）	74
セキュリティ設定	7*（1秒以上）

ツール

メニュー	機　能	機能番号
ボイスレコーダー		81
スケジュール		82
ToDoリスト		83
アラーム		84
タイマー		85
テキストメモ		86
電卓		87
マネーカルク		88
miniSD管理	miniSDデータ参照	891
	バックアップ／復元	892
	インポート	893
	管理情報の更新	894
	フォーマット	895
バーコードリーダー		80
文字読み取り		8*

ブックリーダー

機能メニュー	機能番号
ブックリーダー	9

その他の機能

マナーモード　設定／解除	#（1秒以上）
ドライブモード　設定／解除	*（1秒以上）
メモ再生・録音	1（1秒以上）
リダイヤルの表示	[右]
着信履歴の表示	[左]
メールメニューの表示	[上]
カメラ（静止画モード）起動	[下]
マイピクチャの表示	[下]（1秒以上）
ｉモードメニューの表示	[i]
サポートブック（内蔵）	[i]（1秒以上）
アシスタントビューの起動	操作中に[i]（1秒以上）
電話帳の表示	[電話帳]
音量調節	[大]／[小]
ピクチャーライト点灯	閉じて[大]／[小]（1秒以上）
視野切替　設定／解除	[サイドキー]

ネットワークサービス

※ 確認画面が表示されたときは、［はい］を選んで[●]を押してください。

留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション（月額使用料：有料）サービスです。

STEP 1　留守番電話サービスを開始する。
STEP 2　お客様のFOMA端末に音声電話がかかる。
STEP 3　音声電話に出られないときは留守番電話サービスセンターに接続される。
STEP 4　相手が用件を伝言メッセージに録音する。
STEP 5　伝言メッセージを再生する。

留守番電話サービスの開始	詳細メニューから4131
呼出時間を設定してからサービスを開始	詳細メニューから4132▶呼出秒数を入力▶[●]
留守番電話サービスの停止	詳細メニューから415
伝言メッセージの再生	詳細メニューから412
音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定	詳細メニューから417

新しい伝言メッセージの確認	詳細メニューから411
留守番電話サービスの設定を確認してから変更	詳細メニューから416▶[電話帳]▶各設定
伝言メッセージ増加時に着信音を鳴らす	詳細メニューから4181
伝言メッセージマークの消去	詳細メニューから419
着信通知の開始	詳細メニューから410
着信通知の停止	詳細メニューから41*
着信通知設定確認	詳細メニューから41#

キャッチホン

お申し込みが必要なオプション（月額使用料：有料）サービスです。

キャッチホンの開始	詳細メニューから421
キャッチホンの停止	詳細メニューから422
キャッチホン設定確認	詳細メニューから423
通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る	通話中に「ププ…ププ…」▶[開始]▶通話▶[開始]▶通話
通話中の音声電話を終わらせて、かかってきた音声電話に出る	通話中に「ププ…ププ…」▶[終話]▶[開始]▶通話

＜切り取り線＞

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける	通話中にダイヤル ▶ ▶ 通話 ▶ ▶ ▶ 通話

転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション（月額使用料：無料）サービスです。

STEP 1　転送先の電話番号を登録する。
STEP 2　転送でんわサービスを開始する。
STEP 3　お客様のFOMA端末に電話がかかる。
STEP 4　電話に出られないときはあらかじめ登録した転送先に自動的に転送される。

転送でんわサービスの開始	詳細メニューから[4][3][1][3][1] ▶ 転送先電話番号の入力 ▶ ▶ [2] ▶ 呼出秒数を入力 ▶ ▶ [1]
転送でんわサービスの停止	詳細メニューから[4][3][2]
転送先の変更	詳細メニューから[4][3][3][1] ▶ 転送先電話番号の修正 ▶ ▶ [1]
転送先が通話中のとき留守番電話サービスで応対	詳細メニューから[4][3][4]
転送サービス設定確認	詳細メニューから[4][3][5]

着信中／通話中にかかってきた電話を転送先へ転送	着信中／通話中着信音時に[3]

迷惑電話ストップサービス

お申し込みが必要なオプション（月額使用料：無料）サービスです。

最後に通話した電話番号を迷惑電話ストップサービスに登録	詳細メニューから[4][4][1]
登録した電話番号をすべて削除	詳細メニューから[4][4][2]

番号通知お願いサービス

お申し込みなしでご利用いただけます。（月額使用料：無料）

番号通知お願いサービスの開始	詳細メニューから[4][6][1]
番号通知お願いサービスの停止	詳細メニューから[4][6][2]

デュアルネットワークサービスを利用する

お申し込みが必要なオプション（月額使用料：有料）サービスです。

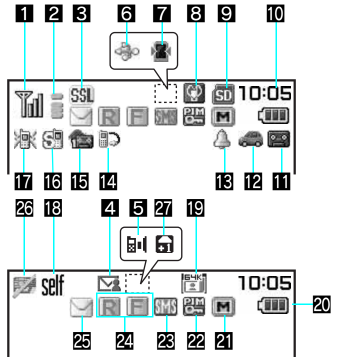
FOMA端末を使えるようにする	詳細メニューから[4][*][1] ▶ ネットワーク暗証番号（４桁の数字）を入力 ▶
設定内容確認	詳細メニューから[4][*][2]

FOMAからご利用できるサービス

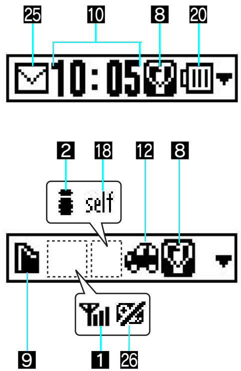
利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）（電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません。）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）午前８時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
お話中調べ	（局番なし）114
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

マーク一覧

ディスプレイ上部



サブディスプレイ



1 ：電波状態表示
2 ：ｉモード表示
3 ：SSL表示
4 アシスタントビュー表示
：ToDoリスト
：電話帳
：テキストメモ
：スケジュール
：メール
：通話中
：ｉモード中
5 （緑色）（赤色）：外部機器通信中表示
6 （緑色）:外部機器接続表示
7 ：視野切替表示
8 ：マナーモード表示
9 （グレー）（ピンク）（点滅）：miniSDメモリーカード表示
10 時計表示
11 ～：伝言メモ表示
12 ：ドライブモード表示
13 ：アラーム／スケジュールアラーム／ ToDoアラーム表示
14 ：イヤホンマイク接続表示
15 ：留守番電話新メッセージあり
16 ：サイレント表示

17 ：バイブレータ表示
18 self ：セルフモード表示
19 （赤色）（赤色）（赤色）：音声／テレビ電話中表示
20 ：電池残量／充電中表示
21 メモリ警告表示
（黄色）：メモリの空きが少ない
（赤色）：メモリの空きがほとんどない
22 ：制限表示
23 （赤色）（黒色）（青色）（黄色）：SMS受信表示
24 メッセージRアイコン、メッセージFアイコン表示
R ：メッセージR
F ：メッセージF
25 ：ｉモードメール受信表示
26 FOMAカードエラー表示
：FOMAカードが挿入されていない、またはFOMAカードに異常がある
：FOMAカード以外のカード挿入中
27 ：テレビ電話中明るさ表示

※ 表示されるマークの詳しい説明は、取扱説明書のP.32～P.34を参照してください。

NTT DoCoMo DOLCE（FOMA SH851i）

クイックマニュアル（詳細メニュー）

お申し込み・お問合せ

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※ 一般電話からはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

調子が悪いときは

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※ 一般電話からはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。
● なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

<切り取り線>

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
★航空機内　★病院内
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。
※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で FOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気を付けましょう。
■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード（☞P.132）／オリジナルマナーモード（☞P.134）
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消し、伝言メモが機能します（マナーモード）。マナーモード設定時に、自動的に設定される機能（伝言メモ、着信バイブレータ、マイク感度アップ、着信音、メール着信音、ボタン確認音、低電圧アラーム）のON（設定）／OFF（解除）を設定することもできます（オリジナルマナーモード）。

●ドライブモード（☞P.74）
電話をかけてきた相手の方に、運転中のため電話に出られないことをお知らせするガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので、安全に運転できます。

●着信バイブレータ（☞P.130）
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

●伝言メモ（☞P.77）
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス（☞P.428）、転送でんわサービス（☞P.433）などのオプションサービスが利用できます。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

i モードから	i Menu ▶ 料金&お申込 ▶ ドコモeサイト パケット通信料無料
パソコンから	My DoCoMo（https://www.mydocomo.com/）▶ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ i モードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ i モードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「My DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「My DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先 〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※ 一般電話などからはご利用できません。

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※ 一般電話などからはご利用できません。

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

● なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元　シャープ株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。
Li-ion

古紙配合率100%再生紙を使用しています。　大豆油インキを使用しています。

'06.4（6版）
TINSJA128AFZE
06D 17.4 DS KT576⑥